

村上市  
子どもの生活に関する実態調査  
報告書

令和4年3月  
新潟県村上市



# 目次

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| <b>第1章 子ども・保護者調査概要</b> ..... | <b>1</b>  |
| <b>1. 調査実施方法等の概要</b> .....   | <b>1</b>  |
| (1) 調査の目的 .....              | 1         |
| (2) 調査対象・調査時期 .....          | 1         |
| (3) 調査方法 .....               | 1         |
| <b>2. 回収状況</b> .....         | <b>1</b>  |
| <b>3. 集計結果の表示方法</b> .....    | <b>2</b>  |
| <b>4. 回答者の基本属性</b> .....     | <b>3</b>  |
| (1) 子どもの性別 .....             | 3         |
| (2) 保護者（回答者）と子どもの続柄 .....    | 3         |
| (3) 保護者（回答者）の年齢 .....        | 3         |
| (4) 居住地区 .....               | 4         |
| (5) 世帯タイプ .....              | 4         |
| (6) 世帯タイプ別にみた区分 .....        | 5         |
| <b>5. 調査結果の概要</b> .....      | <b>6</b>  |
| (1) 生活困難の状況 .....            | 6         |
| (2) 子どもの生活水準 .....           | 6         |
| (3) 子どもの食と栄養 .....           | 7         |
| (4) 家計の状況 .....              | 8         |
| (5) 子どもの学びと学校生活 .....        | 8         |
| (6) 子どもの日常生活 .....           | 10        |
| (7) 子どもの健康 .....             | 12        |
| (8) 自己肯定感 .....              | 12        |
| (9) 保護者の状況 .....             | 13        |
| (10) 保護者の就労状況 .....          | 13        |
| (11) 頼れる親族・友人・相談相手の有無 .....  | 14        |
| (12) 制度・サービスの利用 .....        | 14        |
| (13) 相談窓口の利用状況 .....         | 15        |
| (14) 小学校1年生への調査 .....        | 15        |
| <b>第2章 子ども・保護者調査結果</b> ..... | <b>16</b> |
| <b>1. 生活困難の状況</b> .....      | <b>16</b> |
| (1) 食料が買えなかった経験 .....        | 16        |
| (2) 衣類が買えなかった経験 .....        | 18        |
| (3) 公共料金の滞納経験 .....          | 20        |
| (4) 物品などの所有状況（世帯にないもの） ..... | 30        |

|                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| (5) 現在の（主観的）暮らし向き .....          | 34         |
| <b>2. 子どもの生活水準（所有物と体験） .....</b> | <b>36</b>  |
| (1) 小・中学生の所有物の状況 .....           | 36         |
| (2) 16～17歳の所有物の状況 .....          | 50         |
| (3) 子どもへの支出 .....                | 56         |
| (4) 子どもとの体験 .....                | 70         |
| <b>3. 子どもの食と栄養 .....</b>         | <b>80</b>  |
| (1) 朝食の摂取状況 .....                | 80         |
| (2) 小中学生子どもの栄養群摂取状況 .....        | 84         |
| (3) 16-17歳の食品群別の摂取頻度 .....       | 90         |
| <b>4. 家計の状況 .....</b>            | <b>91</b>  |
| (1) 世帯収入 .....                   | 91         |
| (2) 就学援助費 .....                  | 95         |
| (3) 高等学校等就学支援金制度 .....           | 101        |
| (4) 高等学校等入学準備の家計への負担感 .....      | 101        |
| <b>5. 子どもの学びと学校生活 .....</b>      | <b>102</b> |
| (1) 主観的学校の成績 .....               | 102        |
| (2) 授業の理解や学習の状況 .....            | 103        |
| (3) 学校生活の楽しみ .....               | 108        |
| (4) 16-17歳の学校生活 .....            | 109        |
| (5) 学校以外での学習・勉強の状況 .....         | 109        |
| (6) 将来の夢 .....                   | 111        |
| (7) 子どもに受けさせたい教育段階 .....         | 116        |
| <b>6. 子どもの日常生活 .....</b>         | <b>120</b> |
| (1) 友だちとの関係 .....                | 120        |
| (2) 平日の食事 .....                  | 124        |
| (3) 平日の放課後・自由時間の過ごし方 .....       | 128        |
| (4) 休日の過ごし方 .....                | 149        |
| (5) 活動の状況 .....                  | 154        |
| (6) 運動の状況 .....                  | 164        |
| (7) 会話の頻度 .....                  | 166        |
| (8) 子どもとのかかわり .....              | 178        |
| (9) 子ども本人の支援サービス利用意向 .....       | 187        |
| <b>7. 子どもの健康と自己肯定感 .....</b>     | <b>197</b> |
| (1) 子どもの主観的健康状態 .....            | 197        |
| (2) 保護者からみた子どもの健康状態 .....        | 198        |
| (3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由 .....      | 200        |
| (4) 16-17歳の医療機関への受診状況 .....      | 204        |

|                                       |            |
|---------------------------------------|------------|
| (5) 自己肯定感.....                        | 205        |
| (6) 16-17歳の心の状態.....                  | 218        |
| (7) 学校を辞めたくなるほどの悩み.....               | 219        |
| (8) 16-17歳の主観的幸福度.....                | 220        |
| <b>8. 保護者・世帯の状況.....</b>              | <b>221</b> |
| (1) 回答者の状況.....                       | 221        |
| (2) 世帯の状況.....                        | 235        |
| (3) 母親の就業状況など.....                    | 243        |
| (4) 父親の就業状況など.....                    | 259        |
| <b>9. 制度・サービスの利用.....</b>             | <b>275</b> |
| (1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向.....           | 275        |
| (2) 子育て支援制度の利用経験.....                 | 283        |
| (3) 経済的支援制度の利用経験.....                 | 303        |
| (4) 困ったときの相談相手.....                   | 311        |
| (5) 公的相談機関等の利用経験.....                 | 315        |
| <b>10. 小学校1年生への調査.....</b>            | <b>331</b> |
| (1) 保護者に聞いた子どもの状況.....                | 331        |
| (2) 子どもの回答.....                       | 352        |
| <b>11. 自由記入意見.....</b>                | <b>363</b> |
| (1) 保護者の困りごと・悩みごと.....                | 363        |
| (2) 子どもの困りごと・言いたいこと.....              | 366        |
| (3) 16-17歳の村上市への要望.....               | 371        |
| <b>第3章 関係団体等への調査.....</b>             | <b>373</b> |
| <b>1. 調査実施方法等の概要.....</b>             | <b>373</b> |
| (1) 調査の目的.....                        | 373        |
| (2) 実施方法・対象者.....                     | 373        |
| (3) 調査時期・回答数.....                     | 373        |
| <b>2. 調査結果の概要.....</b>                | <b>374</b> |
| (1) 関係団体等調査.....                      | 374        |
| (2) 学校・福祉関係者等調査.....                  | 375        |
| <b>3. 関係団体等調査結果.....</b>              | <b>376</b> |
| (1) 回答団体の内訳.....                      | 376        |
| (2) 活動状況と実績、今後の予測.....                | 376        |
| (3) 「貧困状況にある(かもしれない)」子どもと接する経験.....   | 376        |
| (4) 貧困状況にある子どもに不足していると感じたもの.....      | 376        |
| (5) 支援活動の結果、子どもたちに変化があったと考えられること..... | 377        |
| (6) 他の団体や機関と情報をやり取りする機会.....          | 377        |

|                                       |            |
|---------------------------------------|------------|
| (7) 支援で困難だと感じる事                       | 377        |
| (8) (現在の活動内容に関わらず) 支援等でより必要だと思うもの     | 378        |
| (9) 支援・活動の中で工夫していること、心がけていること         | 378        |
| (10) 活動を継続していくうえでの課題                  | 379        |
| (11) 活動をより充実させるために(行政に)求めたい支援など       | 379        |
| <b>4. 学校・福祉関係者等調査結果</b>               | <b>380</b> |
| (1) 回答者職種の内訳                          | 380        |
| (2) 「貧困状況にある(かもしれない)」子どもを発見した(接した)経験  | 380        |
| (3) 貧困状況にある子どもに不足していると感じるもの           | 380        |
| (4) 行っている支援と頻度                        | 381        |
| (5) 他の部署や機関と情報をやり取りする機会・頻度            | 381        |
| (6) 他の部署・機関で受けられるサービスを紹介すること・頻度       | 381        |
| (7) 他の部署・機関で受けられるサービスを紹介しない理由         | 381        |
| (8) 支援において困難だと感じる事                    | 382        |
| (9) より必要だと思う支援                        | 382        |
| (10) 支援を行う場合に、配慮すべき、心がけるべきと思うこと       | 383        |
| (11) 支援によって改善に向かったケースの理由や状況           | 383        |
| (12) 市(行政)の支援をより充実するためにできそうなこと、アイデアなど | 384        |
| (13) その他、設問以外の意見                      | 385        |

# 第1章 子ども・保護者調査概要

## 1. 調査実施方法等の概要

### (1) 調査の目的

本調査は、子どもの生活状況や家庭の状況などをうかがい、子どもを取り巻く現状や取り組むべき課題を把握し、今後の子ども・子育て支援施策の検討資料として活用するとともに、計画策定の基礎資料とするため実施しました。

### (2) 調査対象・調査時期

市内在住の小学校1年生、小学校5年生、中学校2年生、16～17歳（高等学校2年生及び高等学校に在籍していない同年齢の子どもを含む）の子ども本人とその保護者を対象に令和3年11月18日（木）～12月14日（火）に実施しました。

|        | 子ども    | 保護者    |
|--------|--------|--------|
| 小学校1年生 | 368人   | 368人   |
| 小学校5年生 | 408人   | 408人   |
| 中学校2年生 | 442人   | 442人   |
| 16-17歳 | 476人   | 476人   |
| 合計     | 1,694人 | 1,694人 |

### (3) 調査方法

|        | 調査方法   |
|--------|--|
| 小学校1年生 | ●村上市立小・中学校に在籍の児童・生徒<br>：学校を通じて配付・回収<br>●村上市立以外の小・中学校に在籍の児童・生徒<br>：郵送による配付・回収 |
| 小学校5年生 |  |
| 中学校2年生 |  |
| 16-17歳 | 郵送による配付・回収   |

## 2. 回収状況

|        |       | 子ども    | 保護者    | 親子マッチング<br>できた票数 |
|--------|-------|--------|--------|------------------|
| 小学校1年生 | 有効回答数 | 364票   | 310票   | 309票             |
|        | 回答率   | 98.9%  | 84.2%  | 84.0%            |
| 小学校5年生 | 有効回答数 | 392票   | 372票   | 364票             |
|        | 回答率   | 96.1%  | 91.2%  | 89.2%            |
| 中学校2年生 | 有効回答数 | 396票   | 368票   | 368票             |
|        | 回答率   | 89.6%  | 83.3%  | 83.3%            |
| 16-17歳 | 有効回答数 | 177票   | 182票   | 175票             |
|        | 回答率   | 37.2%  | 38.2%  | 36.8%            |
| 合計     | 有効回答数 | 1,329票 | 1,232票 | 1,216票           |
|        | 回答率   | 78.5%  | 72.7%  | 71.8%            |

### 3. 集計結果の表示方法

- 本報告書では、子ども票、保護者票の設問をテーマごとに分類し、集計結果を掲載しています。
- 区分別集計では、区分を判定するための設問で無回答のため判定不能としたものがあります。そのため、区分1、区分2の合計は全体数と同数ではありません。
- 世帯タイプは保護者票の子どもと父親、母親それぞれの同居状況から判別しています。そのため、各制度や公的統計の定義とは必ずしも一致しません。
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- 設問文を一部省略して表記している場合があります。
- グラフ及び文章中で選択肢を一部省略している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。
- 区分別集計について、本調査では3つの要素の回答状況に基づいて分類しました。

|                 |  |
|-----------------|--|
| 1 低所得           | 等価世帯所得が厚生労働省「令和元年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯<br><低所得基準><br>世帯所得の中央値 437 万円 ÷ √平均世帯人数(2.39 人) × 50%<br>= 141.3 万円 |
| 2 家計の逼迫         | 経済的な理由で、電話・電気・ガス・水道の公共料金、家賃を支払えなかった経験や食料・衣類を買えなかった経験など7項目のうち1つ以上に該当する場合                                      |
| 3 子どもの体験や所有物の欠如 | 子どもの体験や所有物などに関する15項目のうち、経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上ある場合  |

#### 【分類】

|            |                    |
|------------|--------------------|
| <b>区分1</b> | いずれか1つ以上の要素に該当する場合 |
| <b>区分2</b> | いずれの要素にも該当しない      |

#### ※「3 子どもの体験や所有物の欠如」の要素15項目

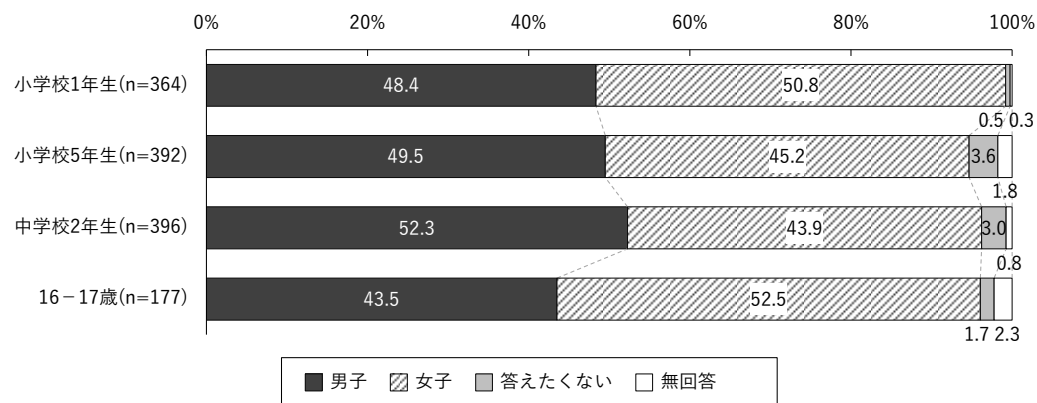
|  |                           |
|--|---------------------------|
| ①海水浴に行く                                  | ⑨学習塾に通わせる(又は家庭教師に来てもらう)   |
| ②博物館・科学館・美術館などに行く                        | ⑩お誕生日のお祝いをする              |
| ③キャンプやバーベキューに行く                          | ⑪1年に1回くらい家族旅行に行く          |
| ④スポーツ観戦や劇場(映画館を含む)に行く                    | ⑫クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる   |
| ⑤遊園地やテーマパークに行く<br>*16-17歳は「友人と遊びに出かけるお金」 | ⑬子どもの年齢に合った本              |
| ⑥毎月お小遣いを渡す                               | ⑭子ども用のスポーツ用品・おもちゃ         |
| ⑦毎年新しい洋服・靴を買う                            | ⑮子どもが自宅で宿題(勉強)をすることができる場所 |
| ⑧習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる                   |                           |



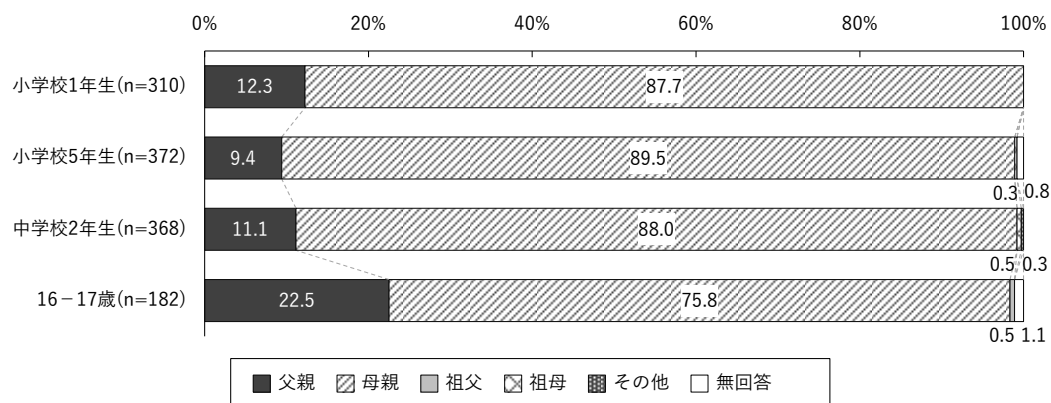
## 4. 回答者の基本属性

回答者の基本属性は以下のとおりです。

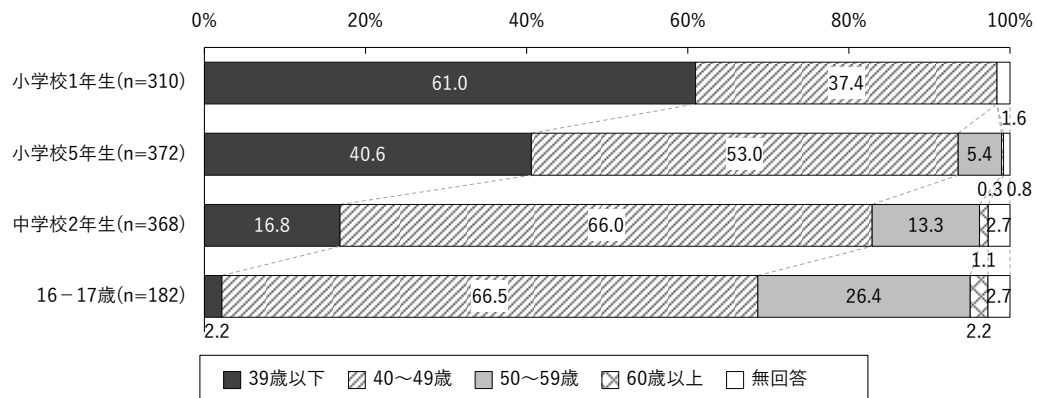
### (1) 子どもの性別



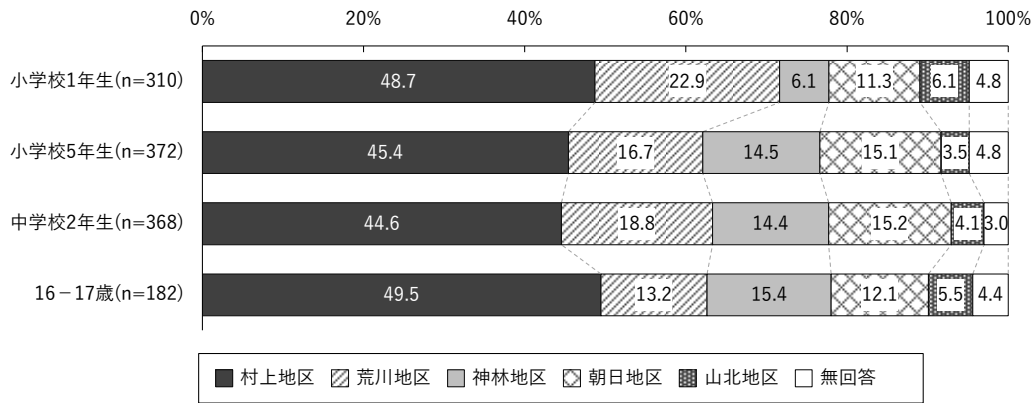
### (2) 保護者（回答者）と子どもの続柄



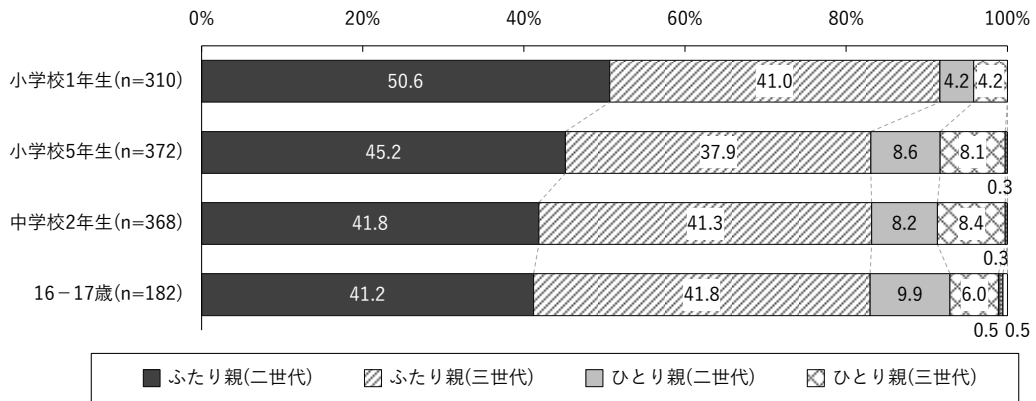
### (3) 保護者（回答者）の年齢



#### (4) 居住地区



#### (5) 世帯タイプ



(6) 世帯タイプ別にみた区分

基本属性の世帯タイプ別に「区分1」と「区分2」を集計した結果は以下のとおりです。

|        |           | 上段：回答数<br>下段：% | 合計         | 区分1         | 区分2        | 無回答 |
|--------|-----------|----------------|------------|-------------|------------|-----|
| 小学校1年生 | 全体        | 310<br>100.0   | 50<br>16.1 | 178<br>57.4 | 82<br>26.5 |     |
|        | ふたり親(二世帯) | 157<br>100.0   | 24<br>15.3 | 95<br>60.5  | 38<br>24.2 |     |
|        | ふたり親(三世帯) | 127<br>100.0   | 12<br>9.4  | 76<br>59.8  | 39<br>30.7 |     |
|        | ひとり親(二世帯) | 13<br>100.0    | 7<br>53.8  | 4<br>30.8   | 2<br>15.4  |     |
|        | ひとり親(三世帯) | 13<br>100.0    | 7<br>53.8  | 3<br>23.1   | 3<br>23.1  |     |
| 小学校5年生 | 全体        | 372<br>100.0   | 88<br>23.7 | 205<br>55.1 | 79<br>21.2 |     |
|        | ふたり親(二世帯) | 168<br>100.0   | 38<br>22.6 | 99<br>58.9  | 31<br>18.5 |     |
|        | ふたり親(三世帯) | 141<br>100.0   | 15<br>10.6 | 83<br>58.9  | 43<br>30.5 |     |
|        | ひとり親(二世帯) | 32<br>100.0    | 20<br>62.5 | 10<br>31.3  | 2<br>6.3   |     |
|        | ひとり親(三世帯) | 30<br>100.0    | 14<br>46.7 | 13<br>43.3  | 3<br>10.0  |     |
| 中学校2年生 | 全体        | 368<br>100.0   | 98<br>26.6 | 190<br>51.6 | 80<br>21.7 |     |
|        | ふたり親(二世帯) | 154<br>100.0   | 40<br>26.0 | 82<br>53.2  | 32<br>20.8 |     |
|        | ふたり親(三世帯) | 152<br>100.0   | 17<br>11.2 | 94<br>61.8  | 41<br>27.0 |     |
|        | ひとり親(二世帯) | 30<br>100.0    | 20<br>66.7 | 4<br>13.3   | 6<br>20.0  |     |
|        | ひとり親(三世帯) | 31<br>100.0    | 20<br>64.5 | 10<br>32.3  | 1<br>3.2   |     |
| 16-17歳 | 全体        | 182<br>100.0   | 46<br>25.3 | 81<br>44.5  | 55<br>30.2 |     |
|        | ふたり親(二世帯) | 75<br>100.0    | 15<br>20.0 | 34<br>45.3  | 26<br>34.7 |     |
|        | ふたり親(三世帯) | 76<br>100.0    | 18<br>23.7 | 36<br>47.4  | 22<br>28.9 |     |
|        | ひとり親(二世帯) | 18<br>100.0    | 9<br>50.0  | 7<br>38.9   | 2<br>11.1  |     |
|        | ひとり親(三世帯) | 11<br>100.0    | 4<br>36.4  | 4<br>36.4   | 3<br>27.3  |     |

※世帯タイプ「その他」は回答数0ないし1のため省略。内訳の合計が全体と合わない場合がある。

※網掛は世帯類型別（横軸）で最も割合の高かったもの（同率含む）。

## 5. 調査結果の概要

### (1) 生活困難の状況

#### ① 食料や衣服の購入について

区分1の4～7割は経済的な理由から、食料や衣類が買えなかった経験がある

全体では、小学校1年生の12.2%、小学校5年生の17.8%、中学校2年生の20.1%、16-17歳の15.3%の世帯で、過去1年間に経済的な理由で食料が買えなかった経験があり、また、小学校1年生の14.2%、小学校5年生の20.1%、中学校2年生の22.9%、16-17歳の19.7%の世帯で、過去1年間に経済的な理由で衣類が買えなかった経験があります。

これらの経験は区分1で多く、約4～7割が、食料や衣類が買えなかった経験があると回答しています。

#### ② 公共料金等の滞納経験

区分1で経済的な理由から、公共料金の滞納経験がある割合は全体の4倍多い

公共料金（電話、電気、ガス、水道）の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、いずれの年齢層も全体で約1～5%であるのに対し、区分1では6.5～20.4%と4倍超となっています。

### (2) 子どもの生活水準

#### ① 所有物の状況

小学校5年生、中学校2年生でスマートフォンや携帯音楽プレーヤー、16-17歳では自由に使えるお金、自分に投資するお金がほしいという割合が上位。

小学校5年生、中学校2年生で持っていないがほしいとした物品は、「携帯電話、スマートフォン」「携帯音楽プレーヤーなど」が上位となっており、また、16-17歳では、「月、5,000円ほどの、自分で自由に使えるお金」「自分に投資するお金（自分のためになる本、職業訓練コースなど）」「友人と遊びに出かけるお金」が上位となっています。16-17歳ではお金に加え「家の中で勉強ができる場所」「インターネットにつながるパソコン・タブレット端末」「自分の部屋」などにおいて、区分1での割合が区分2に比べて高くなっています。

#### ② 子どもへの支出

習い事、塾に通わせる、家族旅行に行くなどを経済的にできない割合は区分1で高い

経済的にできないと子どもへの支出の上位は、「習い事」「学習塾に通わせる」「1年に1回くらいの家族旅行」であり、約1～3割の世帯が該当しています。区分1では約4～7割とその割合が高く、また子どもの年齢が高い世帯ほど、経済的にできないとする割合が高くなっています。

### ③ 子どもの体験

- ・ 総体的に中学校 2 年生の体験が「ある」割合は低い
- ・ 海水浴などの体験が経済的にできない割合は区分 1 で高い

「海水浴・釣り・登山などに行く」や「遊園地やテーマパークに行く」などの体験をすることがあるかについて、「ある」と回答した割合は、中学校 2 年生がその他の年齢層と比べ総じて低くなっています。また、経済的な理由で体験が「ない」と回答したのは、体験の種類により多少の差異はあるものの、全体では、小学校 1 年生で 0.3～3.9%、小学校 5 年生で 1.3～8.9%、中学校 2 年生で 2.7～9.2%、16-17 歳で 0.5%～4.9%となっており、その割合は区分 1 でさらに高くなっています。

### (3) 子どもの食と栄養

#### ① 朝食の摂取状況

平日の朝食を毎日食べる割合は、区分 1 で低く 8 割に満たない。

いずれの年齢層も子ども 8 割以上、保護者の 8 割前後が「いつも食べる（週に 5 日）」と回答していますが、子どもの約 1 割、保護者でも 1 割超が「食べないほうが多い（週に 1、2 日）」、「いつも食べない」と回答しており、その割合は区分 1 でさらに高くなっています。

#### ② 栄養群の摂取状況

- ・ 給食以外にくだものを「毎日」食べる割合は 2～3 割程度であり、区分 1 はさらに低い
- ・ 区分 1 は給食以外に「野菜」、「肉か魚」を摂取する日数が少ない
- ・ 16-17 歳の区分 1 で果物の摂取頻度が少ない。

子どもの 2～3 割は給食以外にくだものを毎日食べていますが、区分 1 では小学校 5 年生では 15.1%、中学校 2 年生では 15.8%とその割合は低くなっています。特に小学校 1 年生では「週に 1 日以下」「食べない」割合が区分 1 で 32%と区分 2 と比べ約 3 倍となっています。

小学校 5 年生、中学校 2 年生とも約 5～6 割が給食以外に野菜や肉が魚を毎日食べていますが、「1 週間に 2～3 日」以下の子どもも存在し、区分 1 ではその割合はさらに高くなっています。

16-17 歳の食品群別摂取頻度について、たんぱく質、野菜、乳製品のいずれも、区分 1 でやや低いものの割合に大きな差はみられませんが、「果物」では、区分 1 の 26.7%に対し区分 2 は 52.6%と約 2 倍の割合となっています。

#### (4) 家計の状況

##### ① 世帯年収について

世帯年収について、「0～300万円未満」の割合を比較すると、全体では、小学校1年生で11.0%、小学校5年生で16.3%、中学校2年生で13.7%、16-17歳で16.4%であるのに対し、区分1では小学校1年生で34.0%、小学校5年生で46.8%、中学校2年生で32.6%、16-17歳で34.8%と2～3倍以上となっています。

##### ② 就学援助・高等学校等就学支援金制度について

区分1で就学援助費や高等学校等就学支援金を受給している割合は高い

就学援助を受けている区分1の割合は、小学校1年生で38.0%、小学校5年生で39.4%、中学校2年生で44.4%と高くなっています。就学援助を受けていない理由として、「援助が必要であるが申請要件を満たしていなかった」「援助が必要であるが申請の仕方がわからなかった」と回答した割合が区分2と比べ区分1で高くなっています。

16-17歳の約7割は高等学校等就学支援金の支給を受けていますが、入学準備の家計への負担感について「とてもあった」と回答した割合は、区分2の18.5%に対し区分1では67.4%と3倍以上になっています。

#### (5) 子どもの学びと学校生活

##### ① 学校の成績

子ども自身の成績評価は、区分1で低い傾向にある

主観的成績評価について「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた“下位”は区分1で割合が高く、小学校5年生で31.9%、中学校2年生で52.5%となっており、自身での成績評価の上がる傾向がみられます。

##### ② 授業の理解度

小学校5年生、中学校2年生の区分1では授業が“わからない”割合が高くなる

小学校5年生の79.6%が学校の授業を「いつもわかる」「だいたいわかる」と回答しているものの、18.9%は「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答しています。中学校2年生ではこの割合が29.8%です。区分1ではこの割合は高くなり、小学校5年生では24.2%、中学校2年生では41.9%となっています。

16-17歳の8割以上が「いつもわかる」「だいたいわかる」と回答しているものの、15.5%は、「あまりわからない」「わからないことが多い」と回答しています。

##### ③ 授業がわからなくなった時期

小学校5年生の授業が「あまりわからない」「ほとんどわからない」子どもの19.4%が、小学3年生までにはわからなくなったと回答し、中学校2年生でも48.2%が、小学生段階でわからなくなったと回答しています。

#### ④ 勉強を教えてくれる人

小学校 5 年生では「親」「友だち」「学校の先生」の順に多く、区分 1 で「学校の先生」の割合が区分 2 に比べ約 11 ポイント高くなっています。中学校 2 年生では「友だち」「学校の先生」「親」の順ですが、区分 1 では「親」の割合が区分 2 に比べ約 18 ポイント低くなっています。16-17 歳では「友だち」「学校の先生」「塾・予備校や習い事の先生」の順に多くなっています。

#### ⑤ 学校外での学習時間

平日 1 時間以上勉強する割合は、いずれの年齢層でも区分 1 でやや低い

平日、学校以外での学習時間を 1 時間以上するとの回答は、小学校 5 年生は区分 2 の 45.7%に対し、区分 1 は 37.4%、中学校 2 年生では区分 2 の 58.9%に対し区分 1 は 44.9%と、区分 1 でやや低くなっています。16-17 歳でも差は大きくありませんが区分 2 の 52.7%に対し区分 1 では 48.9%となっています。

#### ⑥ 子どもの将来の進学希望

「大学またはそれ以上」への進学を希望している子どもは、区分 1 で少ない

進路に関する意識は、区分による大きな差はみられませんが、中学校 2 年生では「大学またはそれ以上」を区分 2 の 40.7%が希望しているのに対し、区分 1 では 30.3%と 10 ポイントほど低くなり、「高校まで」が 21.2%と 10 ポイントほど高くなっています。

16-17 歳では、専門学校以上の進学を希望している割合が高くなっていますが、「専門学校」への進学希望は区分 1 の 46.7%に対し区分 2 で 26.9%、「四年制大学」への進学希望は区分 1 の 46.7%に対し区分 2 で 65.4%となっています。

#### ⑦ 保護者が子どもに受けさせたい教育段階

子どもに「大学またはそれ以上」の教育を希望している割合は、区分 1 で低い

子どもに受けさせたい教育段階に関する保護者の意識は、いずれの年齢層とも区分によって差がみられ、区分 1 で「大学またはそれ以上」の割合は低く、「短大・高専・専門学校まで」の割合が高くなっています。

## (6) 子どもの日常生活

### ① 平日の食事

- ・朝食を「ひとりで食べる」割合は小学校5年生、中学校2年生とも区分1で高い
- ・中学校2年生の約1割は、夕食をひとりで食べている

平日の食事は、「家族（親）」「家族（兄弟姉妹）」と一緒に食べると回答が高くなっていますが、朝食を「ひとりで食べる」との回答は区分1で高く、小学校5年生で23.1%、中学校2年生で37.4%となっています。また、中学校2年生の1割程度は夕食を「ひとりで食べる」と回答しています。

### ② 放課後を一緒に過ごす人

約1割の子どもが放課後をひとりで過ごしている

放課後を一緒に過ごすことが多い人は、「家族」が最も多く小学校5年生で66.3%、中学校2年生で41.2%、16-17歳で37.9%となっています。次いで、中学校2年生、16-17歳の約4割は「学校の友だち」と回答しています。

しかし、小学校5年生、中学校2年生の約1割、16-17歳の約2割は「ひとりでいる」と回答しており、その割合は区分1でやや高くなっています。

### ③ 放課後を過ごす場所

- ・放課後を「毎日」自宅で過ごしている割合は7~8割
- ・中学校2年生の約8割は部活動に参加しているが、区分1では8割に満たない

小学校5年生、中学校2年生、16-17歳いずれも約7~8割が放課後を「毎日」自宅で過ごしており、区分による大きな差はみられません。

中学校2年生の部活動への参加状況は、区分2が89.4%であるのに対し区分1では72.7%と16ポイントほど低くなっています。

### ④ 休日の過ごし方

- ・休日を自宅で家族と過ごしている割合が最多
- ・年齢が上がるほどひとりでいる割合が増加

休日を過ごす場所は、小学校5年生、中学校2年生、16-17歳のいずれも「自分の家」が約8割となっており、一緒に過ごす人についても「家族」が最も多くなっている一方、年齢が高くなるにつれ「ひとりでいる」割合が高くなっています。



## ⑤ 活動の状況について

- ・約3割は毎日家事をしており、区分1では「毎日2時間以上」の割合が高い
- ・約1割の小学校5年生が「毎日2時間以上」親や兄弟姉妹、祖父母の世話や介護をしている

毎日ゲーム機で遊ぶ割合は小学校5年生、中学校2年生、16-17歳のいずれも7割を超え、2時間以上遊ぶ割合は年齢が高くなるにつれ高くなっています。

小学校5年生、中学校2年生、16-17歳のいずれも約3割は毎日家事をしており、区分1では「毎日2時間以上」の割合が高くなっています。

小学校5年生の約1割が親や兄弟姉妹、祖父母の世話や介護を「毎日2時間以上」していると回答しています。

## ⑥ 運動の状況について

30分以上体を動かす遊びや習いごとについて、「ほとんどしない・全くしない」の割合が小学校5年生の区分2が17.8%に対し区分1で37.4%、16-17歳の区分2が25.6%に対し区分1で51.1%と2倍以上高くなっています。

## ⑦ 会話の頻度

家族（親）との会話については小学校5年生、中学校2年生、16-17歳のいずれも「よく話す」「ときどき話す」の割合は約7～8割と高くなっていますが、中学校2年生、16-17歳では「よく話す」相手の割合は、友だちが最多となっています。また、中学校2年生はその他の年齢層に比べ、家族（親、兄弟姉妹、祖父母など）と話す割合の低い傾向がみられます。

## ⑧ 子どもとのかかわりの頻度

子どもの勉強をみる、学校の話「ほぼ毎日」する割合は区分1で低い

子どもの勉強をみる、学校の話「ほぼ毎日」する割合は小学校5年生、中学校2年生、16-17歳いずれも区分1で低くなっている一方、一緒に外出を「ほぼ毎日」する割合は区分1で高くなっています。子どもと遊ぶ頻度は、区分にかかわらず年齢とともにその割合は低くなる傾向がみられます。

## ⑨ 子ども本人の支援サービス利用意向について

静かに勉強できる場所や放課後や休日の居場所の支援サービスで利用の意向が高い

「(家以外で) 休日にいることができる場所」「家で勉強できないとき、静かに勉強できる場所」「(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所」を「使ってみたい」と回答した割合が高く、年齢が高くなるにつれその意向は高くなる傾向がみられます。

## (7) 子どもの健康

### ① 健康状態

主観的健康状態、保護者からみた子どもの健康状態はいずれも区分1で低い傾向にある

子どもの約3割は自分の健康状態が「よい」「どちらかといえばよい」回答していますが、その割合は小学校5年生、中学校2年生、16-17歳のいずれも区分1で低くなっています。保護者からみた子どもの健康状態でも同様に区分1で低くなっています。保護者からみた子どもの健康状態で「よい」「どちらかといえばよい」の全体の割合は約7~8割となっていますが、子ども自身の回答では約4割前後であり、保護者と子どもの認識に差が生じています。

### ② 医療受診抑制経験及び各種予防接種の状況

医療機関の受診抑制の経験がある割合が区分1で高いがその割合は約3割以下

小学校1年生の32.0%、小学校5年生の14.9%、中学校2年生の15.2%、16-17歳の19.6%で医療受診抑制の経験があり、その理由としては「子どもの様子を見て受診させなくてもよいと判断したため」「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が多くなっていますが、中学校2年生、16-17歳では「子どもが受診しなかったため」も多くなっています。

### ③ 16-17歳の医者への受診状況

16-17歳が必要なときにいつでも医者にかかることができる割合は区分1で低い

必要なときに医者にかかることが「いつでもできる」と回答した割合は区分2の88.5%に対し区分1では68.9%と20ポイントほど低くなっています。

## (8) 自己肯定感

### ① 自己肯定感

小学校5年生、中学校2年生の区分1は自己肯定感が低い傾向があり、反対に、16-17歳の区分1は自己肯定感が高い傾向がみられる

自己肯定感について8項目（16-17歳では9項目）を聞いたところで、小学校5年生、中学校2年生で区分2に比べ区分1で、自己肯定感が低い傾向がみられます。特に、「自分は価値のある人間だと思う」「孤独を感じることはない」「自分の将来が楽しみだ」について、区分1では区分2より「(あまり)思わない」と回答する割合が高くなっています。一方、16-17歳の区分1では区分2に比べ肯定的に捉える傾向がみられます。

## ② 子どもの心の状態

16-17歳子どもの心の状態をみると、10点以上のうつ病や不安障害などの精神的な問題を抱えているとみられる割合は区分1で高くなっていますが、「10～14点」は区分1の24.4%に対し区分2が9.0%となっている一方、「15点以上」の精神的な問題がより重い可能性がある割合は区分1の11.1%に対し区分2で16.7%となっています。

## ③ 子どもの主観的幸福度

16-17歳の子どもの、この1年間を振り返っての幸福度を0（とても不幸）から10（とても幸せ）の11段階で聞いたところ、5点、7点の回答が多くなっており、特に区分1では7点が37.8%と突出しています。

## (9) 保護者の状況

保護者の主観的健康状態、心の状態は区分1で悪い

### ① 健康状況

いずれの年齢層も約9割の保護者は、自分の健康状態について「よい」「まあよい」「ふつう」と答えていますが、この割合は区分1で低くなり、いずれの年齢層でも約8割となっています。

### ② 心の状態

いずれの年齢層も約4割～5割は5点以上で、何らかの心理的ストレスを抱えおり、区分1では約6～7割とその傾向は高くなっています。10点以上のうつ病や不安障害などの精神的な問題を抱えているとみられる割合は区分1で高くなっていますが、子どもの年齢が高くなるにつれその割合は低くなっています。

## (10) 保護者の就労状況

### ① 母親の就労状況

- ・母親の就労状況は正社員・正職員が半数だが、区分1ではその割合は低い
- ・土曜、日曜・祝日出勤の割合が区分1でやや高い

母親の就労状況は、いずれの年齢層も4～5割は「正社員・正職員」ですが、区分1ではその割合は低くなっています。また、小学校1年生では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が区分2の26.7%に対し区分1では46.9%と20ポイントほど高くなっています。

勤務状況について、土曜出勤の割合がいずれの年齢層も半数を占めており、日曜・祝日出勤も3～4割となっています。その割合は区分1でやや高くなっています。

2020年11月と比べ就労状況の変化や収入の減少があった割合は区分1で高くなっています。

## ② 父親の就労状況

- ・父親の就労状況は正社員・正職員が最も多いが、区分1ではその割合は低い
- ・2020年11月と比べ就労状況の変化や収入の減少があった割合は区分1で高い

父親の就労状況は、いずれの層も「正社員・正職員」が高く約7～8割となっています。勤務状況について、土曜出勤の割合がいずれの年齢層も多数を占めて5～8割となっており、日曜・祝日出勤も4～5割となっています。その割合は16-17歳を以外の区分1でやや高くなっています。

2020年11月と比べ就労状況の変化や収入の減少があった割合は区分1で高くなっています。

## (11) 頼れる親族・友人・相談相手の有無

日常的に頼れる親族・友人や困ったときの相談相手がいる割合は区分1で低い

### ① 頼れる親族・友人の有無

保護者の日常的に頼れる親族がいると回答した割合はいずれの年齢層も約6割となっていますが、その割合は区分1で低く、子どもの年齢が高くなるにつれ高くなる傾向がみられます。また、友人については、約3～5割「頼れない・いない」と回答しています。

### ② 相談相手

困ったときに相談する相手はいずれの年齢層も「家族」「友人・知人」「職場の同僚」の順に高くなっていますが、その割合は区分2に対し区分1で10～20ポイントほど低くなっています。

## (12) 制度・サービスの利用

### ① 子ども関連情報の入手方法・入手意向

区分2に比べ区分1の家庭の方が、行政発信の情報が届いていない可能性が高い

いずれの年齢層も「学校からのお便り（紙のもの）」と「行政機関の広報誌」から子ども関連の情報を入手していますが、行政発信の情報取得方法である「行政機関の広報誌」「行政機関のホームページ」について区分2に対し区分1で利用の割合が低くなっています。

### ② 子育て支援制度の利用状況・認知状況

子育て支援制度の中で子ども食堂や学習支援の制度を知らなかった割合が区分1で高く、支援が必要と思われる子どもが支援サービスを知らずに利用していない可能性が高い

小学校1年生、小学校5年生、中学校2年生ではファミリー・サポート・センター、子ども食堂、学校が実施する学習支援、学校以外が実施する学習支援、16-17歳では学校以外で子どもについて何でも相談できる場所、子ども食堂、中学卒業後の子どもが自由に時間を過ごせる場所、学校が実施する学習支援、学校以外が実施する学習支援について、「制度等について全く知らなかった」の回答が高くなっており、特に区分1でその割合が高い傾向がみられます。

### ③ 各種経済的支援制度の利用経験

区分1では経済的支援制度を全く知らない割合が高い

いずれの年齢層も区分1の約3～5割が生活福祉資金、母子父子寡婦福祉金について「制度等について全く知らなかった」と回答しています。また、生活保護、児童扶養手当についても1～2割が「制度等について全く知らなかった」と回答しており、区分1でその割合が高い傾向がみられます。

### (13) 相談窓口の利用状況

相談窓口や方法がわからなかった割合は区分2に比べ区分1で高い

相談先は区分にかかわらず「学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」が多く3～6割が「相談したことがある」と回答しています。

一方で、「相談する窓口や方法がわからなかった」と答えた割合は、区分2に比べ区分1で高い傾向がみられます。

### (14) 小学校1年生への調査

#### ① 保護者に聞いた子どもの状況

所有物、友だちとの関係などで区分1と区分2の違いが目立つ

小学校1年生では、子どもの所有物、栄養群の接種、友だちとの関係、食事の状況、過ごし場所などは、子どもではなく保護者に質問しています。所有物は、保護者がそれを子どもに持たせているか、与えているかの観点になりますが、区分1と区分2で割合の大きく異なる項目が少なくありません。また、友だちとの関係も、一緒によく遊んでいる、仲良くしている、友だちに好かれていると思うといった各設問で、区分1ではそう思う保護者の割合が低い傾向にあります。

#### ② 子どもの回答

いくつかの項目で区分1と区分2の違いが現れる

小学校1年生本人への質問は、「はい」か「いいえ」など2択で答えてもらうようになっています。全体でも区分別でも2つの選択肢の回答割合が拮抗する結果はなく、いずれかの選択肢がおおむね8割程度を超えています。 「じぶんは、ともだちとくらべて、ちがうところがあるとおもいますか。」に対しては全体で約65%が「はい」、約3割が「いいえ」と回答しています。

「学校以外でのなかよしの友だちがいるか」「自分は友だちと違うところがあると思うか」「先生との会話が楽しいか」「学校の給食の時間が楽しいか」「朝食を誰と食べるか」「大人になったらなりたいたいものがあるか」では、区分1と区分2で「はい(もしくは第1選択肢)」に5ポイント以上の開きがみられました。

## 第2章 子ども・保護者調査結果

### 1. 生活困難の状況

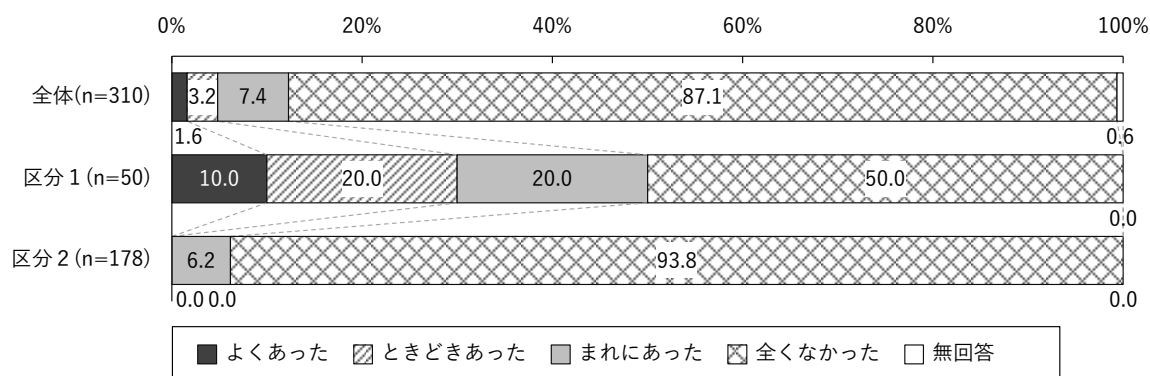
#### (1) 食料が買えなかった経験

【保護者設問】

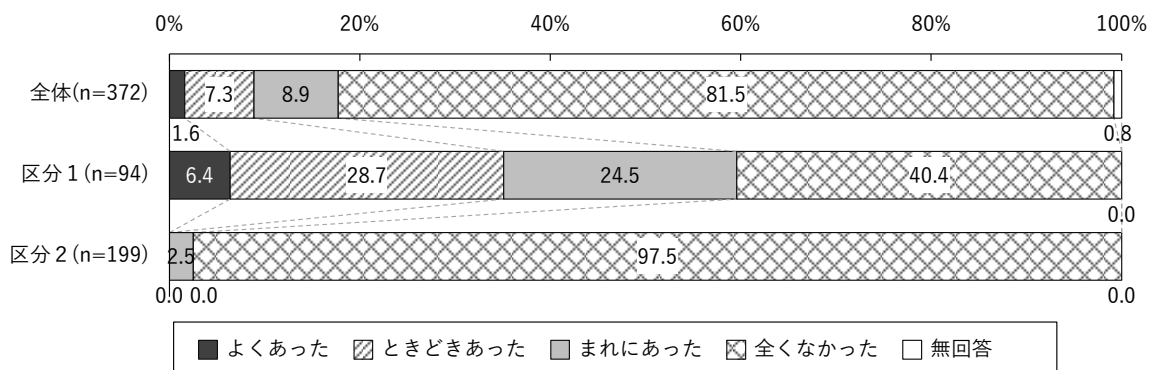
過去1年間に食料が買えなかったことについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、全体をみると中学校2年生で20.1%と他学年と比べ高くなっています。

区分別にみると小学校1年生は区分1で50.0%、区分2で6.2%、小学校5年生では区分1で59.6%、区分2で2.5%、中学校2年生では区分1で55.5%、区分2で6.9%、16-17歳では区分1で45.7%、区分2で6.2%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問36 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。

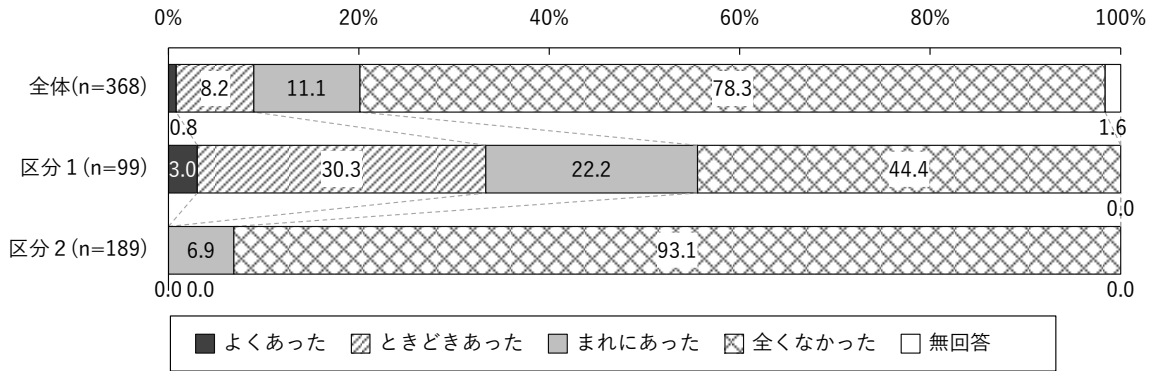


**小学校5年生** 問24 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。



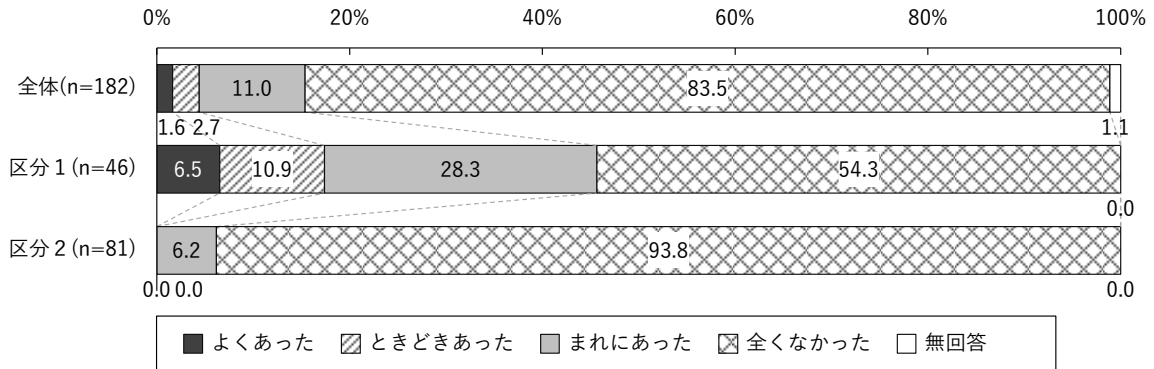
中学校2年生

問24 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。



16-17歳

問26 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。



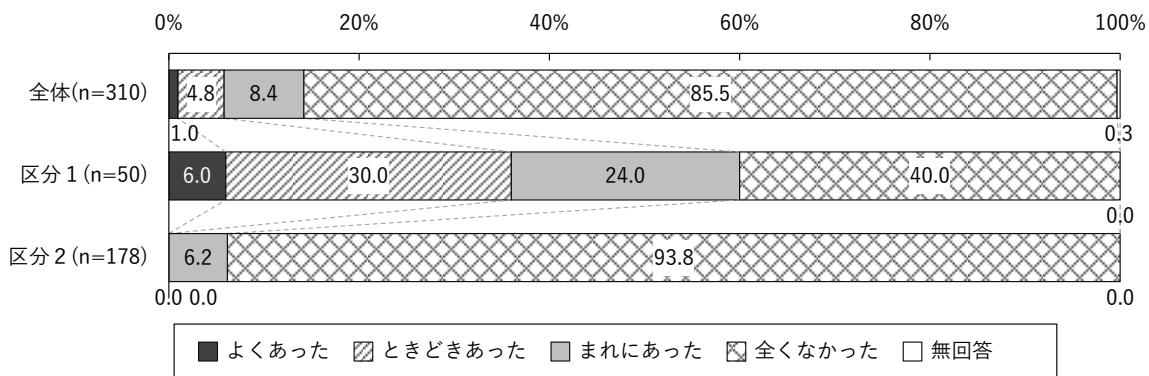
## (2) 衣類が買えなかった経験

【保護者設問】

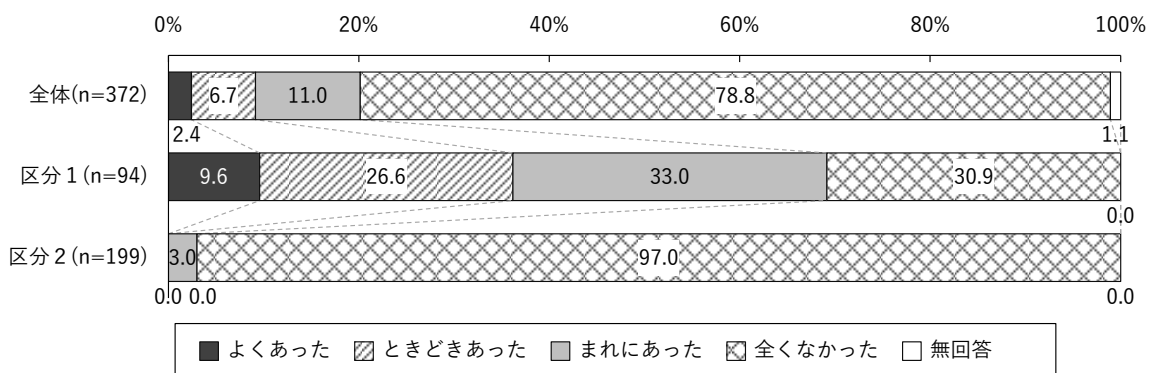
過去1年間に衣類が買えなかったことについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、全体をみると中学校2年生で22.9%と他学年と比べ高くなっています。

区別にみると小学校1年生は区分1で60.0%、区分2で6.2%、小学校5年生では区分1で69.2%、区分2で3.0%、中学校2年生では区分1で61.6%、区分2で7.4%、16-17歳では区分1で56.5%、区分2で6.2%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問37 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。

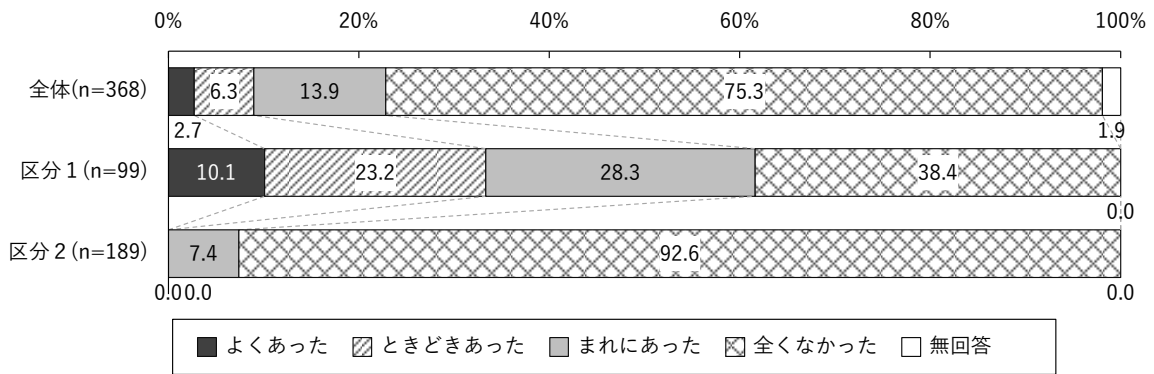


**小学校5年生** 問25 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。

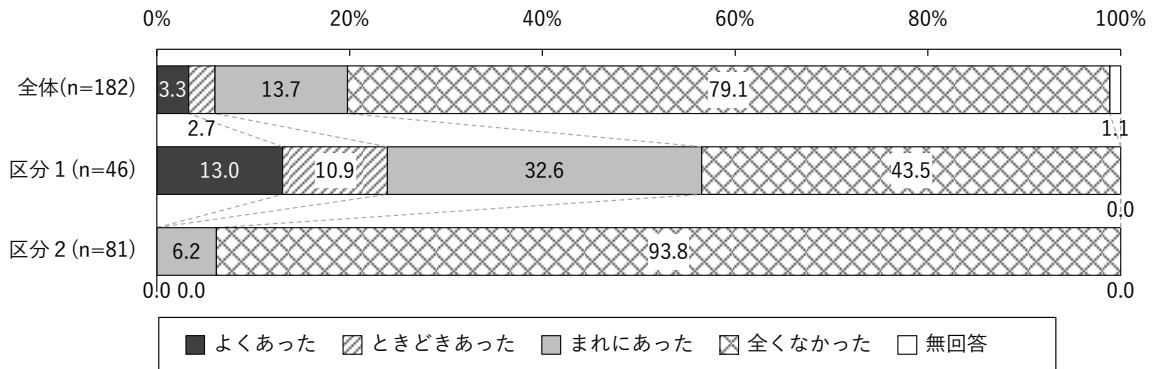




**中学校2年生** 問25 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。



**16-17歳** 問27 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。



### (3) 公共料金の滞納経験

#### A 電話料金

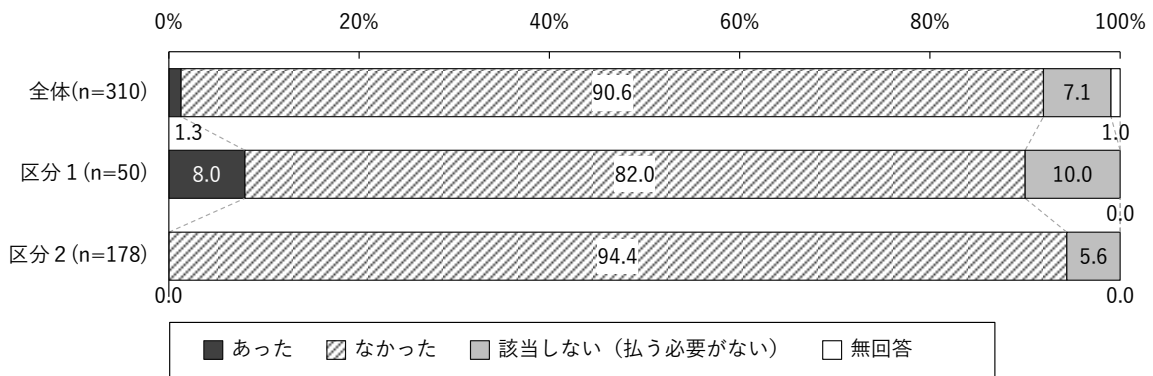
【保護者設問】

過去1年間に電話料金が支払えなかったことについて、「あった」と回答した割合は、全体をみると中学校2年生で5.4%と他学年と比べ高くなっています。

区別にみると「あった」と回答した割合は、小学校1年生は区分1で8.0%、小学校5年生では区分1で14.9%、中学校2年生では区分1で20.2%、16-17歳では区分1で13.0%となっており、区分2ではいずれの学年もありませんでした。

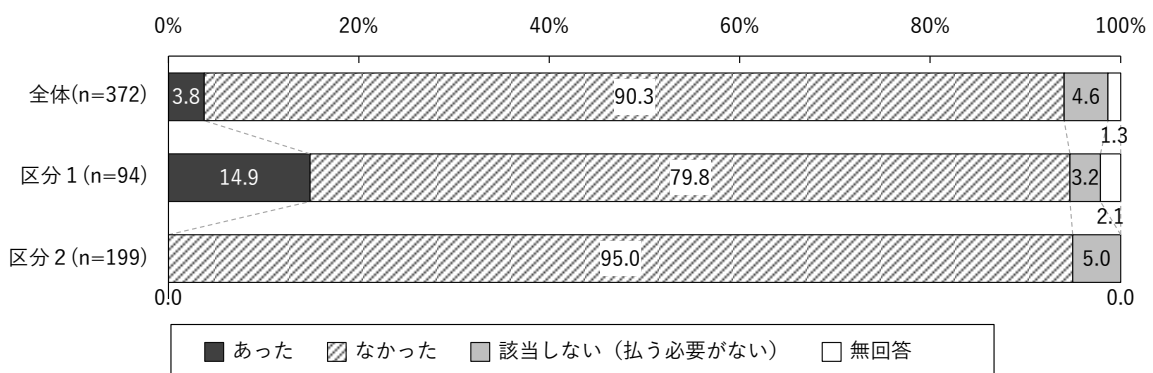
**小学校1年生** 問38 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払

えないことがありましたか。／A 電話料金



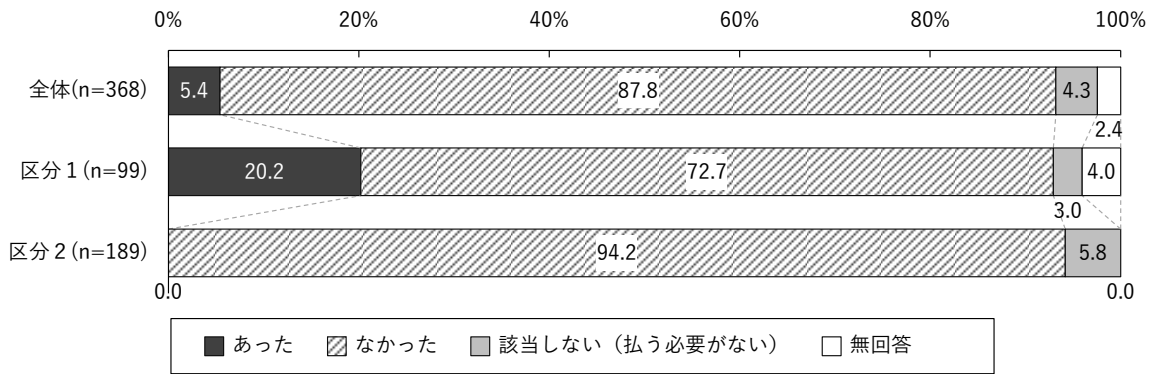
**小学校5年生** 問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払

えないことがありましたか。／A 電話料金



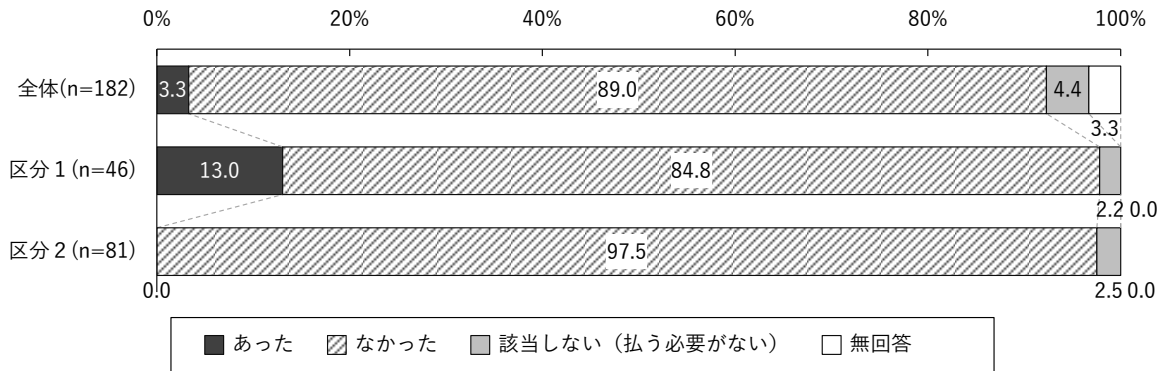
中学校2年生

問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／A 電話料金



16-17歳

問28 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／A 電話料金



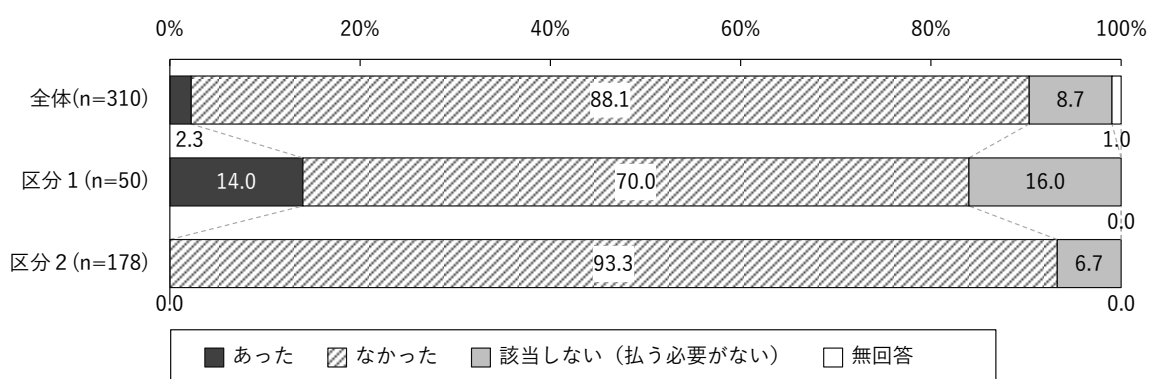
## B 電気料金

【保護者設問】

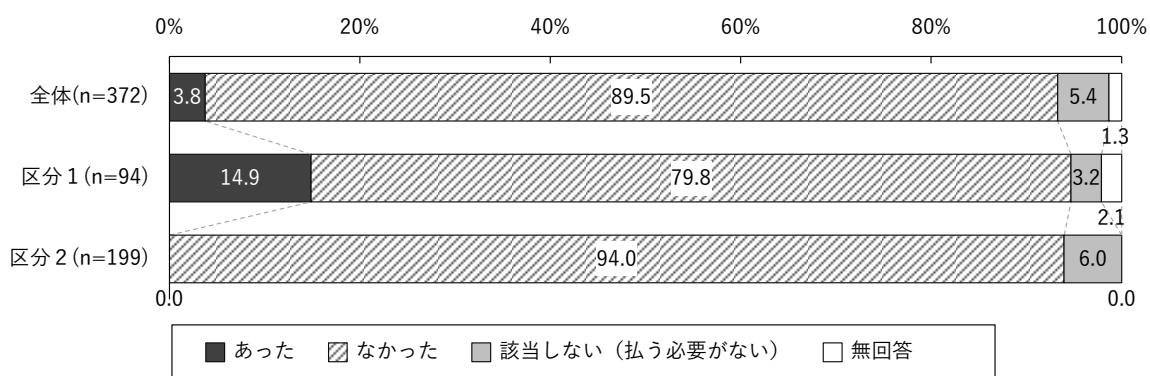
過去1年間に電気料金が支払えなかったことについて、「あった」と回答した割合は、全体をみると中学校2年生で4.1%、小学校5年生で3.8%と他学年と比べ高くなっています。

区別にみると「あった」と回答した割合は、小学校1年生は区分1で14.0%、小学校5年生では区分1で14.9%、中学校2年生では区分1で15.2%、16-17歳では区分1で8.7%となっており、区分2ではいずれの学年もありませんでした。

**小学校1年生** 問38 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／B 電気料金

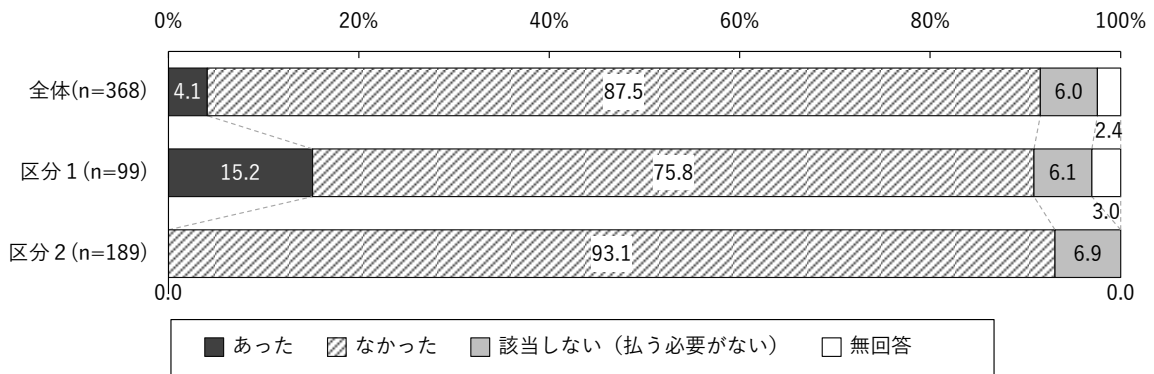


**小学校5年生** 問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／B 電気料金



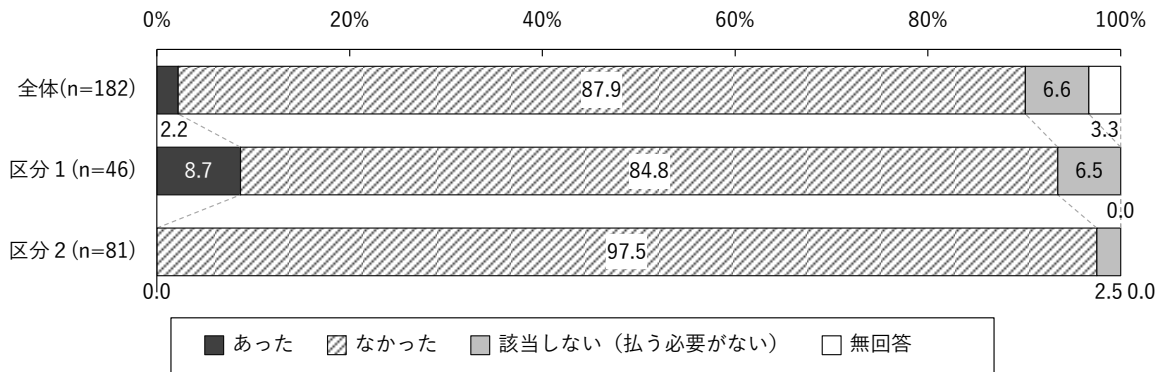
中学校2年生

問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／B 電気料金



16-17歳

問28 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／B 電気料金



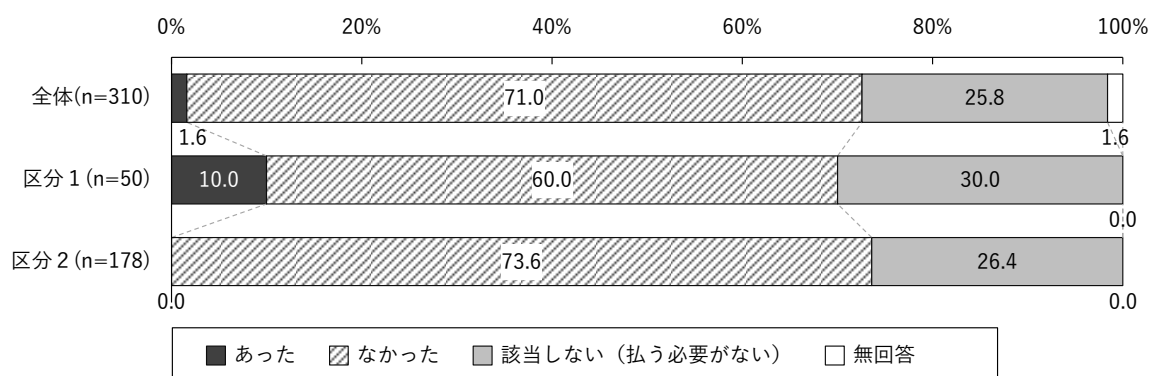
## C ガス料金

【保護者設問】

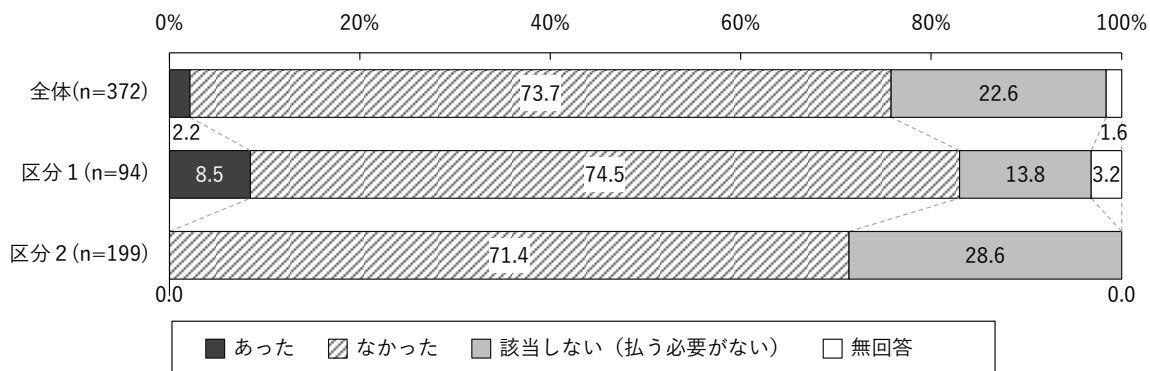
過去1年間にガス料金が支払えなかったことについて、「あった」と回答した割合は、全体をみると中学校2年生で4.1%と他学年と比べ高くなっています。

区分別にみると「あった」と回答した割合は、小学校1年生は区分1で10.0%、小学校5年生では区分1で8.5%、中学校2年生では区分1で15.2%、16-17歳では区分1で8.7%となっており、区分2ではいずれの学年もありませんでした。

**小学校1年生** 問38 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／C ガス料金

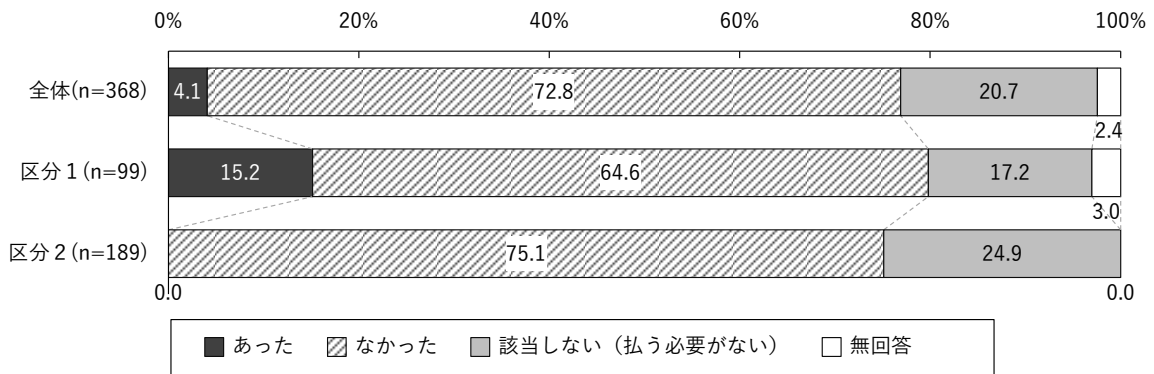


**小学校5年生** 問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／C ガス料金



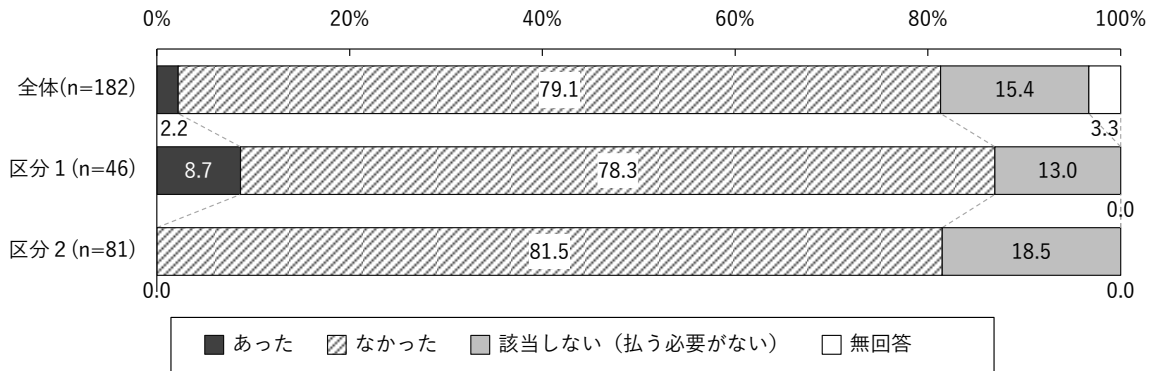
中学校2年生

問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／C ガス料金



16-17歳

問28 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／C ガス料金



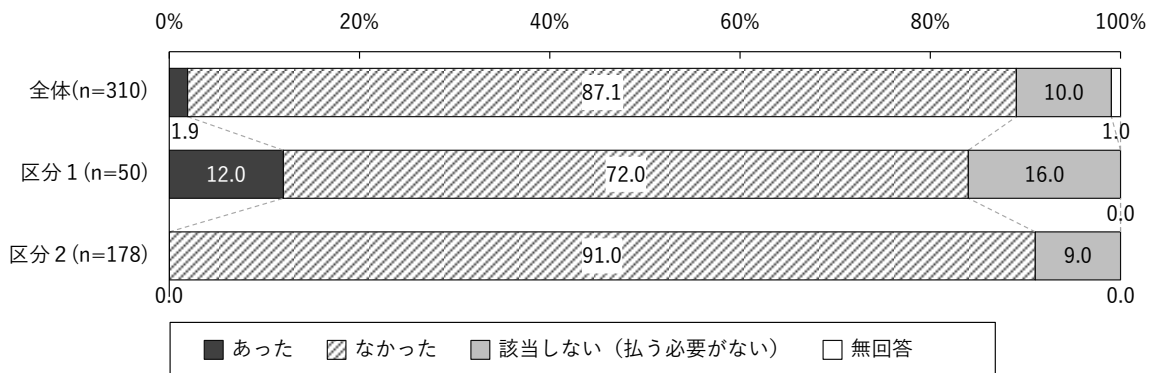
## D 水道料金

【保護者設問】

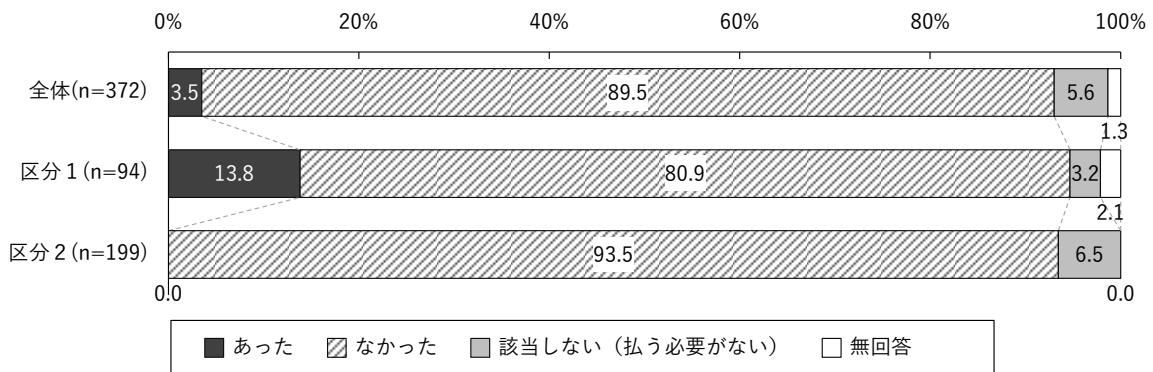
過去1年間に水道料金が支払えなかったことについて、「あった」と回答した割合は、全体をみると中学校2年生で4.1%、小学校5年生で3.5%と他学年と比べ高くなっています。

区分別にみると「あった」と回答した割合は、小学校1年生は区分1で12.0%、小学校5年生では区分1で13.8%、中学校2年生では区分1で15.2%、16-17歳では区分1で6.5%となっており、区分2ではいずれの学年もありませんでした。

**小学校1年生** 問38 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／D 水道料金



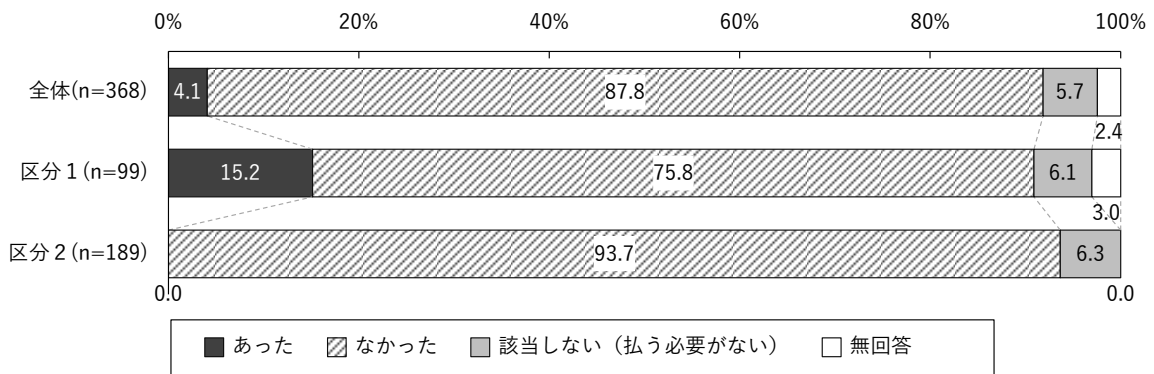
**小学校5年生** 問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／D 水道料金





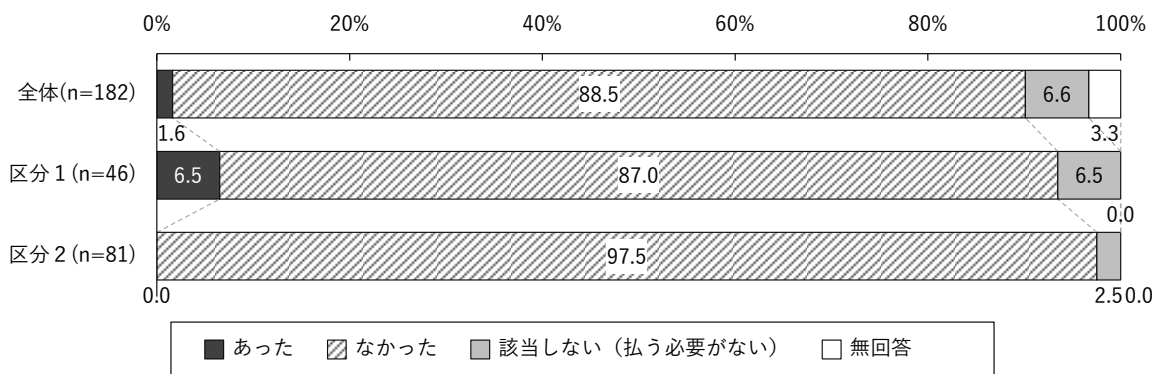
中学校2年生

問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／D 水道料金



16-17歳

問28 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／D 水道料金



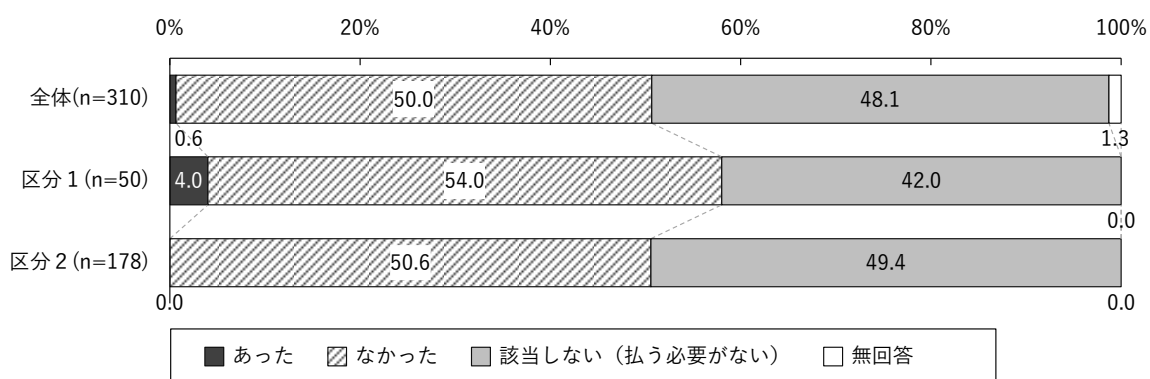
## E 家賃

【保護者設問】

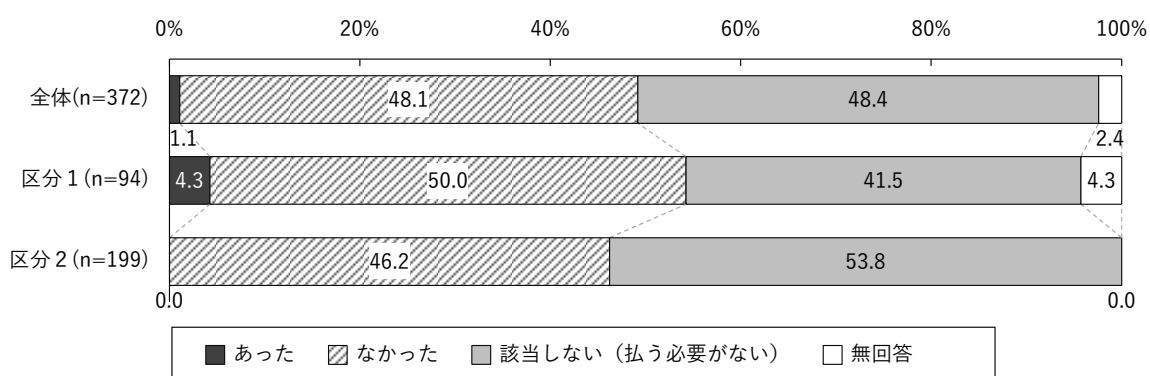
過去1年間に家賃が支払えなかったことについて、「あった」と回答した割合は、全体をみると中学校2年生、小学校5年生で1.1%、小学校1年生で0.6%、16-17歳で0.0%といずれも低く、大きな差はありません。

区別にみると「あった」と回答した割合は、小学校1年生は区分1で4.0%、小学校5年生では区分1で4.3%、中学校2年生では区分1で4.0%となっており、区分2ではいずれの学年もありませんでした。

小学校1年生 問38 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／E 家賃

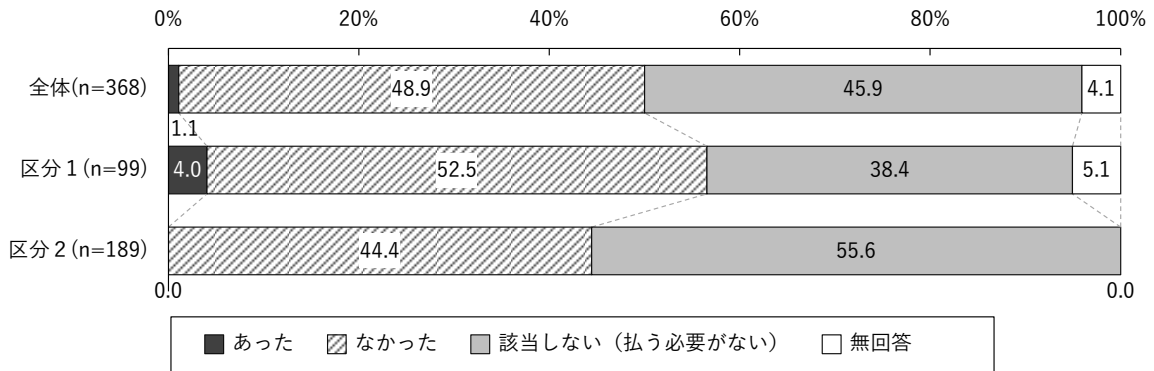


小学校5年生 問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／E 家賃



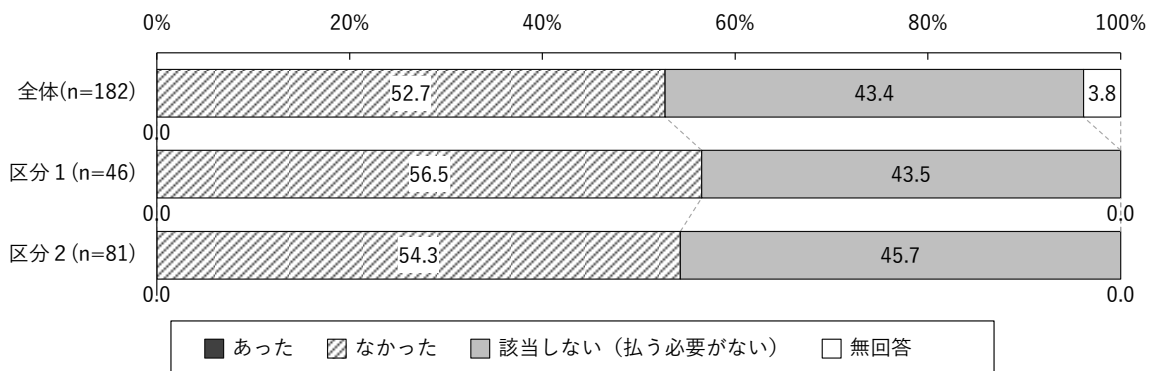
中学校2年生

問26 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／E 家賃



16-17歳

問28 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。／E 家賃



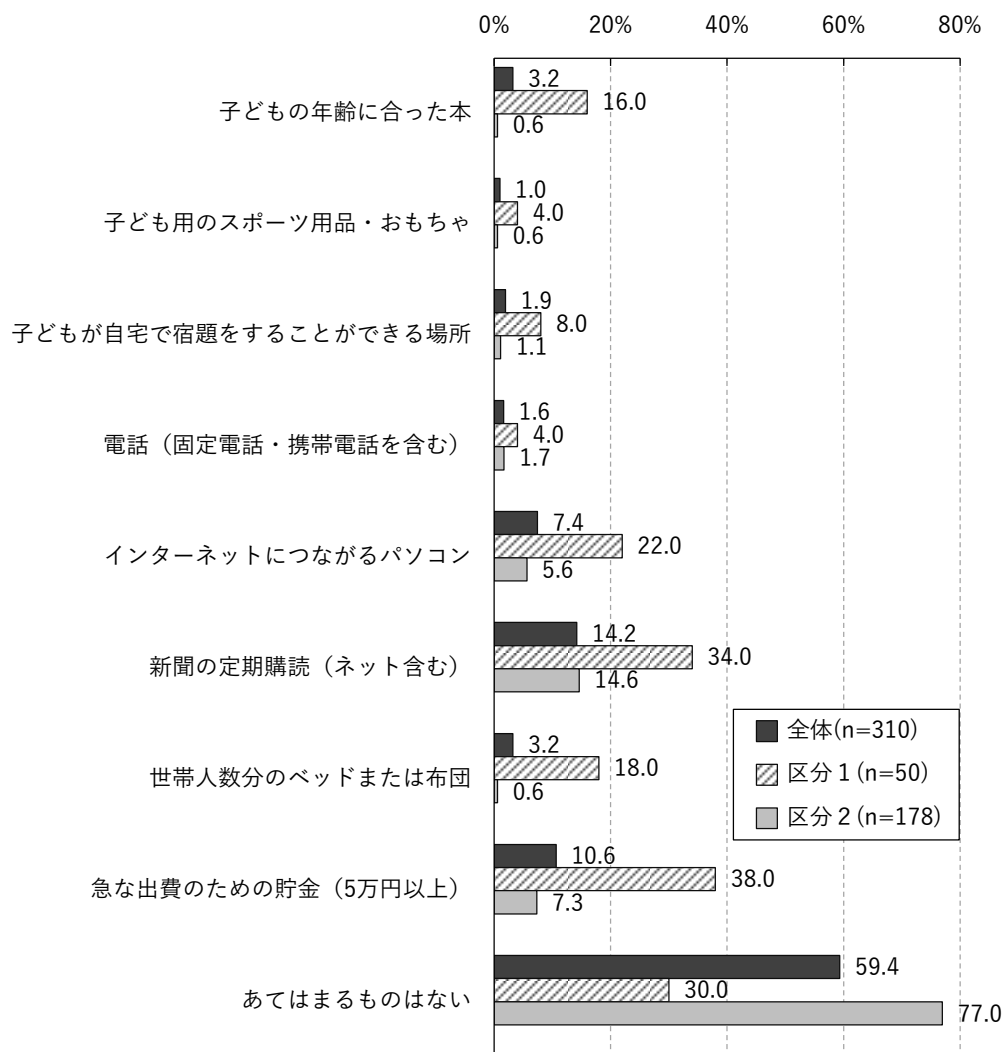
(4) 物品などの所有状況 (世帯にないもの)

【保護者設問】

家庭にないものについて、全体をみると小学校1年生は「新聞の定期購読 (ネット含む)」が14.2%、小学校5年生、中学校2年生では「急な出費のための貯金 (5万円以上)」でそれぞれ15.3%、17.4%、16-17歳では「新聞の定期購読 (ネット含む)」、「急な出費のための貯金 (5万円以上)」で12.1%と最も高くなっています。

区分別にみると「急な出費のための貯金 (5万円以上)」は小学校5年生、中学校2年生の区分1で50%以上と高くなっています。

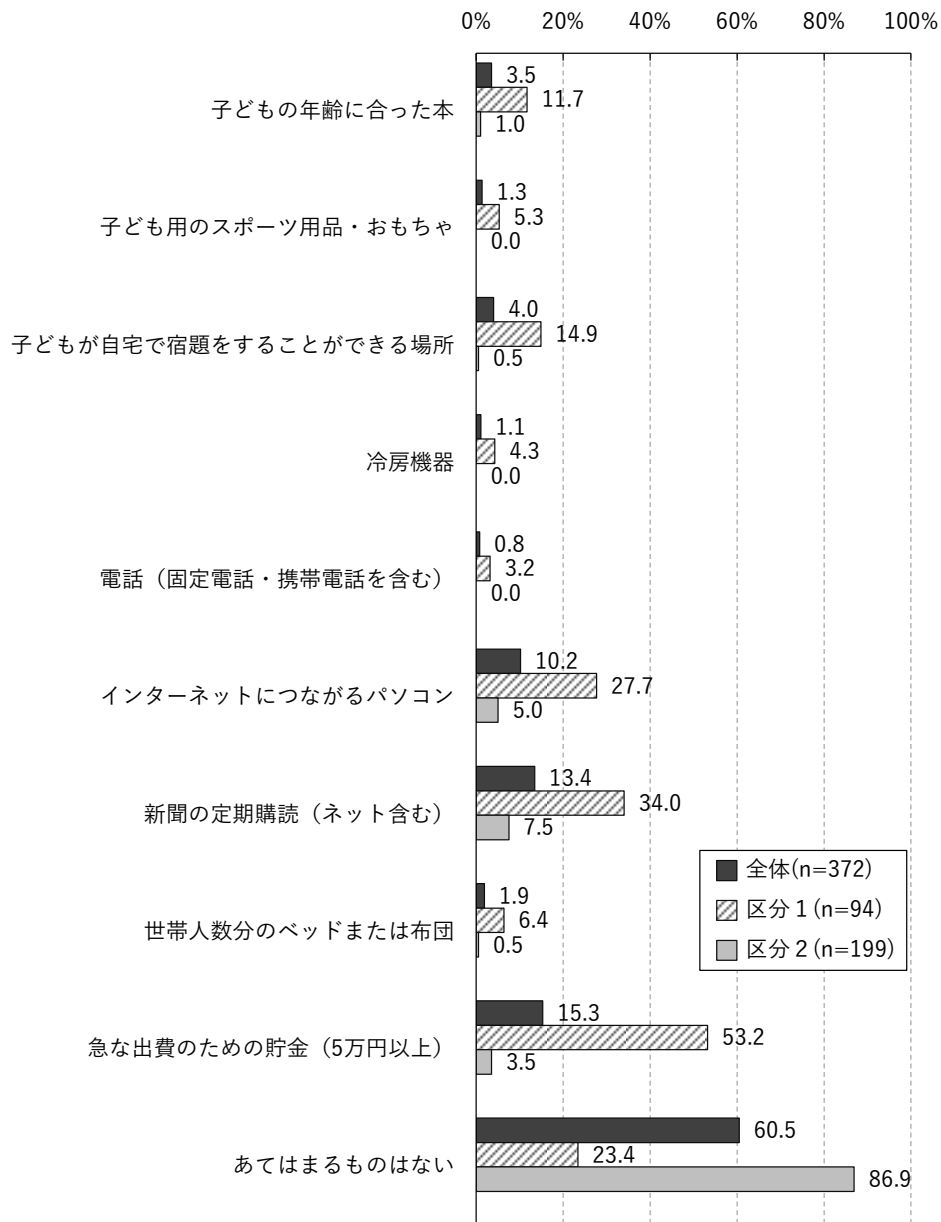
**小学校1年生** 問40 次のもののうち、経済的な理由のためにあなたのご家庭にないものはありますか。



※回答のあった項目のみ

小学校5年生

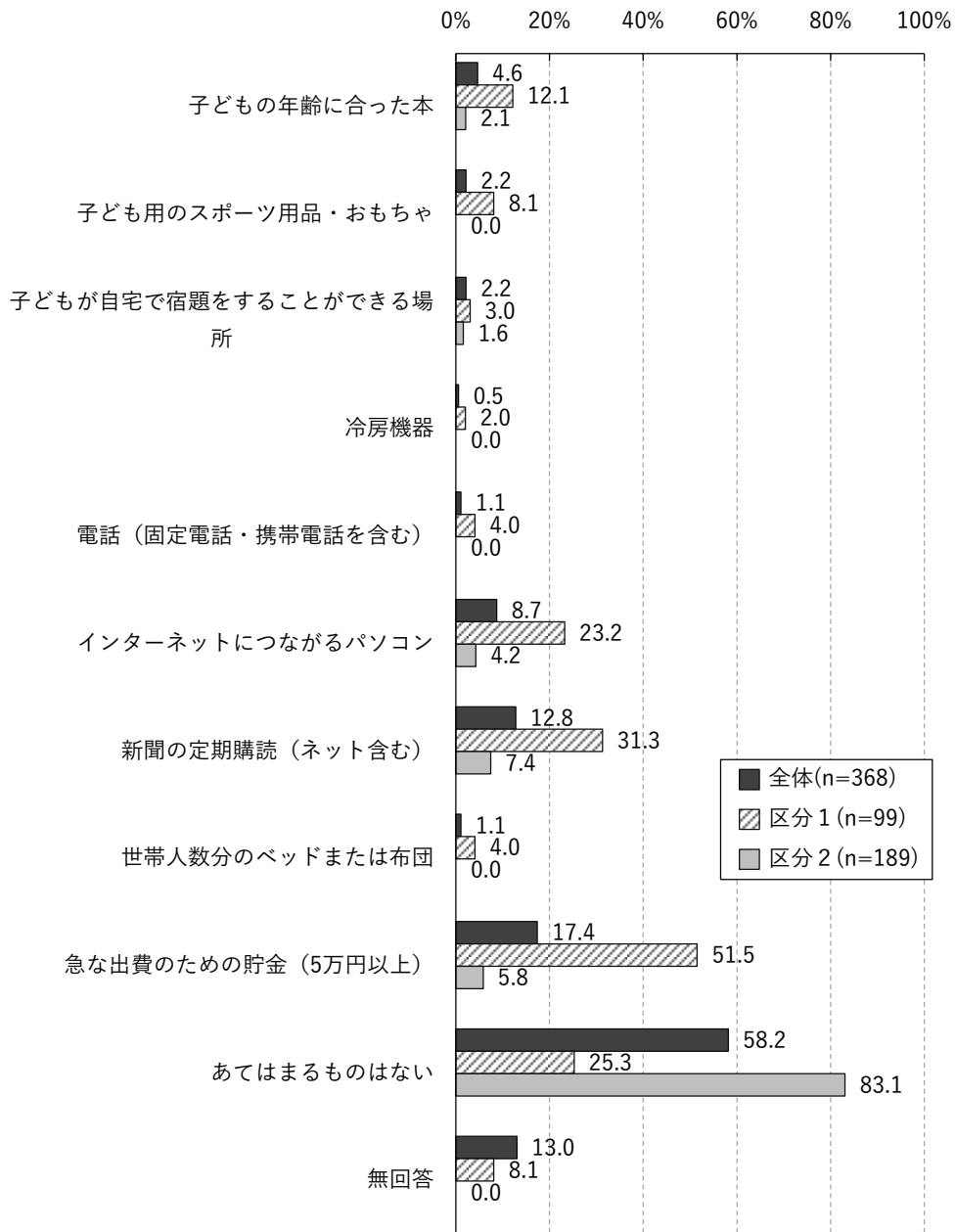
問28 次のもののうち、経済的な理由のためにあなたのご家庭にないものはありますか。



※回答のあった項目のみ

中学校2年生

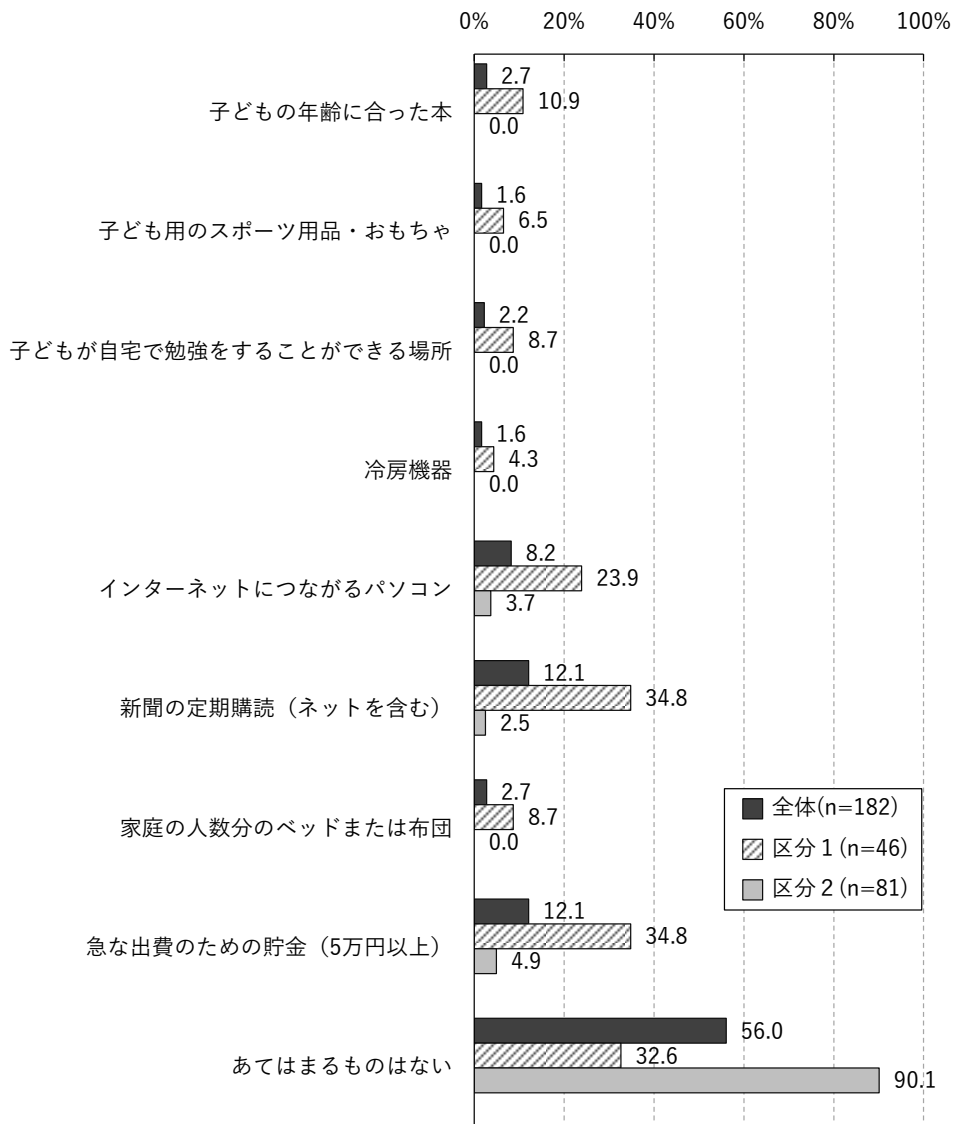
問28 次のもののうち、経済的な理由のためにあなたのご家庭にないものがありますか。



※回答のあった項目のみ

16-17歳

問30 次のもののうち、経済的な理由のためにあなたのご家庭にないものはありますか。



※回答のあった項目のみ

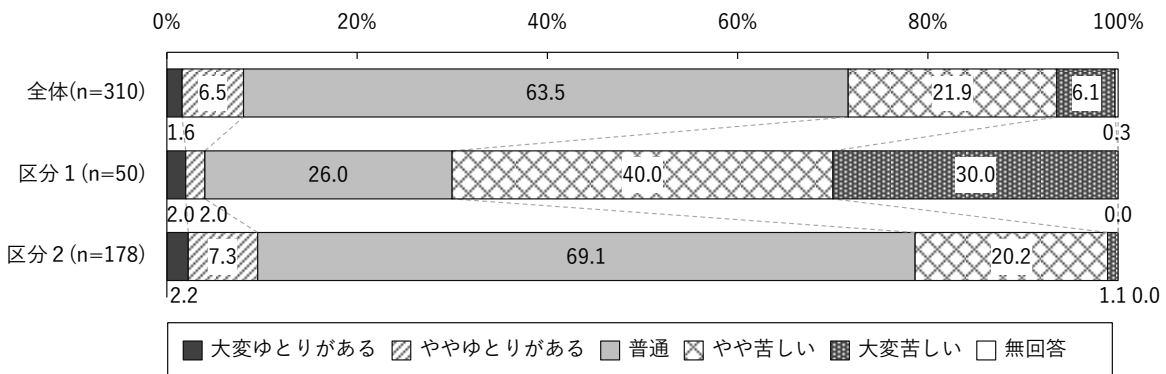
## (5) 現在の（主観的）暮らし向き

【保護者設問】

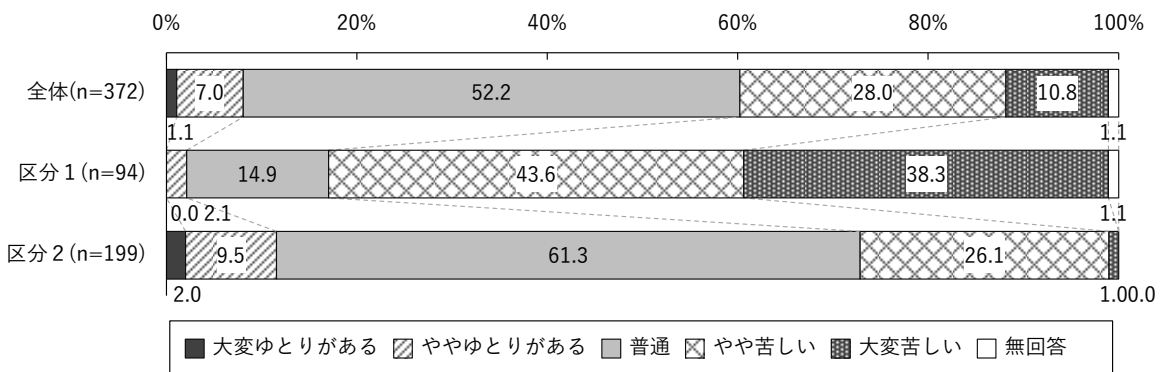
現在の暮らし向きについて、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた『苦しい』と回答した割合は、全体をみると16-17歳で42.8%、中学校2年生で40.0%と他学年と比べ高くなっています。

区別にみると小学校1年生は区分1で70.0%、区分2で21.3%、小学校5年生では区分1で81.9%、区分2で27.1%、中学校2年生では区分1で77.8%、区分2で24.3%、16-17歳では区分1で76.1%、区分2で29.7%といずれも区分1で高く、大きな差となっています。

**小学校1年生** 問35 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

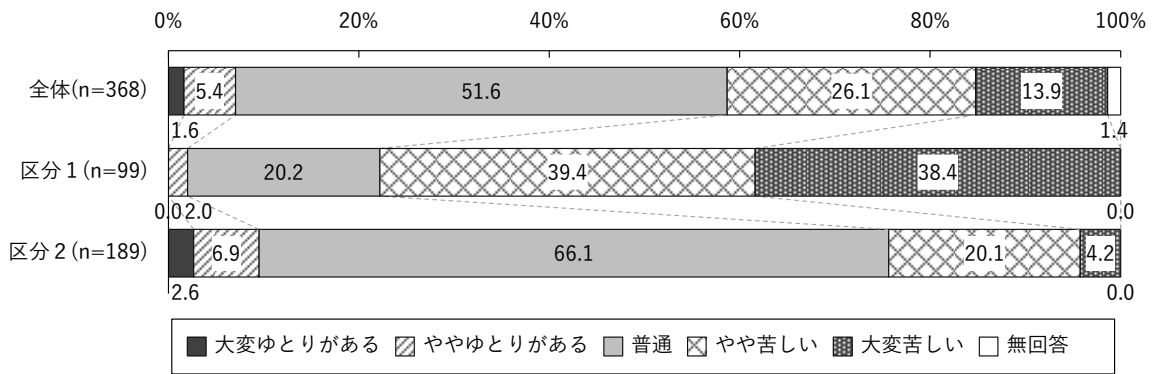


**小学校5年生** 問23 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

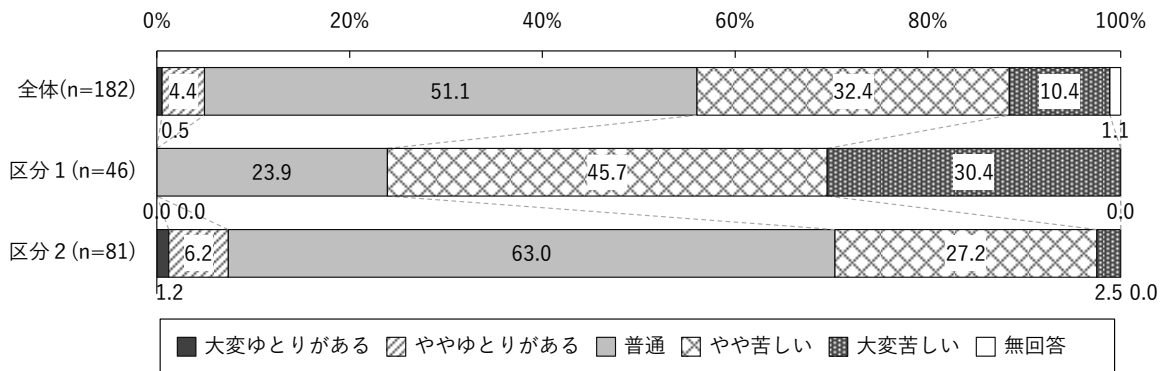




中学校2年生 問23 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。



16-17歳 問25 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。



## 2. 子どもの生活水準（所有物と体験）

### （1）小・中学生の所有物の状況

#### A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

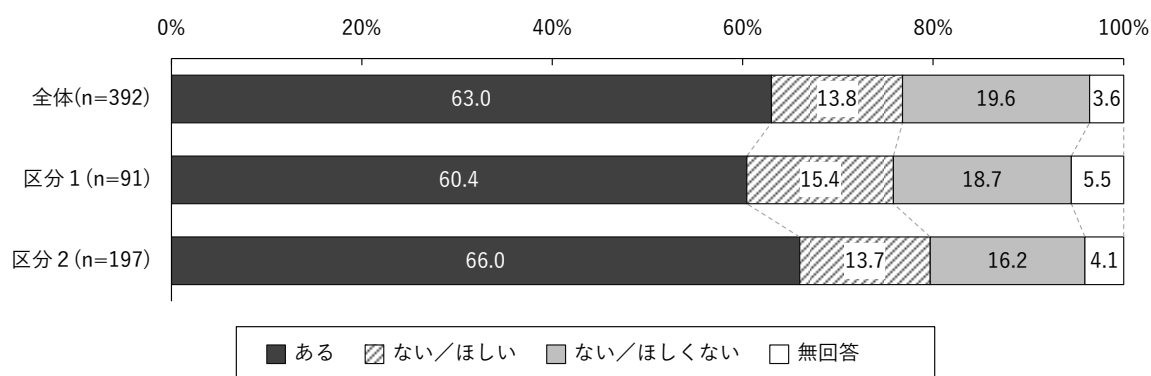
【子ども設問】

子どもの自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で33.4%、中学校2年生で19.7%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で34.1%、区分2で29.9%、中学校2年生では区分1で24.3%、区分2で15.3%といずれも区分1の方が高くなっています。

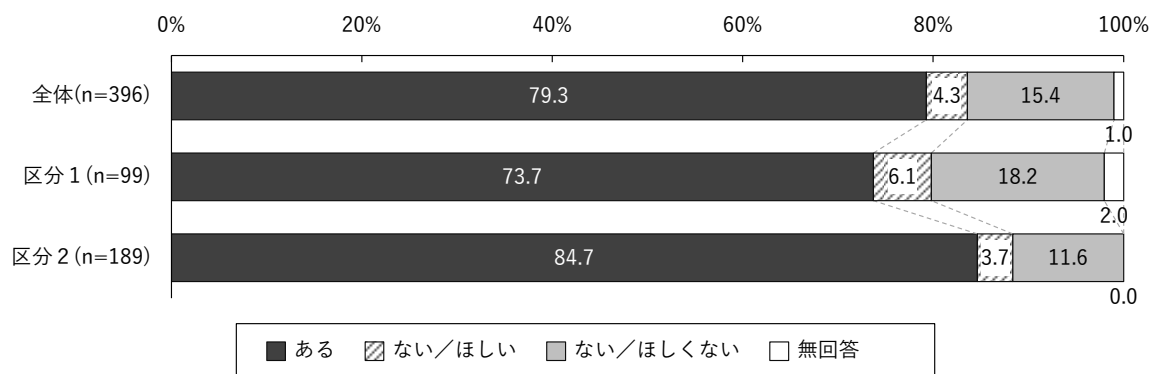
**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。

／A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。

／A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）



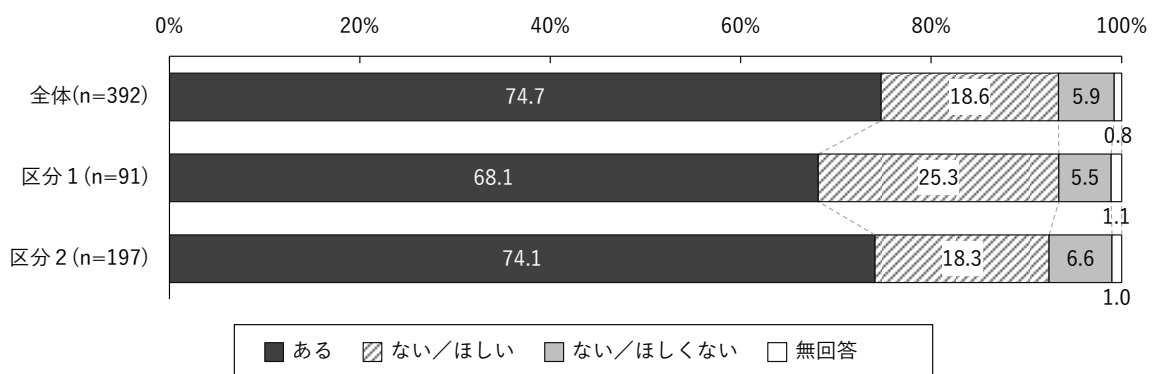
## B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくむ）

【子ども設問】

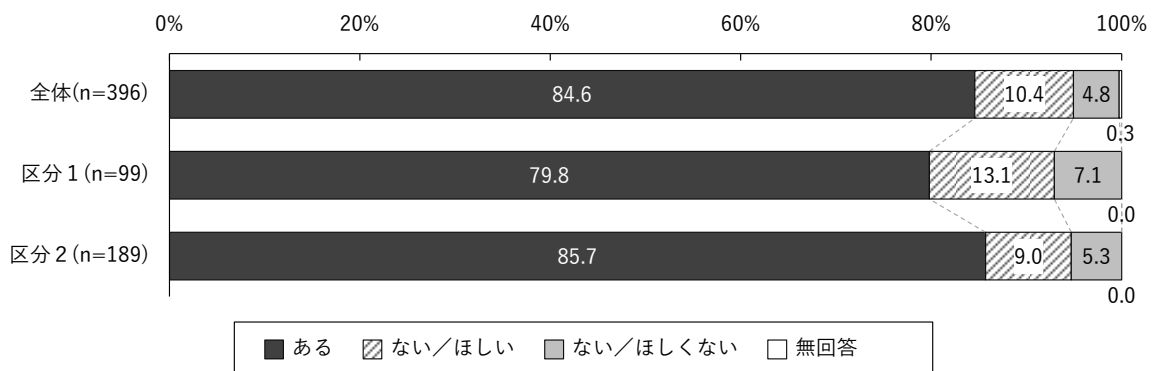
子どもの子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくむ）の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で24.5%、中学校2年生で15.2%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で30.8%、区分2で24.9%、中学校2年生では区分1で20.2%、区分2で14.3%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／B 子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくむ）



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくむ）



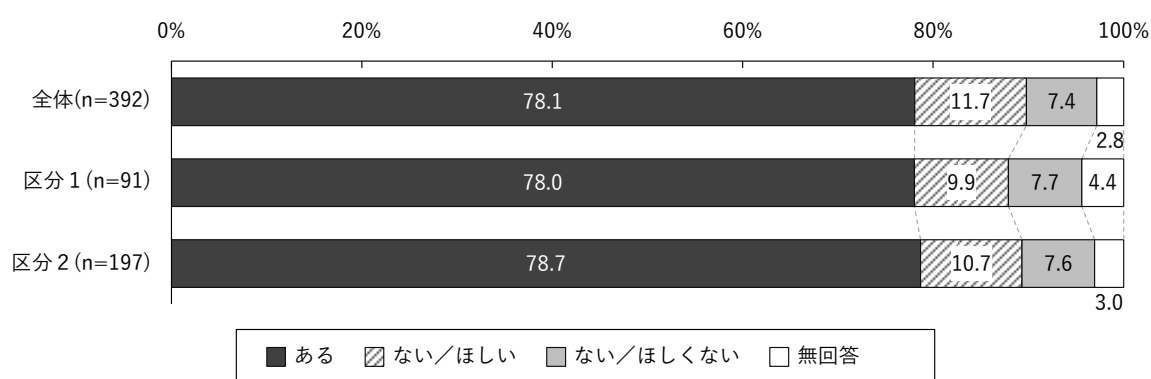
**C (自宅で)インターネットにつながるパソコン・タブレット端末  
(家族で共有している場合もふくむ)**

【子ども設問】

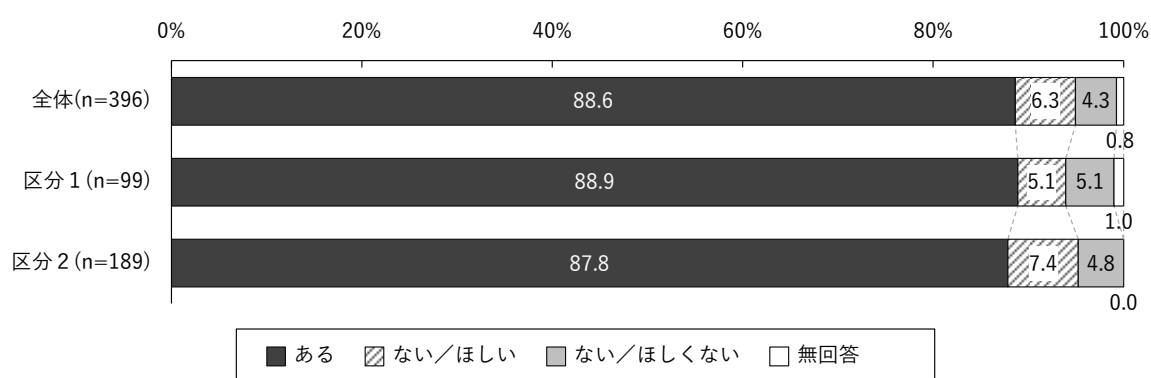
子どもの(自宅で)インターネットにつながるパソコン・タブレット端末(家族で共有している場合もふくむ)の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で19.1%、中学校2年生で10.6%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で17.6%、区分2で18.3%、中学校2年生では区分1で10.2%、区分2で12.2%と大きな差はみられません。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／C (自宅で)インターネットにつながるパソコン・タブレット端末  
(家族で共有している場合もふくむ)



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／C (自宅で)インターネットにつながるパソコン・タブレット端末  
(家族で共有している場合もふくむ)



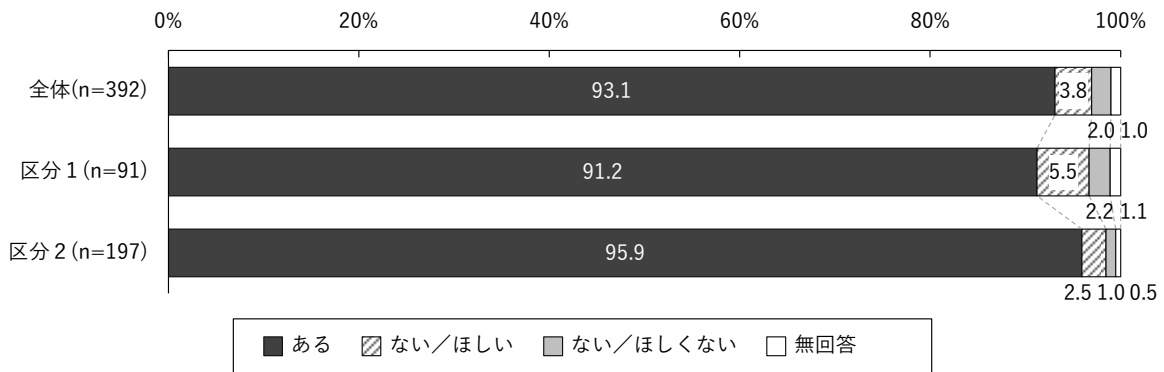
## D 自宅で宿題をすることができる場所

【子ども設問】

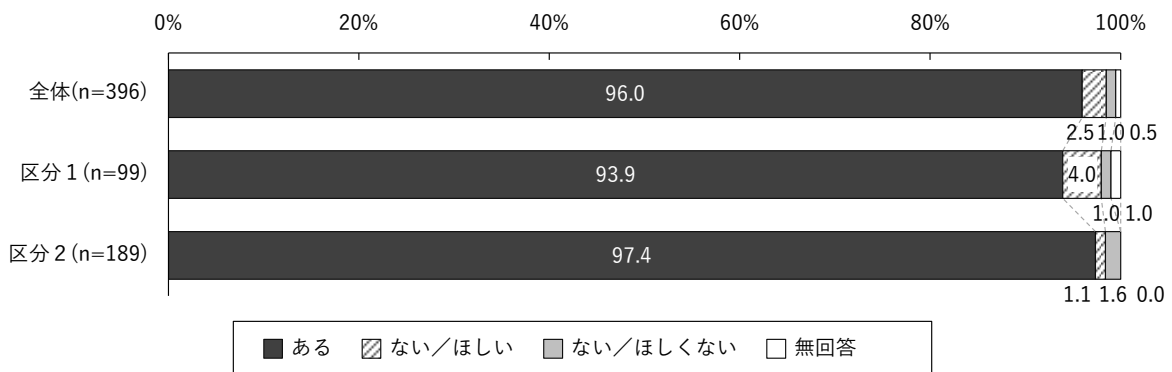
子どもの自宅で宿題をすることができる場所の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で5.8%、中学校2年生で3.5%と低くなっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で7.7%、区分2で3.5%、中学校2年生では区分1で5.0%、区分2で2.7%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／D 自宅で宿題をすることができる場所



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／D 自宅で宿題をすることができる場所



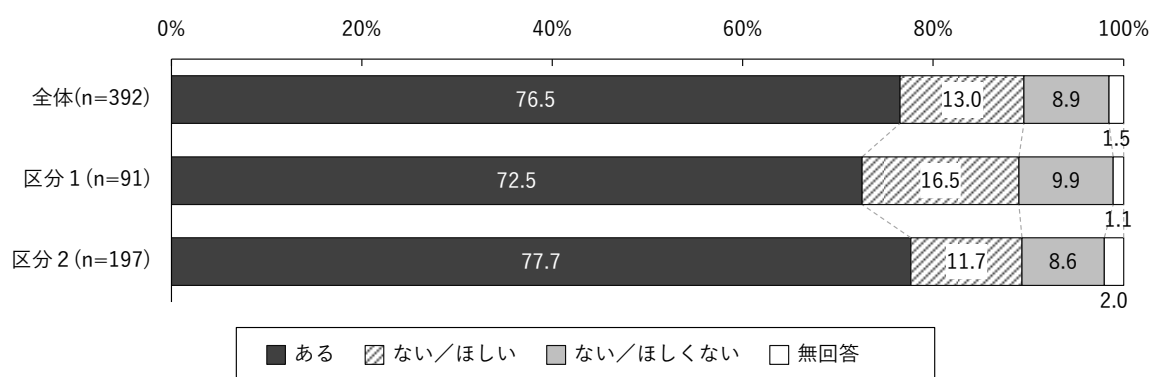
## E 自分専用の勉強机

【子ども設問】

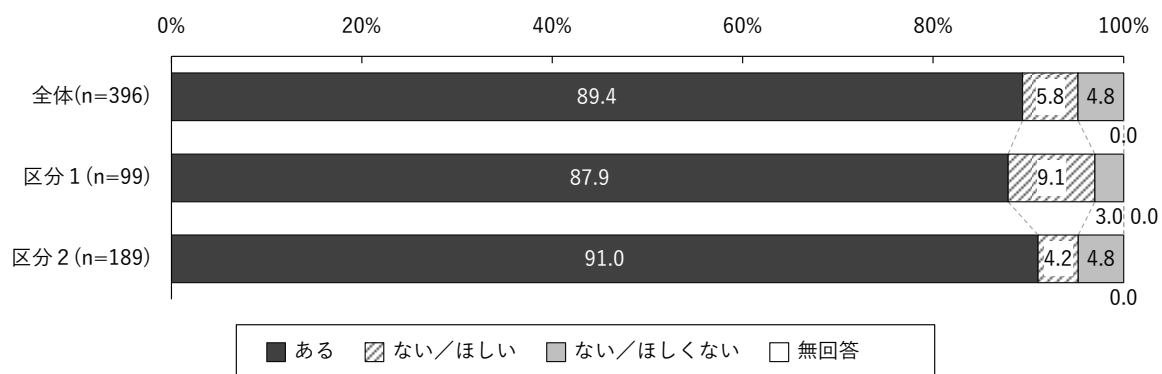
子どもの自分専用の勉強机の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で21.9%、中学校2年生で10.6%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で26.4%、区分2で20.3%、中学校2年生では区分1で12.1%、区分2で9.0%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／E 自分専用の勉強机



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／E 自分専用の勉強机



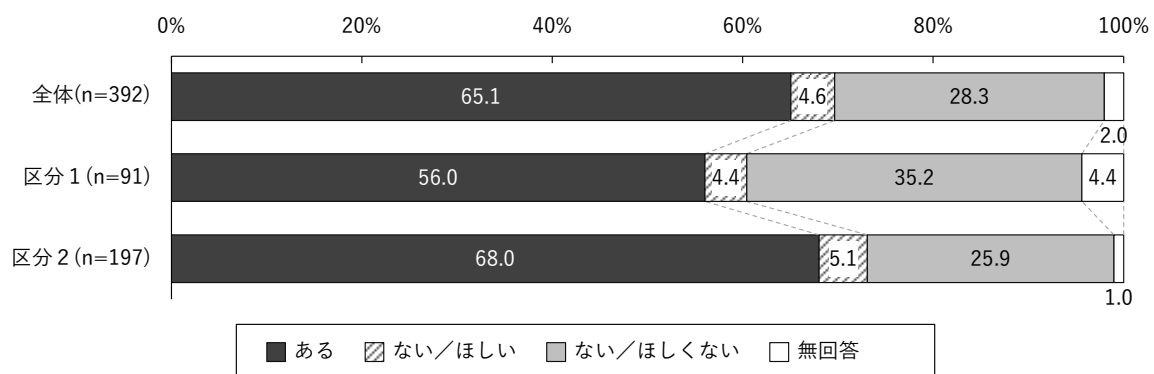
## F スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）

【子ども設問】

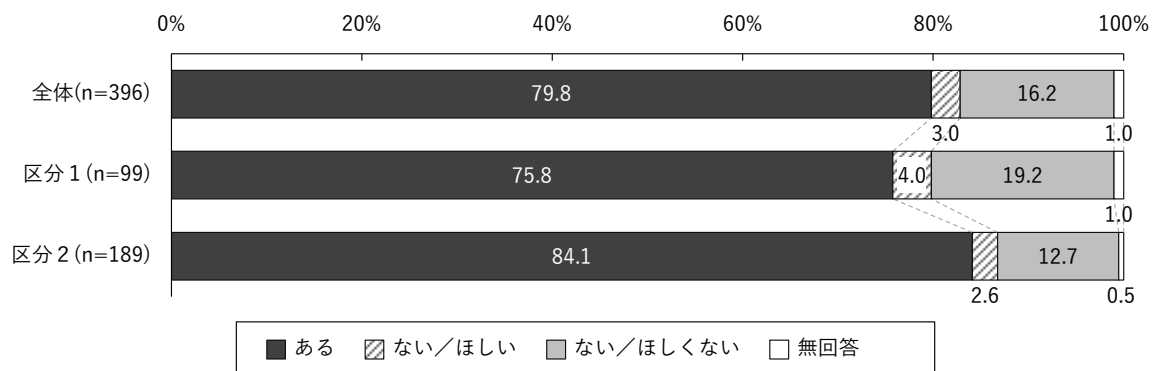
子どものスポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で32.9%、中学校2年生で19.2%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で39.6%、区分2で31.0%、中学校2年生では区分1で23.2%、区分2で15.3%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／F スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／F スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）



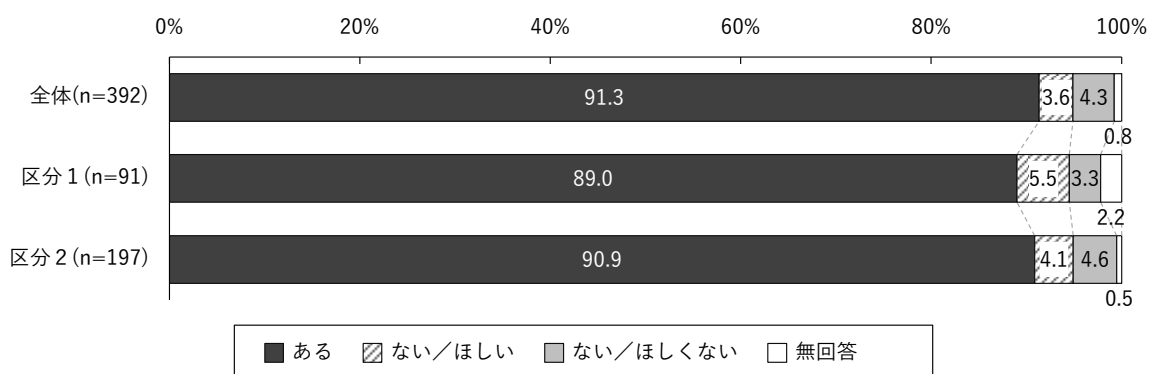
## G ゲーム機

【子ども設問】

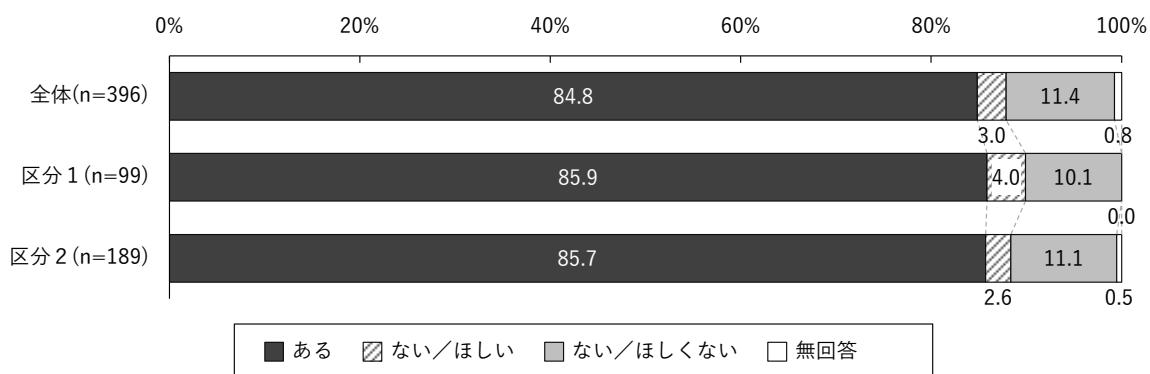
子どものゲーム機の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で7.9%、中学校2年生で14.4%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で8.8%、区分2で8.7%、中学校2年生では区分1で14.1%、区分2で13.7%と大きな差はみられません。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／G ゲーム機



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／G ゲーム機





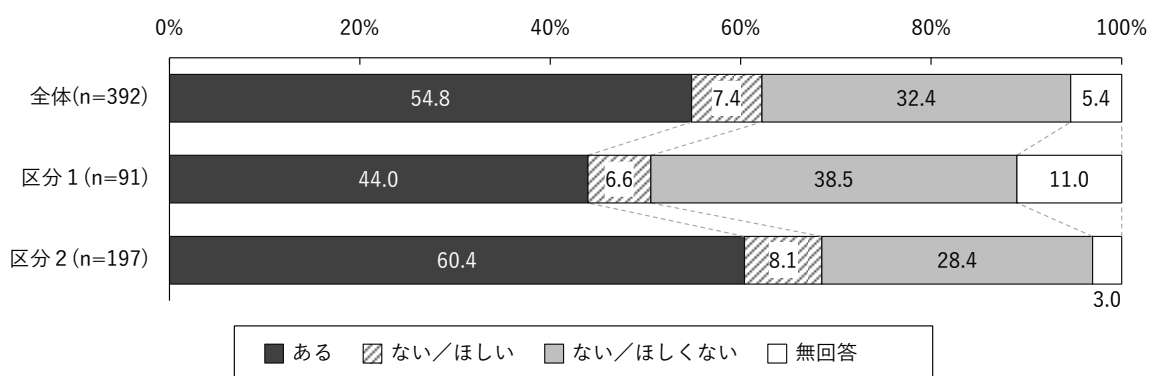
## H たいていの友だちが持っているおもちゃ

【子ども設問】

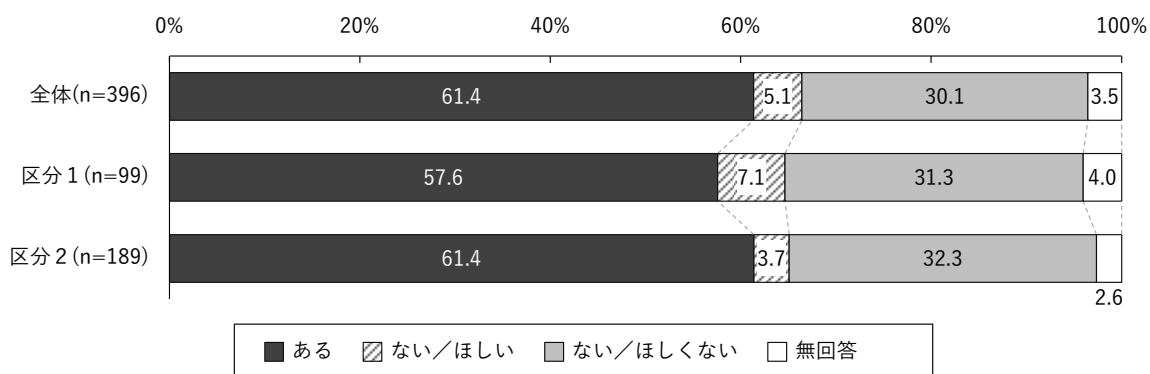
子どものたいていの友だちが持っているおもちゃの所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で39.8%、中学校2年生で35.2%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で45.1%、区分2で36.5%、中学校2年生では区分1で38.4%、区分2で36.0%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／H たいていの友だちが持っているおもちゃ



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／H たいていの友だちが持っているおもちゃ



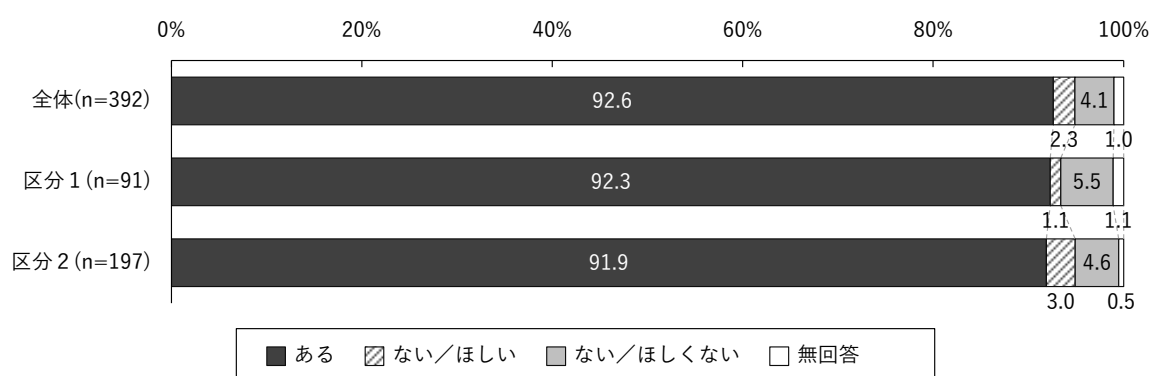
## I 自転車

【子ども設問】

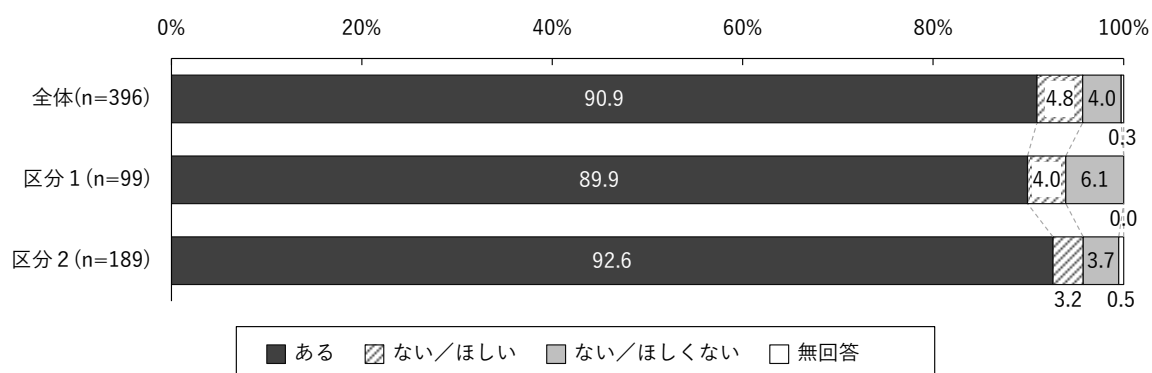
子どもの自転車の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で6.4%、中学校2年生で8.8%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、中学校2年生では区分1で10.1%、区分2で6.9%と区分1の方が高く、一方、小学校5年生では区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／ | 自転車



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／ | 自転車



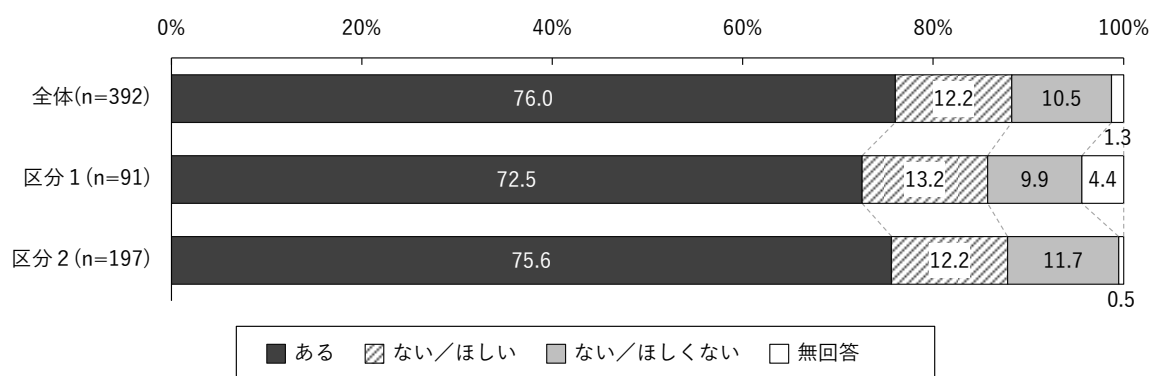
## Ｊ おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

【子ども設問】

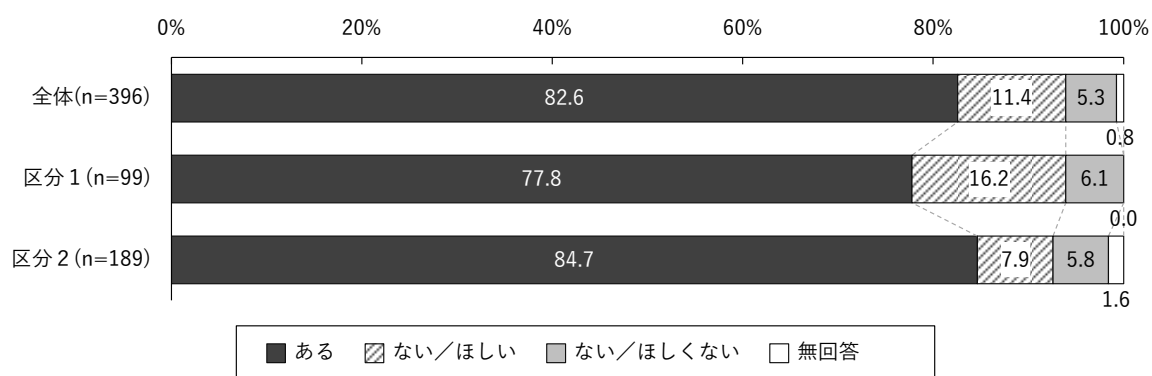
子どものおやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかいの所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で22.7%、中学校2年生で16.7%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、中学校2年生では区分1で22.3%、区分2で13.7%と区分1の方が高く、一方、小学校5年生では区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／Ｊ おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／Ｊ おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい



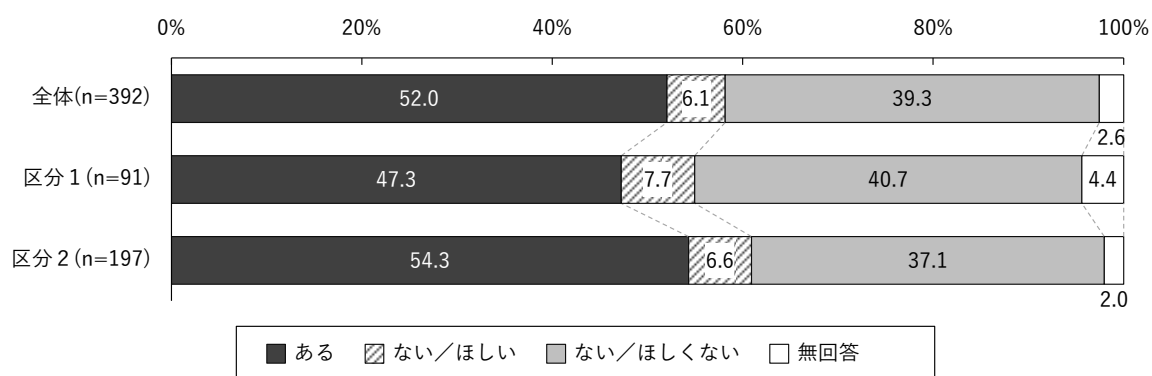
## K 友だちが着ているのと同じような服

【子ども設問】

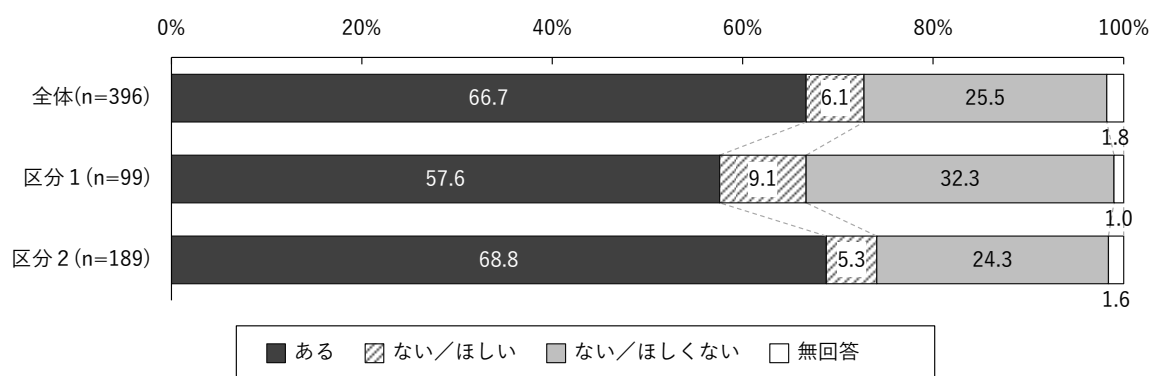
子どもの友だちが着ているのと同じような服の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で45.4%、中学校2年生で31.6%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で48.4%、区分2で43.7%、中学校2年生では区分1で41.4%、区分2で29.6%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／K 友だちが着ているのと同じような服



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／K 友だちが着ているのと同じような服



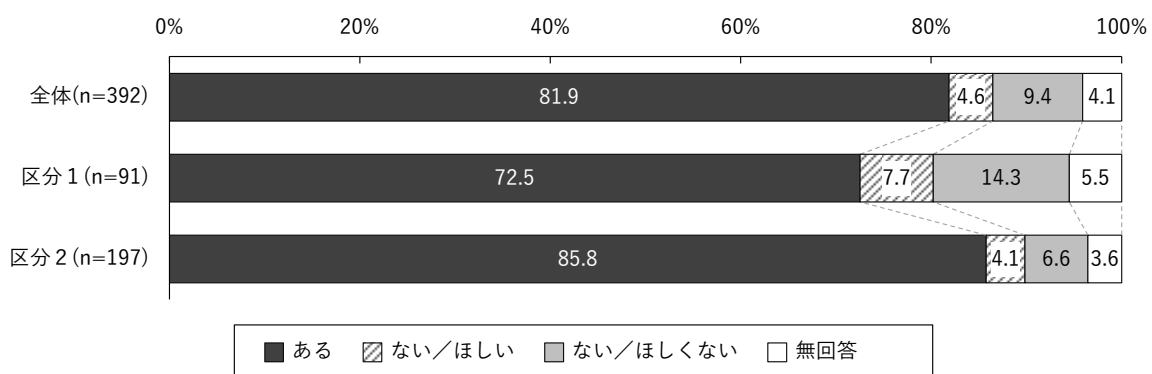
## L 2以上のサイズのあった靴

【子ども設問】

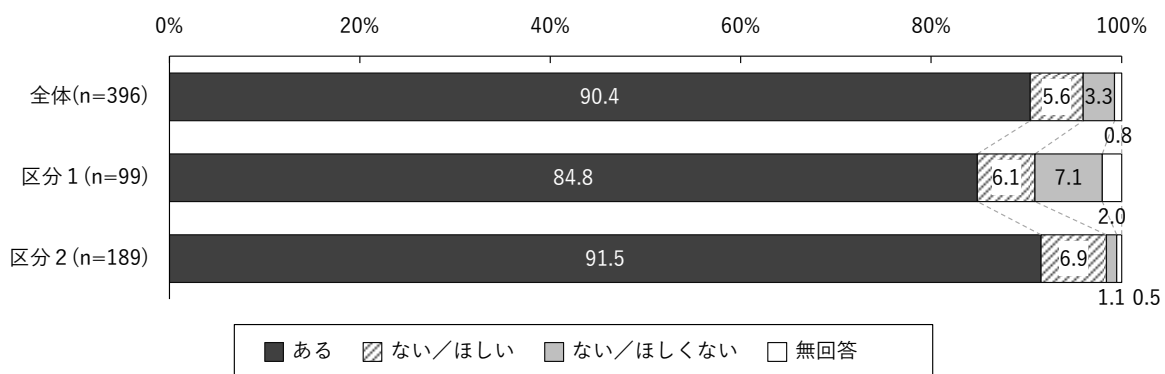
子どもの2以上のサイズのあった靴の所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で14.0%、中学校2年生で8.9%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で22.0%、区分2で10.7%、中学校2年生では区分1で13.2%、区分2で8.0%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
 /L 2以上のサイズのあった靴



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
 /L 2以上のサイズのあった靴



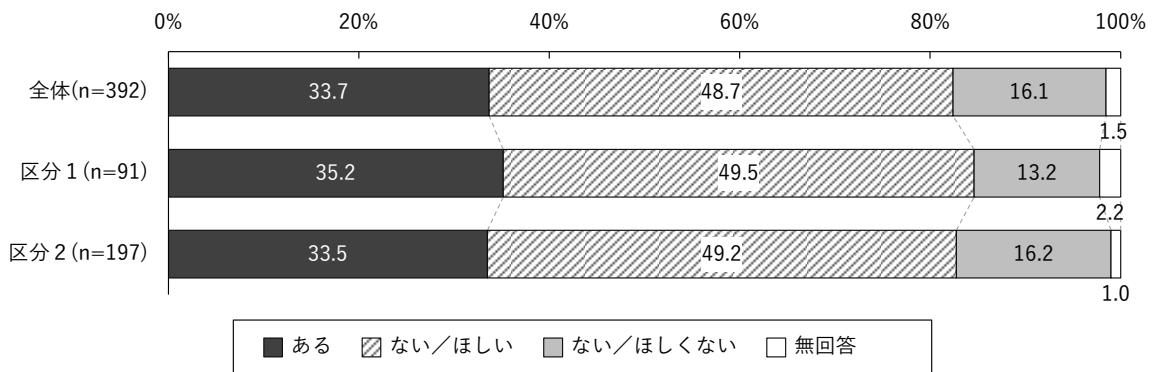
## M 携帯電話、スマートフォン

【子ども設問】

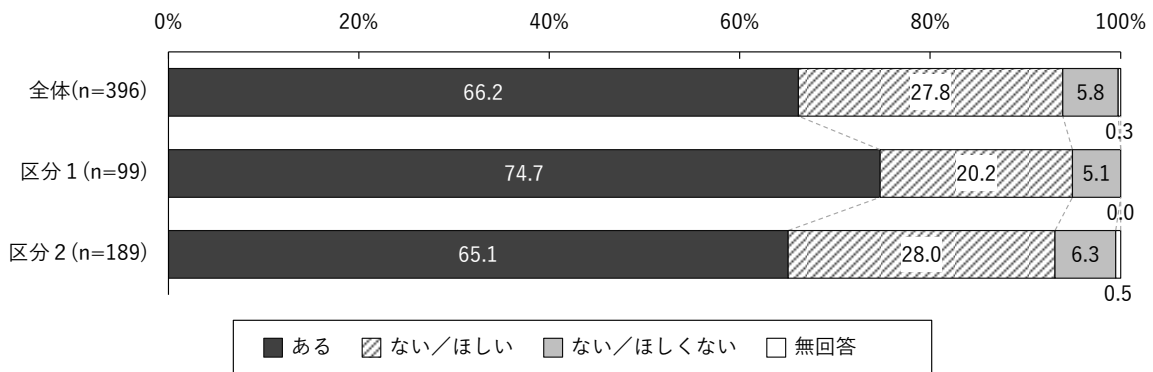
子どもの携帯電話、スマートフォンの所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で64.8%、中学校2年生で33.6%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で62.7%、区分2で65.4%、中学校2年生では区分1で25.3%、区分2で34.3%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
 /M けいたい電話、スマートフォン



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
 /M 携帯電話、スマートフォン



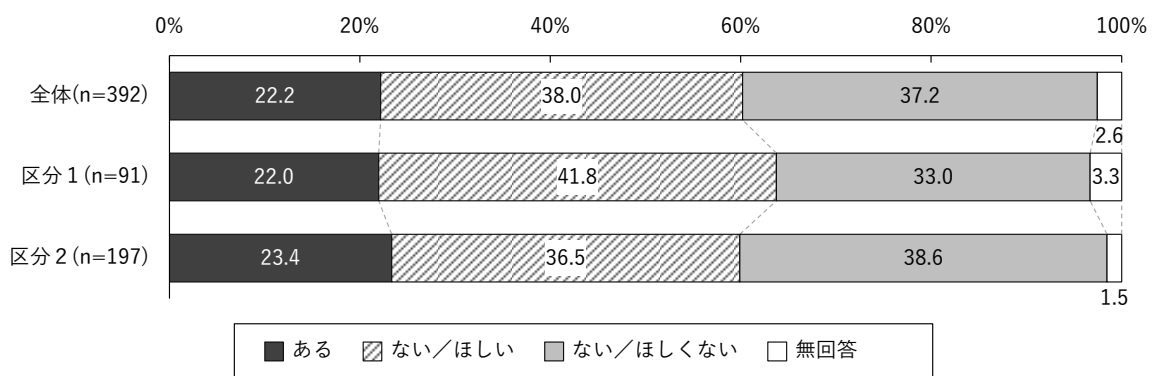
## N 携帯音楽プレーヤーなど

【子ども設問】

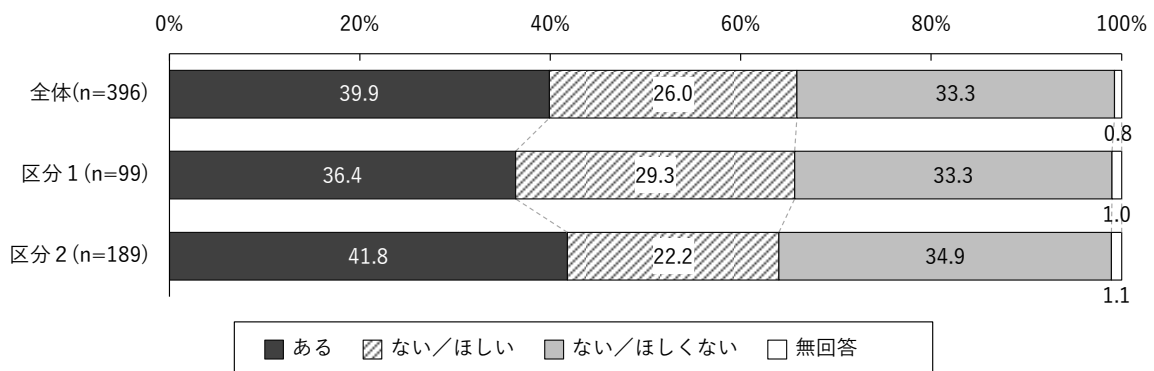
子どもの携帯音楽プレーヤーなどの所有状況について、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」を合わせた『ない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で75.2%、中学校2年生で59.3%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、中学校2年生では区分1で62.6%、区分2で57.1%と区分1の方が高く、一方、小学校5年生では区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
 /N けいたい音楽プレーヤーなど



**中学校2年生** 問3 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
 /N 携帯音楽プレーヤーなど



## (2) 16～17歳の所有物の状況

### A 新しい（だれかのお古でない）洋服

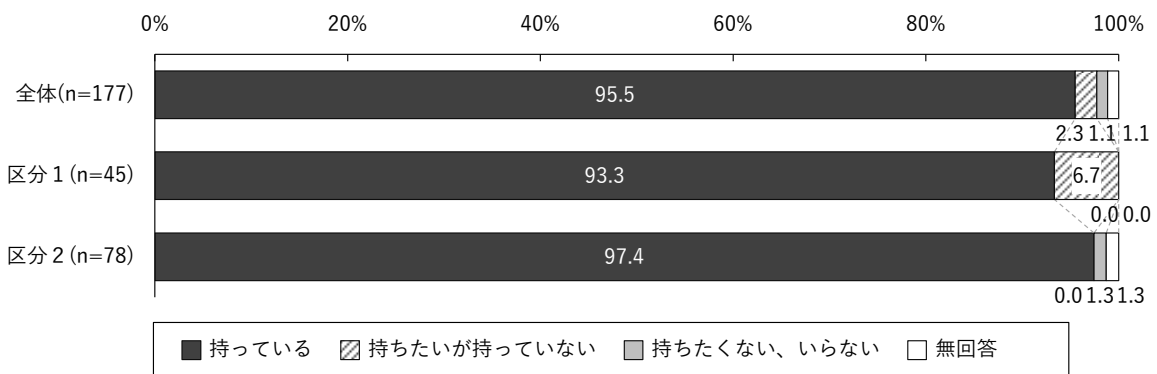
【子ども設問】

16-17歳の新しい（だれかのお古でない）洋服の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると3.4%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で6.7%、区分2で1.3%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。

／A 新しい（だれかのお古でない）洋服



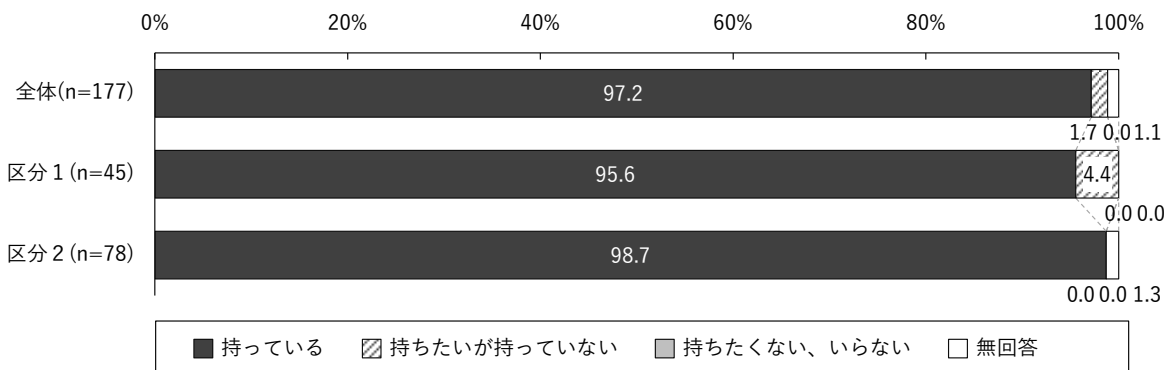
### B 最低2足のサイズの合った靴

【子ども設問】

16-17歳の最低2足のサイズの合った靴の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると1.7%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で4.4%、区分2で0.0%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。／B 最低2足のサイズの合った靴





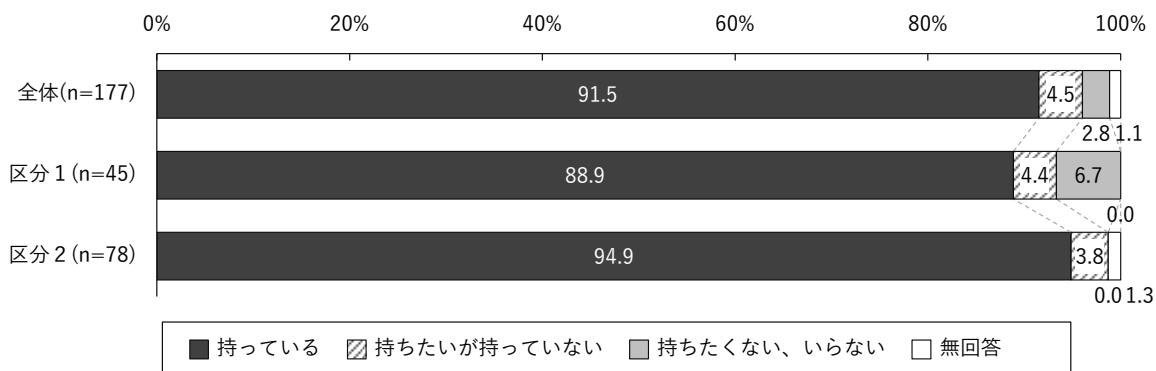
## C 冬用のコート

【子ども設問】

16-17歳の冬用のコートの所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いない」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると7.3%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で11.1%、区分2で3.8%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。／C 冬用のコート



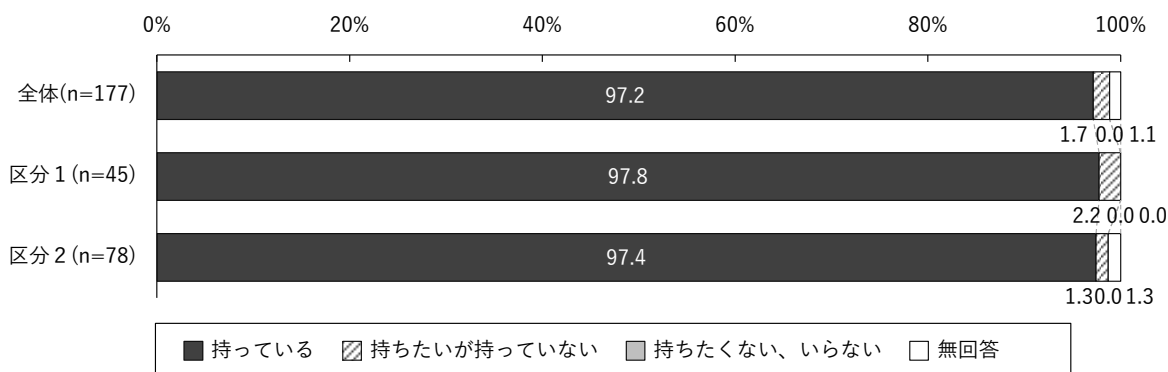
## D 自分専用のふとん、またはベッド

【子ども設問】

16-17歳の自分専用のふとん、またはベッドの所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いない」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると1.7%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で2.2%、区分2で1.3%と同程度となっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。  
／D 自分専用のふとん、またはベッド



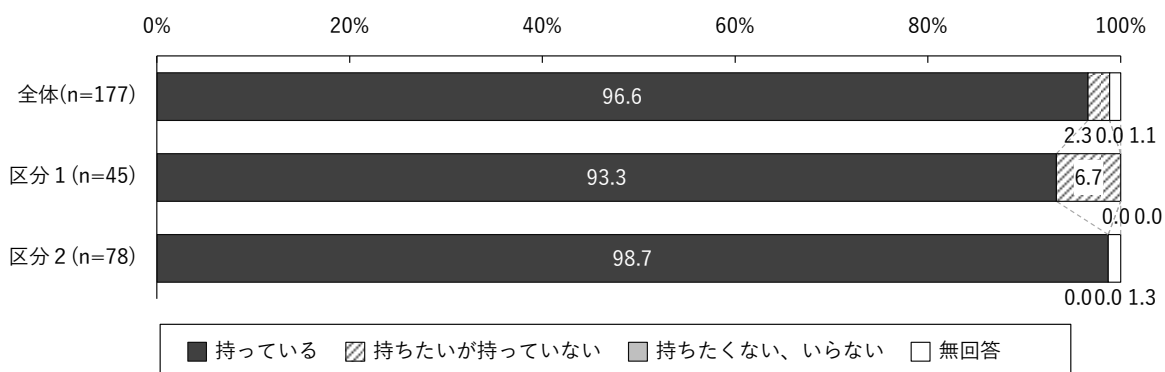
## E 家の中で勉強ができる場所

【子ども設問】

16-17歳の家の中で勉強ができる場所の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると2.3%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で6.7%、区分2で0.0%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。／E 家の中で勉強ができる場所



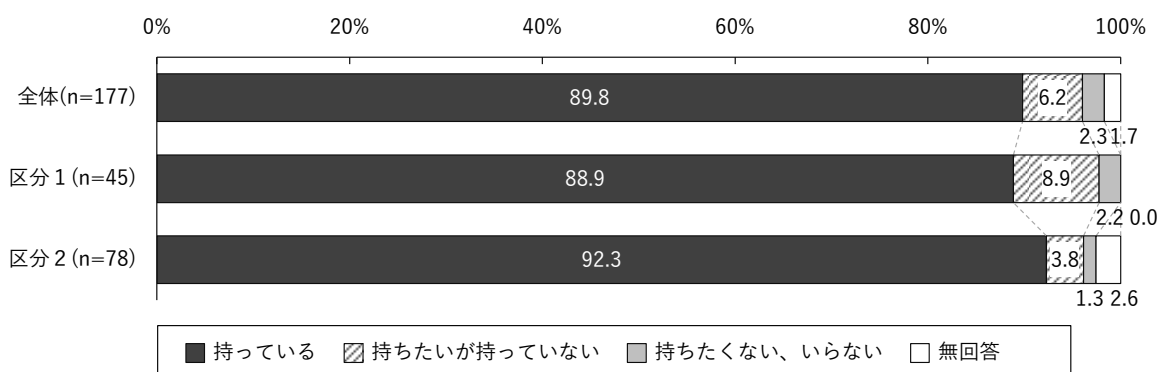
## F インターネットにつながるパソコン・タブレット端末（家族共有を含む）

【子ども設問】

16-17歳のインターネットにつながるパソコン・タブレット端末（家族共有を含む）の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると8.5%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で11.1%、区分2で5.1%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。  
／F インターネットにつながるパソコン・タブレット端末（家族共有を含む）



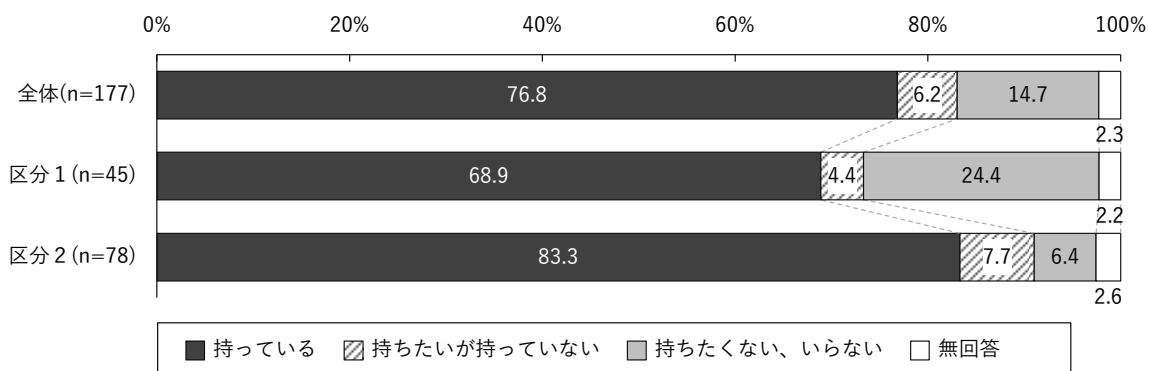
## G 電子辞書

【子ども設問】

16-17歳の電子辞書の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いない」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると20.9%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で28.8%、区分2で14.1%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。／G 電子辞書



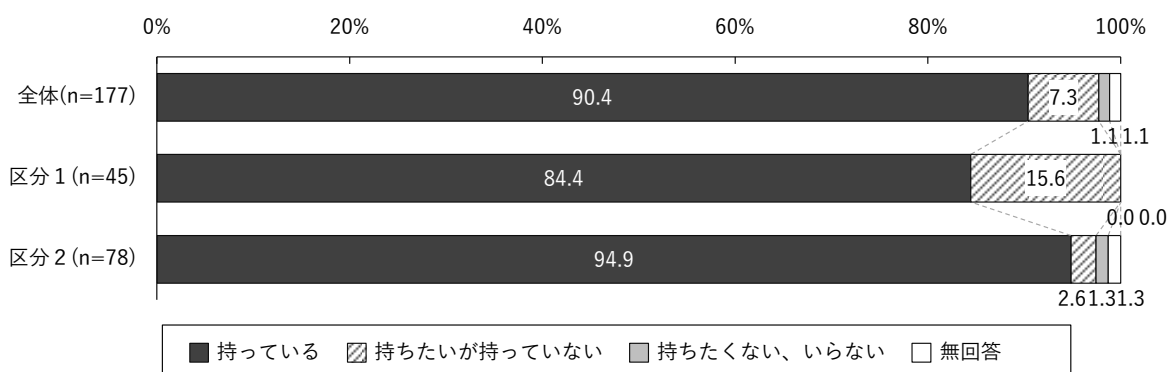
## H 自分の部屋

【子ども設問】

16-17歳の自分の部屋の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いない」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると8.4%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で15.6%、区分2で3.9%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。／H 自分の部屋



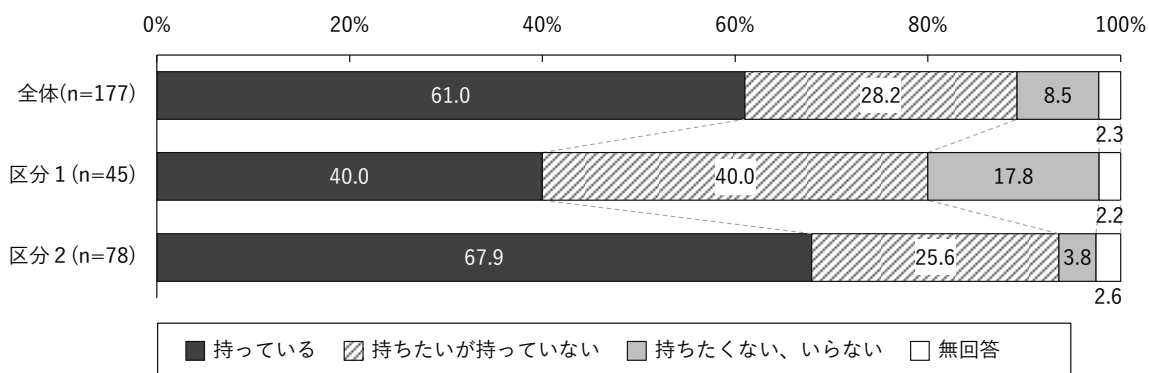
## I 月5,000円ほどの、自分で自由に使えるお金

【子ども設問】

16-17歳の月5,000円ほどの、自分で自由に使えるお金の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると36.7%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で57.8%、区分2で29.4%と区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。  
／I 月5,000円ほどの、自分で自由に使えるお金



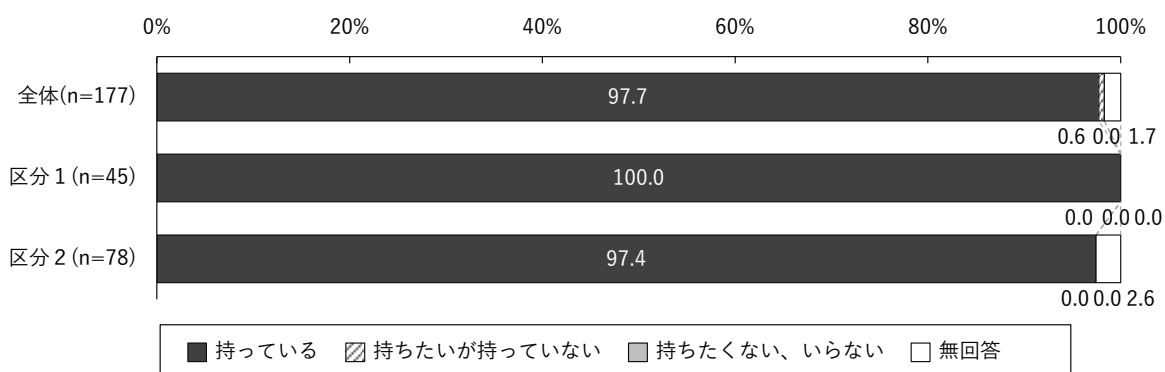
## J スマートフォン

【子ども設問】

16-17歳のスマートフォンの所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると0.6%となっています。

区分別にみると『ない』と回答した割合は、区分1、区分2いずれも0.0%となっています。

**16-17歳** 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。／J スマートフォン



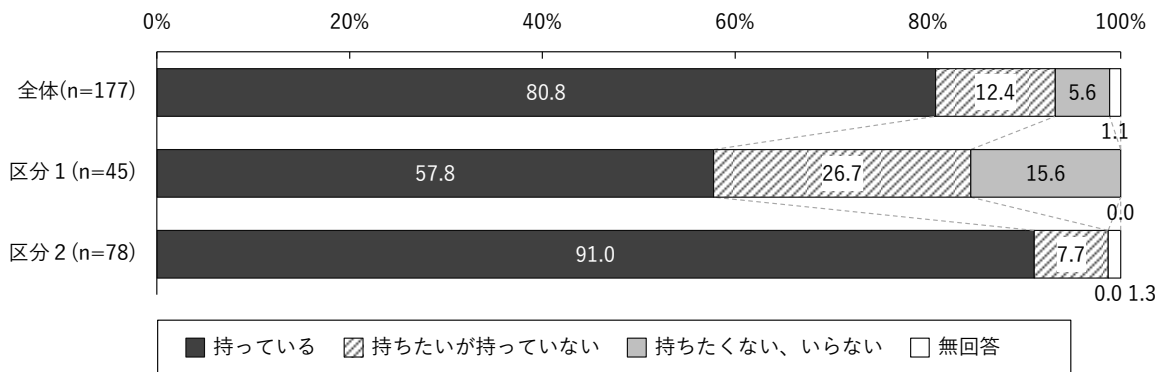
## K 友人と遊びに出かけるお金

【子ども設問】

16-17歳の友人と遊びに出かけるお金の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると18.0%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で42.3%、区分2で7.7%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。／K 友人と遊びに出かけるお金



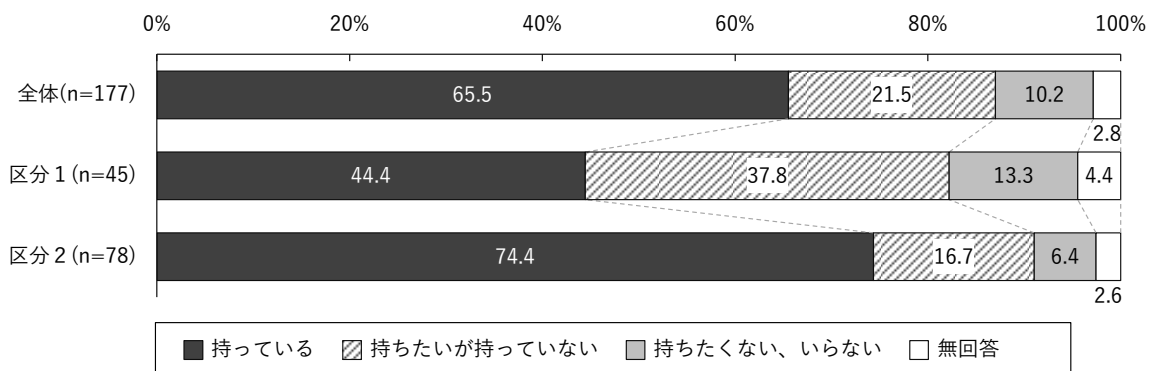
## L 自分に投資するお金（自分のためになる本、職業訓練コースなど）

【子ども設問】

16-17歳の自分に投資するお金（自分のためになる本、職業訓練コースなど）の所有状況について、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない、いらぬ」を合わせた『持っていない』と回答した割合は、全体をみると31.7%となっています。

区別にみると『ない』と回答した割合は、区分1で51.1%、区分2で23.1%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問4 あなたは、次の物品を持っていますか。  
／L 自分に投資するお金（自分のためになる本、職業訓練コースなど）



### (3) 子どもへの支出

#### A 毎月お小遣いを渡す

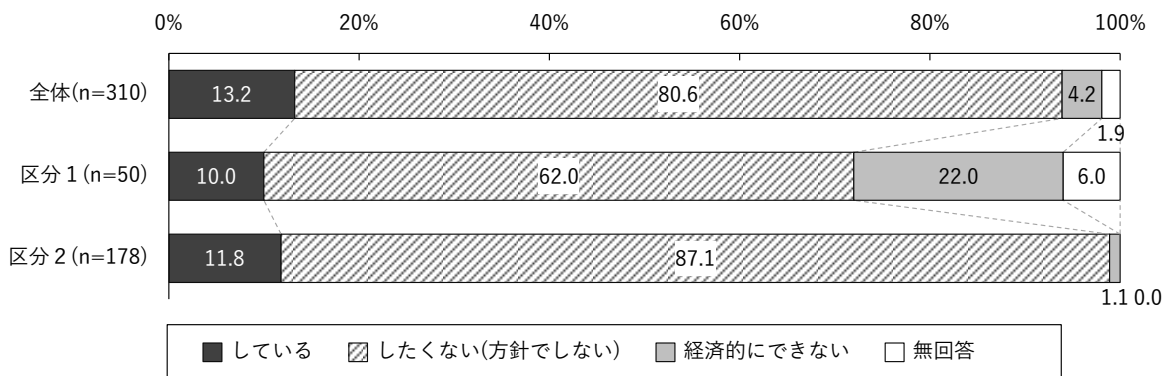
【保護者設問】

毎月お小遣いを渡すことについて、「経済的にできない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で4.2%、小学校5年生で9.4%、中学校2年生で10.6%、16-17歳で8.8%となっています。

区別にみると「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

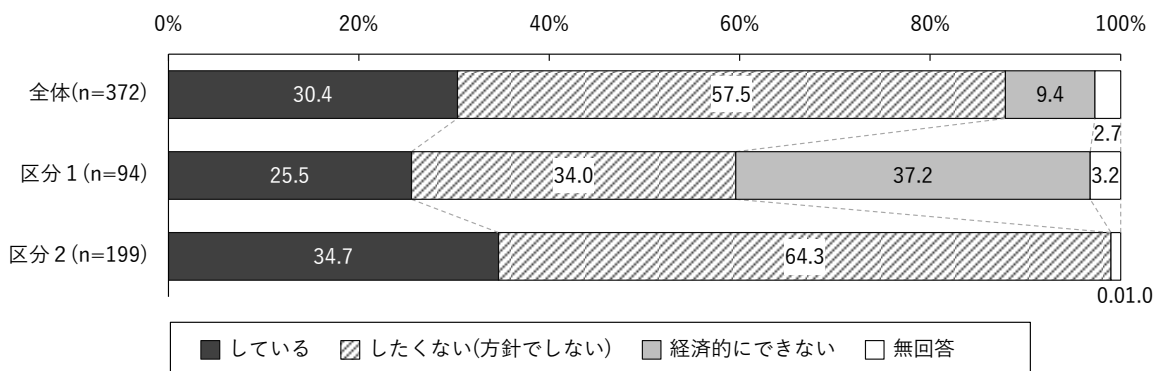
小学校1年生 問39 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

／A 毎月お小遣いを渡す



小学校5年生 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

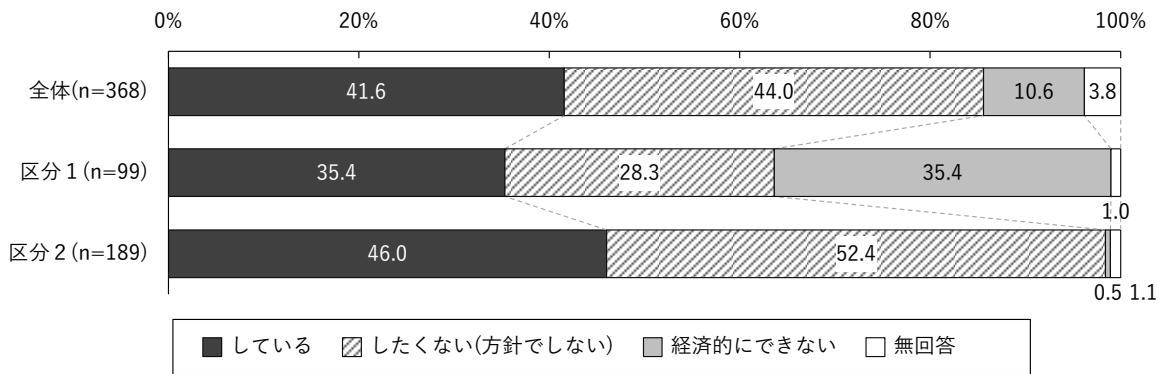
／A 毎月お小遣いを渡す



中学校2年生

問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

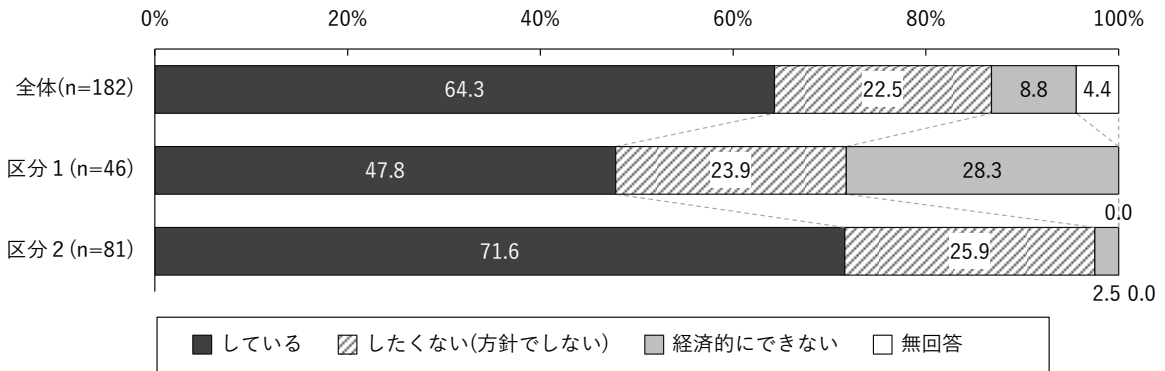
／A 毎月お小遣いを渡す



16-17歳

問29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

／A 毎月お小遣いを渡す



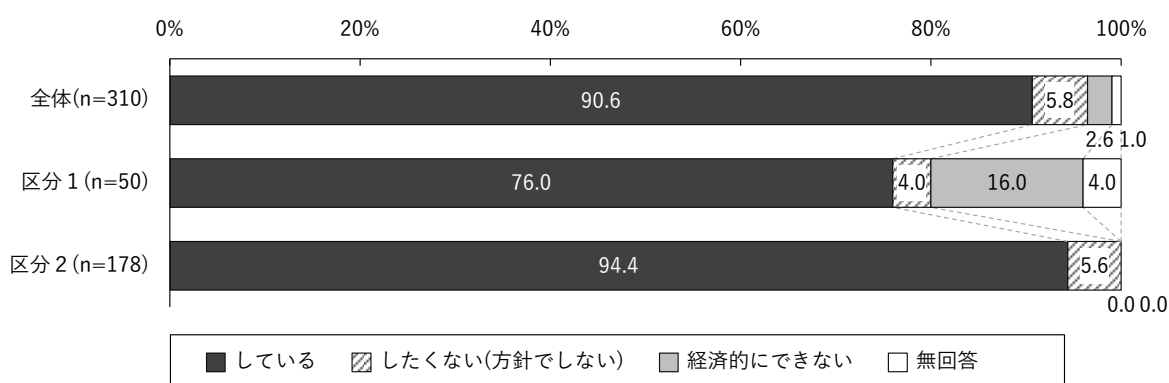
## B 毎年新しい洋服・靴を買う

【保護者設問】

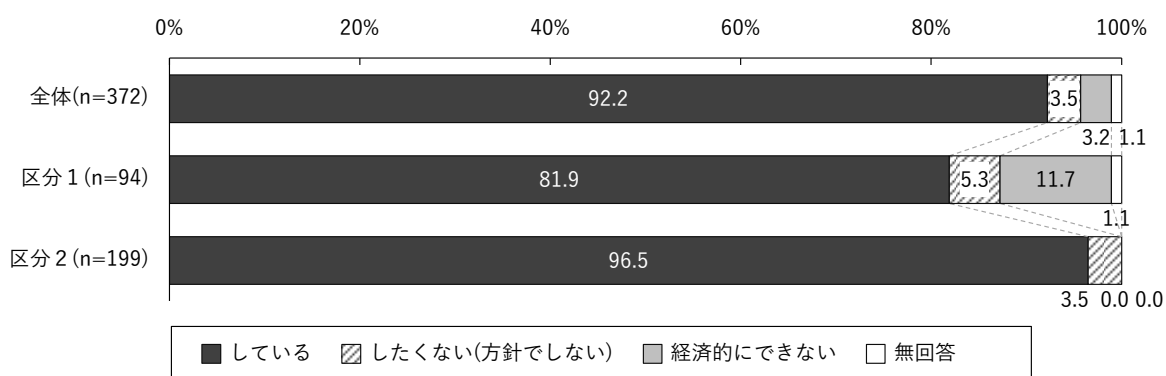
毎年新しい洋服・靴を買うことについて、「経済的にできない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で2.6%、小学校5年生で3.2%、中学校2年生で4.9%、16-17歳で5.5%となっています。

区分別にみると「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高く、区分2は0.0%となっています。

**小学校1年生** 問39 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／B 毎年新しい洋服・靴を買う



**小学校5年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／B 毎年新しい洋服・靴を買う

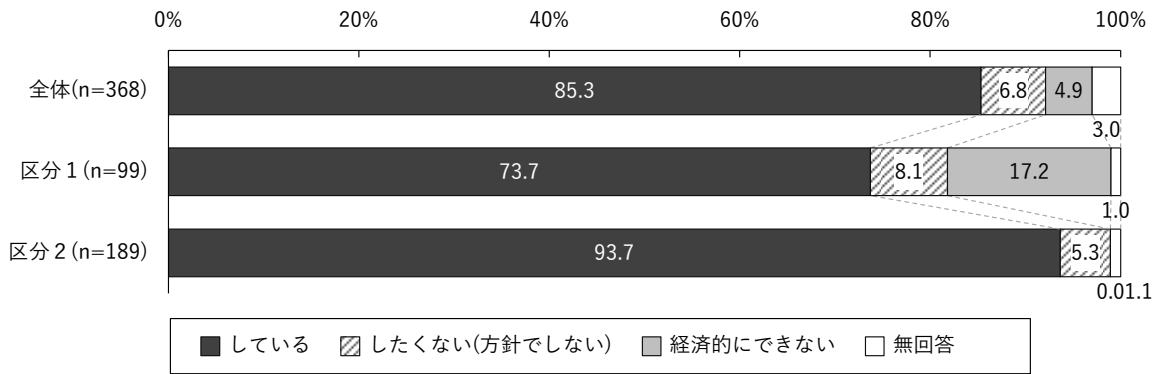




中学校2年生

問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

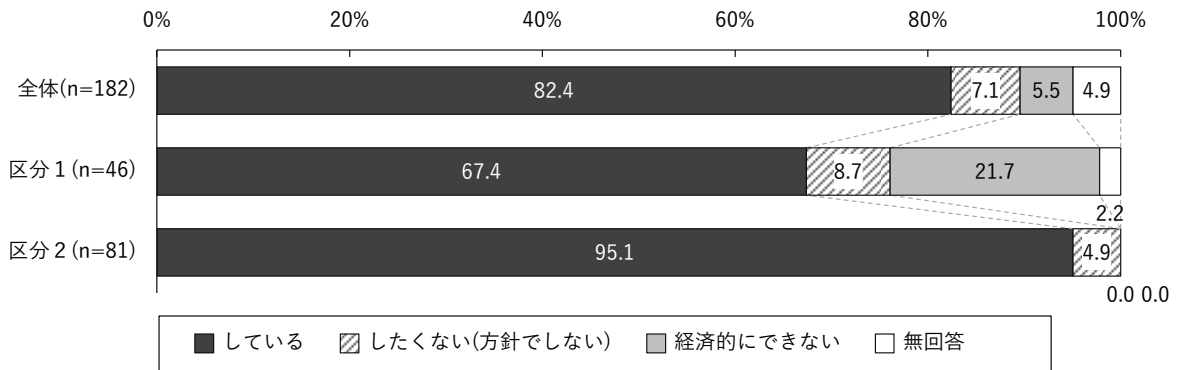
／B 毎年新しい洋服・靴を買う



16-17歳

問29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

／B 毎年新しい洋服・靴を買う



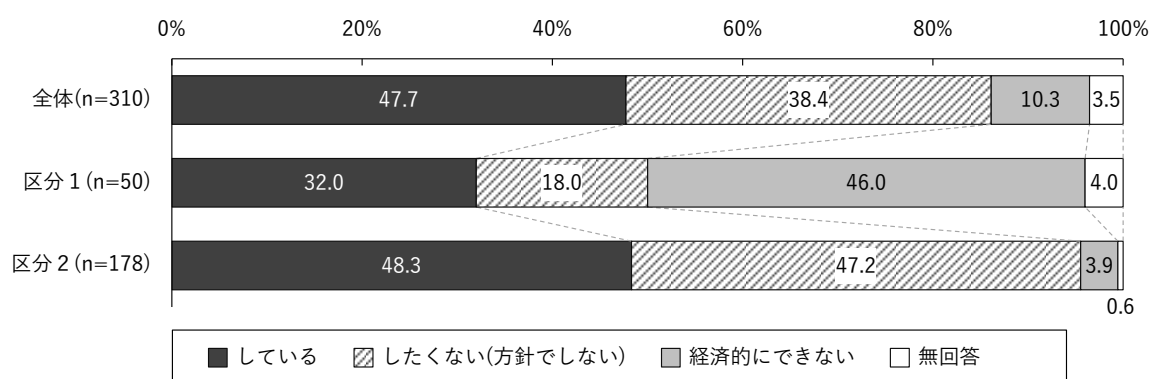
## C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

【保護者設問】

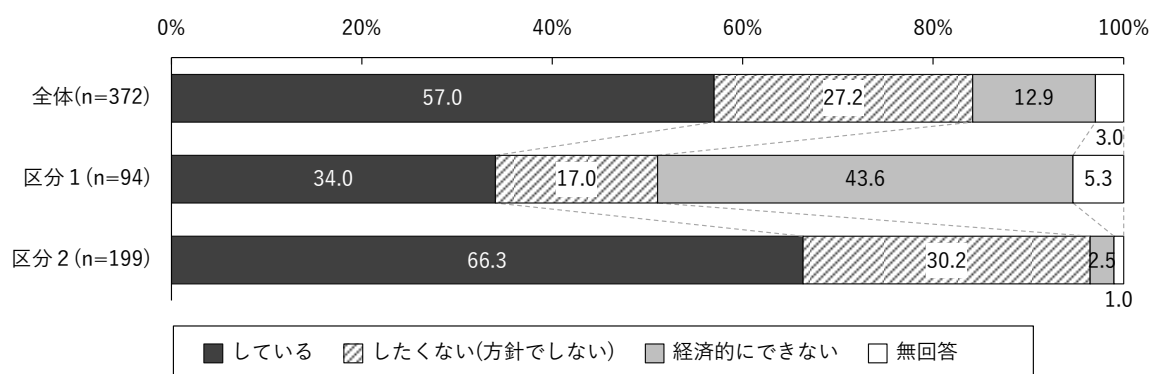
習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせることについて、「経済的にできない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で10.3%、小学校5年生で12.9%、中学校2年生で14.9%、16-17歳で17.0%となっています。

区分別にみると「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

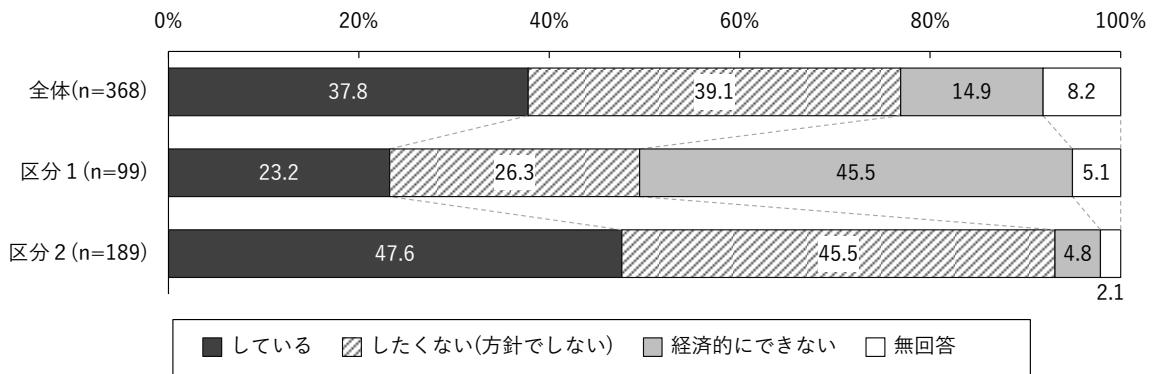
**小学校1年生** 問39 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる



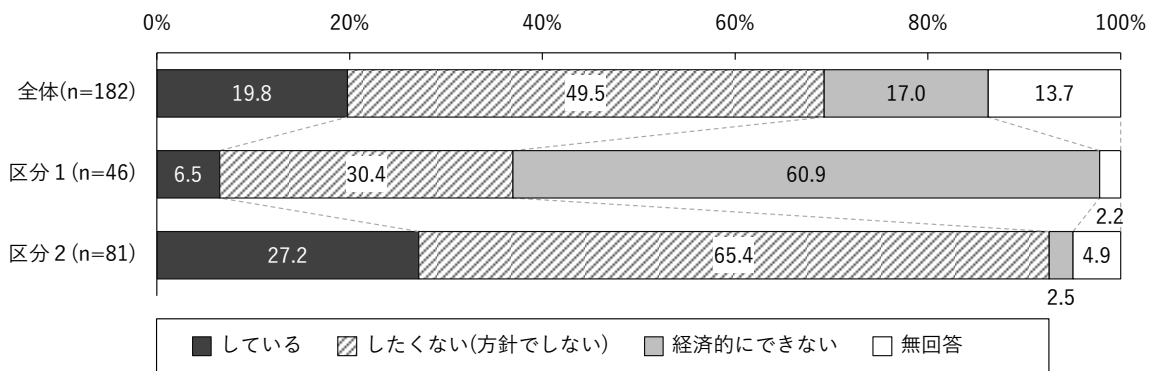
**小学校5年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる



**中学校2年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
 /C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる



**16-17歳** 問29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
 /C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる



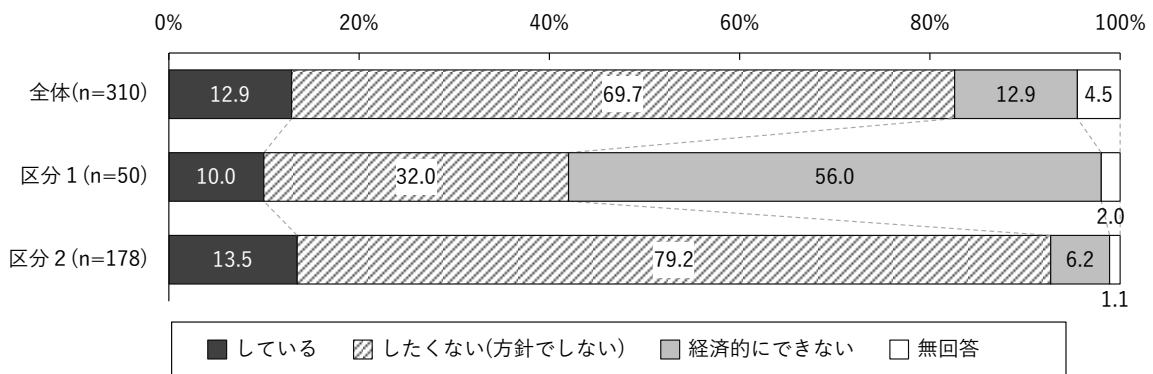
## D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

【保護者設問】

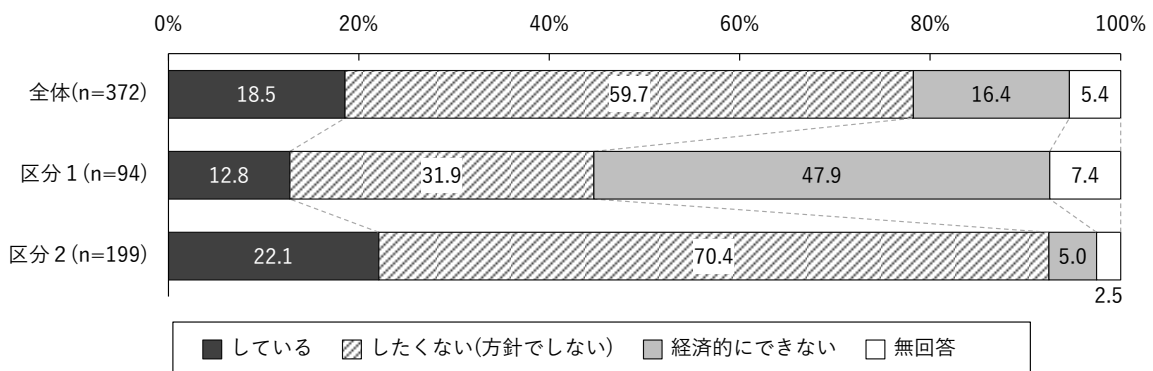
学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）ことについて、「経済的にできない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で12.9%、小学校5年生で16.4%、中学校2年生で20.9%、16-17歳で17.6%となっています。

区別にみると「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

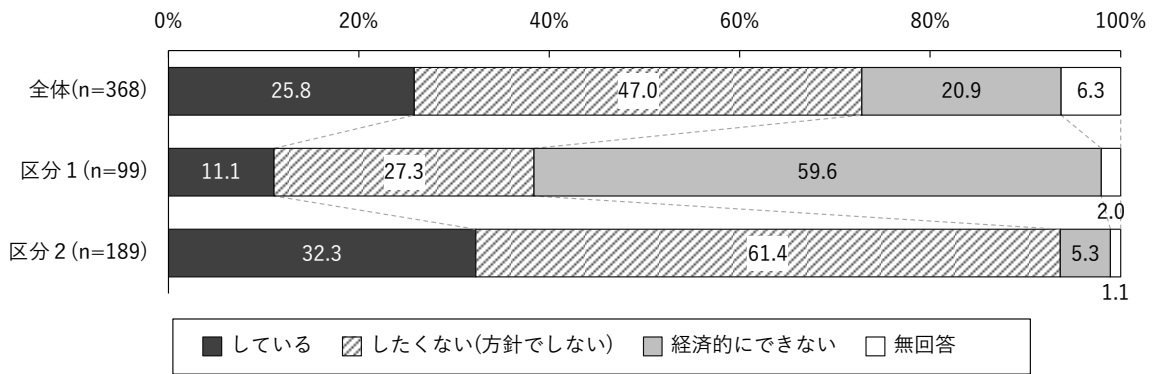
**小学校1年生** 問39 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）



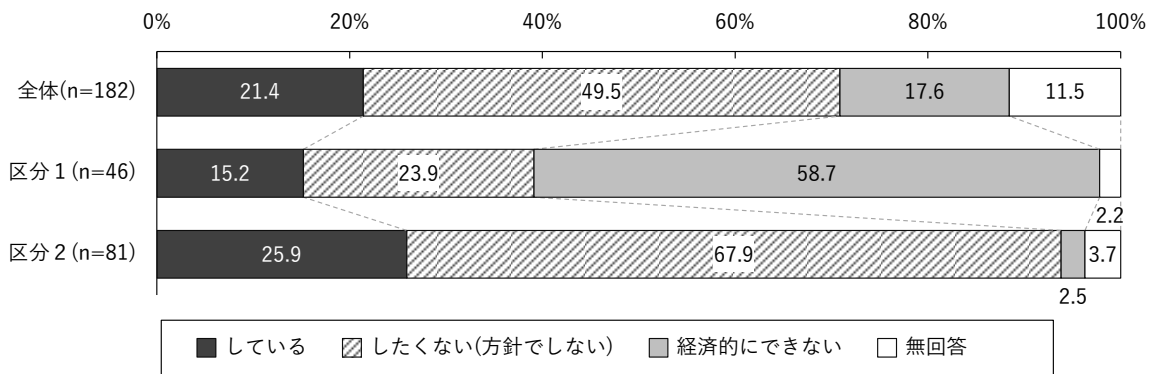
**小学校5年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）



**中学校2年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
 /D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）



**16-17歳** 問29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
 /D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）



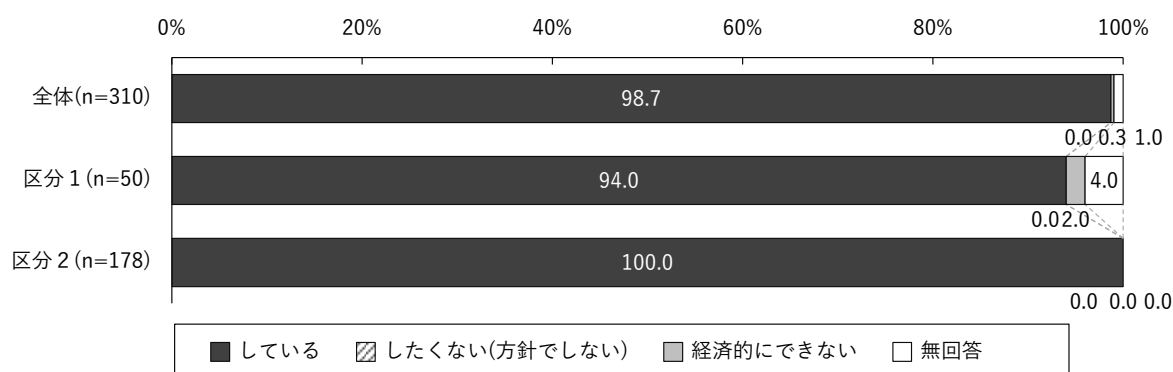
## E お誕生日のお祝いをする

【保護者設問】

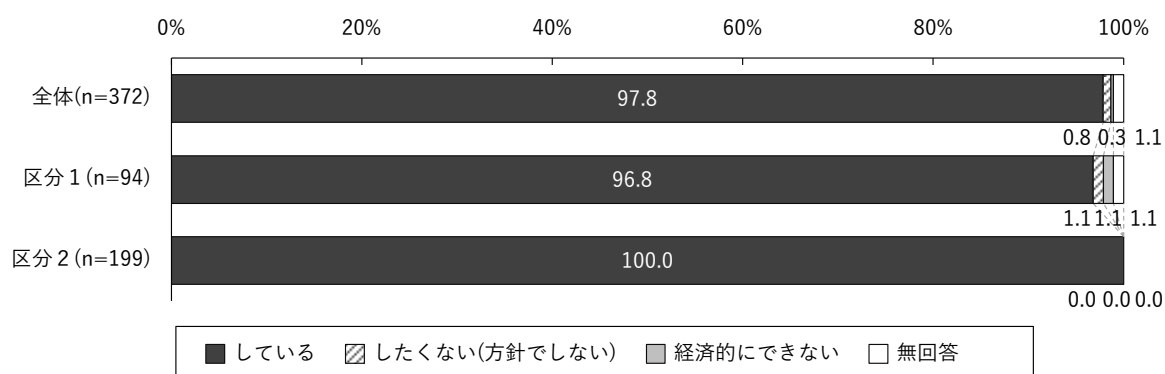
お誕生日のお祝いをするについて、「経済的にできない」と回答した割合は、全体をみる小学校1年生で0.3%、小学校5年生で0.3%、中学校2年生で1.1%、16-17歳で2.2%となっています。

区分別にみると「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高く、区分2は0.0%となっています。

**小学校1年生** 問39 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／E お誕生日のお祝いをする



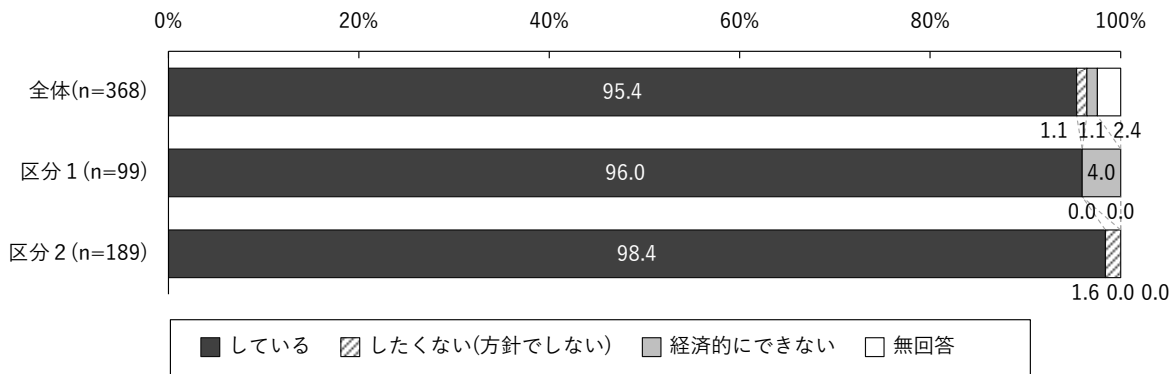
**小学校5年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／E お誕生日のお祝いをする



中学校2年生

問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

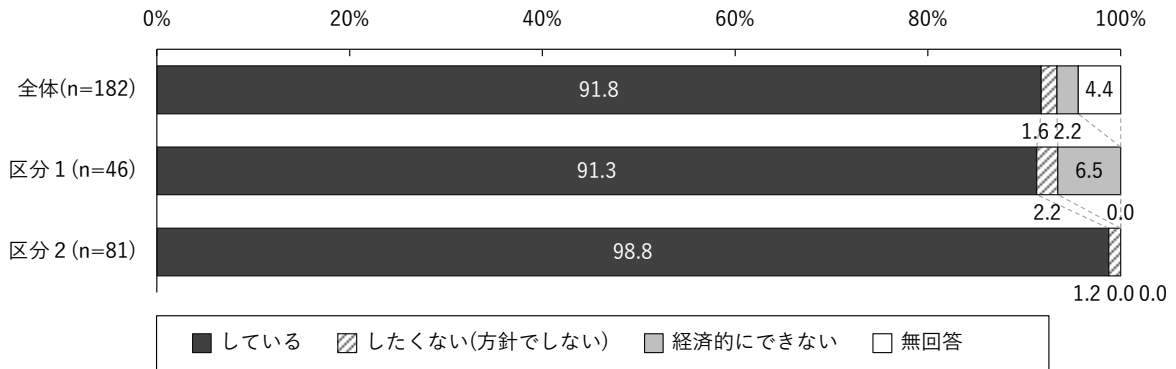
／E お誕生日のお祝いをする



16-17歳

問29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

／E お誕生日のお祝いをする



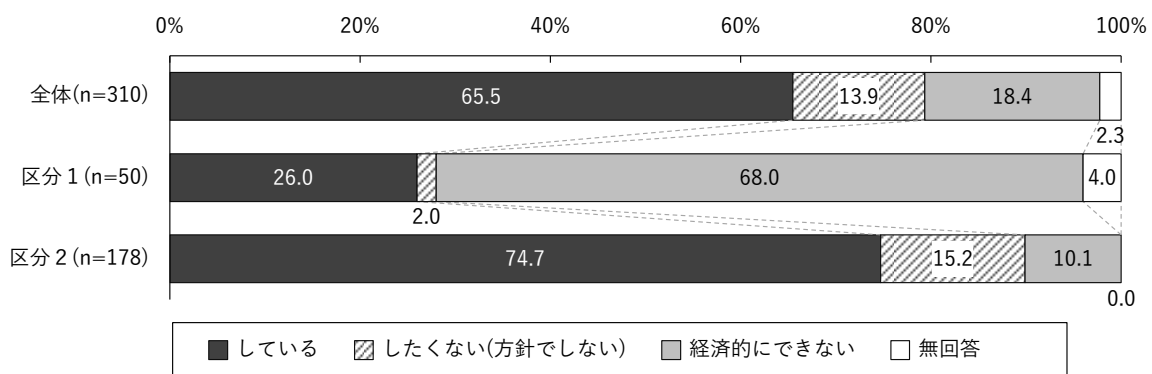
## F 1年に1回くらい家族旅行に行く

【保護者設問】

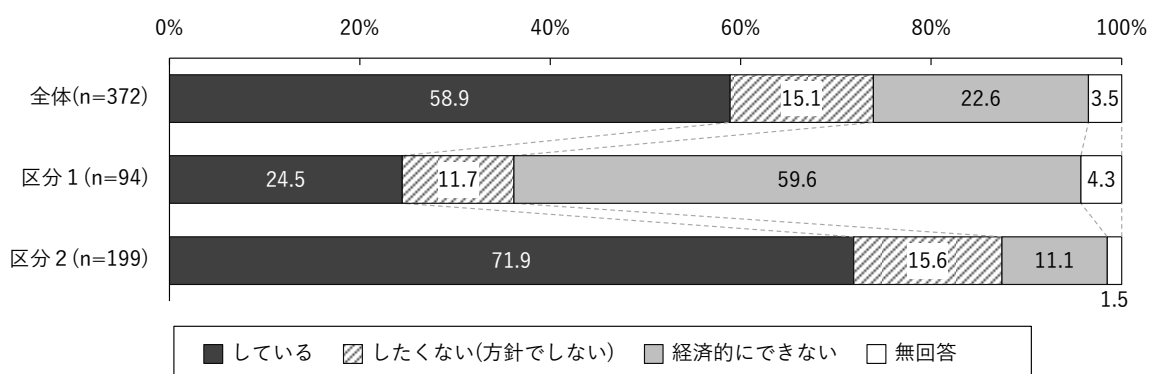
1年に1回くらいの家族旅行について、「経済的にできない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で18.4%、小学校5年生で22.6%、中学校2年生で27.7%、16-17歳で27.5%となっています。

区分別にみると「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問39 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
 / F 1年に1回くらい家族旅行に行く



**小学校5年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
 / F 1年に1回くらい家族旅行に行く

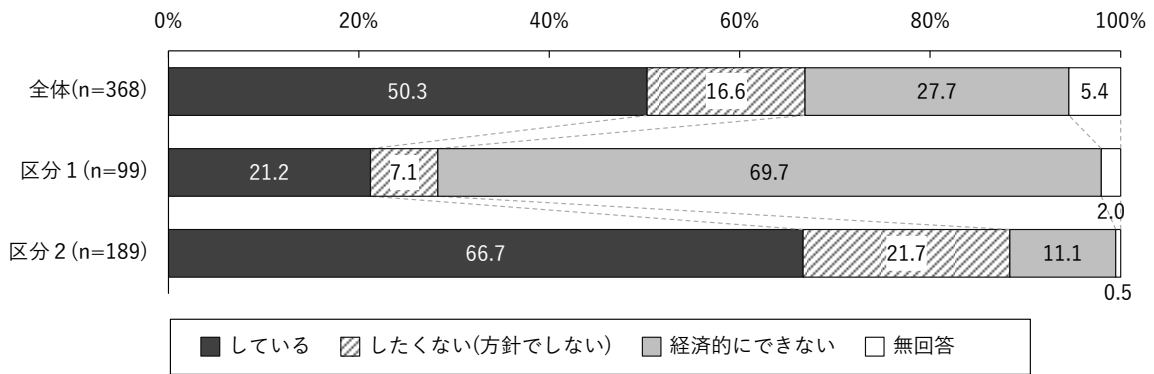




中学校2年生

問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

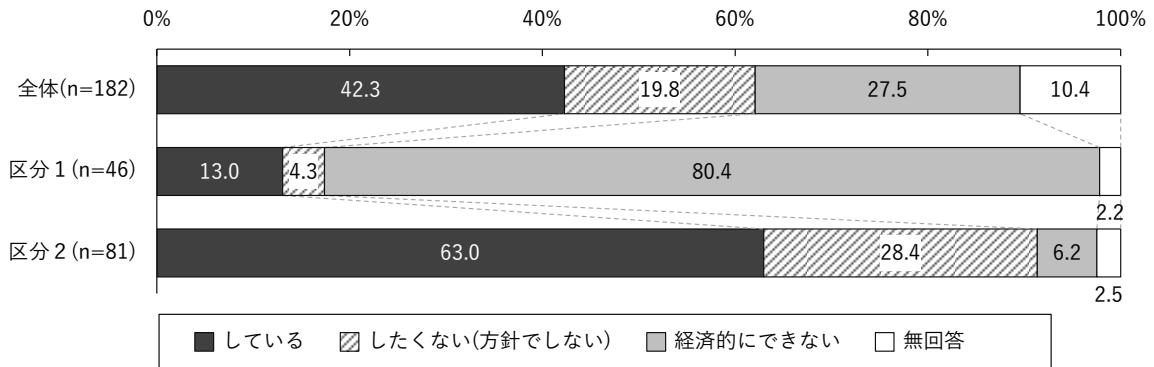
／F 1年に1回くらい家族旅行に行く



16-17歳

問29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

／F 1年に1回くらい家族旅行に行く



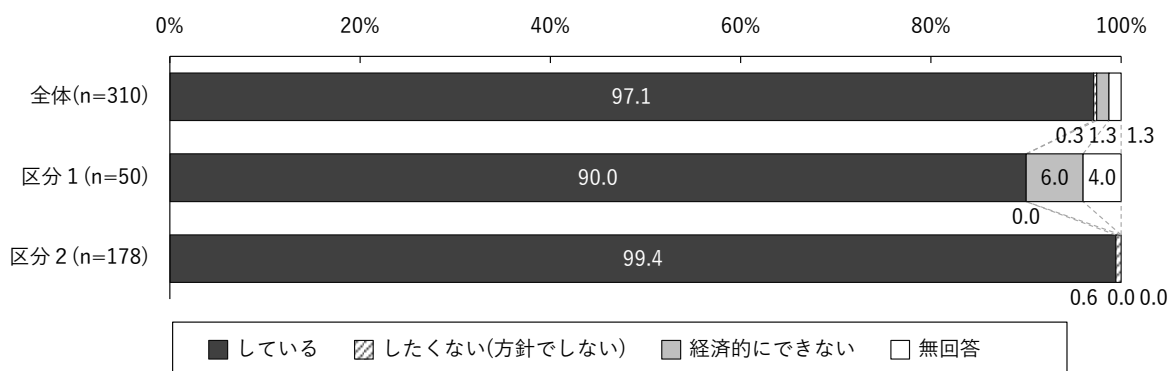
## G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

【保護者設問】

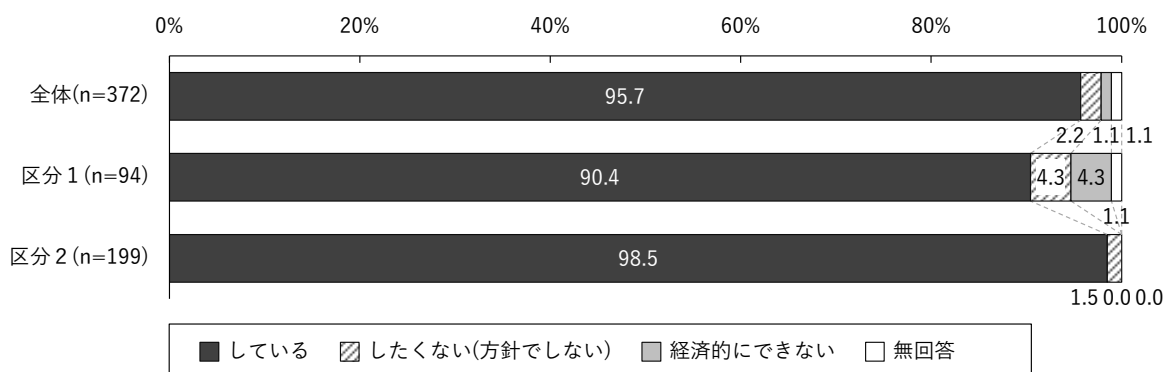
クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげるについて、「経済的にできない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で1.3%、小学校5年生で1.1%、中学校2年生で3.0%、16-17歳で5.5%となっています。

区分別にみると「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問39 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

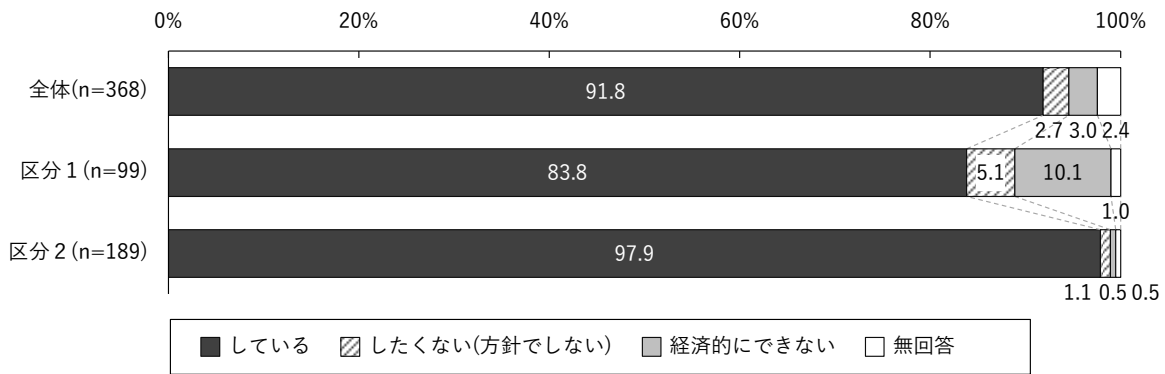


**小学校5年生** 問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
／G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



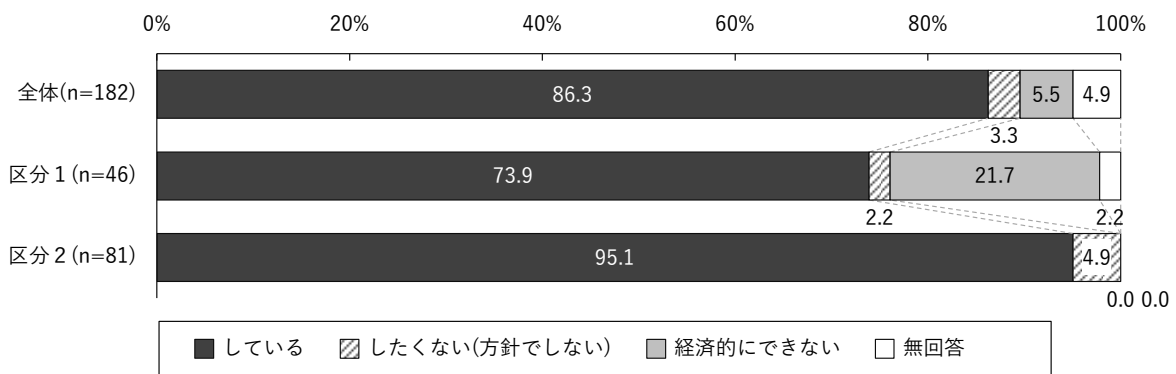
中学校2年生

問27 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか  
 /G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



16-17歳

問29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか /G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



#### (4) 子どもとの体験

##### A 海水浴・釣り・登山などに行く

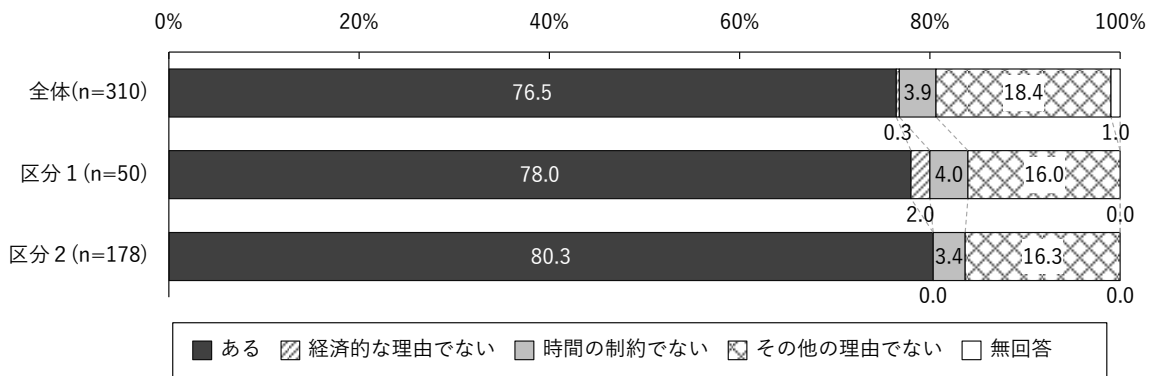
【保護者設問】

子どもと海水浴・釣り・登山などに行くことについて、「経済的な理由でない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で0.3%、小学校5年生で1.3%、中学校2年生で2.7%、16-17歳で1.1%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

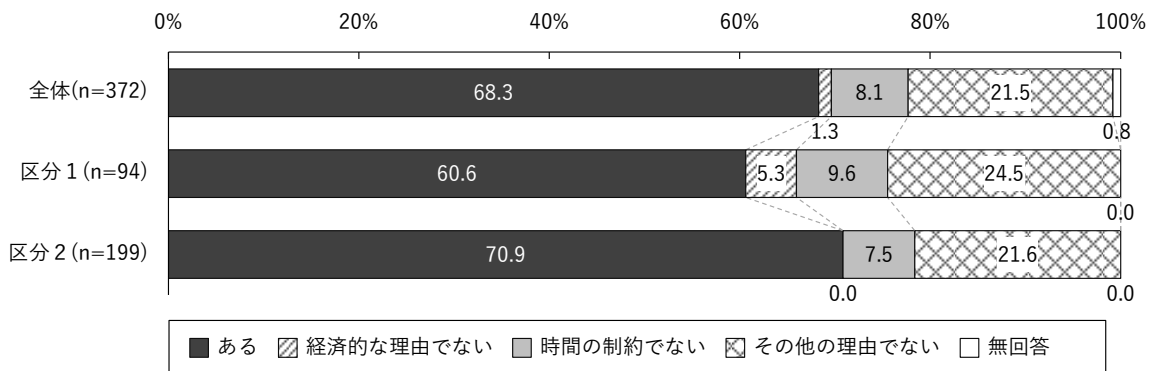
**小学校1年生** 問34 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。

／A 海水浴・釣り・登山などに行く



**小学校5年生** 問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。

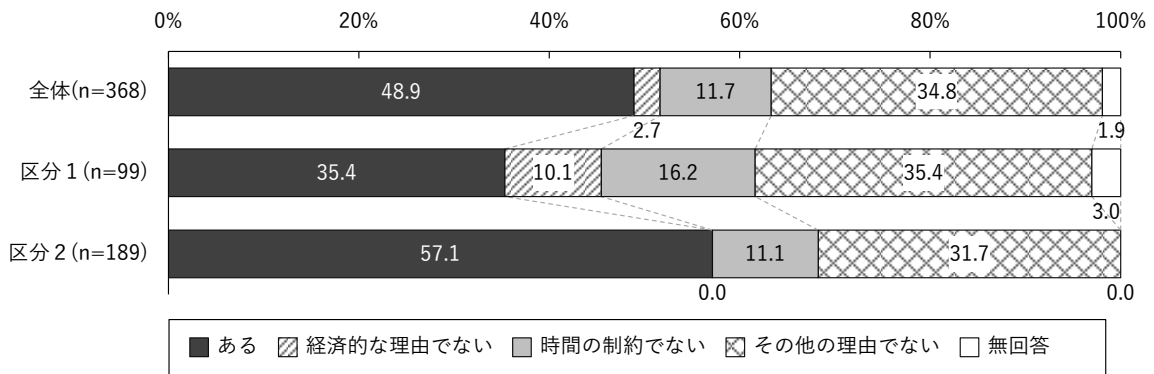
／A 海水浴・釣り・登山などに行く



中学校2年生

問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。

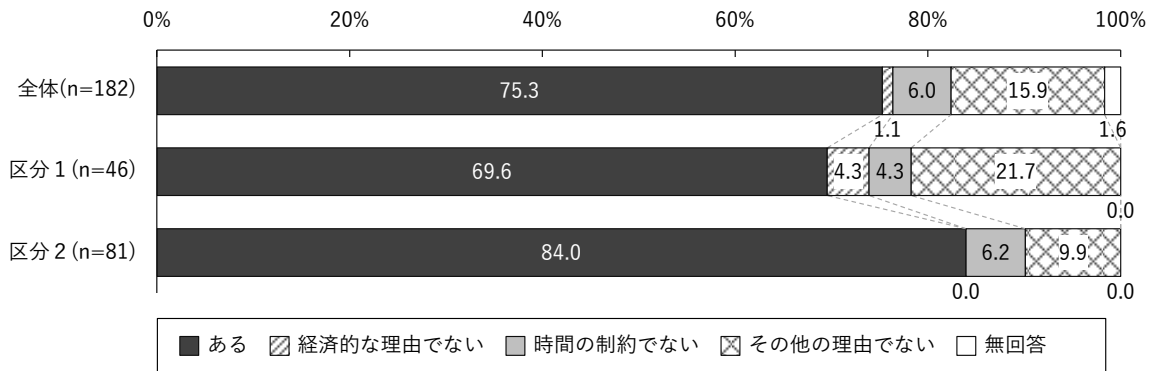
／ A 海水浴・釣り・登山などに行く



16-17歳

問24 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。／

A 海水浴・釣り・登山などに行く



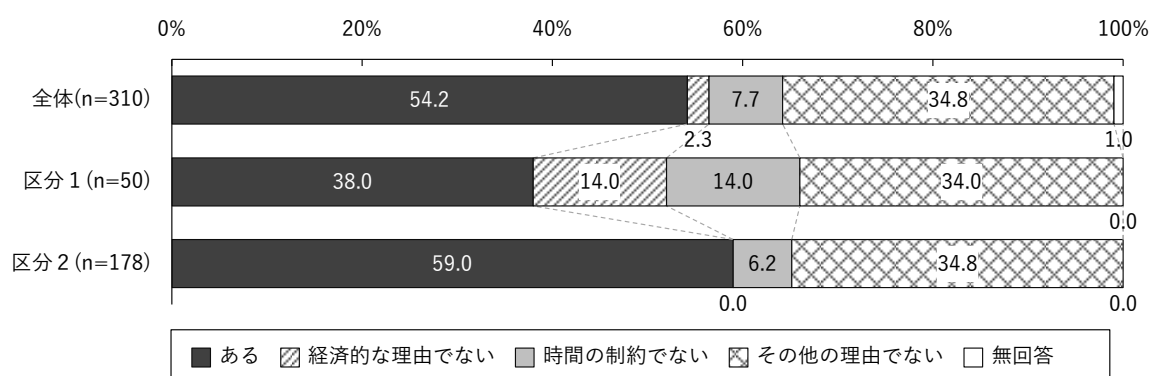
## B 博物館・科学館・美術館などに行く

【保護者設問】

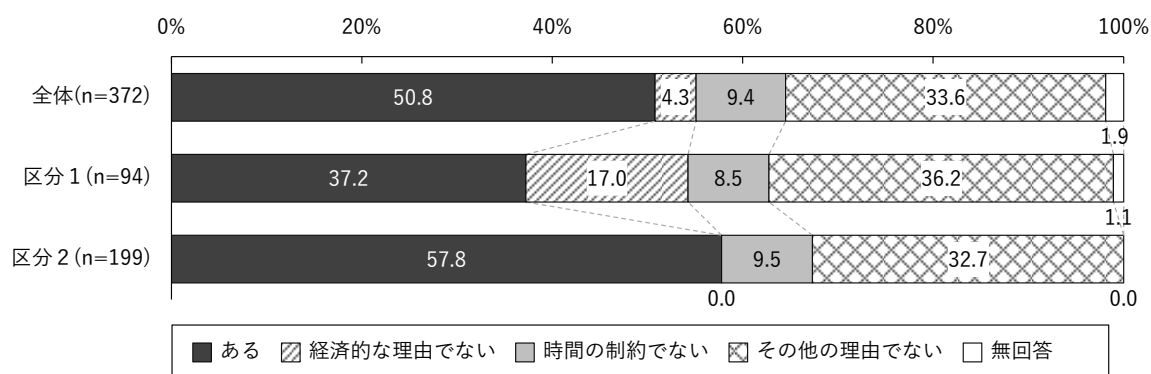
子どもと博物館・科学館・美術館などに行くことについて、「経済的な理由でない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で2.3%、小学校5年生で4.3%、中学校2年生で4.6%、16-17歳で0.5%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高く、区分2はいずれも0.0%となっています。

**小学校1年生** 問34 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／B 博物館・科学館・美術館などに行く



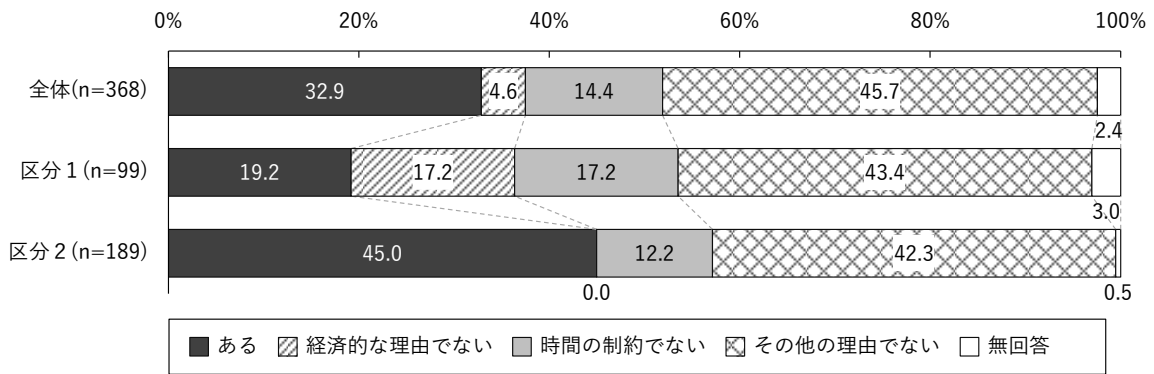
**小学校5年生** 問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／B 博物館・科学館・美術館などに行く



中学校2年生

問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。

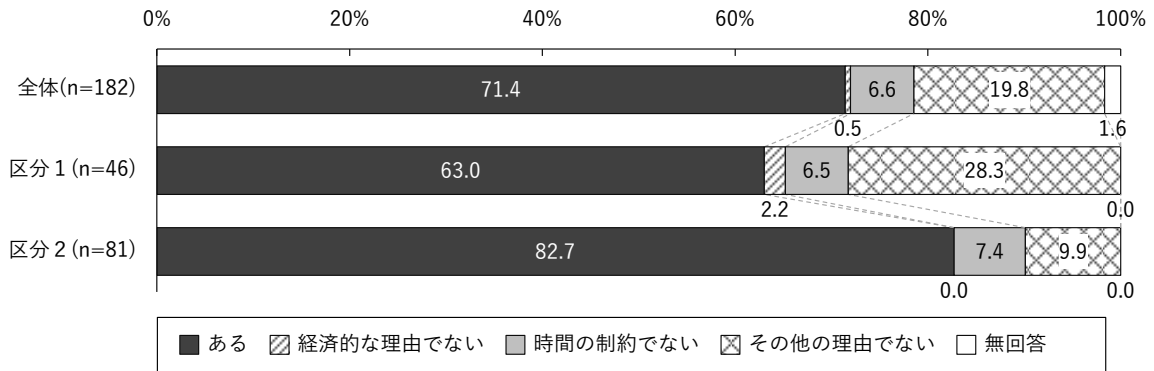
／B 博物館・科学館・美術館などに行く



16-17歳

問24 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。

／B 博物館・科学館・美術館などに行く



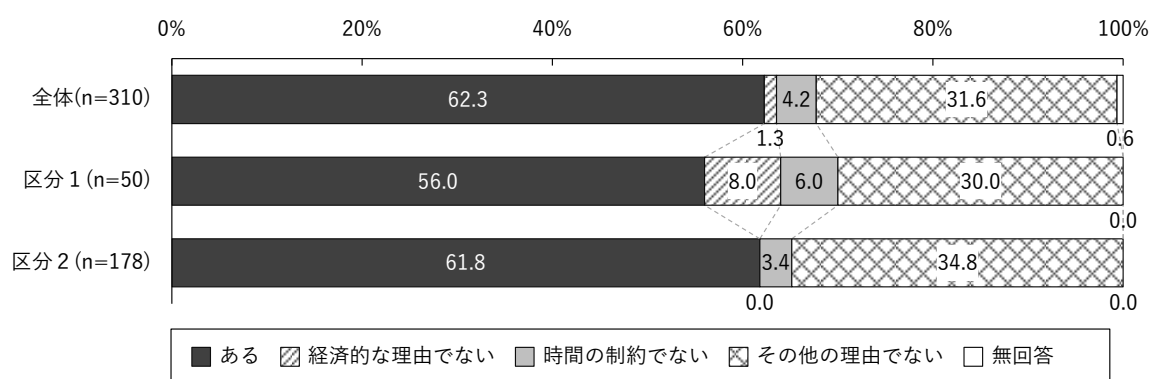
## C キャンプやバーベキューに行く

【保護者設問】

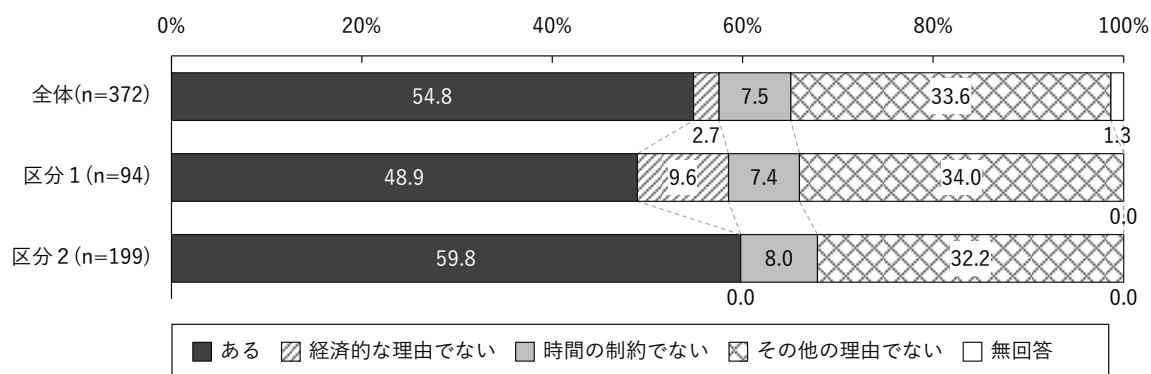
子どもとキャンプやバーベキューに行くことについて、「経済的な理由でない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で1.3%、小学校5年生で2.7%、中学校2年生で3.5%、16-17歳で4.9%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高く、区分2はいずれも0.0%となっています。

**小学校1年生** 問34 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／C キャンプやバーベキューに行く



**小学校5年生** 問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／C キャンプやバーベキューに行く

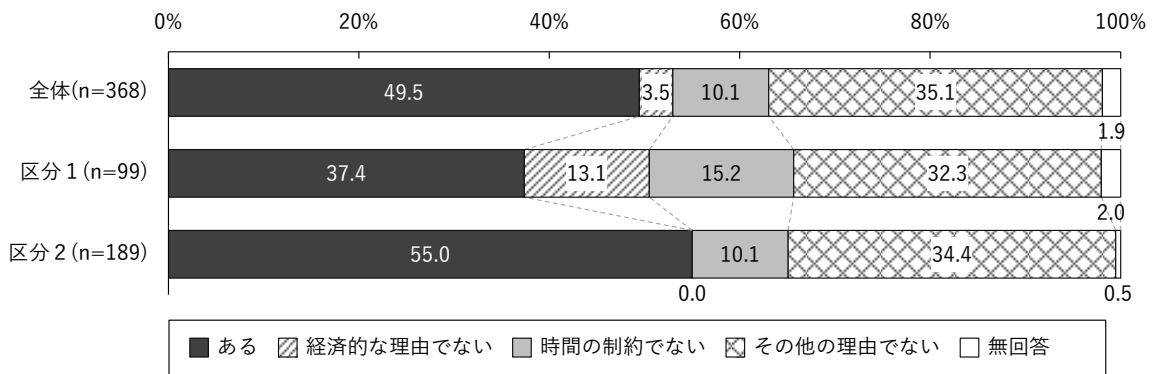




中学校2年生

問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。

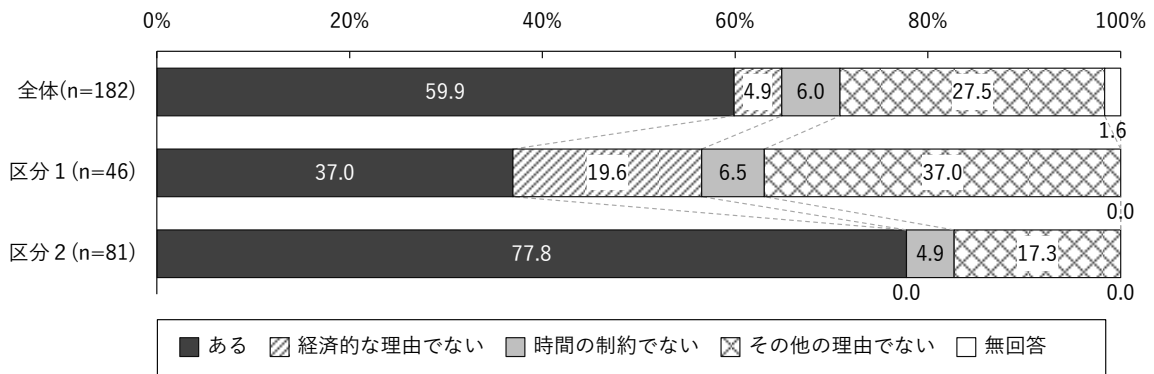
／C キャンプやバーベキューに行く



16-17歳

問24 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。／

C キャンプやバーベキューに行く



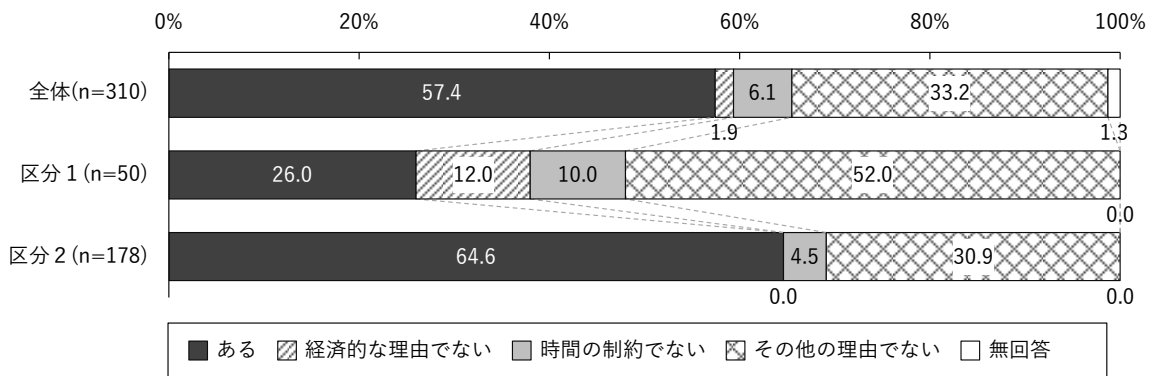
## D スポーツ観戦や劇場(映画館を含む)に行く

【保護者設問】

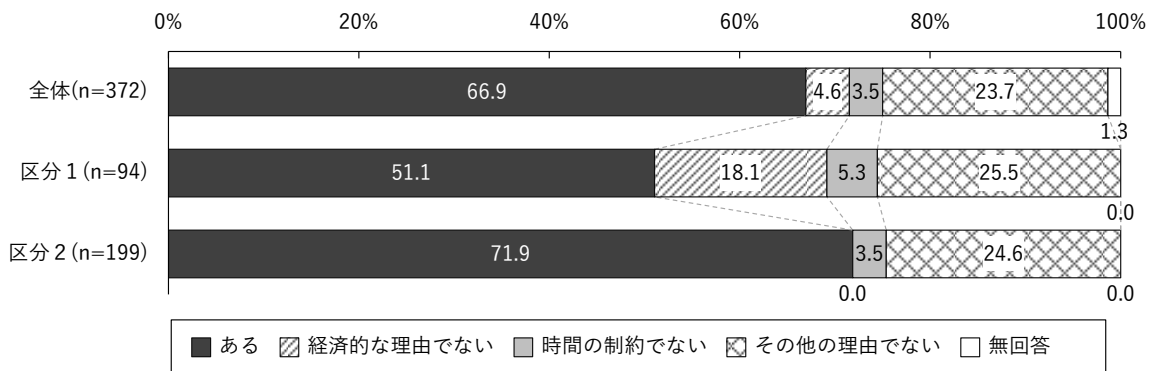
子どもとスポーツ観戦や劇場(映画館を含む)に行くことについて、「経済的な理由でない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で1.9%、小学校5年生で4.6%、中学校2年生で5.4%、16-17歳で1.6%となっています。

区別にみると「経済的な理由でない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高く、区分2はいずれも0.0%となっています。

**小学校1年生** 問34 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／D スポーツ観戦や劇場(映画館を含む)に行く



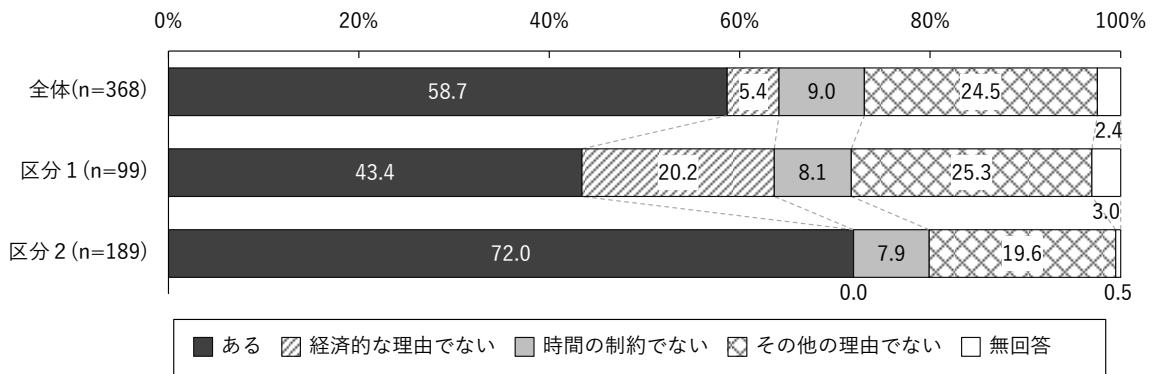
**小学校5年生** 問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／D スポーツ観戦や劇場(映画館を含む)に行く



中学校2年生

問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。

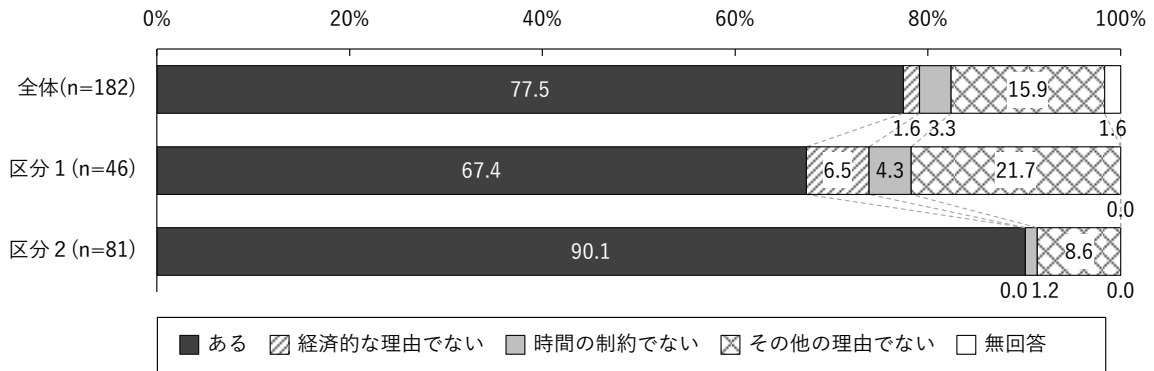
／D スポーツ観戦や劇場(映画館を含む)に行く



16-17歳

問24 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。／

D スポーツ観戦や劇場(映画館を含む)に行く



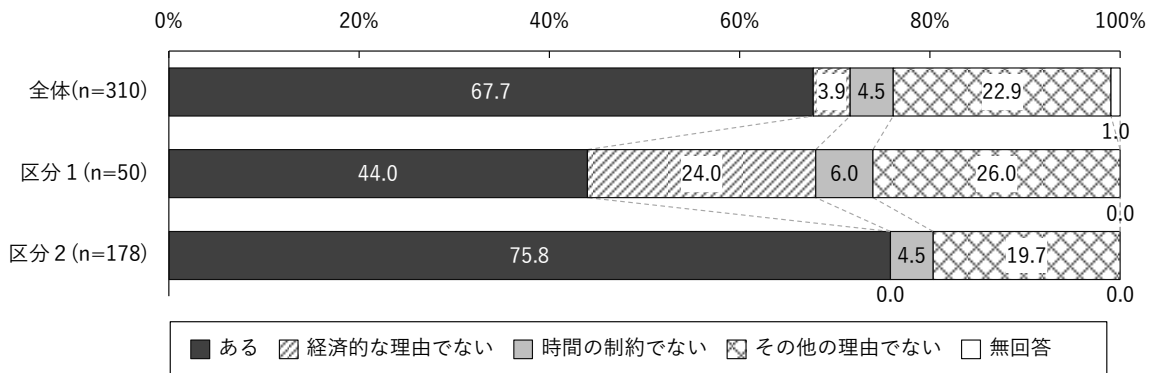
## E 遊園地やテーマパークに行く

【保護者設問】

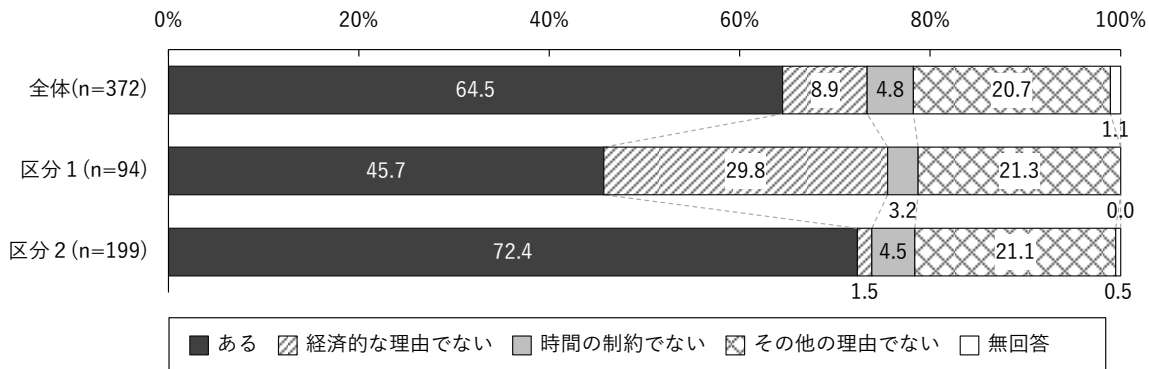
子どもと遊園地やテーマパークに行くことについて、「経済的な理由でない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で3.9%、小学校5年生で8.9%、中学校2年生で9.2%、16-17歳で4.4%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問34 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／E 遊園地やテーマパークに行く

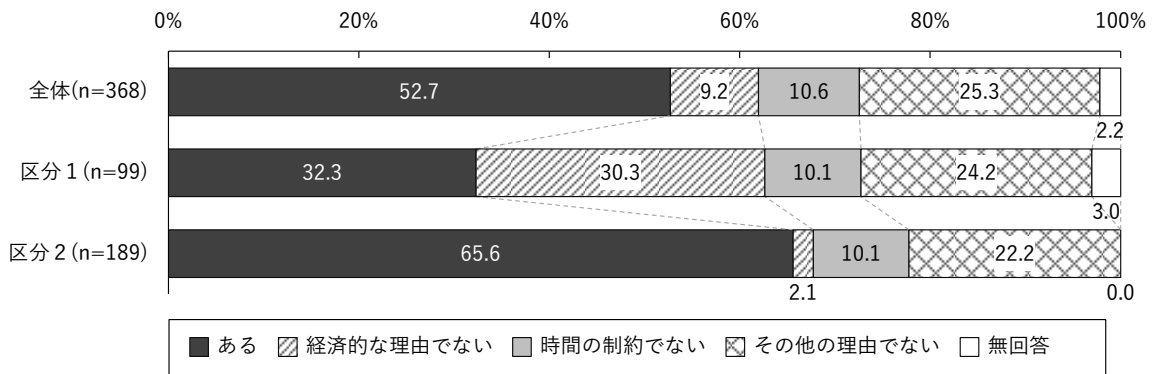


**小学校5年生** 問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／E 遊園地やテーマパークに行く



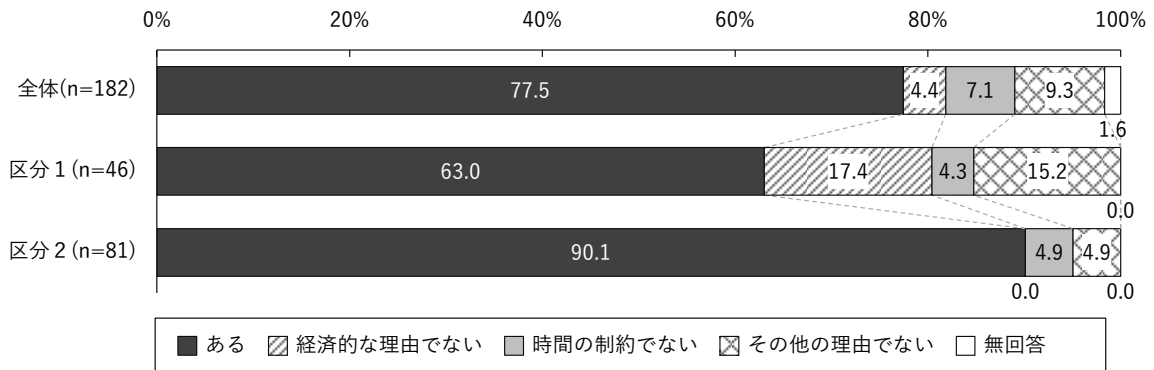
中学校2年生

問22 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。  
／E 遊園地やテーマパークに行く



16-17歳

問24 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることができますか。／  
E 遊園地やテーマパークに行く



### 3. 子どもの食と栄養

#### (1) 朝食の摂取状況

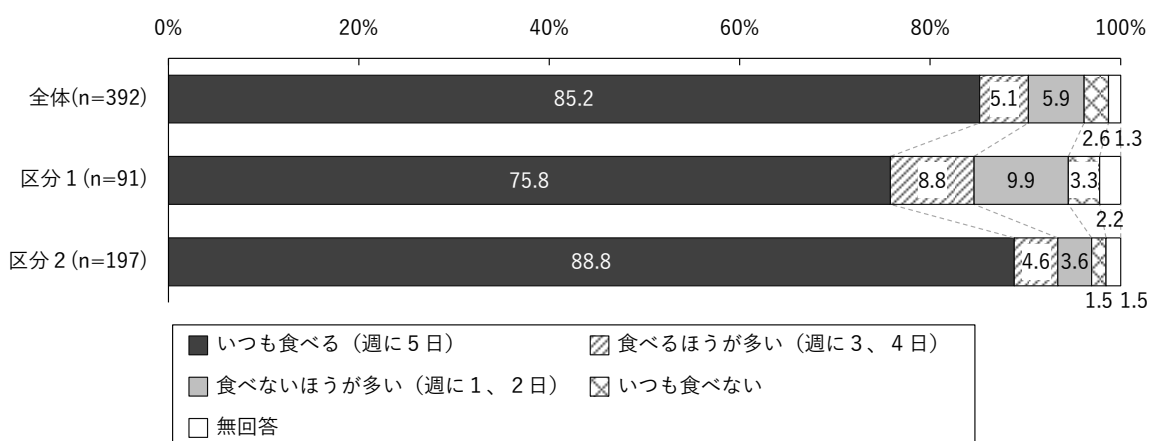
##### ① 小中学生子ども

【子ども設問】

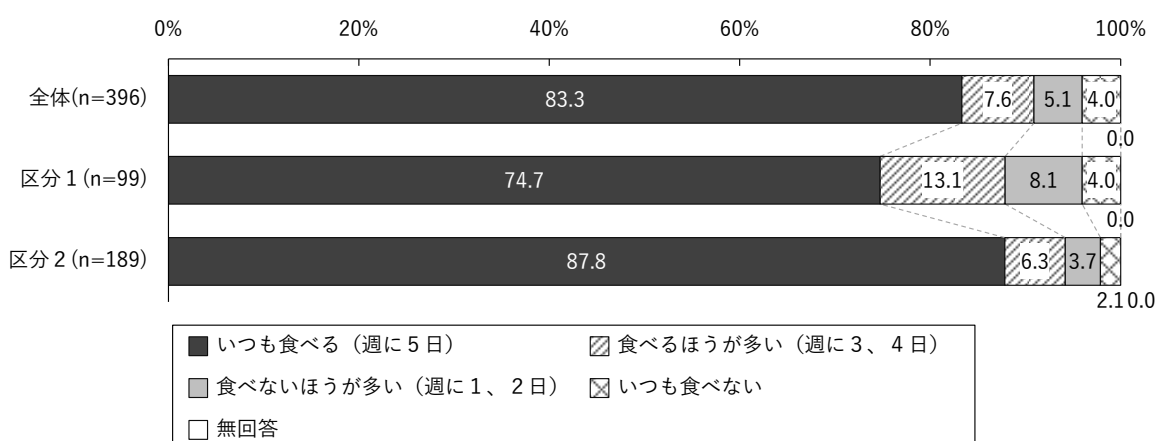
子どもの朝食の摂取状況について、「食べないほうが多い（週に1、2日）」「いつも食べない」を合わせた『食べない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で8.5%、中学校2年生で9.1%、16-17歳で10.2%となっています。

区分別にみると『食べない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で13.2%、区分2で5.1%、中学校2年生では区分1で12.1%、区分2で5.8%、16-17歳では区分1で20.0%、区分2で5.2%といずれも区分1の方が高くなっています。

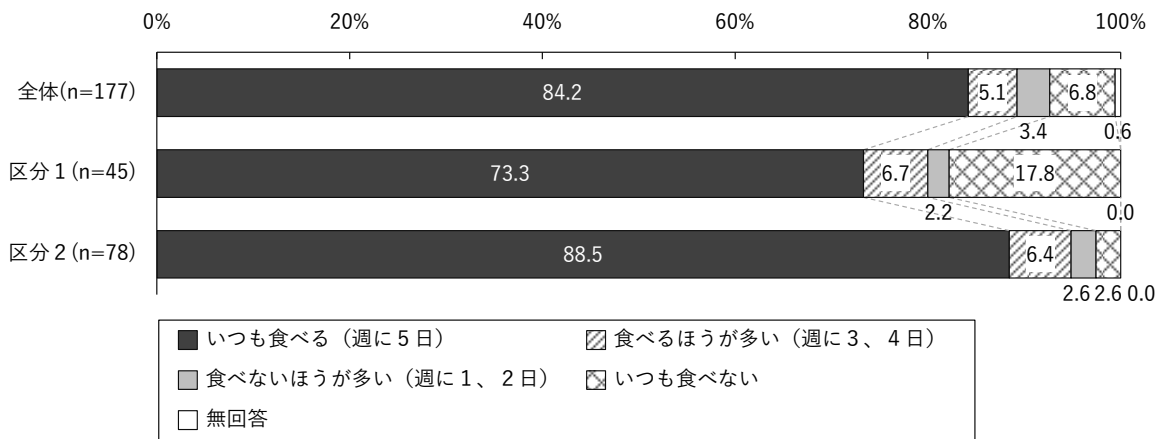
**小学校5年生** 問 16 あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんを食べますか。



**中学校2年生** 問16 あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんを食べますか。



16-17歳 問18 あなたは、平日（学校や仕事に行く日）に朝食を食べますか。



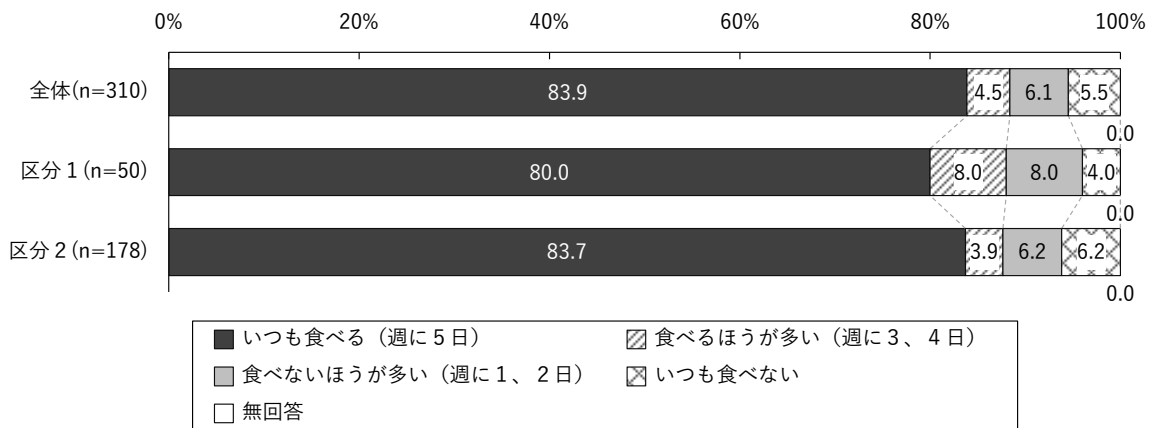
## ②保護者

【保護者設問】

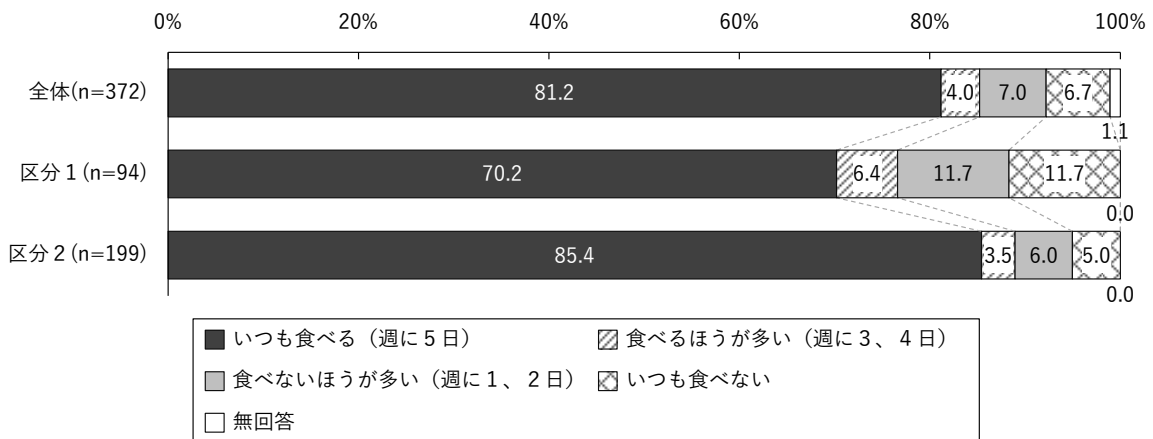
保護者の朝食の摂取状況について、「食べないほうが多い（週に1、2日）」「いつも食べない」を合わせた『食べない』と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で11.6%、小学校5年生で13.7%、中学校2年生で12.3%、16-17歳で10.4%となっています。

区分別にみると小学校1年生は区分1で12.0%、区分2で12.4%、小学校5年生では区分1で23.4%、区分2で11.0%、中学校2年生では区分1で18.2%、区分2で9.0%、16-17歳では区分1で15.2%、区分2で9.9%と小学校1年生を除く学年で区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問28 あなたは、平日（お子さんの学校のある日）に朝ごはんを食べますか。

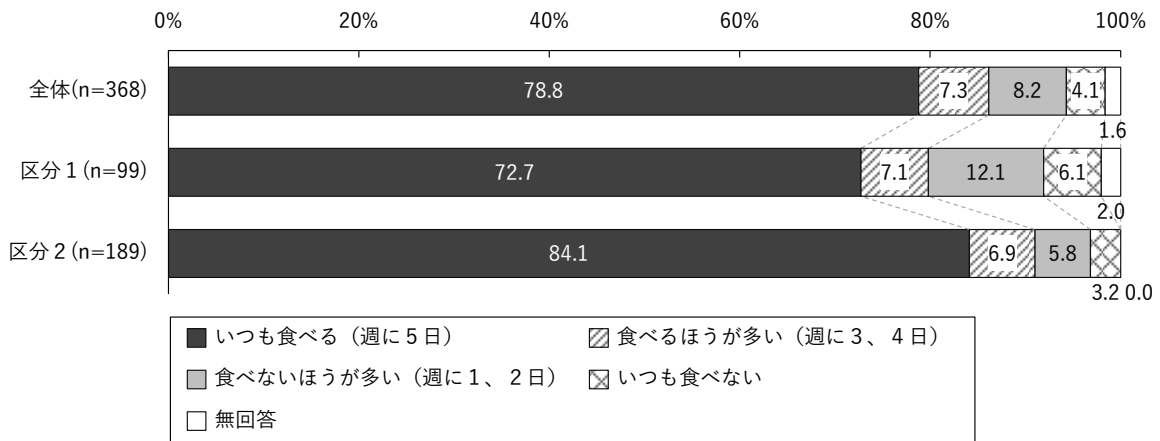


**小学校5年生** 問20 あなたは、平日（お子さんの学校のある日）に朝ごはんを食べますか。

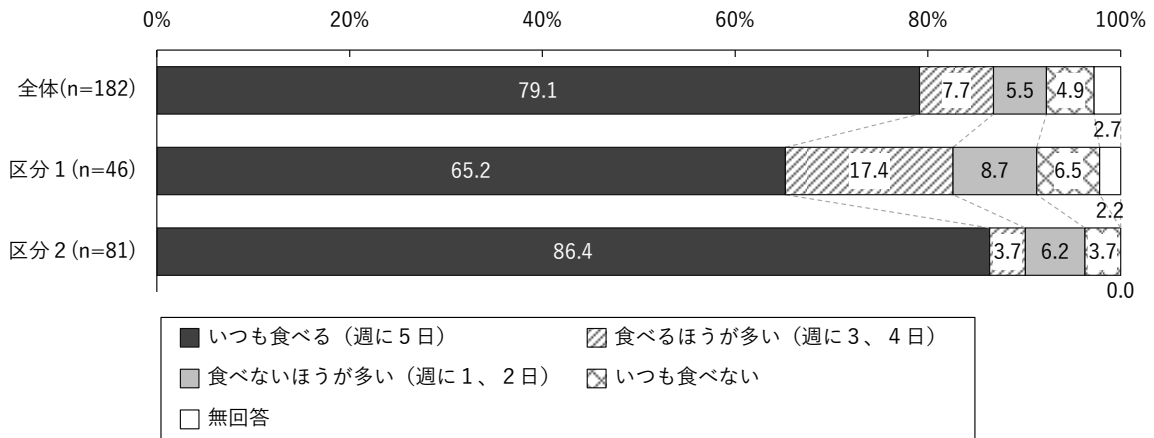




**中学校2年生** 問20 あなたは、平日（お子さんの学校のある日）に朝ごはんを食べますか。



**16-17歳** 問22 あなたは、平日（お子さんの学校や仕事のある日）に朝ごはんを食べますか。



## (2) 小中学生子どもの栄養群摂取状況

### A 野菜

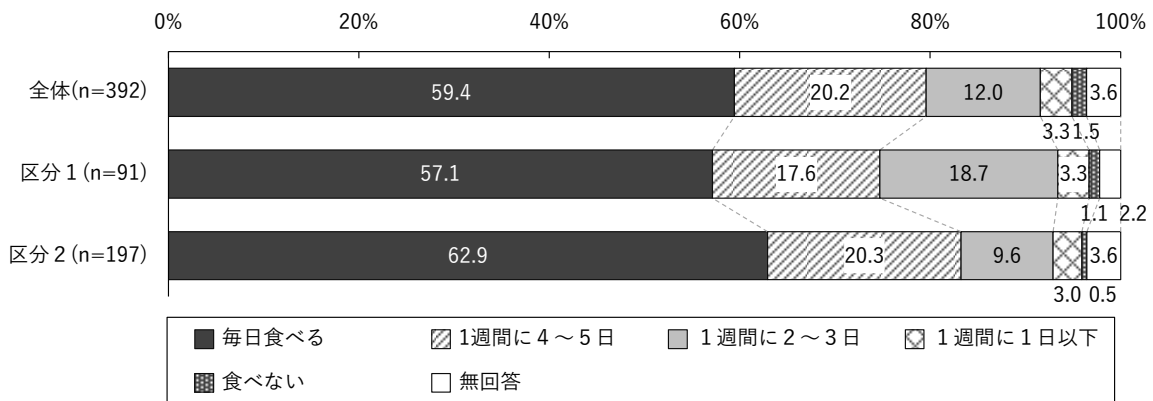
【子ども設問】

子どもの野菜の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で59.4%、中学校2年生で66.9%となっています。

区分別にみると「毎日食べる」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で57.1%、区分2で62.9%、中学校2年生では区分1で57.6%、区分2で68.8%といずれも区分1の方が低くなっています。

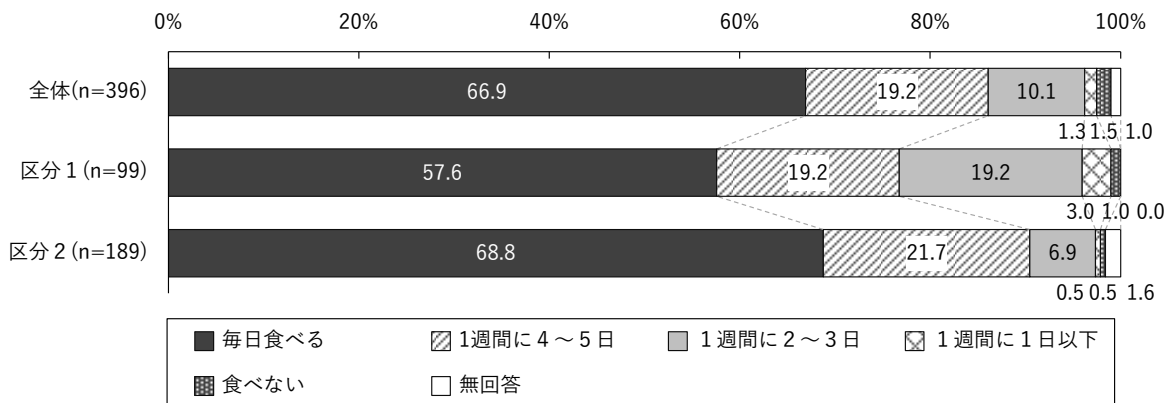
小学校5年生 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。

／A 野菜



中学校2年生 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。

／A 野菜



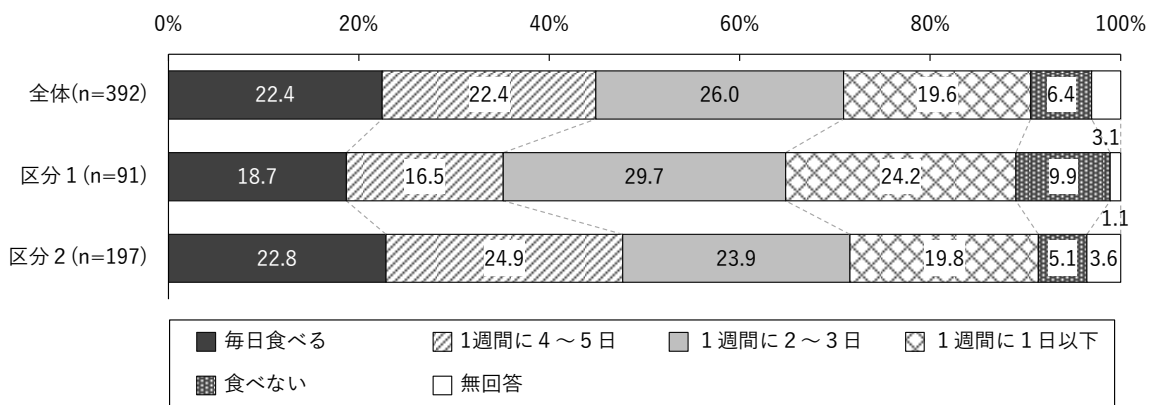
## B くだもの

【子ども設問】

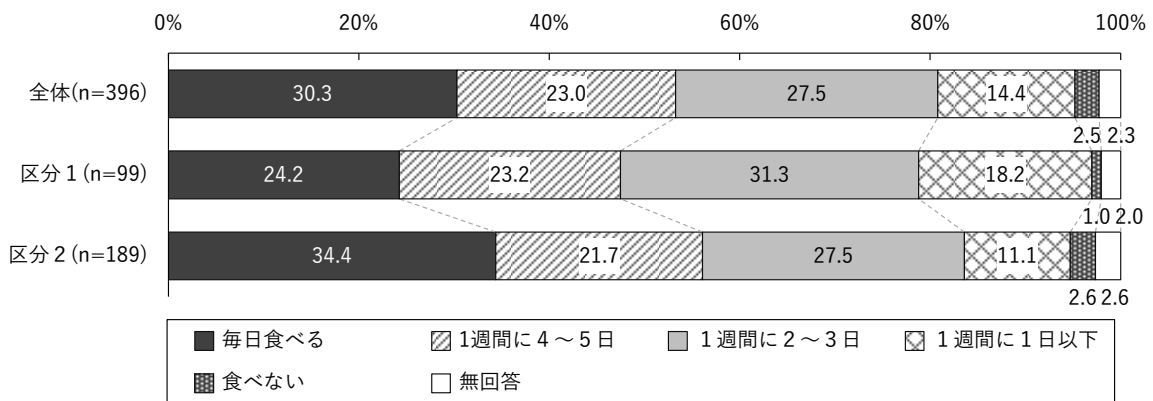
子どものくだもの摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で22.4%、中学校2年生で30.3%となっています。

区分別にみると「毎日食べる」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で18.7%、区分2で22.8%、中学校2年生では区分1で24.2%、区分2で34.4%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／B くだもの



**中学校2年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／B くだもの



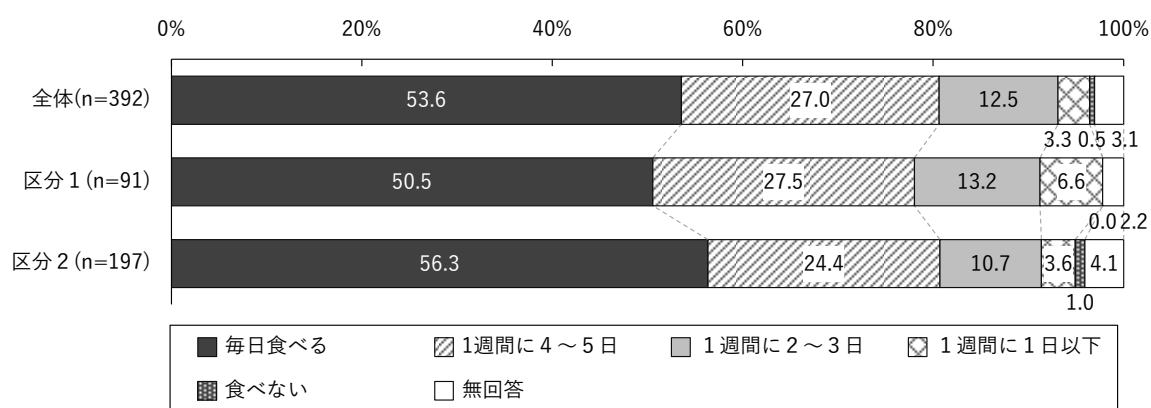
## C 肉や魚

【子ども設問】

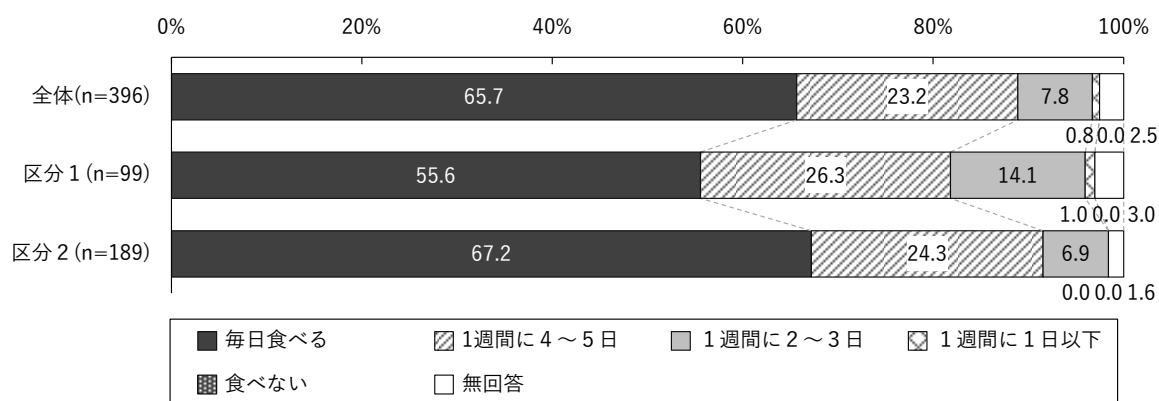
子どもの肉や魚の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で53.6%、中学校2年生で65.7%となっています。

区分別にみると「毎日食べる」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で50.5%、区分2で56.3%、中学校2年生では区分1で55.6%、区分2で67.2%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／C 肉や魚



**中学校2年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／C 肉や魚



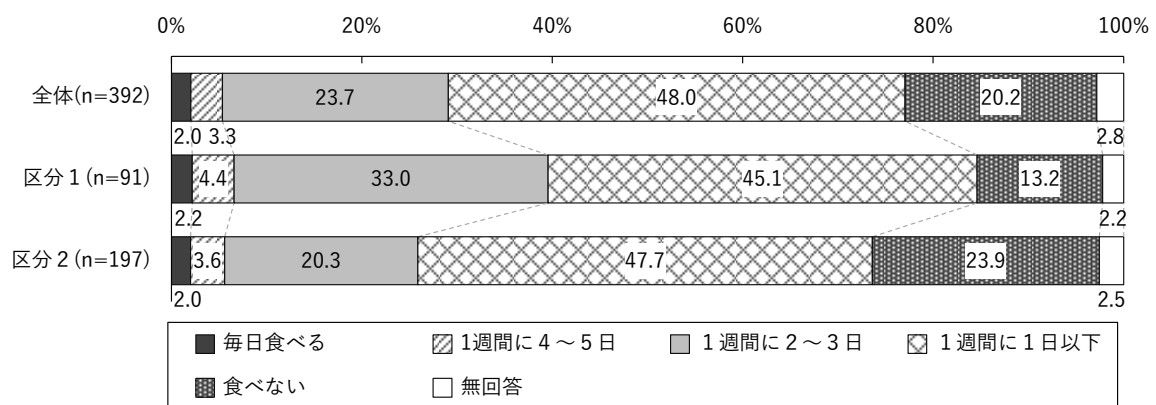
## D カップめん・インスタントめん

【子ども設問】

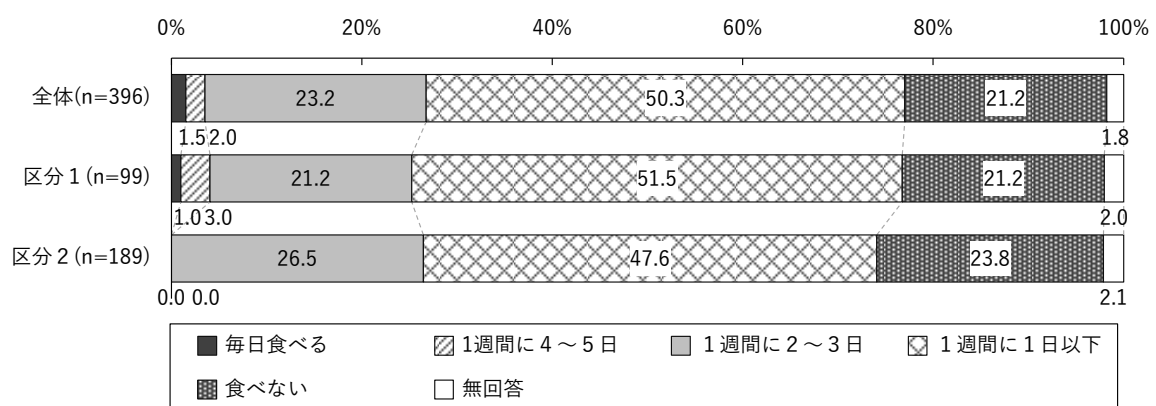
子どものカップめん・インスタントめんの摂取状況について、「1週間に2～3日」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で23.7%、中学校2年生で23.2%となっています。

区分別にみると「1週間に2～3日」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で33.0%、区分2で20.3%と区分1の方が高く、中学校2年生では区分1で21.2%、区分2で26.5%と区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／D カップめん・インスタントめん



**中学校2年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／D カップめん・インスタントめん



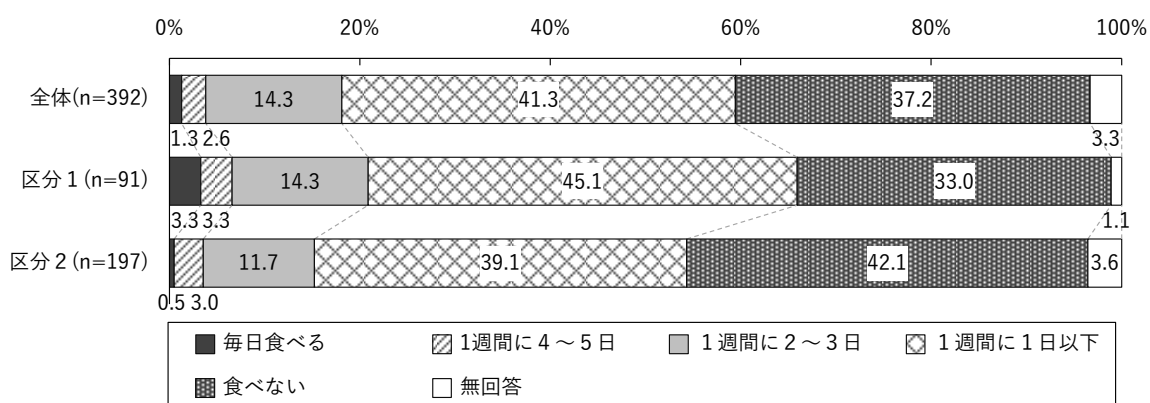
## E コンビニのおにぎり・お弁当

【子ども設問】

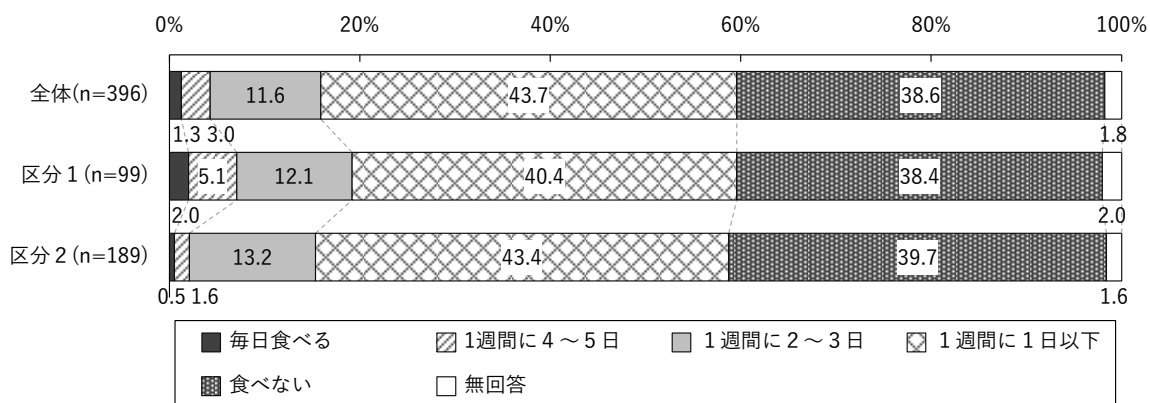
子どものコンビニのおにぎり・お弁当の摂取状況について、「毎日食べる」、「1週間に4～5日」を合わせた『週に4～5日以上』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で3.9%、中学校2年生で4.3%となっています。

区分別にみると『週に4～5日以上』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で6.6%、区分2で3.5%、中学校2年生では区分1で7.1%、区分2で2.1%といずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／E コンビニのおにぎり・お弁当



**中学校2年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／E コンビニのおにぎり・お弁当



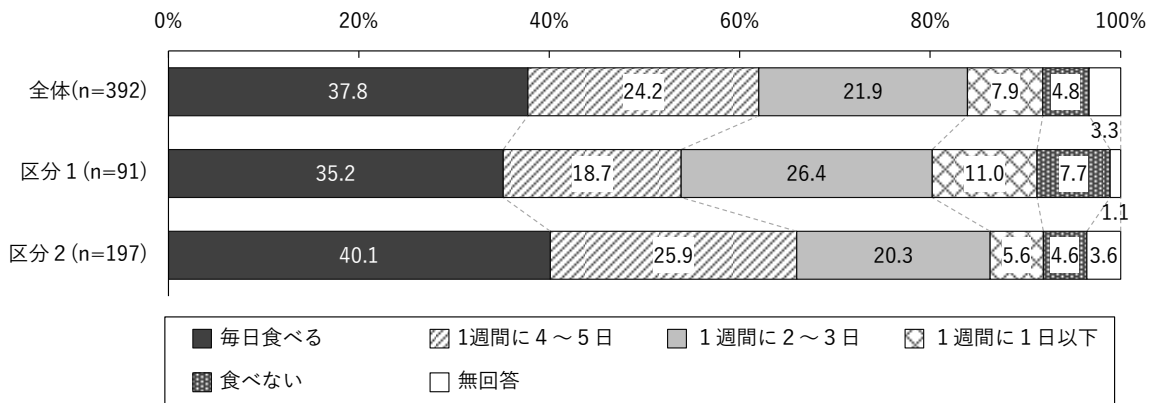
## F お菓子

【子ども設問】

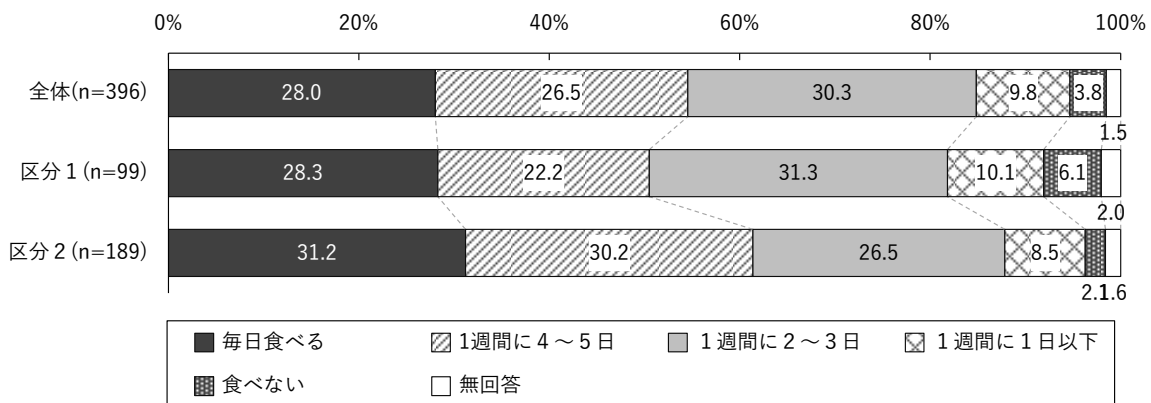
子どものお菓子の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で37.8%、中学校2年生で28.0%となっています。

区分別にみると「毎日食べる」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で35.2%、区分2で40.1%、中学校2年生では区分1で28.3%、区分2で31.2%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／F お菓子



**中学校2年生** 問19 あなたは、給食をのぞいて、以下の食物をふだんどれくらい食べますか。  
／F お菓子



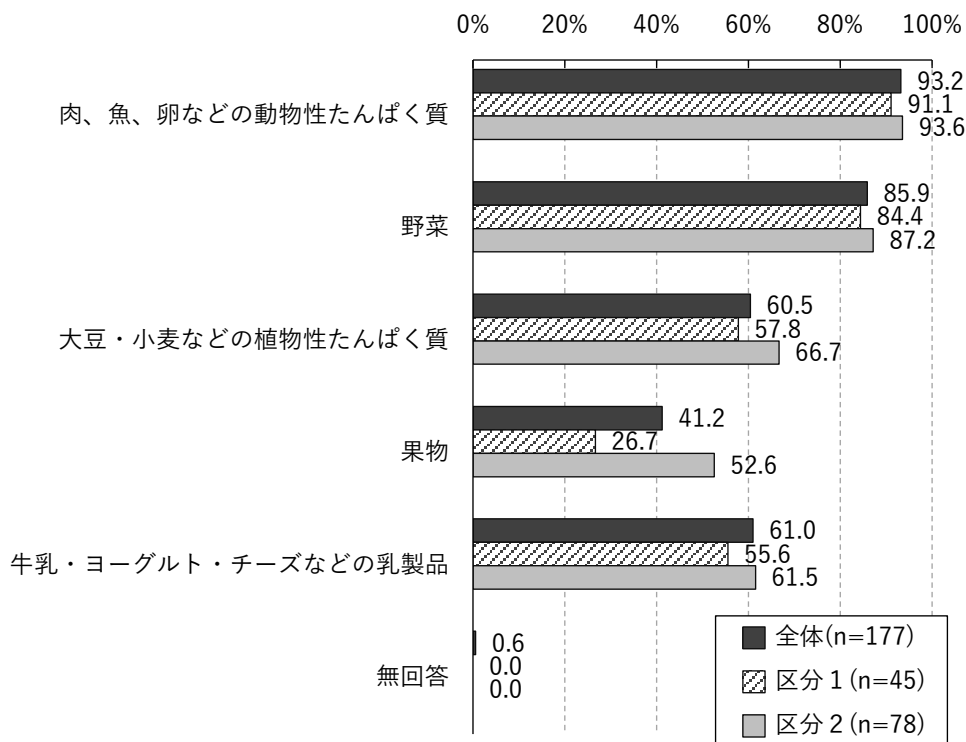
### (3) 16-17歳の食品群別の摂取頻度

【子ども設問】

16-17歳の食品群別の摂取頻度について、少なくとも1日に1回は食べていると回答した割合は、全体をみると「肉、魚、卵などの動物性たんぱく質」が93.2%、「野菜」が85.9%、「牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品」が61.0%、「大豆・小麦などの植物性たんぱく質」が60.5%、「果物」が41.2%となっています。

区分別にみるといずれの食品群も区分1の方が低く、特に「果物」で差が大きくなっています。

**16-17歳** 問20 あなたは、次の食品を少なくとも1日に1回は食べていますか。





## 4. 家計の状況

### (1) 世帯収入

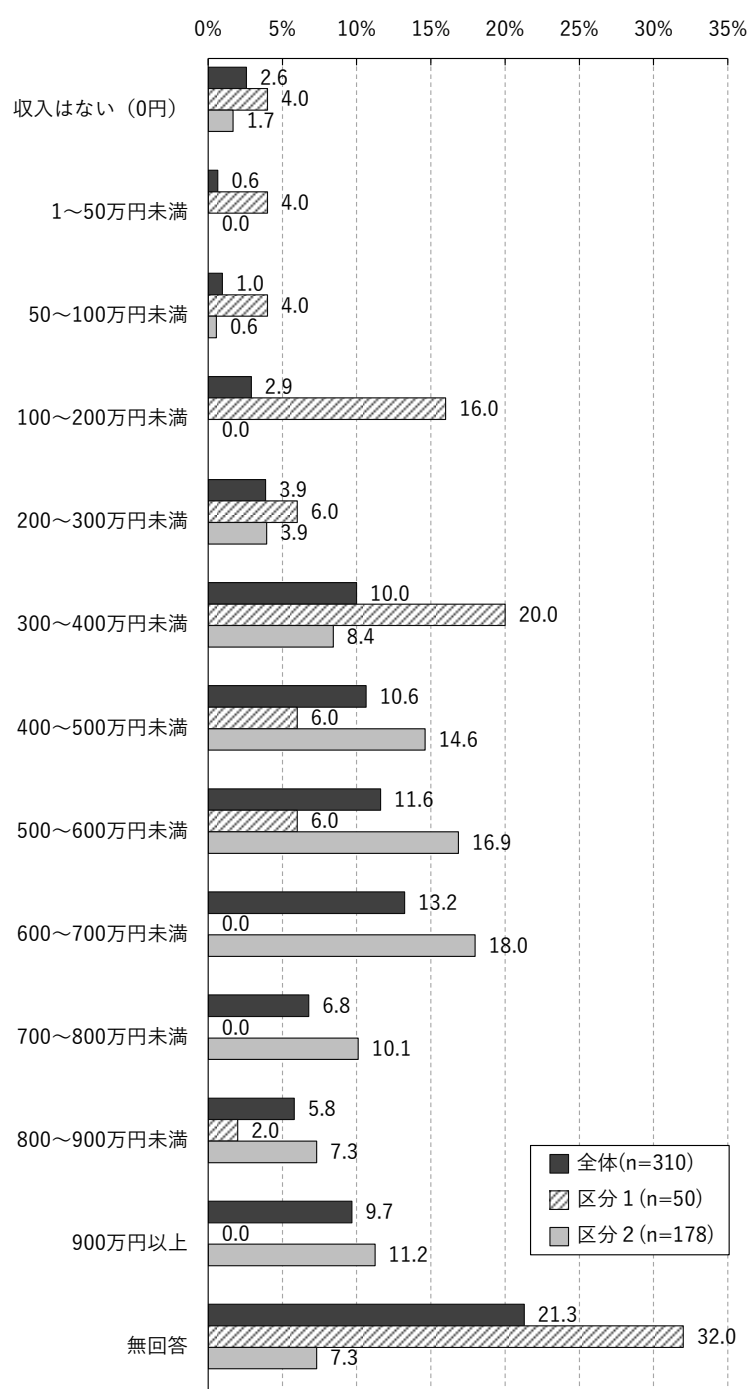
【保護者設問】

世帯収入について、全体をみると小学校1年生は「600～700万円未満」が13.2%、小学校5年生、中学校2年生では「900万円以上」がそれぞれ10.8%、10.3%、16-17歳では「600～700万円未満」、「800～900万円未満」、「900万円以上」が12.6%と最も高くなっています。

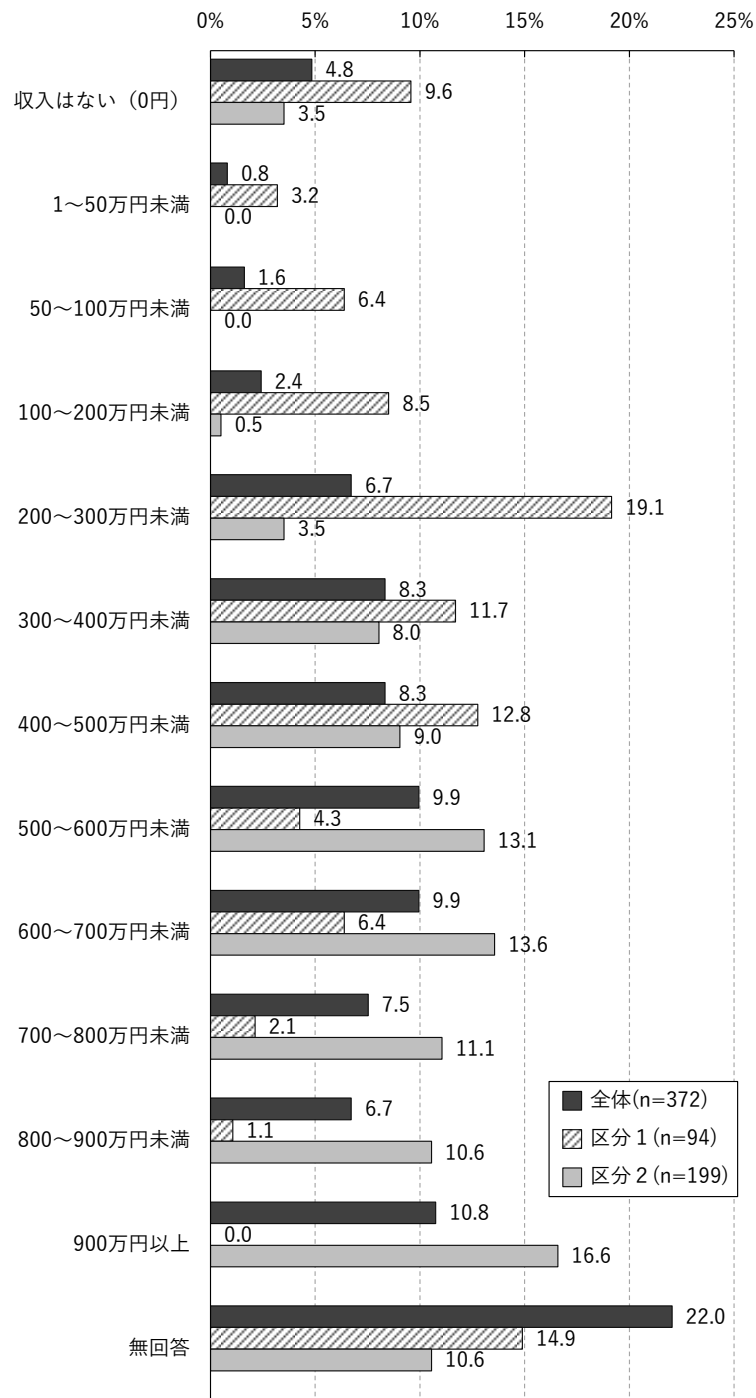
区分別にみると小学校5年生を除く学年で「300～400万円未満」が区分1で最も高く、小学校5年生では「200～300万円未満」が最も高くなっています。

小学校1年生

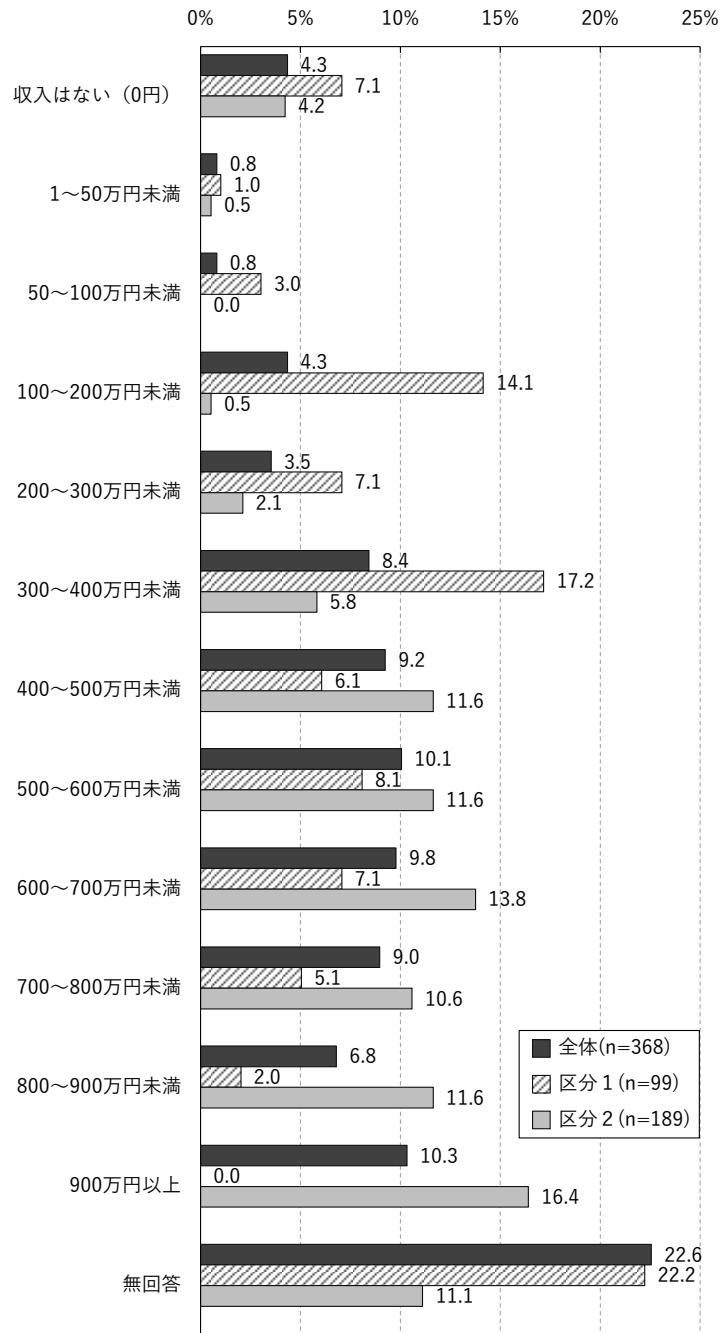
問27 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。



問19 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。

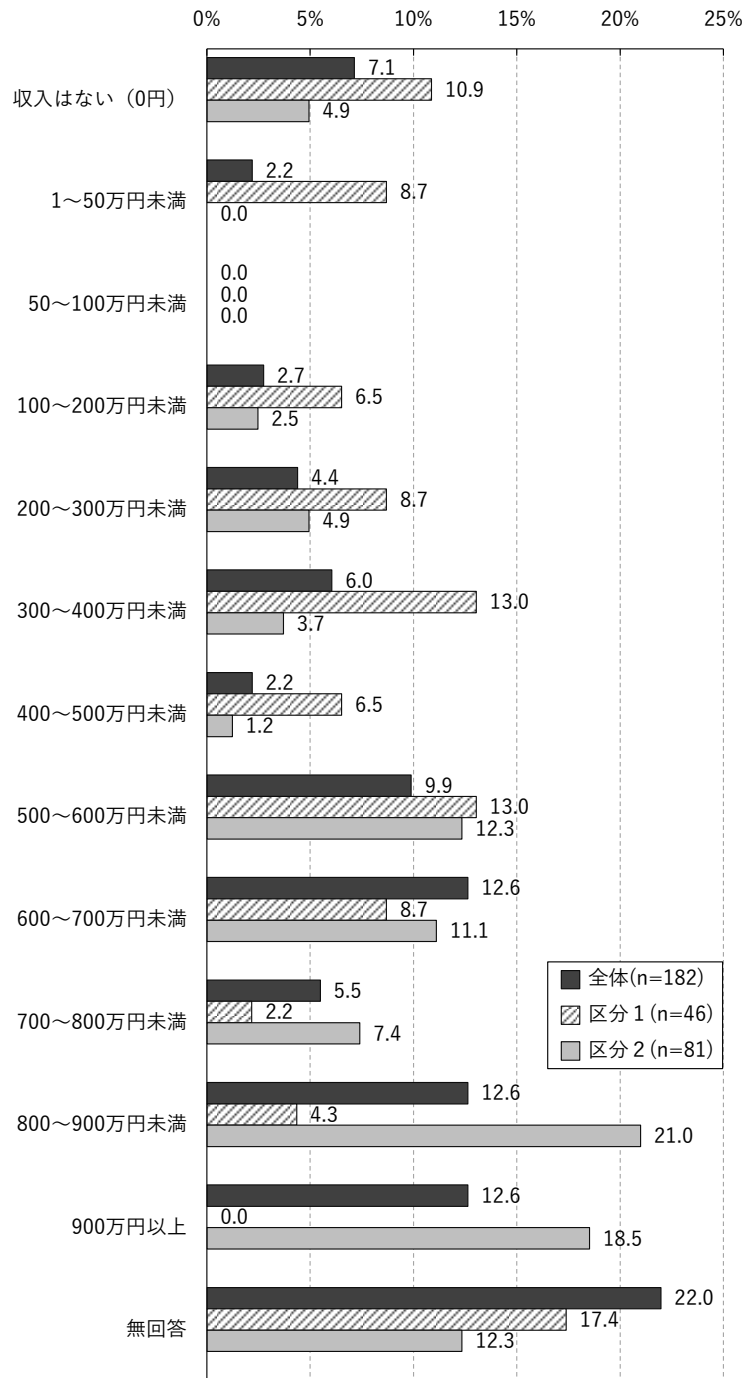


問19 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。



16-17歳

問21 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。



## (2) 就学援助費

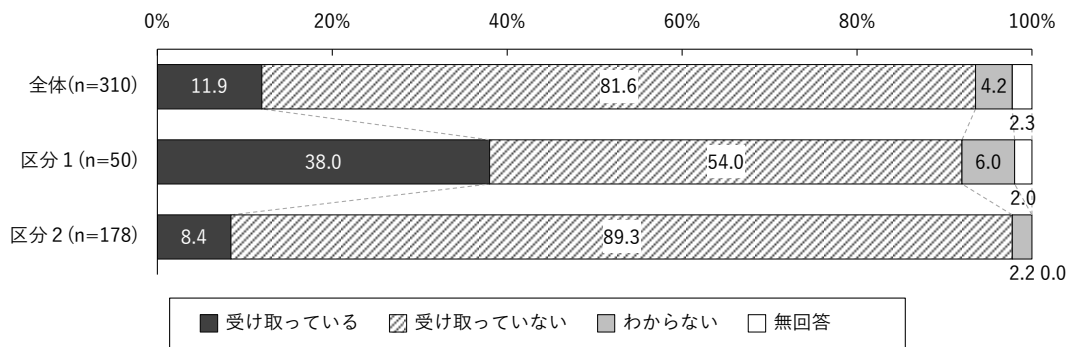
### ① 受給状況

【保護者設問】

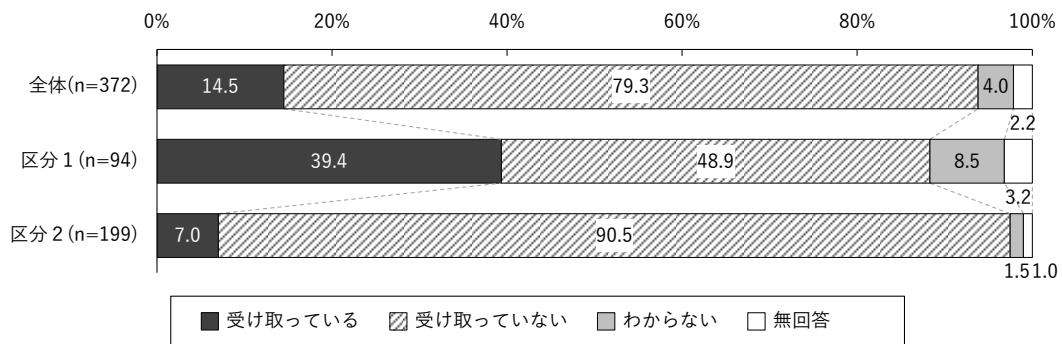
就学援助費について、「受け取っている」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で11.9%、小学校5年生で14.5%、中学校2年生で17.4%となっています。

区別にみると小学校1年生は区分1で38.0%、区分2で8.4%、小学校5年生では区分1で39.4%、区分2で7.0%、中学校2年生では区分1で44.4%、区分2で5.8%といずれも区分1の方が高くなっています。

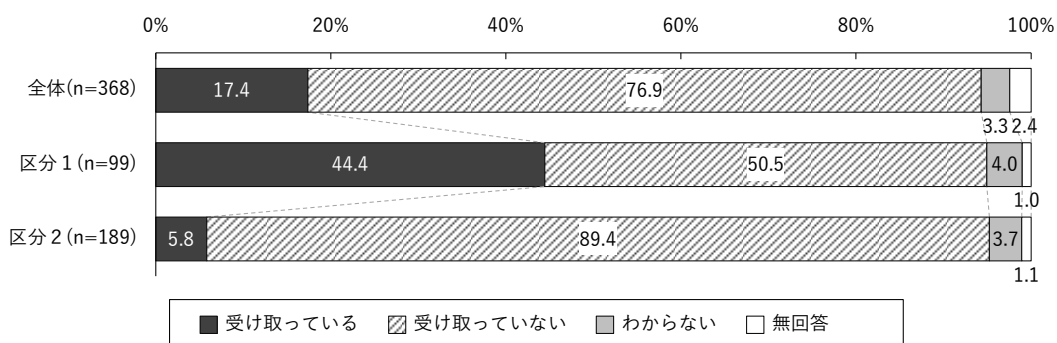
**小学校1年生** 問25 あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰った又は宛名のお子さんのために就学援助費を受け取っていますか。



**小学校5年生** 問17 あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰った又は宛名のお子さんのために就学援助費を受け取っていますか。



**中学校2年生** 問17 あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰った又は宛名のお子さんのために就学援助費を受け取っていますか。



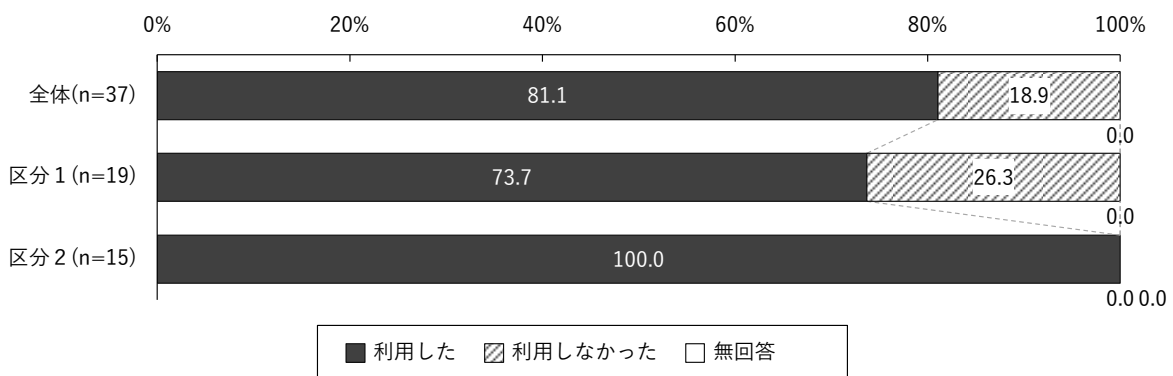
## ②「入学前支給」の利用有無

【保護者設問】

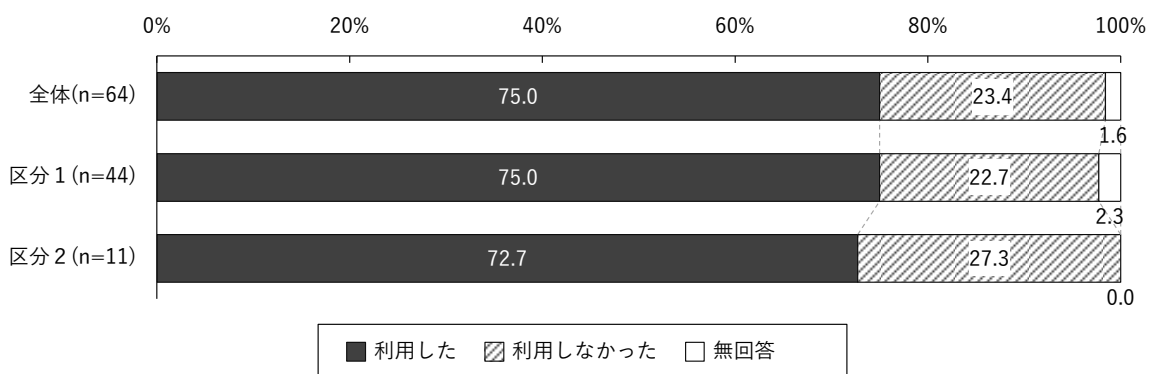
就学援助費を「受け取っている」と回答した人に入学前支給の利用についてたずねたところ、「利用した」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で81.1%、中学校2年生で75.0%と割合は高くなっています。

区分別にみると「利用した」と回答した割合は、小学校1年生は区分1で73.7%、区分2で100.0%、中学校2年生では区分1で75.0%、区分2で72.7%となっています。

**小学校1年生** 問25-1 問25で「1. 受け取っている」を選んだ方におうかがいします。就学援助費の「入学前支給」(入学時に必要となる新入学児童学用品費の事前支給)を利用しましたか。



**中学校2年生** 問17-1 問17で「1. 受け取っている」を選んだ方におうかがいします。就学援助費の「入学前支給」(入学時に必要となる新入学児童学用品費の事前支給)を利用しましたか。



### ③「入学前支給」への意見

小学校1年生及び中学校2年生の保護者に、利用の有無にかかわらず就学援助費の入学前支給についてたずねたところ、主な意見は以下のような内容となっています。

| 制度についての意見   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 入学前の準備は思っていた以上に支費があったので、対象の人はあると安心すると思う。</li><li>● とても助かる制度だと思う。</li><li>● 必要な方に是非するべきだと思う。子供の不安が軽減できると思う</li><li>● 援助の必要な人が、全員支給されるといい。</li><li>● 入学前に必要な物がたくさんあり購入するのが経済的に負担となるので続けてほしい。</li></ul>  |
| 制度利用者の意見  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>● コロナで収入が減った時に申請させて頂いてとても助かった。</li><li>● とてもありがたい。</li><li>● 利用させてもらい、とても助かりました。</li><li>● 生活が苦しい為、もう少し金額をあげてほしい。</li><li>● 援助費があるのはうれしいし、助かる。</li></ul>  |
| 制度対象者についての意見  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 入学にはある程度費用がかかるので、全員に支給があっても良いと思う。</li><li>● 同居の親の収入が加算されてしまい、申請要件を満たさなかった。生活費を援助してもらえないわけではなく別世帯なので、就学援助を受けられると助かる。</li><li>● 該当する人はごく一部。支給あれば助かった。</li><li>● 収入にかかわらず全員受け取れるようになってほしい。</li><li>● 対象の幅を広げてほしい。</li><li>● 受給資格がきびしいのでゆるくしてほしい。</li></ul>             |
| 制度の利用方法や周知についての意見   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 就学援助費制度について、知らなかったなので、広く知らせてほしい。</li><li>● 大切な制度なので、手続きを簡単にし、利用しやすいと良い。</li><li>● プリントがわかりにくい。対象者がだれであるかをわかりやすく記載し、文字を読むのが苦手な人でもわかるものにしてもらいたい。</li><li>● アナウンスが足りない。</li><li>● 事前に情報等があれば、利用を考える事も出来た。もう少し認知度を上げてほしい。</li><li>● 制度をもっと周知させ、利用がしやすいようにすべき。</li></ul> |
| その他   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 体操着や一時期しか使用しない算数セットなども無料になればいいと思う。</li><li>● 義務教育の期間は、制服、かばん、靴など、お金がかかるものを廃止してほしい。</li></ul>  |

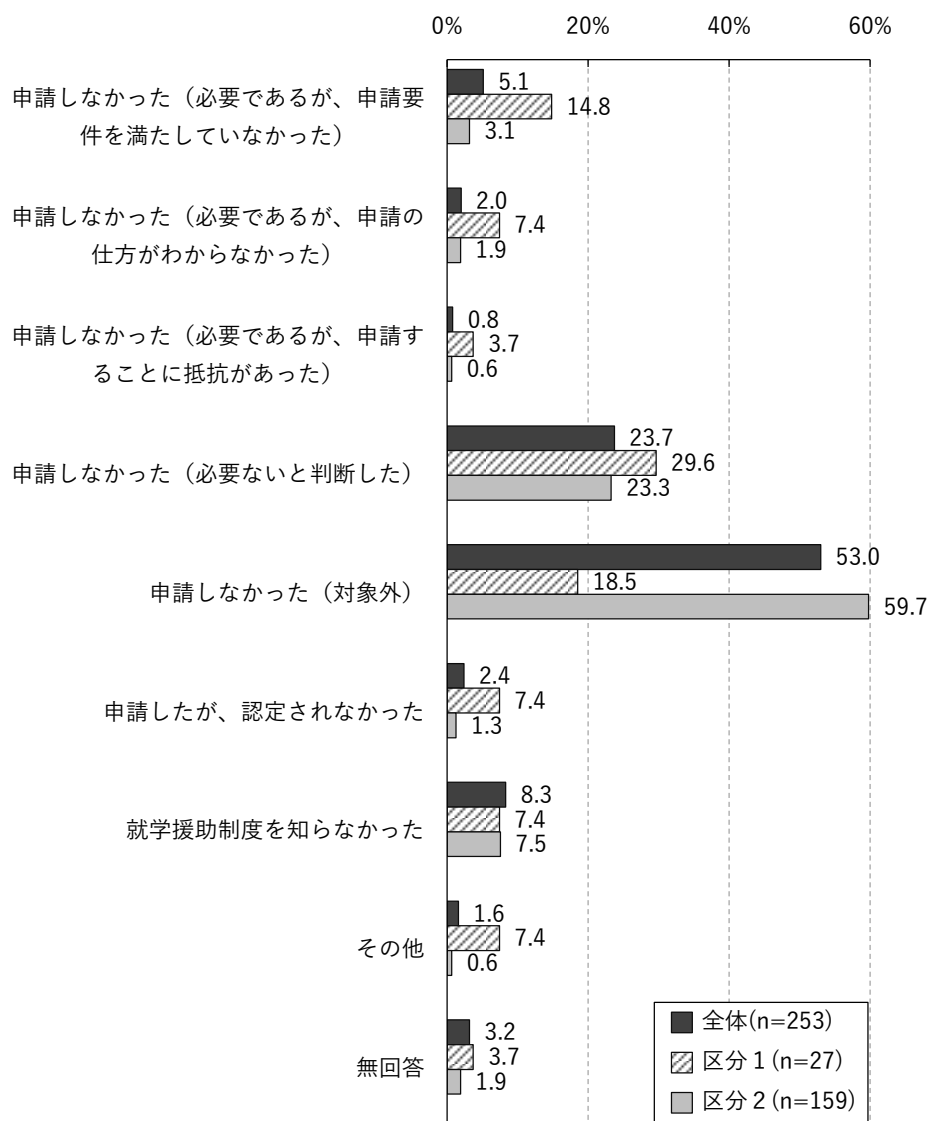
#### ④受給していない理由

【保護者設問】

就学援助費を「受け取っていない」と回答した人に理由についてたずねたところ、全体ではいずれの学年も「申請しなかった（対象外）」が最も高く、小学校1年生で53.0%、小学校5年生で50.8%、中学校2年生で51.9%と50%以上となっています。

区分別にみると「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」、「申請しなかった（必要であるが、申請の仕方がわからなかった）」、「申請したが、認定されなかった」はいずれの学年も区分1の方が高くなっています。

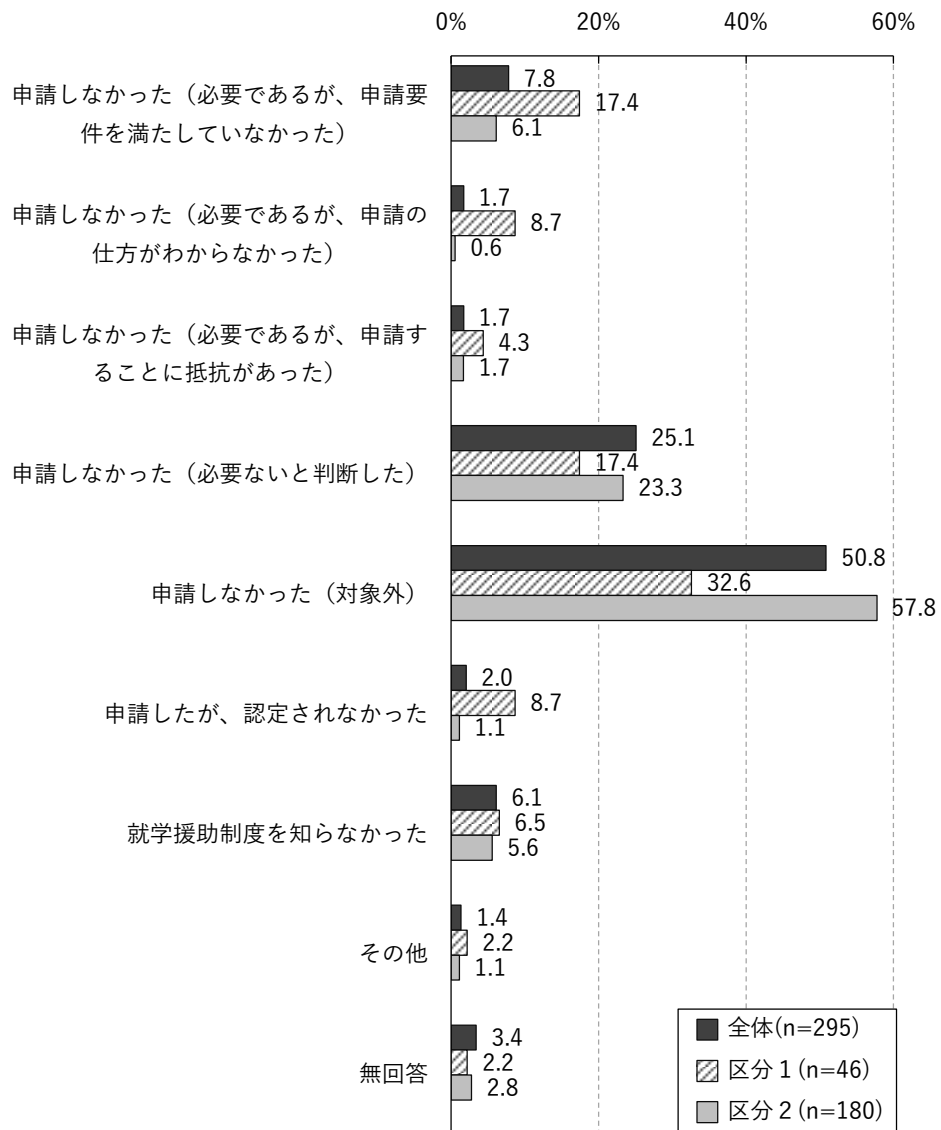
**小学校1年生** 問25-2 問25で「2. 受け取っていない」を選んだ方におうかがいします。受け取っていない理由は、何ですか。





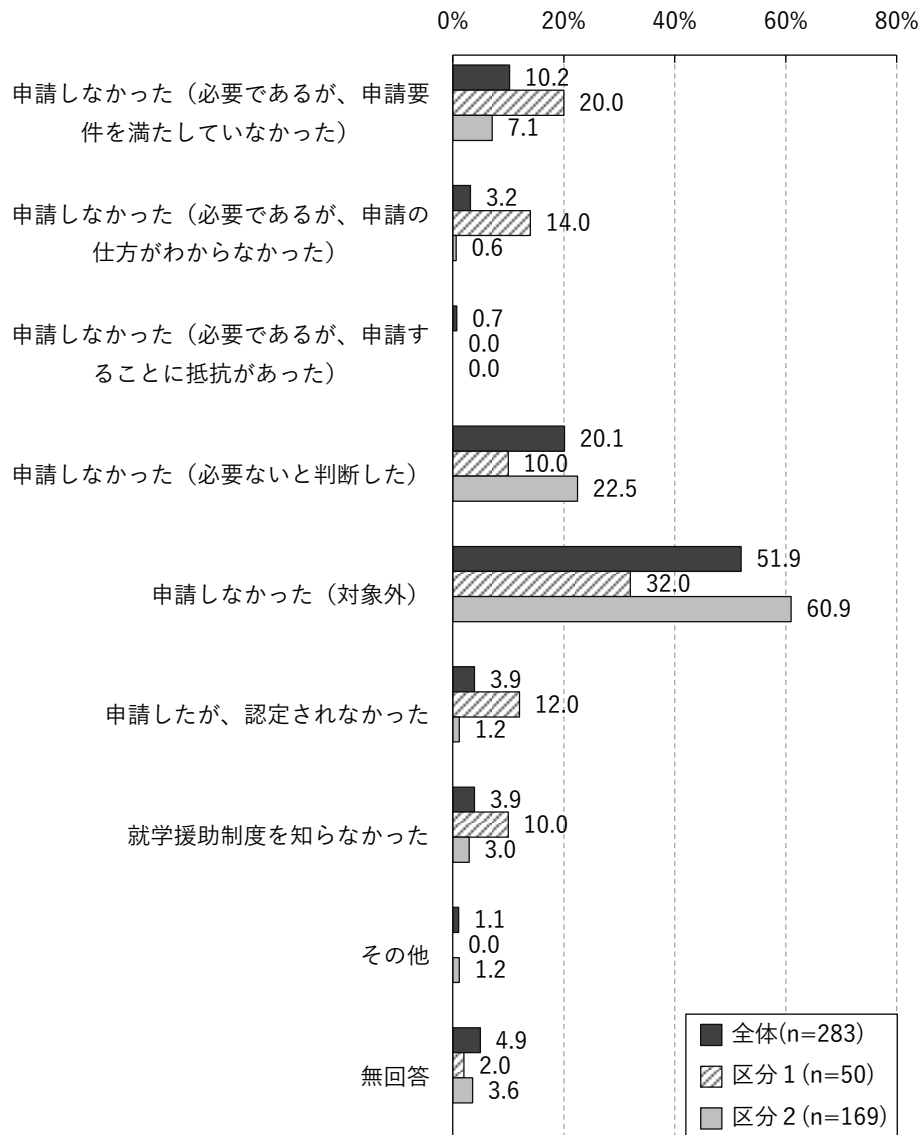
小学校5年生

問17-1 問17で「2. 受け取っていない」を選んだ方におうかがいします。受け取っていない理由は、何ですか。



中学校2年生

問17-2 問17で「2. 受け取っていない」を選んだ方におうかがいします。受け取っていない理由は、何ですか。



### (3) 高等学校等就学支援金制度

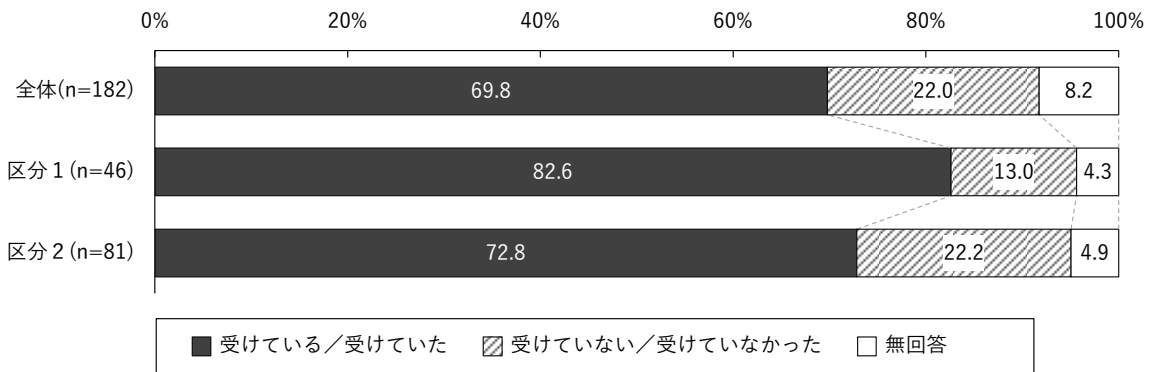
#### ① 受給状況

【保護者設問】

高等学校等就学支援金制度について、全体をみると「受けている/受けていた」と回答した割合は69.8%となっています。

区分別にみると「受けている/受けていた」は区分1の方が82.6%と高くなっています。

**16-17歳** 問18 あなたのご家庭では、宛名のお子さんのために新潟県の「高等学校等就学支援金制度（学費無償化）」の支給を受けていますか。



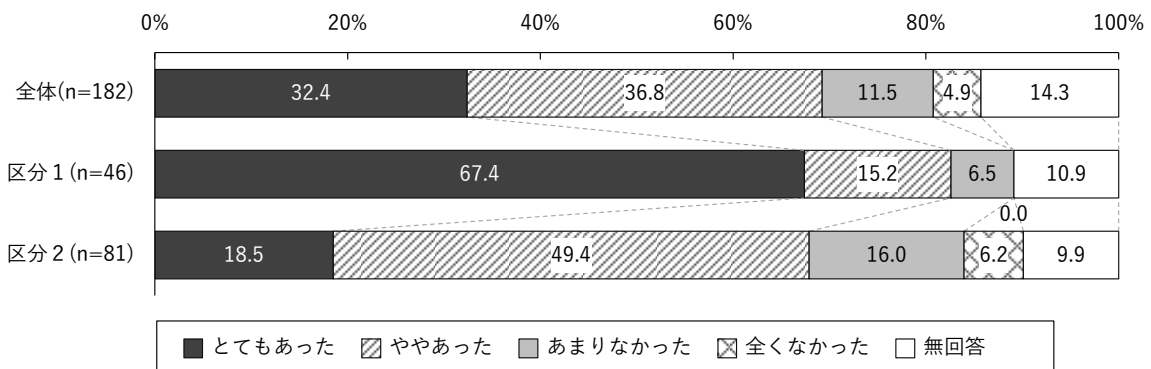
### (4) 高等学校等入学準備の家計への負担感

【保護者設問】

高等学校入学時の家計への負担感について、「とてもあった」「ややあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、全体をみると69.2%となっています。

区分別にみると「とてもあった」は区分1の方が67.4%と高くなっています。

**16-17歳** 問19-2 制服や体操服、教科書等の準備について、家計への負担感はありましたか。



## 5. 子どもの学びと学校生活

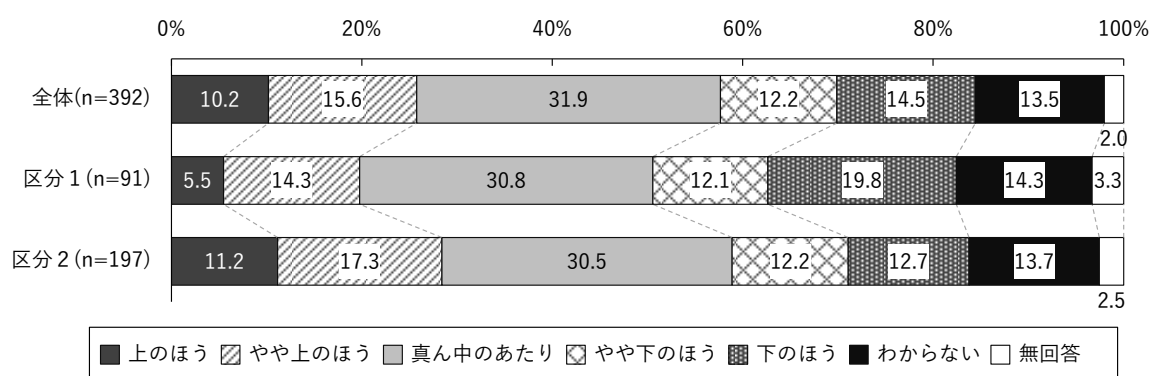
### (1) 主観的学校の成績

【子ども設問】

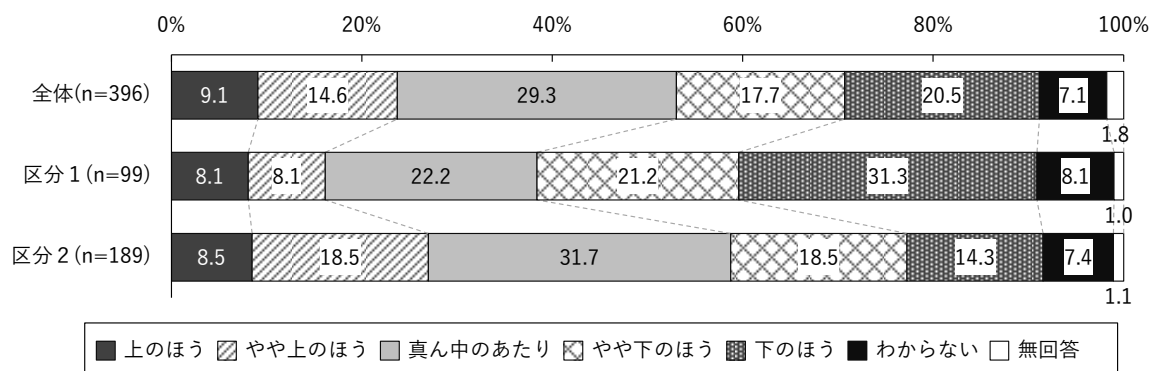
子どもの主観的学校の成績について、「やや下のほう」「下のほう」を合わせた『下のほう』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で26.7%、中学校2年生で38.2%となっています。

区別にみると『下のほう』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で31.9%、区分2で24.9%、中学校2年生では区分1で52.5%、区分2で32.8%といずれも区分1の方が高くなっています。

小学校5年生 問25 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。



中学校2年生 問25 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。



## (2) 授業の理解や学習の状況

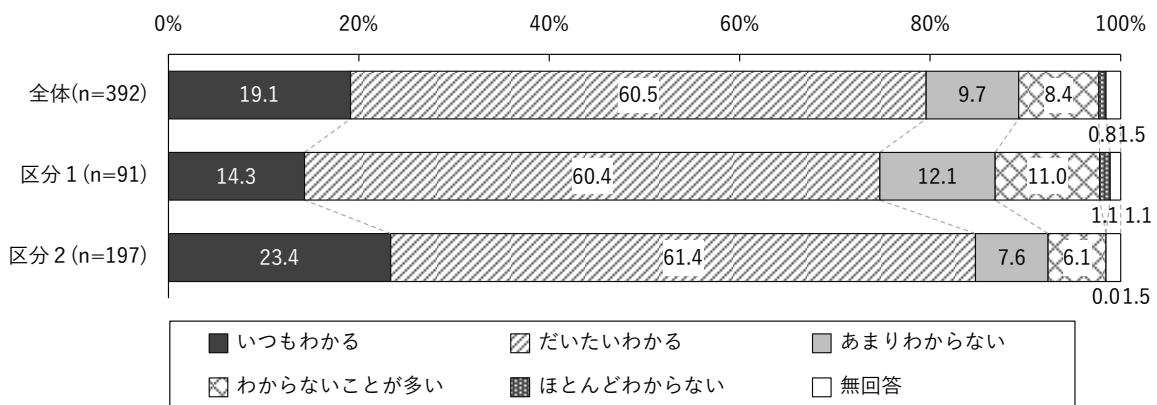
### ①授業の理解度

【子ども設問】

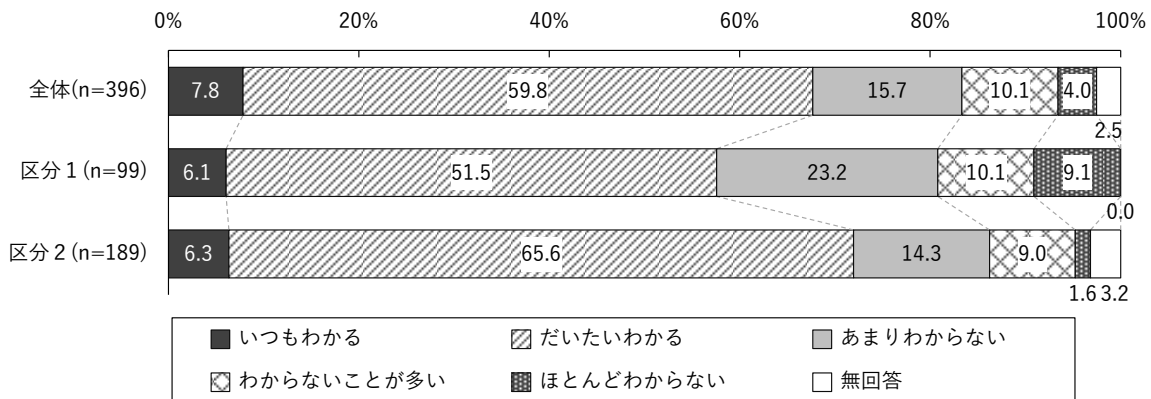
子どもの授業の理解度について、「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」を合わせた『わからない』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で18.9%、中学校2年生で29.8%、16-17歳で15.5%となっています。

区分別にみると『わからない』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で24.2%、区分2で13.7%、中学校2年生では区分1で42.4%、区分2で24.9%といずれも区分1の方が高くなっています。16-17歳では区分1で6.6%、区分2で14.4%と区分1の方が低くなっています。

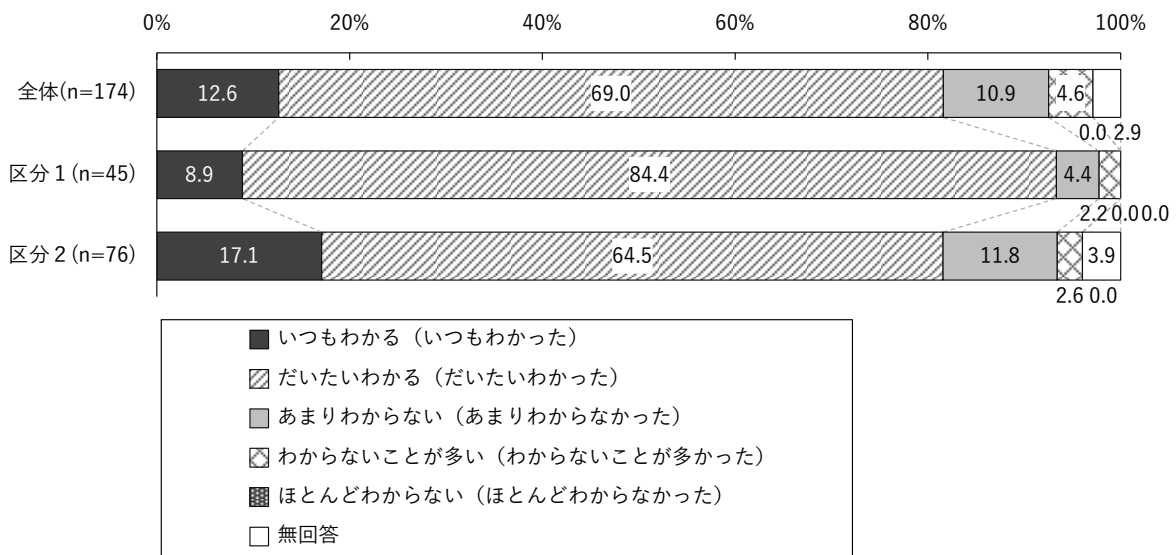
**小学校5年生** 問23 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。



**中学校2年生** 問23 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。



16-17歳 問31 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか（ありましたか）。



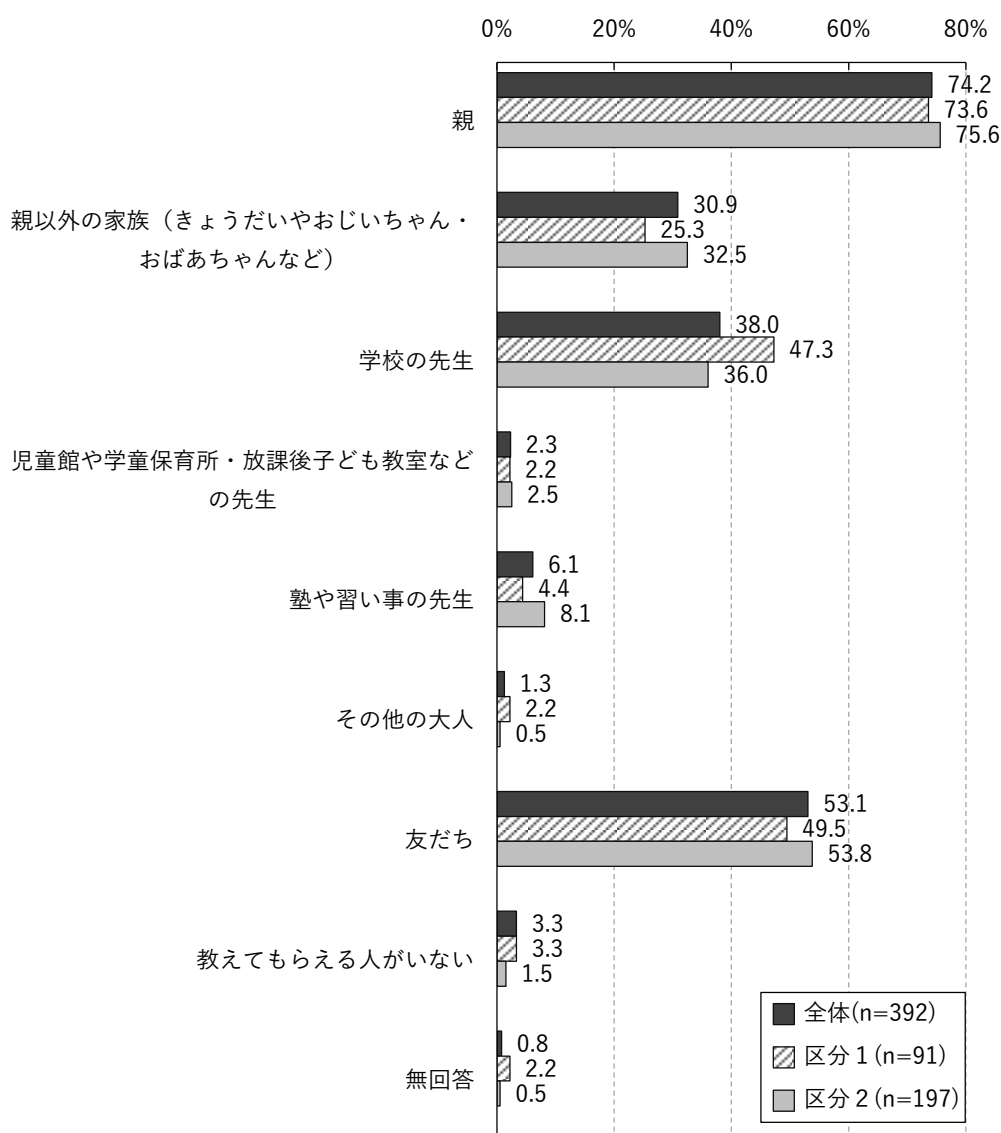
## ②勉強を教えてもらう人

【子ども設問】

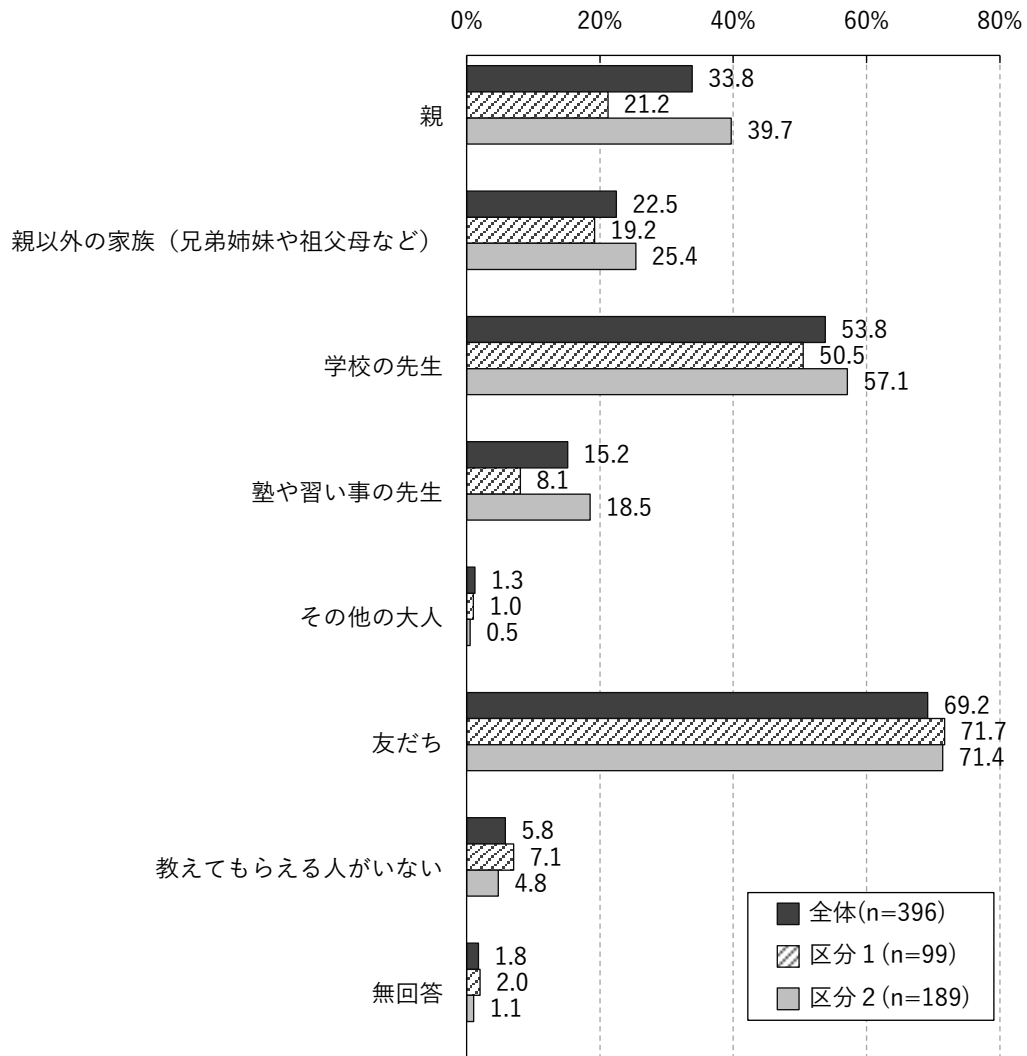
子どもの勉強を教えてもらう人について、全体をみると小学校5年生では「親」が74.2%、中学校2年生では「友だち」が69.2%、16-17歳では「友だち」が74.1%とそれぞれ最も高くなっています。

区別にみると小学校5年生では「学校の先生」は区分1で47.3%、区分2で36.0%と区分1の方が高くなっています。16-17歳では「塾・予備校や習い事の先生」は区分1で13.3%、区分2で17.1%と区分1の方が低くなっています。「教えてもらえる人がいない」はいずれの学年も区分1の方が高くなっています。

小学校5年生 問24 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。



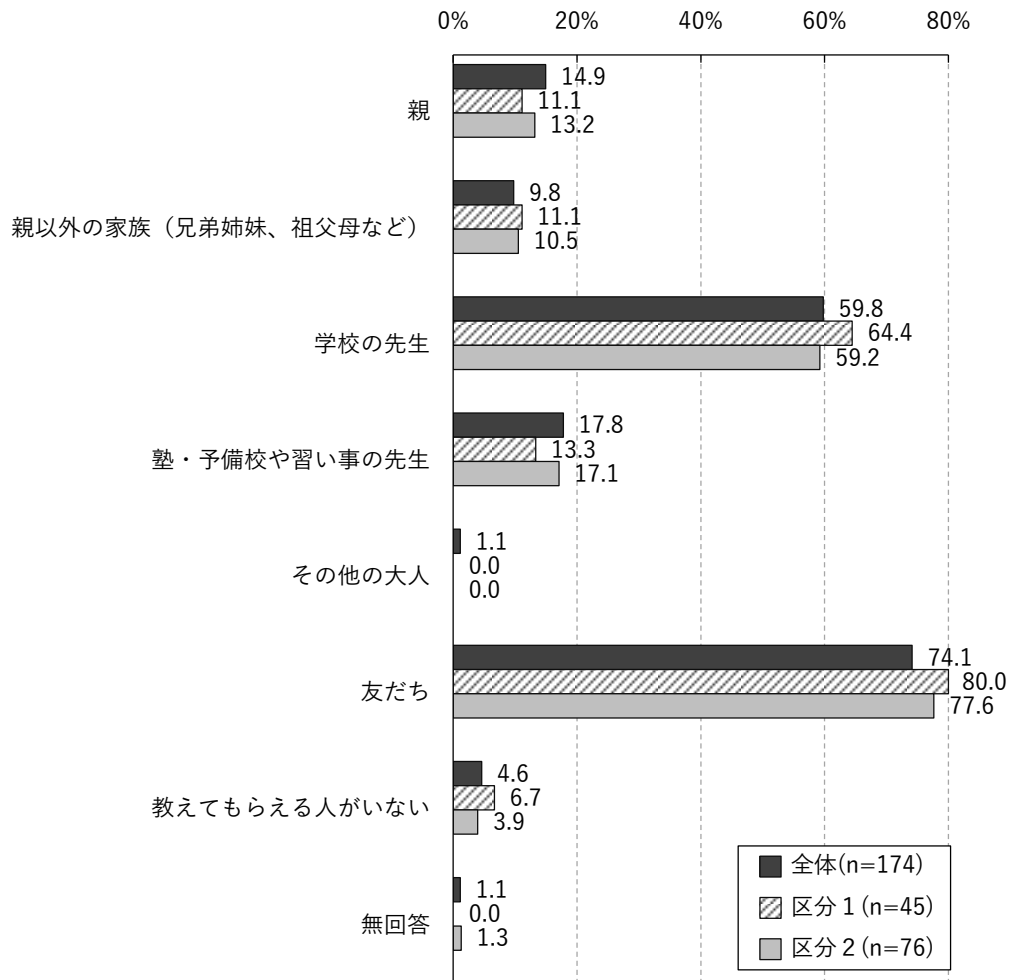
中学校2年生 問24 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。





16-17歳

問32 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか(教えてもらいましたか)。



### (3) 学校生活の楽しみ

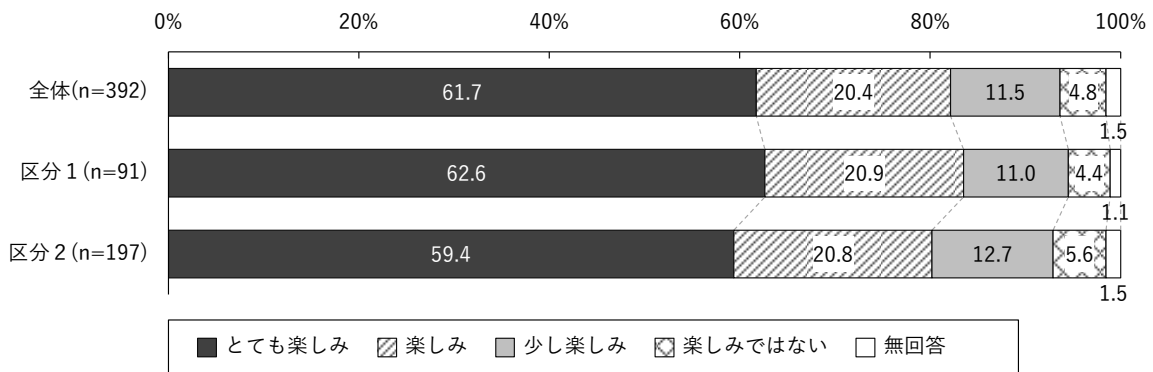
#### H 学校のクラブ活動（部活動）

【子ども設問】

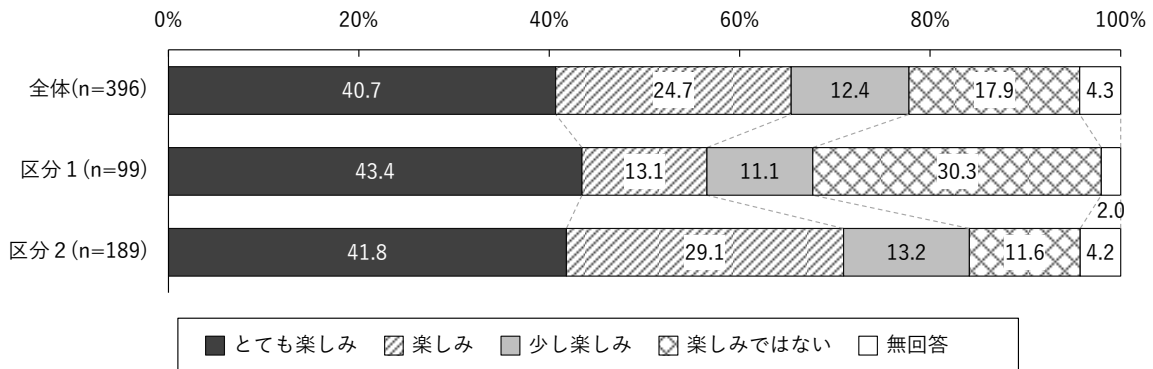
子どもの学校のクラブ活動（部活動）について、「楽しみではない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で4.8%、中学校2年生で17.9%となっています。

区分別にみると「楽しみではない」と回答した割合は、中学校2年生では区分1で30.3%、区分2で11.6%と区分1の方が高くなっています。小学校5年生では区分1で4.4%、区分2で5.6%と区分1の方が低くなっています。

小学校5年生 問22 学校生活／H 学校のクラブ活動



中学校2年生 問22 学校生活／H 学校の部活動



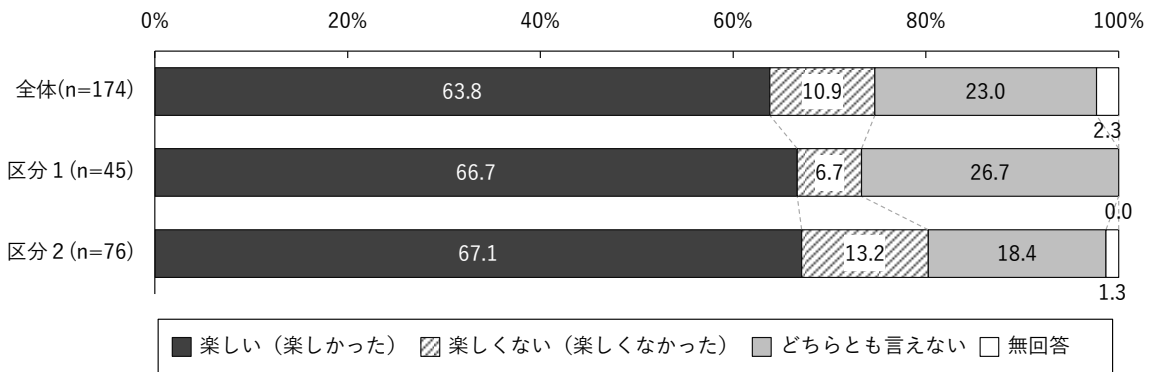
#### (4) 16-17歳の学校生活

【子ども設問】

16-17歳の学校生活について、「楽しくない（楽しくなかった）」と回答した割合は、全体をみると10.9%となっています。

区別にみると「楽しくない（楽しくなかった）」と回答した割合は、区分1で6.7%、区分2で13.2%と区分1の方が低くなっています。「どちらとも言えない」と回答した割合は、区分1で26.7%、区分2で18.4%と区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問30 あなたが在籍している（していた）高等学校等は、あなたにとって楽しい（楽しかった）ですか。



#### (5) 学校以外での学習・勉強の状況

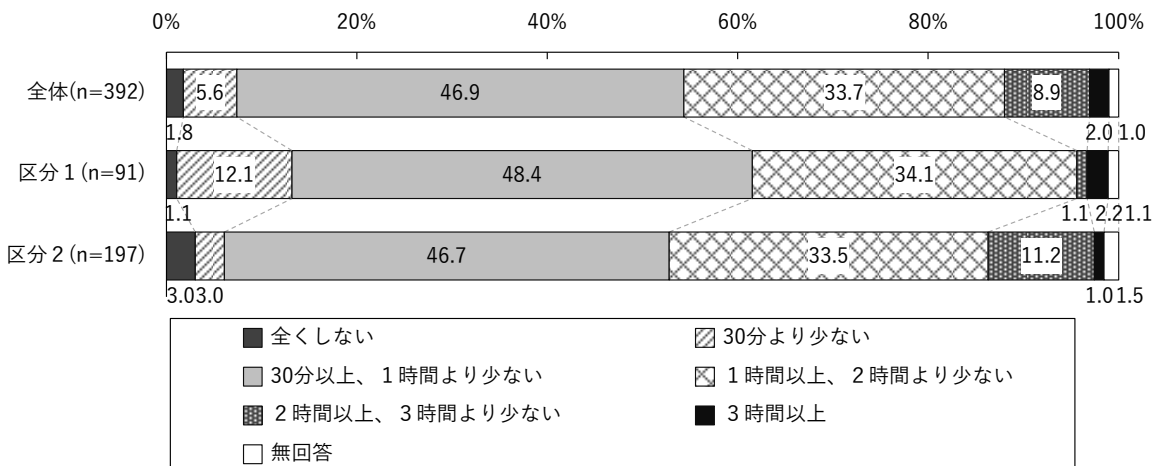
##### ①学校の授業以外での勉強時間

【子ども設問】

子どもの学校の授業以外での勉強時間について、全体をみると小学校5年生では「30分以上、1時間より少ない」が46.9%、中学校2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が39.9%、16-17歳では「1時間以上、2時間より少ない」が32.2%とそれぞれ最も高くなっています。

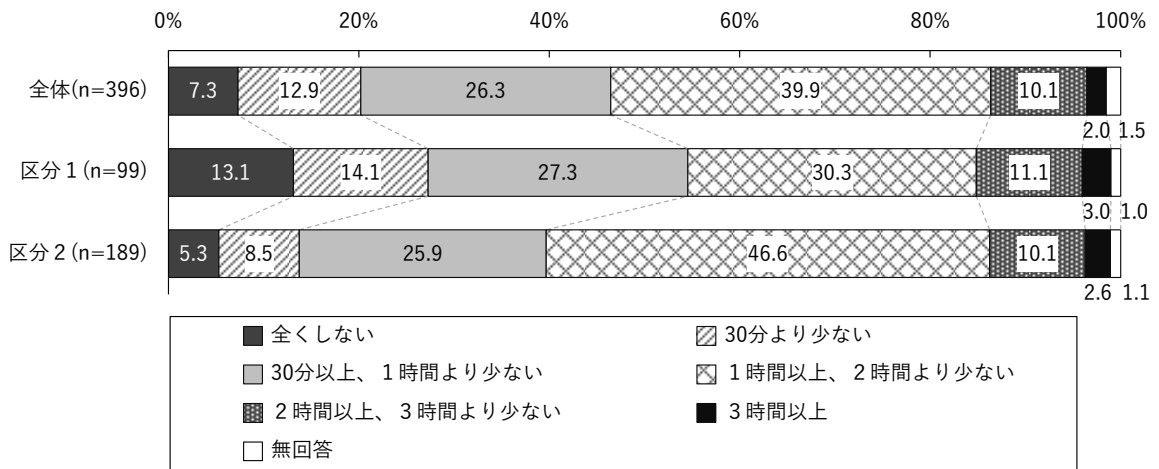
区別にみると「全くしない」は中学校2年生、16-17歳ではいずれも区分1の方が高くなっています。小学校5年生では「30分より少ない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問26 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。



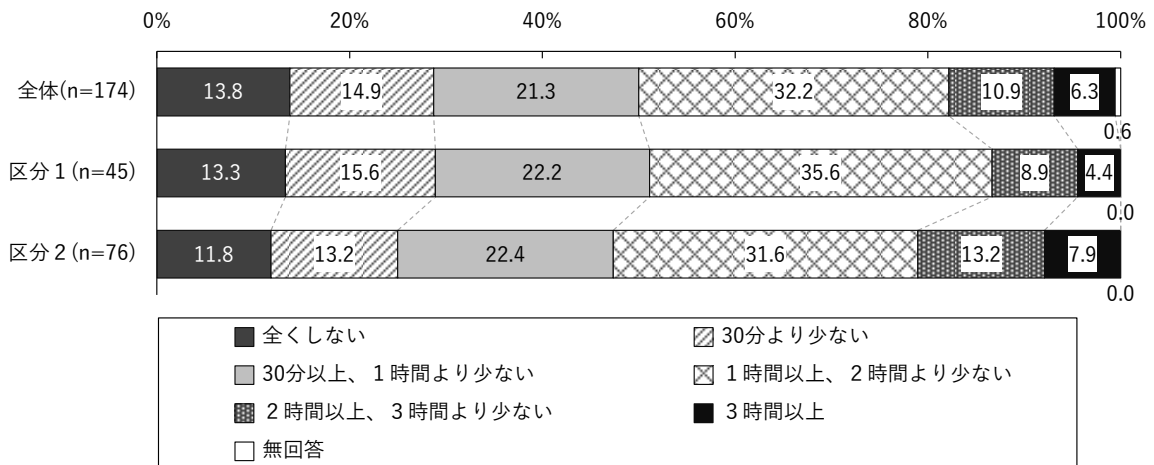
中学校2年生

問26 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。



16-17歳

問33 あなたは、普段(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。



## (6) 将来の夢

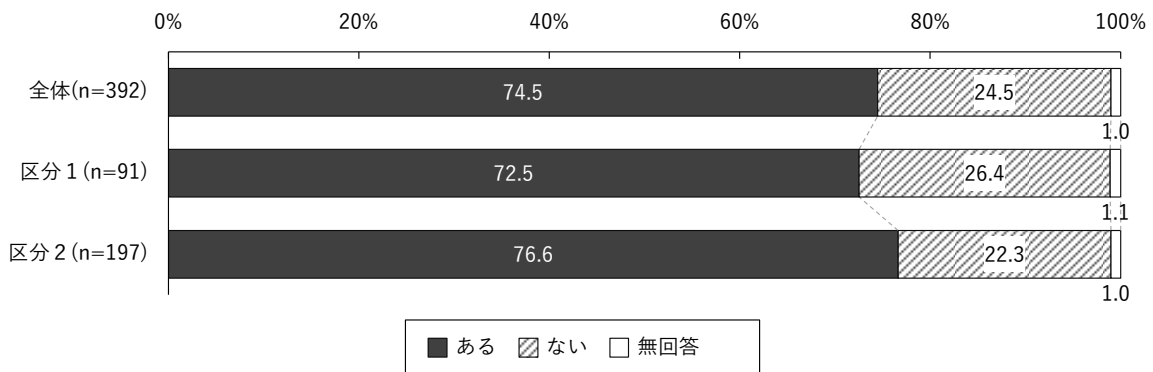
### ① 夢の有無

【子ども設問】

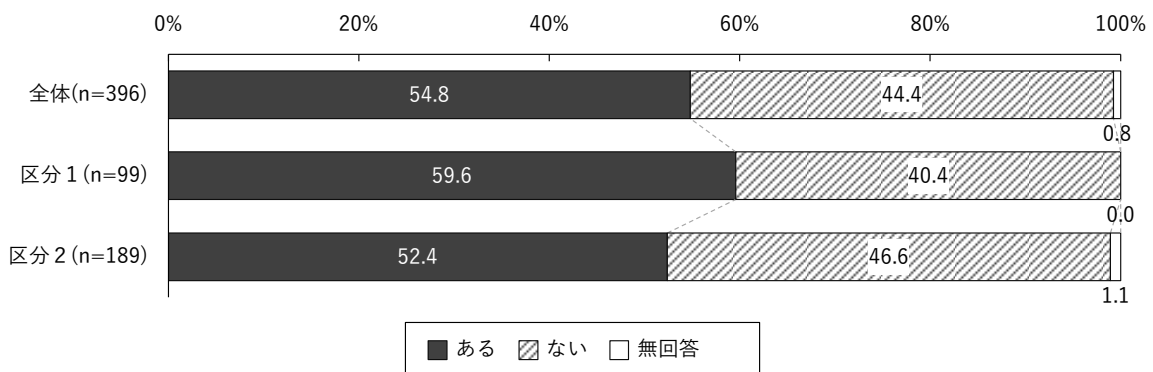
子どもの夢の有無について、「ある」と回答した割合は全体をみると小学校5年生で74.5%、中学校2年生で54.8%となっています。

区別にみると「ある」と回答した割合は小学校5年生では区分1で72.5%、区分2で76.6%と区分1の方が低くなっています。中学校2年生では区分1で59.6%、区分2で52.4%と区分1の方が高くなっています。

小学校5年生 問4 あなたは、将来のゆめがありますか。



中学校2年生 問4 あなたは、将来のゆめがありますか。



## ②将来の夢

【子ども設問】

問4で将来の夢があると回答した人の夢の内容についてたずねたところ、学年別、性別の上位5位は以下の内容となっています。

**小学校5年生** 問4-1 将来のゆめが「1. ある」と答えた人におききします。そのゆめは何ですか。

| 男子          |    | 女子               |    |
|-------------|----|------------------|----|
| スポーツ選手      | 28 | 看護師・医師・薬剤師等医療従事者 | 31 |
| 警察官・消防士・公務員 | 18 | 保育士・幼稚園や学校の先生    | 23 |
| 料理人等料理関係    | 14 | 歌手・モデル等芸能関係      | 19 |
| 芸人・ユーチューバー  | 11 | 漫画家・イラストレーター     | 17 |
| 建築士・大工      | 10 | 動物に関する仕事         | 17 |

上位5位 数字は回答数

**中学校2年生** 問4-1 将来のゆめが「1. ある」と答えた人におききします。そのゆめは何ですか。

| 男子                 |    | 女子               |    |
|--------------------|----|------------------|----|
| スポーツ選手             | 20 | 看護師・医師・薬剤師等医療従事者 | 33 |
| 料理人等料理関係           | 9  | 教師・保育士           | 22 |
| 建築士・大工             | 7  | 美容師等美容関係         | 16 |
| 教師・保育士             | 7  | パティシエ・パン職人等料理関係  | 13 |
| イラストレーター・ゲームクリエイター | 7  | 歌手・役者等芸能関係       | 7  |

上位5位 数字は回答数

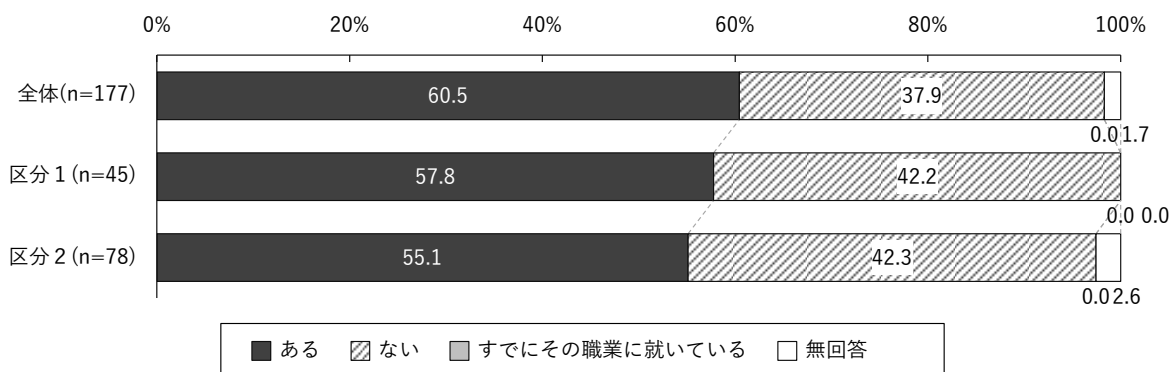
### ③将来なりたい職業の有無

【子ども設問】

16-17歳の将来なりたい職業の有無について、「ある」と回答した割合は、全体をみると60.5%となっています。

区分別にみると「ある」と回答した割合は、区分1で57.8%、区分2で55.1%と区分1の方が高くなっています。

16-17歳 問5 あなたは、将来なりたい職業がありますか。



### ④なりたい職業

【子ども設問】

問5で将来の夢があると回答した人の夢の内容についてたずねたところ、学年別、性別の上位5位は以下の内容となっています。

16-17歳 問5-1 将来なりたい職業が「1. ある」を選んだ方にお聞きます。その職業は何ですか。

| 男子               |   | 女子                |    |
|------------------|---|-------------------|----|
| 看護師・薬剤師等医療従事者    | 6 | 看護師・助産師・薬剤師等医療従事者 | 14 |
| 教師・保育士           | 5 | 教師・保育士            | 10 |
| 消防士・公務員          | 5 | パティシエ・パン職人等料理関係   | 8  |
| システムエンジニア等 IT 関連 | 5 | 獣医師等動物に関する仕事      | 4  |
| 林業・農業            | 4 | 美容師等美容関係          | 4  |

上位5位 数字は回答数

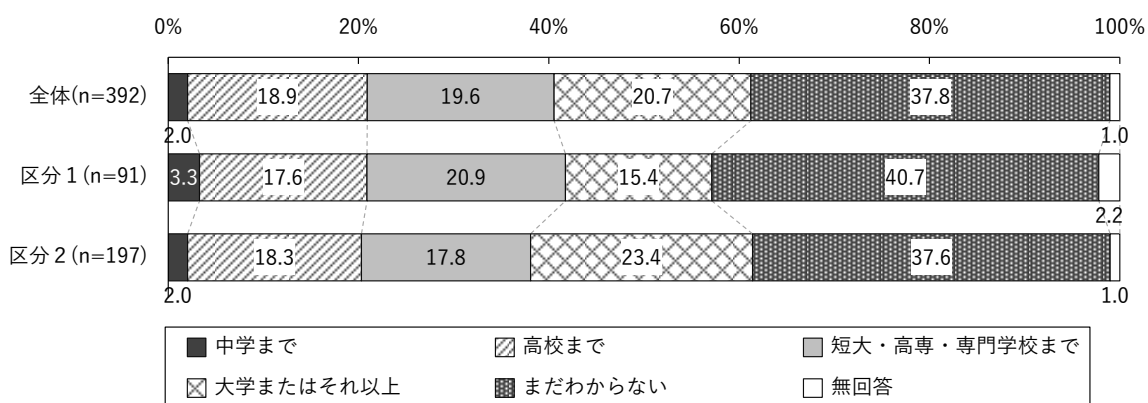
## ⑤将来の進学希望

【子ども設問】

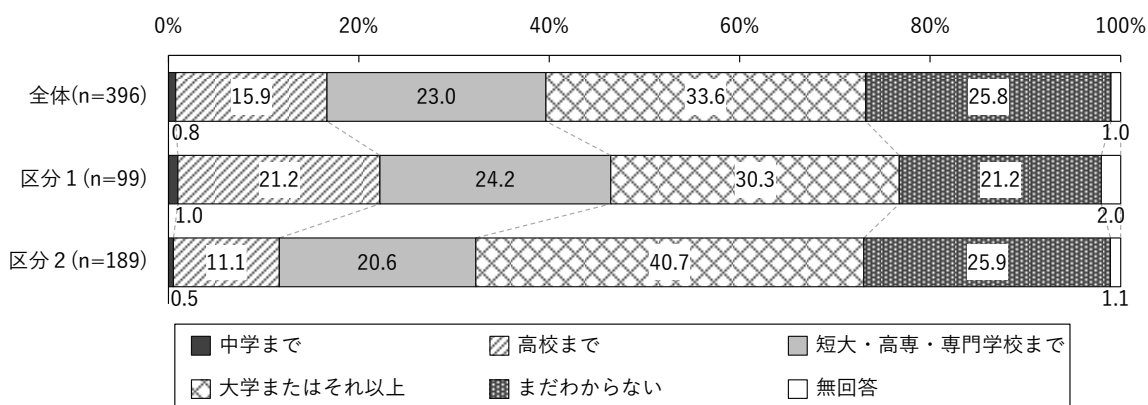
子どもの将来の進学希望について、全体をみると小学校5年生では「まだわからない」が37.8%、中学校2年生では「大学またはそれ以上」が33.6%、16-17歳では「四年制大学」とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「大学またはそれ以上」と回答した割合は小学校5年生では区分1で15.4%、区分2で23.4%、中学校2年生では区分1で30.3%、区分2で40.7%といずれも区分1の方が低くなっています。16-17歳では「四年制大学」と回答した割合は区分1で46.7%、区分2で65.4%と区分1で低くなっている一方、「専門学校」の割合は区分1で高くなっています。

**小学校5年生** 問4-3 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。



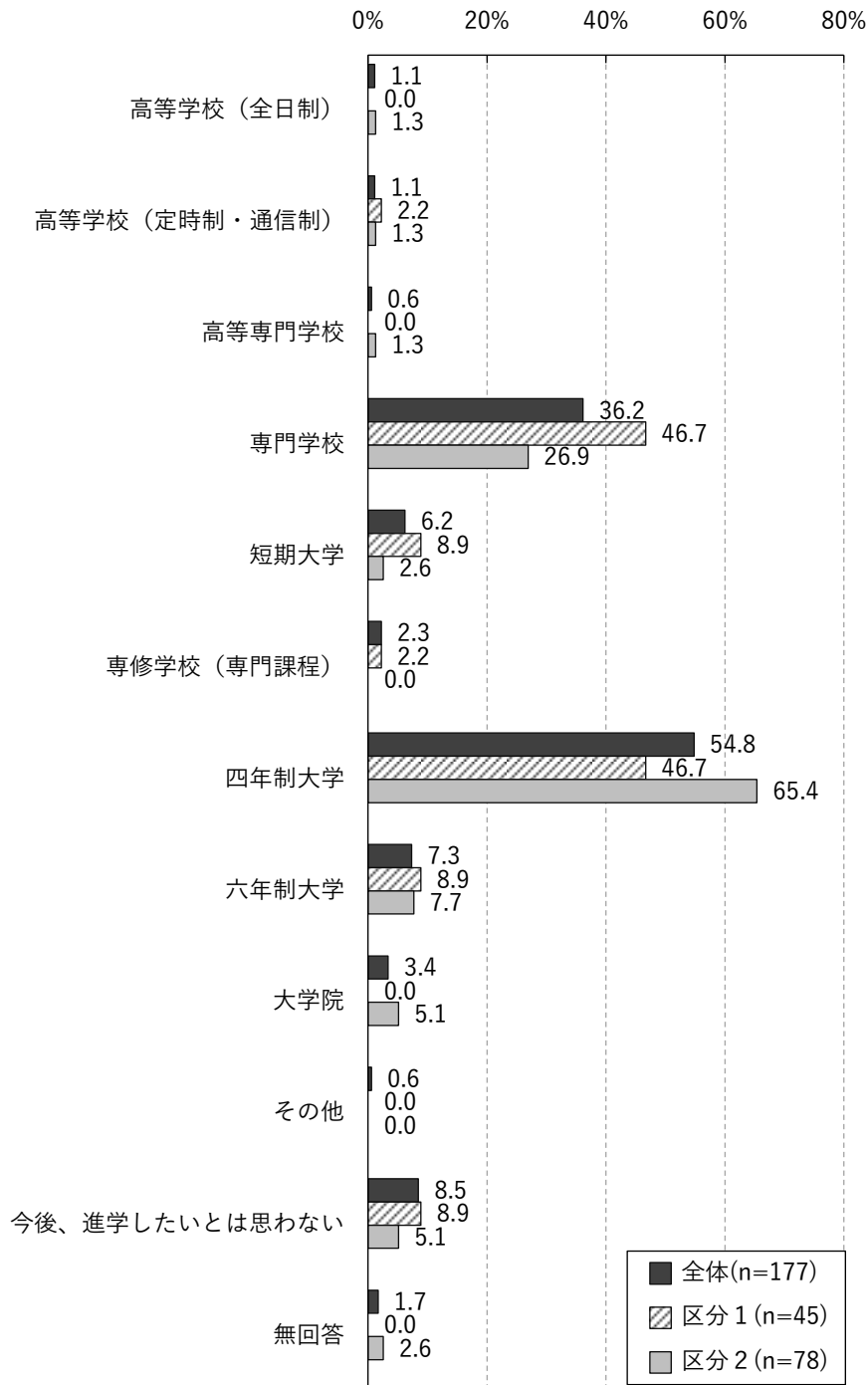
**中学校2年生** 問4-3 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。





16-17歳

問6 あなたは、今後、通いたいと希望する学校がありますか。あてはまる学校にすべて○をつけてください。



※回答のあった項目のみ

## (7) 子どもに受けさせたい教育段階

【保護者設問】

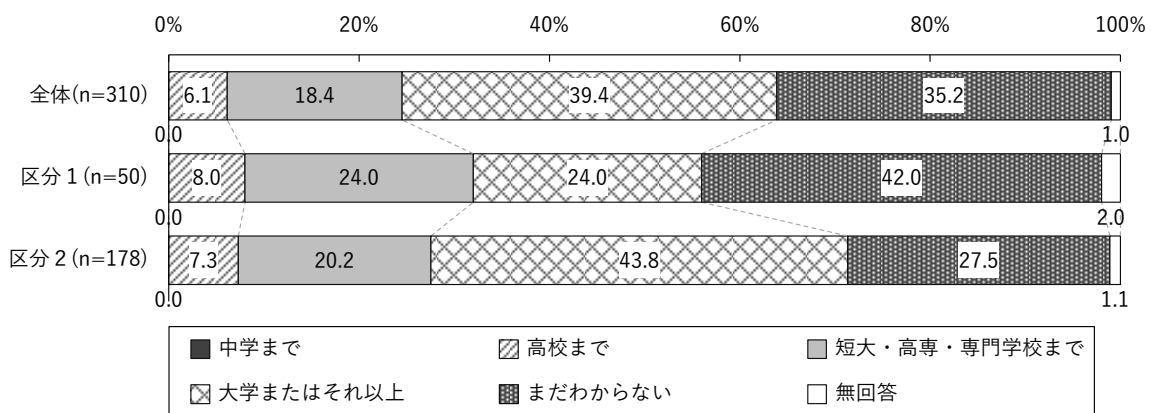
子どもに受けさせたい教育段階について、小学校1年生の全体をみると「大学またはそれ以上」が39.4%、「まだわからない」が35.2%となっています。

区分別にみると「まだわからない」、「短大・高専・専門学校まで」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

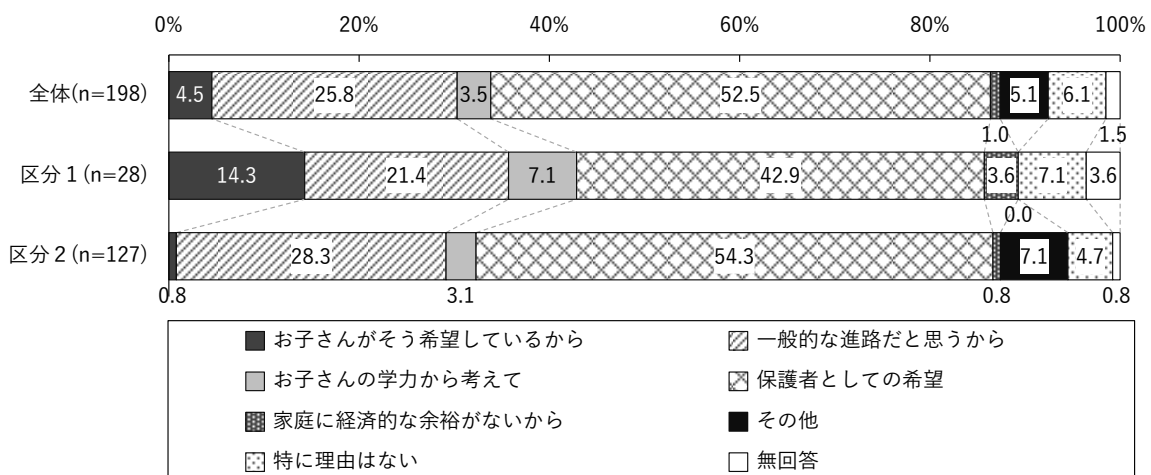
その理由について、小学校1年生の全体をみると「保護者としての希望」が52.5%、「一般的な進路だと思うから」が25.8%となっています。

区分別にみると「お子さんがそう希望しているから」、「家庭に経済的な余裕がないから」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問18 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。



**小学校1年生** 問18-1 問18で「1」～「4」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。



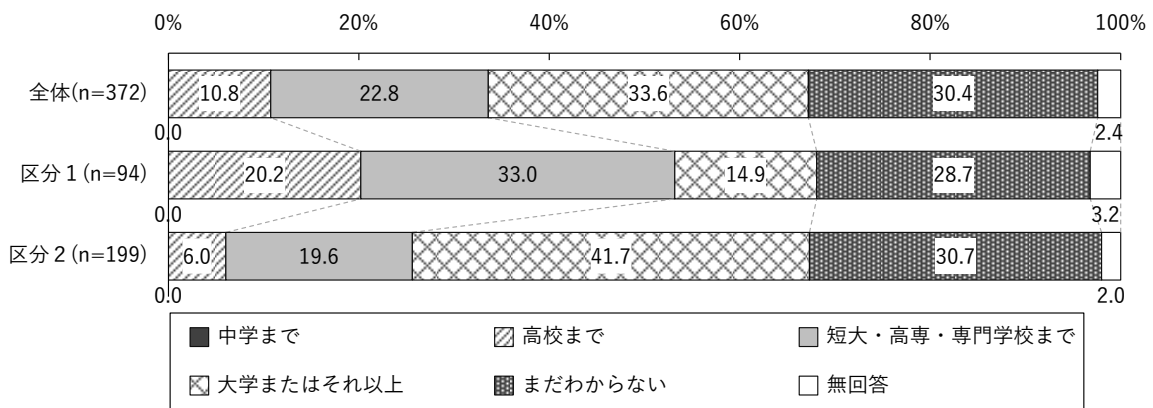
子どもに受けさせたい教育段階について、小学校5年生の全体をみると「大学またはそれ以上」が33.6%、「まだわからない」が30.4%となっています。

区別にみると「高校まで」、「短大・高専・専門学校まで」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

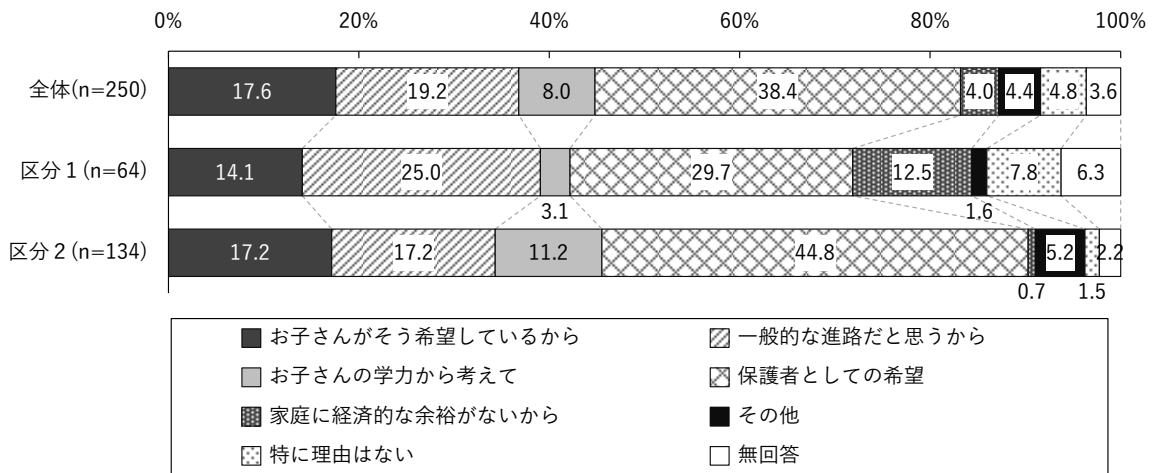
その理由について、小学校5年生の全体をみると「保護者としての希望」が38.4%、「一般的な進路だと思うから」が19.2%となっています。

区別にみると「一般的な進路だと思うから」、「家庭に経済的な余裕がないから」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問11 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。



**小学校5年生** 問11-1 問11で「1」～「4」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。



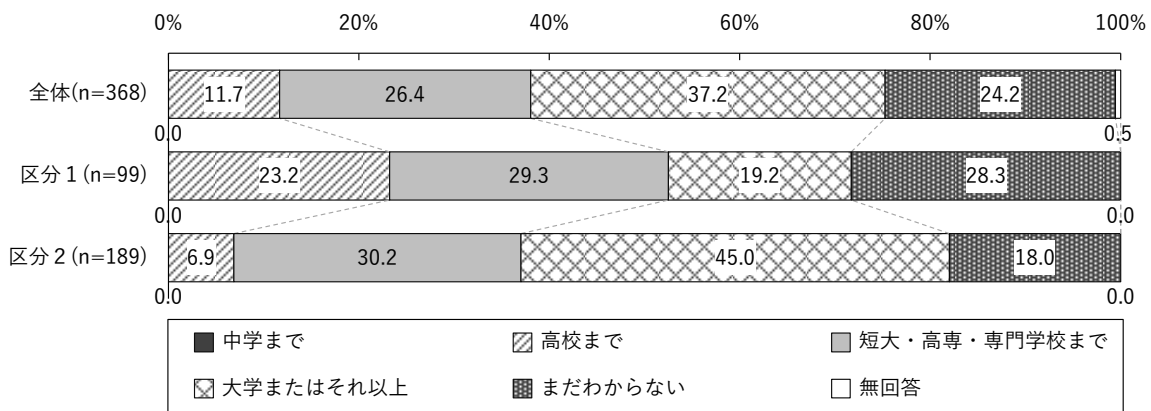
子どもに受けさせたい教育段階について、中学校2年生の全体をみると「大学またはそれ以上」が37.2%、「短大・高専・専門学校まで」が26.4%、「まだわからない」が24.2%となっています。

区分別にみると「高校まで」、「まだわからない」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

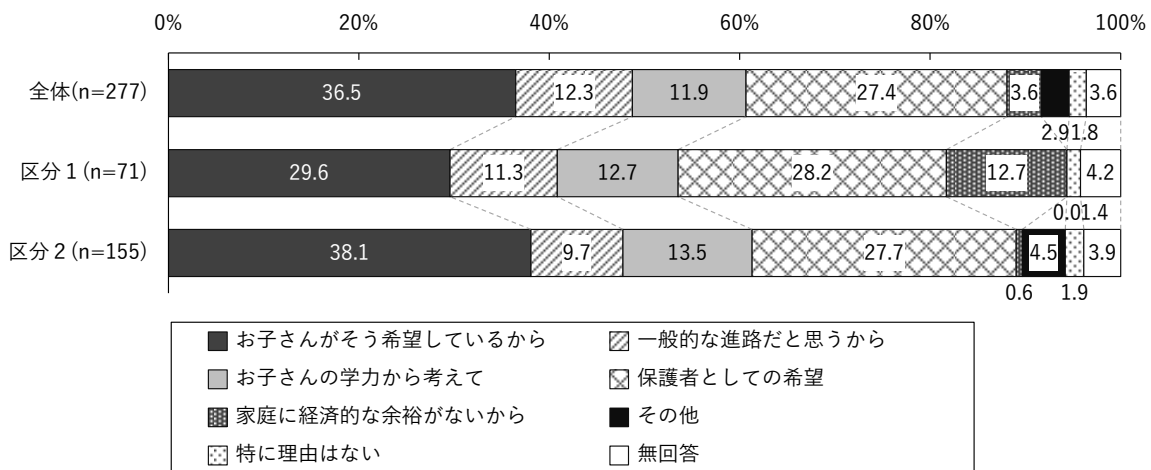
その理由について、中学校2年生の全体をみると「お子さんがそう希望しているから」が36.5%、「保護者としての希望」が27.4%となっています。

区分別にみると「家庭に経済的な余裕がないから」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

**中学校2年生** 問11 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。



**中学校2年生** 問11-1 問11で「1」～「4」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。



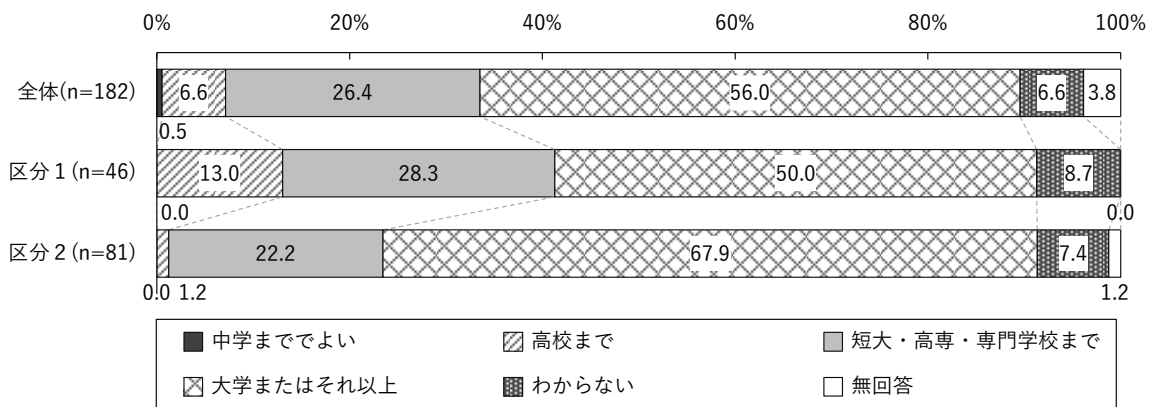
子どもに受けさせたい教育段階について、16-17歳の全体をみると「大学またはそれ以上」が56.0%、「短大・高専・専門学校まで」が26.4%となっています。

区分別にみると「高校まで」、「短大・高専・専門学校まで」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

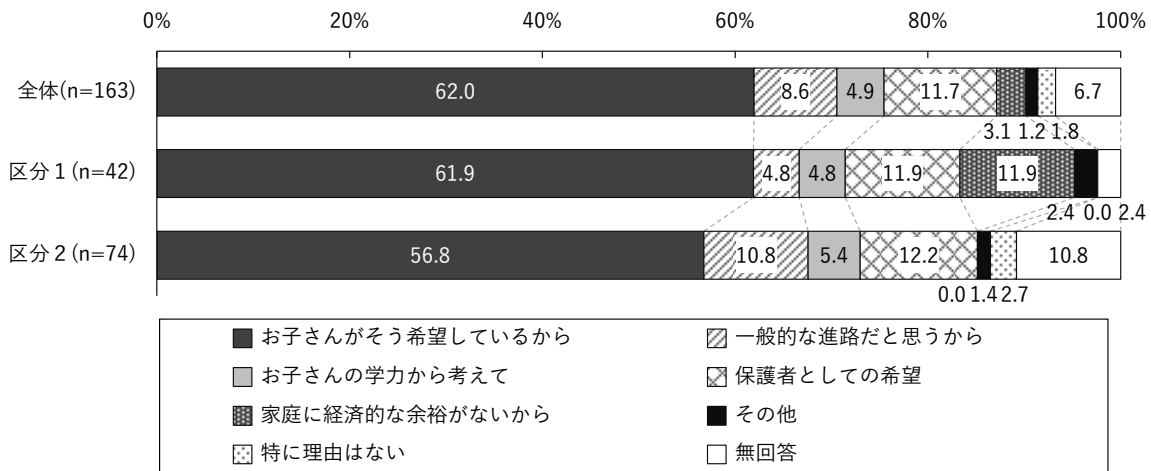
その理由について、16-17歳の全体をみると「お子さんがそう希望しているから」が62.0%、「保護者としての希望」が11.7%となっています。

区分別にみると「お子さんがそう希望しているから」、「家庭に経済的な余裕がないから」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問13 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。



**16-17歳** 問13-1 問13で「1」～「4」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。



## 6. 子どもの日常生活

### (1) 友だちとの関係

#### A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う

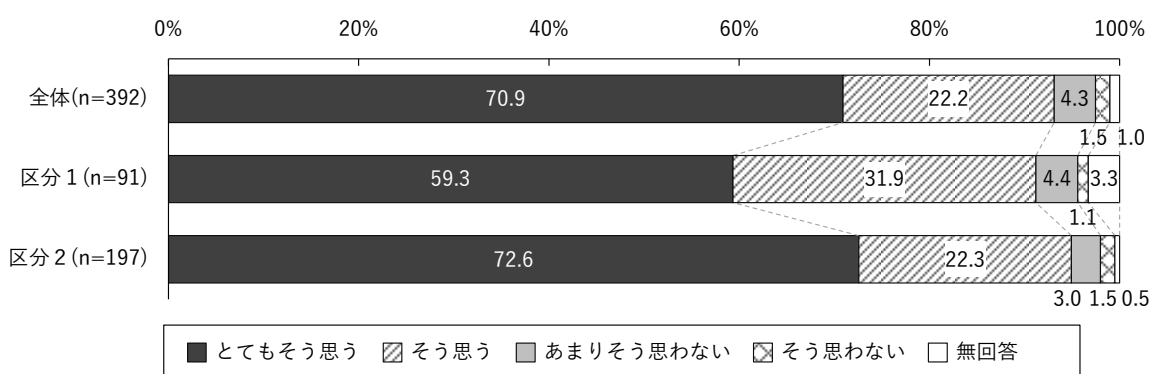
【子ども設問】

子どもの友だちと一緒にたくさん遊んでいると思うことについて、「とてもそう思う」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で70.9%、中学校2年生で62.4%となっています。

区分別にみると「とてもそう思う」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で59.3%、区分2で72.6%、中学校2年生では区分1で55.6%、区分2で64.6%といずれも区分1の方が低くなっています。

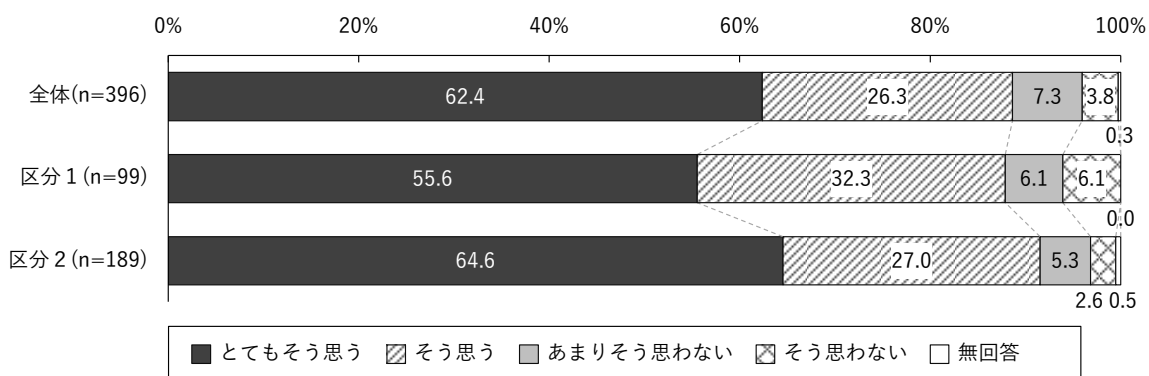
**小学校5年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。

／A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う



**中学校2年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。

／A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う



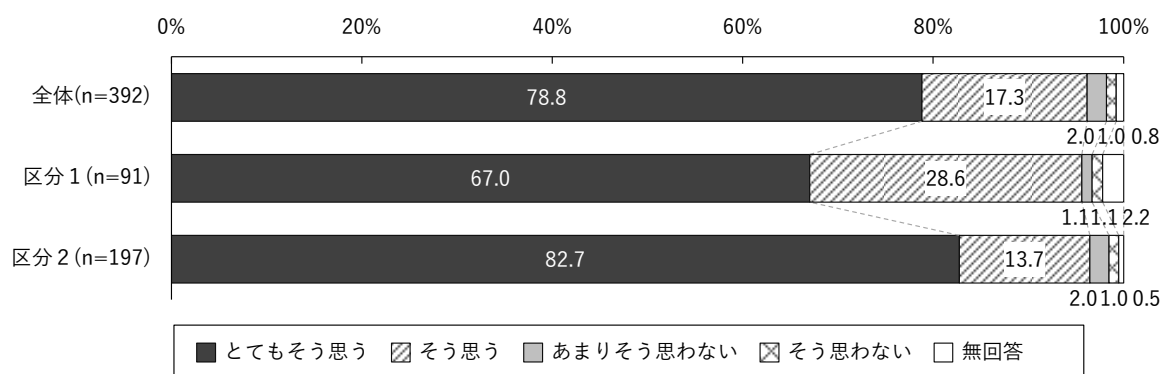
## B 友だちと仲良くしていると思う

【子ども設問】

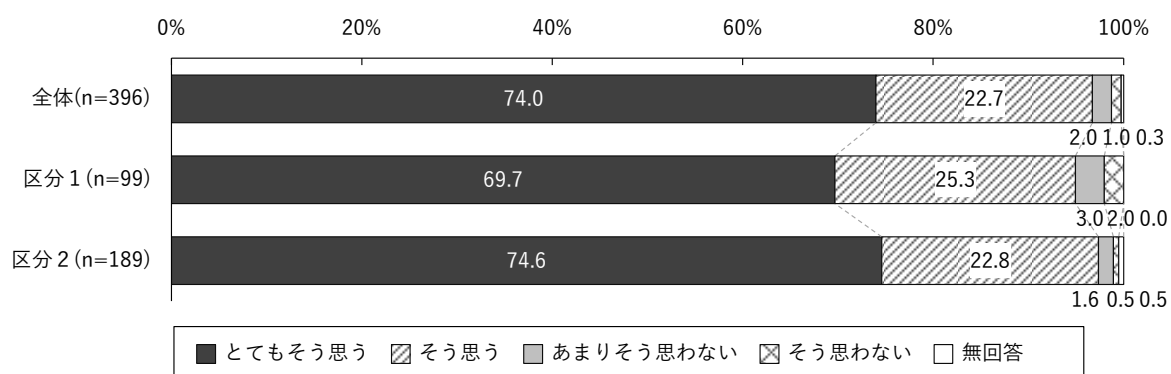
子どもの友だちと仲良くしていると思うことについて、「とてもそう思う」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で78.8%、中学校2年生で74.0%となっています。

区分別にみると「とてもそう思う」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で67.0%、区分2で82.7%、中学校2年生では区分1で69.7%、区分2で74.6%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。  
／B 友だちと仲良くしていると思う



**中学校2年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。  
／B 友だちと仲良くしていると思う



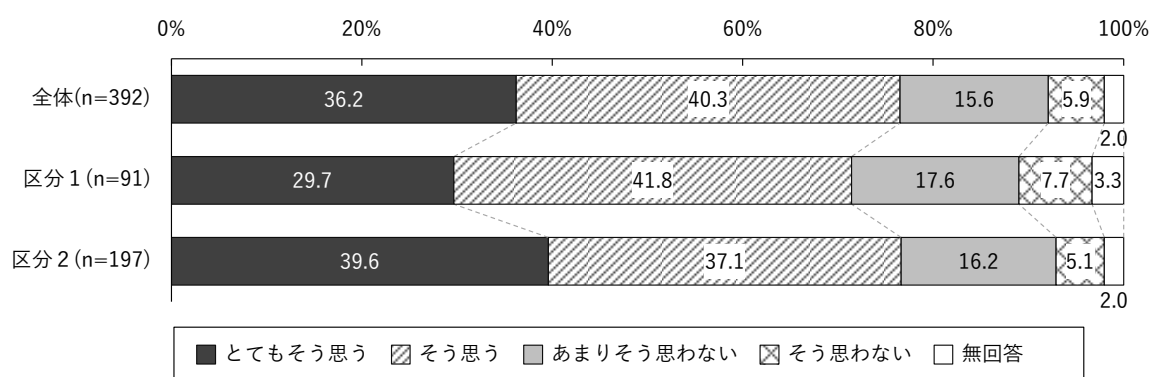
## C 友だちに好かれていると思う

【子ども設問】

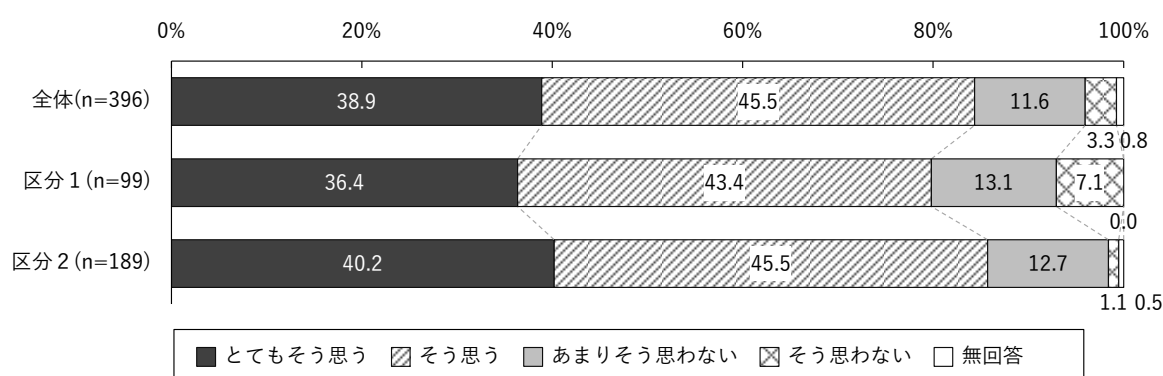
子どもの友だちに好かれていると思うことについて、「とてもそう思う」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で36.2%、中学校2年生で38.9%となっています。

区分別にみると「とてもそう思う」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で29.7%、区分2で39.6%、中学校2年生では区分1で36.4%、区分2で40.2%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。  
／C 友だちに好かれていると思う



**中学校2年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。  
／C 友だちに好かれていると思う





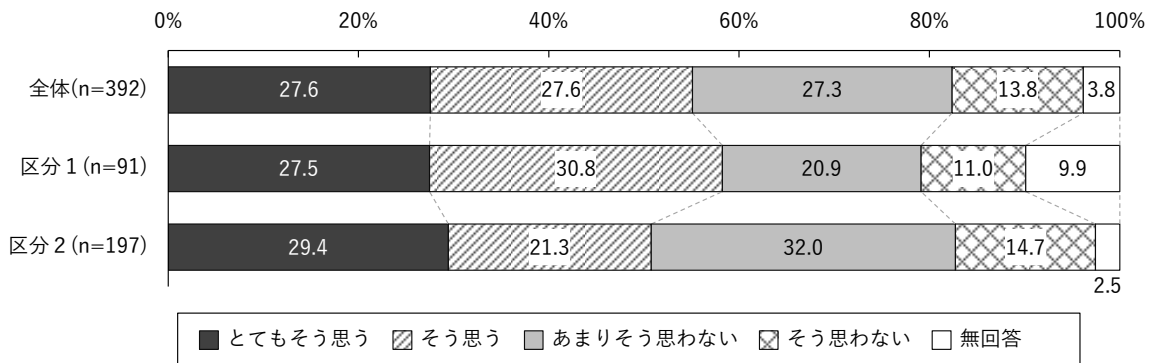
## D 自分は友だちとくらべて違うと思う

【子ども設問】

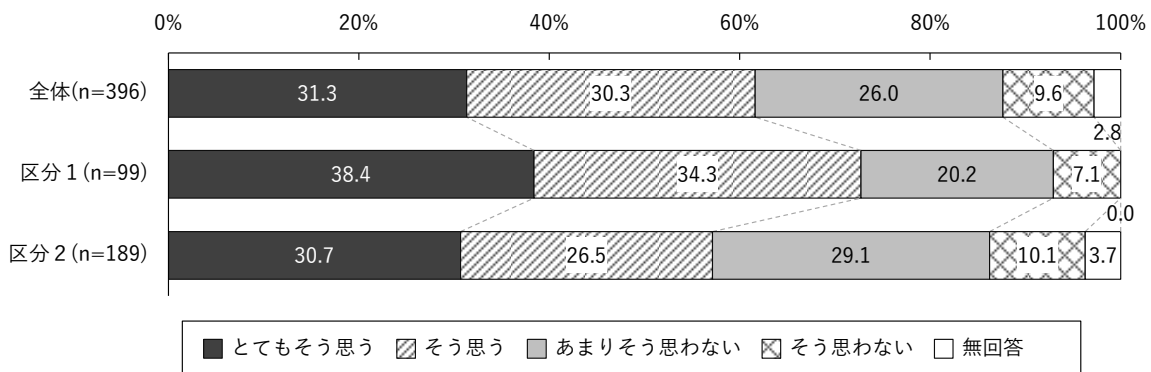
子どもの自分は友だちとくらべて違うと思うことについて、「とてもそう思う」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で27.6%、中学校2年生で31.3%となっています。

区分別にみると「とてもそう思う」と回答した割合は、小学校5年生では区分1で27.5%、区分2で29.4%と区分1の方が低くなっています。中学校2年生では区分1で38.4%、区分2で30.7%と区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。  
 /D 自分は友だちとくらべて違うと思う



**中学校2年生** 問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。  
 /D 自分は友だちとくらべて違うと思う



## (2) 平日の食事

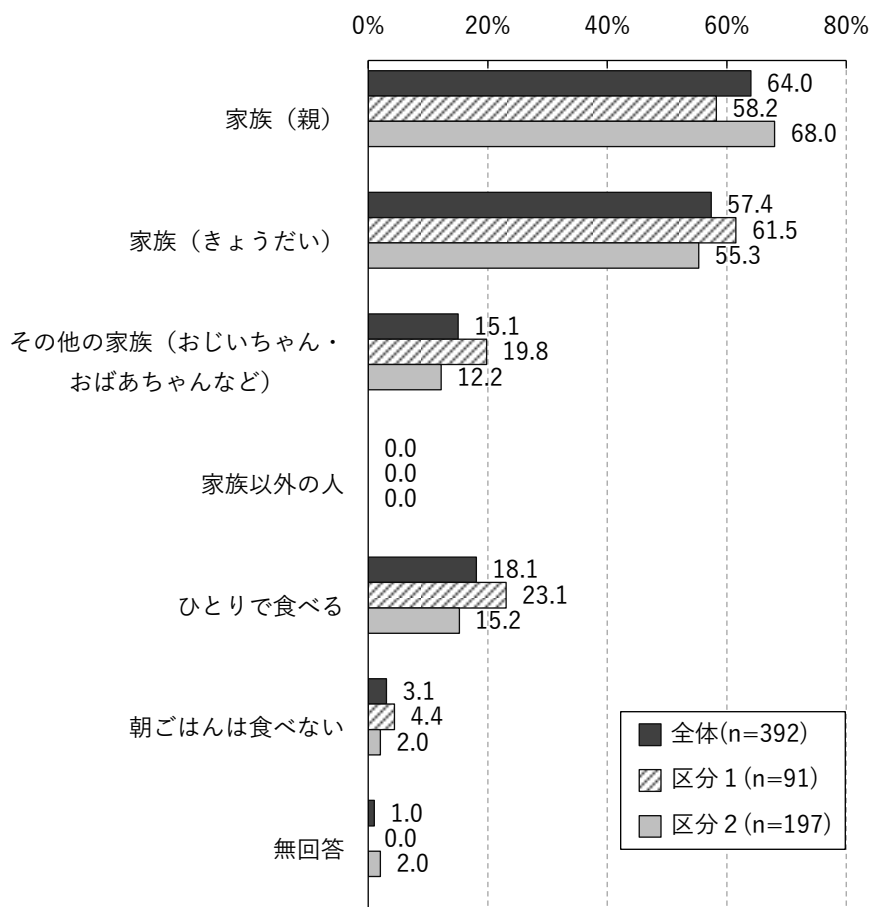
### ①朝食を一緒に食べる人

【子ども設問】

子どもの朝食を一緒に食べる人について、全体をみると小学校5年生では「家族（親）」が64.0%、「家族（きょうだい）」が57.4%、中学校2年生では「家族（親）」が56.8%、「家族（きょうだい）」が46.5%となっています。

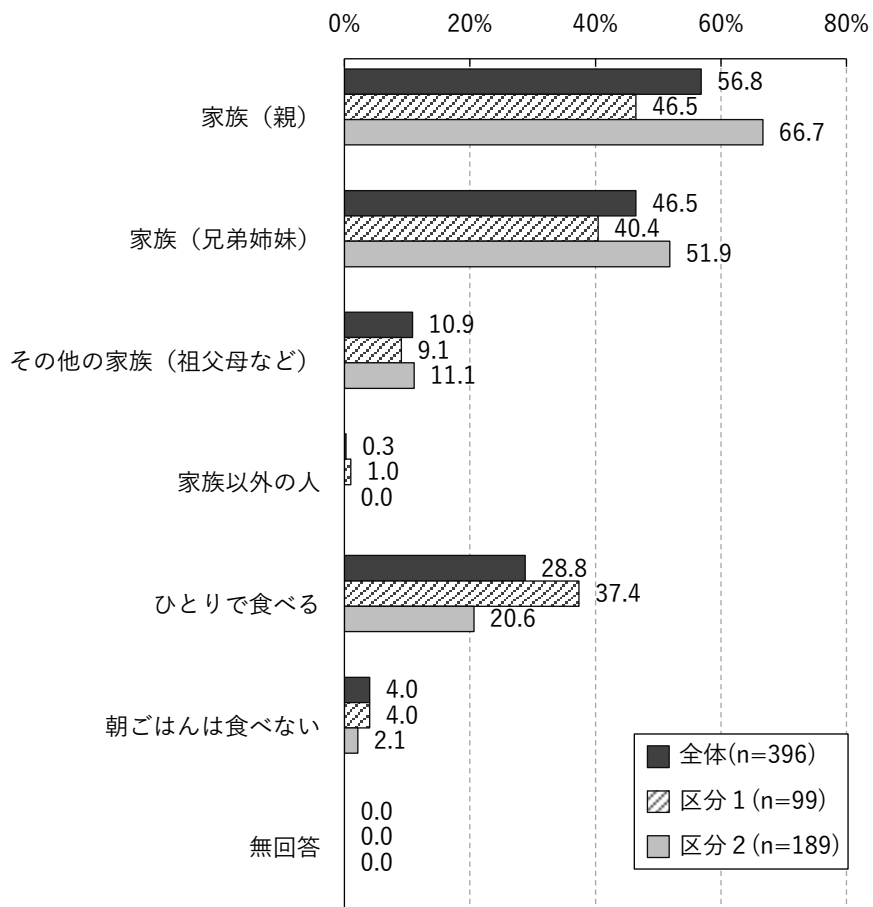
区分別にみると『ひとりで食べる』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で23.1%、区分2で15.2%、中学校2年生では区分1で37.4%、区分2で20.6%といずれも区分1の方が高くなっています。

小学校5年生 問17 あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。



中学校2年生

問17 あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。



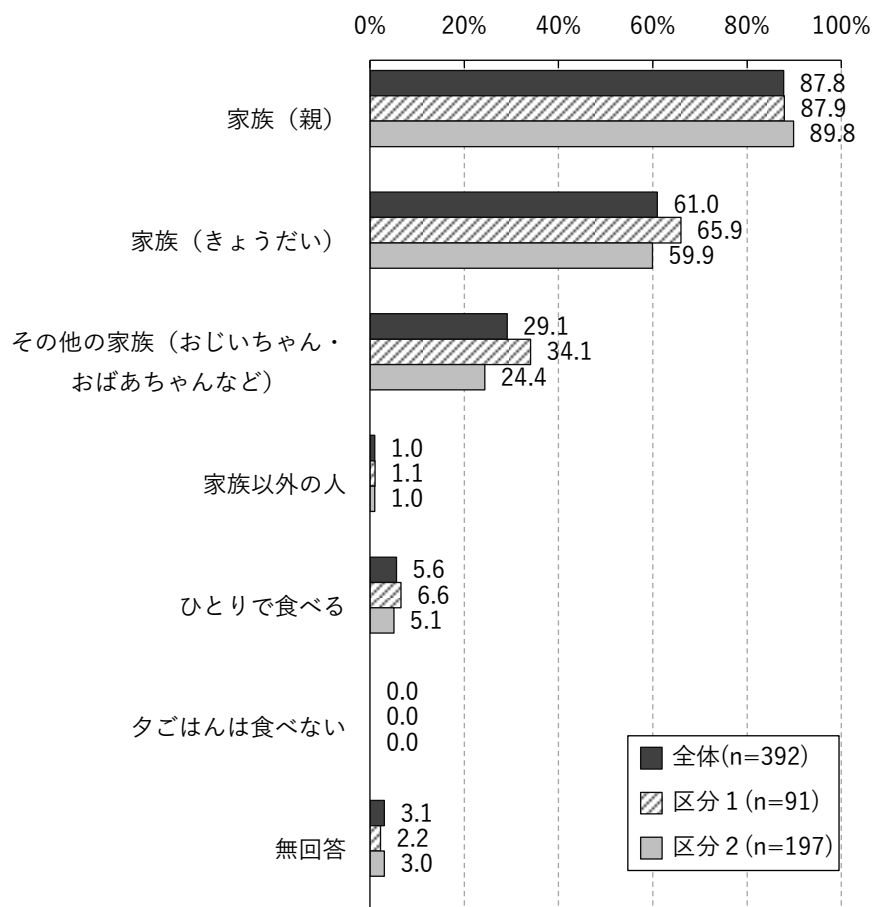
## ②夕食を一緒に食べる人

【子ども設問】

子どもの夕食を一緒に食べる人について、全体をみると小学校5年生では「家族（親）」が87.8%、「家族（きょうだい）」が61.0%、中学校2年生では「家族（親）」が83.6%、「家族（きょうだい）」が54.8%となっています。

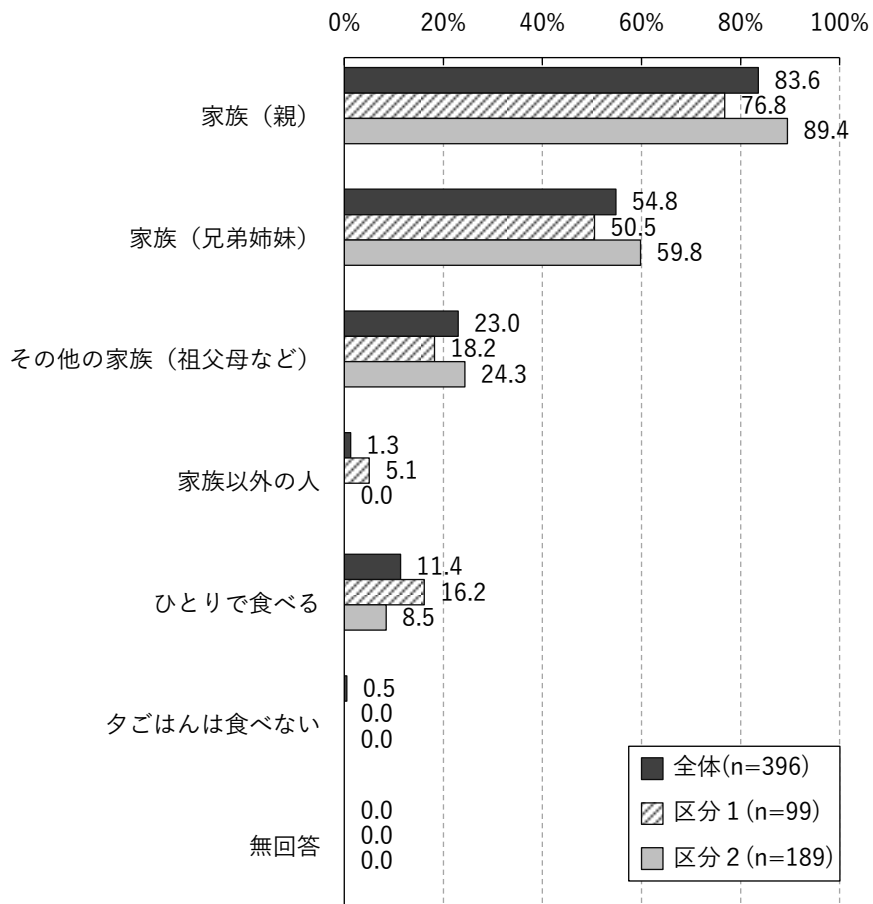
区分別にみると『ひとりで食べる』と回答した割合は、小学校5年生、中学校2年生いずれも区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問18 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。



中学校2年生

問18 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。



### (3) 平日の放課後・自由時間の過ごし方

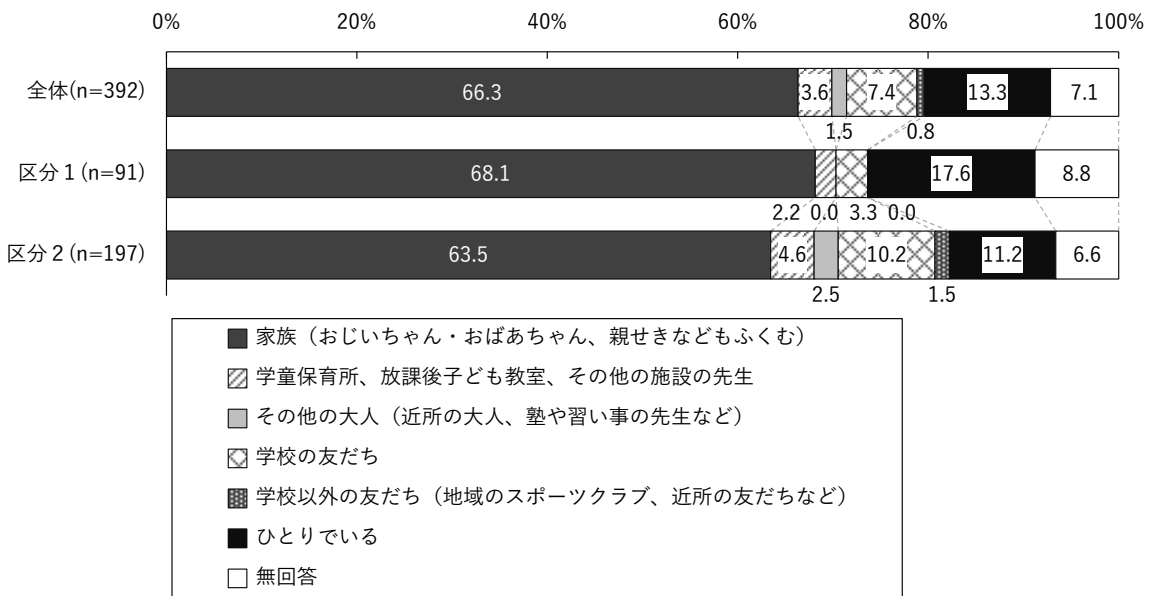
#### ①放課後を一緒に過ごす人

【子ども設問】

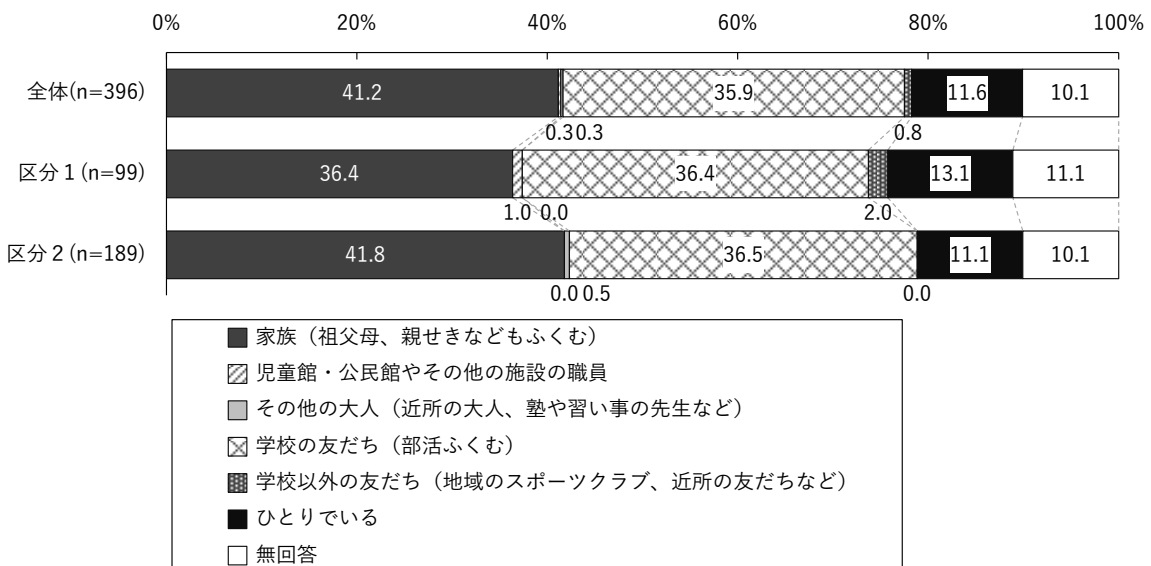
子どもと放課後を一緒に過ごす人について、全体をみると小学校5年生では「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」が66.3%、中学校2年生では「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」が41.2%、16-17歳では「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」、「学校の友だち（部活含む）」が37.9%と最も高くなっています。

区分別にみると「ひとりでのいる」は、いずれもの学年も区分1の方が高くなっています。

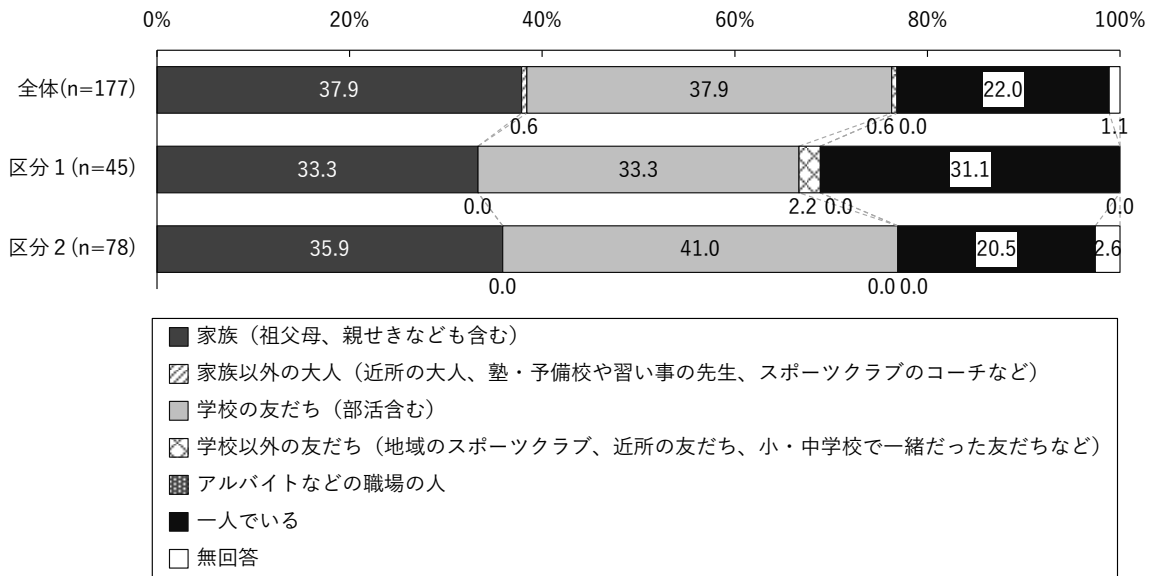
**小学校5年生** 問7 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）は、だれと過ごしますか。



**中学校2年生** 問7 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）は、だれと過ごしますか。



**16-17歳** 問8 あなたは、平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）はだれと過ごしますか。



## ②平日の放課後・自由時間を過ごす場所

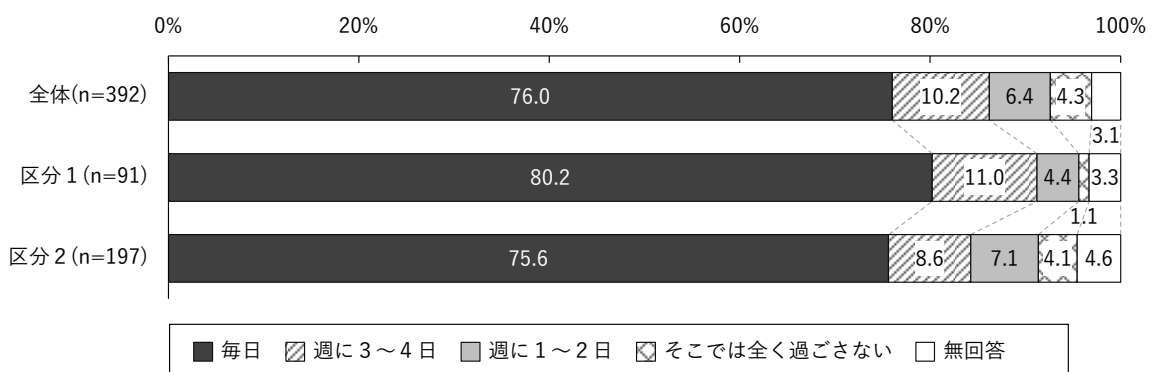
### A 自分の家

【子ども設問】

子どもが放課後・自由時間を自分の家で過ごす日数について、「毎日」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で76.0%、中学校2年生で70.5%、16-17歳で82.5%と最も高くなっています。

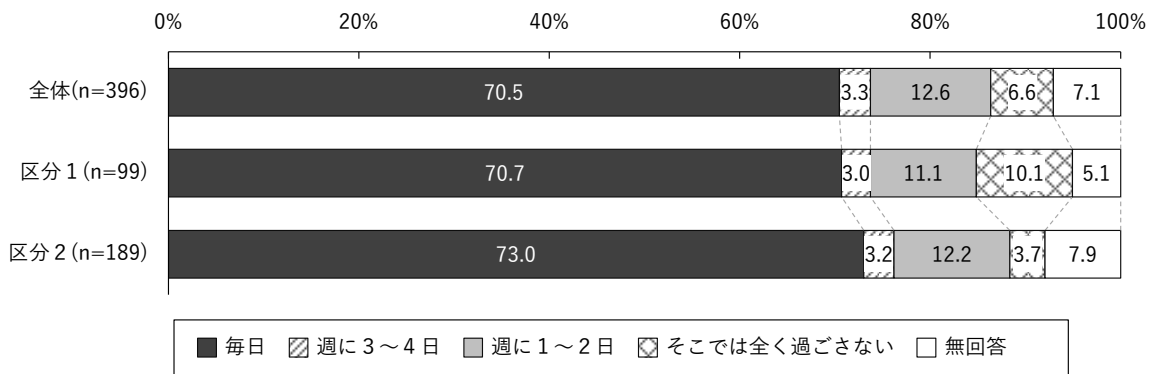
区分別にみると『毎日』と回答した割合は、中学校2年生では区分1の方が低く、小学校5年生、16-17歳では区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／A 自分の家



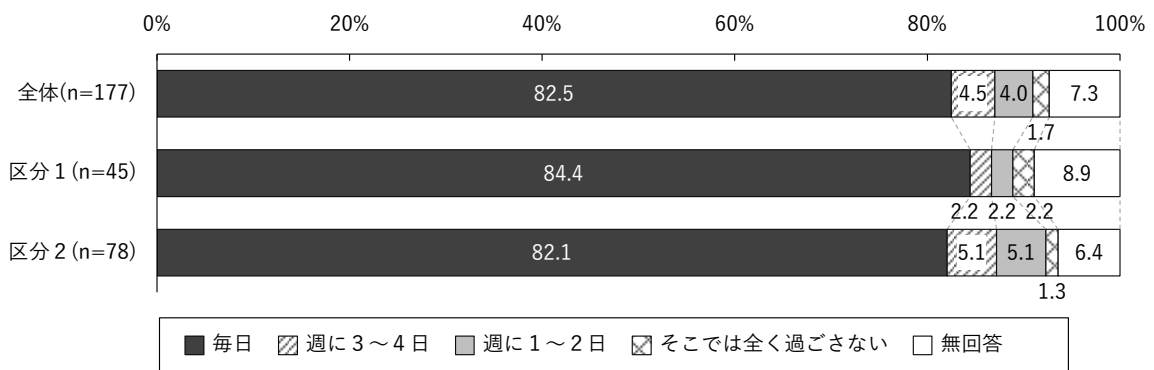
中学校2年生

問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／A 自分の家



16-17歳

問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。／A 自分の家





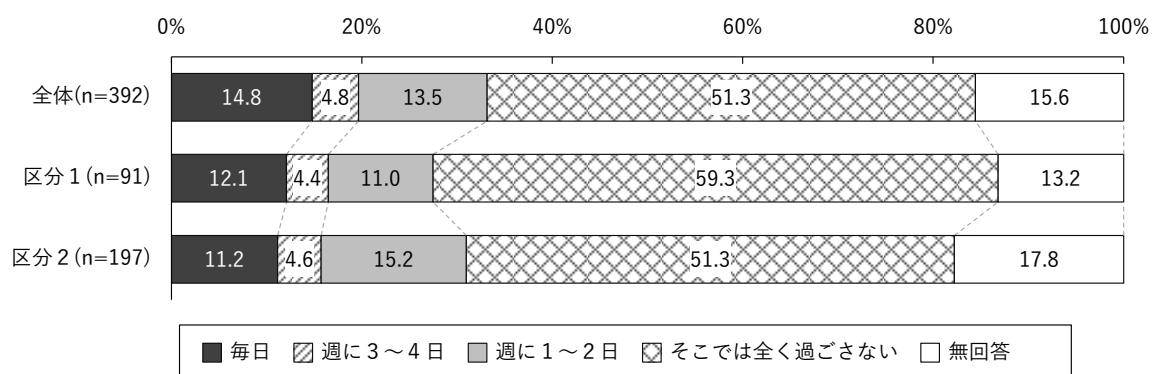
## B 祖父母の家

【子ども設問】

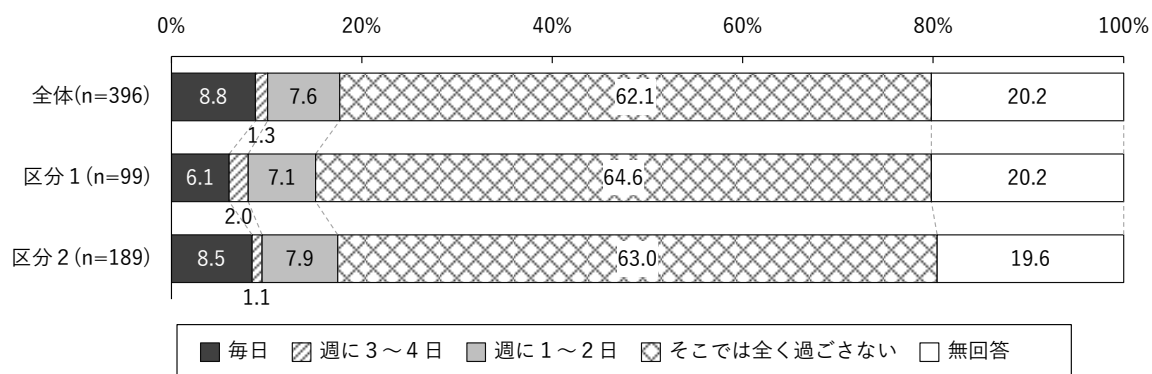
子どもが放課後・自由時間を祖父母の家で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で51.3%、中学校2年生で62.1%、16-17歳で59.9%と最も高くなっています。

区分別にみると「毎日」と回答した割合は、中学校2年生では区分1の方が低く、小学校5年生、16-17歳では区分1の方が高くなっています。

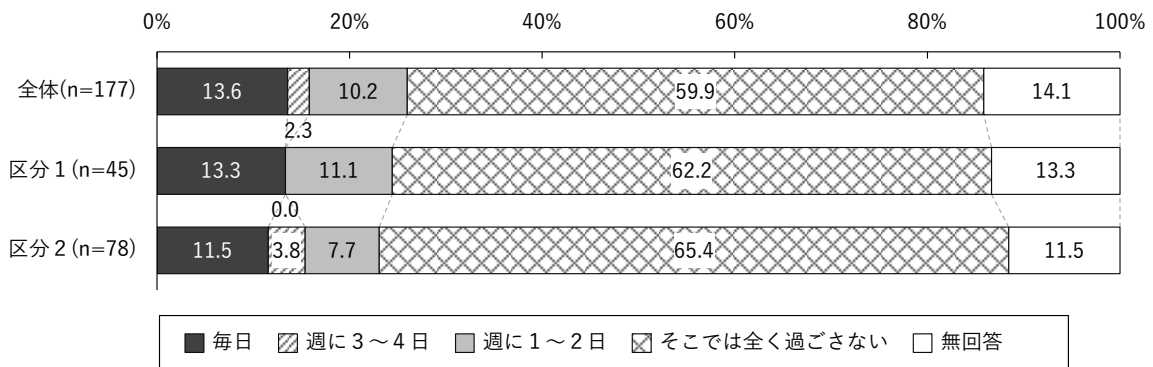
**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／B おじいちゃん・おばあちゃんの家



**中学校2年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／B 祖父母の家



**16-17歳** 問9 平日の自由時間(学校の放課後や仕事がないとき)は、どこで過ごしていますか。  
 / B 祖父母の家



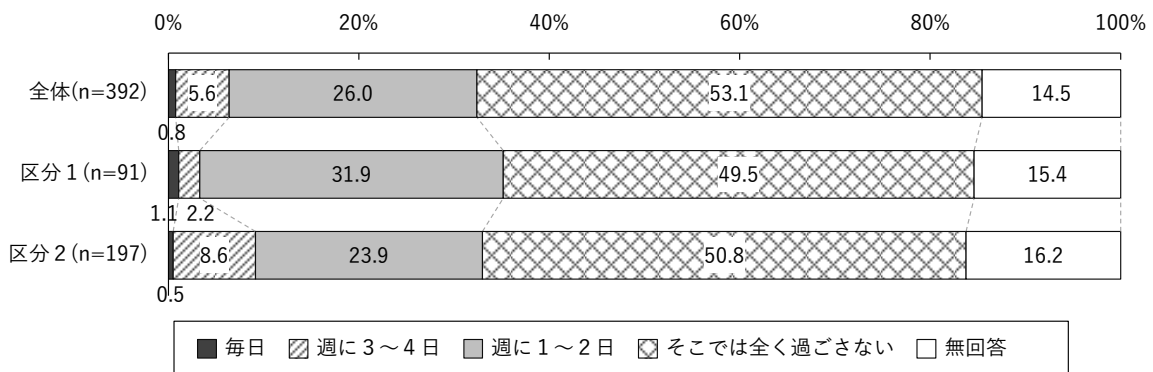
### C 友だちの家

【子ども設問】

子どもが放課後・自由時間を友だちの家で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で53.1%、中学校2年生で69.2%、16-17歳で78.5%と最も高くなっています。

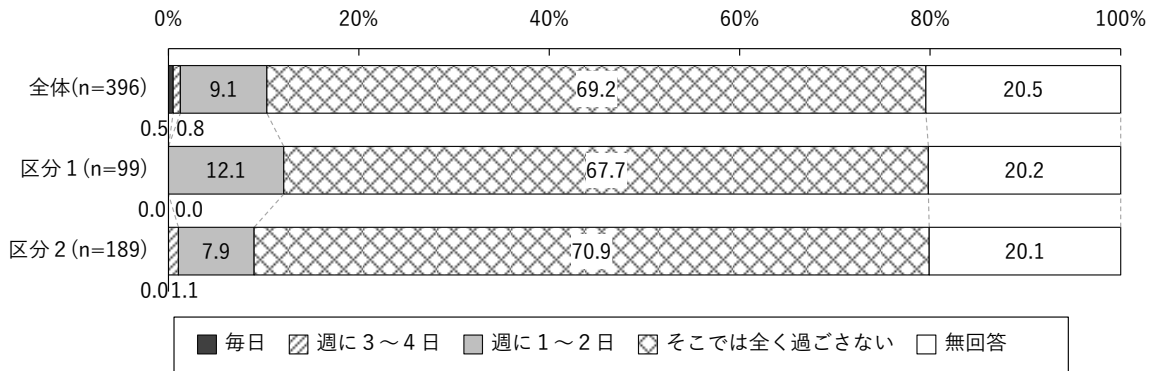
区分別にみると「週に1~2日」と回答した割合は、小学校5年生、中学校2年生では区分1の方が高く、16-17歳では区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問8 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか。 / C 友だちの家



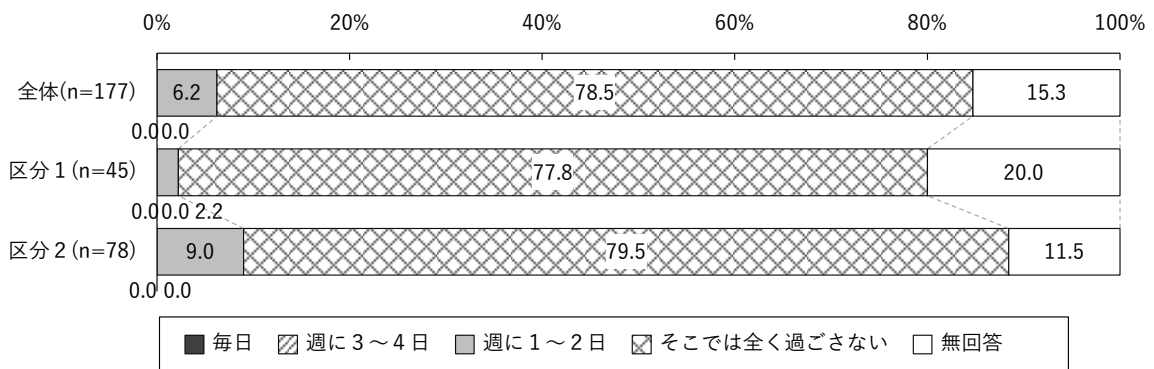
中学校2年生

問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／C 友だちの家



16-17歳

問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。／C 友だちの家



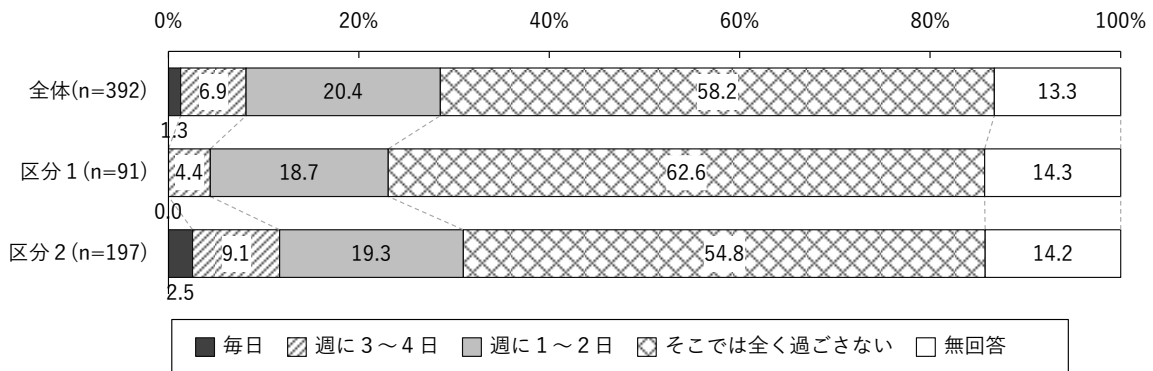
## D 塾や習い事をする場所／塾・予備校や習い事

【子ども設問】

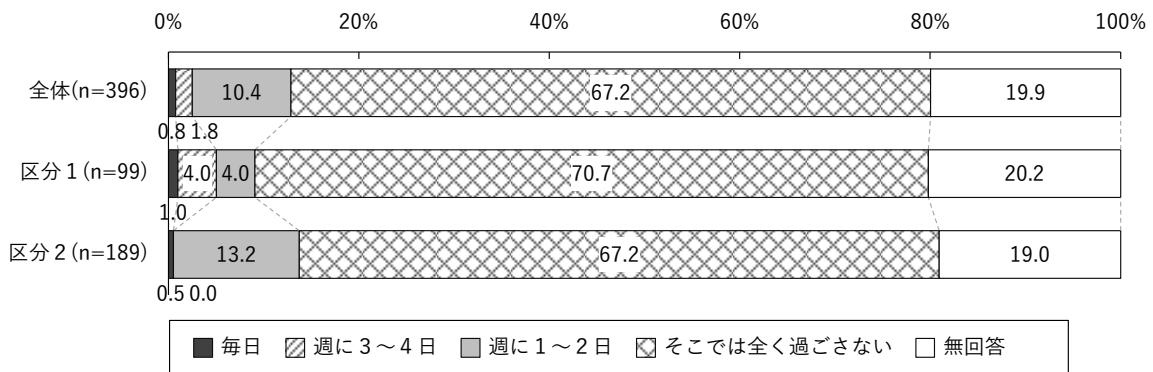
子どもが放課後・自由時間を塾や習い事をする場所で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で58.2%、中学校2年生で67.2%、16-17歳で69.5%と最も高くなっています。

区分別にみると「毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」を合わせた『週1日以上』を過ごす」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／D 塾や習い事をする場所



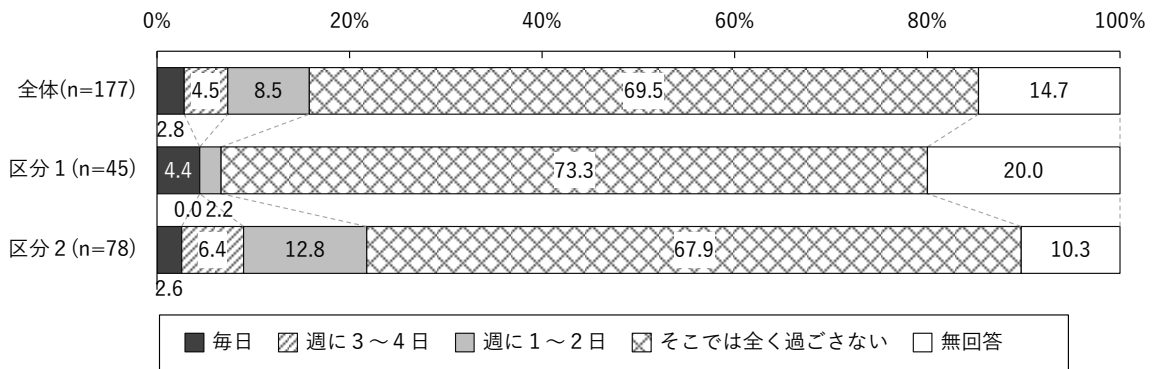
**中学校2年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／D 塾や習い事をする場所



16-17歳

問9 平日の自由時間(学校の放課後や仕事がないとき)は、どこで過ごしていますか。

／D 塾・予備校や習い事



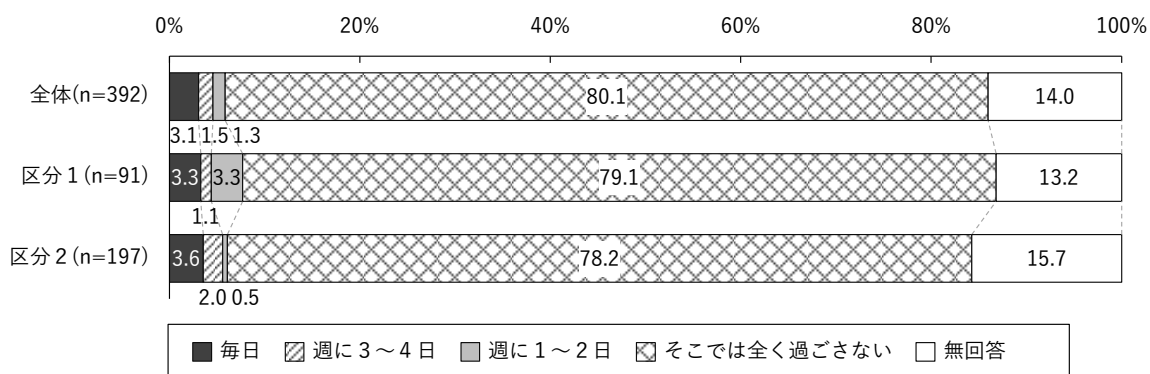
## E 学童保育所・児童館（公民館・放課後等デイサービスを含む）

【子ども設問】

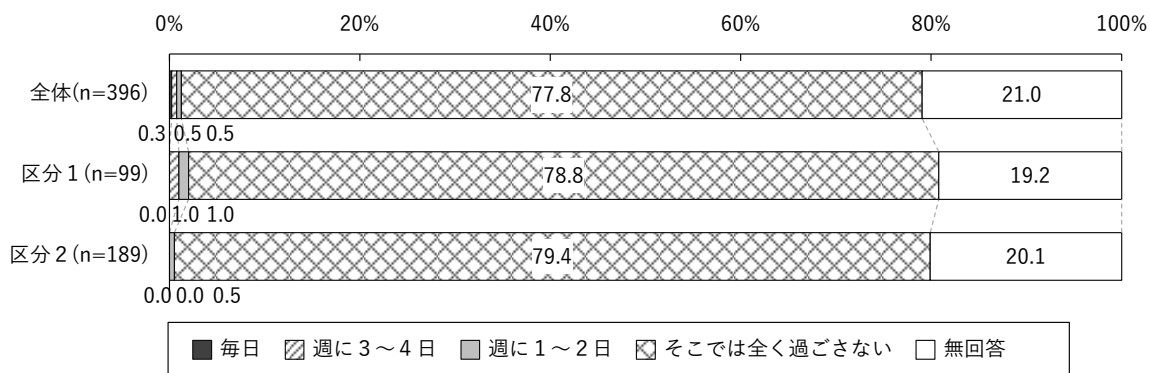
子どもが放課後・自由時間を学童保育所・児童館（公民館・放課後等デイサービスを含む）で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で80.1%、中学校2年生で77.8%と最も高くなっています。

区分別にみると「週に1～2日」と回答した割合は、小学校5年生、中学校2年生ともに区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／E 学童保育所・児童館（公民館・放課後等デイサービスをふくむ）



**中学校2年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／E 学童保育所・児童館（公民館・放課後等デイサービスをふくむ）



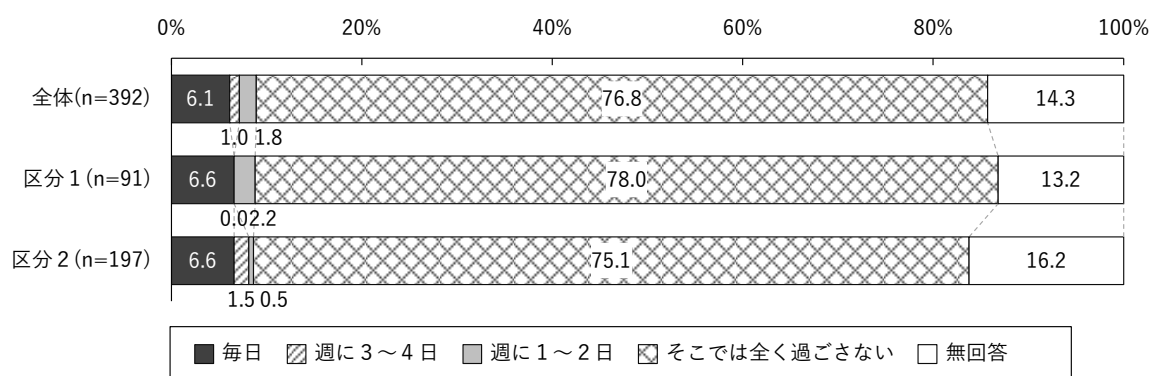
## F/E 学校（放課後子ども教室ふくむ・部活動など）

【子ども設問】

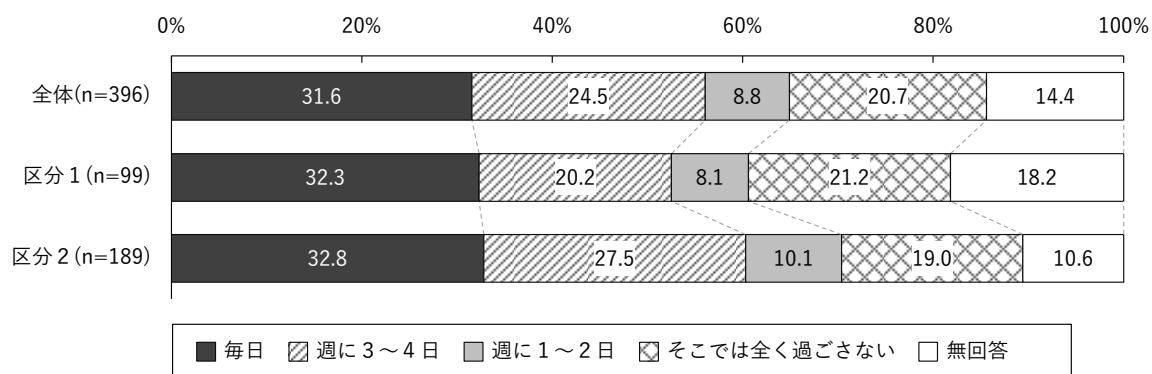
子どもが放課後・自由時間を学校（放課後子ども教室ふくむ・部活動など）で過ごす日数について、全体をみると小学校5年生は「そこでは全く過ごさない」が76.8%、中学校2年生、16-17歳では「毎日」がそれぞれ31.6%、41.2%と最も高くなっています。

区分別にみると「毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」を合わせた『週1日以上』を過ごす回答した割合は、中学校2年生、16-17歳で区分1の方が低くなっています。

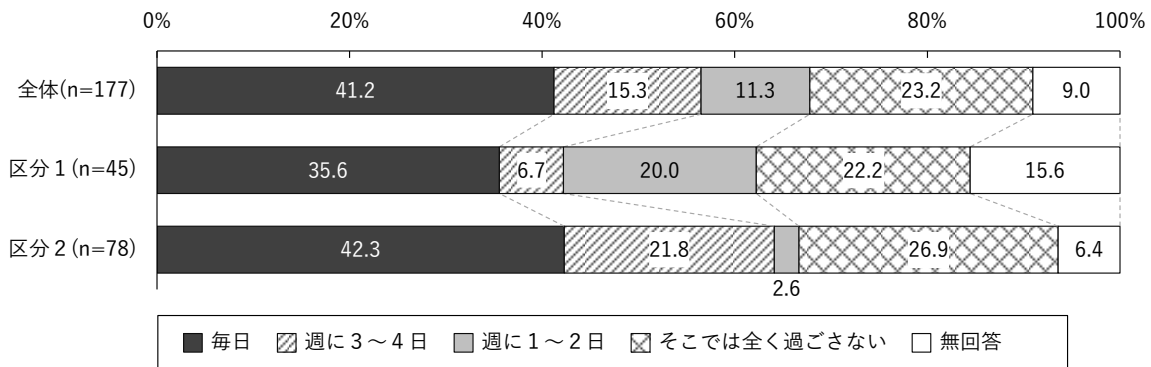
**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／F 学校（放課後子ども教室ふくむ）



**中学校2年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／F 学校（部活動など）



**16-17歳** 問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。  
 /E 学校（部活含む）



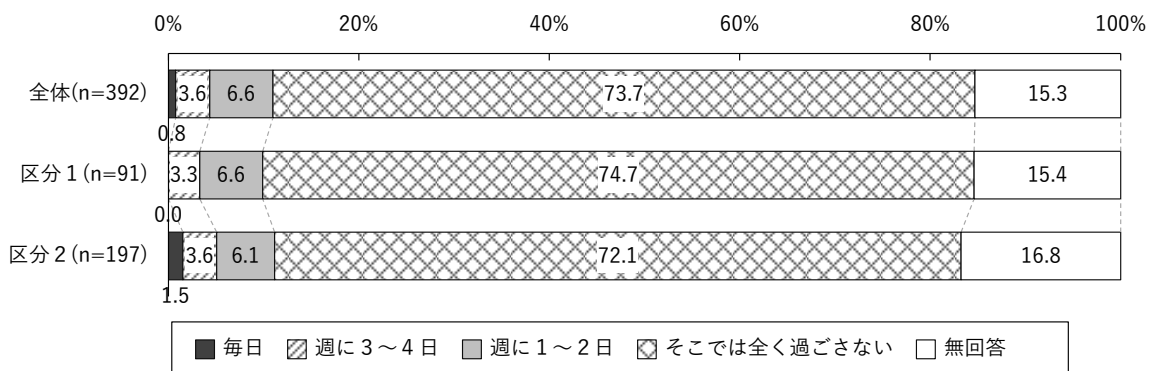
**G/F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）**

【子ども設問】

子どもが放課後・自由時間をスポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で73.7%、中学校2年生で68.2%、16-17歳で76.8%と最も高くなっています。

区分別にみると「毎日」、「週に3～4日」、「週に1～2日」を合わせた『週1日以上』と回答した割合は、小学校5年生では区分1の方が低く、中学校2年生では区分1の方が高くなっています。

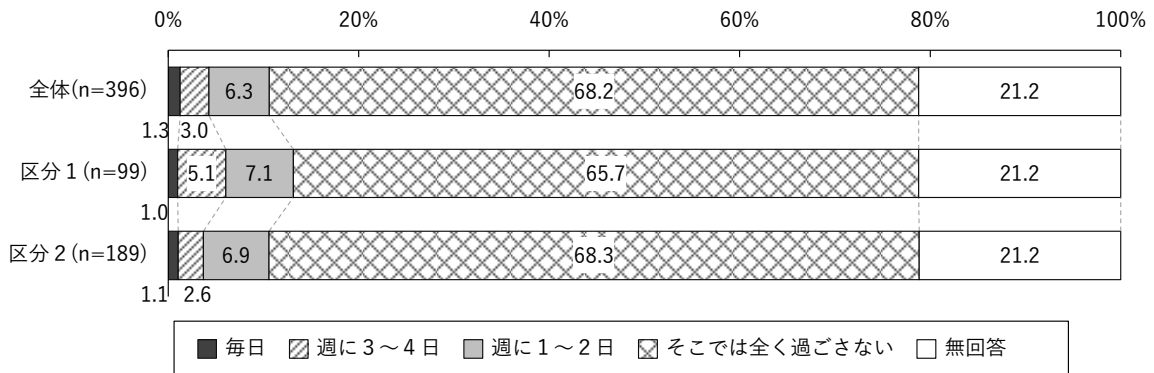
**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。/G スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）





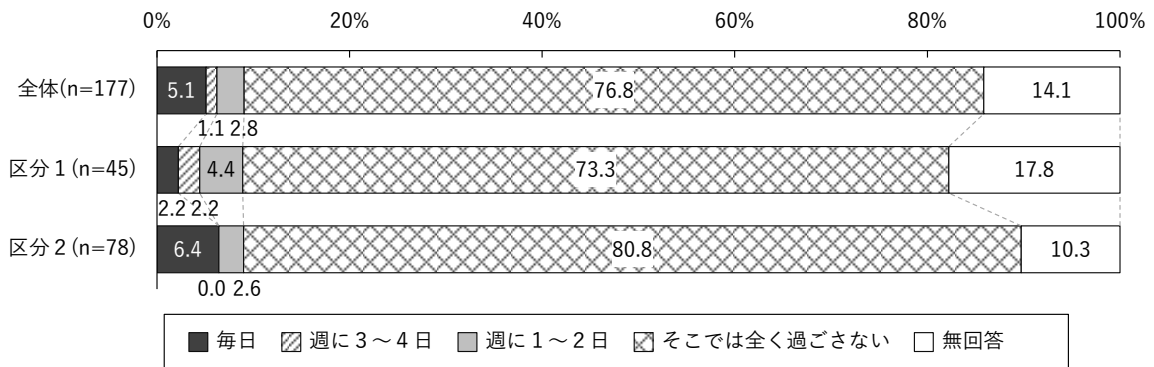
中学校2年生

問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／G スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）



16-17歳

問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。／F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）



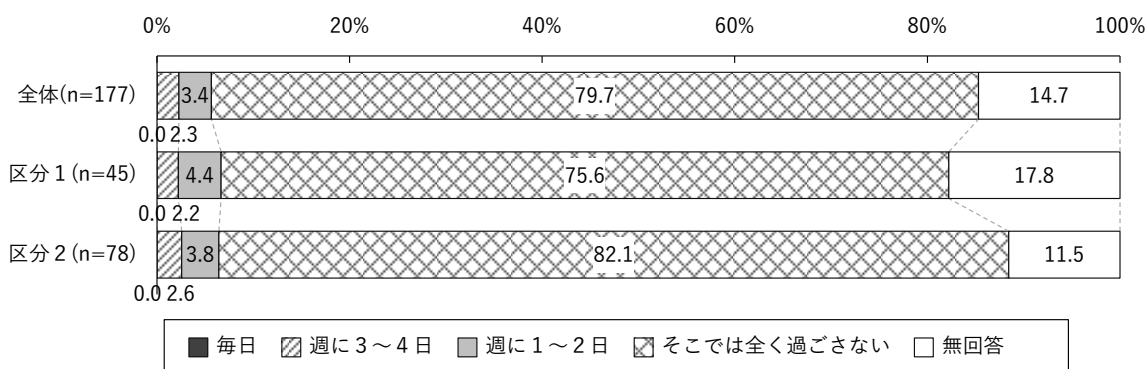
## G アルバイトなどの職場

【子ども設問】

子どもが放課後・自由時間をアルバイトなどの職場で過ごす日数について、16-17歳全体をみると「そこでは全く過ごさない」が79.7%と最も高くなっています。

区分別にみると「毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」を合わせた『週1日以上』を過ごす割合に大きな差はみられません。

**16-17歳** 問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。／G アルバイトなどの職場



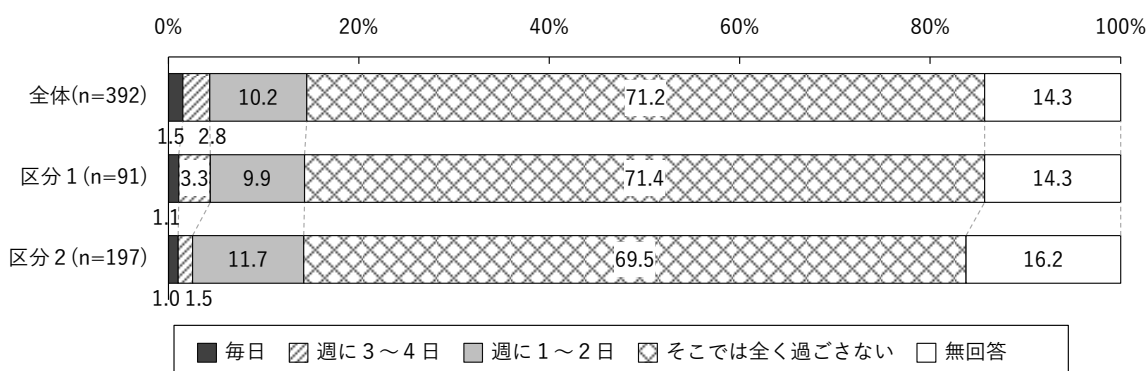
## H 公園や広場

【子ども設問】

子どもが放課後・自由時間を公園や広場で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で71.2%、中学校2年生で75.3%、16-17歳で82.5%と最も高くなっています。

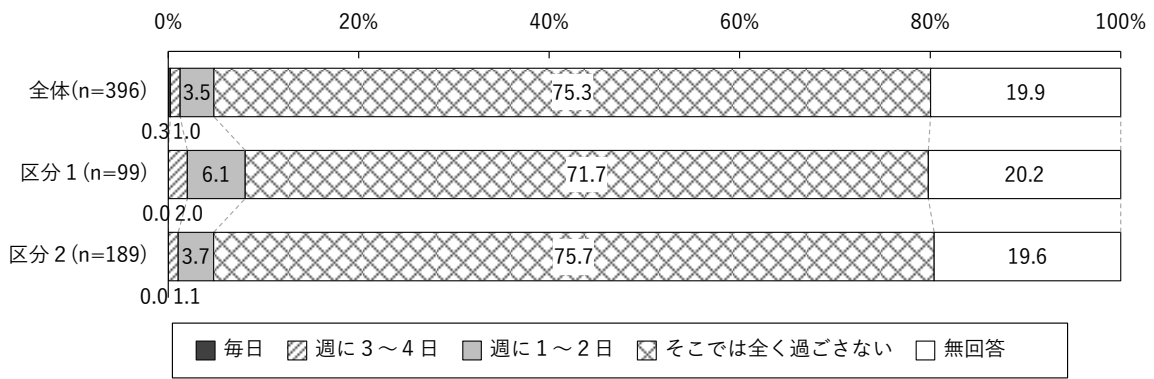
区分別にみると「毎日」「週に3～4日」「週に1～2日」を合わせた『週1日以上』と回答した割合は、中学校2年生、16-17歳で区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／H 公園や広場



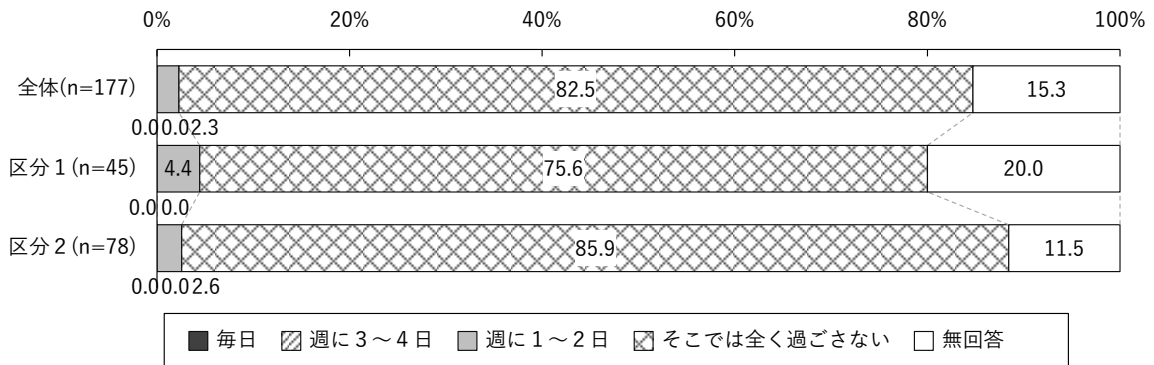
中学校2年生

問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／H 公園や広場



16-17歳

問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。／H 公園



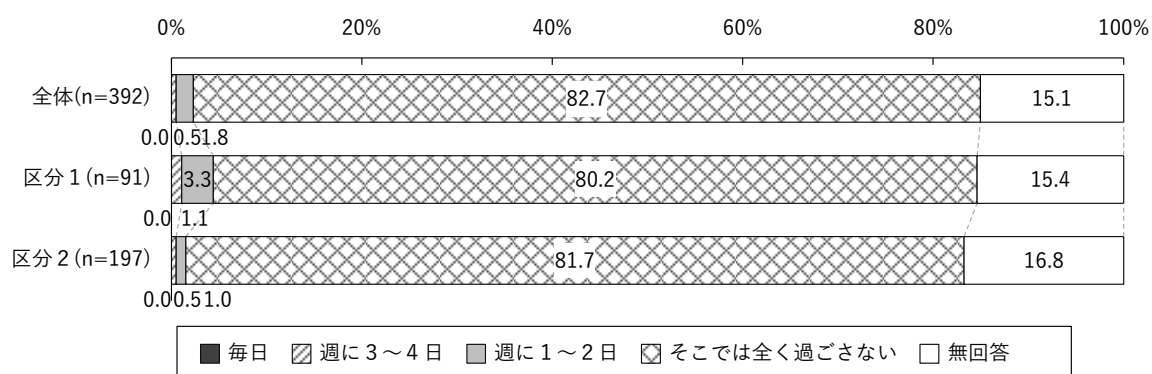
## I 図書館

【子ども設問】

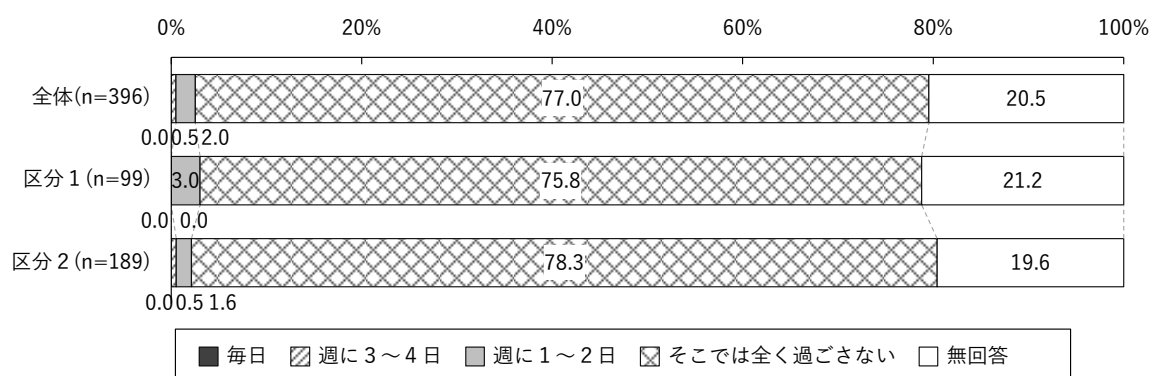
子どもが放課後・自由時間を図書館で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で82.7%、中学校2年生で77.0%、16-17歳で76.8%と最も高くなっています。

区別にみると「毎日」、「週に3～4日」、「週に1～2日」を合わせた『週1日以上』と回答した割合は、小学校5年生では区分1の方が高く、16-17歳では区分1の方が低くなっています。

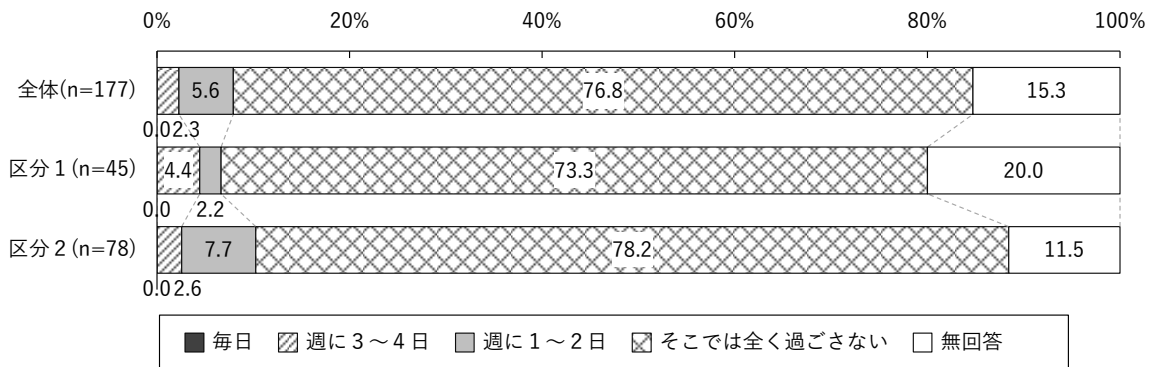
**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／I 図書館



**中学校2年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／I 図書館



**16-17歳** 問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。  
 / I 図書館



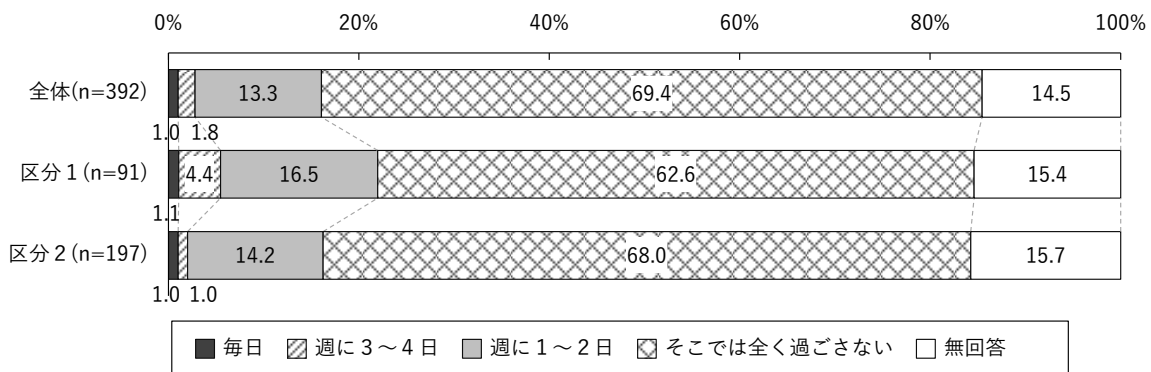
## J ショッピングセンター

【子ども設問】

子どもが放課後・自由時間をショッピングセンターで過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で69.4%、中学校2年生で69.9%、16-17歳で68.4%と最も高くなっています。

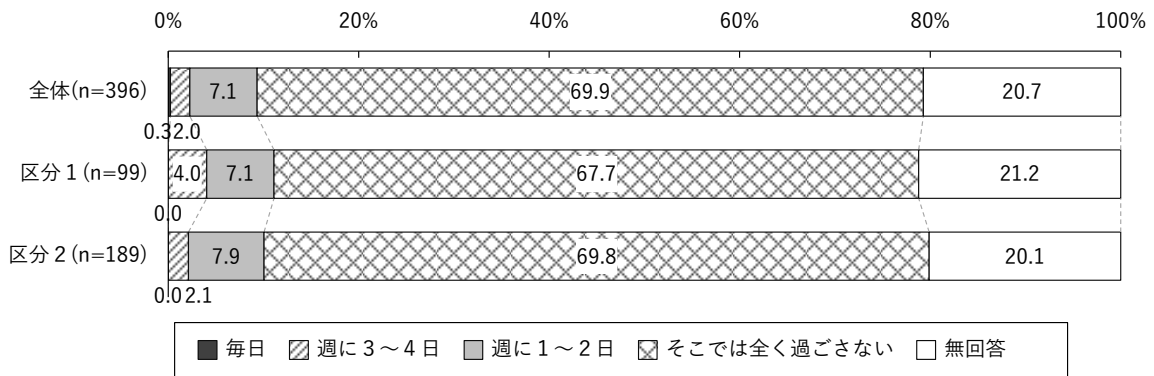
区分別にみると「毎日」、「週に3~4日」、「週に1~2日」を合わせた『週1日以上』と回答した割合は、小学校5年生、中学校2年生で区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。/ J ショッピングセンター



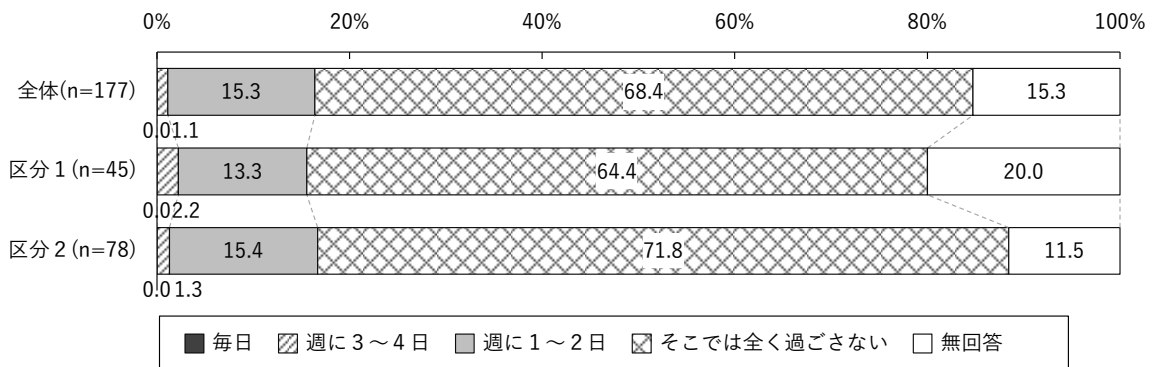
中学校2年生

問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／J ショッピングセンター



16-17歳

問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。／J ショッピングセンター



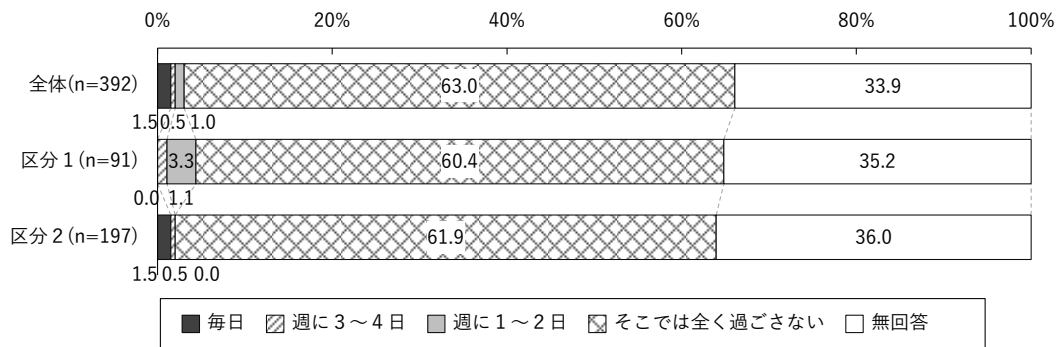
## K その他

【子ども設問】

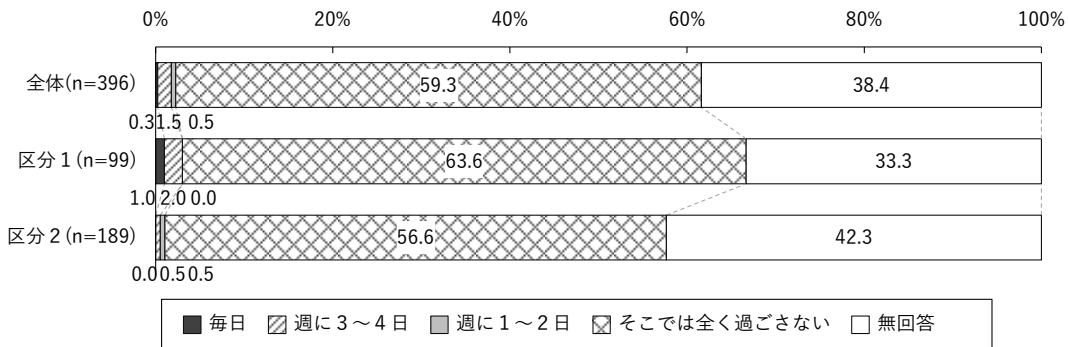
子どもが放課後・自由時間をその他の場所で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で63.0%、中学校2年生で59.3%、16-17歳で57.1%と最も高くなっています。

区分別にみると「毎日」、「週に3～4日」、「週に1～2日」を合わせた『週1日以上』と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

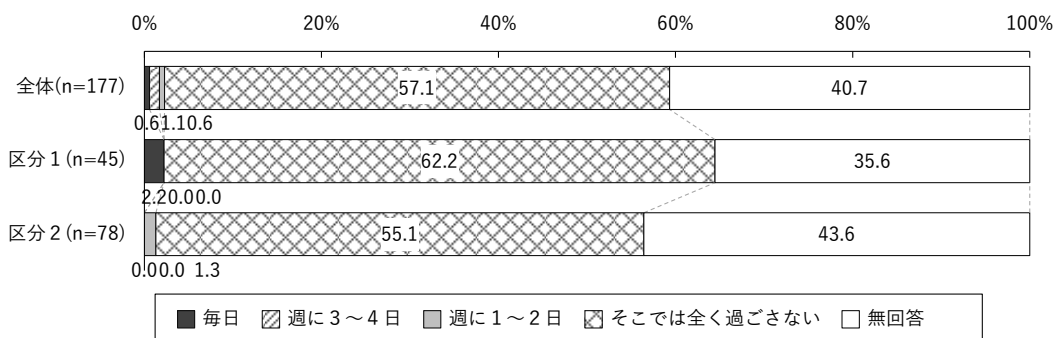
**小学校5年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／K その他



**中学校2年生** 問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／K その他



**16-17歳** 問9 平日の自由時間（学校の放課後や仕事がないとき）は、どこで過ごしていますか。／K その他



### ③学童保育所や放課後子ども教室への参加状況と参加していない理由

【子ども設問】

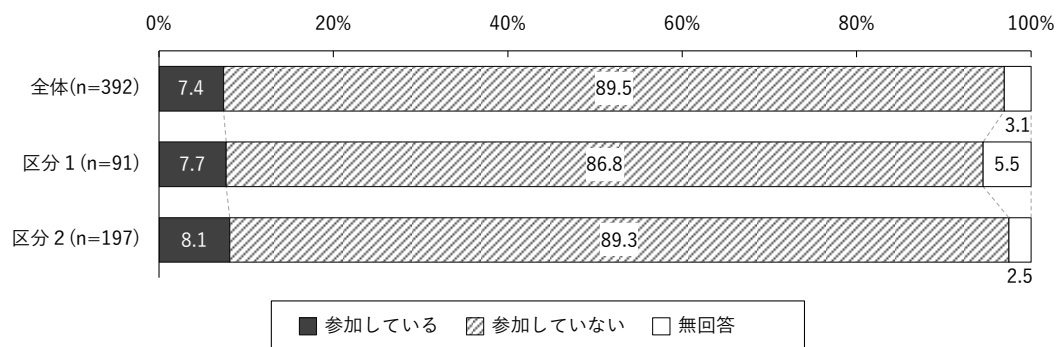
小学校5年生の学童保育所や放課後子ども教室への参加状況について、全体をみると「参加している」と回答した割合は7.4%となっています。

区分別にみると「参加している」は、同程度となっています。

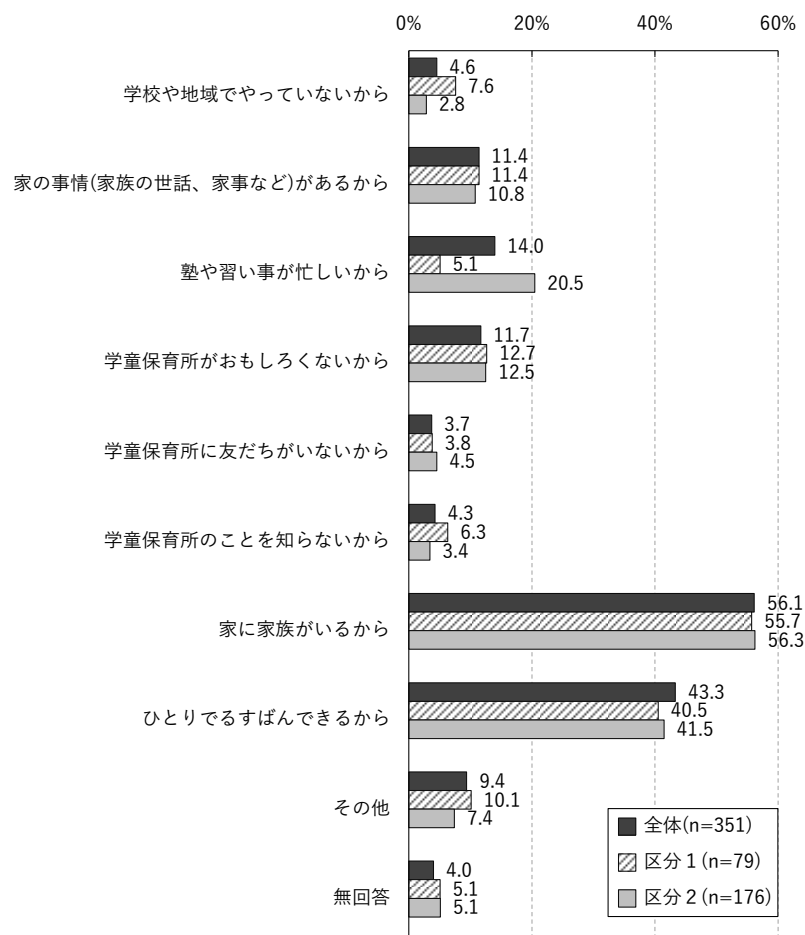
参加していない理由について、全体をみると「家に家族がいるから」が56.1%、「ひとりであるすばんでできるから」が43.3%となっています。

区分別にみると「塾や習い事が忙しいから」は区分1の方が低くなっています。

小学校5年生 問9 あなたは、学童保育所や放課後子ども教室に参加していますか。



小学校5年生 問9-1 学童保育所や放課後子ども教室に「2. 参加していない」と答えた人におききます。参加しない理由は何ですか。





#### ④部活動への参加状況と参加していない理由

【子ども設問】

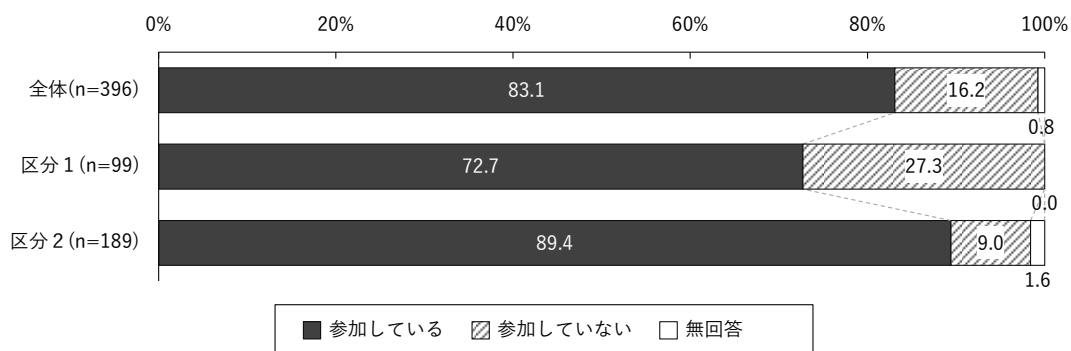
中学校2年生の部活動への参加状況について、全体をみると「参加している」と回答した割合は83.1%となっています。

区分別にみると「参加している」は、区分1の方が低くなっています。

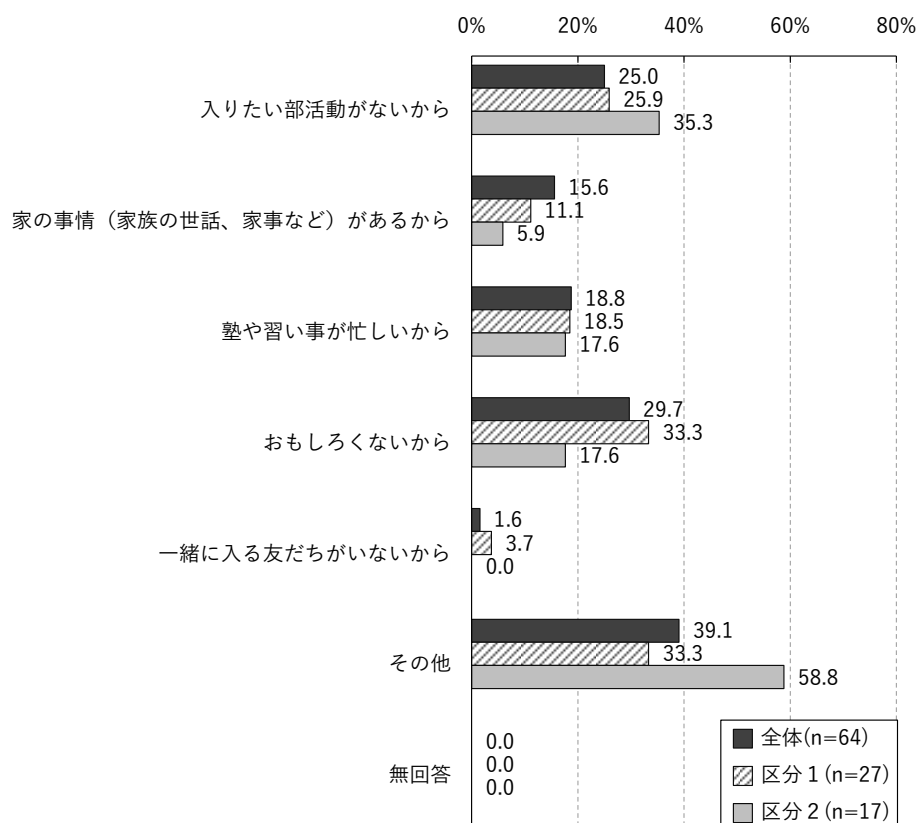
参加していない理由について、全体をみると「おもしろくないから」が29.7%、「入りたい部活動がないから」が25.0%となっています。「その他」は39.1%となっています。

区分別にみると「おもしろくないから」は区分1の方が高くなっています。

中学校2年生 問9 あなたは、学校の部活動に参加していますか。



中学校2年生 問9-1 学校の部活動に「2. 参加していない」と答えた人におきまします。参加しない理由は何ですか。



### ⑤学校や職場・地域のクラブやスポーツ活動への参加状況と参加していない理由

【子ども設問】

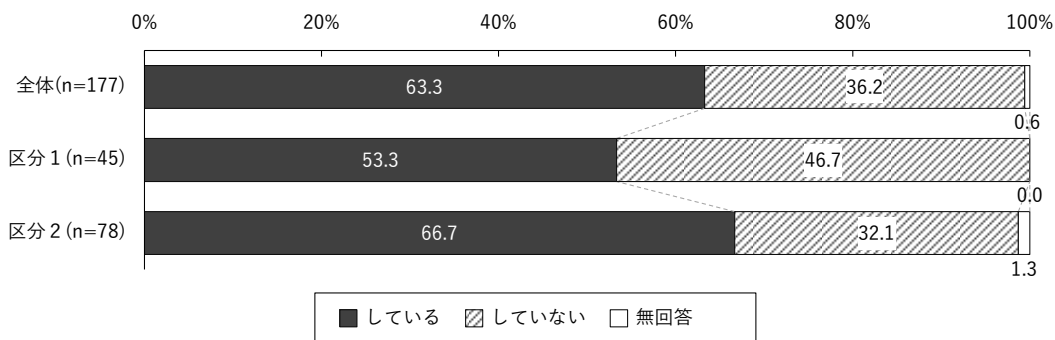
16-17歳の学校や職場・地域のクラブやスポーツ活動への参加状況について、全体をみると「している」と回答した割合は63.3%となっています。

区分別にみると「している」は、区分1の方が低くなっています。

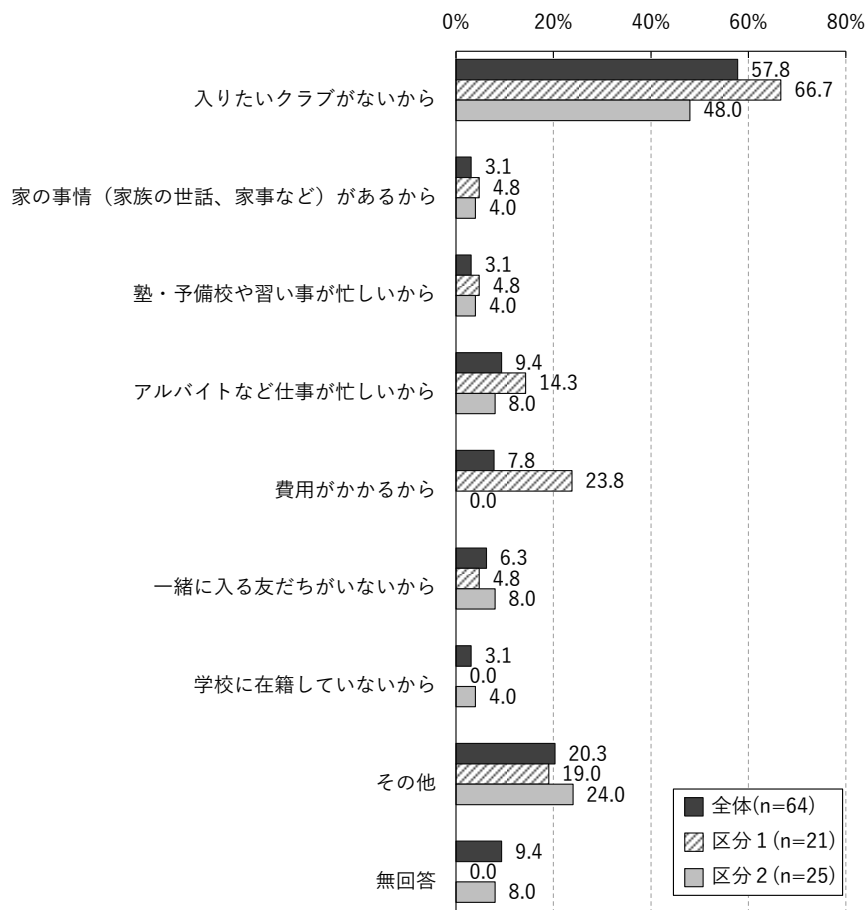
参加していない理由について、全体をみると「入りたいクラブがないから」が57.8%と最も高くなっています。

区分別にみると「入りたいクラブがないから」、「費用がかかるから」等で区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問10 あなたは、学校や職場・地域のクラブやスポーツ活動に参加していますか。



**16-17歳** 問10-1 学校や職場・地域のクラブやスポーツ活動への参加で「2. していない」を選んだ方にお聞きします。参加しない理由は何ですか。



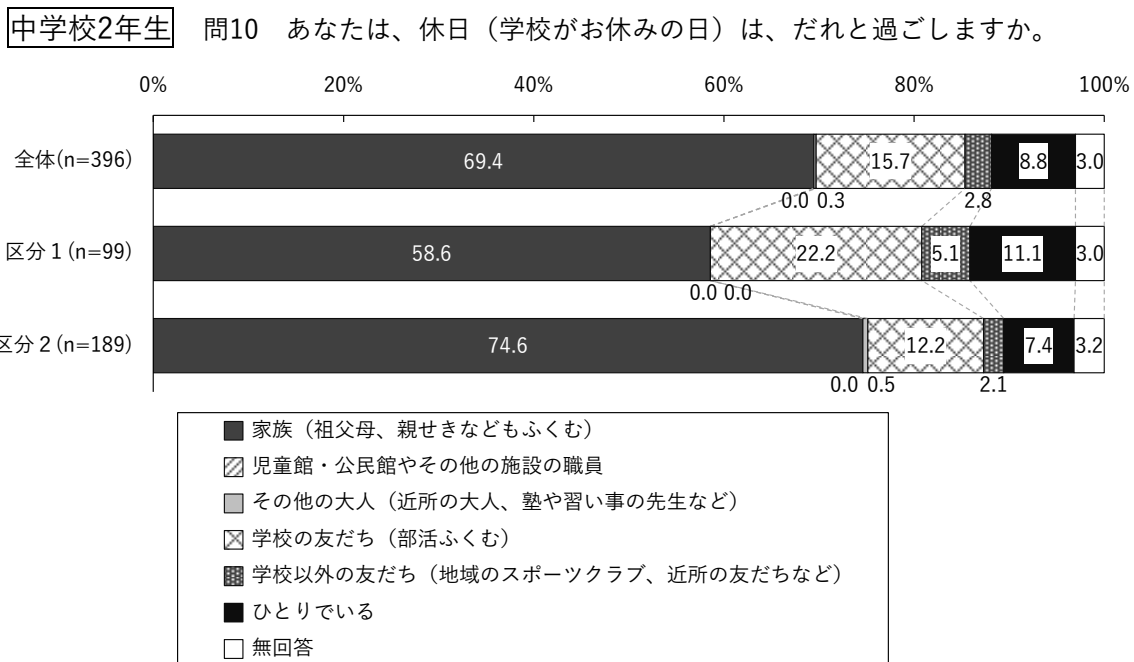
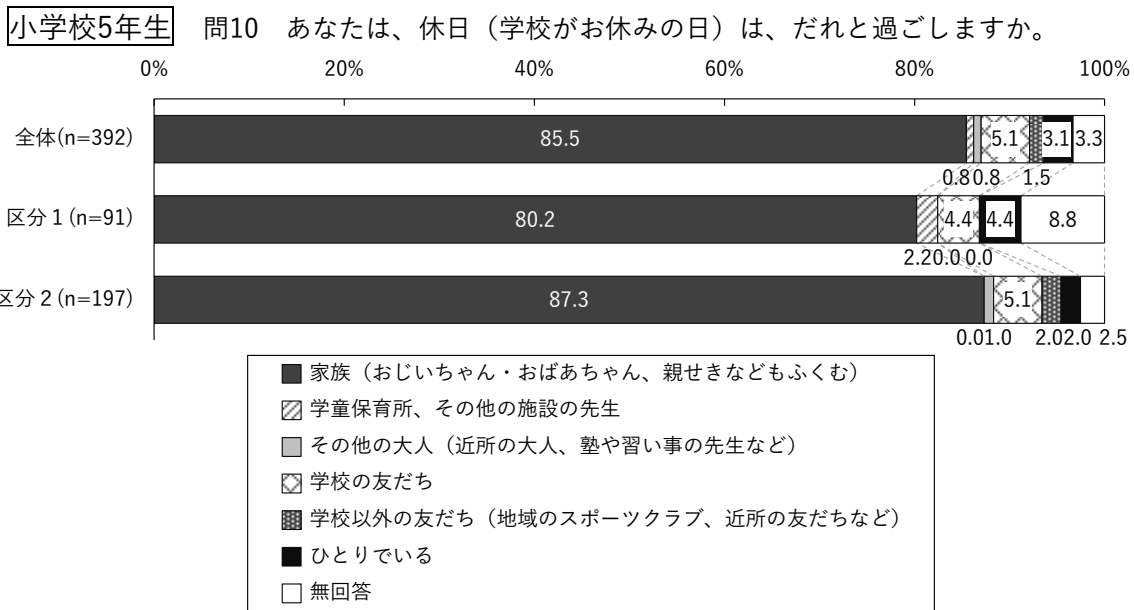
#### (4) 休日の過ごし方

##### ① 休日と一緒に過ごす人

【子ども設問】

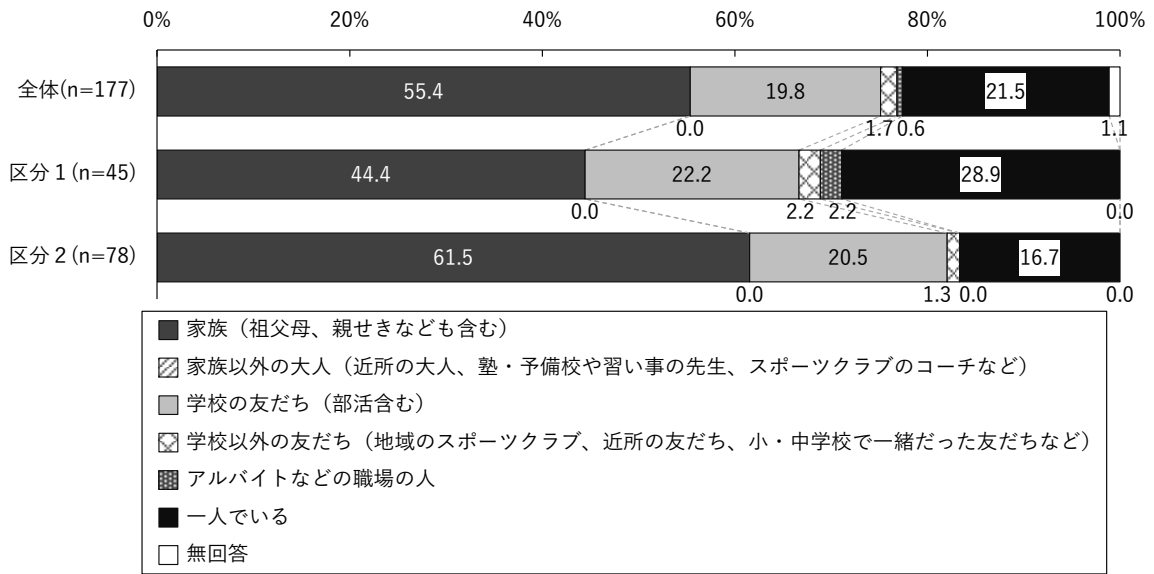
子どもと休日と一緒に過ごす人について、全体をみると小学校5年生では「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」が85.5%、中学校2年生では「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」が69.4%、16-17歳では「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」が55.4%と最も高くなっています。

区別にみると「ひとりである」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。



16-17歳

問11 あなたは、休日（学校や仕事が休みのとき）は、だれと過ごしますか。



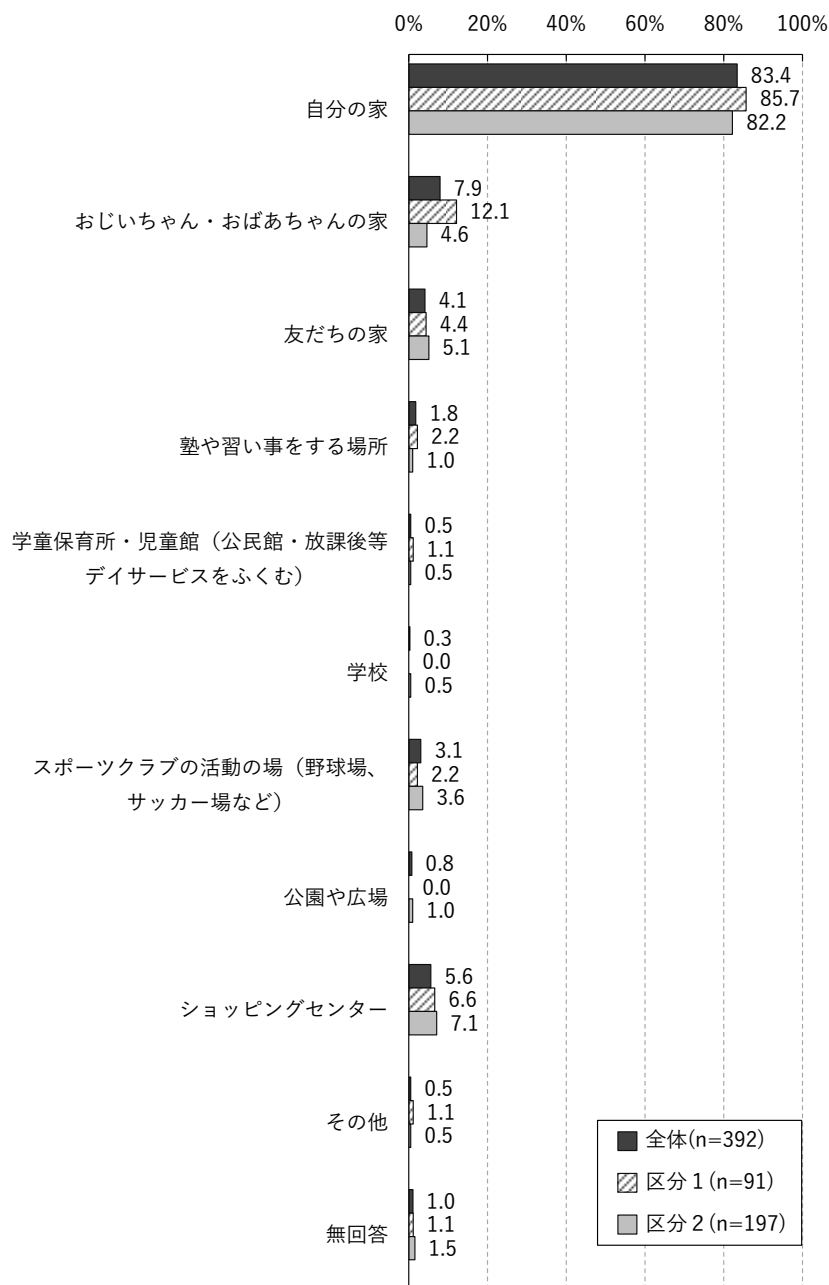
## ②休日を過ごす場所

【子ども設問】

子どもの休日を過ごす場所について、「自分の家」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で83.4%、中学校2年生で81.3%、16-17歳で78.5%とそれぞれ最も高くなっています。

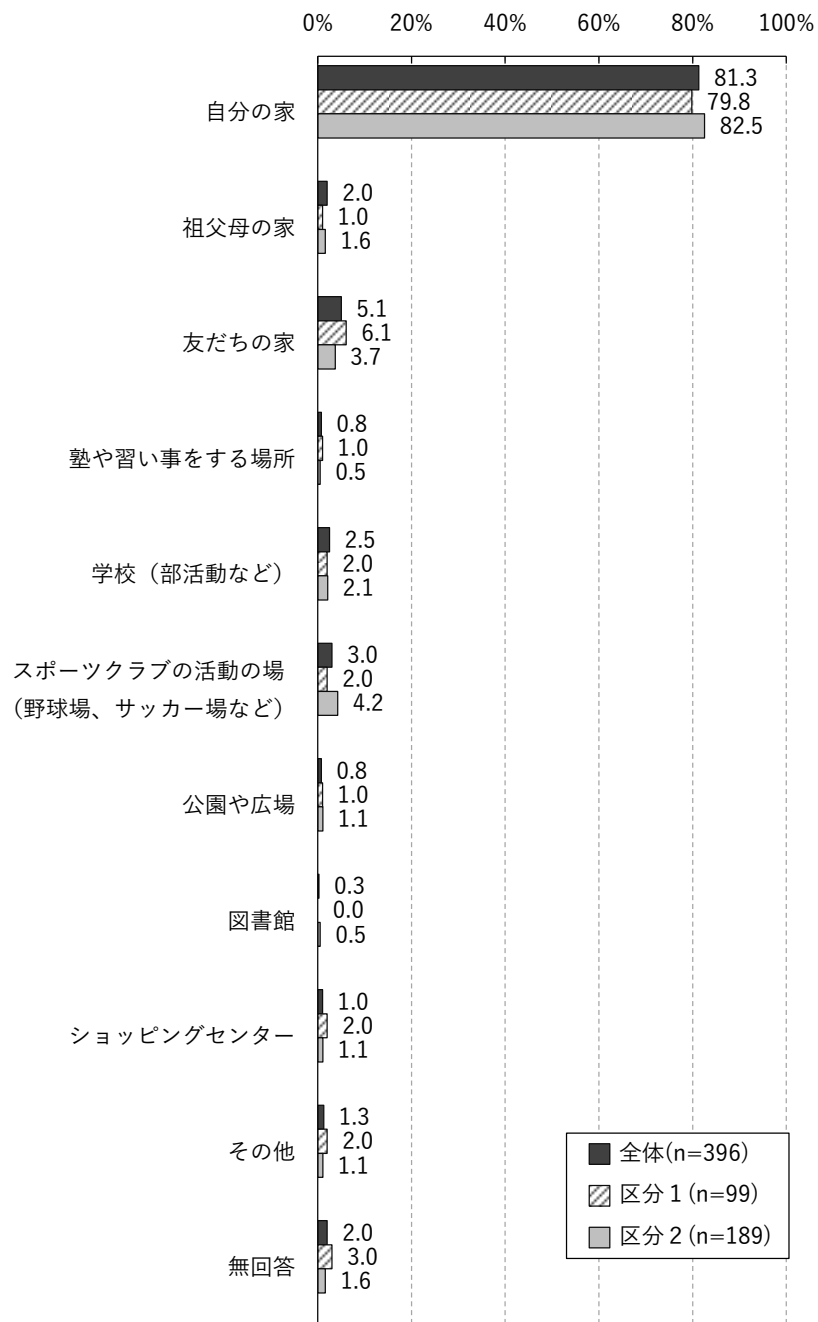
区分別にみると小学校5年生で「おじいちゃん・おばあちゃんの家」、中学校2年生で「友だちの家」と回答した割合は、いずれも区分1の方が高くなっています。

小学校5年生 問11 あなたは、休日（学校がお休みの日）は、どこで過ごしますか。



※回答のあった項目のみ

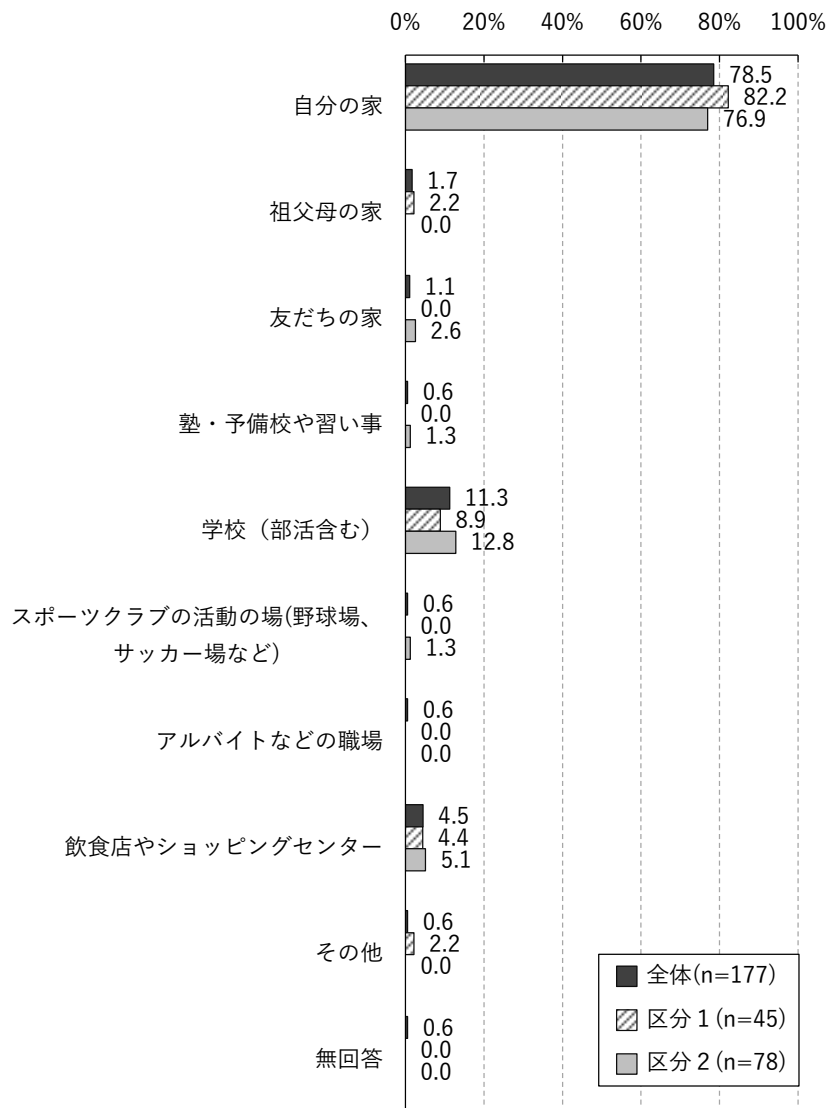
問11 あなたは、休日（学校がお休みの日）は、どこで過ごしますか。



※回答のあった項目のみ

16-17歳

問12 あなたは、休日（学校や仕事が休みのとき）は、どこで過ごしますか。



※回答のあった項目のみ

## (5) 活動の状況

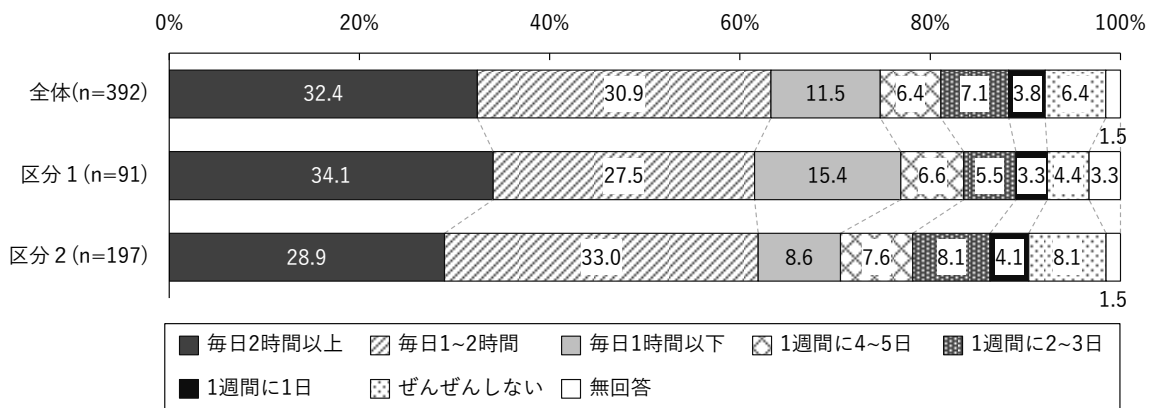
### A ゲーム機で遊ぶ

【子ども設問】

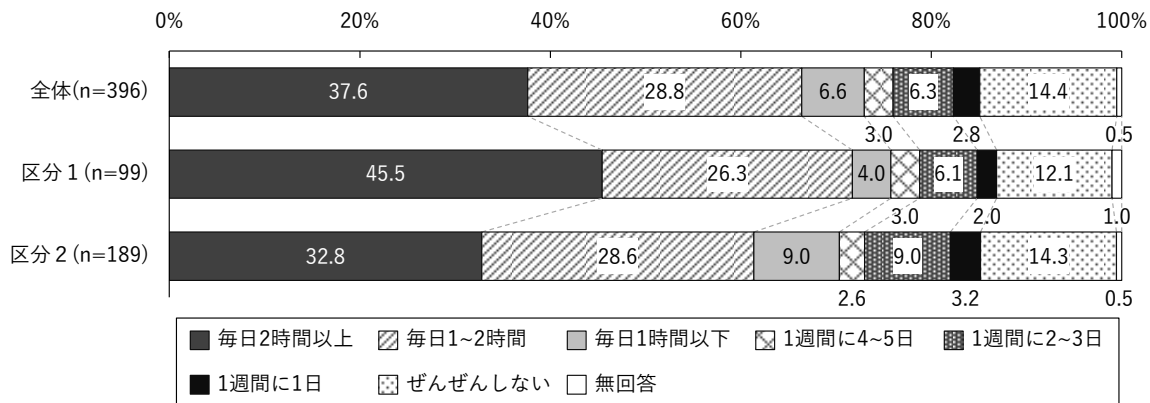
子どものゲーム機で遊ぶ頻度について、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で32.4%、中学校2年生で37.6%、16-17歳で41.2%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「毎日2時間以上」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。／A ゲーム機(コンピュータゲーム、けいたい式のゲームふくむ)で遊ぶ

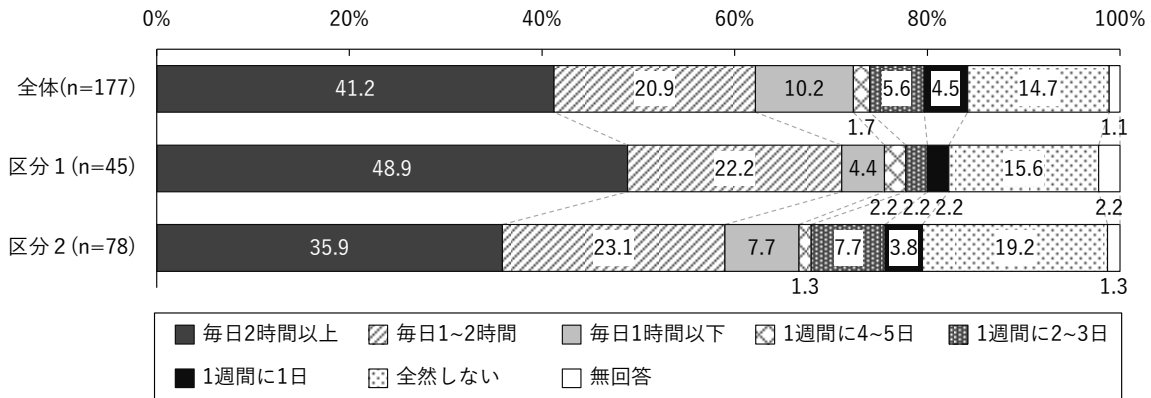


**中学校2年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。／A ゲーム機(コンピュータゲーム、携帯式のゲームふくむ)で遊ぶ





**16-17歳** 問13 あなたは、以下の活動を普段どれくらいしますか。／A ゲーム機（スマホ、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む）で遊ぶ

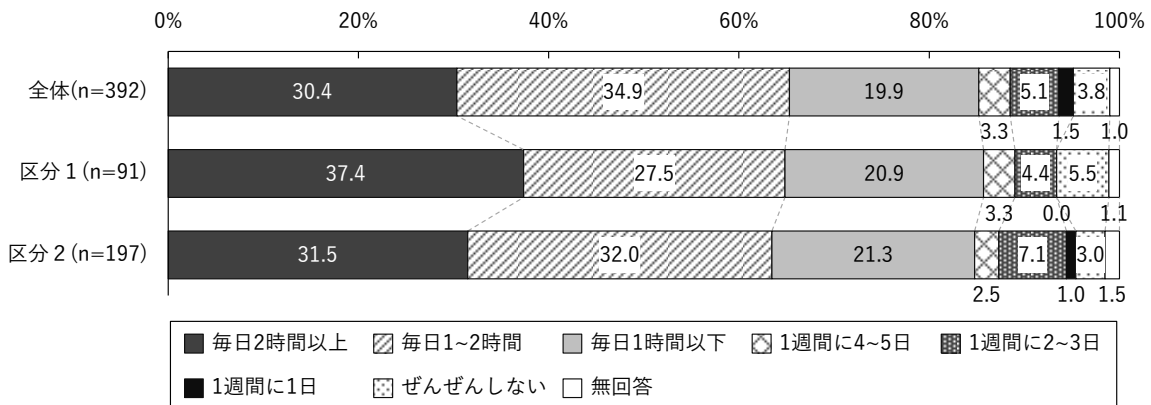


## B テレビを見る

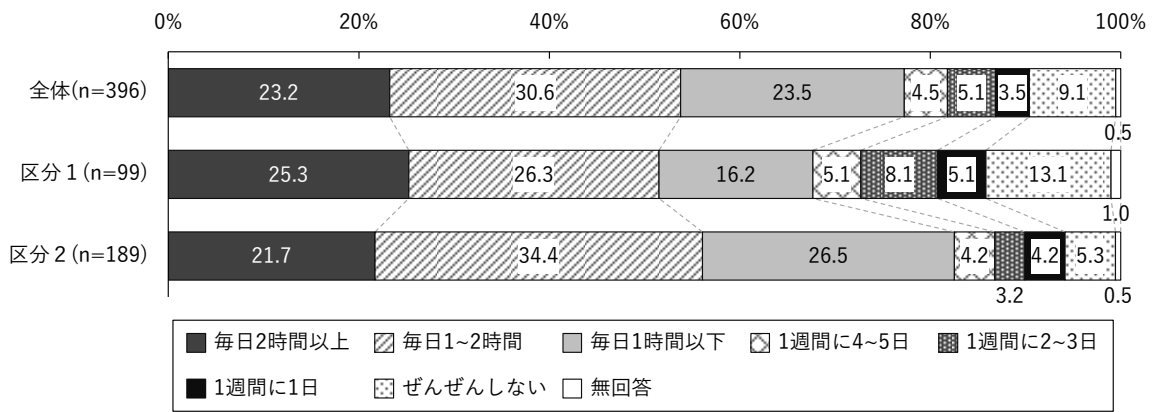
【子ども設問】

子どものテレビを見る頻度について、「毎日1~2時間」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で34.9%、中学校2年生で30.6%、16-17歳で29.9%とそれぞれ最も高くなっています。区分別にみると「ぜんぜんしない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

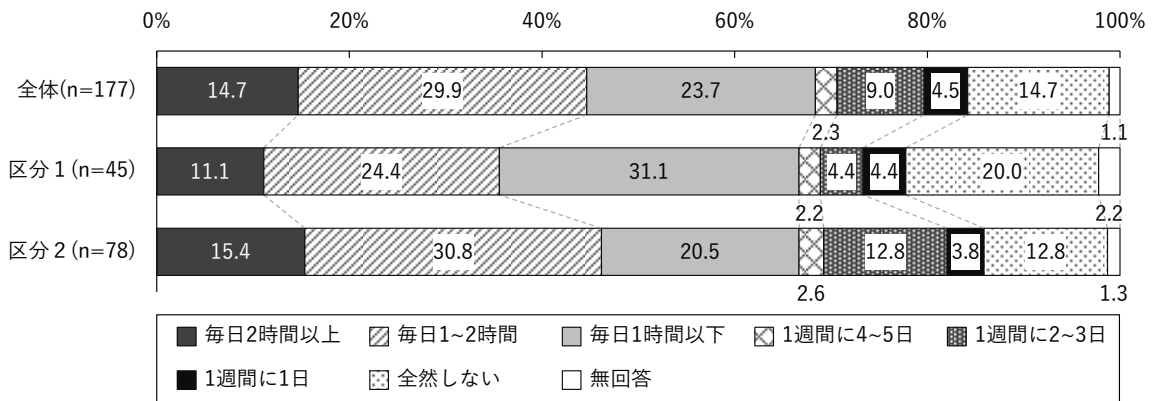
**小学校5年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。／B テレビを見る



**中学校2年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。／B テレビを見る



**16-17歳** 問13 あなたは、以下の活動を普段どれくらいしますか。／B テレビを見る



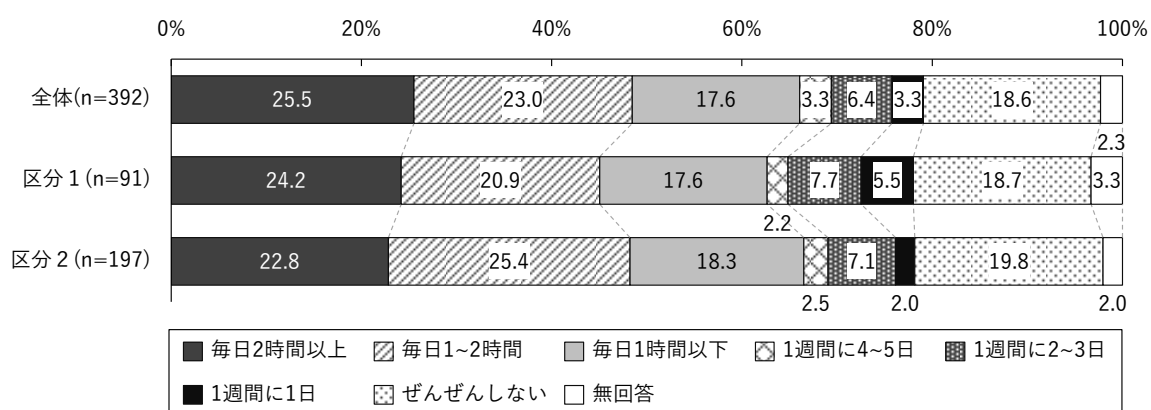
## C インターネットを見る

【子ども設問】

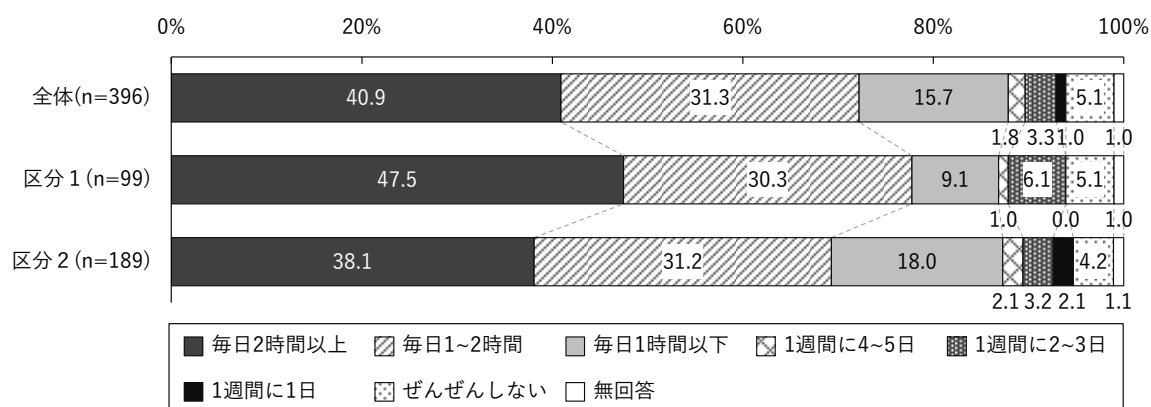
子どものインターネットを見る頻度について、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で25.5%、中学校2年生で40.9%、16-17歳で55.4%とそれぞれ最も高くなっています。

区別にみると「毎日2時間以上」と回答した割合は、いずれの学年もで区分1の方が高くなっています。

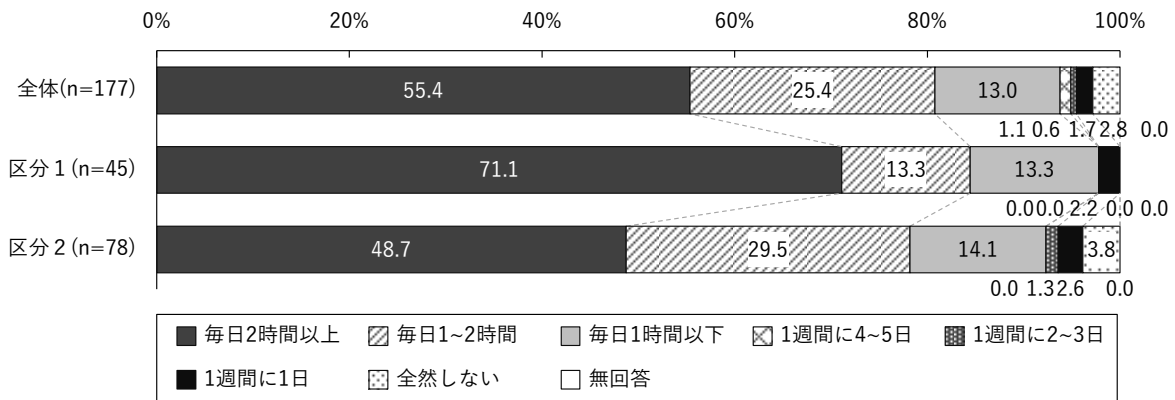
**小学校5年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。  
／C インターネットを見る



**中学校2年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。  
／C インターネットを見る



**16-17歳** 問13 あなたは、以下の活動を普段どれくらいしますか。／C インターネットを見る



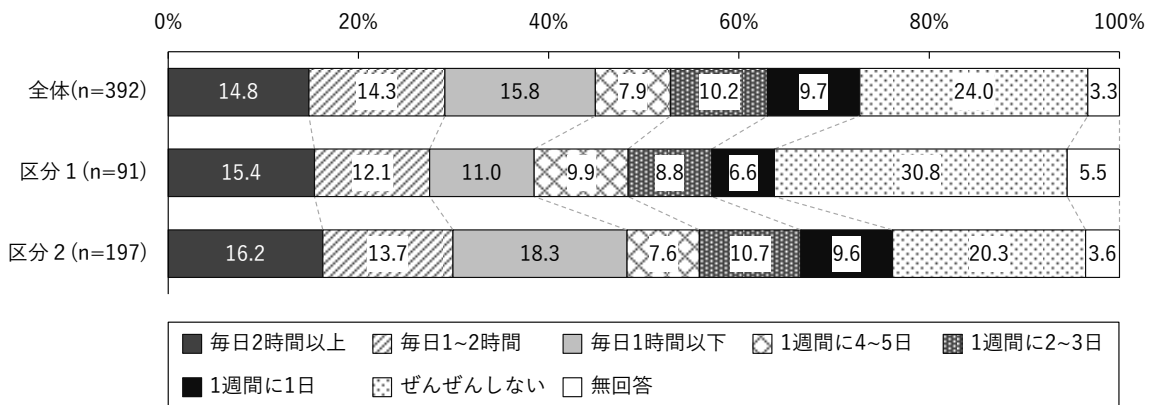
**D 室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）**

【子ども設問】

子どもの室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）の頻度について、「ぜんぜんしない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で24.0%、中学校2年生で25.3%、16-17歳で35.6%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「ぜんぜんしない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

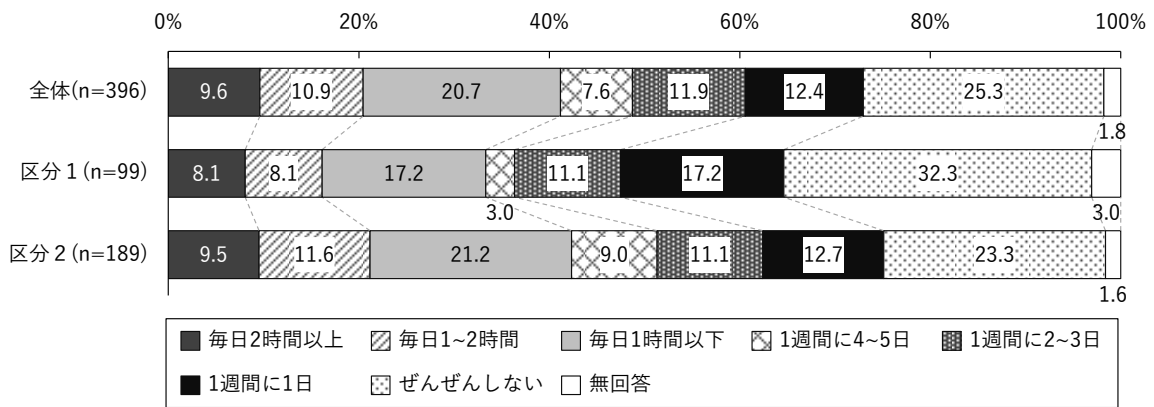
**小学校5年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。  
／D 室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）



中学校2年生

問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。

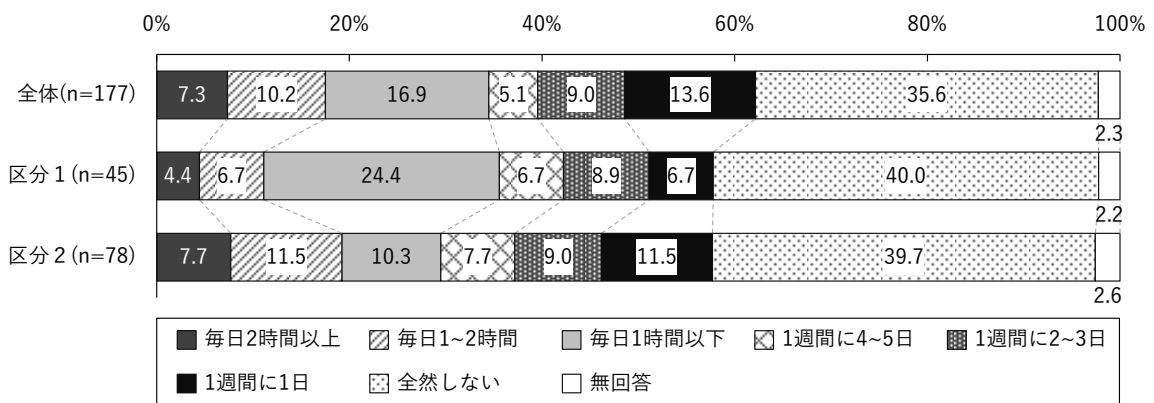
／D 室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）



16-17歳

問13 あなたは、以下の活動を普段どれくらいしますか。

／D 室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）



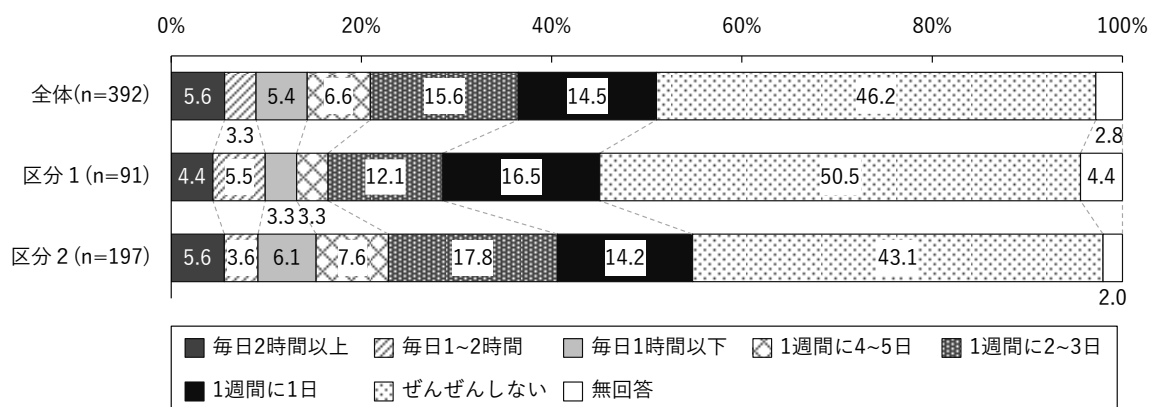
## E 公園や広場など外で遊ぶ

【子ども設問】

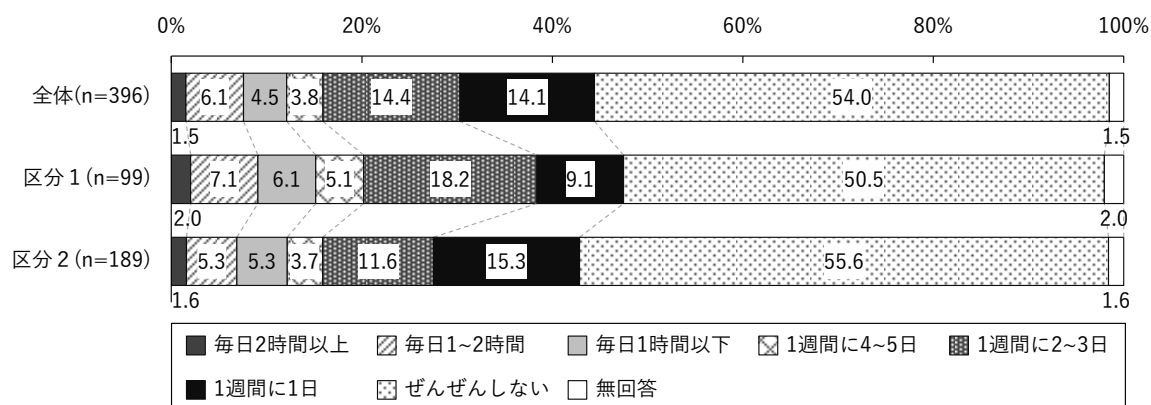
子どもの公園や広場など外で遊ぶ頻度について、「ぜんぜんしない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で46.2%、中学校2年生で54.0%とそれぞれ最も高くなっています。

区別にみると「ぜんぜんしない」と回答した割合は、小学校5年生では区分1の方が高く、中学校2年生では区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。  
／E 公園や広場など外で遊ぶ



**中学校2年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。  
／E 公園や広場など外で遊ぶ



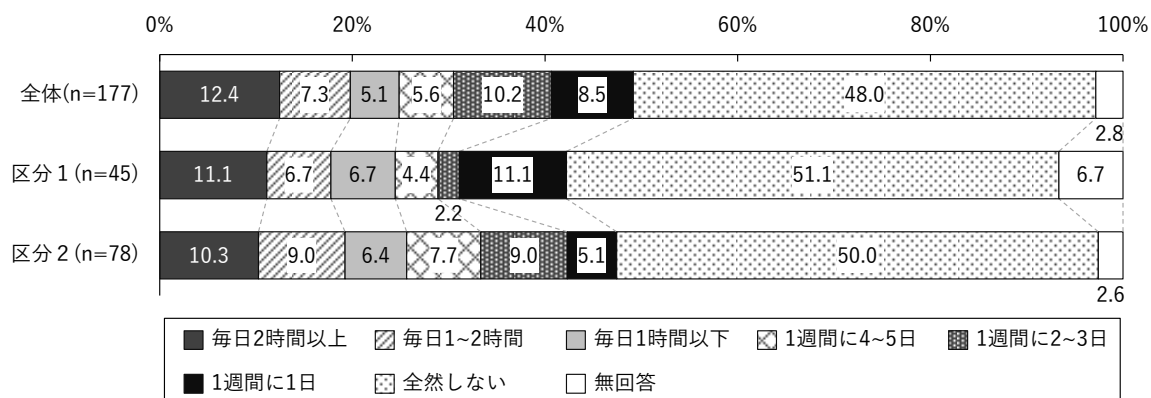
## E 屋外での運動

【子ども設問】

子どもの屋外での運動の頻度について、「ぜんぜんしない」と回答した割合は、16-17歳の全体をみると48.0%と最も高くなっています。

区分別にみると「ぜんぜんしない」と回答した割合は、区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問13 あなたは、以下の活動を普段どれくらいしますか。／E 屋外での運動



## F 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

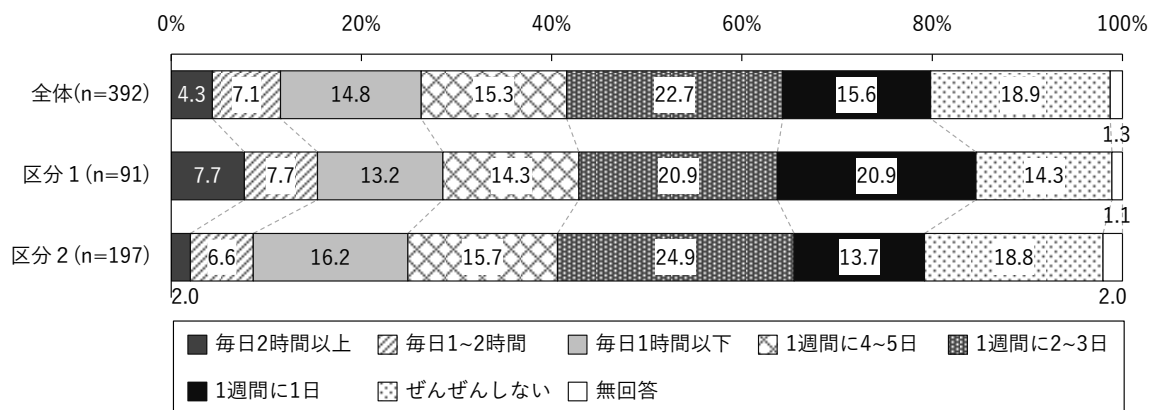
【子ども設問】

子どもの家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）の頻度について、全体をみると小学校5年生では「1週間に2~3日」が22.7%、中学校2年生では「毎日1~2時間」が22.5%、16-17歳では「全然しない」が27.7%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「毎日2時間以上」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。

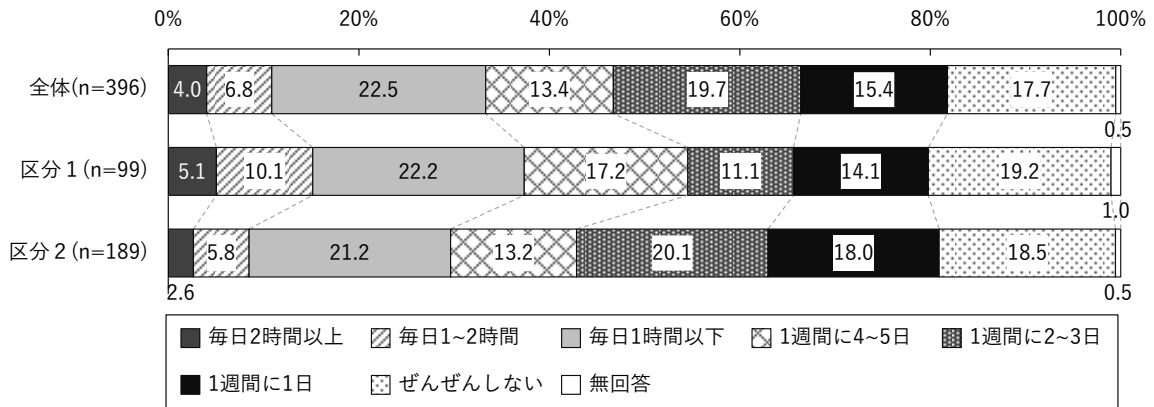
／F 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）



中学校2年生

問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。

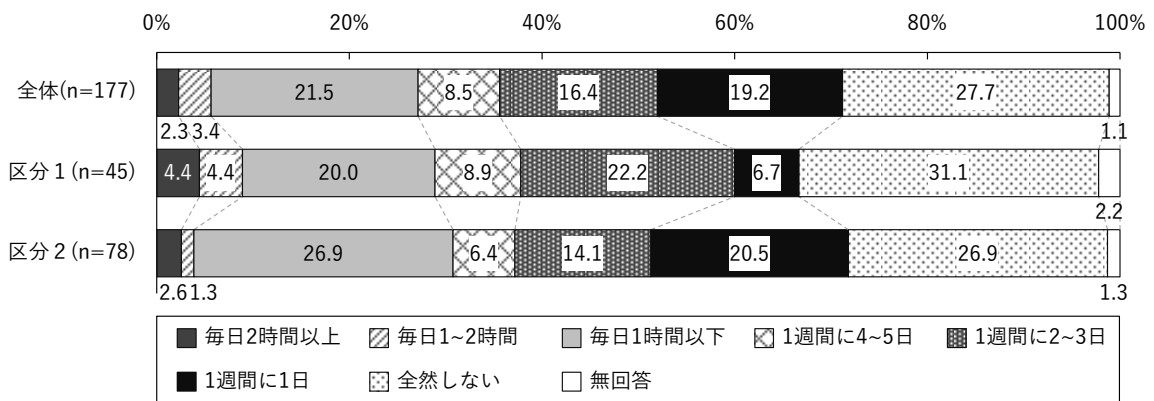
／F 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）



16-17歳

問13 あなたは、以下の活動を普段どれくらいしますか。

／F 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）





## G 親や兄弟姉妹、祖父母の世話や介護

【子ども設問】

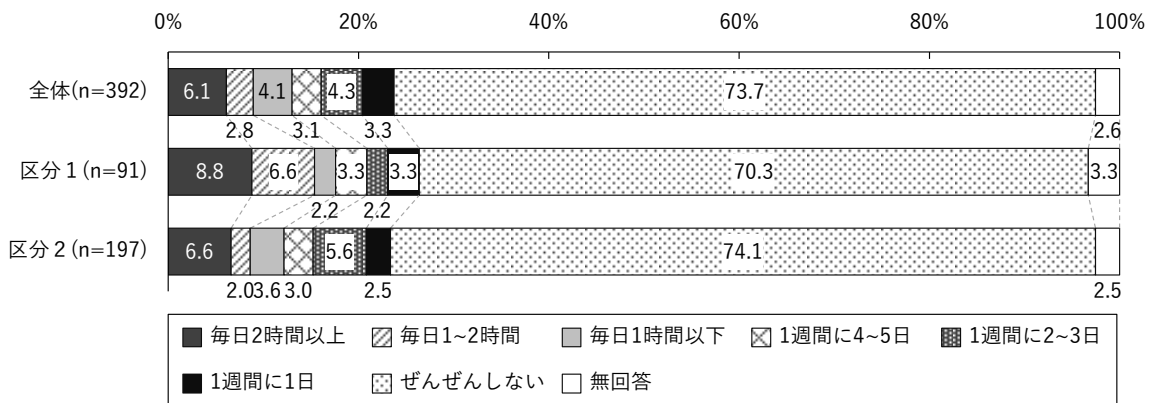
子どもの親や兄弟姉妹、祖父母の世話や介護の頻度について、「ぜんぜんしない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で73.7%、中学校2年生で71.5%、16-17歳で85.9%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「毎日2時間以上」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

小学校5年生

問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。

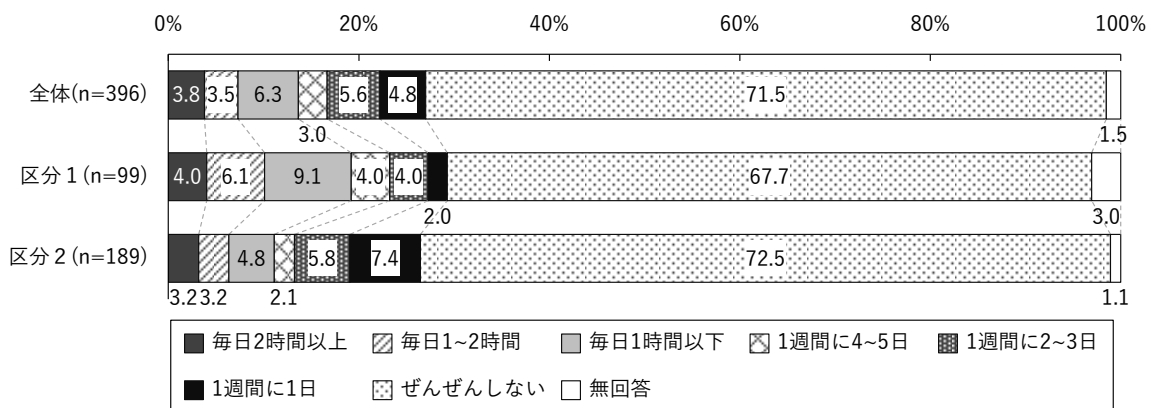
／G 親やきょうだい、おじいちゃん・おばあちゃんの世話や介護



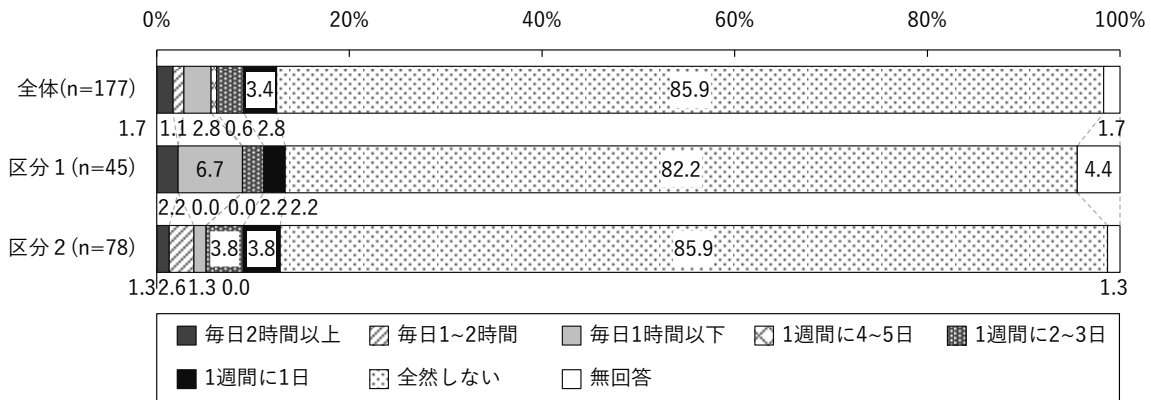
中学校2年生

問12 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。

／G 親や兄弟姉妹、祖父母の世話や介護



**16-17歳** 問13 あなたは、以下の活動を普段どれくらいしますか。  
 /G 親や兄弟姉妹、祖父母の世話や介護



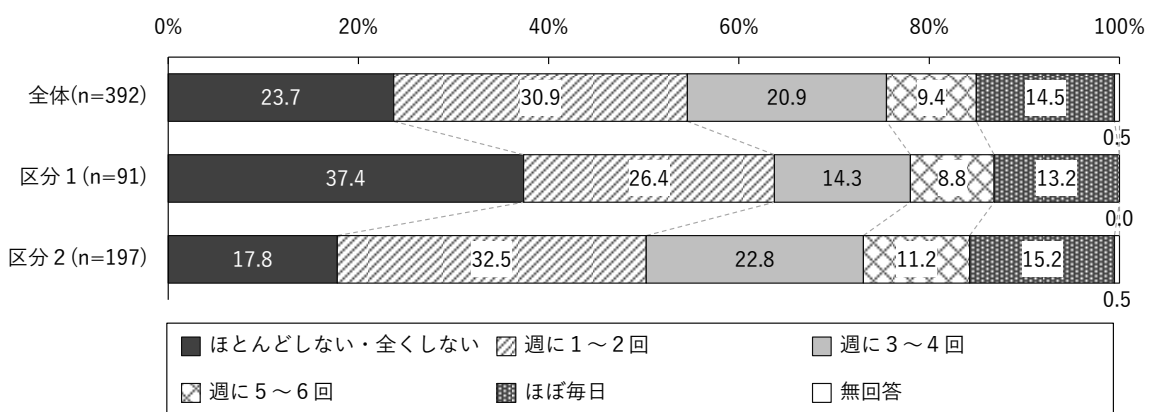
**(6) 運動の状況**

【子ども設問】

子どもの運動の状況について、全体をみると小学校5年生では「週に1~2回」が30.9%、中学校2年生では「ほぼ毎日」が33.1%、16-17歳では「ほとんどしない・全くしない」が32.8%とそれぞれ最も高くなっています。

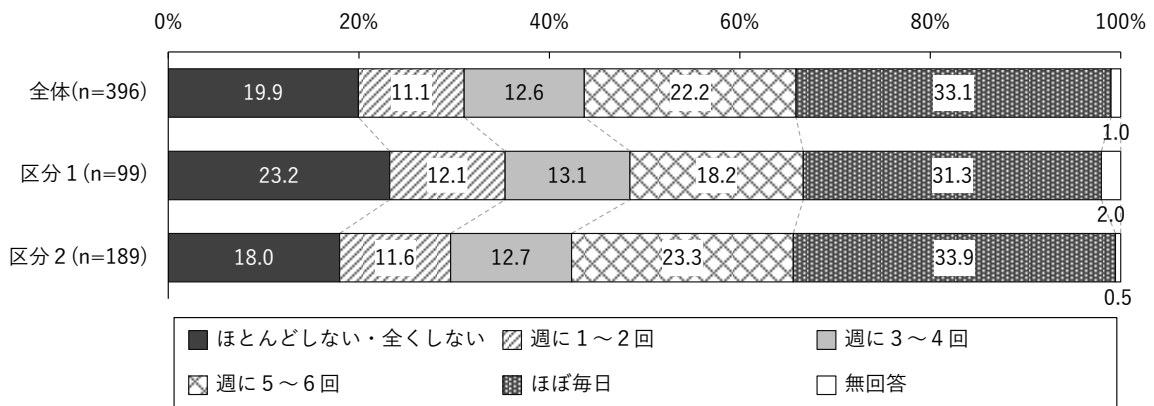
区分別にみると「ほとんどしない・全くしない」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問13 あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習い事を、1週間でどれくらいしますか。



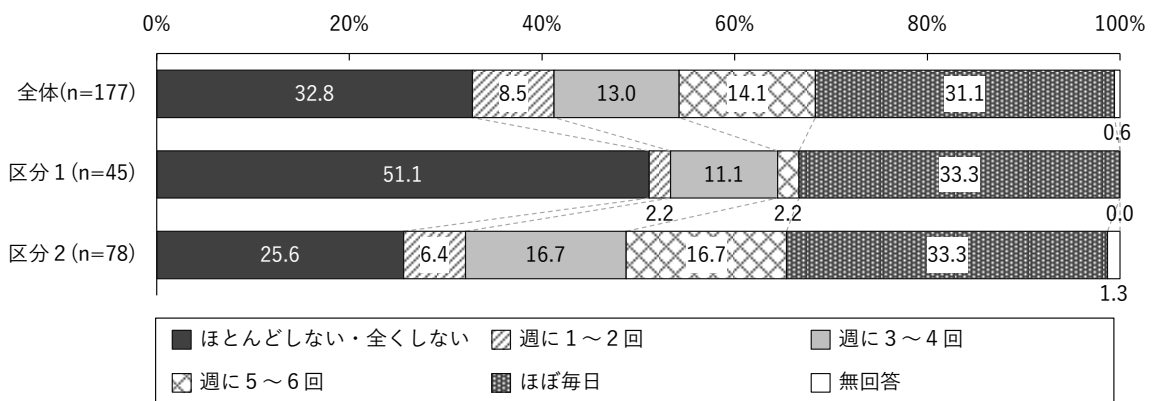
中学校2年生

問13 あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習い事を、1週間でどれくらいしますか。



16-17歳

問14 あなたは、30分以上の運動や身体を動かす習い事は、1週間でどれくらいしますか。



## (7) 会話の頻度

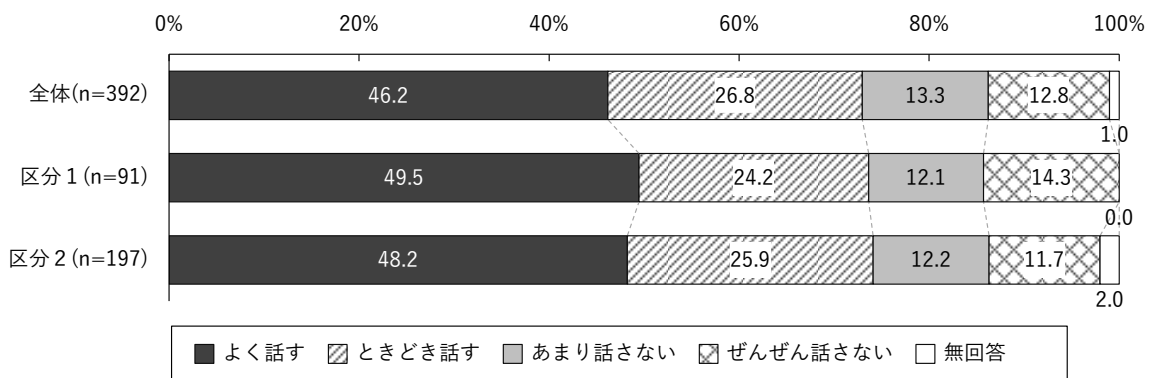
### A 家族（親）

【子ども設問】

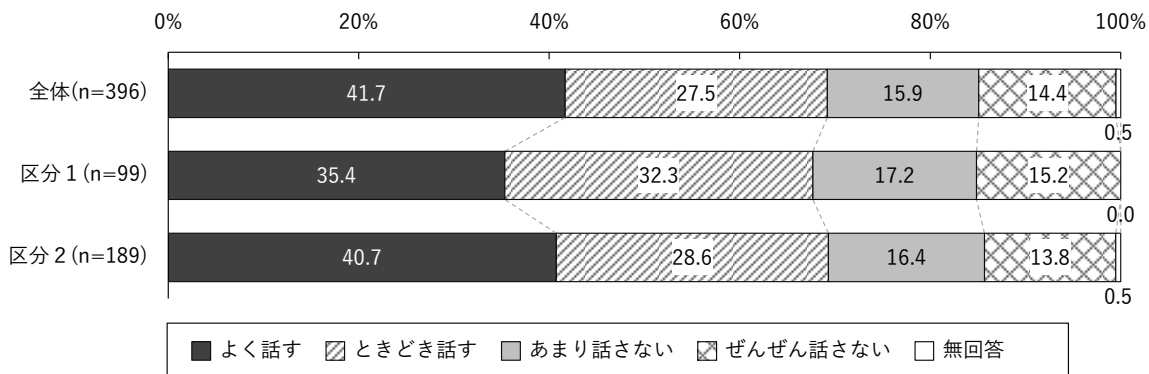
子どもの家族（親）との会話の頻度について「よく話す」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で46.2%、中学校2年生で41.7%、16-17歳で47.5%とそれぞれ最も高くなっています。

区別にみると「よく話す」と回答した割合は、中学校2年生で区分1の方が低く、小学校5年生、16-17歳では区分1の方が高くなっています。

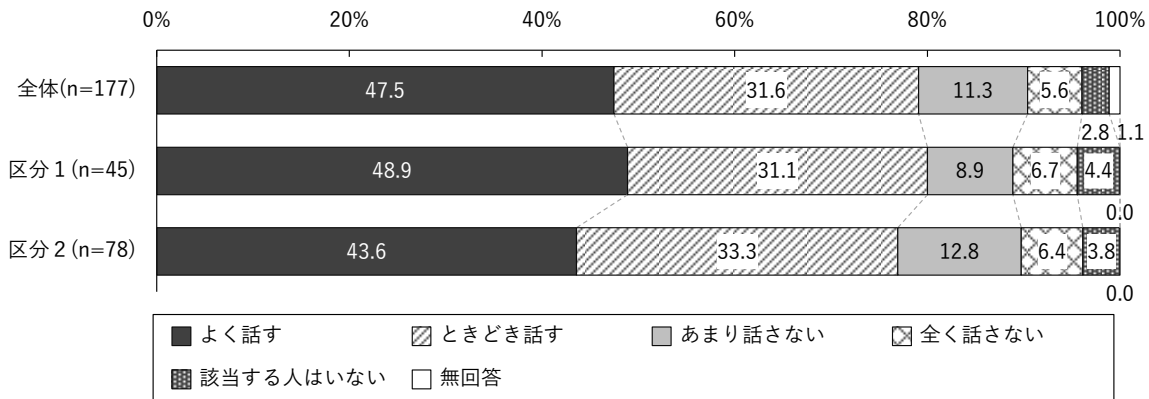
**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／A 家族（親）



**中学校2年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／A 家族（親）



**16-17歳** 問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／A 家族（親）



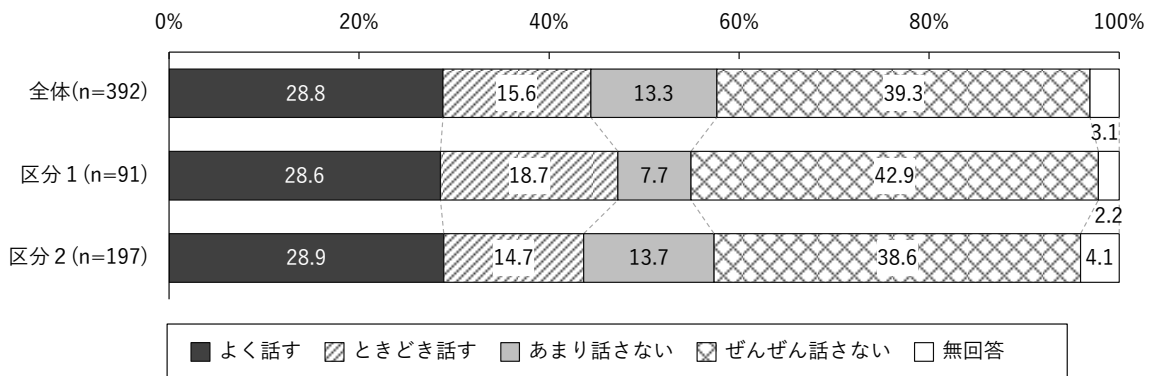
## B 家族（兄弟姉妹）

【子ども設問】

子どもの家族（兄弟姉妹）との会話の頻度について、全体をみると小学校5年生では「ぜんぜん話さない」が39.3%、中学校2年生では「ぜんぜん話さない」が36.9%、16-17歳では「よく話す」が27.7%とそれぞれ最も高くなっています。

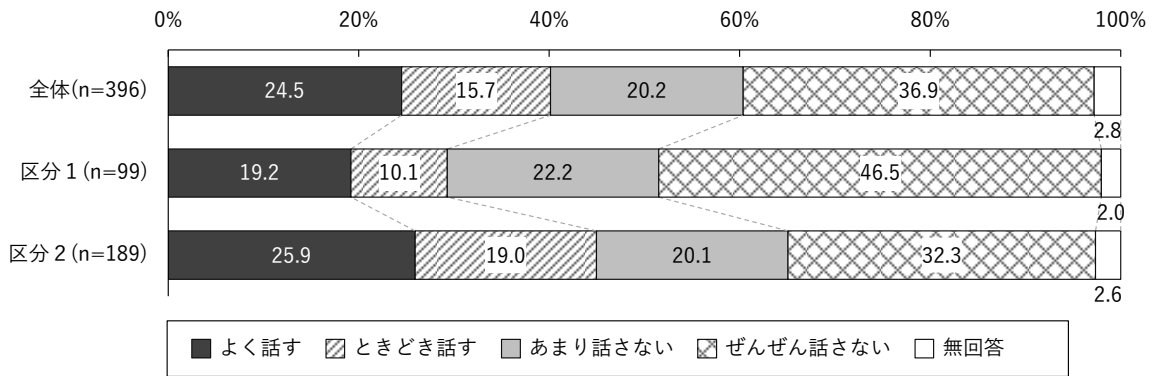
区分別にみると「よく話す」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／B 家族（きょうだい）



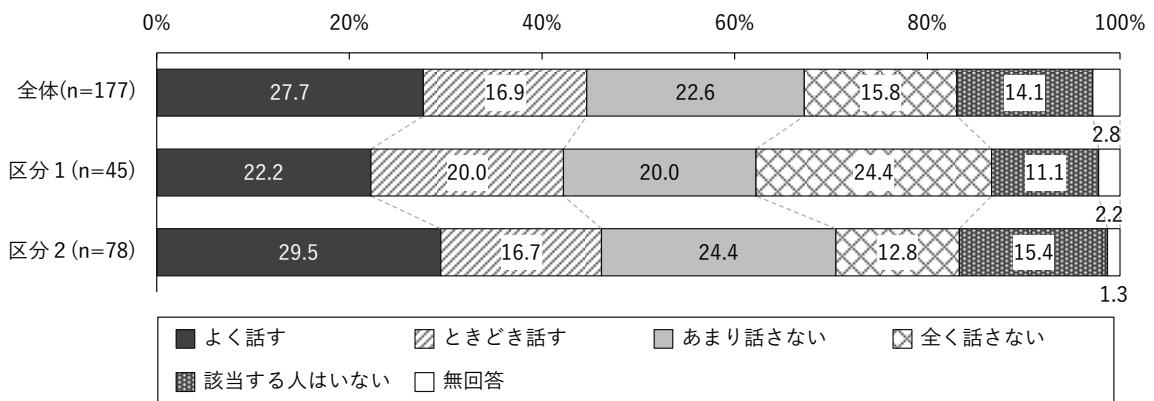
中学校2年生

問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／B 家族（兄弟姉妹）



16-17歳

問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／B 家族（兄弟姉妹）



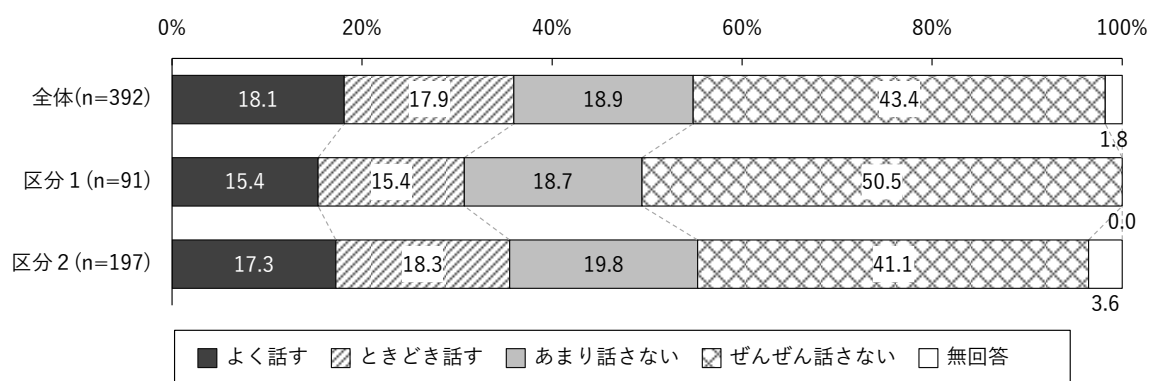
## C 家族（祖父母など）

【子ども設問】

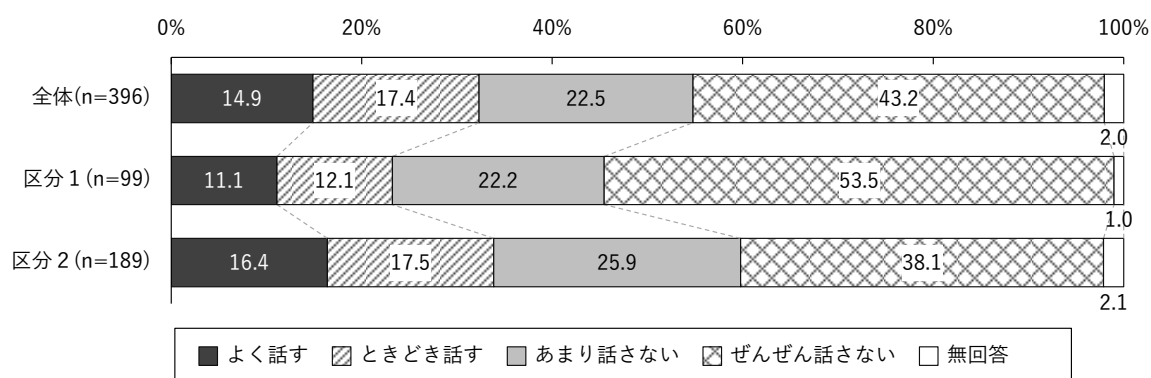
子どもの家族（祖父母など）との会話の頻度について、「ぜんぜん話さない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で43.4%、中学校2年生で43.2%、16-17歳で31.6%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「ぜんぜん話さない」と回答した割合は、小学5年、中学校2年生では区分1の方が高く、16-17歳では区分1の方が低くなっています。

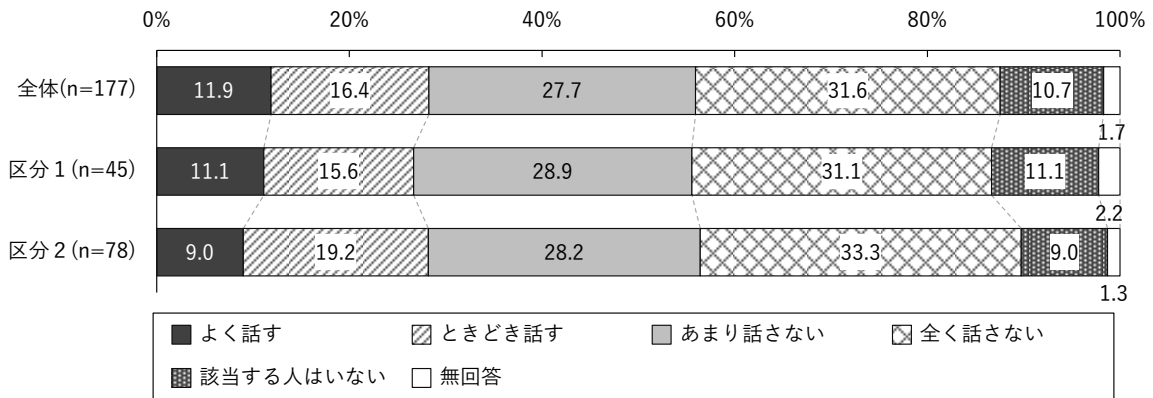
**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。  
／C 家族（おじいちゃん・おばあちゃんなど）



**中学校2年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／C 家族（祖父母など）



**16-17歳** 問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／C 家族（祖父母など）



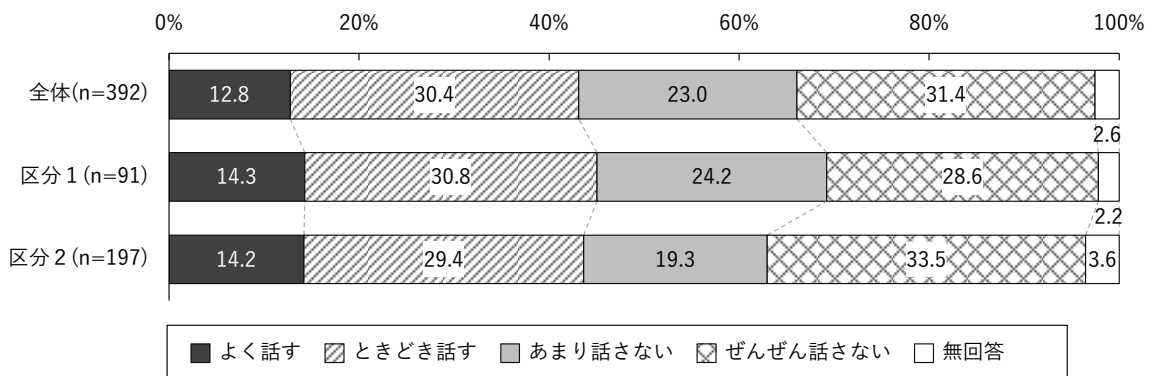
## D 学校の先生

【子ども設問】

子どもの学校の先生との会話の頻度について、全体をみると小学校5年生では「ぜんぜん話さない」が31.4%、中学校2年生では「あまり話さない」が32.8%、16-17歳では「あまり話さない」が29.9%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「ぜんぜん話さない」と回答した割合は、小学校5年生では区分1の方が低く、16-17歳では区分1の方が高くなっています。

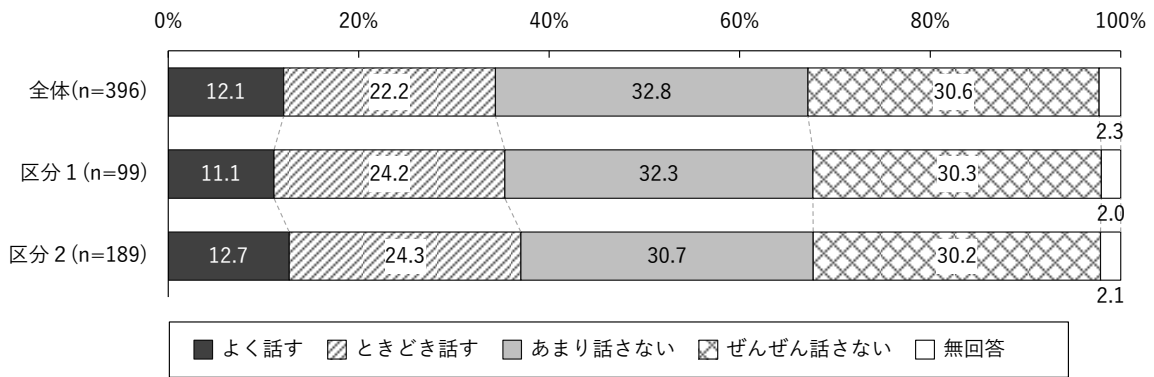
**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／D 学校の先生





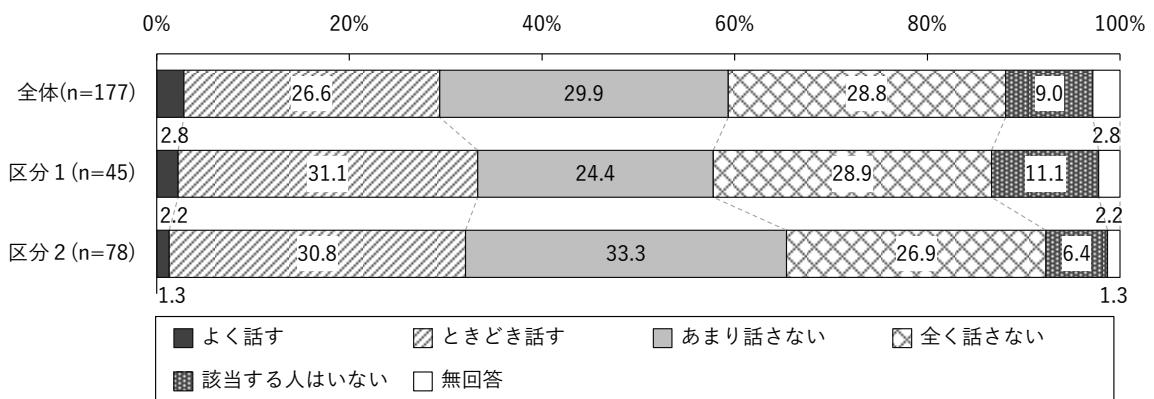
中学校2年生

問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／D 学校の先生



16-17歳

問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／D 学校の先生



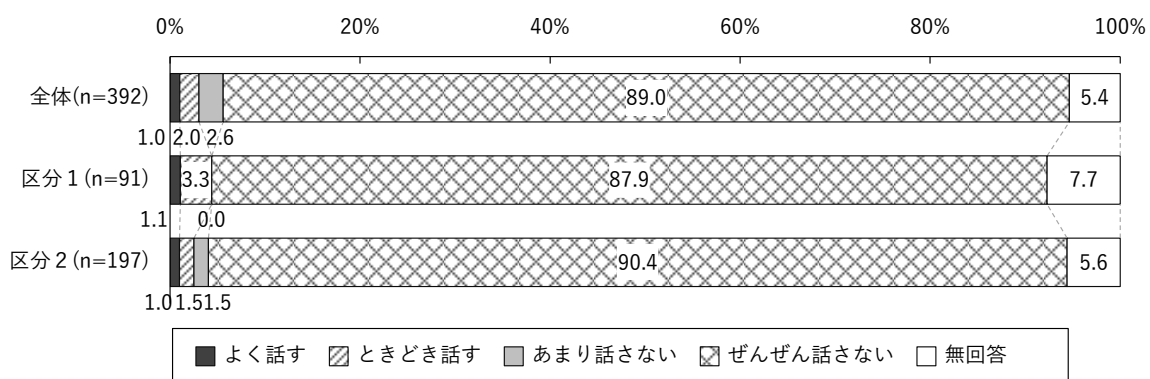
## E 児童館・公民館・放課後等デイサービスの職員

【子ども設問】

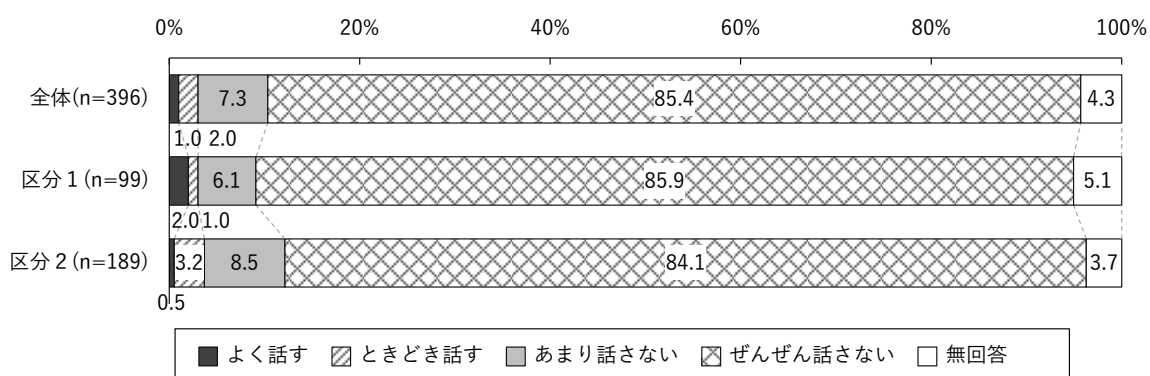
子どもの児童館・公民館・放課後等デイサービスの職員との会話の頻度について、「ぜんぜん話さない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で89.0%、中学校2年生で85.4%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「よく話す」と回答した割合は、中学校2年生では区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／E 児童館・学童保育所の先生（放課後子ども教室・放課後等デイサービスもふくむ）



**中学校2年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／E 児童館・公民館・放課後等デイサービスの職員



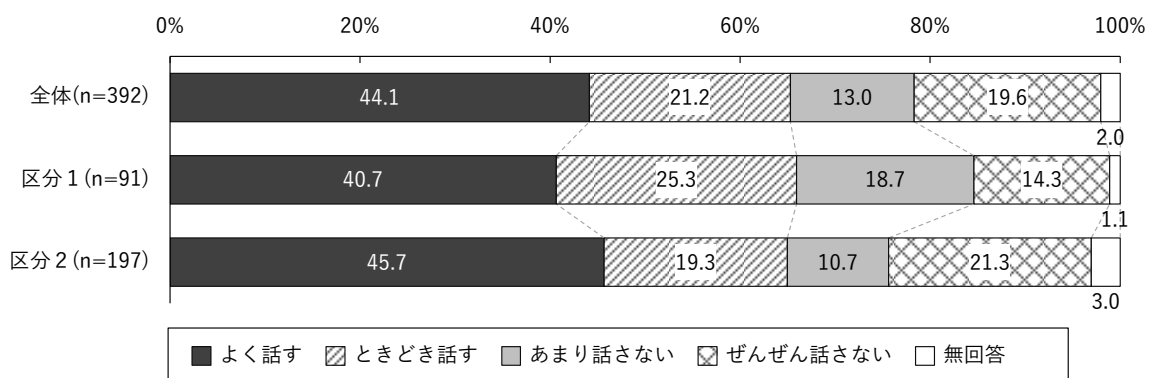
## F/E 友だち

【子ども設問】

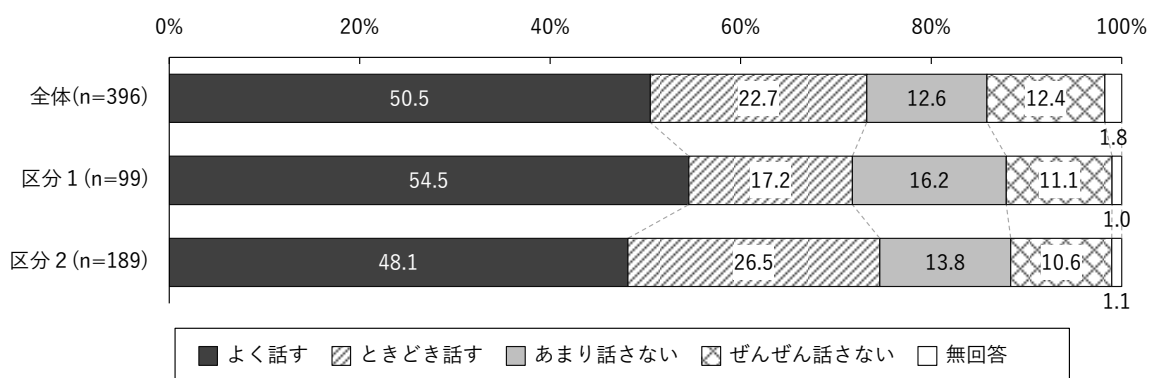
子どもの友だちとの会話の頻度について、「よく話す」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で44.1%、中学校2年生で50.5%、16-17歳で54.8%とそれぞれ最も高くなっています。

区別にみると「よく話す」と回答した割合は、中学校2年生では区分1の方が高く、小学校5年生では区分1の方が低くなっています。

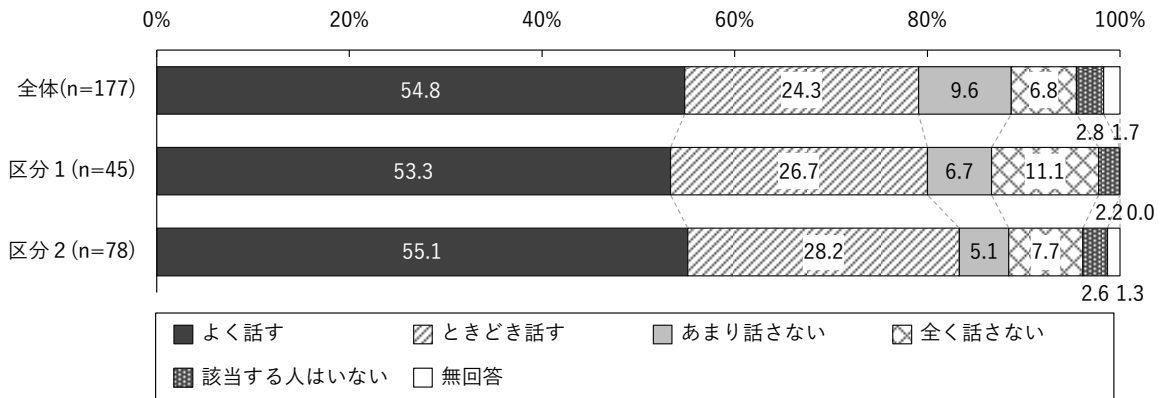
**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／F 友だち



**中学校2年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／F 友だち



**16-17歳** 問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／E 友だち



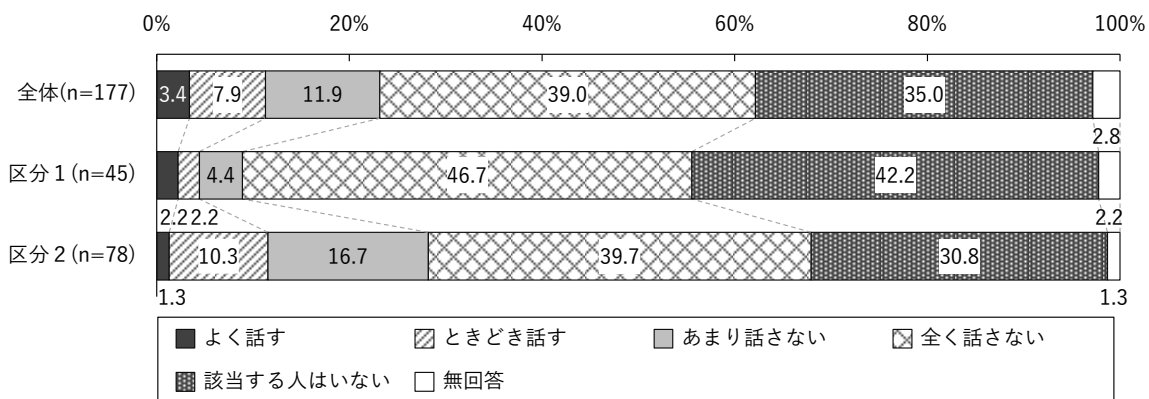
**F 家族・学校の先生以外の大人**

【子ども設問】

子どもの家族・学校の先生以外の大人との会話の頻度について16-17歳の全体をみると、「全く話さない」が39.0%、「該当する人はいない」が35.0%、「あまり話さない」が11.9%となっています。

区分別にみると「全く話さない」、「該当する人はいない」とともに区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／F 家族・学校の先生以外の大人



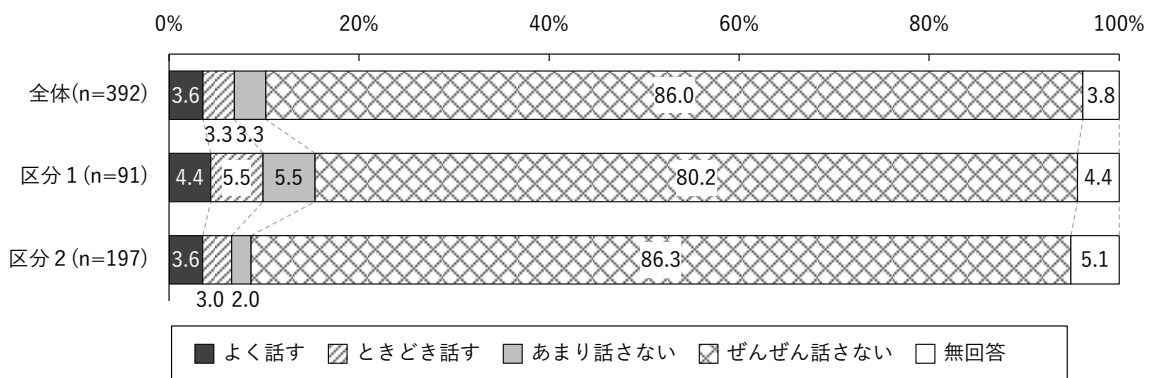
## G SNS (TwitterやLINEなど) やインターネットのサイトで知り合った人

【子ども設問】

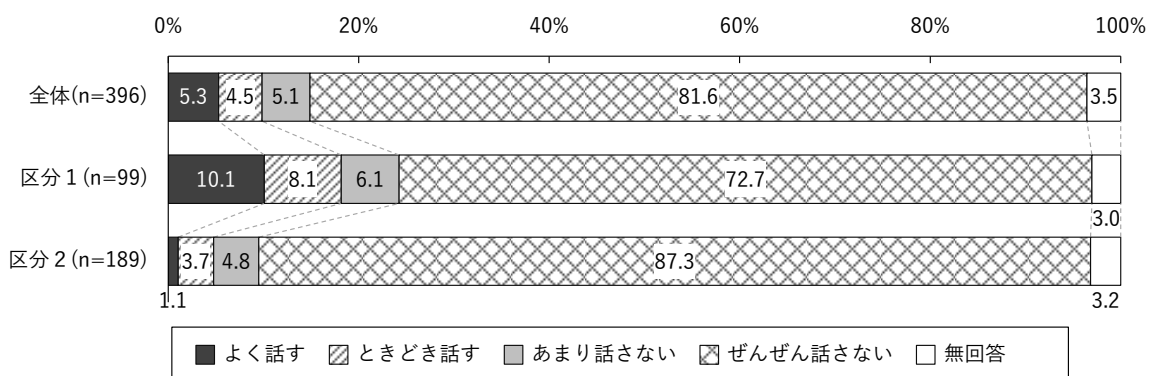
子どものSNS (TwitterやLINEなど) やインターネットのサイトで知り合った人との会話の頻度について、全体をみると小学校5年生では「ぜんぜん話さない」が86.0%、中学校2年生では「ぜんぜん話さない」が81.6%、16-17歳では「該当する人はいない」が53.7%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「よく話す」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

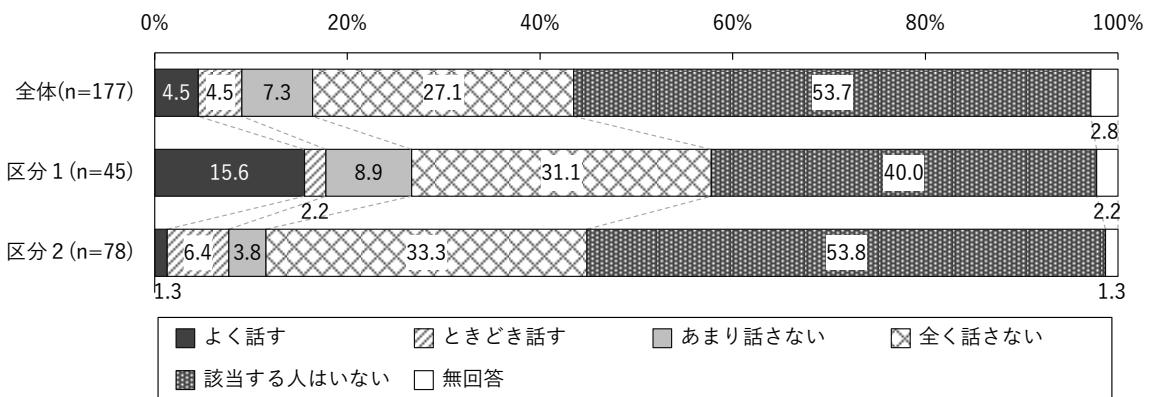
**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。  
 /G SNS (TwitterやLINEなど) やインターネットのサイトで知り合った人



**中学校2年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。  
 /G SNS (TwitterやLINEなど) やインターネットのサイトで知り合った人



**16-17歳** 問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。  
 /G SNSやインターネットのサイトで知り合った人



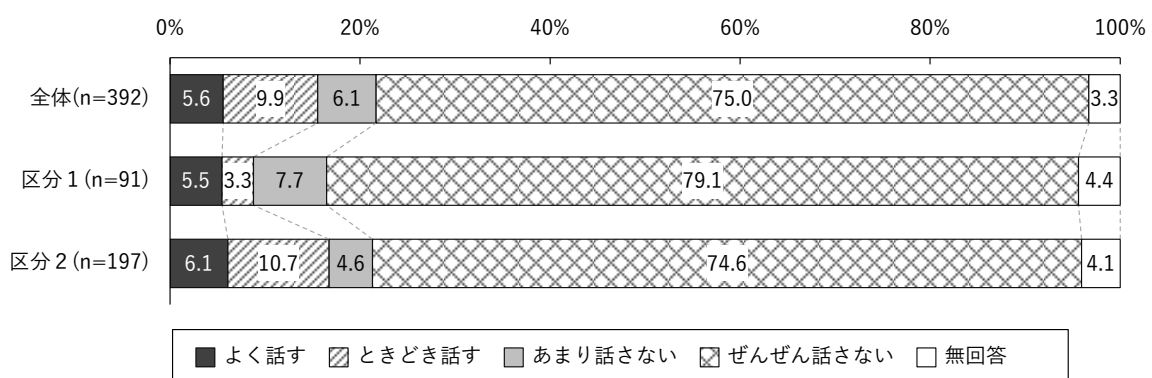
### H その他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など）

【子ども設問】

子どものその他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など）との会話の頻度について、「ぜんぜん話さない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で75.0%、中学校2年生で77.8%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「よく話す」、「ときどき話す」ともに小学校5年生では区分1の方が低くなっています。

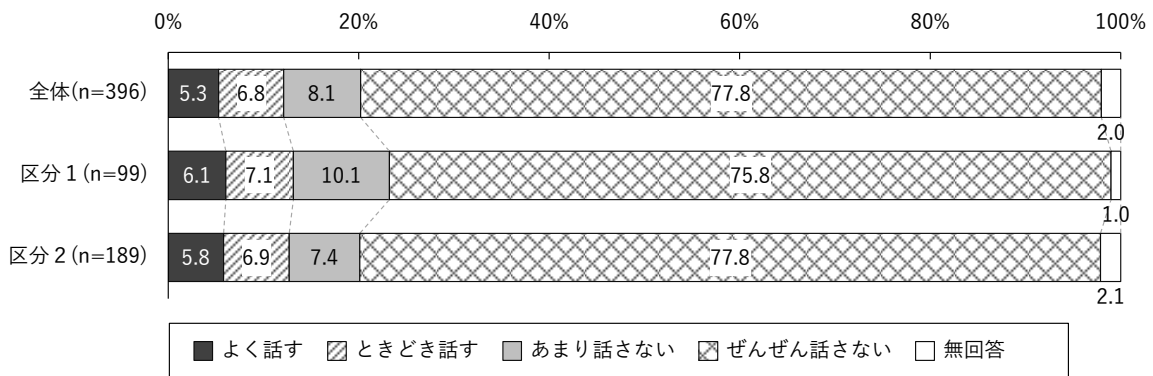
**小学校5年生** 問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。  
 /H その他の大人(地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など)



中学校2年生

問15 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。

／H その他の大人(地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など)



## H その他

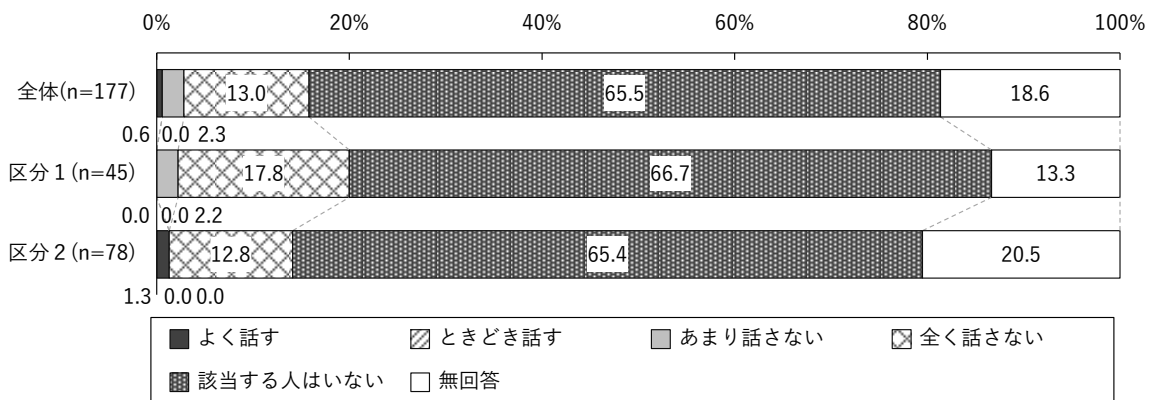
【子ども設問】

子どものその他の人との会話の頻度について16-17歳の全体をみると「該当する人はいない」が65.5%となっています。

区分別にみると「よく話す」、「ときどき話す」ともに区分1では回答がありませんでした。

16-17歳

問16 あなたは、困っていることや悩んでいること、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。／H その他



## (8) 子どもとのかかわり

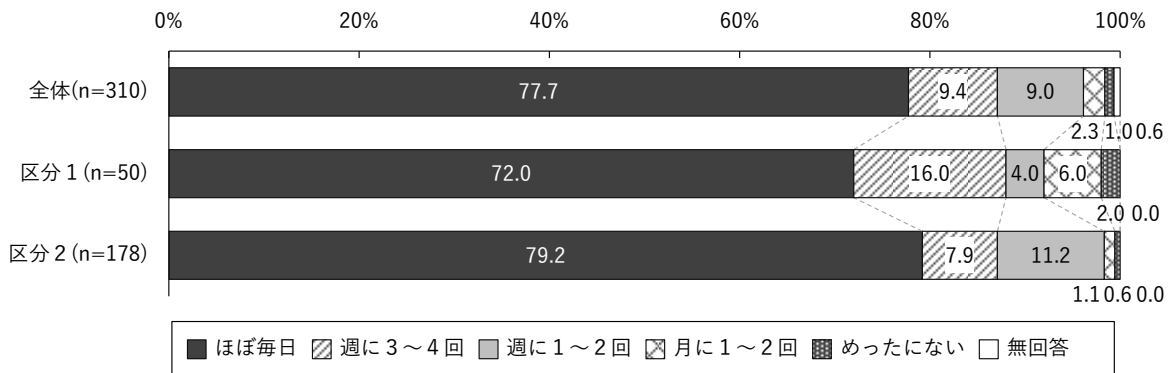
### A お子さんの勉強をみる

【保護者設問】

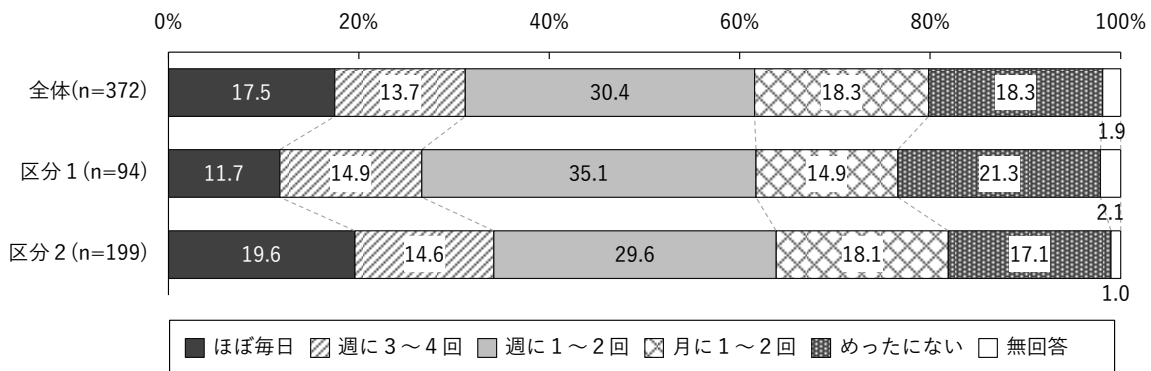
お子さんの勉強をみることについて、全体をみると小学校1年生は「ほぼ毎日」が77.7%、小学校5年生は「週に1～2回」が30.4%、中学校2年生は「めったにない」が62.0%と最も高くなっています。

区分別にみるといずれの学年でも「ほぼ毎日」は区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問33 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
／A お子さんの勉強をみる



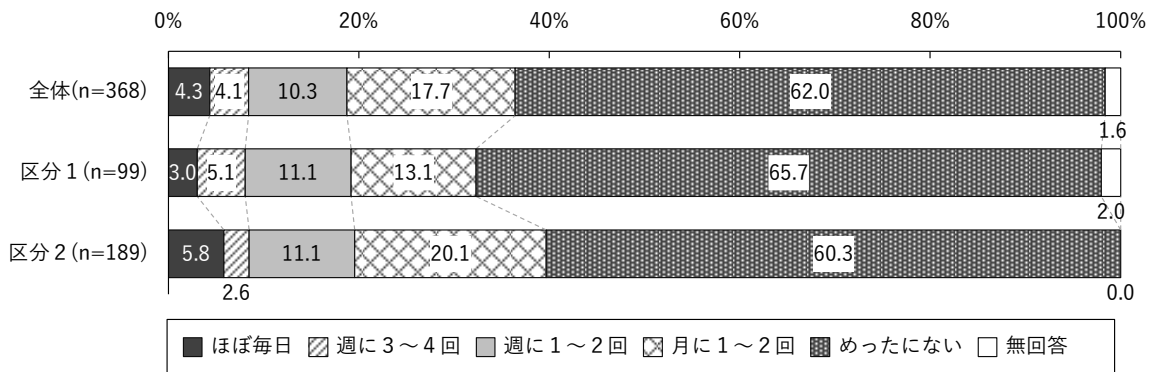
**小学校5年生** 問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
／A お子さんの勉強をみる





中学校2年生 問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

／A お子さんの勉強をみる



### B お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

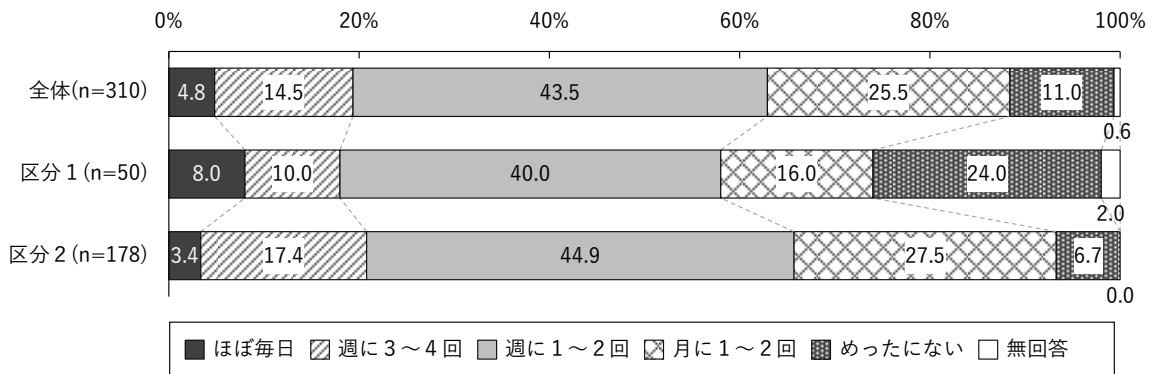
【保護者設問】

お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）ことについて、全体をみると小学校1年生は「週に1~2回」が43.5%、小学校5年生は「めったにない」が38.7%、中学校2年生は「めったにない」が64.9%と高くなっています。

区分別にみると「めったにない」はいずれの学年も区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問33 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

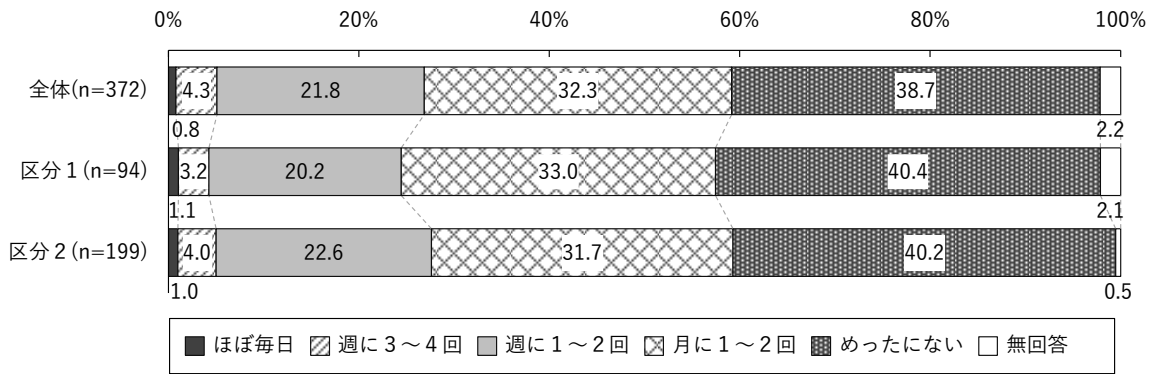
／B お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）



小学校5年生

問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

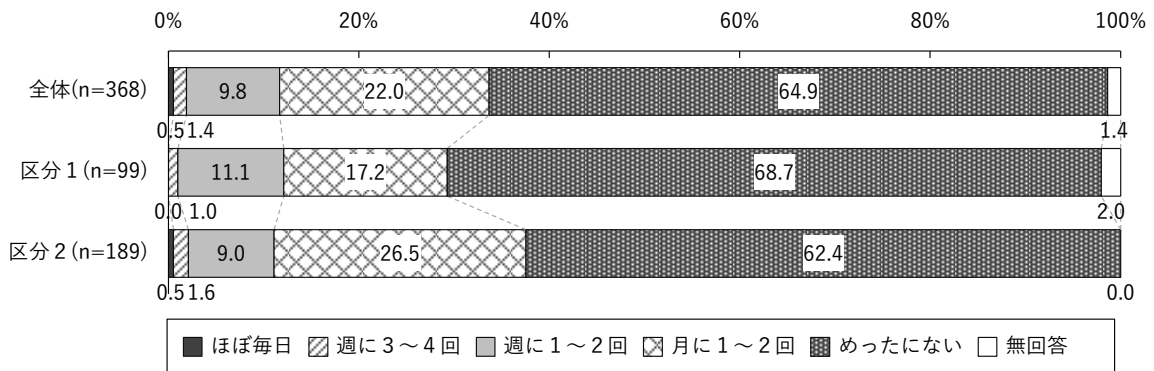
／B お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）



中学校2年生

問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

／B お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）



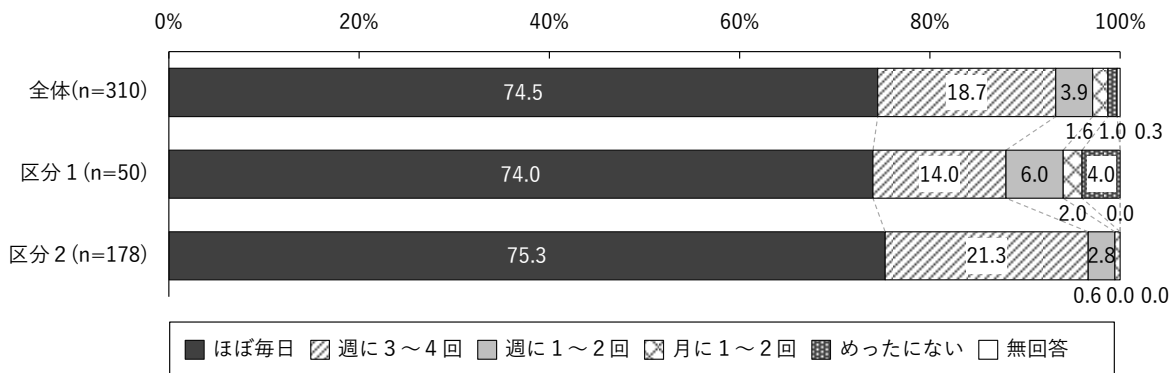
## E/A お子さんと学校生活の話をする

【保護者設問】

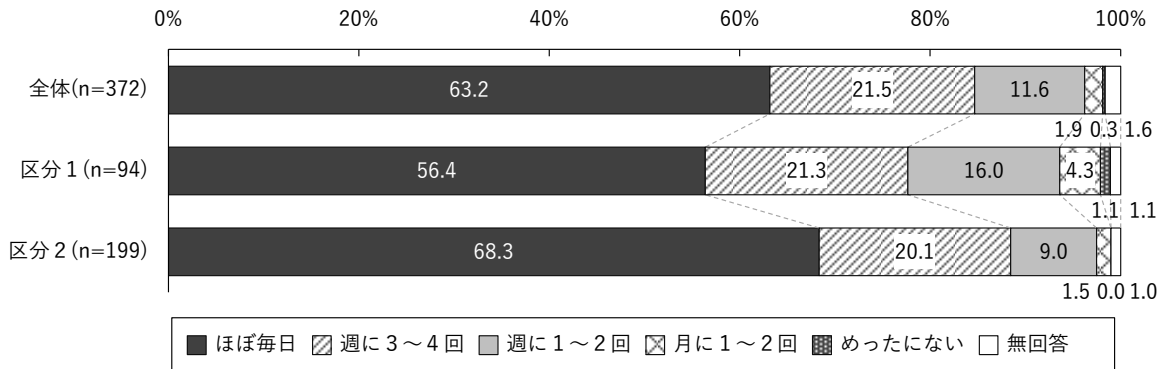
お子さんと学校生活の話をするについて、全体をみるといずれの学年も「ほぼ毎日」が最も高く、小学校1年生は74.5%、小学校5年生は63.2%、中学校2年生は59.0%、16-17歳は46.2%となっています。

区分別にみると「ほぼ毎日」は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問33 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
／E お子さんと学校生活の話をする



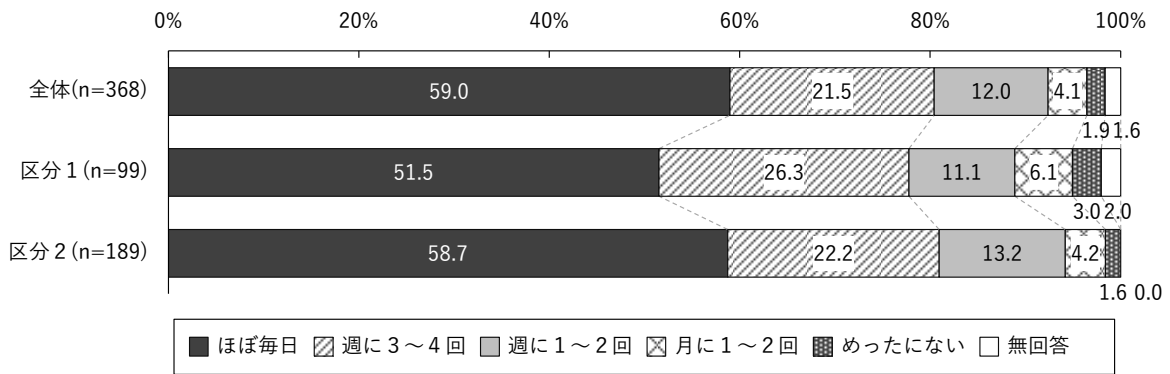
**小学校5年生** 問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
／E お子さんと学校生活の話をする



中学校2年生

問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

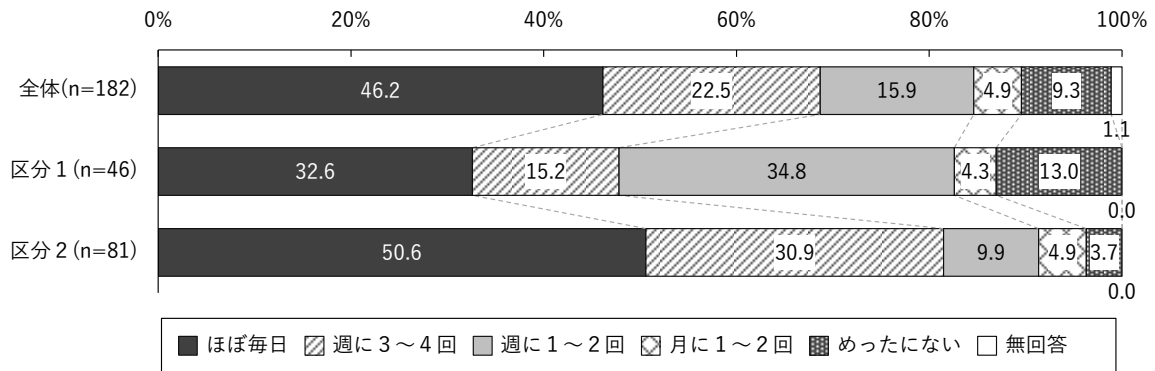
／E お子さんと学校生活の話をする



16-17歳

問23 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。／

A お子さんと学校生活の話をする



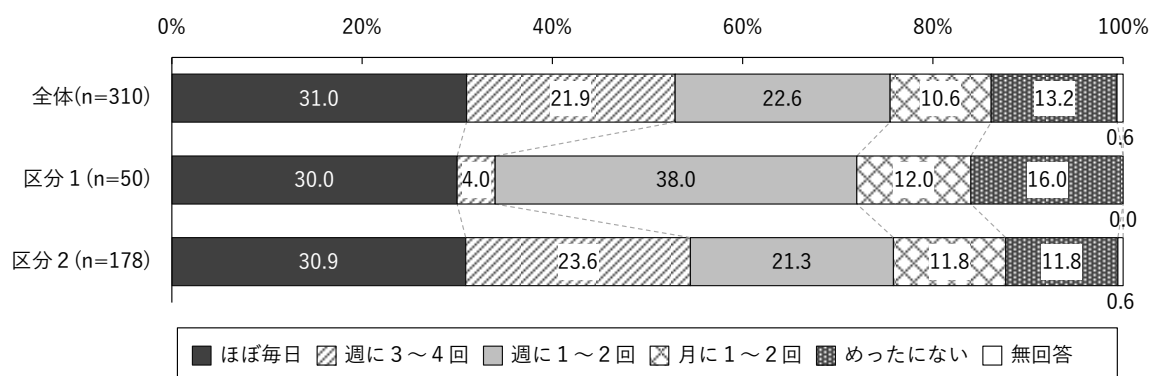
## H/D お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

【保護者設問】

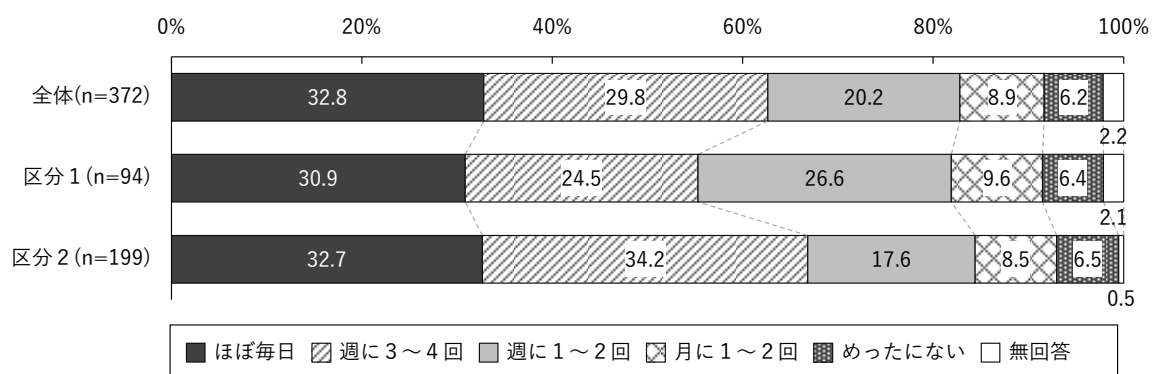
お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をすることについて、全体をみるといずれの学年も「ほぼ毎日」が最も高く、小学校1年生は31.0%、小学校5年生は32.8%、中学校2年生は33.7%、16-17歳は29.1%となっています。

区別にみるといずれの学年も「ほぼ毎日」は区分1の方が低く、特に中学校2年生、16-17歳ではやや差が大きくなっています。

**小学校1年生** 問33 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
／H お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする



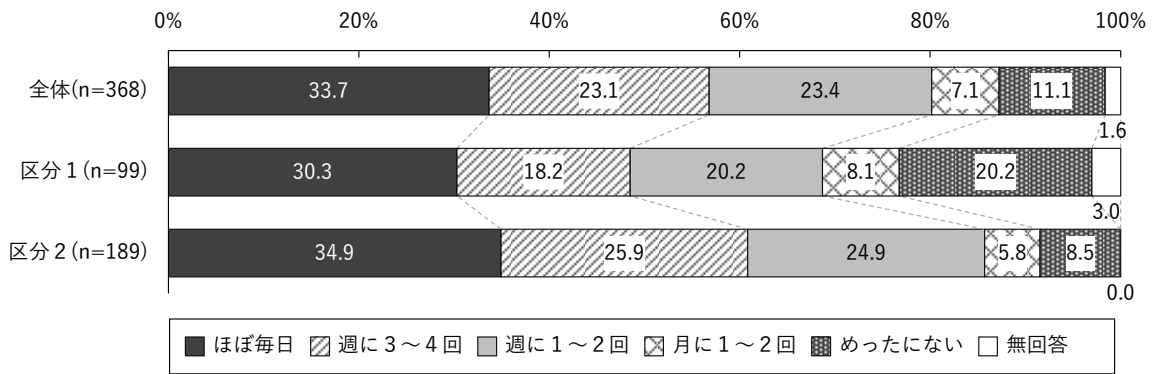
**小学校5年生** 問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
／H お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする



中学校2年生

問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

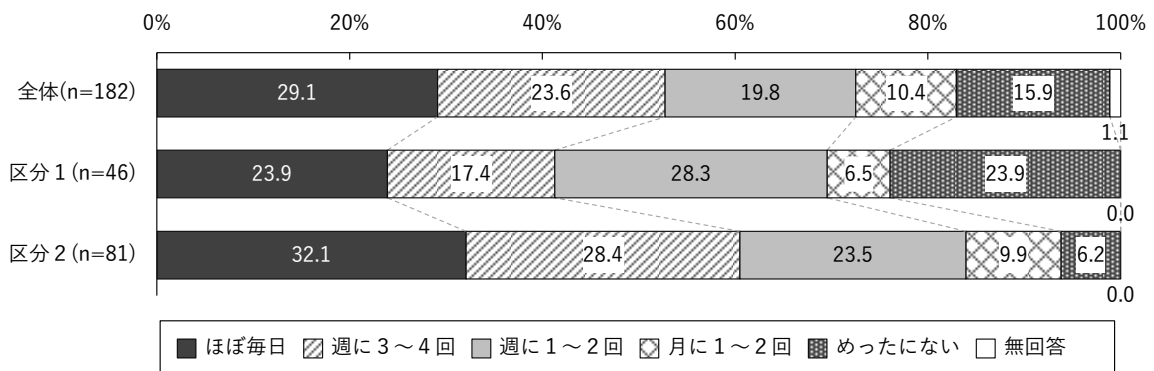
／H お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする



16-17歳

問23 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

／D お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする



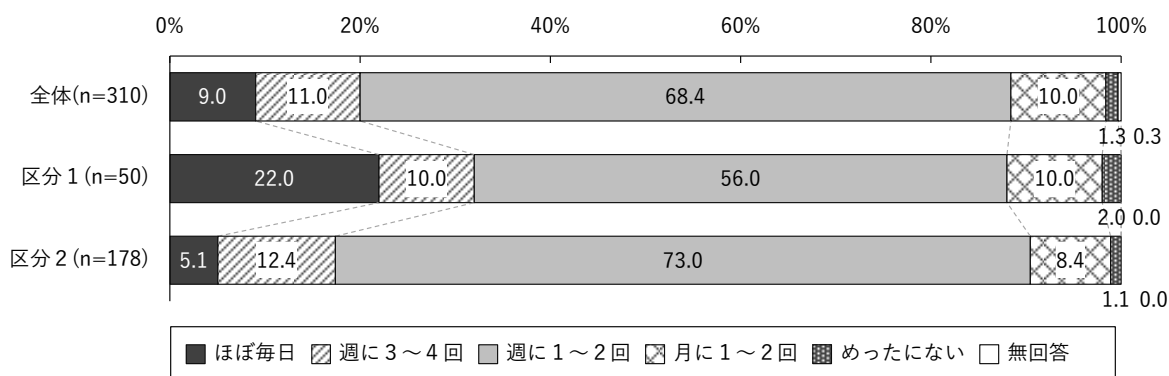
## J/F お子さんと一緒に外出をする

【保護者設問】

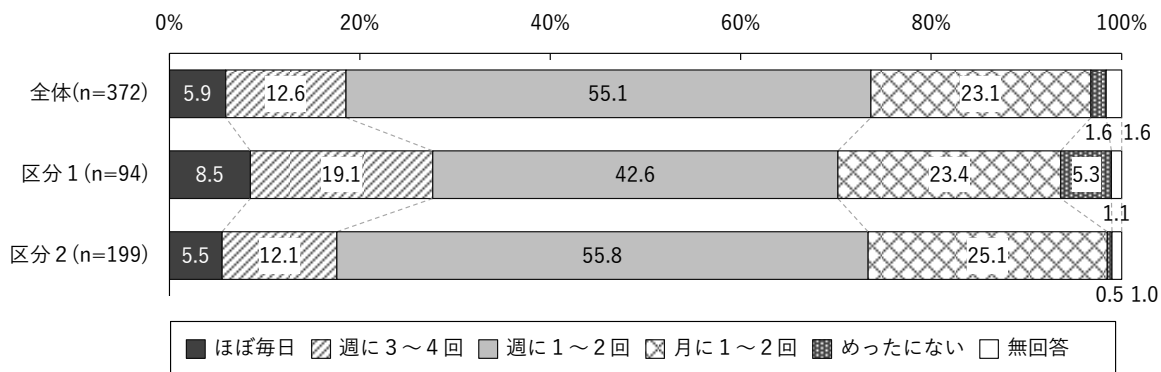
お子さんと一緒に外出をすることについて、全体をみると小学校1年生は「週に1～2回」が68.4%、小学校5年生は「週に1～2回」が55.1%、中学校2年生は「週に1～2回」が40.5%、16-17歳は「月に1～2回」が41.2%と最も高くなっています。

区分別にみると小学校1年生、小学校5年生、中学校2年生で「ほぼ毎日」は区分1の方が高くなっています。一方、16-17歳では「めったにない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問33 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
 /J お子さんと一緒に外出をする



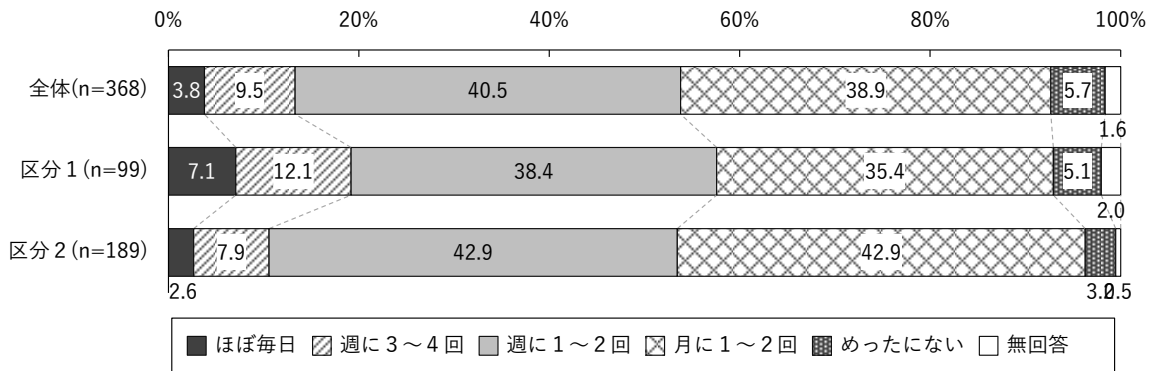
**小学校5年生** 問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
 /J お子さんと一緒に外出をする



中学校2年生

問21 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

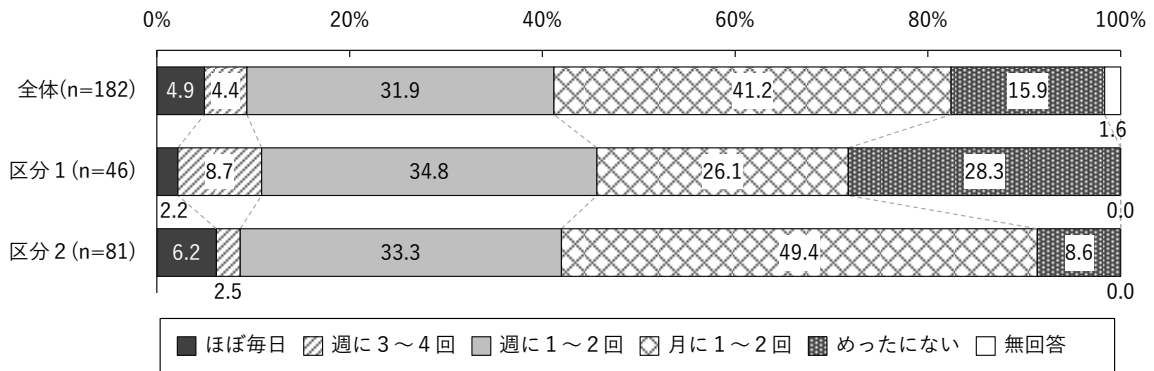
／J お子さんと一緒に外出をする



16-17歳

問23 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

／F お子さんと一緒に外出をする





(9) 子ども本人の支援サービス利用意向

A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所

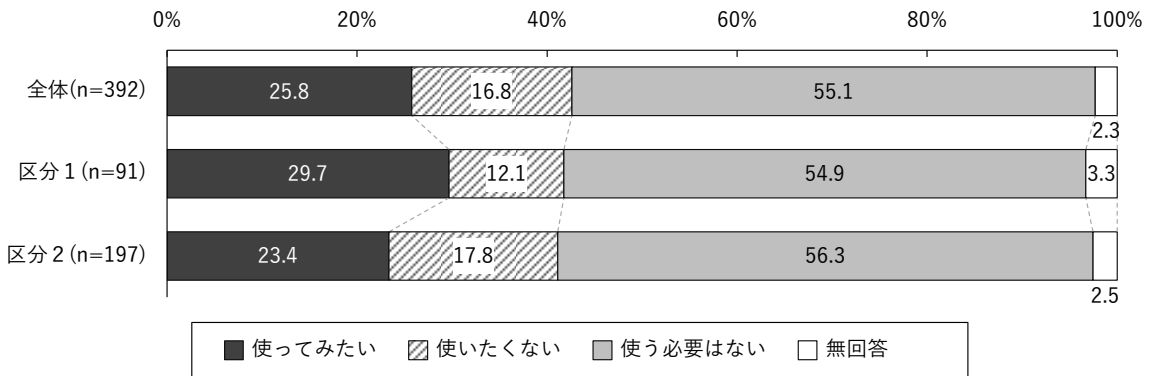
【子ども設問】

子どもの(家以外で)平日の放課後に夜までいることができる場所の利用意向について、全体をみると小学校5年生では「使う必要はない」が55.1%、中学校2年生では「使う必要はない」が49.0%、16-17歳では「使ってみたい」が47.5%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

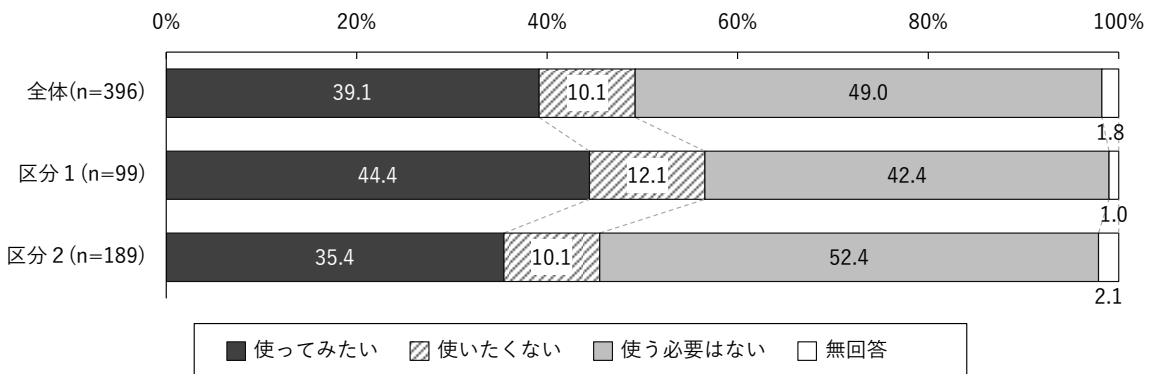
小学校5年生 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

／A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所

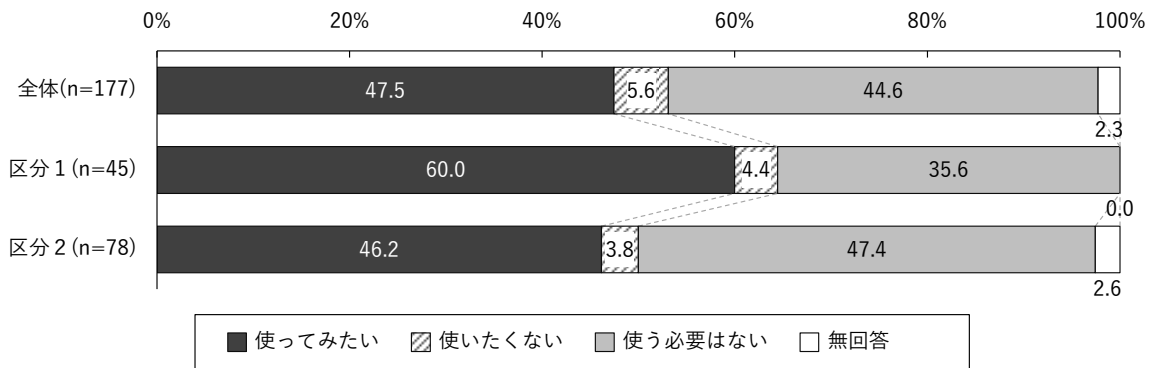


中学校2年生 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

／A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所



**16-17歳** 問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。  
 /A (家以外で) 平日の放課後に夜まで安心して過ごすことができる場所



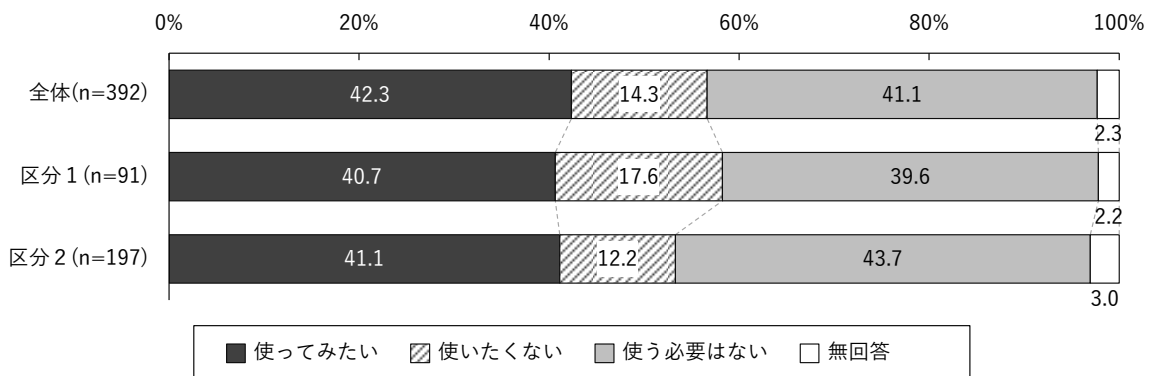
**B (家以外で) 休日にいることができる場所**

【子ども設問】

子どもの(家以外で)休日にいることができる場所の利用意向について「使ってみたい」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で42.3%、中学校2年生で47.5%、16-17歳で52.5%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、中学校2年生、16-17歳で区分1の方が高くなっています。

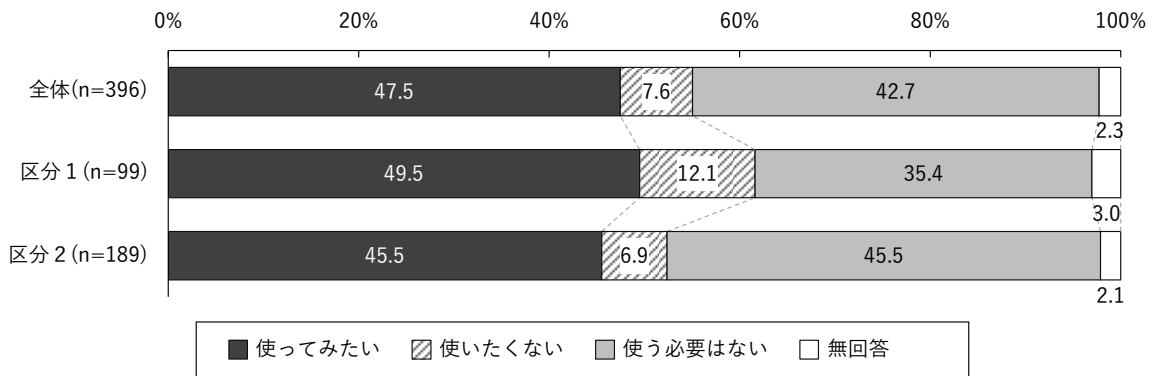
**小学校5年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
 /B (家以外で) 休日にいることができる場所



中学校2年生

問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

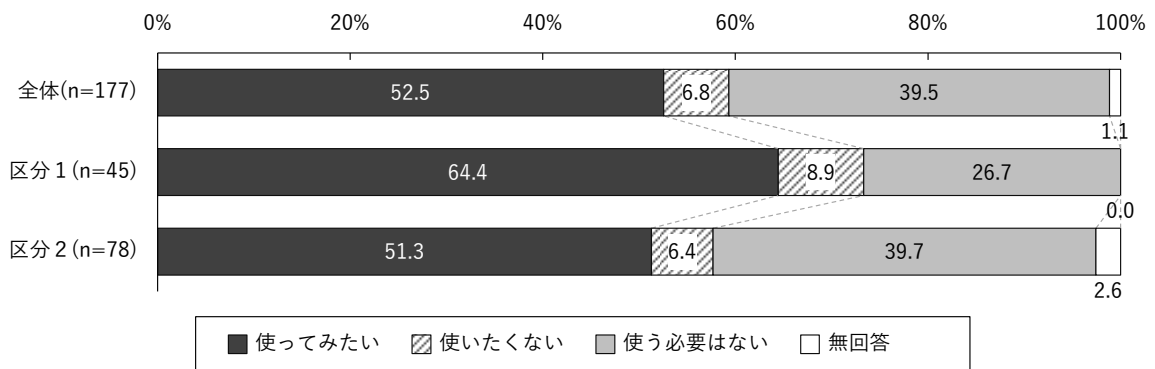
／B (家以外で) 休日にいることができる場所



16-17歳

問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。

／B (家以外で) 休日にいることができる場所



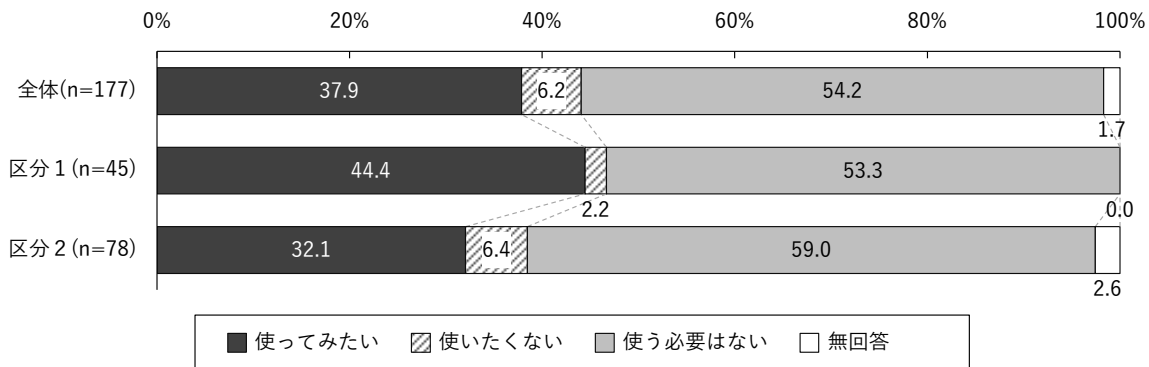
## C 地域の公共施設等における低額・無料の朝食サービス

【子ども設問】

子どもの地域の公共施設等における低額・無料の朝食サービスの利用意向について16-17歳全体をみると「使う必要はない」が54.2%、「使ってみたい」が37.9%、「使いたくない」が6.2%となっています。

区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。  
／C 地域の公共施設等における低額・無料の朝食サービス



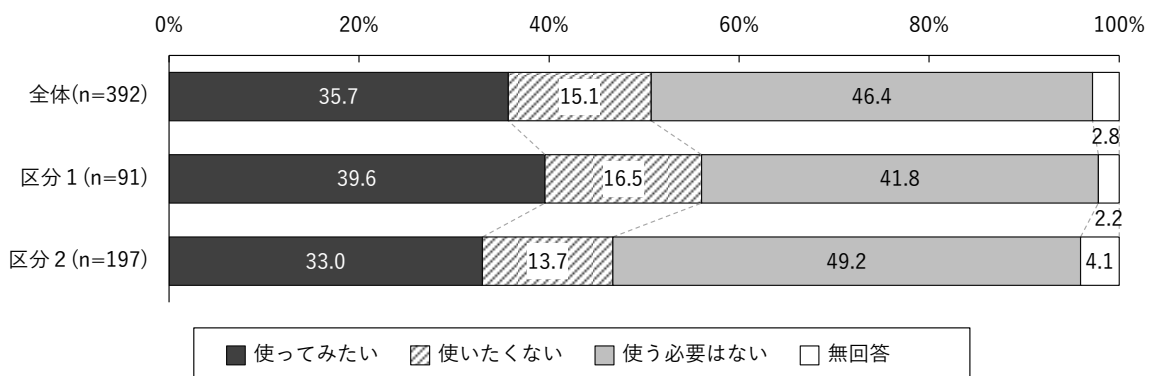
## C/D 家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所

【子ども設問】

子どもの家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所の利用意向について「使う必要はない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で46.4%、中学校2年生で56.6%、16-17歳で57.1%とそれぞれ最も高くなっています。

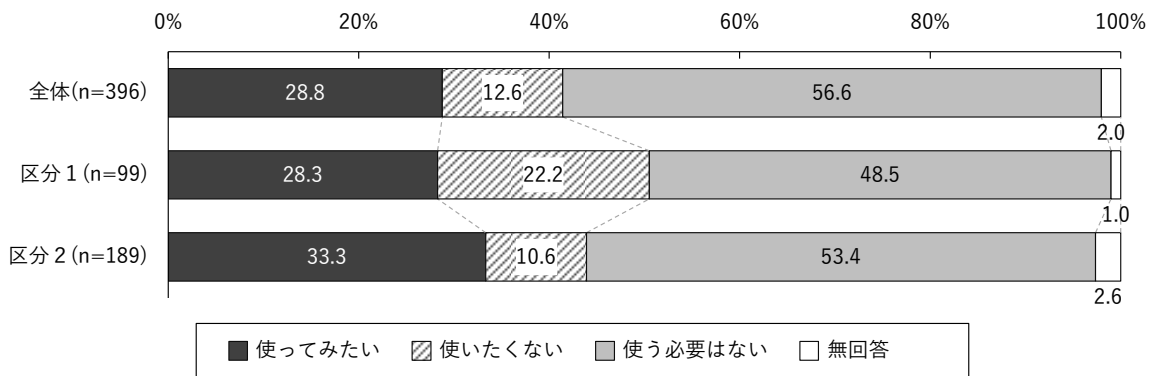
区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、小学校5年生、16-17歳で区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
／C 家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所



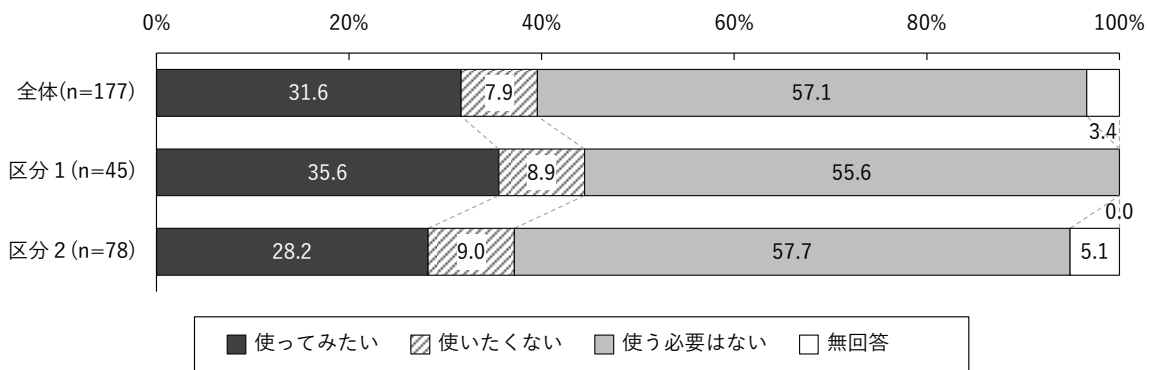
中学校2年生

問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
／C 家の人がいないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所



16-17歳

問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。  
／D (家以外で) 家の人がいないとき、低額・無料で夕ごはんをほかの人と食べることができる場所



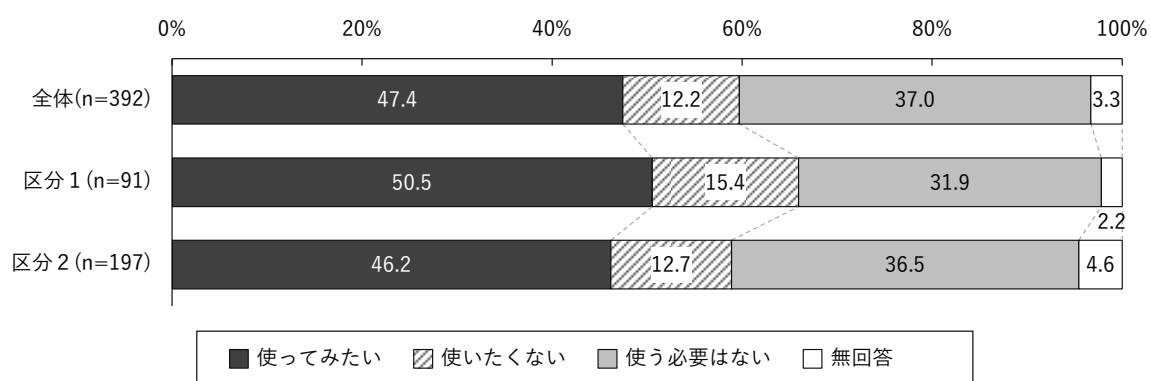
## D/E 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所

【子ども設問】

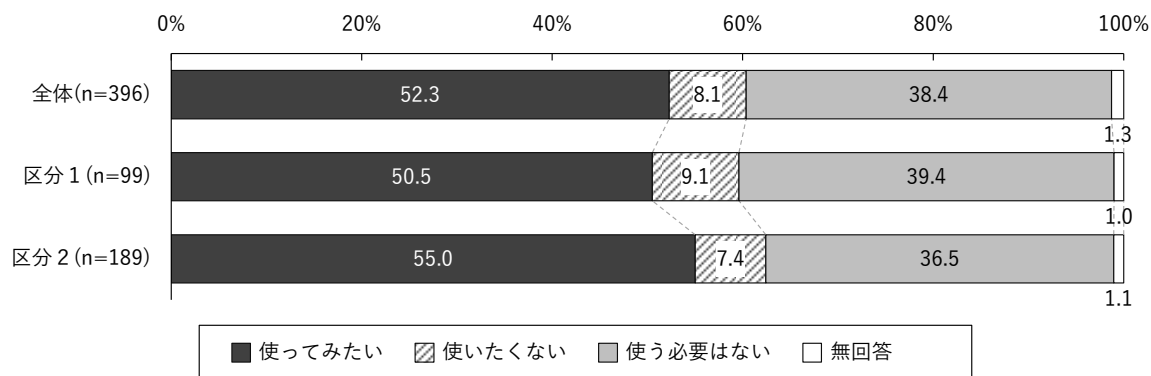
子どもの家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所の利用意向について「使ってみたい」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で47.4%、中学校2年生で52.3%、16-17歳で62.7%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、小学校5年生では区分1の方が高く、中学校2年生、16-17歳では区分1の方が低くなっています。

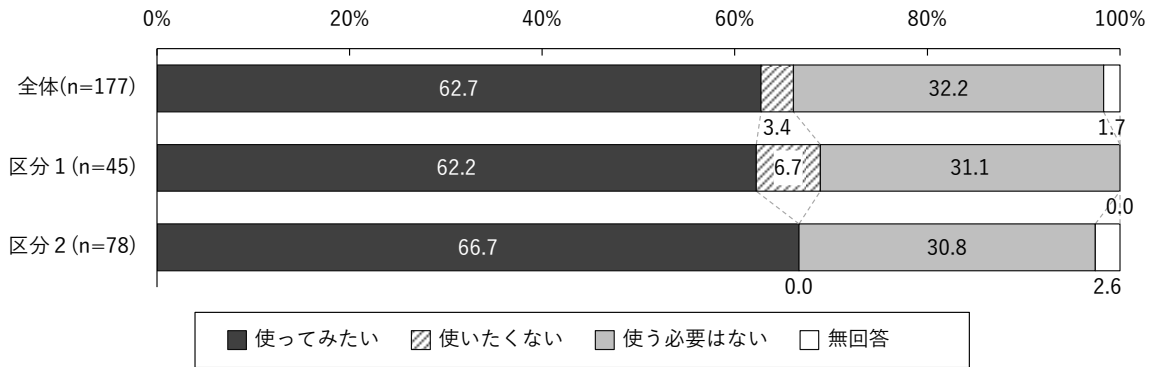
**小学校5年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
 /D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所



**中学校2年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
 /D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所



**16-17歳** 問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。  
 /E 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所



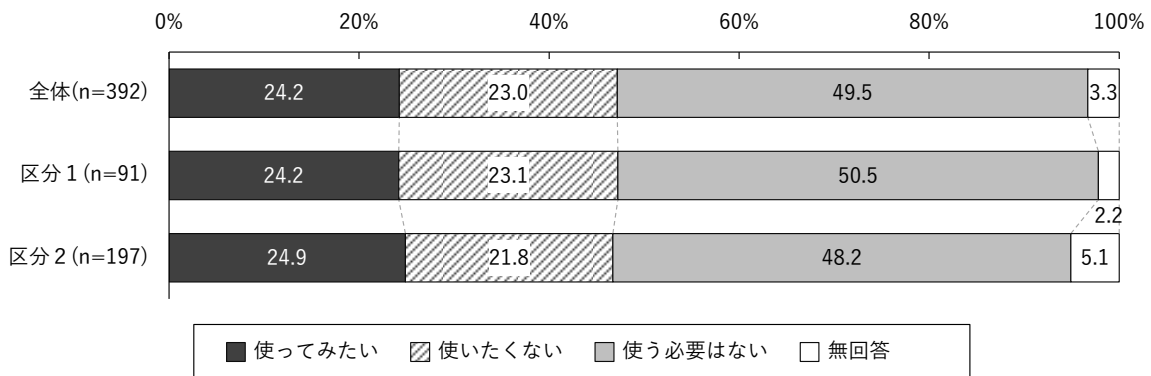
**E / F 地域の人、勉強を無料で教えてくれる場所**

【子ども設問】

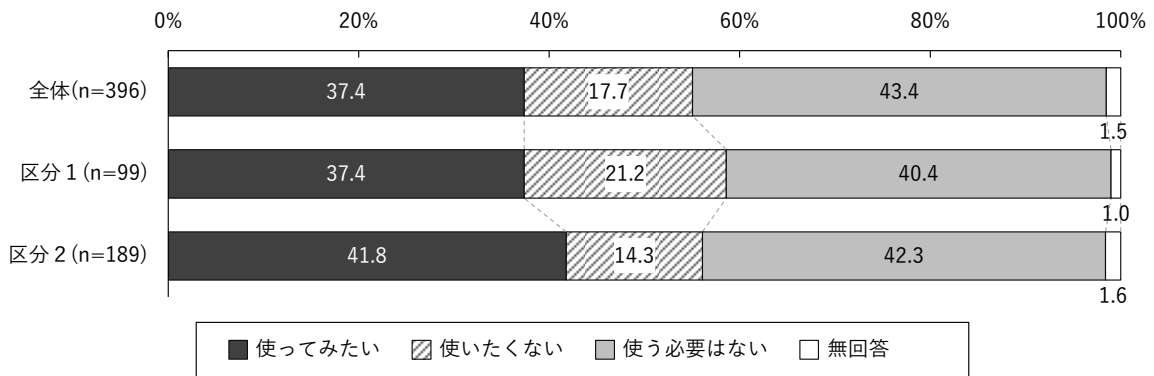
子どもの地域の人、勉強を無料で教えてくれる場所の利用意向について「使う必要はない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で49.5%、中学校2年生で43.4%、16-17歳で49.2%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、中学校2年生で区分1の方が低くなっています。

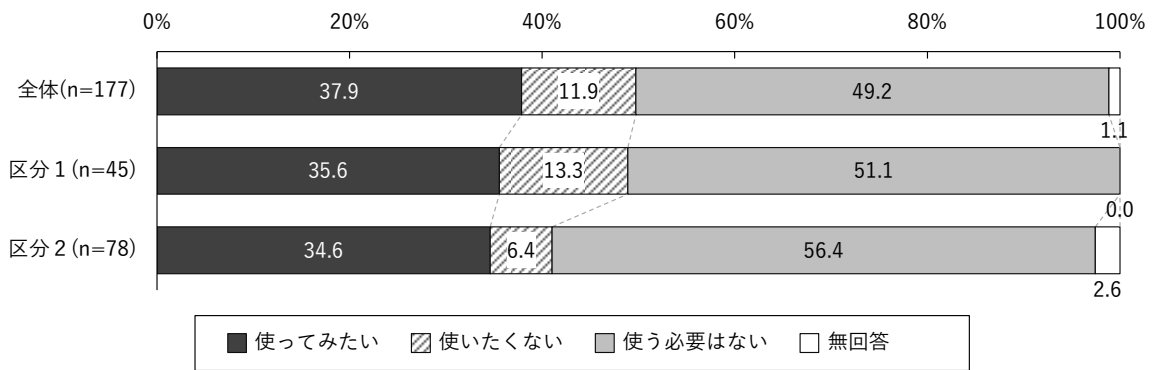
**小学校5年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
 /E 地域の人、勉強を無料で教えてくれる場所



**中学校2年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
 /E 地域の人が、勉強を無料で教えてくれる場所



**16-17歳** 問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。  
 /F 地域の人が、勉強を無料で教えてくれる場所





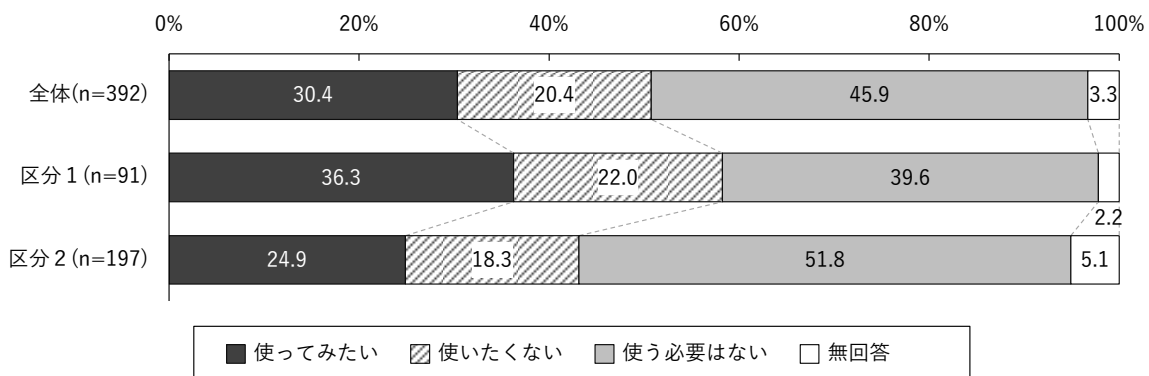
## F/G (学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど、何でも相談できる場所

【子ども設問】

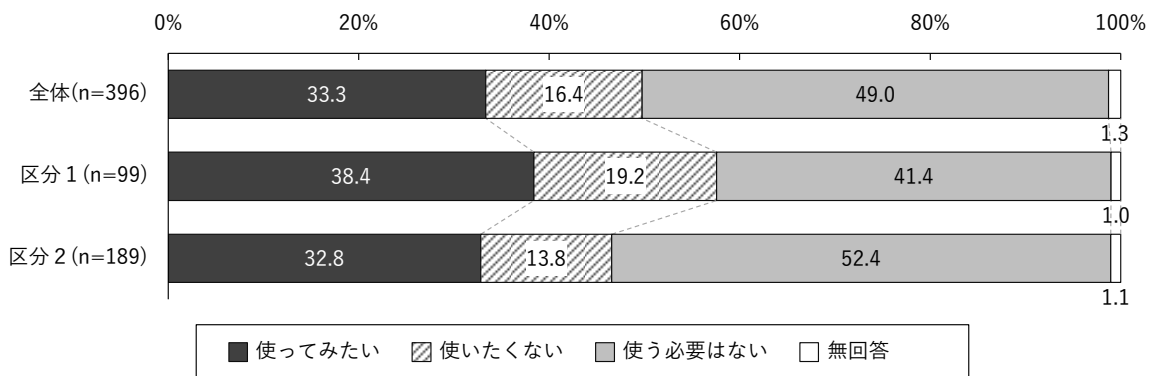
子どもの(学校以外で)勉強、進学、家族のことなど、何でも相談できる場所の利用意向について「使う必要はない」と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で45.9%、中学校2年生で49.0%、16-17歳で45.8%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

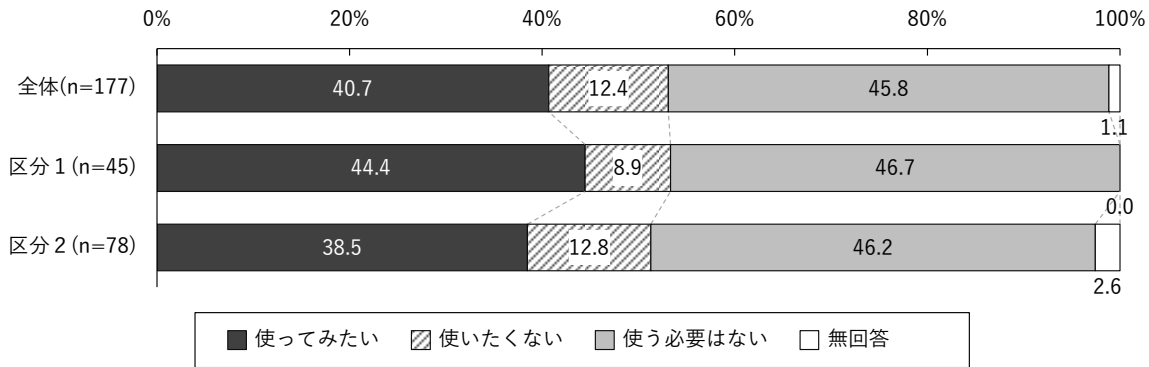
**小学校5年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
 /F (学校以外で) 何でも相談できる場所



**中学校2年生** 問30 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。  
 /F (学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど、何でも相談できる場所



**16-17歳** 問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。  
 /G (学校以外で) 進路や勉強、家族のことなど何でも相談できる場所



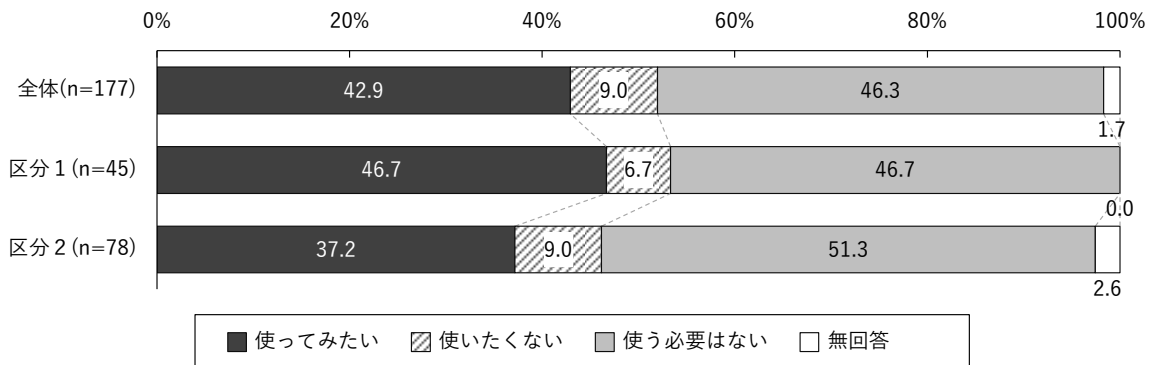
### H 低額・無料で、通信教育が受けられるサービス

【子ども設問】

子どもの低額・無料で、通信教育が受けられるサービスの利用意向について16-17歳全体をみると「使う必要はない」が46.3%、「使ってみたい」が42.9%、「使いたくない」が9.0%となっています。

区分別にみると「使ってみたい」と回答した割合は、区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問39 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。  
 /H 低額・無料で、通信教育が受けられるサービス



## 7. 子どもの健康と自己肯定感

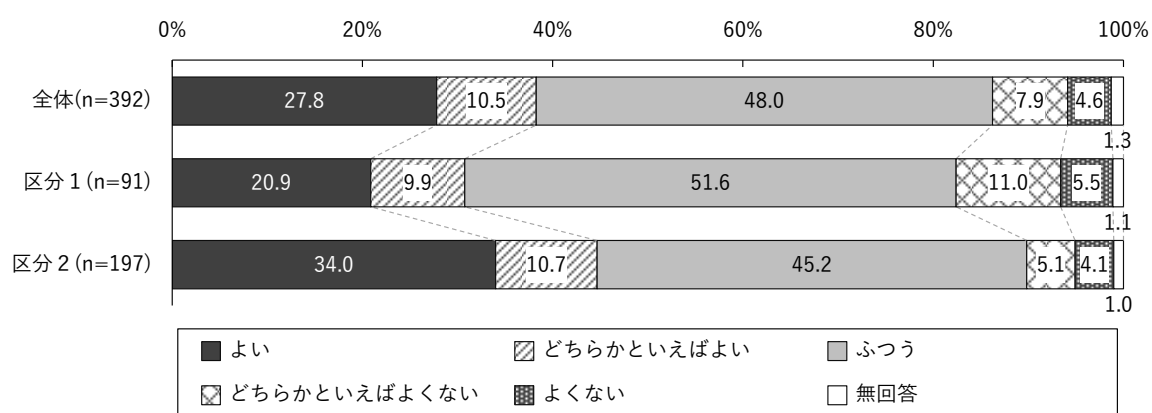
### (1) 子どもの主観的健康状態

【子ども設問】

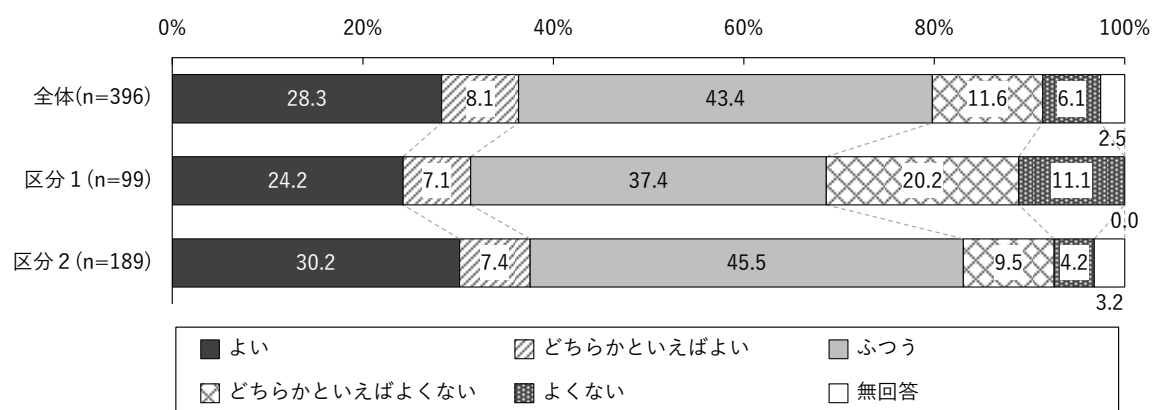
子どもの主観的健康状態について、「よい」「どちらかといえばよい」を合わせた『よい』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で38.3%、中学校2年生で36.4%、16-17歳で46.9%となっています。

区分別にみると『よい』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で30.8%、区分2で44.7%、中学校2年生では区分1で31.3%、区分2で37.6%、16-17歳では区分1で33.3%、区分2で55.1%といずれも区分1の方が低くなっています。

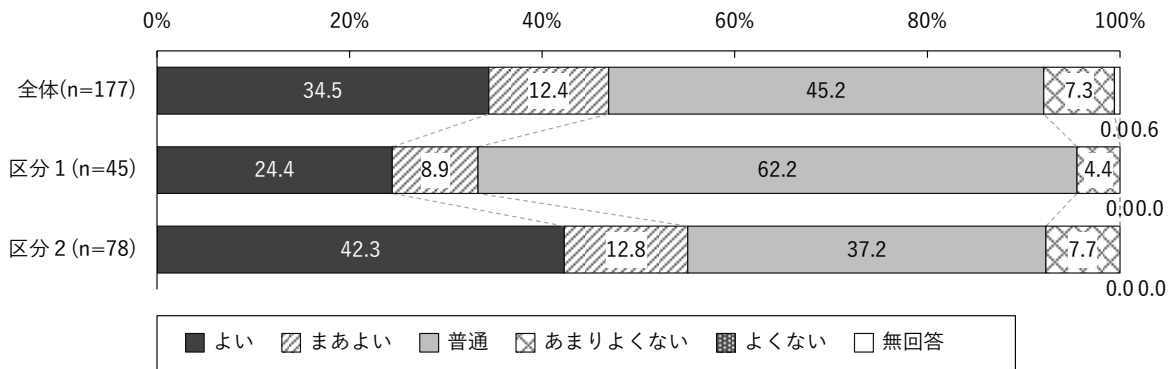
**小学校5年生** 問20 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。



**中学校2年生** 問20 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。



**16-17歳** 問24 あなたの健康状態について、最も近いものに○をつけてください。



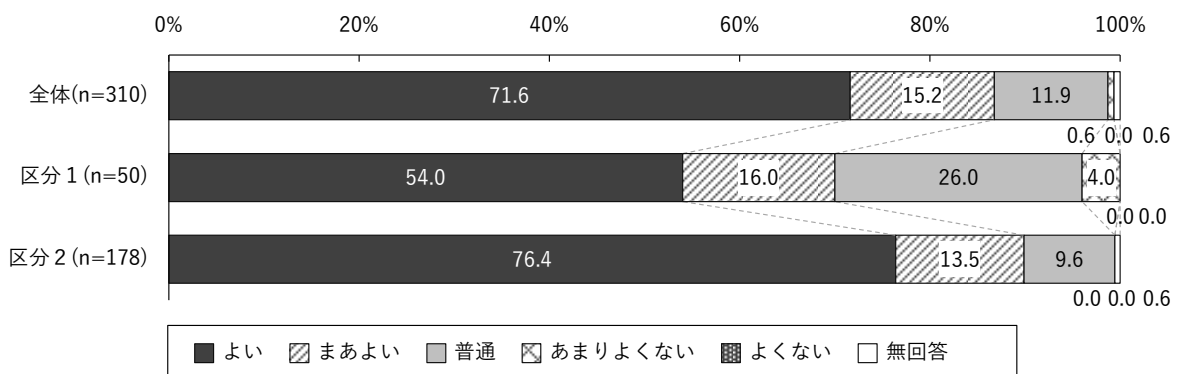
## (2) 保護者からみた子どもの健康状態

【保護者設問】

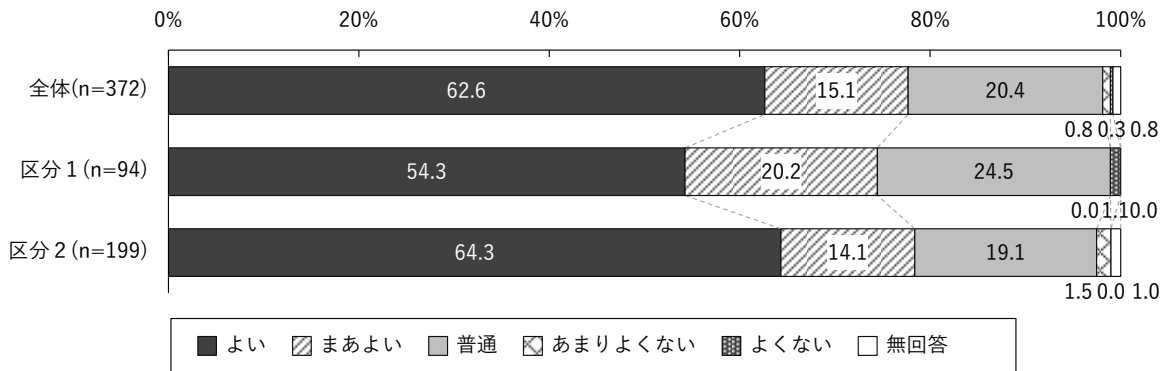
保護者からみた子どもの健康状態について「よい」「まあよい」を合わせた『よい』と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で86.8%、小学校5年生で77.7%、中学校2年生で69.6%、16-17歳で66.4%となっています。

区分別にみると『よい』と回答した割合は、小学校1年生では区分1で70.0%、区分2で89.9%、小学校5年生では区分1で74.5%、区分2で78.4%、中学校2年生では区分1で66.7%、区分2で71.4%、16-17歳では区分1で52.1%、区分2で70.4%といずれも区分1の方が低くなっています。

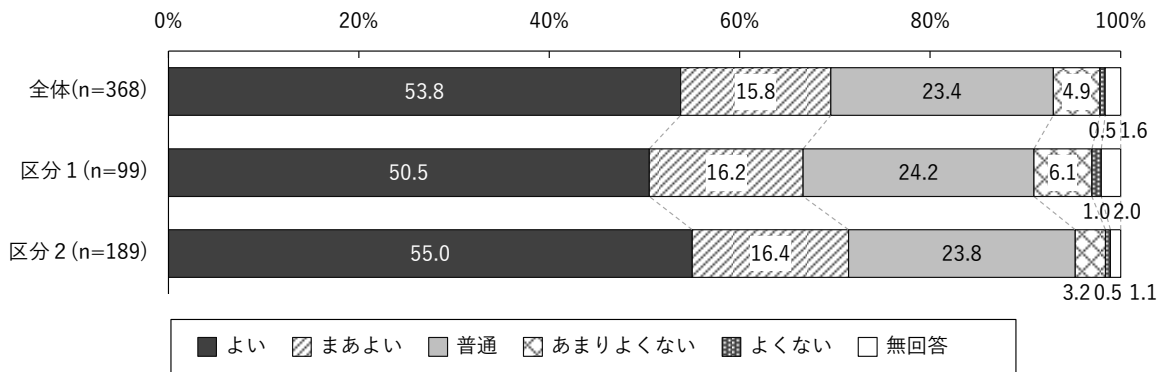
**小学校1年生** 問19 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。／B お子さん



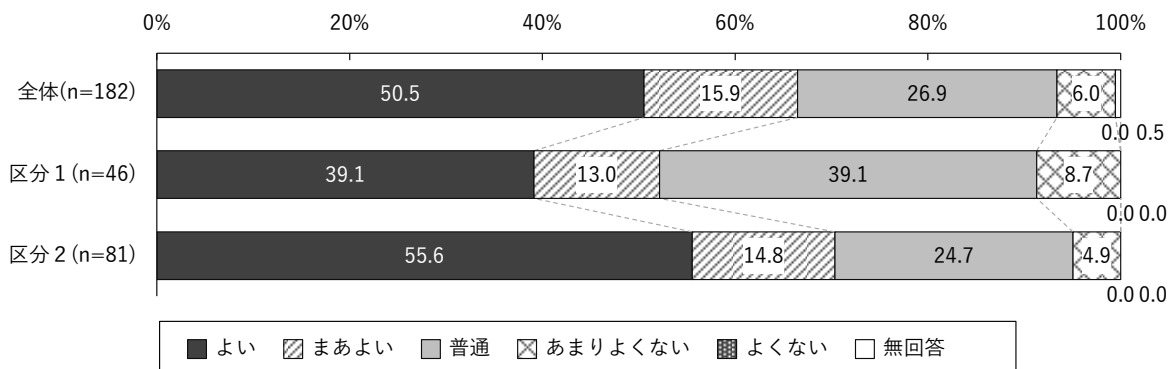
**小学校5年生** 問12 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。／B お子さん



**中学校2年生** 問12 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。／B お子さん



**16-17歳** 問14 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。／B お子さん



### (3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由

【保護者設問】

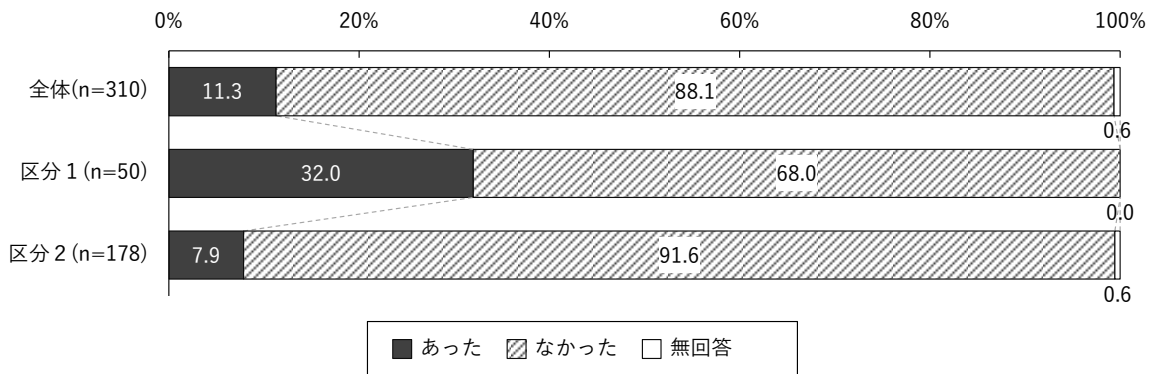
子どもの医療受診抑制経験について「あった」と回答した割合は、全体では、小学校1年生で11.3%、小学校5年生で8.3%、中学校2年生で12.0%、16-17歳で11.0%となっています。

区分別にみると「あった」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

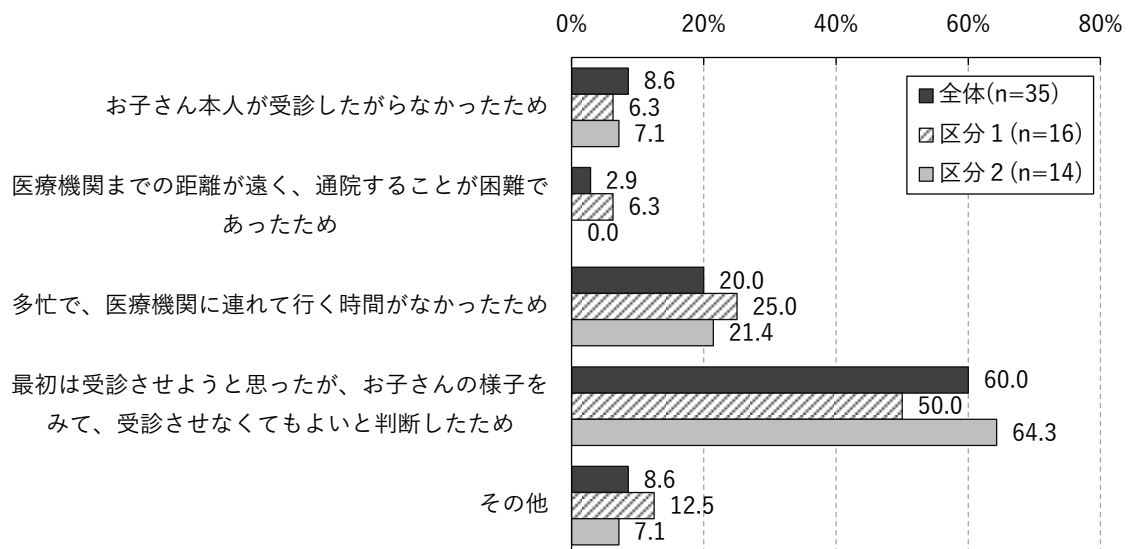
その理由について、「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で60.0%、小学校5年生で45.2%、中学校2年生で40.9%、16-17歳で25.0%となっています。

区分別にみると「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」16-17歳の区分1では高く、その他の学年では低くなっています。

**小学校1年生** 問21 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。

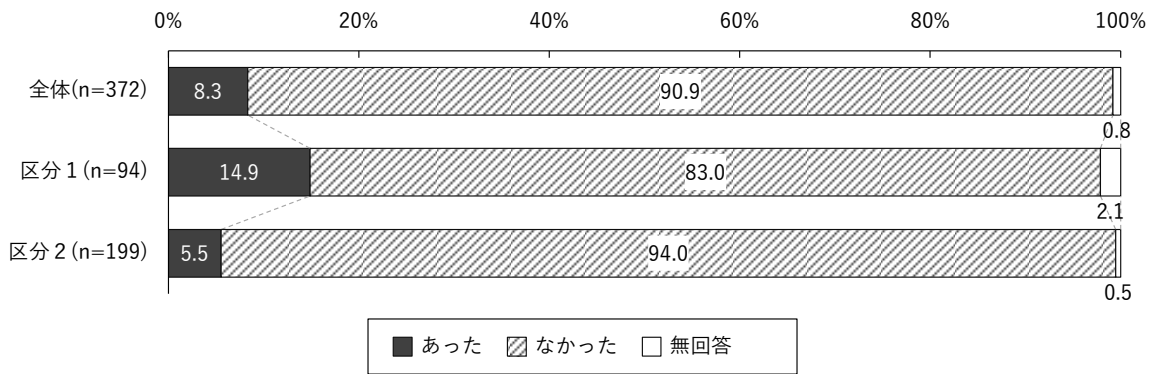


**小学校1年生** 問21-1 問21で「1. あった」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。

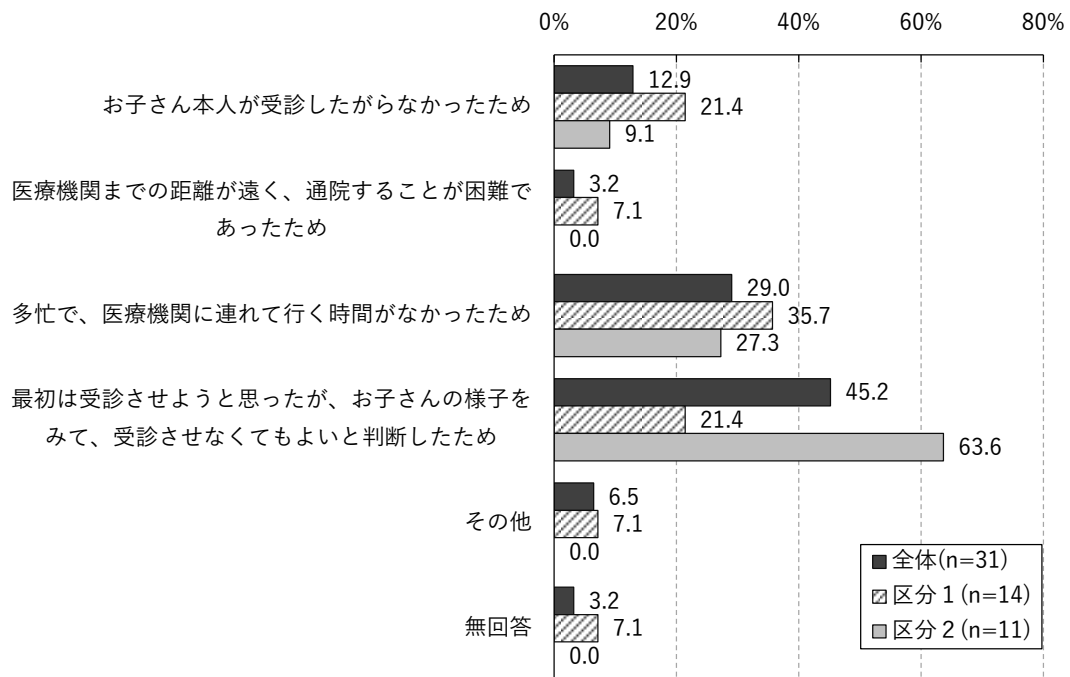


※回答のあった項目のみ

小学校5年生 問13 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。

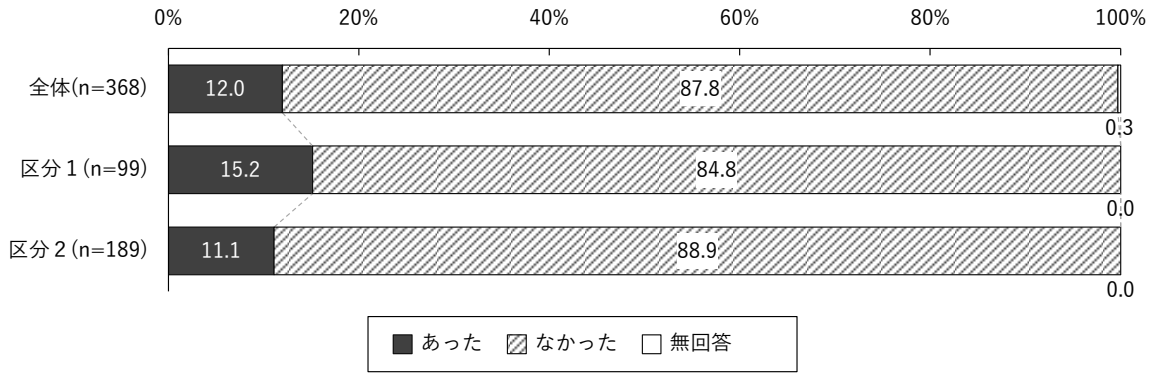


小学校5年生 問13-1 問13で「1. あった」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。

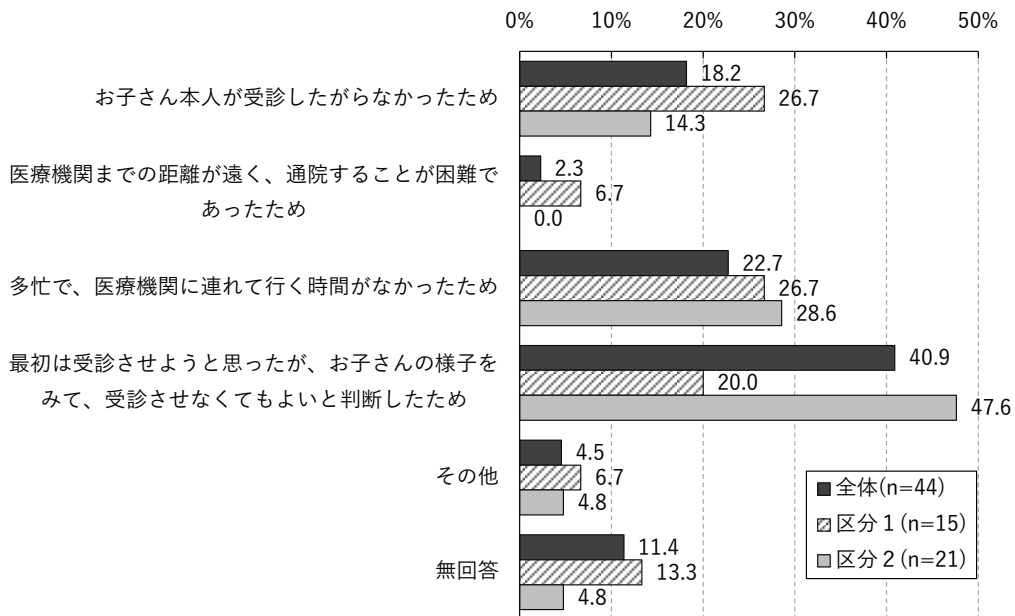


※回答のあった項目のみ

中学校2年生 問13 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。



中学校2年生 問13-1 問13で「1. あった」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。

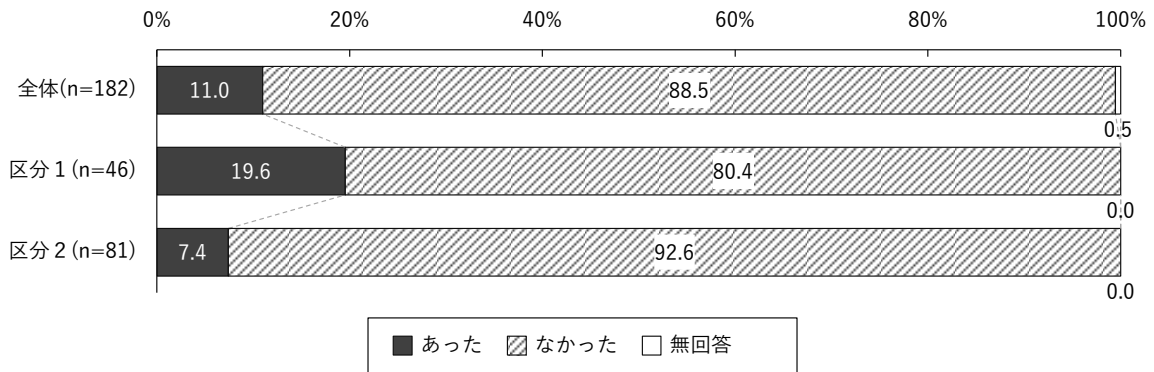


※回答のあった項目のみ



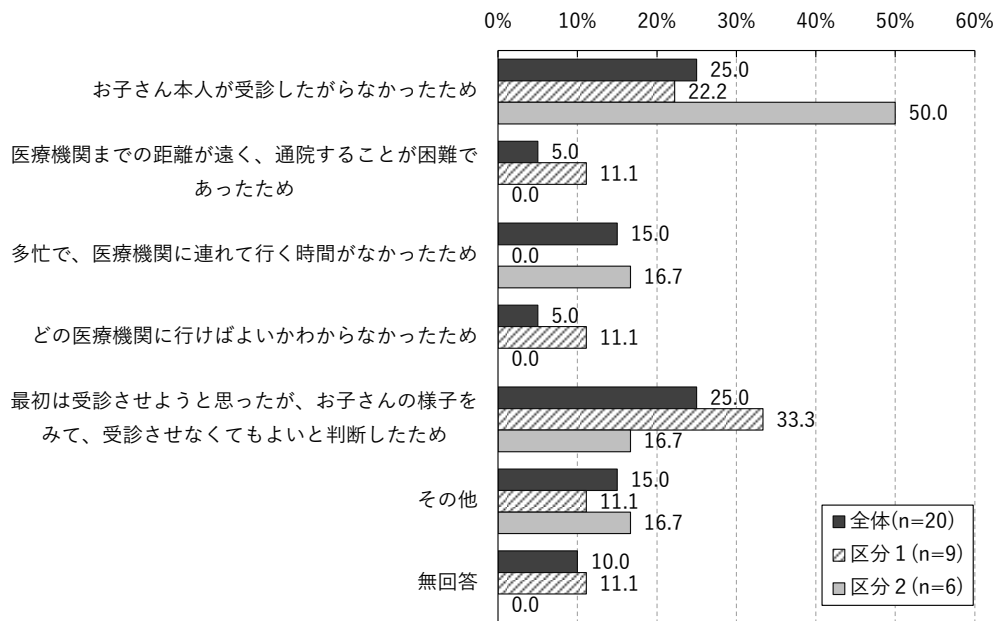
16-17歳

問15 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。



16-17歳

問15-1 問15で「1. あった」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。



※回答のあった項目のみ

#### (4) 16-17歳の医療機関への受診状況

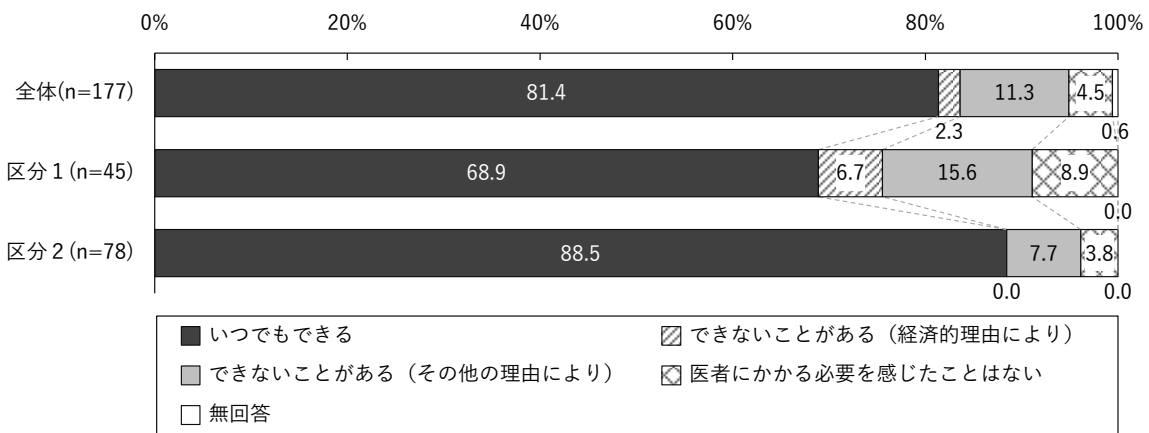
##### ① 医者

【子ども設問】

16-17歳の医者への受診状況について、全体をみると「いつでもできる」が81.4%、「できないことがある（経済的理由により）」が2.3%、「できないことがある（その他の理由により）」が11.3%、「医者にかかる必要を感じたことはない」が4.5%となっています。

区分別にみると「できないことがある（経済的理由により）」と回答した割合は、区分1で6.7%、区分2で0.0%と区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問25 あなたは、自分が必要だと思うときに、医者にかかることができますか。健診も含めてお答えください。



## (5) 自己肯定感

### A 頑張れば、むくわれる

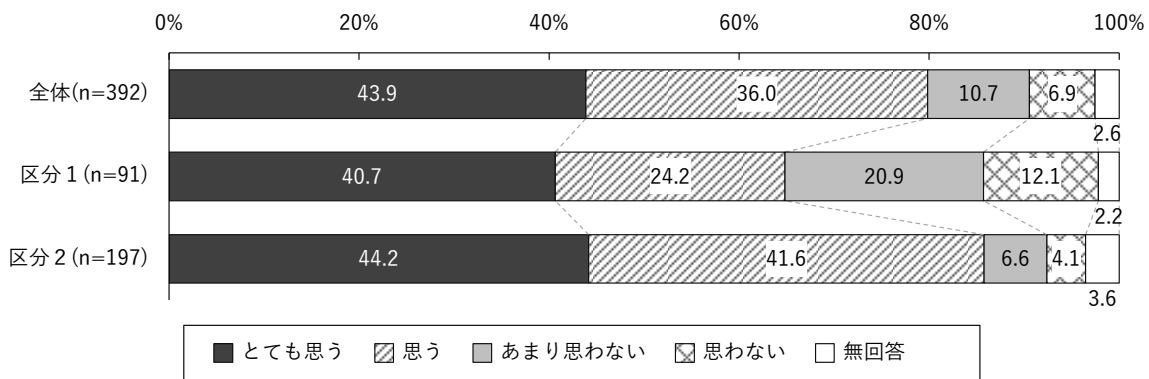
【子ども設問】

子どもの「頑張れば、むくわれる」ということについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で79.9%、中学校2年生で75.3%、16-17歳で71.8%となっています。

区別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で64.9%、区分2で85.8%、中学校2年生では区分1で70.7%、区分2で78.3%といずれも区分1の方が低くなっています。

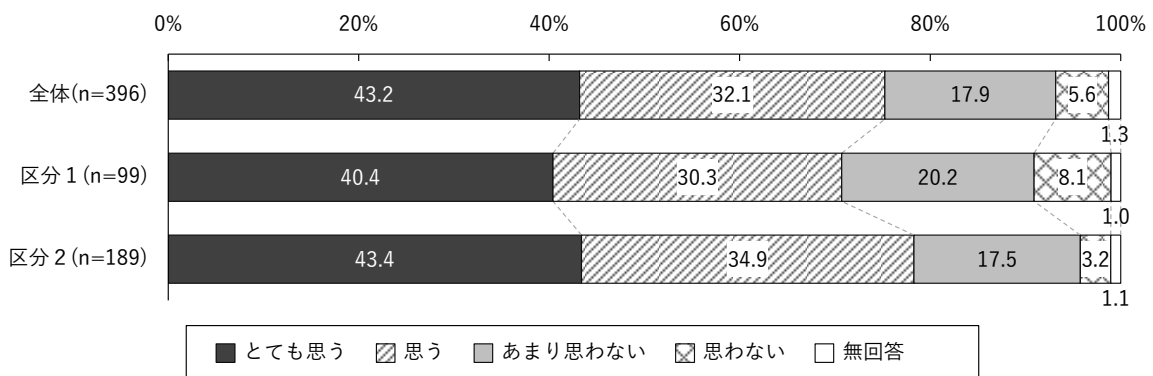
小学校5年生 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

／A 頑張れば、むくわれる

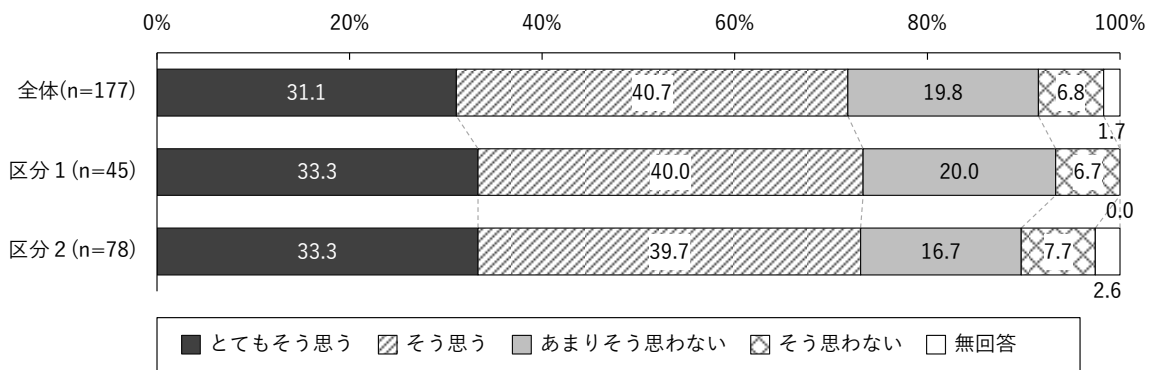


中学校2年生 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

／A 頑張れば、むくわれる



**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。／A 頑張れば、報われる



## B 自分は価値のある人間だ

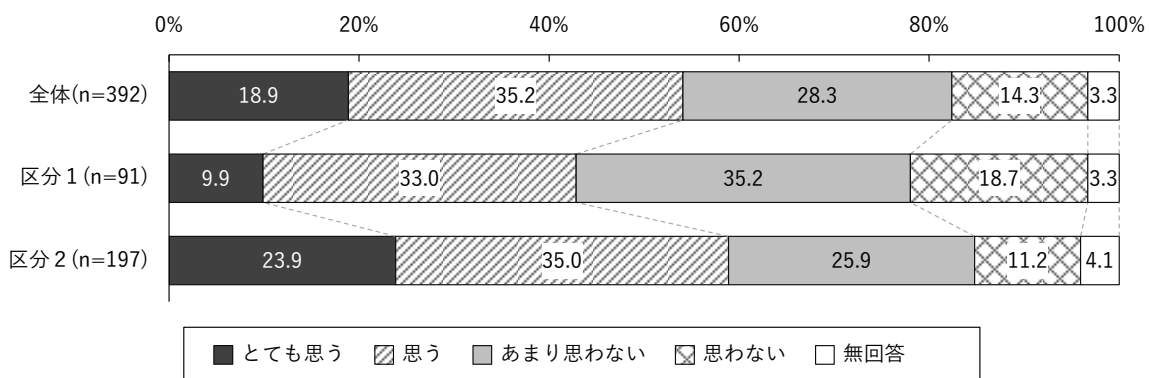
【子ども設問】

子どもの「自分は価値のある人間だ」と思うことについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で54.1%、中学校2年生で58.3%、16-17歳で55.9%となっています。

区分別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で42.9%、区分2で58.9%、中学校2年生では区分1で50.5%、区分2で62.9%、16-17歳では区分1で55.6%、区分2で60.2%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

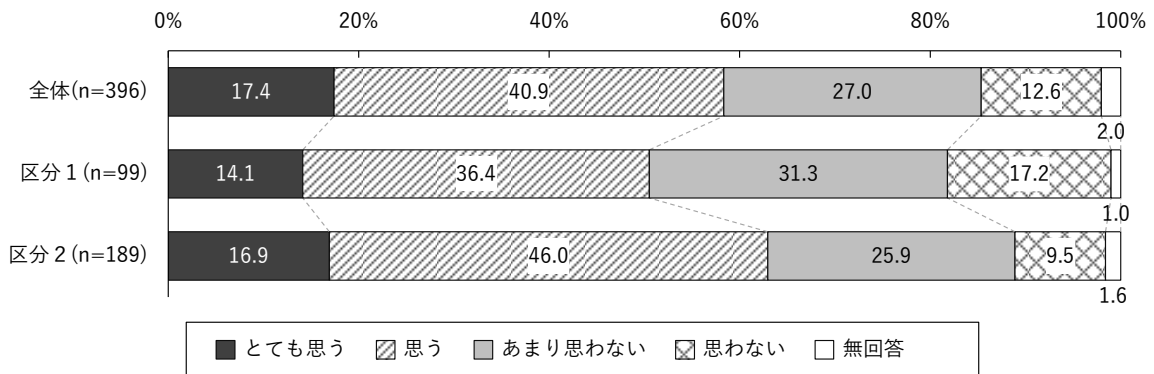
／B 自分は価値のある人間だ



中学校2年生

問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

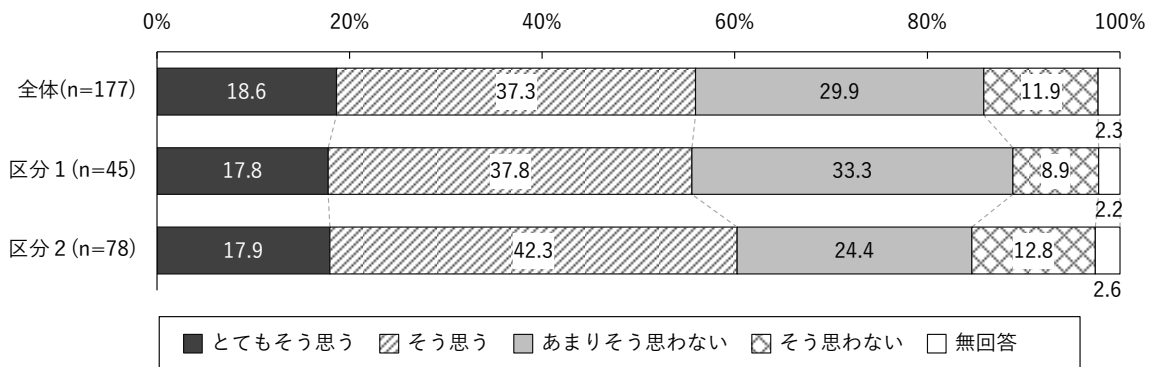
／B 自分は価値のある人間だ



16-17歳

問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。

／B 自分は価値のある人間だ



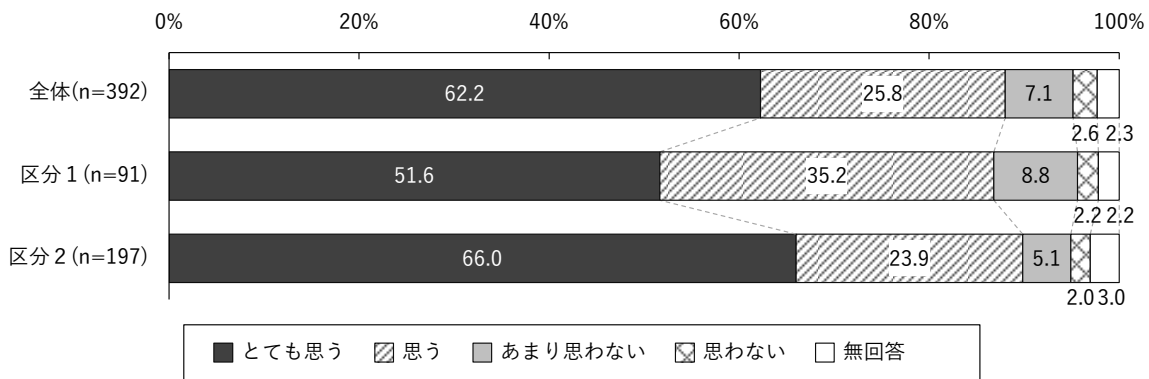
## C 自分は家族に大事にされている

【子ども設問】

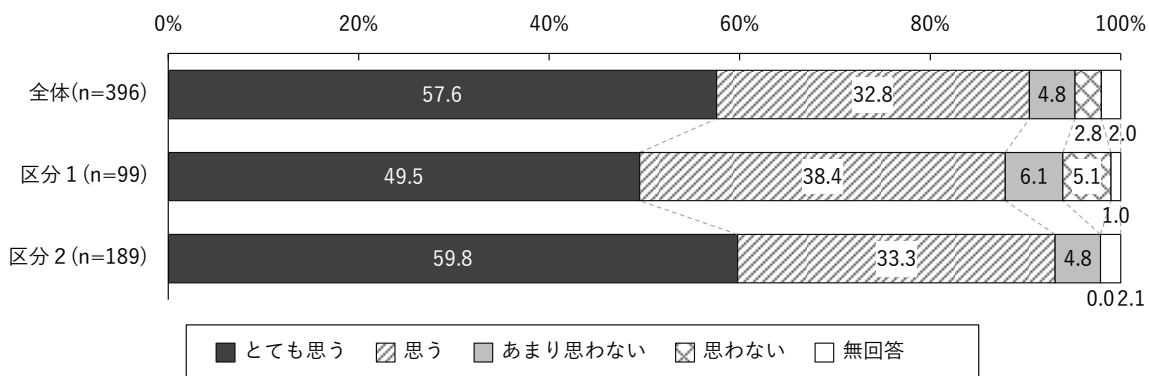
子どもの「自分は家族に大事にされている」と思うことについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で88.0%、中学校2年生で90.4%、16-17歳で92.7%となっています。

区別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で86.8%、区分2で89.9%、中学校2年生では区分1で87.9%、区分2で93.1%、16-17歳では区分1で91.1%、区分2で94.8%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
／C 自分は家族に大事にされている

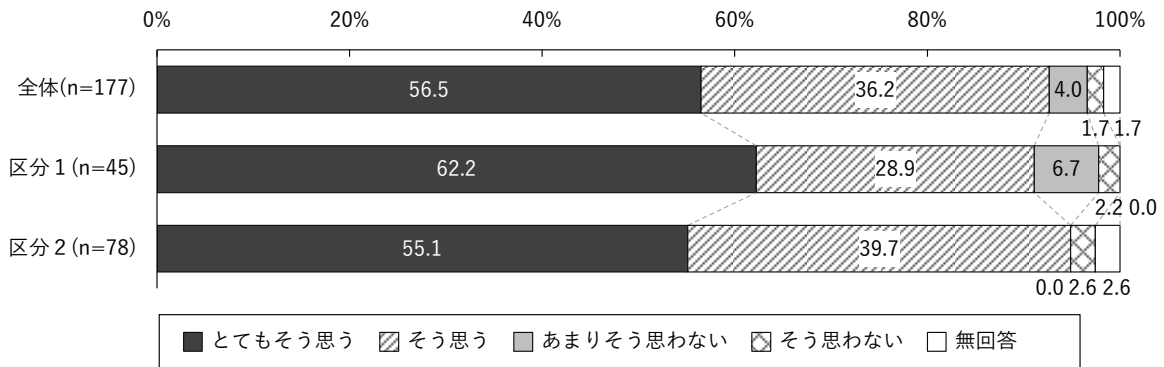


**中学校2年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
／C 自分は家族に大事にされている



**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。

／C 自分は家族に大事にされている



**D 自分は友だちに好かれている**

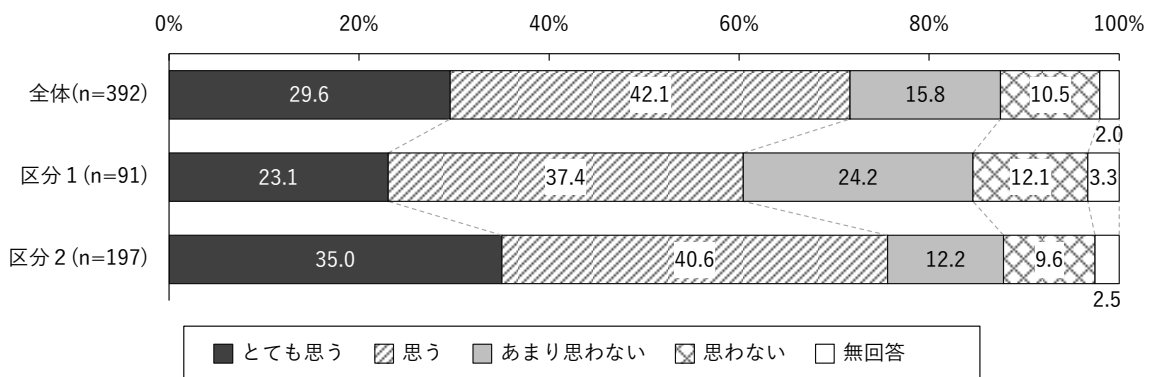
【子ども設問】

子どもの「自分は友だちに好かれている」と思うことについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で71.7%、中学校2年生で77.3%、16-17歳で77.4%となっています。

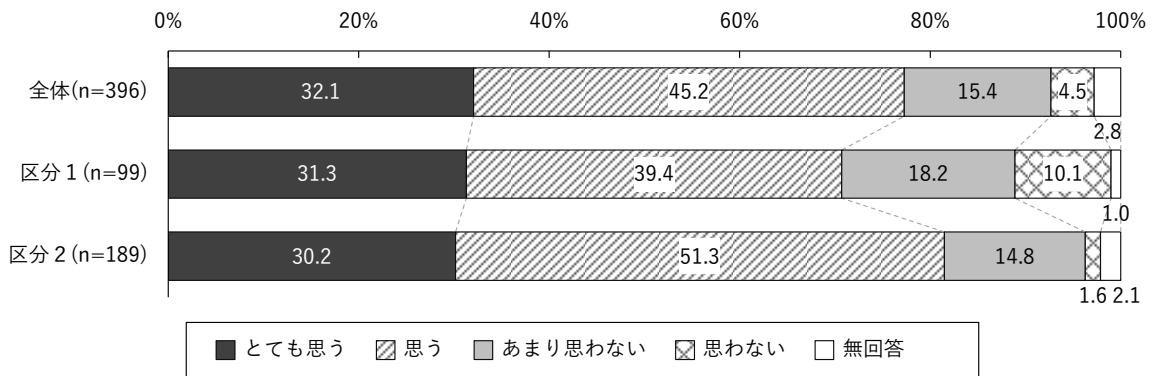
区分別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で60.5%、区分2で75.6%、中学校2年生では区分1で70.7%、区分2で81.5%、16-17歳では区分1で77.8%、区分2で79.5%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

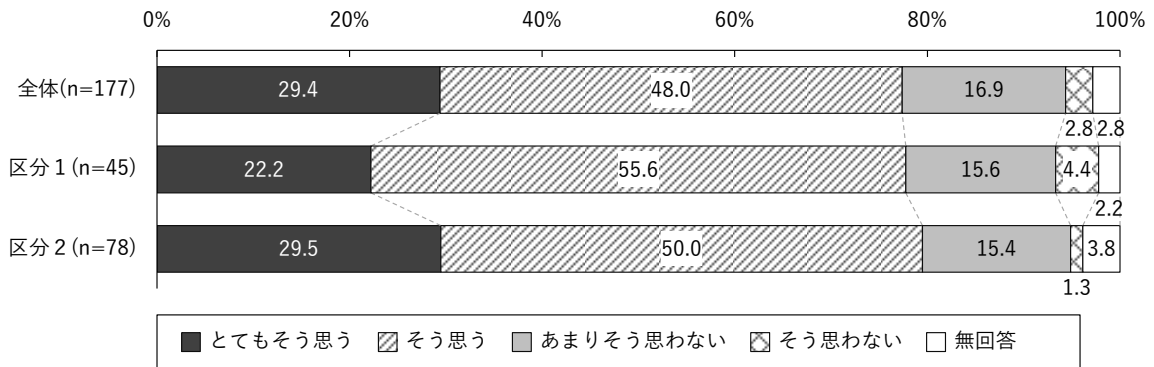
／D 自分は友だちに好かれている



**中学校2年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
 /D 自分は友だちに好かれている



**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。  
 /D 自分は友だちに好かれている





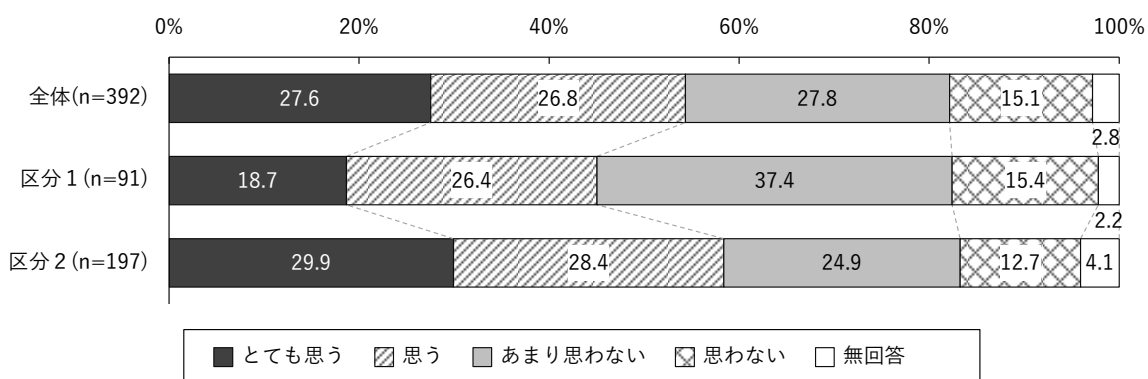
## E 不安に感じることはない

【子ども設問】

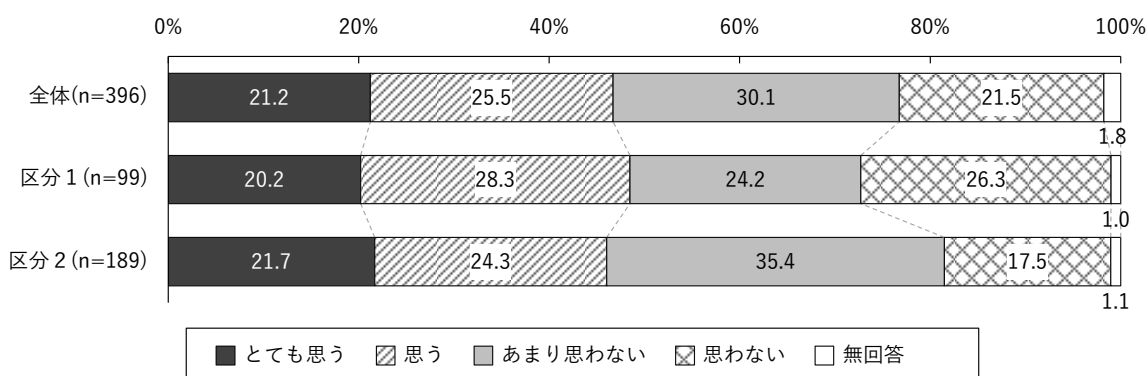
子どもの「不安に感じることはない」ということについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で54.4%、中学校2年生で46.7%、16-17歳で38.5%となっています。

区分別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で45.1%、区分2で58.3%、16-17歳では区分1で35.6%、区分2で44.9%といずれも区分1の方が低くなっています。中学校2年生では区分1の方が高くなっています。

**小学校5年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
／E 不安に感じることはない

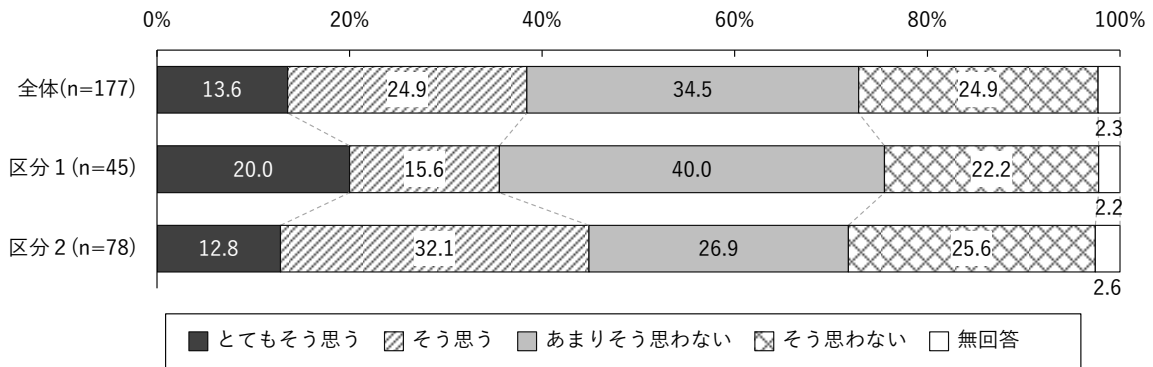


**中学校2年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
／E 不安に感じることはない



**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。

／E 不安を感じることはない



## F 孤独を感じることはない

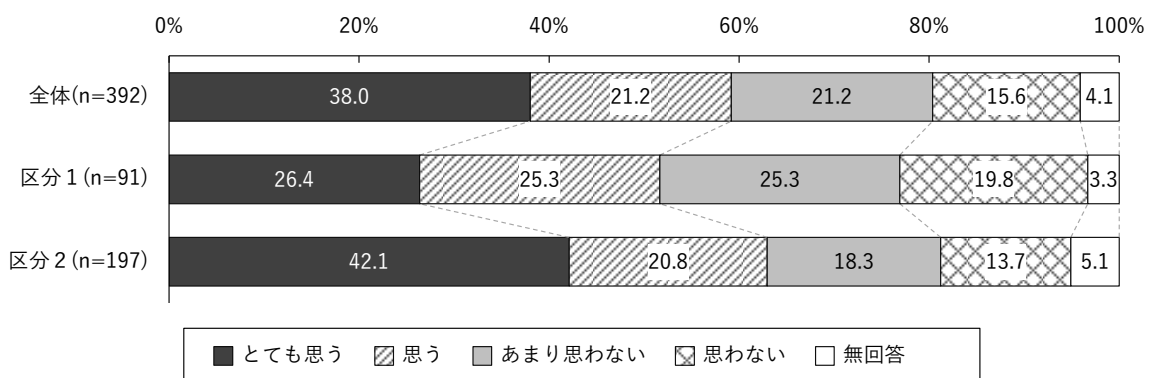
【子ども設問】

子どもの「孤独を感じることはない」ということについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で59.2%、中学校2年生で63.4%、16-17歳で58.8%となっています。

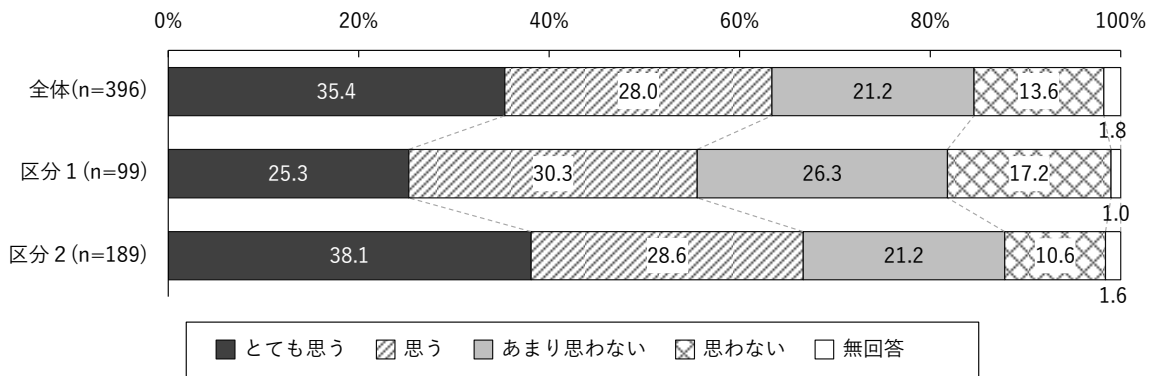
区分別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で51.7%、区分2で62.9%、中学校2年生では区分1で55.6%、区分2で66.7%、16-17歳では区分1で53.3%、区分2で61.5%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校5年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

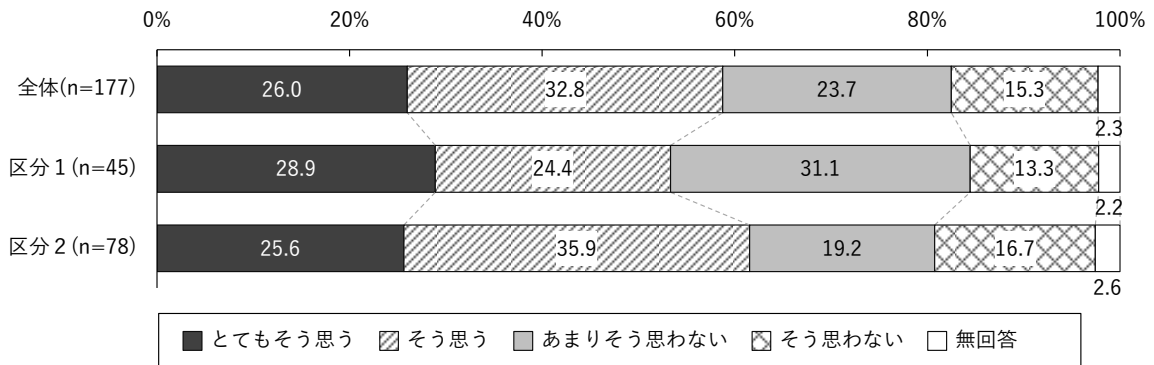
／F 孤独を感じることはない



**中学校2年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
 /F 孤独を感じることはない



**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどう思いますか。  
 /F 孤独を感じることはない



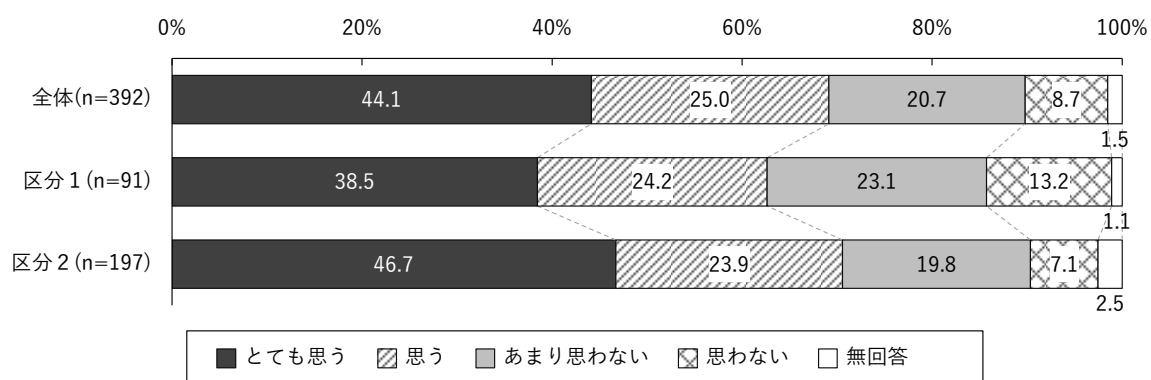
## G 自分の将来が楽しみだ

【子ども設問】

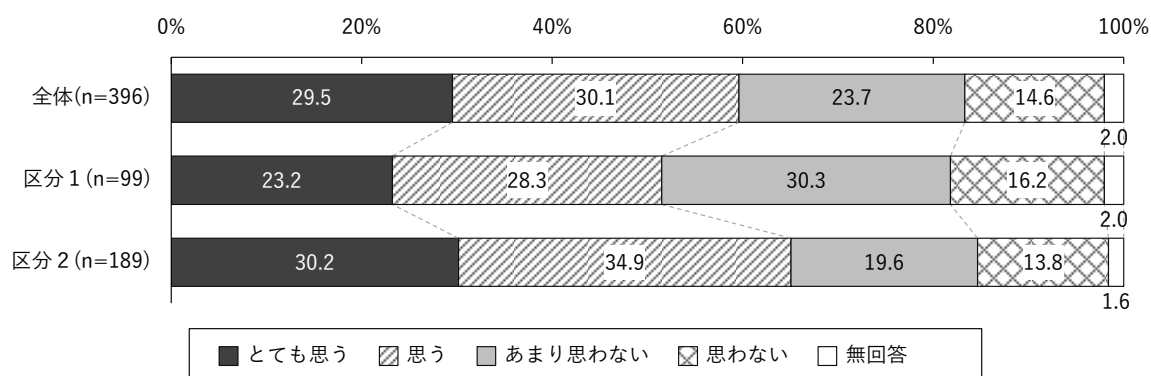
子どもの「自分の将来が楽しみだ」ということについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で69.1%、中学校2年生で59.6%、16-17歳で54.3%となっています。

区別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で62.7%、区分2で70.6%、中学校2年生では区分1で51.5%、区分2で65.1%、16-17歳では区分1で53.4%、区分2で58.9%といずれも区分1の方が低くなっています。

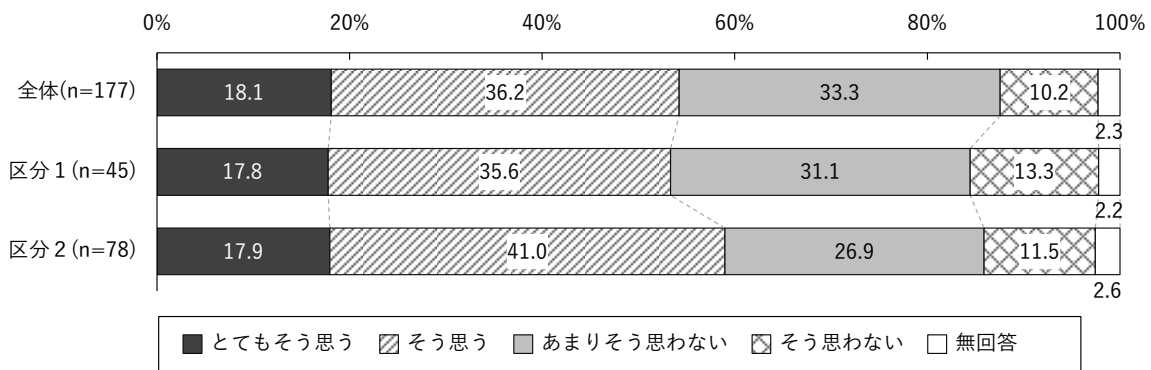
小学校5年生 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
／G 自分の将来が楽しみだ



中学校2年生 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
／G 自分の将来が楽しみだ



**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。／G 自分の将来が楽しみだ



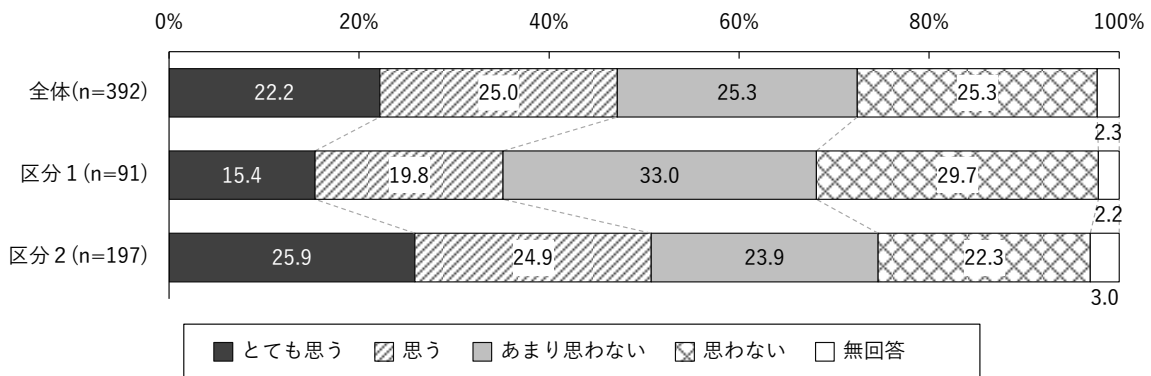
**H/I 自分のことが好きだ**

【子ども設問】

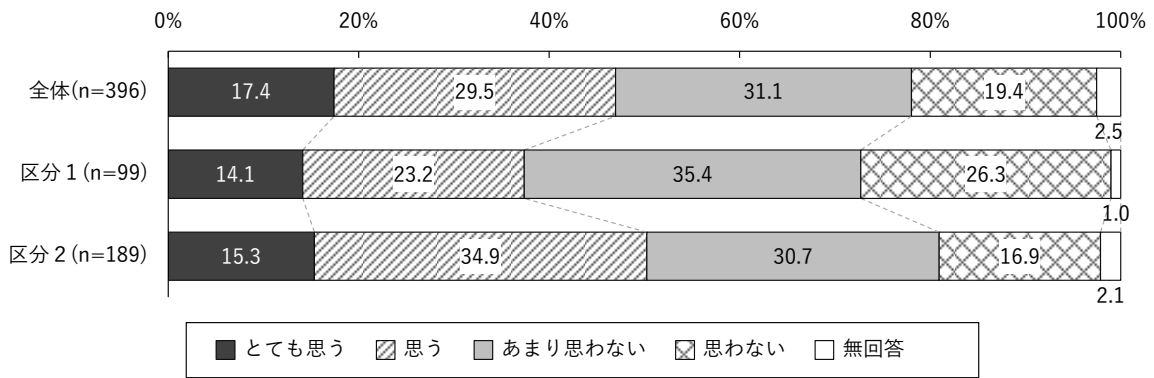
子どもの「自分のことが好きだ」と思うことについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、全体をみると小学校5年生で47.2%、中学校2年生で46.9%、16-17歳で48.0%となっています。

区分別にみると『思う』と回答した割合は、小学校5年生では区分1で35.2%、区分2で50.8%、中学校2年生では区分1で37.3%、区分2で50.2%といずれも区分1の方が低くなっています。16-17歳では区分1の方が高くなっています。

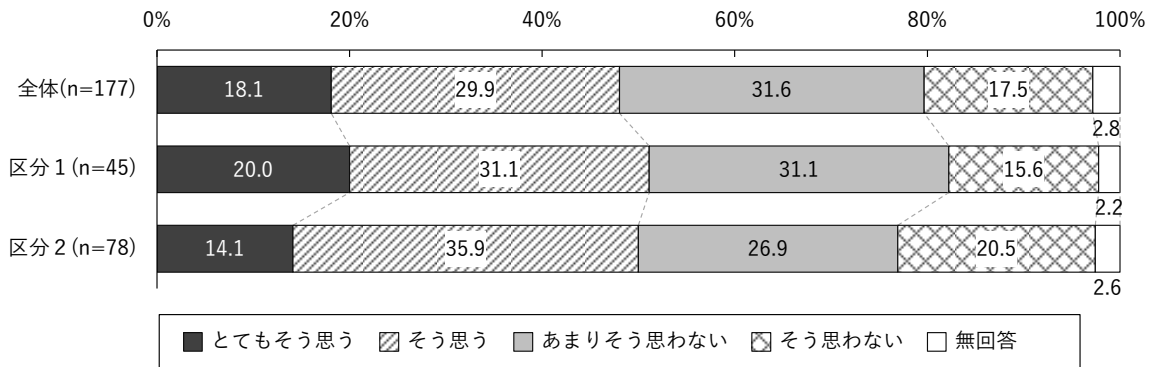
**小学校5年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。／H 自分のことが好きだ



**中学校2年生** 問28 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。  
 /H 自分のことが好きだ



**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。 / I 自分のことが好きだ



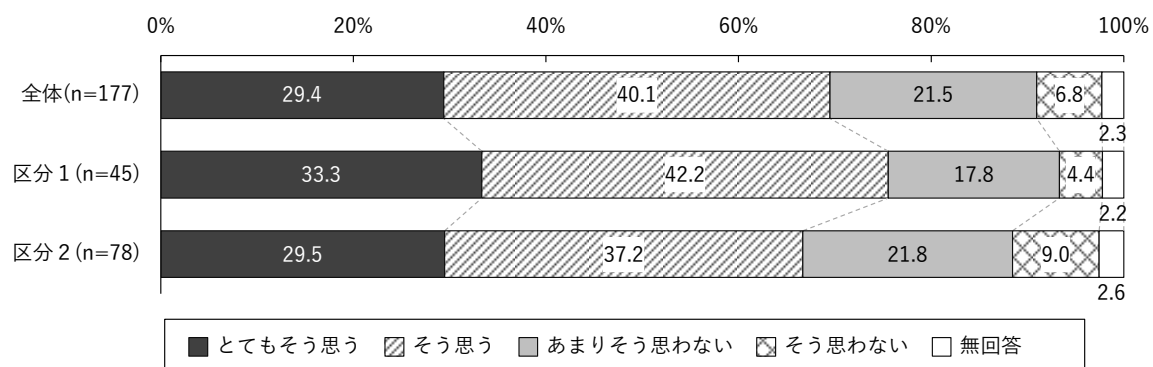
## H 毎日の生活が楽しい (16-17歳のみ)

【子ども設問】

子どもの「毎日の生活が楽しい」と思うことについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、16-17歳全体をみると69.5%となっています。

区分別にみると『思う』と回答した割合は、区分1で75.5%、区分2で66.7%と区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問36 以下の意見について、あなたはどのように思いますか。／H 毎日の生活が楽しい



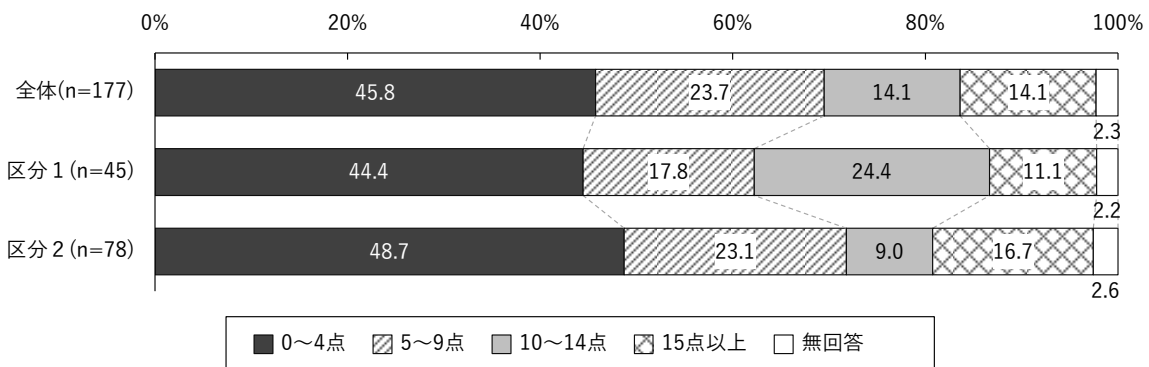
## (6) 16-17 歳の心の状態

【子ども設問】

一般的にうつ傾向をはかる指標として普及しているK6※指標を用いて16-17歳本人の抑うつ傾向を計った結果、全体をみると「0～4点」が45.8%、「5～9点」が23.7%、「10～14点」、「15点以上」が14.1%となっています。

区分別にみると「10～14点」「15点以上」を合わせた割合は区分1の方が高く、精神的な問題がより重い傾向にあることがわかります。

**16-17歳** 問37 あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。



※K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されています。過去 30 日の間で心の状況(6 項目)を指数化します。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとされています。

【参考】 K6 における 6 つの設問：直近 1 か月で以下を感じたかどうかを「いつも／たいてい／ときどき／少しだけ／全くない」の 5 段階で回答してもらった。

- A 神経過敏に感じましたか
- B 絶望的だと感じましたか
- C そわそわ、落ち着かなく感じましたか
- D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか
- E 何をするのも面倒だと感じましたか
- F 自分は価値のない人間だと感じましたか



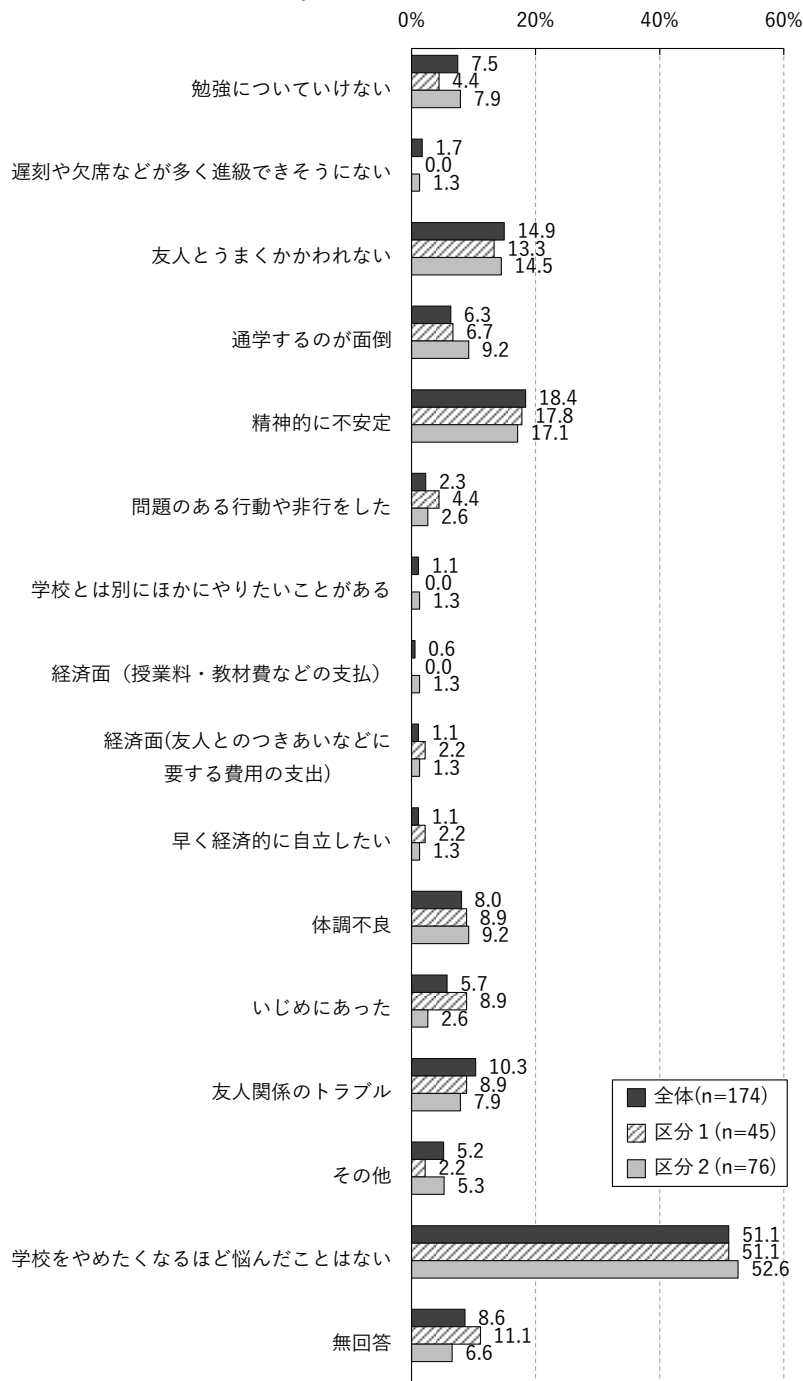
## (7) 学校を辞めたくなるほどの悩み

【子ども設問】

子どもの学校を辞めたくなるほどの悩みについて、16-17歳全体をみると「精神的に不安定」が18.4%、「友人とうまくかかわれない」が14.9%と高くなっています。「学校をやめたくなるほど悩んだことはない」は51.1%となっています。

区分別にみると「いじめにあった」、「問題のある行動や非行をした」等で区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問35 あなたは、これまでに、以下のような理由で、学校をやめたくなるほど、悩んだことがありますか。



※回答のあった項目のみ

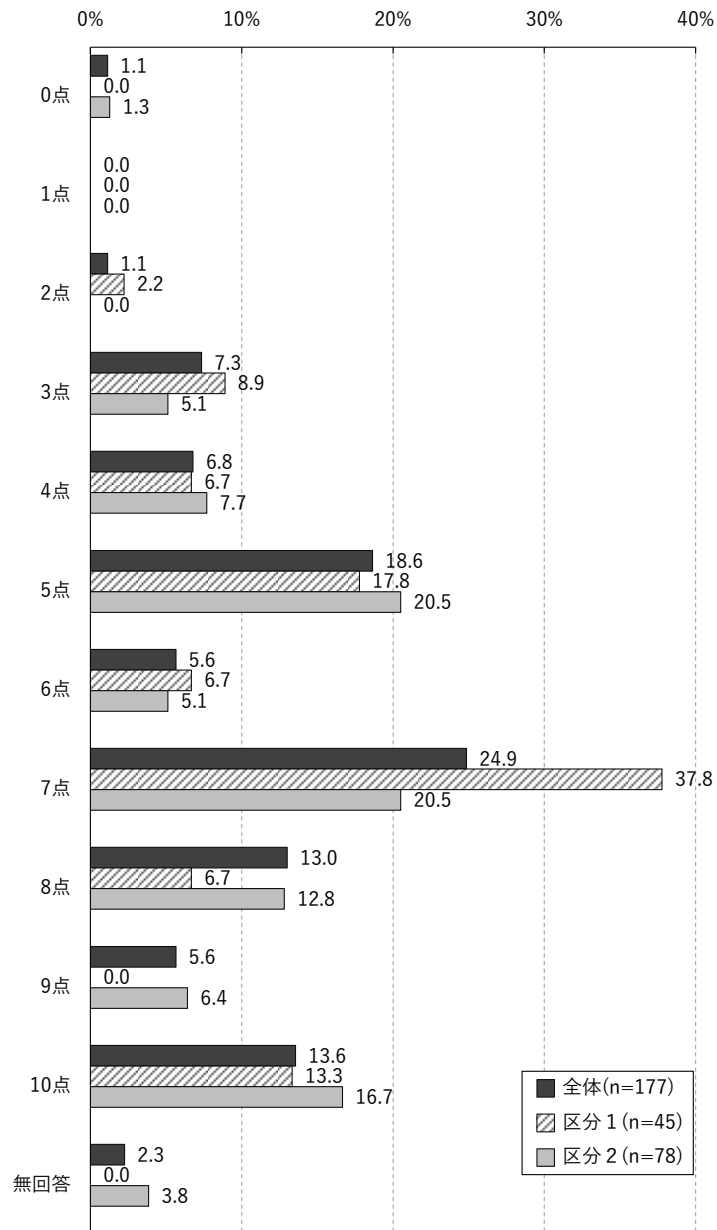
(8) 16-17歳の主観的幸福度

【子ども設問】

子どもの主観的幸福度について、16-17歳全体をみると「7点」が24.9%、「5点」が18.6%と高くなっています。

区分別にみると「7点」は区分1の方が高く、大きな差となっています。

16-17歳 問38 この1年を振り返って、あなたはどの程度幸せですか。



## 8. 保護者・世帯の状況

### (1) 回答者の状況

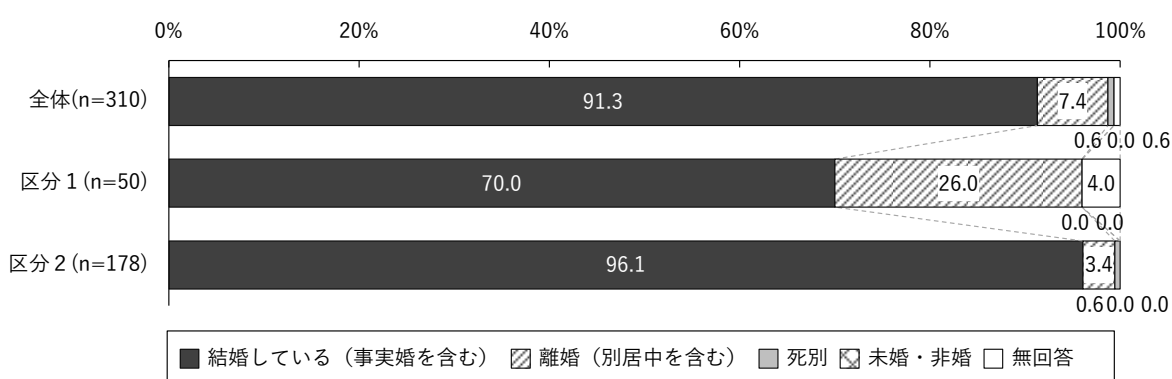
#### ① 婚姻状況

【保護者設問】

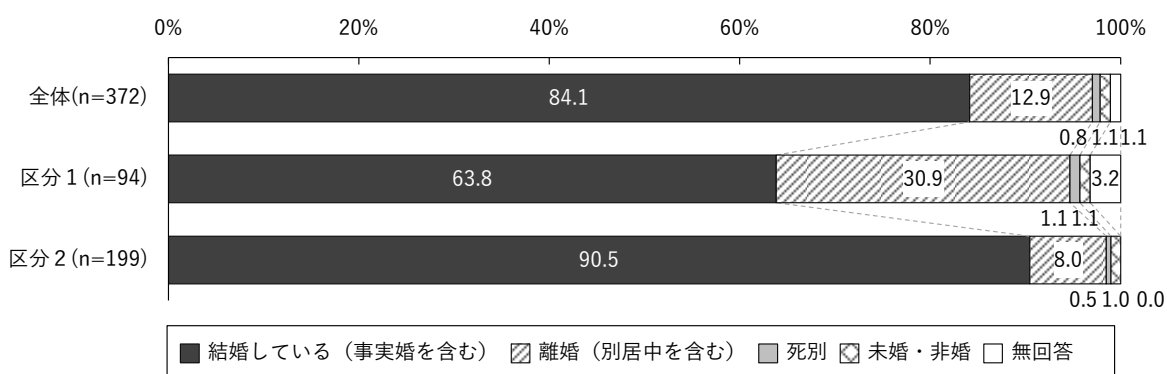
保護者の婚姻状況について「結婚している」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で91.3%、小学校5年生で84.1%、中学校2年生で83.7%、16-17歳で83.0%となっています。

区分別にみると「離婚(別居中を含む)」と回答した割合は、小学校1年生では区分1で26.0%、小学校5年生では区分1で30.9%、中学校2年生では区分1で32.3%、16-17歳では区分1で21.7%といずれも区分1の方が高くなっています。

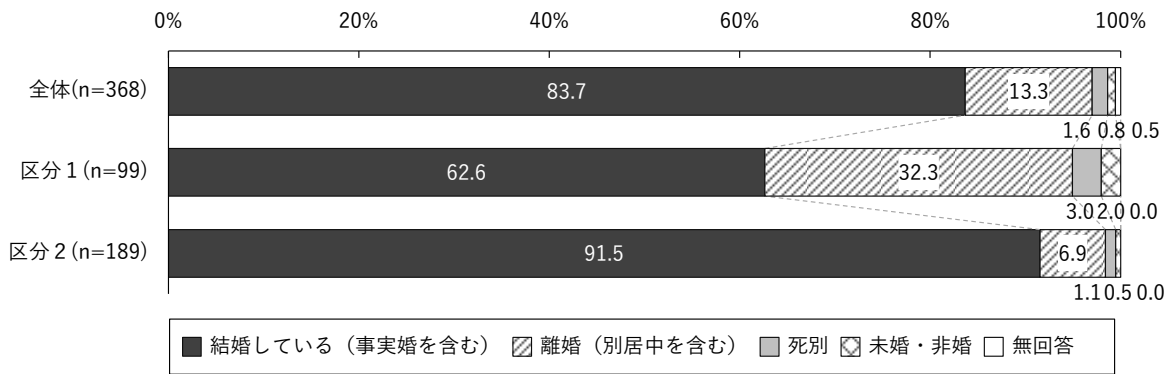
**小学校1年生** 問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。



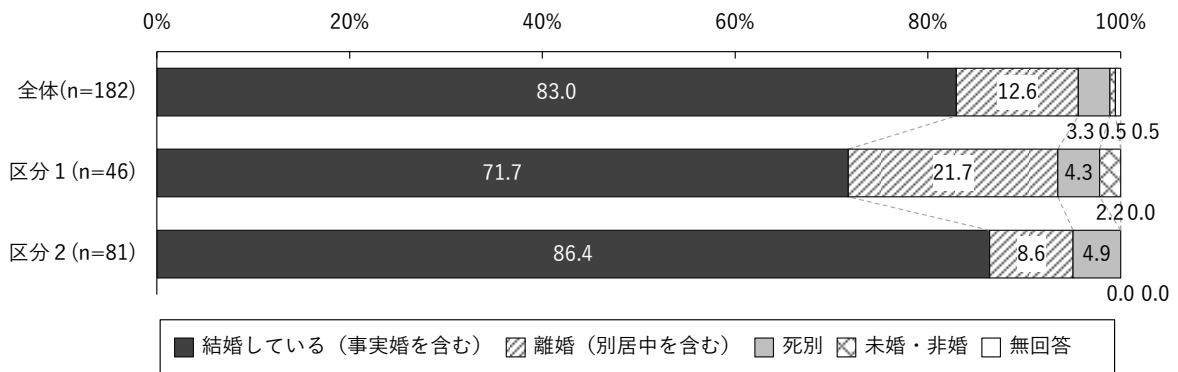
**小学校5年生** 問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。



**中学校2年生** 問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。



**16-17歳** 問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。



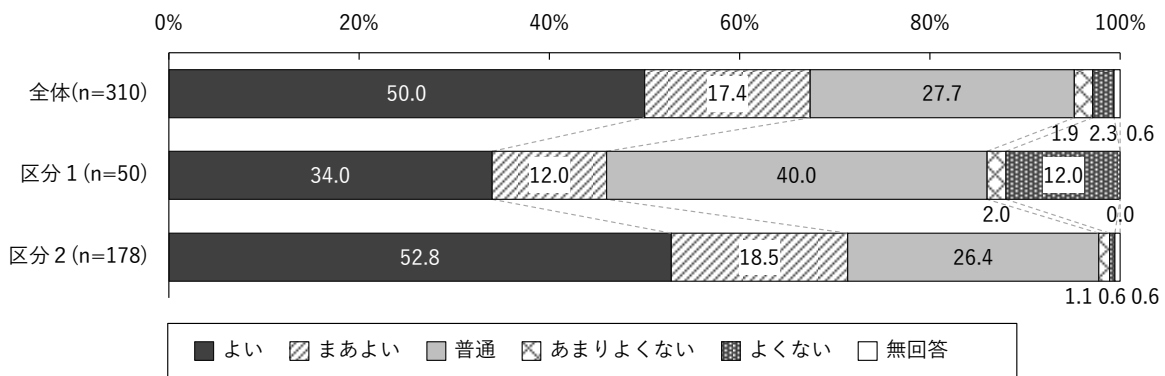
## ②健康状態

【保護者設問】

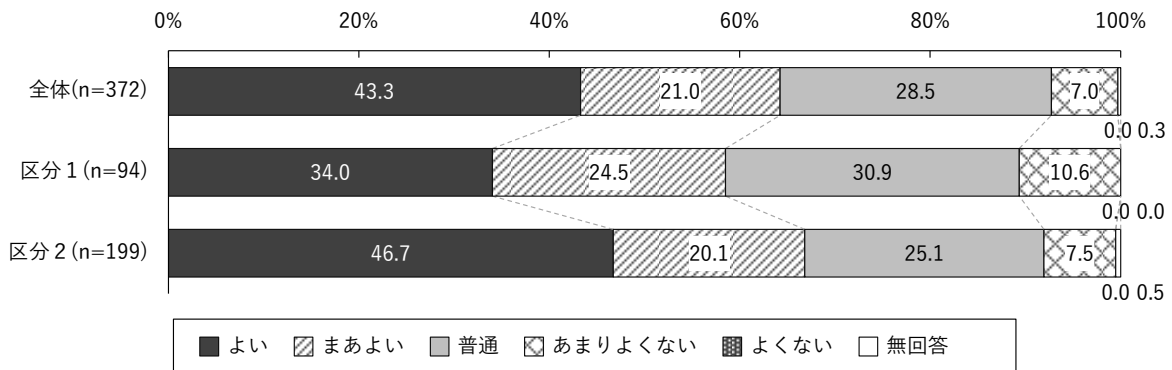
保護者の健康状態について「よい」「まあよい」を合わせた『よい』と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で67.4%、小学校5年生で64.3%、中学校2年生で55.2%、16-17歳で53.3%となっています。

区別にみると『よい』と回答した割合は、小学校1年生では区分1で46.0%、区分2で71.3%、小学校5年生では区分1で58.5%、区分2で66.8%、中学校2年生では区分1で49.5%、区分2で57.2%、16-17歳では区分1で32.6%、区分2で65.4%といずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問19 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。  
 /A あなた（回答者）

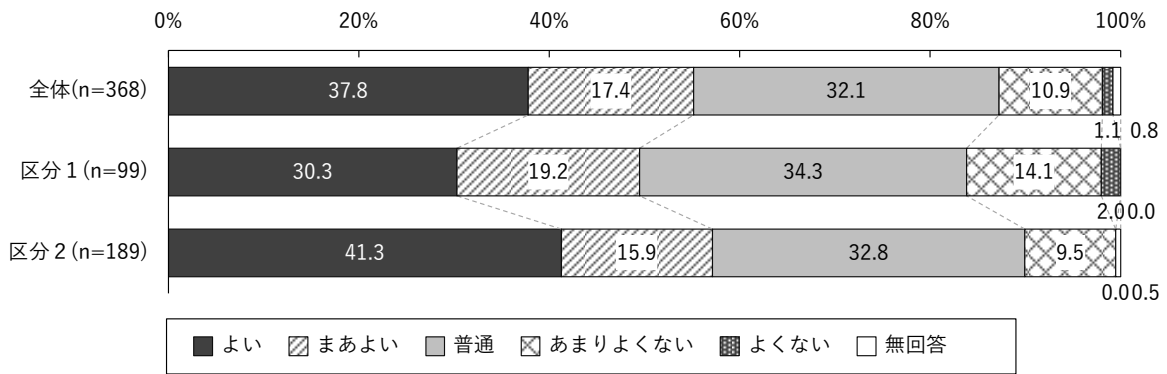


**小学校5年生** 問12 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。  
 /A あなた（回答者）



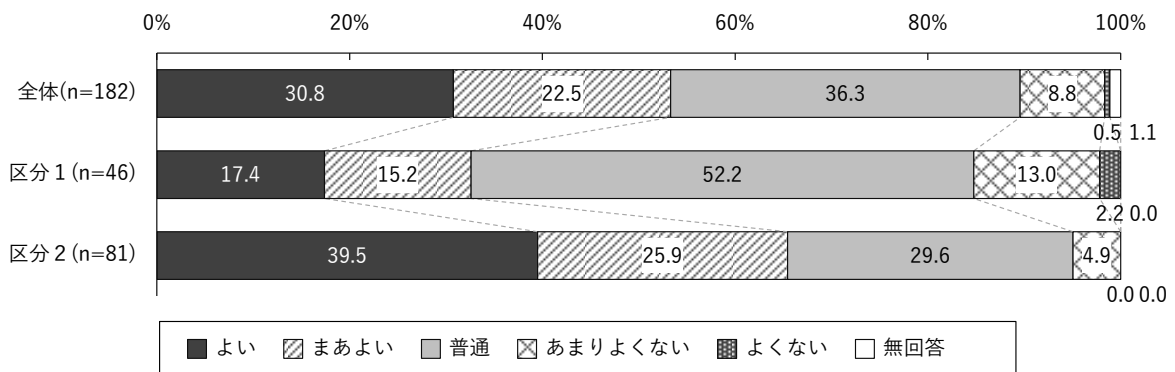
**中学校2年生** 問12 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。

／A あなた（回答者）



**16-17歳** 問14 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。

／A あなた（回答者）



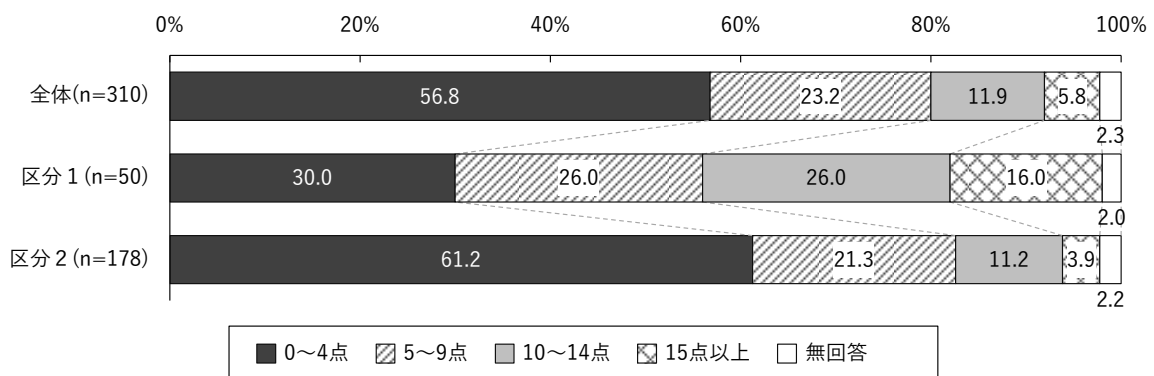
### ③心の状態

【保護者設問】

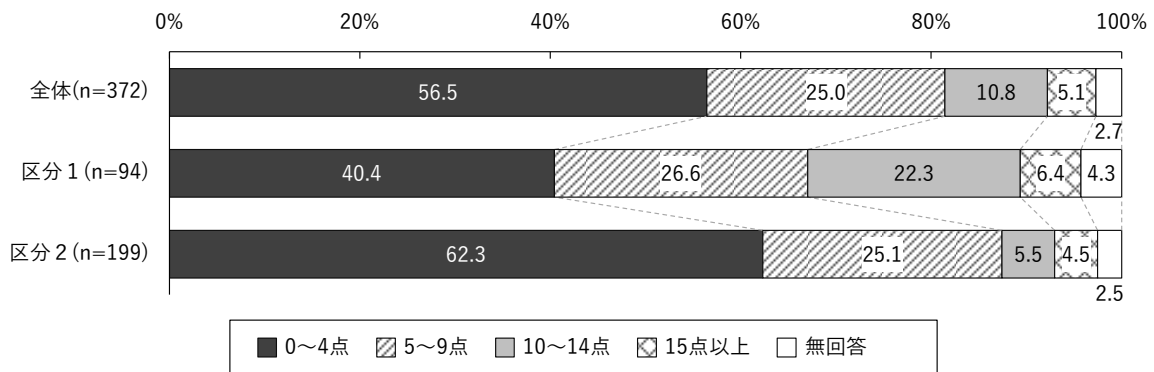
一般的にうつ傾向をはかる指標として普及しているK6指標※を用いて保護者（回答者）の抑うつ傾向を計った結果、「0～4点」という結果の割合は、全体をみると小学校1年生では56.8%、小学校5年生では56.5%、中学校2年生では49.5%、16-17歳では50.5%となっています。

区分別にみると「10～14点」「15点以上」を合わせた割合は、いずれも区分1の方が高く、精神的な問題がより重い傾向にあることがわかります。

**小学校1年生** 問23 あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。

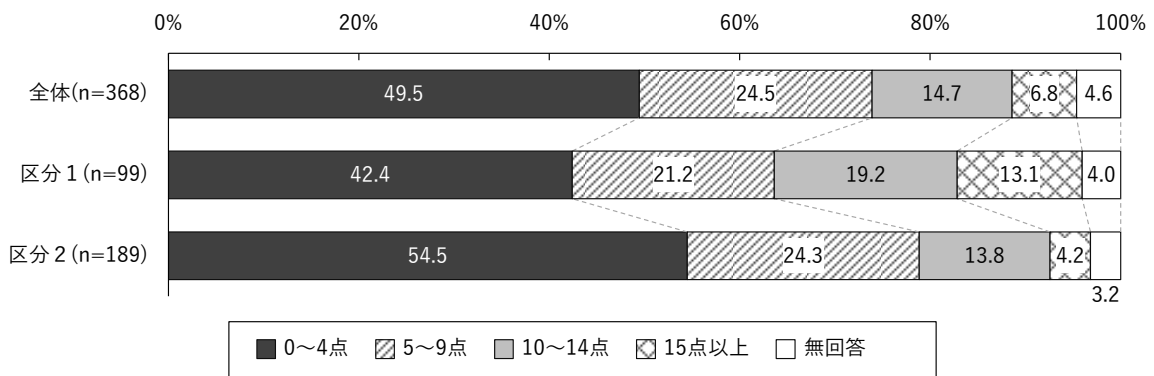


**小学校5年生** 問15 あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。

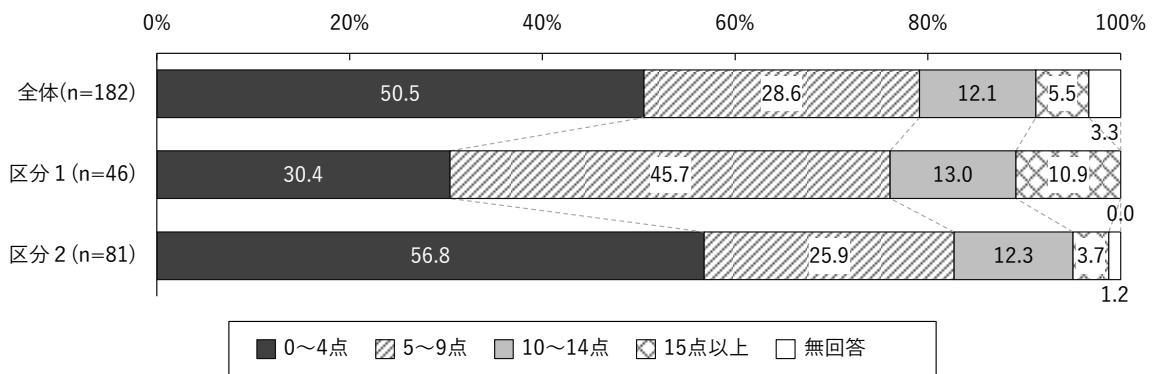


※K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されています。過去30日の間で心の状況(6項目)を指数化します。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとされています。

**中学校2年生** 問15 あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。



**16-17歳** 問16 あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。



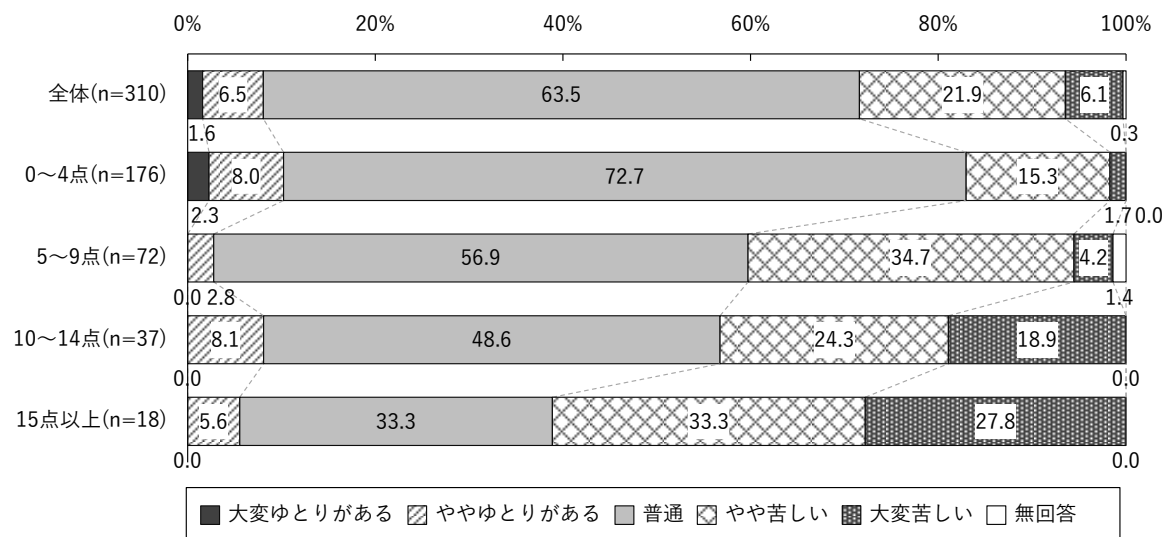


## 心の状態×現在の暮らしの状況

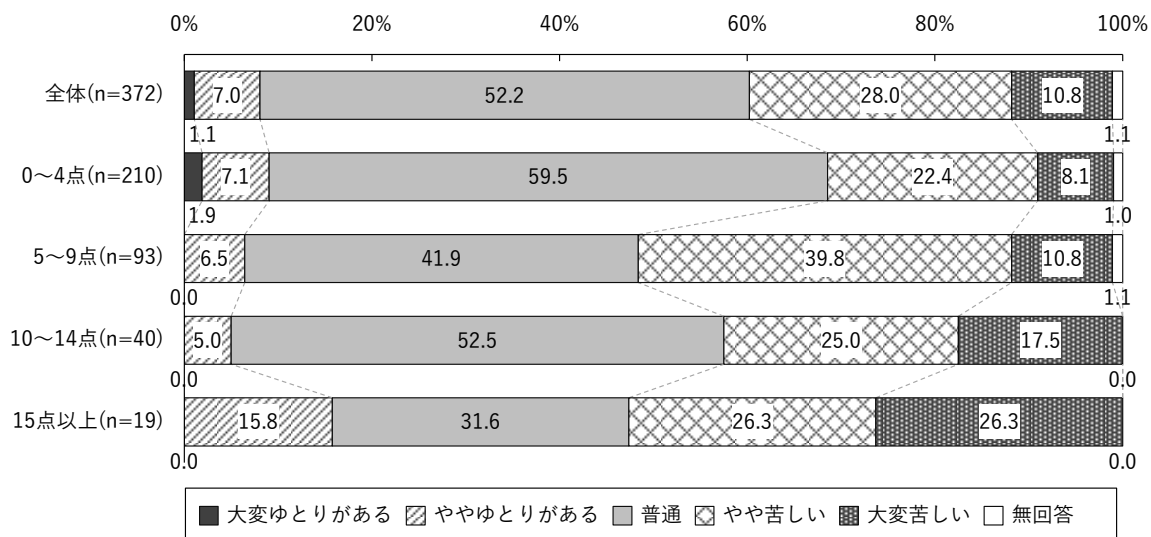
【保護者設問】

心の状態別に現在の暮らしの状況をみたところ、いずれの年齢層でも心の状態を示す合計点が高くなるにつれ、暮らしの状況が「大変苦しい」と回答する割合が高くなっています。

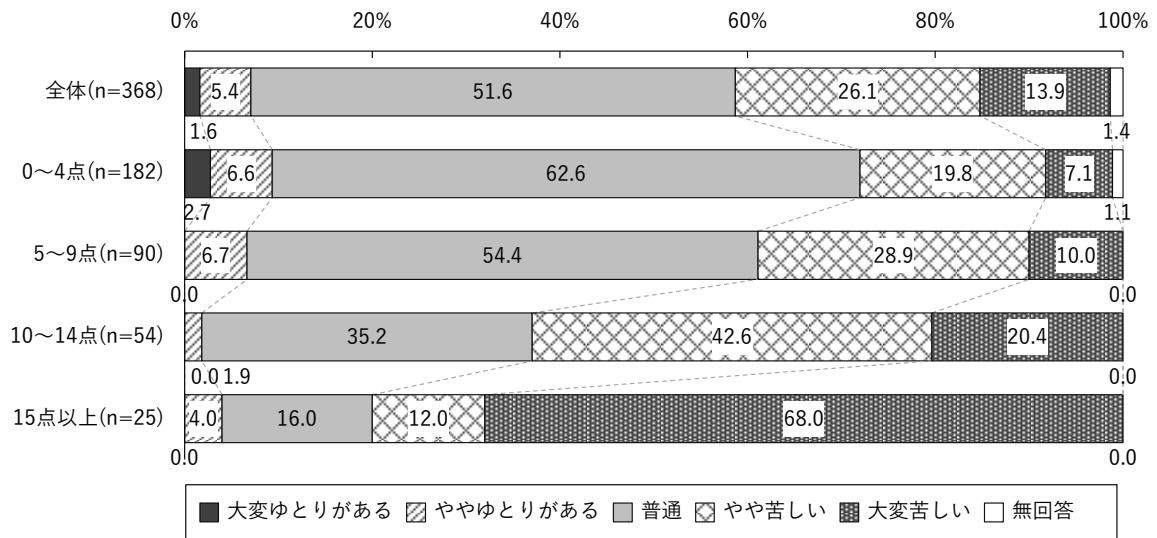
### 小学校1年生



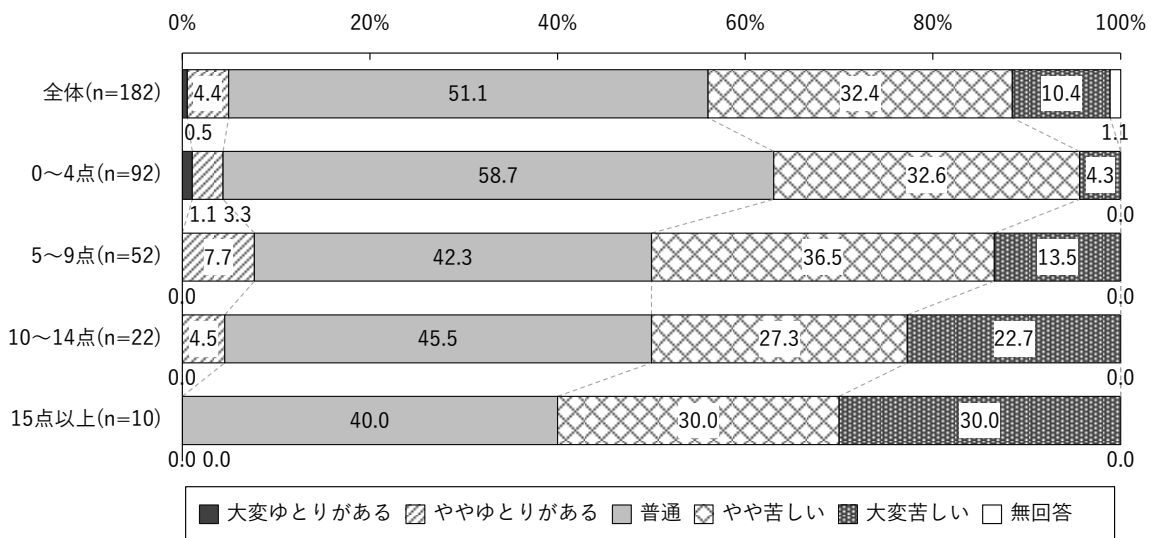
### 小学校5年生



中学校2年生



16-17歳



#### ④頼れる親族・友人の有無

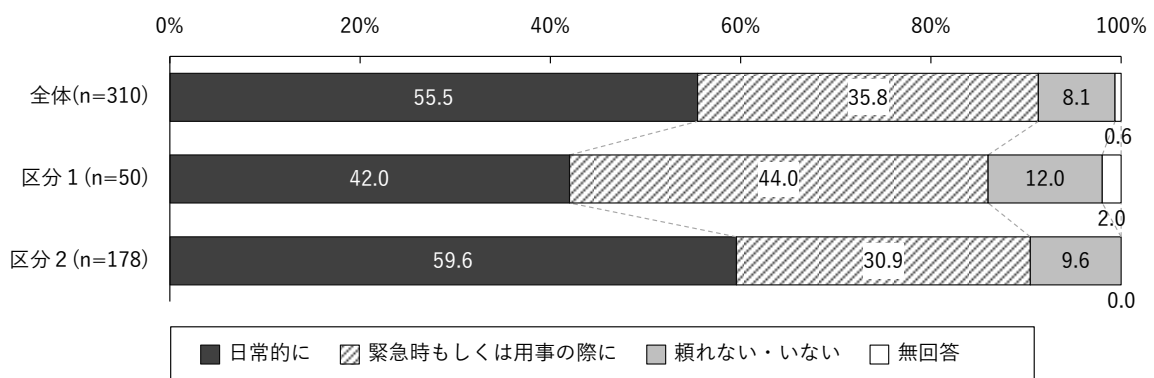
##### A 親族

【保護者設問】

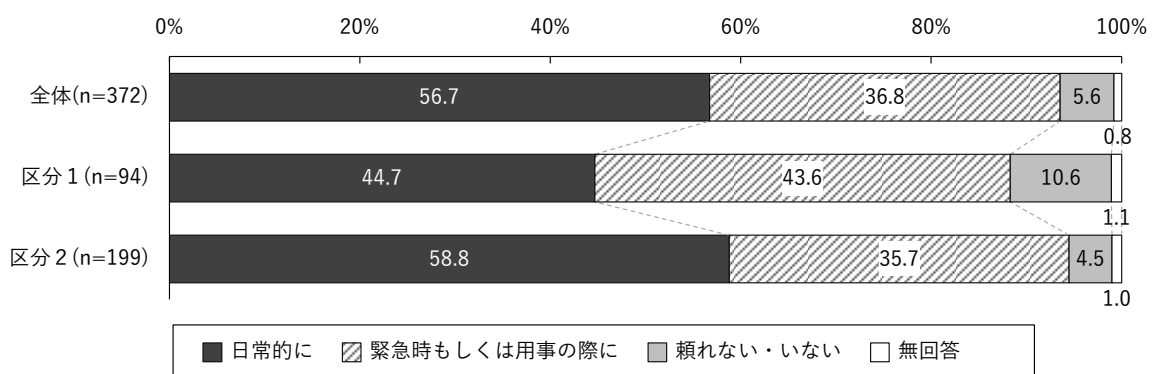
保護者の頼れる親族の有無について「日常的に」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で55.5%、小学校5年生で56.7%、中学校2年生で55.4%、16-17歳で60.4%となっています。

区分別にみると「日常的に」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

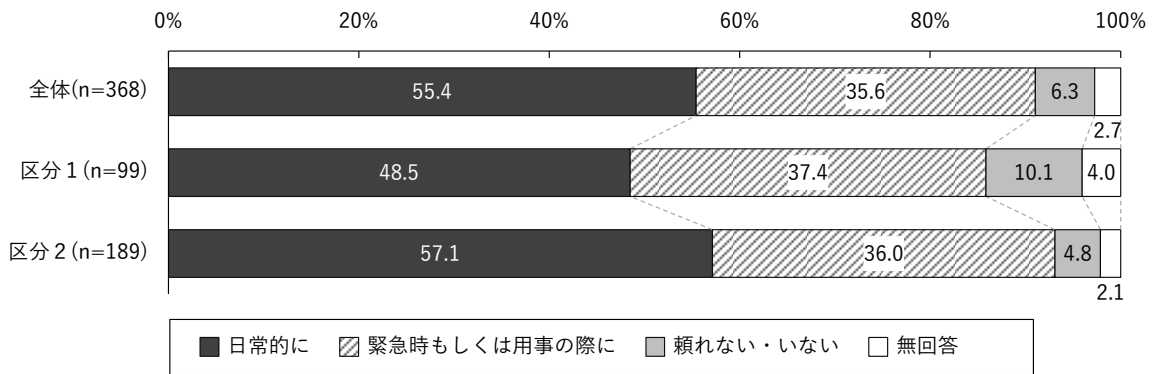
**小学校1年生** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の際などに頼れる親族や友人などがいますか。



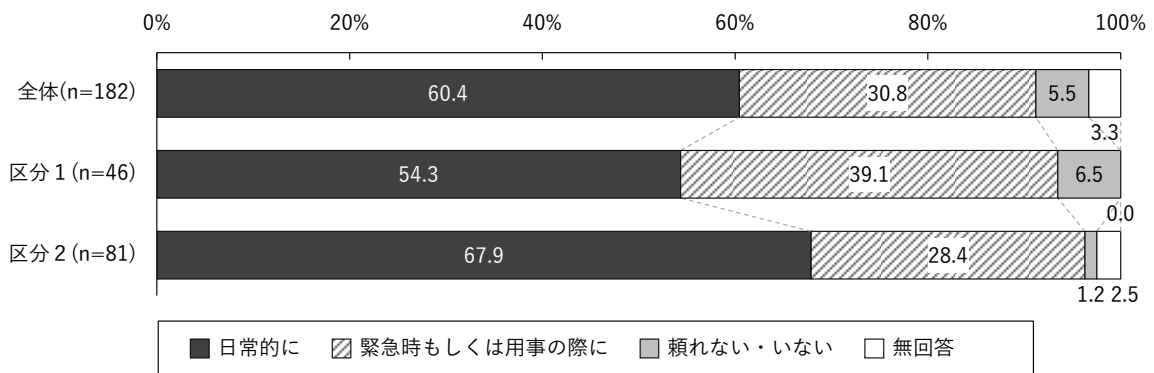
**小学校5年生** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の際などに頼れる親族や友人などがいますか。



**中学校2年生** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。



**16-17歳** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。



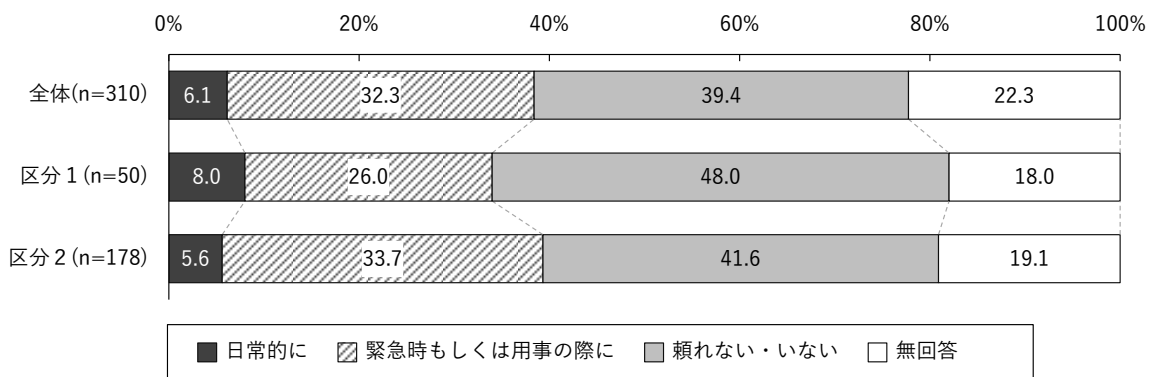
## B 友人

【保護者設問】

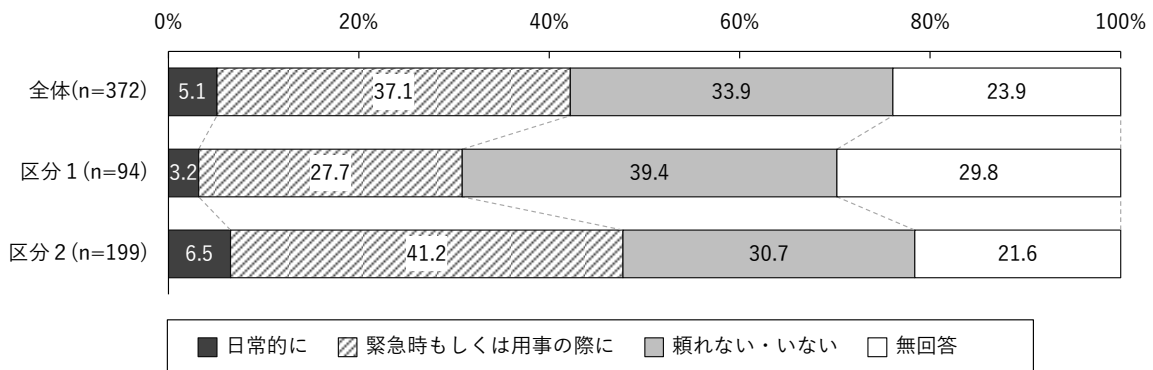
保護者の頼れる友人の有無について「頼れない・いない」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で39.4%、小学校5年生で33.9%、中学校2年生で34.8%、16-17歳で31.3%となっています。

区別にみると「頼れない・いない」と回答した割合は、小学校1年生、小学校5年生、16-17歳で区分1の方が高くなっています。

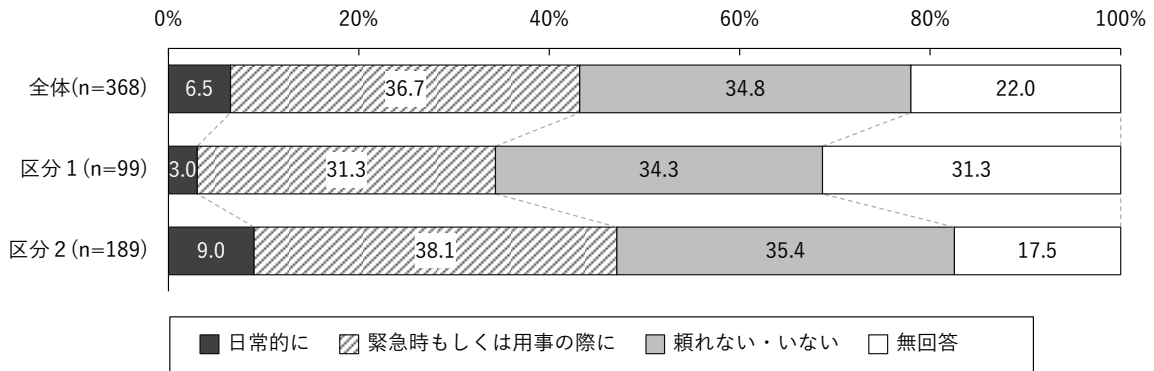
**小学校1年生** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の際などに頼れる親族や友人などがいますか。



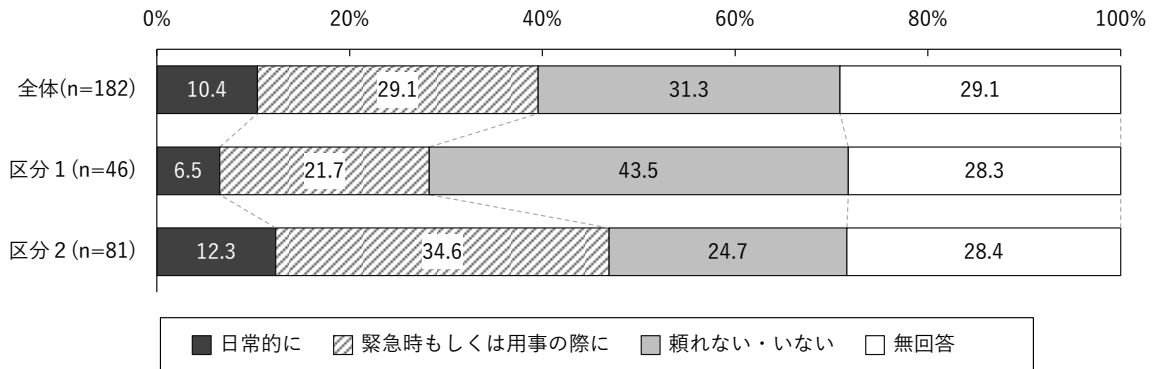
**小学校5年生** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の際などに頼れる親族や友人などがいますか。



**中学校2年生** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。



**16-17歳** 問8 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。



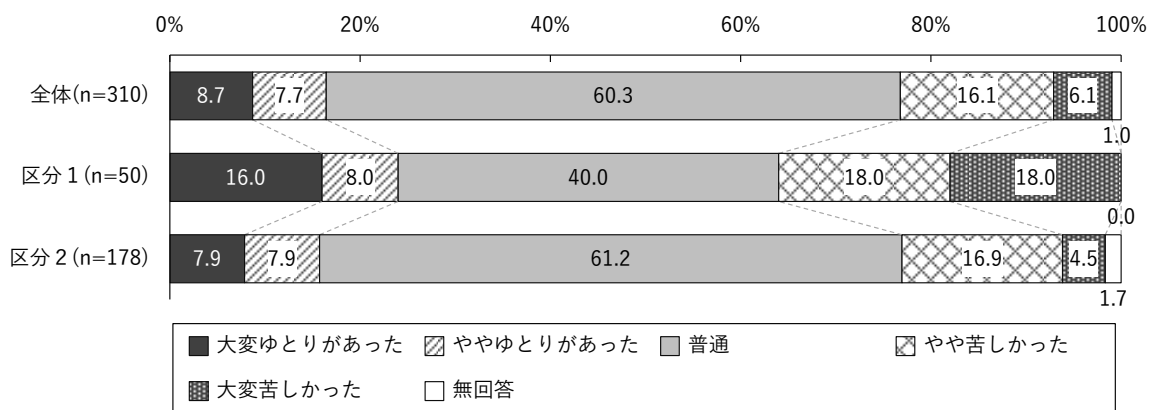
### ⑤15歳の頃の（主観的）暮らし向き

【保護者設問】

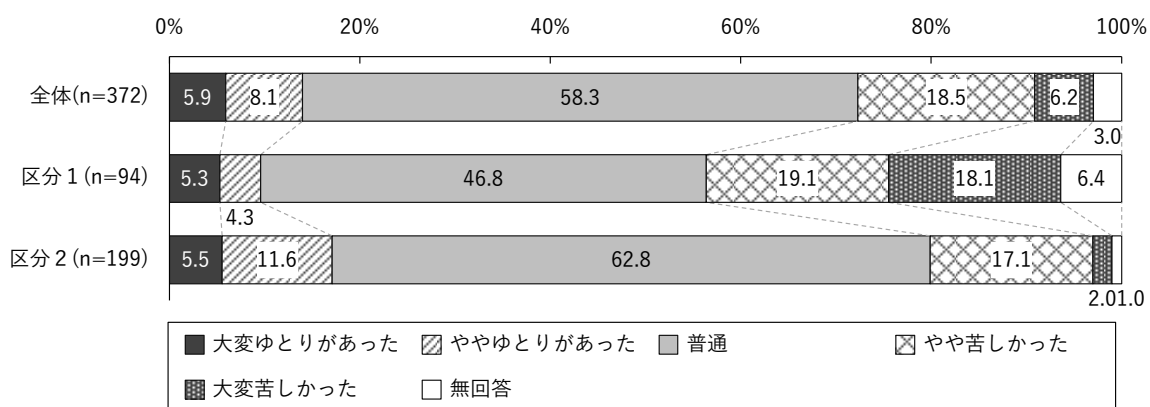
保護者の15歳の頃の（主観的）暮らし向きについて「やや苦しかった」「大変苦しかった」を合わせた『苦しかった』と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で22.2%、小学校5年生で24.7%、中学校2年生で25.3%、16-17歳で33.5%となっています。

区分別にみると『苦しかった』と回答した割合は、小学校1年生では区分1で36.0%、区分2で21.4%、小学校5年生では区分1で37.2%、区分2で19.1%、中学校2年生では区分1で33.4%、区分2で24.9%、16-17歳では区分1で41.3%、区分2で32.1%といずれも区分1の方が高くなっています。

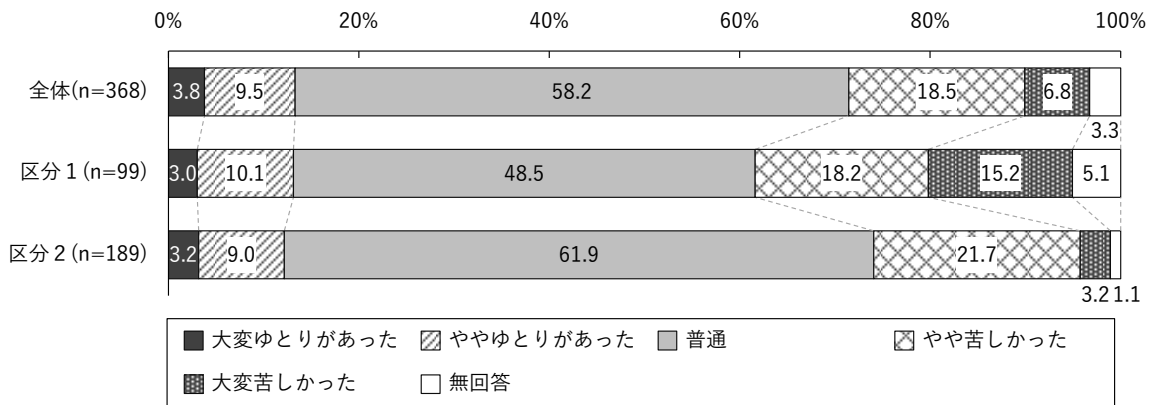
**小学校1年生** 問43 あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。



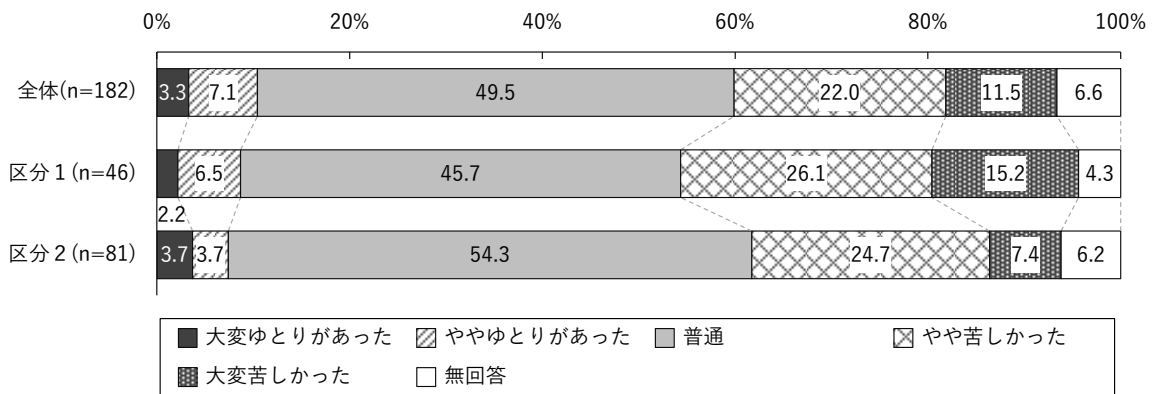
**小学校5年生** 問31 あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。



**中学校2年生** 問31 あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。



**16-17歳** 問33 あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。





## (2) 世帯の状況

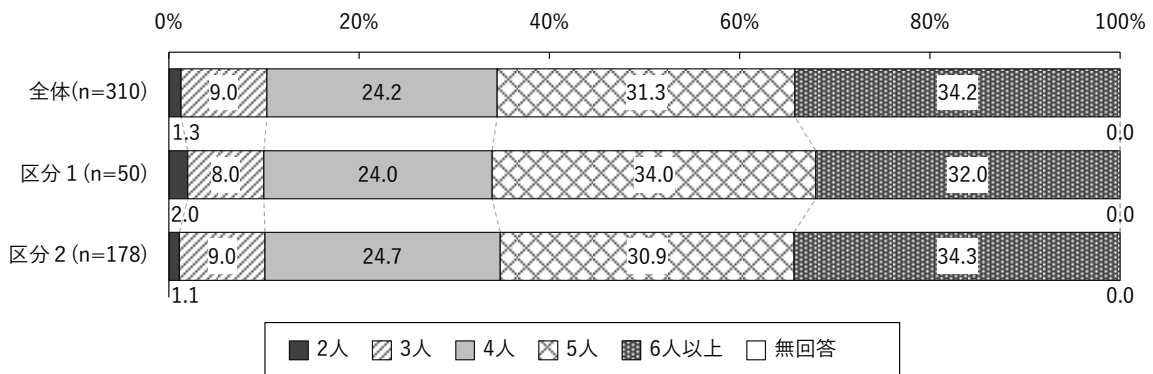
### ①同居家族の人数

【保護者設問】

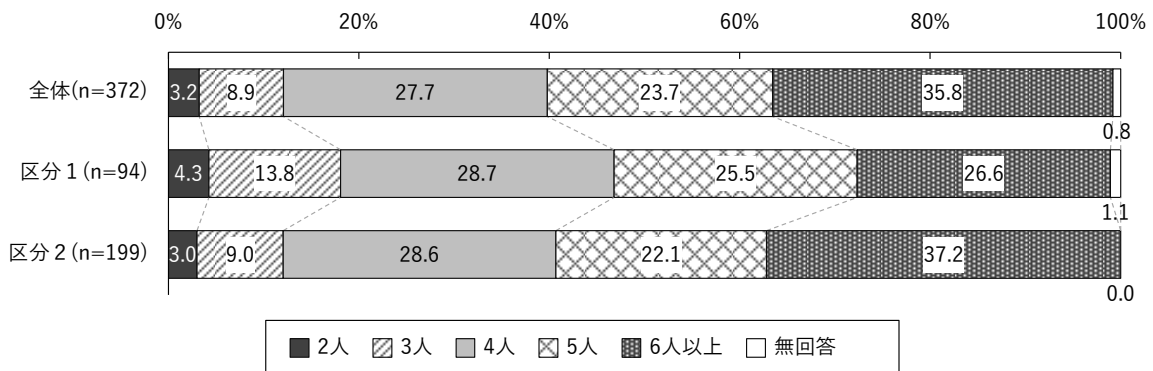
同居家族の人数について「6人以上」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で34.2%、小学校5年生で35.8%、中学校2年生で35.9%、16-17歳で30.2%といずれも最も高くなっています。

区分別にみると「2人」、「3人」と回答した割合は、小学校5年生、中学校2年生、16-17歳では区分1の方が高く、同居家族が少ない傾向となっています。

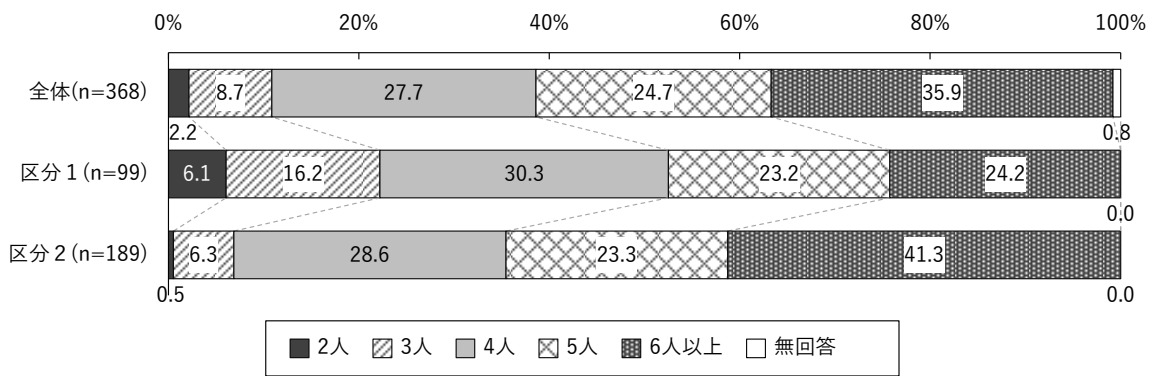
**小学校1年生** 問5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。



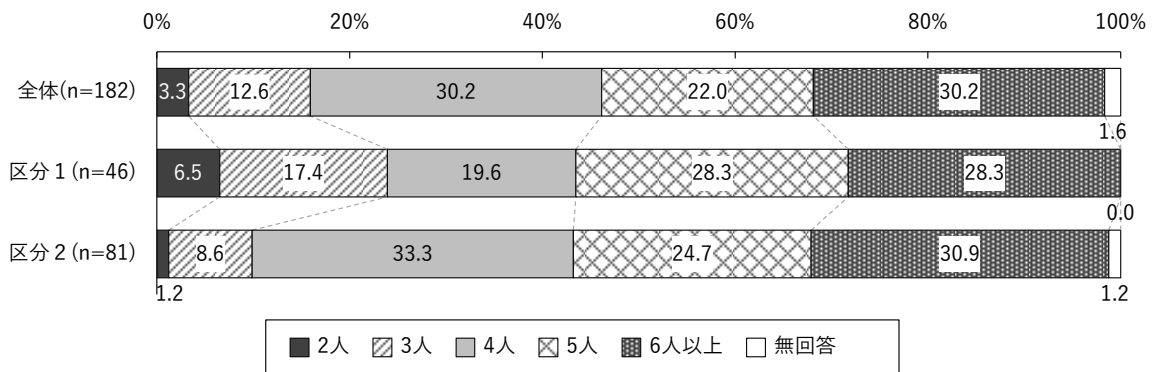
**小学校5年生** 問5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。



中学校2年生 問5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。



16-17歳 問5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。



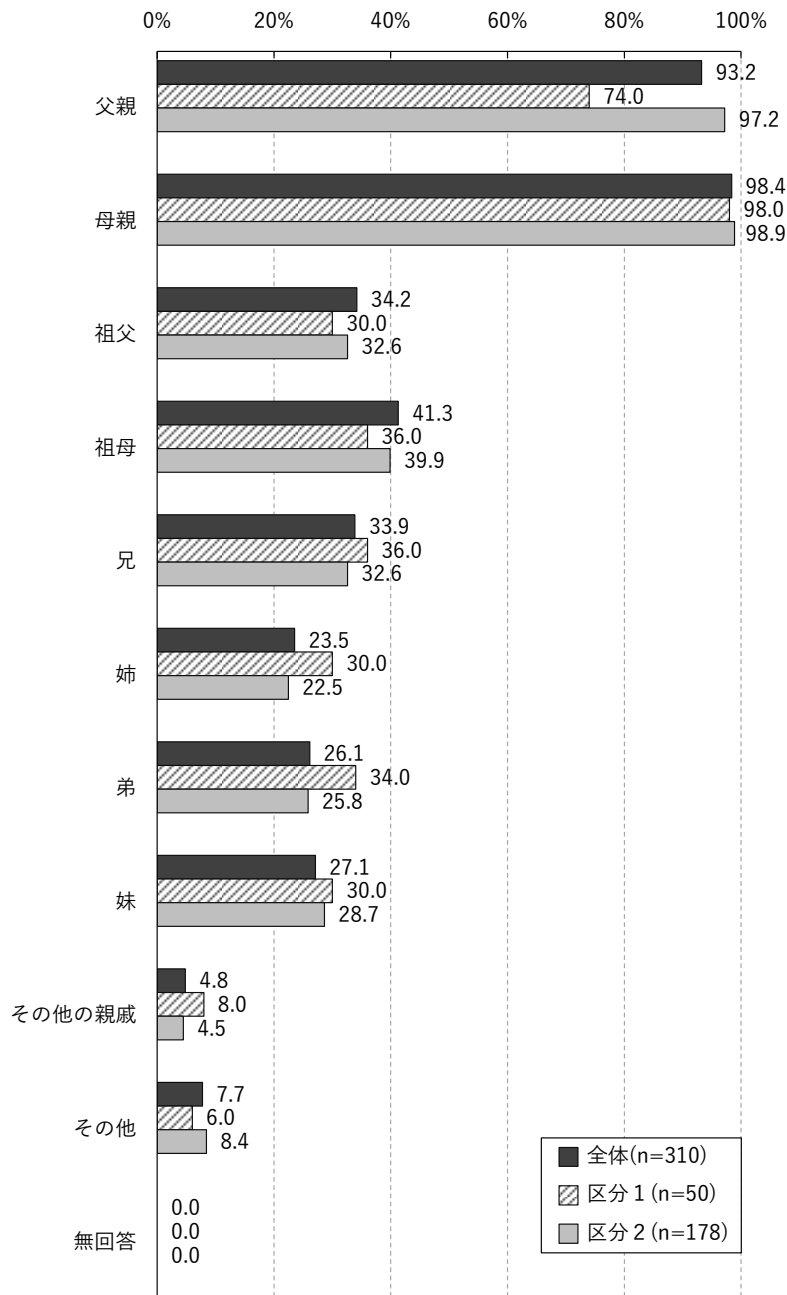
## ②世帯構成

【保護者設問】

世帯構成について「父親」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で93.2%、小学校5年生で84.1%、中学校2年生で85.3%、16-17歳で85.7%、「母親」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で98.4%、小学校5年生で98.7%、中学校2年生で97.6%、16-17歳で96.2%といずれも同居の割合は高くなっています。

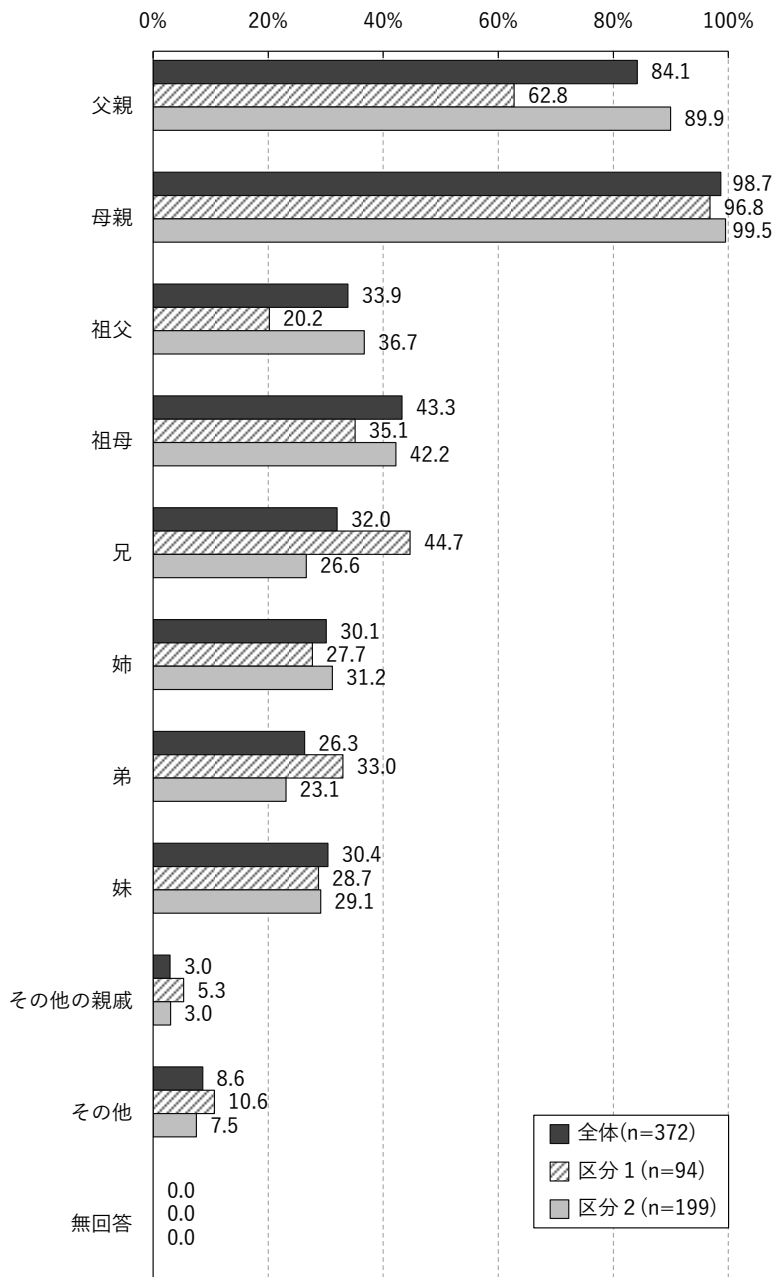
区分別にみると「父親」、「祖父」、「祖母」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が低く、同居していない傾向となっています。

小学校1年生 問6 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。

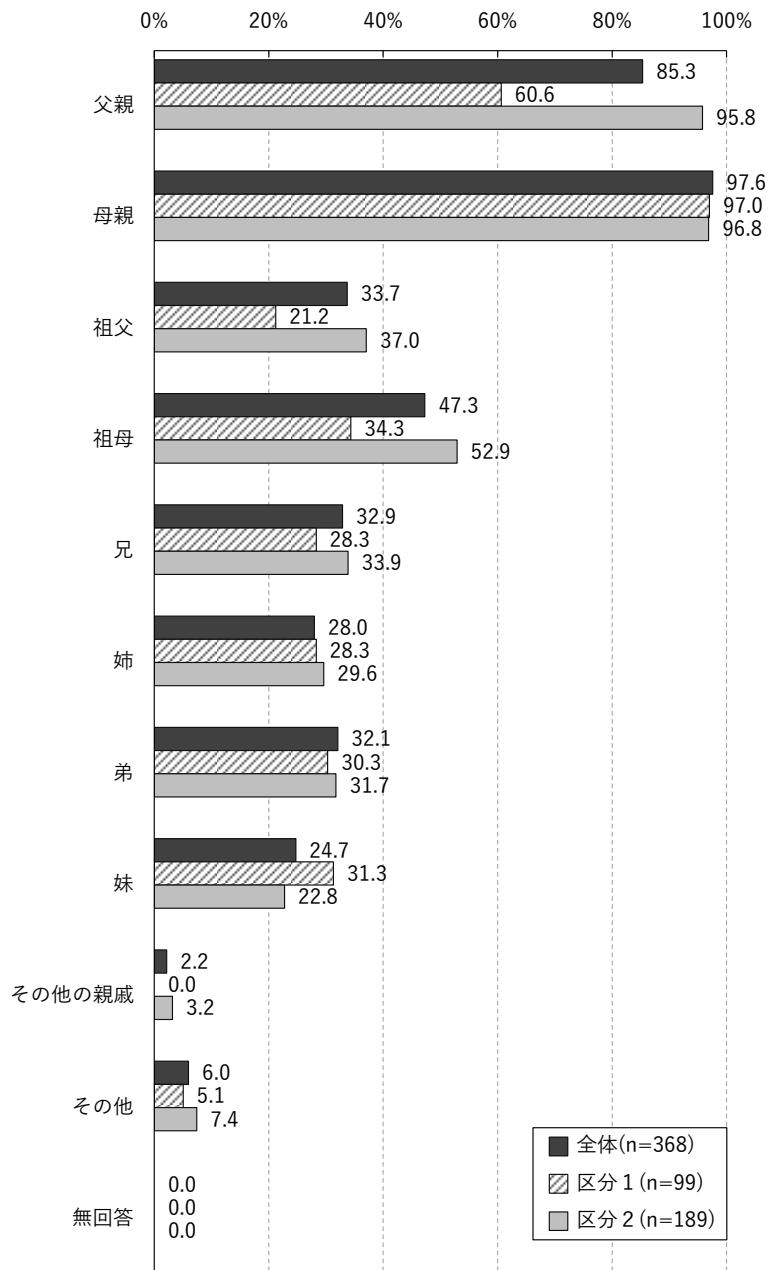


小学校5年生

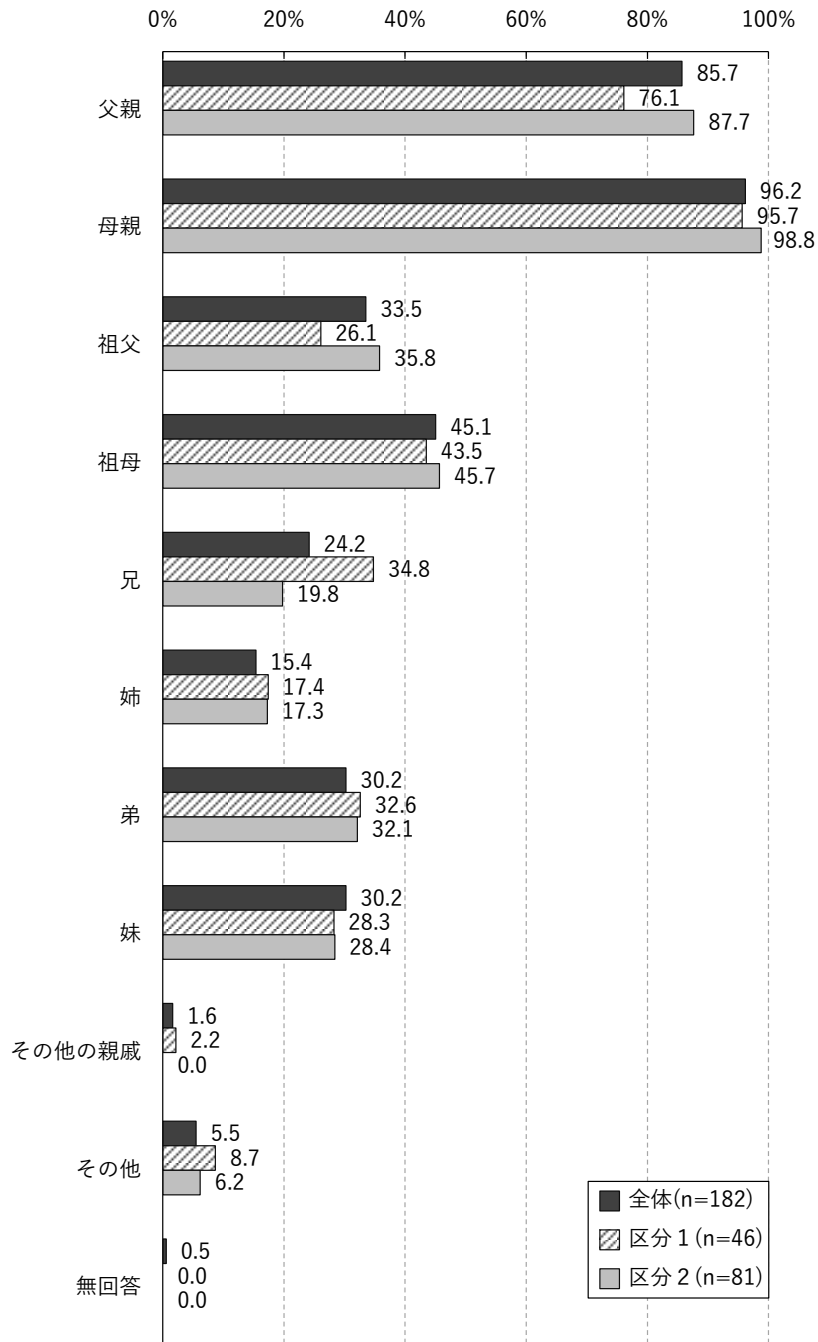
問6 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。



中学校2年生 問6 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。



16-17歳 問6 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。



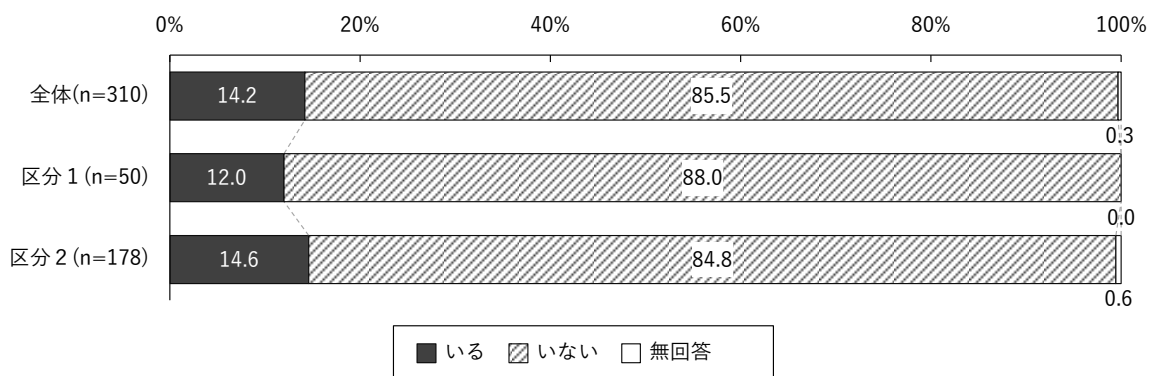
### ③介護が必要な同居家族の有無

【保護者設問】

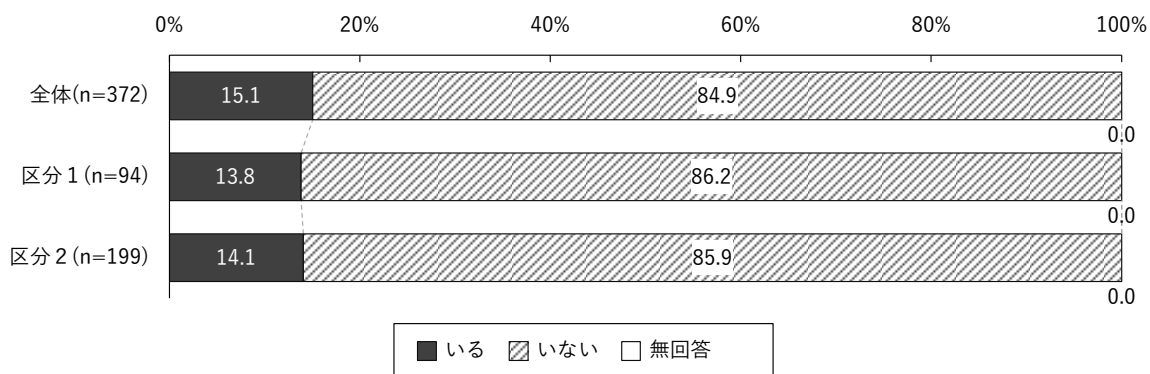
介護が必要な同居家族の有無について「いる」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で14.2%、小学校5年生で15.1%、中学校2年生で15.5%、16-17歳で17.6%となっています。

区分別にみると「いる」は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

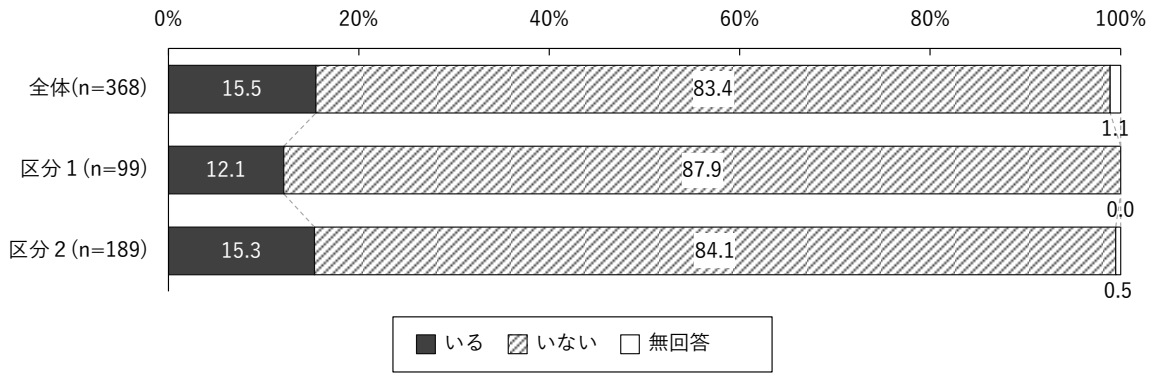
**小学校1年生** 問7 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。



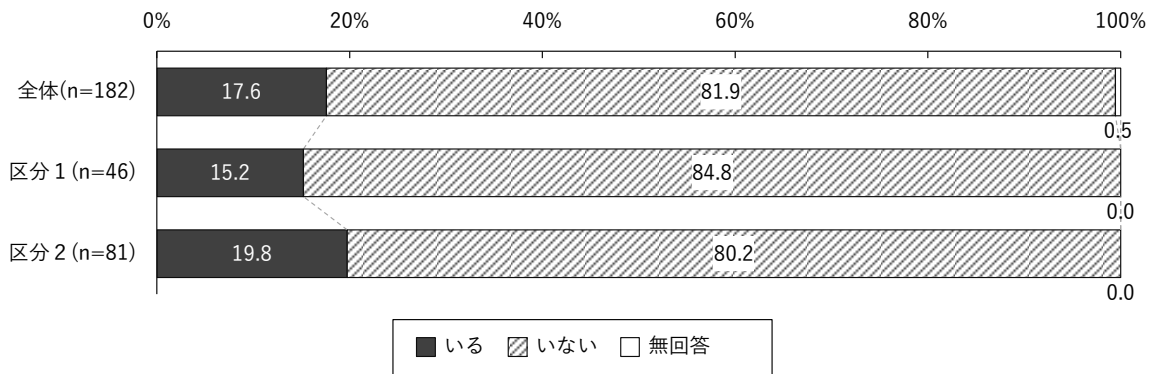
**小学校5年生** 問7 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。



**中学校2年生** 問7 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。



**16-17歳** 問7 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。





### (3) 母親の就業状況など

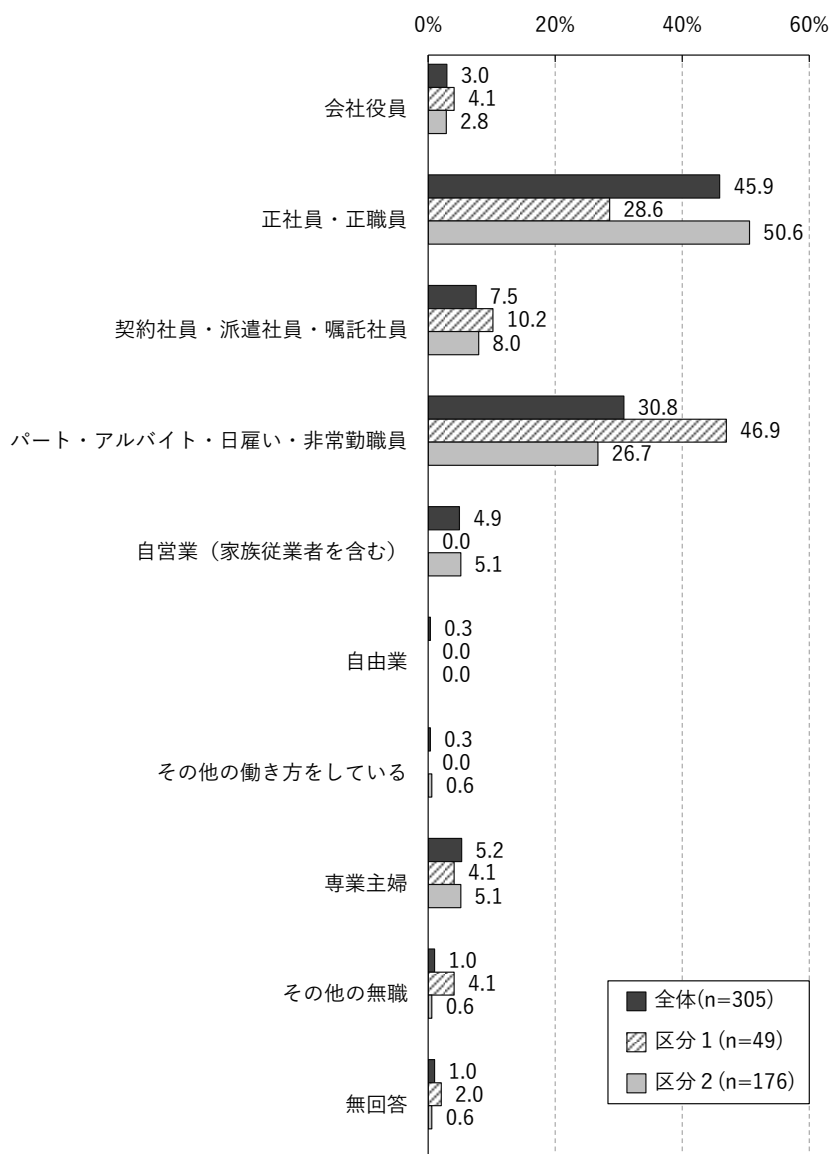
#### ①職業

【保護者設問】

母親の職業について、全体をみると小学校1年生では「正社員・正職員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」がそれぞれ45.9%、30.8%、小学校5年生では47.4%、28.3%、中学校2年生では48.7%、29.8%、16-17歳では57.1%、22.3%となっています。

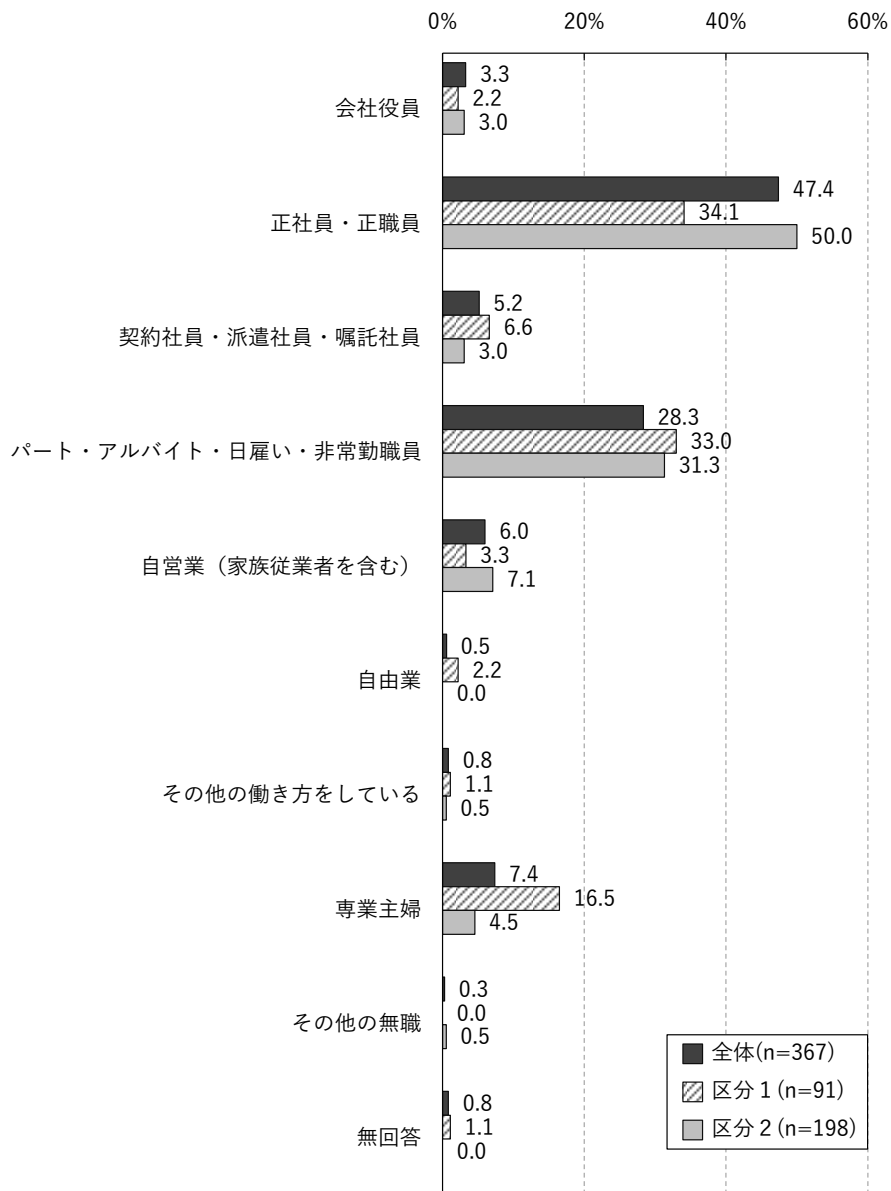
区分別にみると「正社員・正職員」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」は中学校2年生を除く学年で区分1の方が高くなっています。「契約社員・派遣社員・嘱託社員」はいずれも区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問9 お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



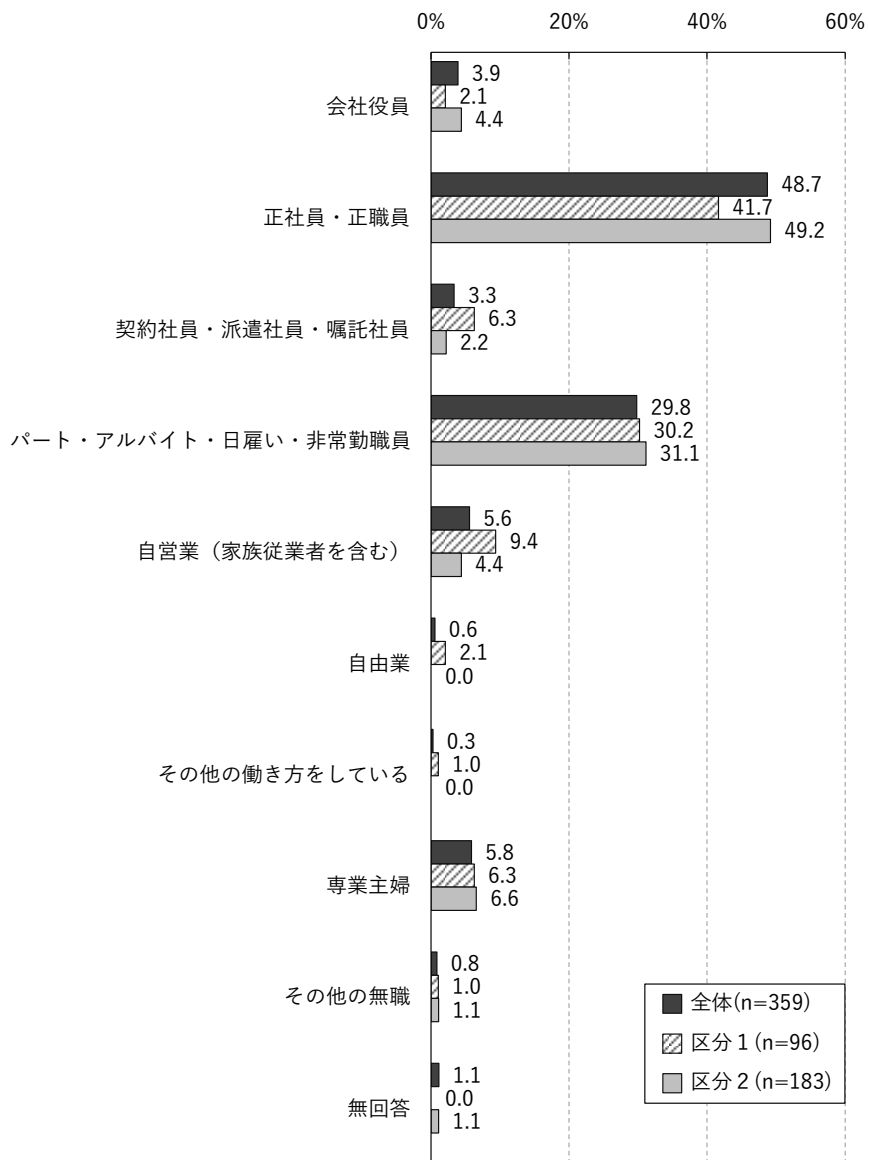
※回答のあった項目のみ

小学校5年生 問9 お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



※回答のあった項目のみ

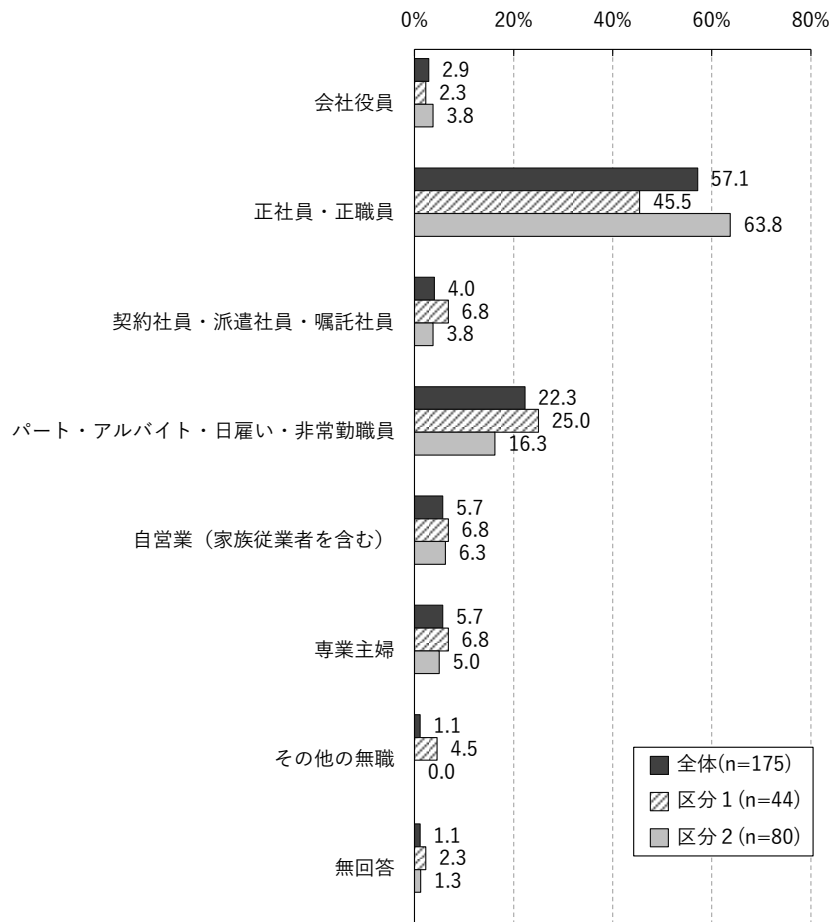
問9 お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



※回答のあった項目のみ

16-17歳

問10 お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



※回答のあった項目のみ

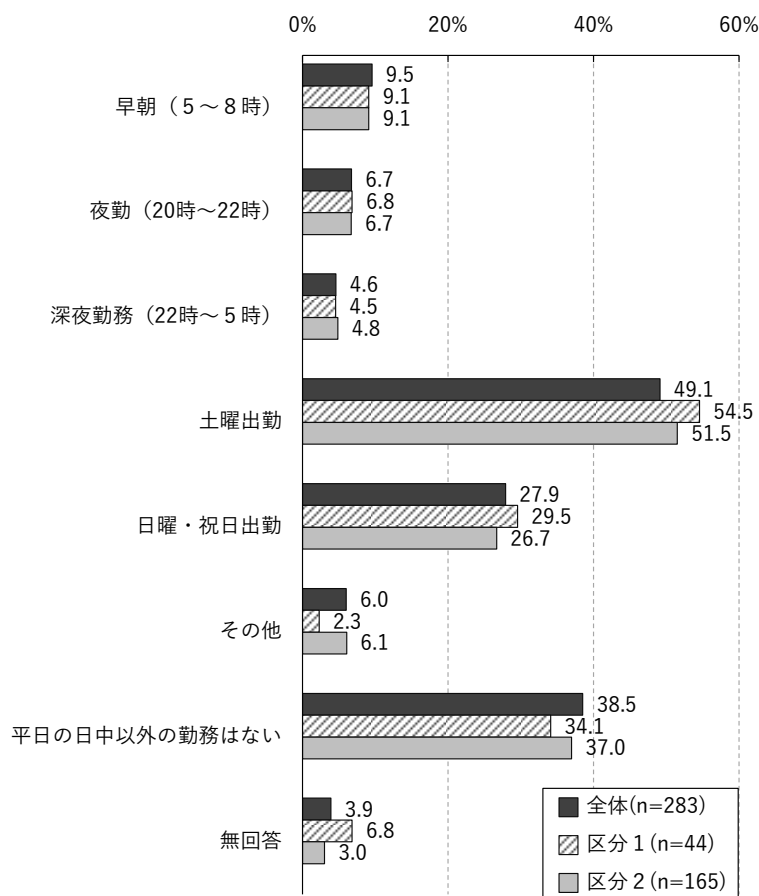
## ②平日の日中以外の勤務状況

【保護者設問】

母親の平日の日中以外の勤務状況について、全体をみると小学校1年生では「土曜出勤」、「日曜・祝日出勤」がそれぞれ49.1%、27.9%、小学校5年生では53.6%、39.9%、中学校2年生では55.6%、38.4%、16-17歳では49.1%、32.9%となっています。

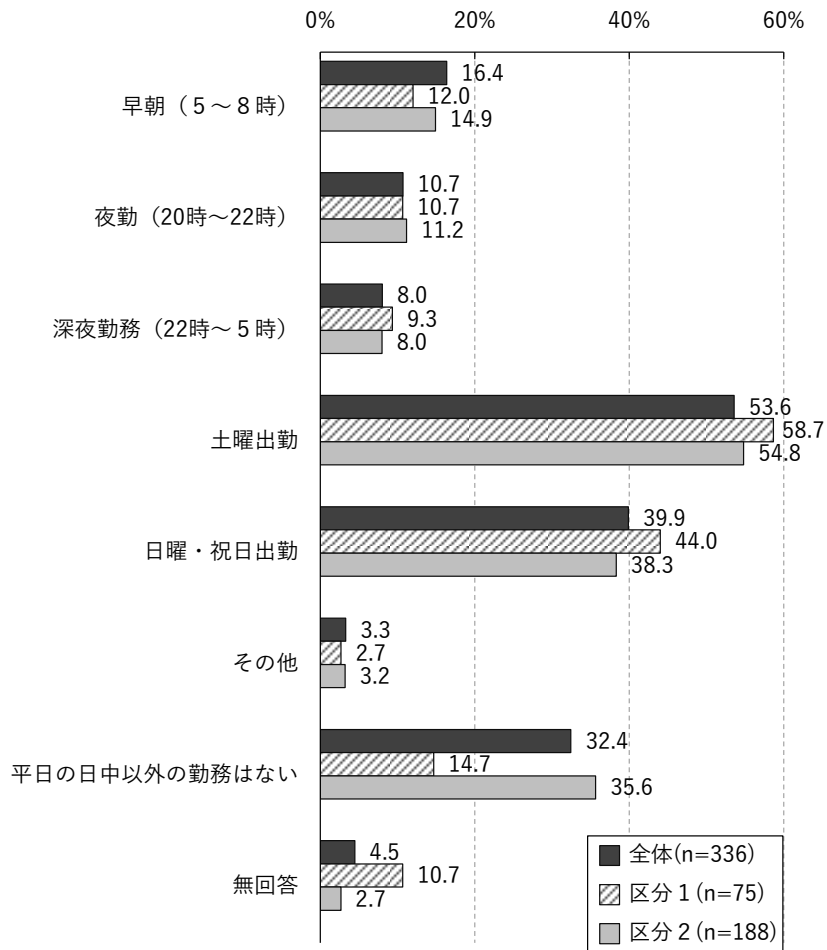
区分別にみると「土曜出勤」、「日曜・祝日出勤」ともにいずれの学年も区分1の方が高くなっています。「平日の日中以外の勤務はない」はいずれも区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問9-3 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。



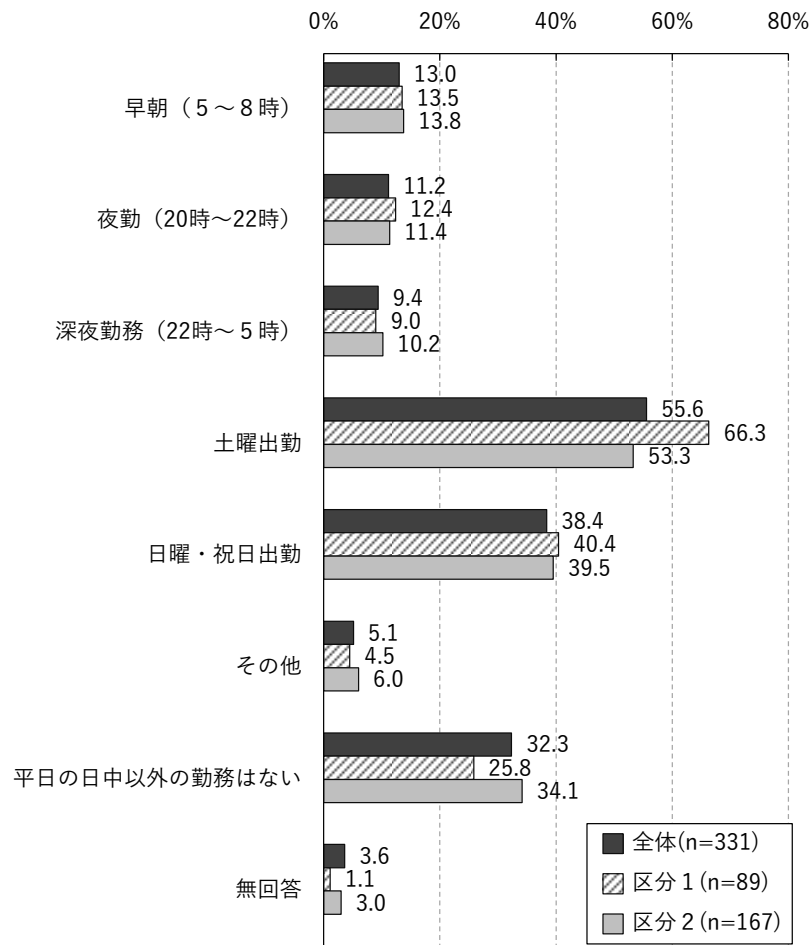
小学校5年生

問9-3 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。



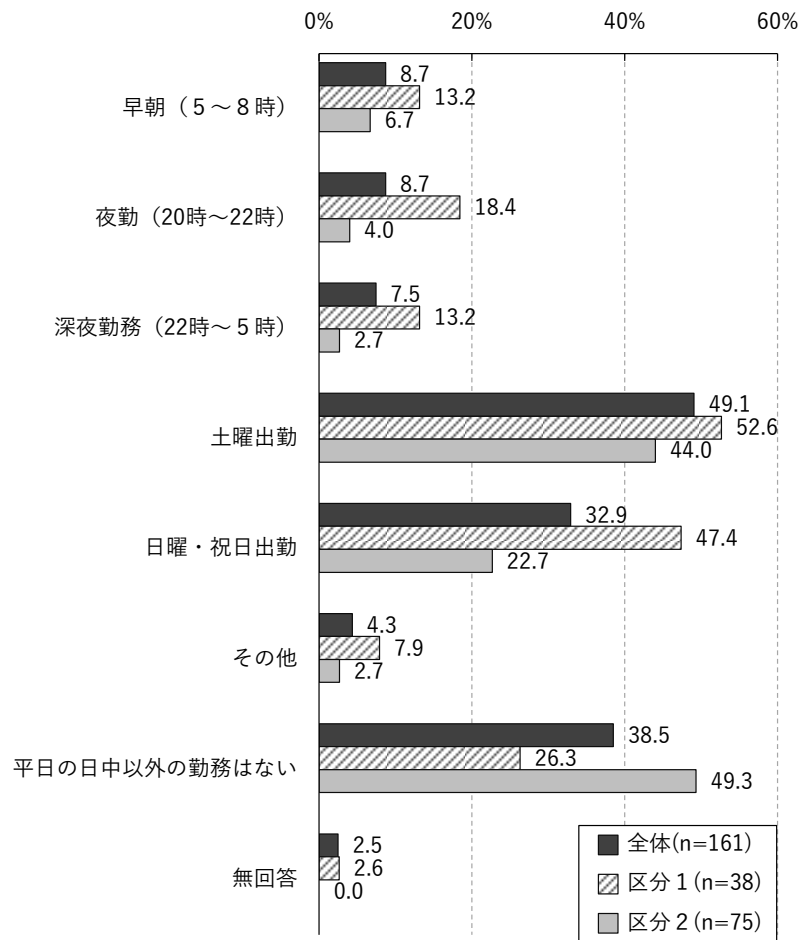
中学校2年生

問9-3 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。



16-17歳

問10-3 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。





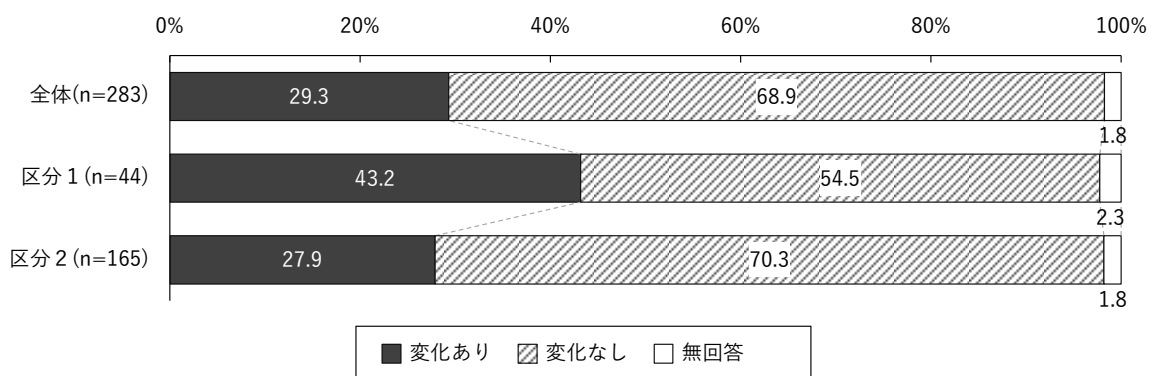
### ③就労状況の変化

【保護者設問】

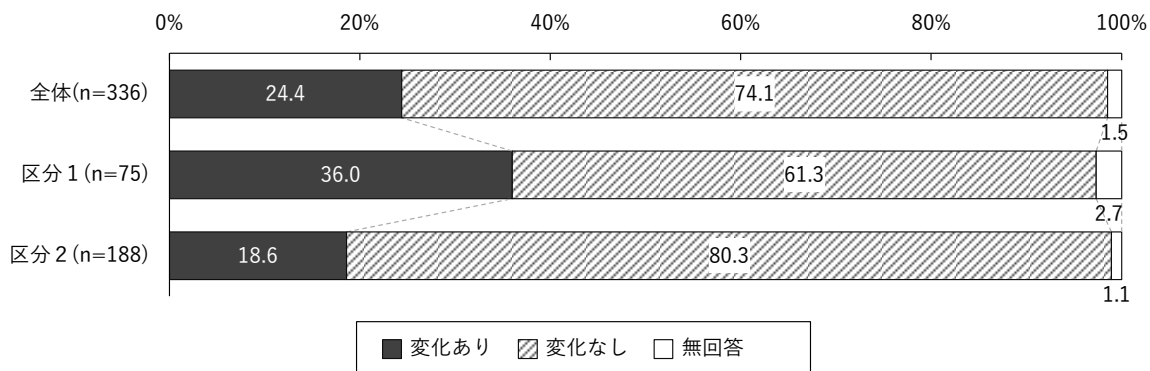
母親の就労状況の変化について、「変化あり」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で29.3%、小学校5年生で24.4%、中学校2年生で22.4%、16-17歳で26.7%となっています。

区別にみると「変化あり」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

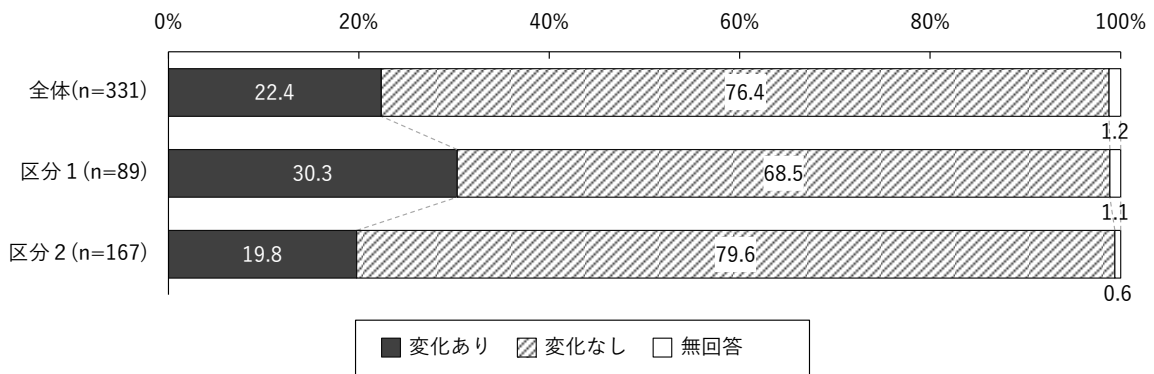
**小学校1年生** 問9-4 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



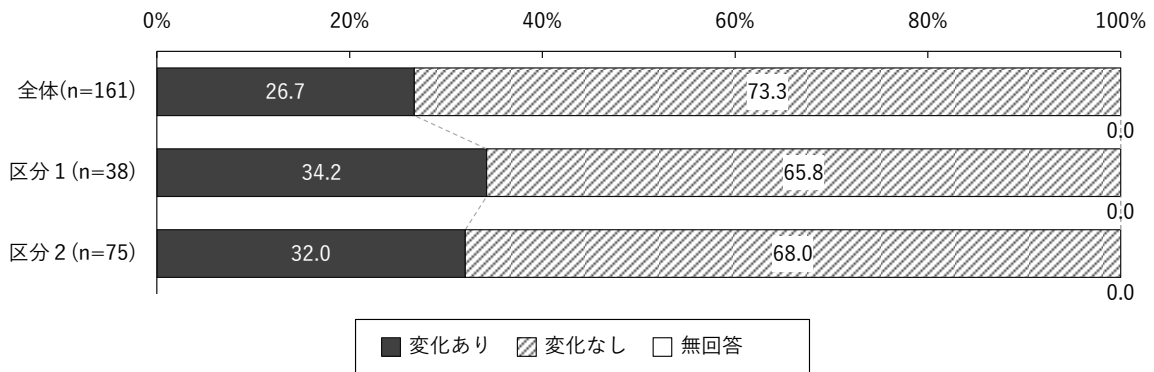
**小学校5年生** 問9-4 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



**中学校2年生** 問9-4 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



**16-17歳** 問10-4 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



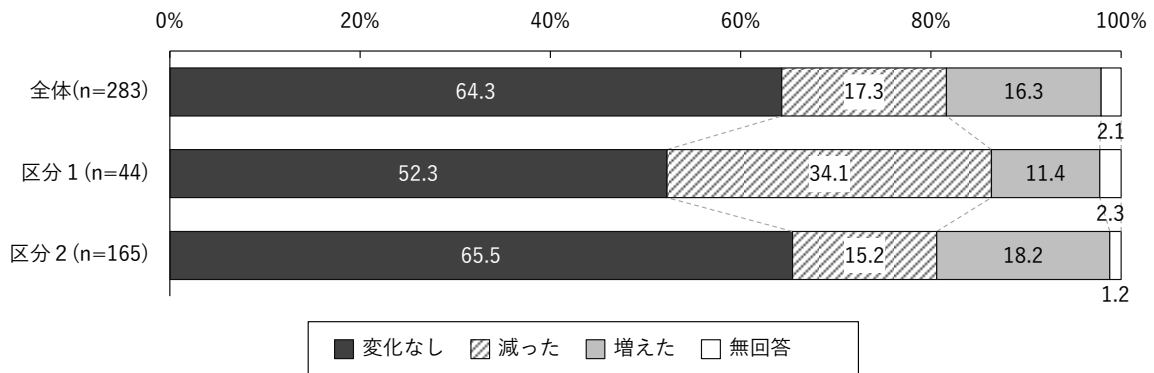
#### ④収入の変化

【保護者設問】

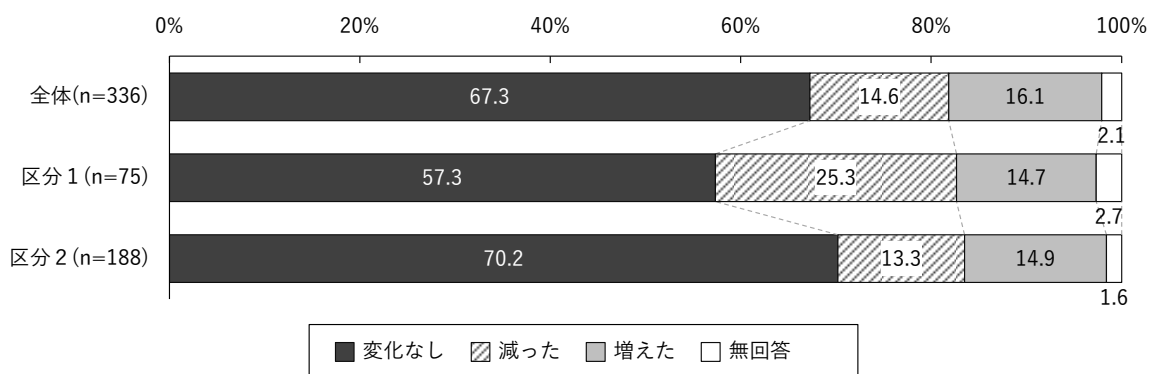
母親の収入の変化について、「減った」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で17.3%、小学校5年生で14.6%、中学校2年生で17.8%、16-17歳で14.9%となっています。

区別にみると「減った」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

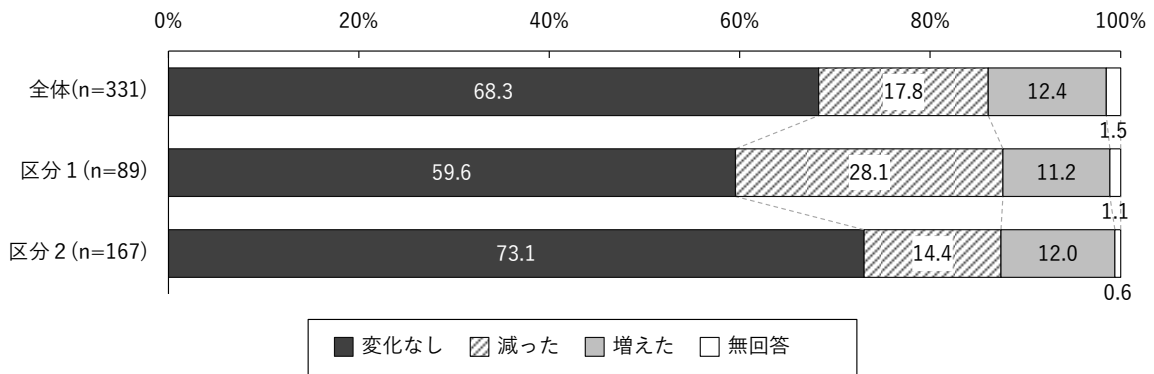
**小学校1年生** 問9-5 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



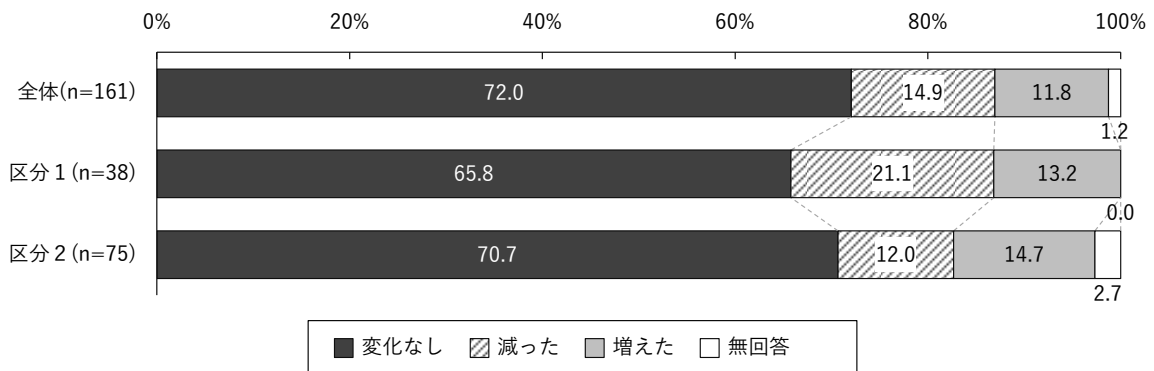
**小学校5年生** 問9-5 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



**中学校2年生** 問9-5 問9で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



**16-17歳** 問10-5 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



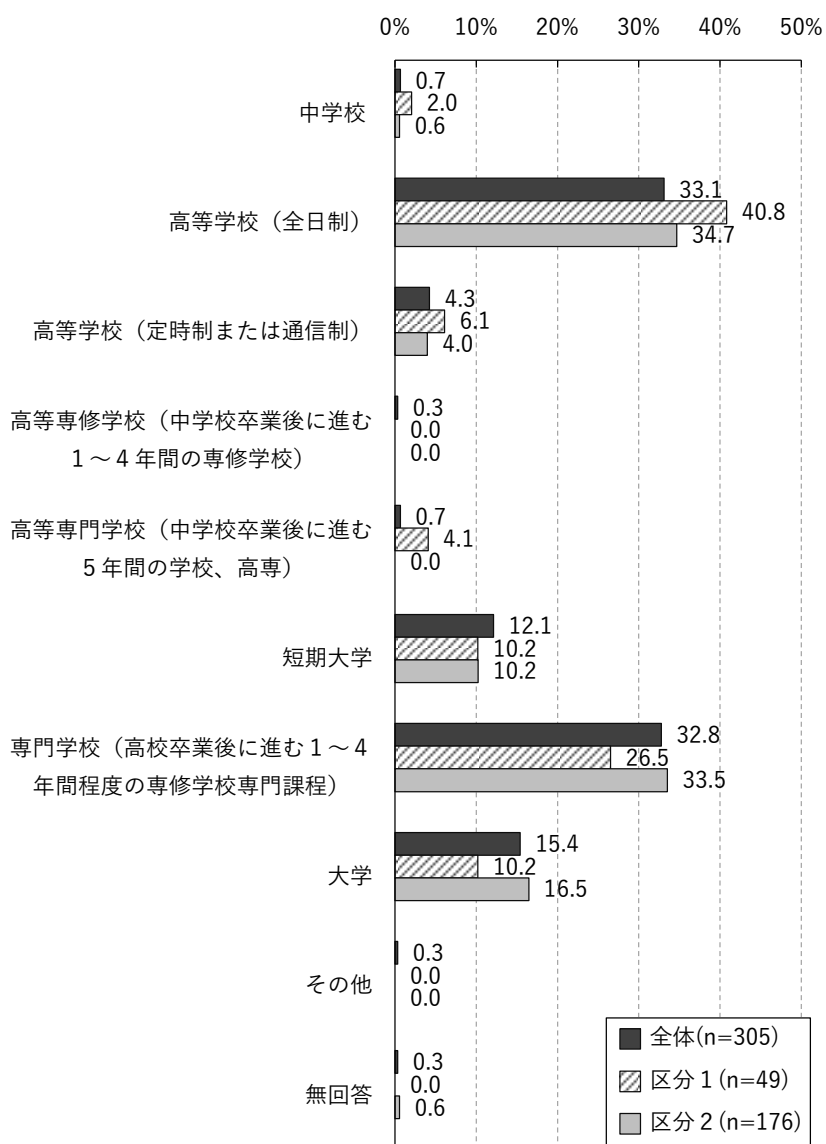
## ⑤最後に通った学校

【保護者設問】

母親の最後に通った学校について、「高等学校（全日制）」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で33.1%、小学校5年生で34.3%、中学校2年生で42.1%、16-17歳で43.4%とそれぞれ最も高くなっています。

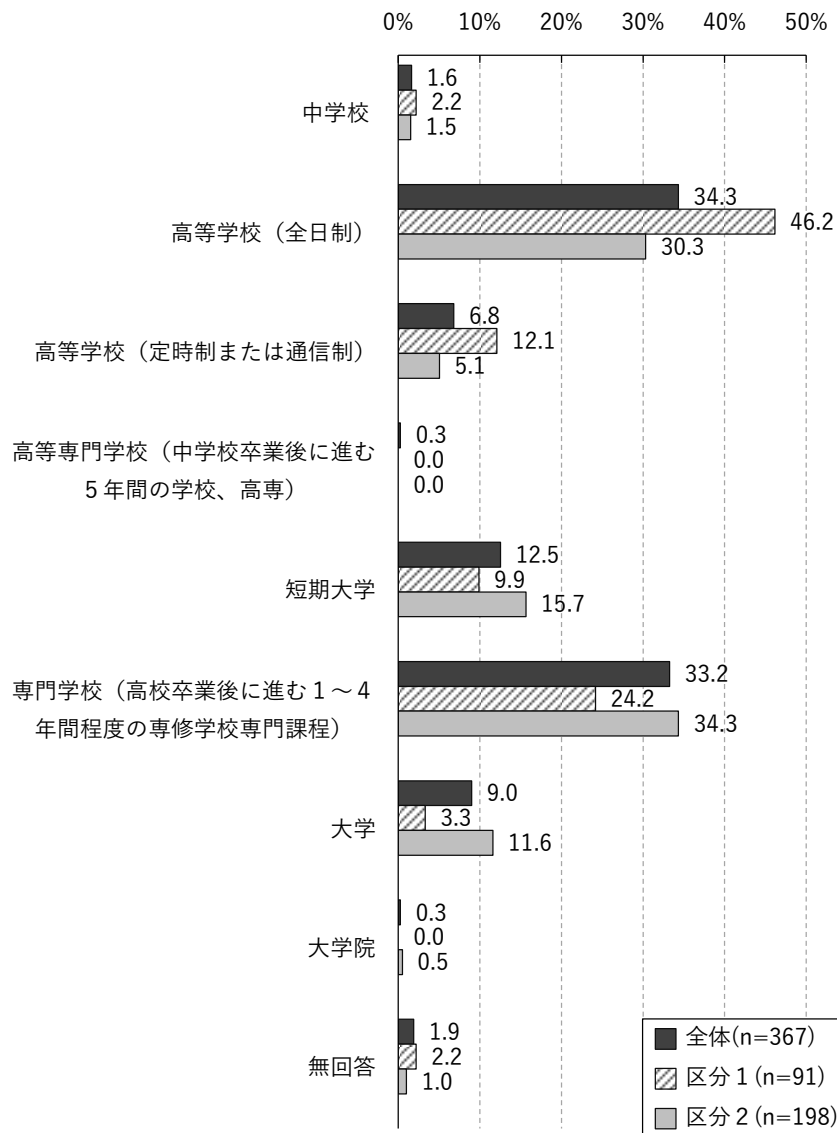
区分別にみると「高等学校（全日制）」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問41 お子さんのお母さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



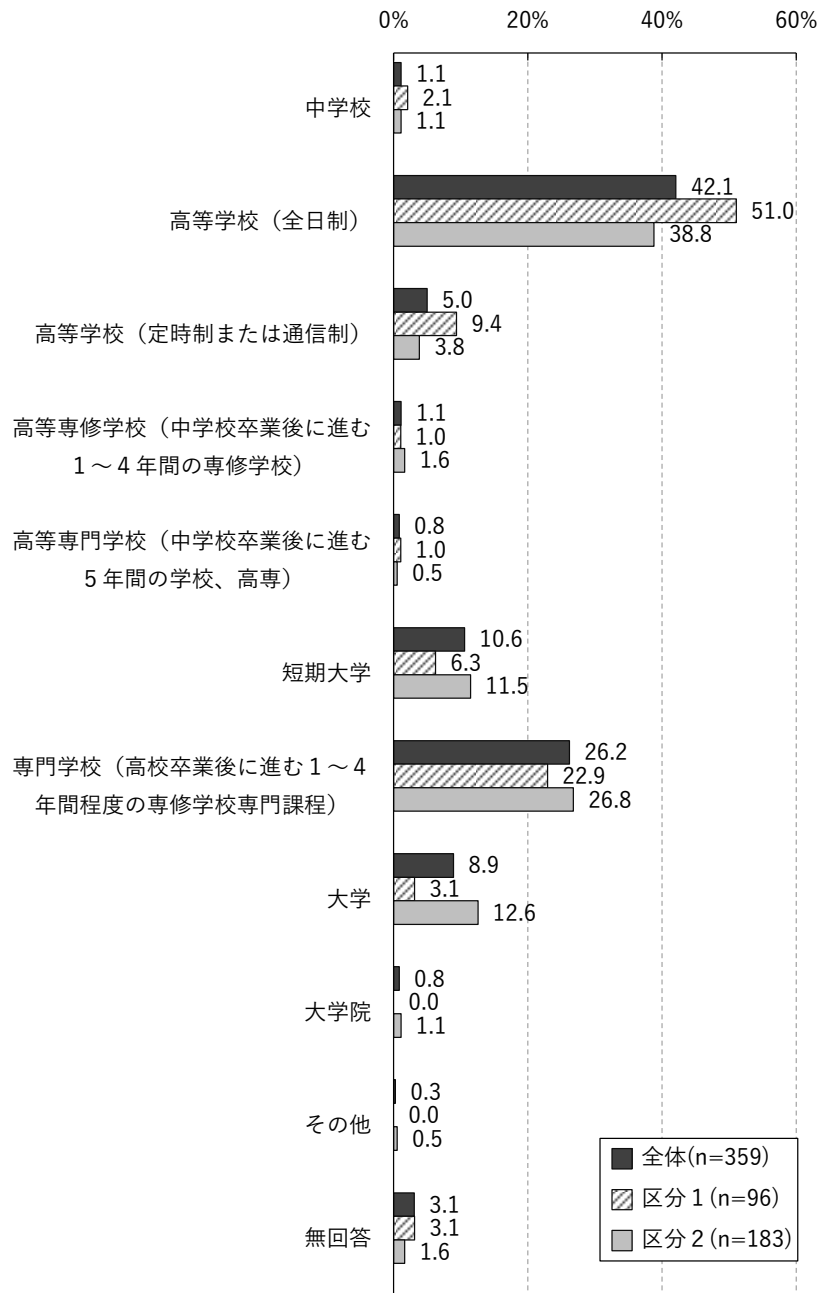
※回答のあった項目のみ

小学校5年生 問29 お子さんのお母さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



※回答のあった項目のみ

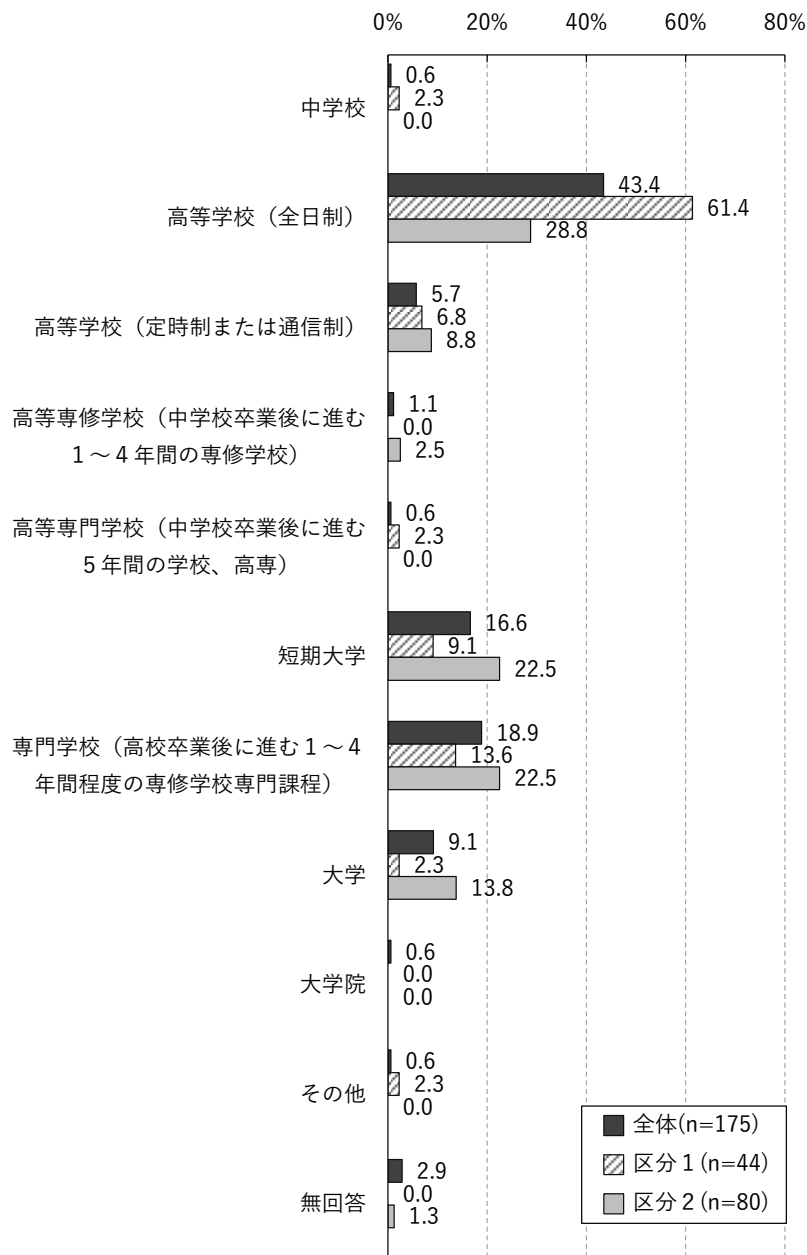
問29 お子さんのお母さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



※回答のあった項目のみ

16-17歳

問31 お子さんのお母さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



※回答のあった項目のみ



#### (4) 父親の就業状況など

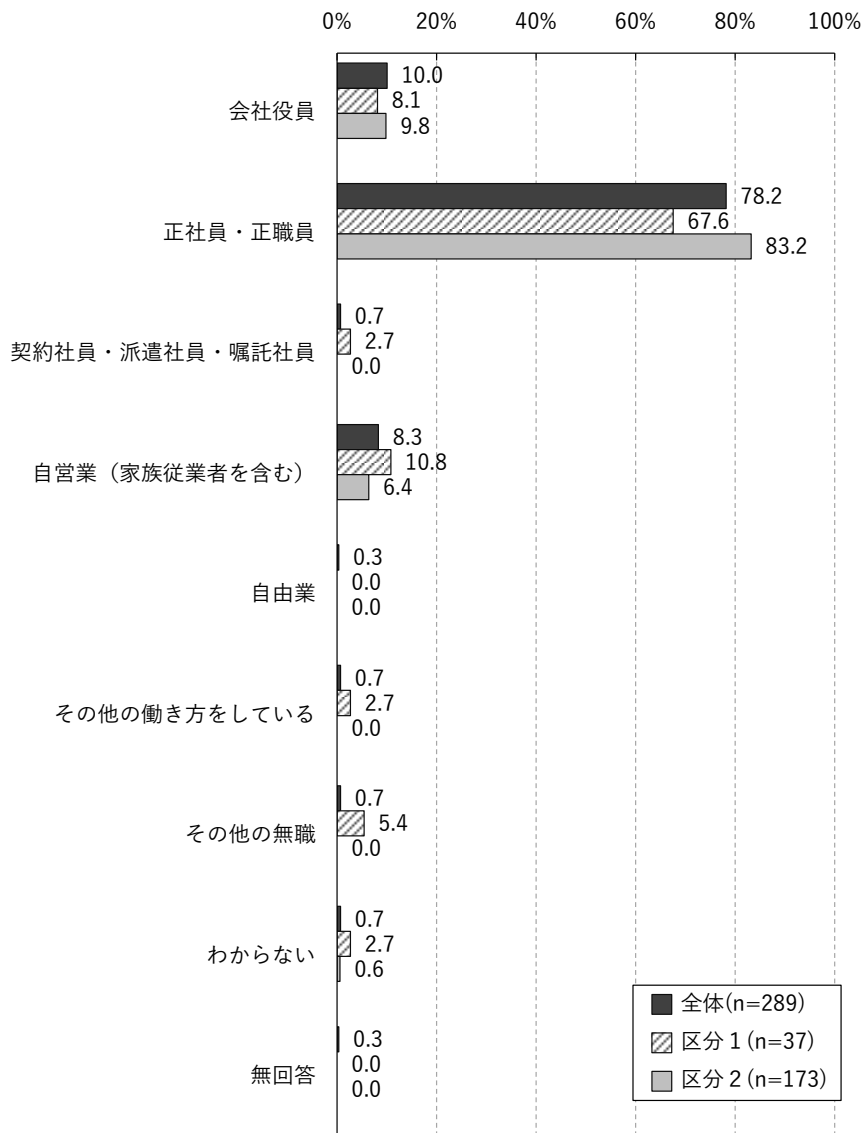
##### ①職業

【保護者設問】

父親の職業について「正社員・正職員」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で78.2%、小学校5年生で74.1%、中学校2年生で73.9%、16-17歳で76.9%となっています。

区分別にみると「正社員・正職員」は小学校1年生、中学校2年生、16-17歳で区分1の方が低くなっています。

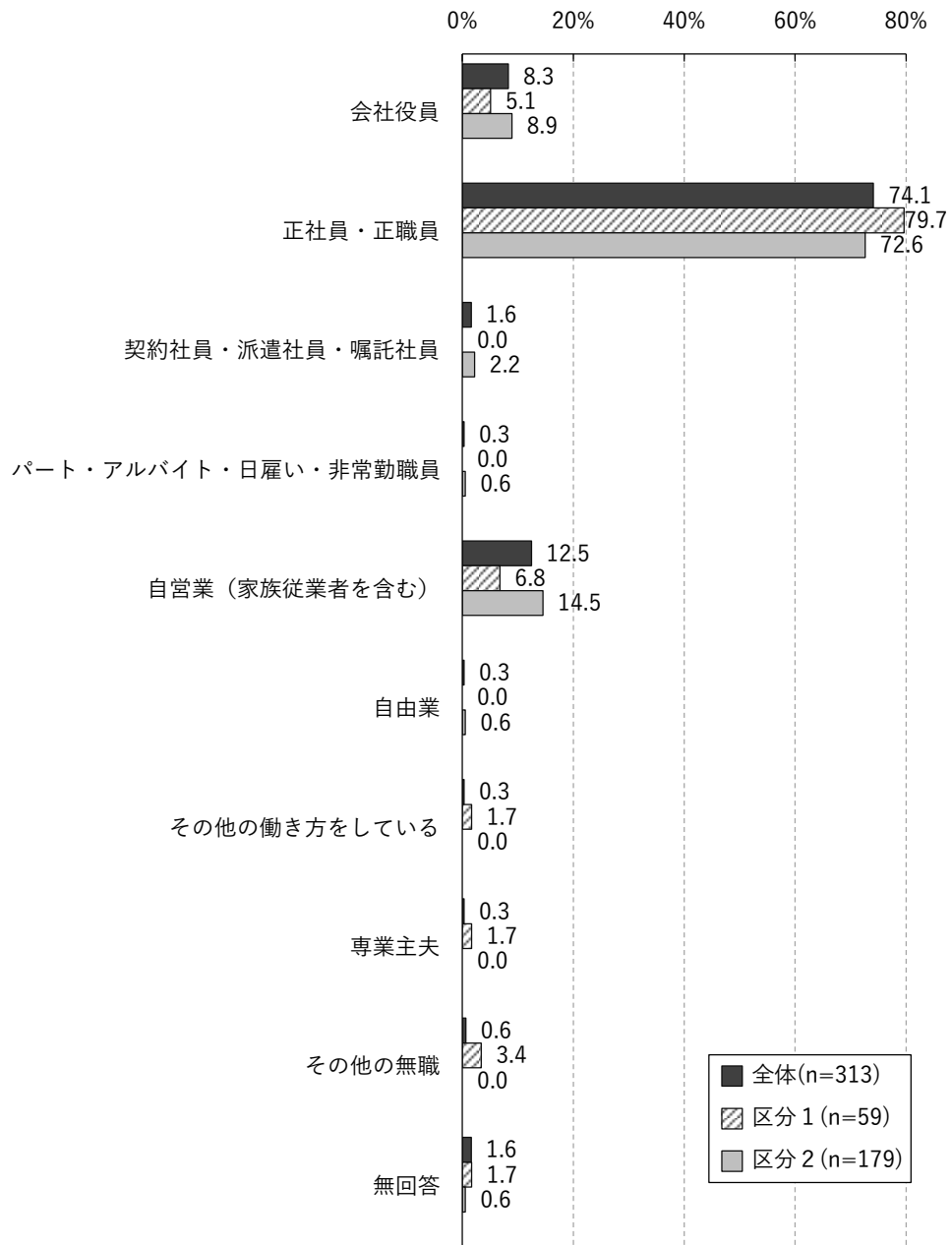
**小学校1年生** 問10 お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



※回答のあった項目のみ

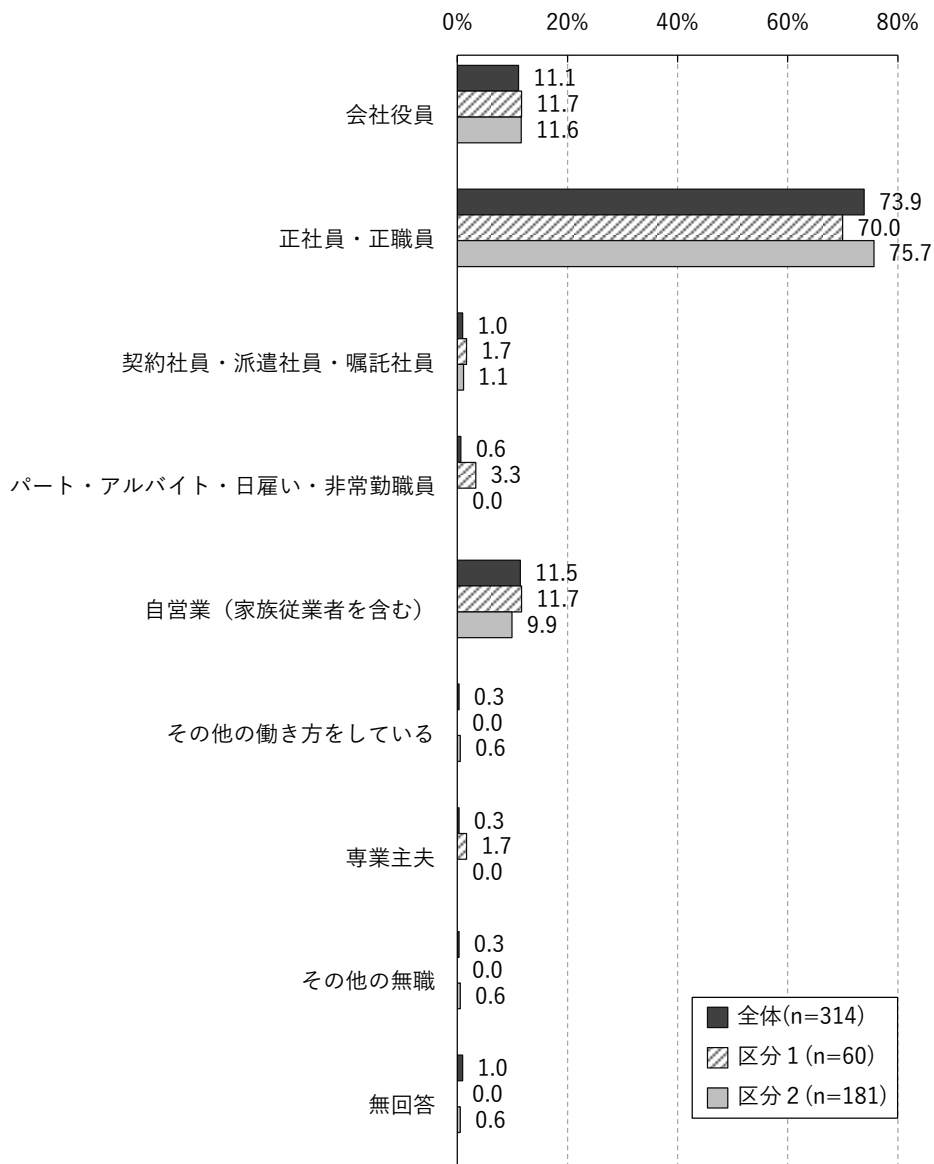
小学校5年生

問10 お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



※回答のあった項目のみ

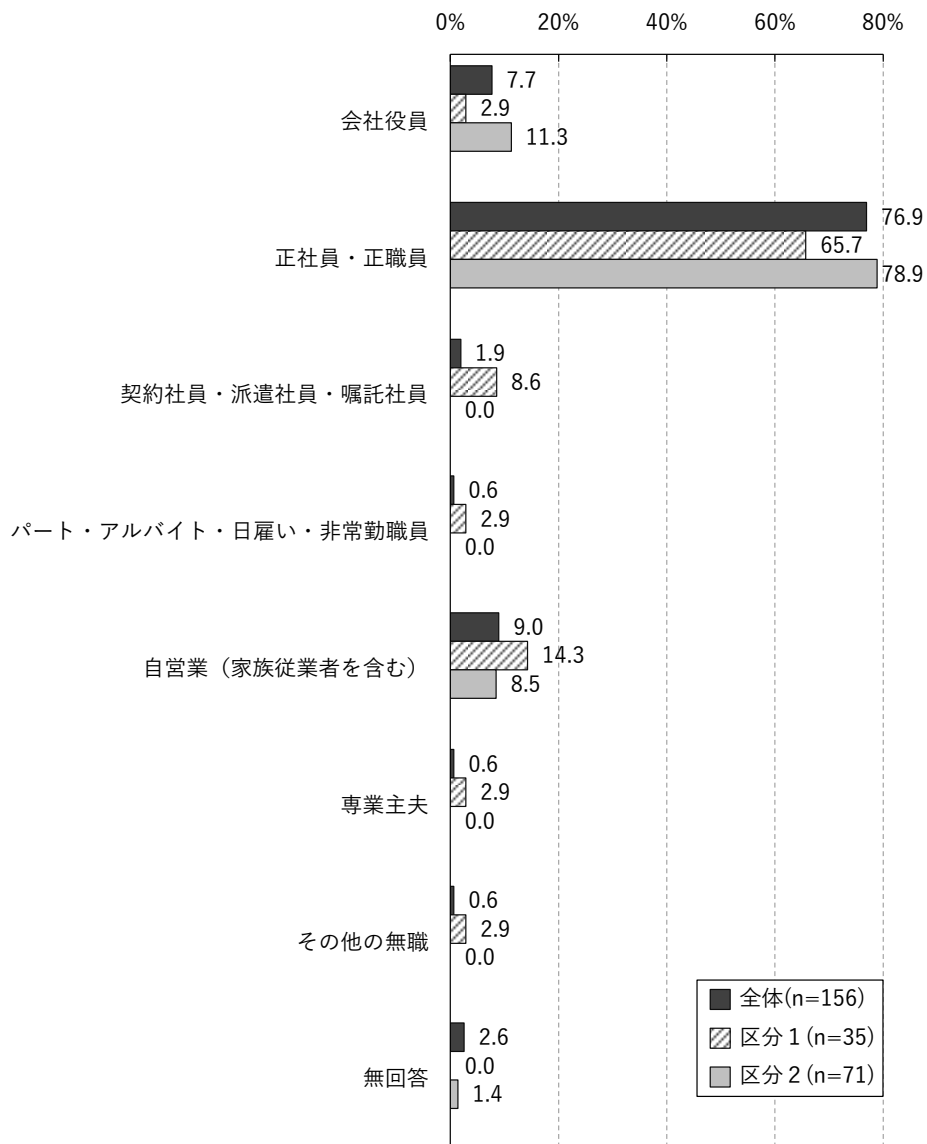
中学校2年生 問10 お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



※回答のあった項目のみ

16-17歳

問11 お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。



※回答のあった項目のみ

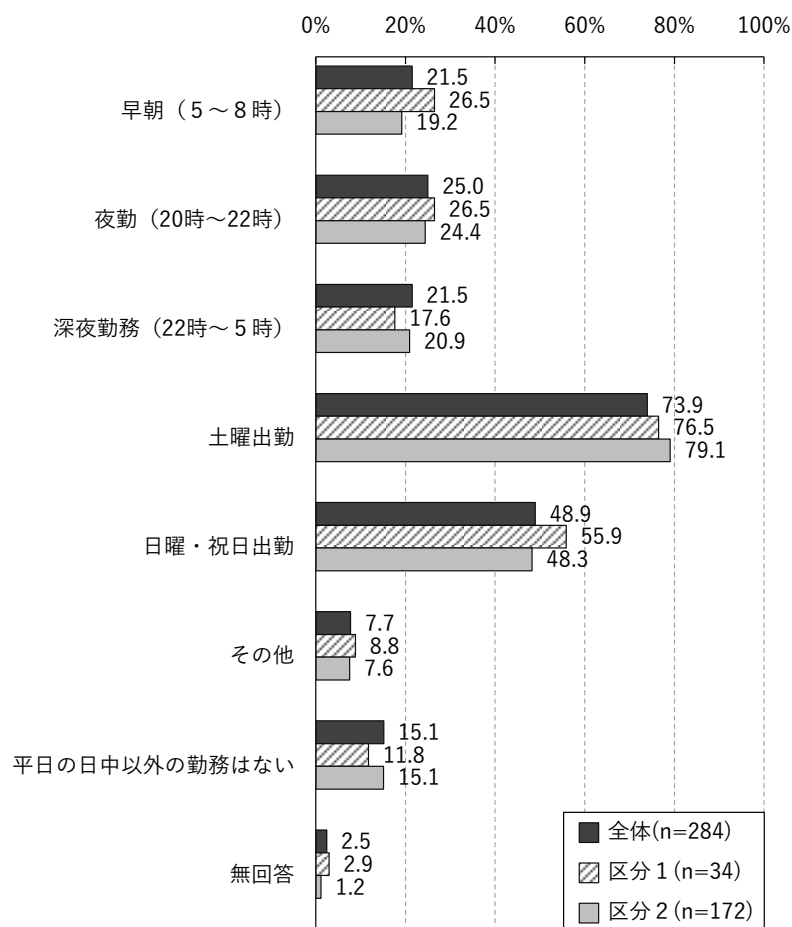
## ②平日の日中以外の勤務状況

【保護者設問】

父親の平日の日中以外の勤務状況について、全体をみると小学校1年生では「土曜出勤」、「日曜・祝日出勤」がそれぞれ73.9%、48.9%、小学校5年生では69.2%、48.2%、中学校2年生では64.4%、43.0%、16-17歳では59.3%、38.7%となっています。

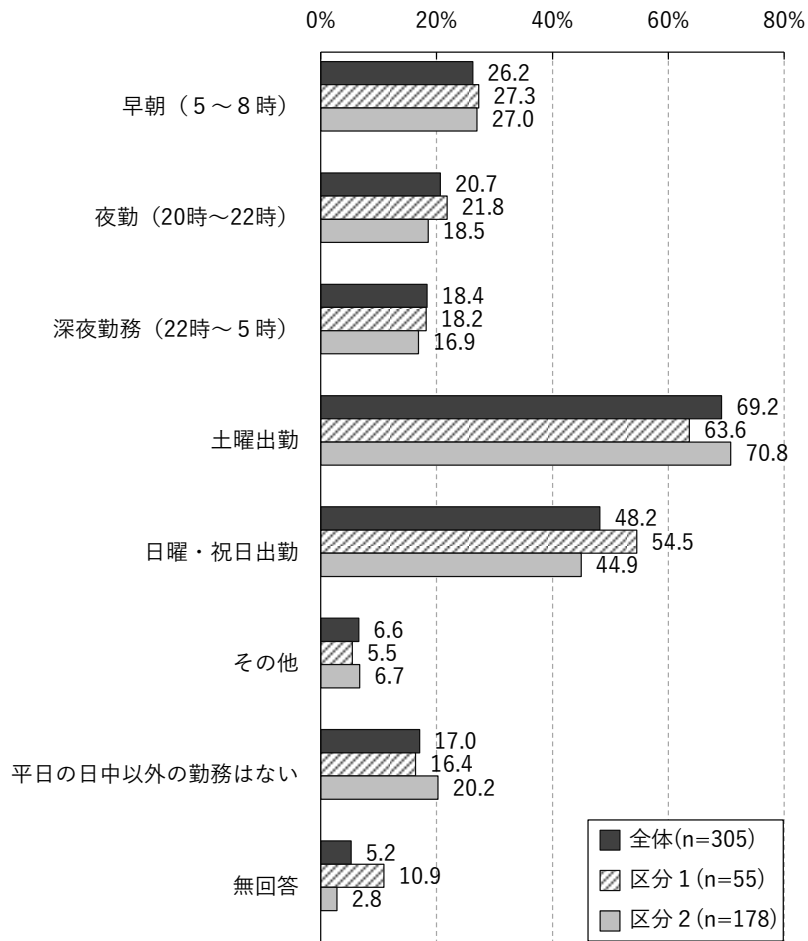
区別にみると「平日の日中以外の勤務はない」は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問10-3 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。



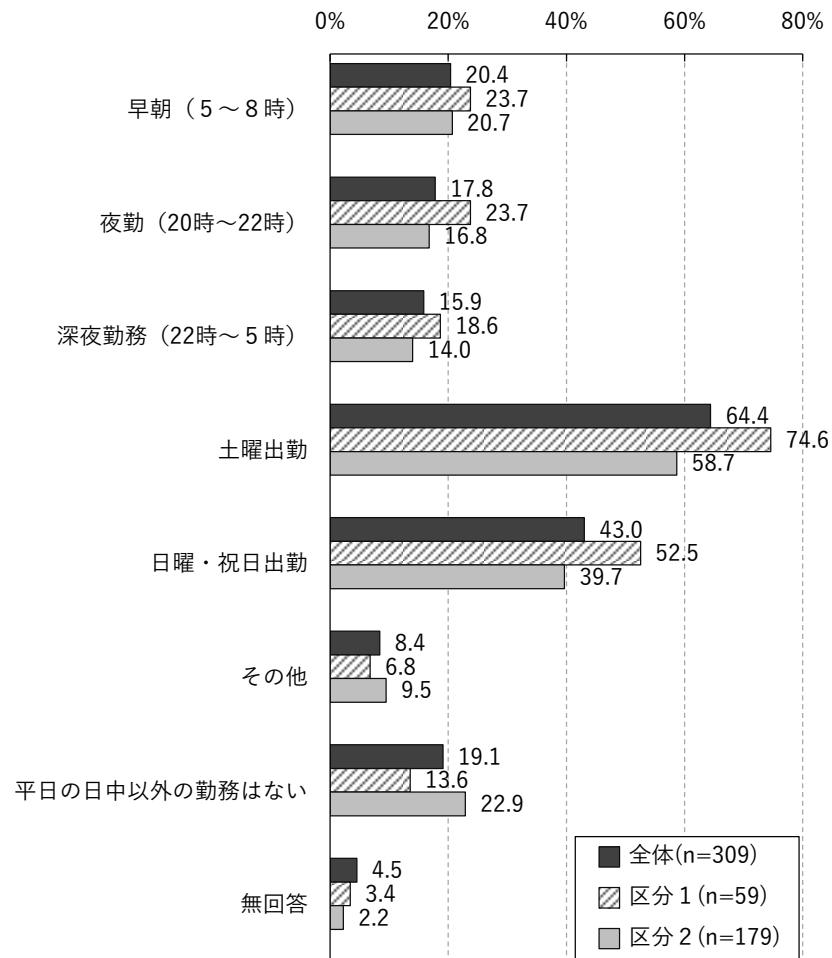
小学校5年生

問10-3 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。



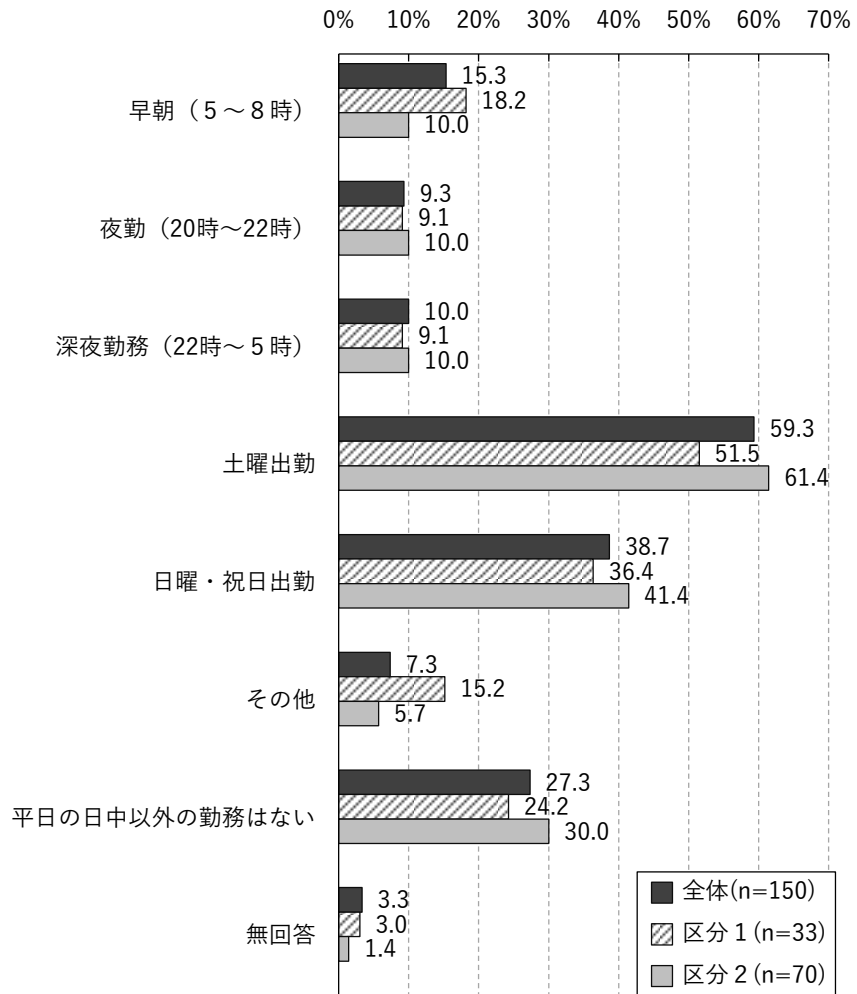
中学校2年生

問10-3 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。



16-17歳

問11-3 問11で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。お子さんのお父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。





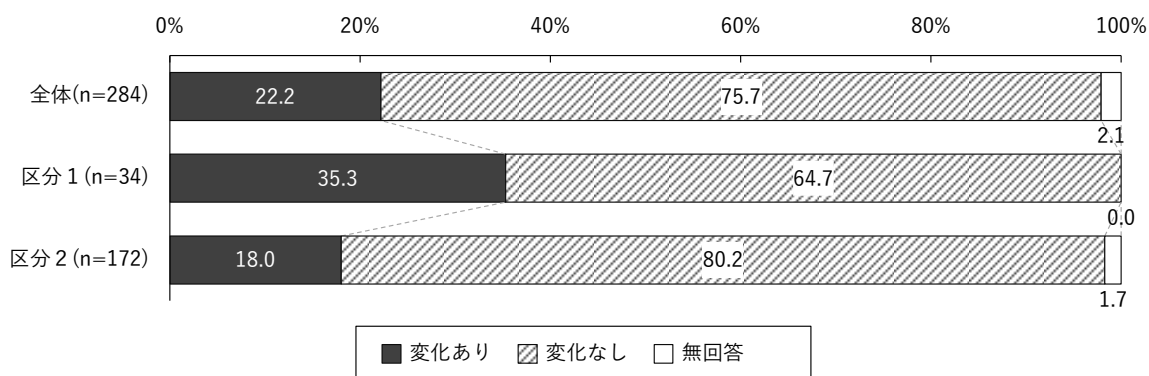
### ③就労状況の変化

【保護者設問】

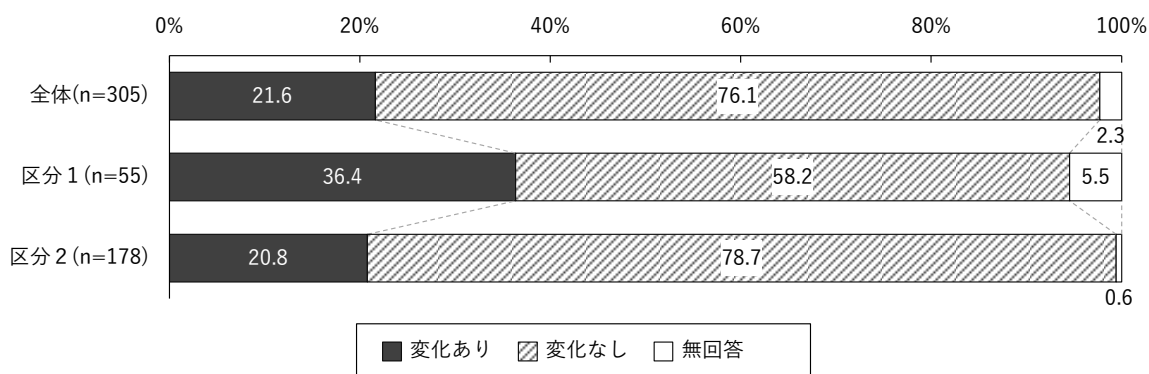
父親の就労状況の変化について、「変化あり」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で22.2%、小学校5年生で21.6%、中学校2年生で20.4%、16-17歳で18.7%となっています。

区別にみると「変化あり」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

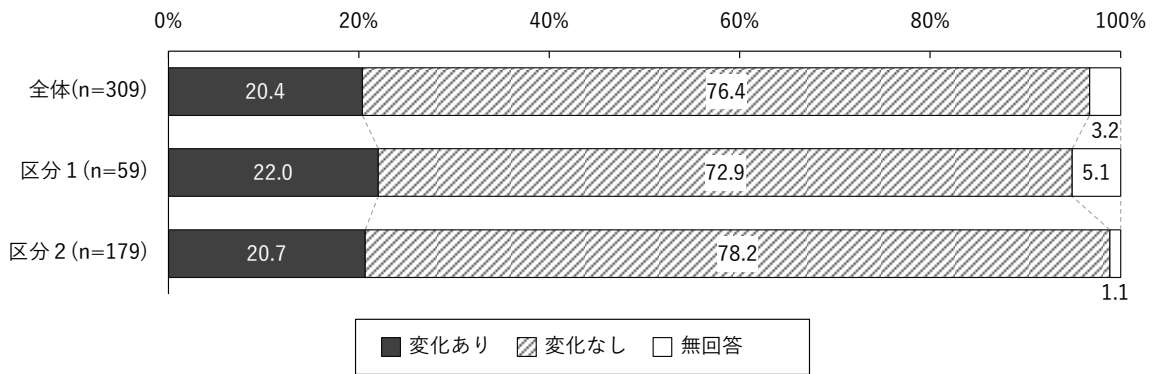
**小学校1年生** 問10-4 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



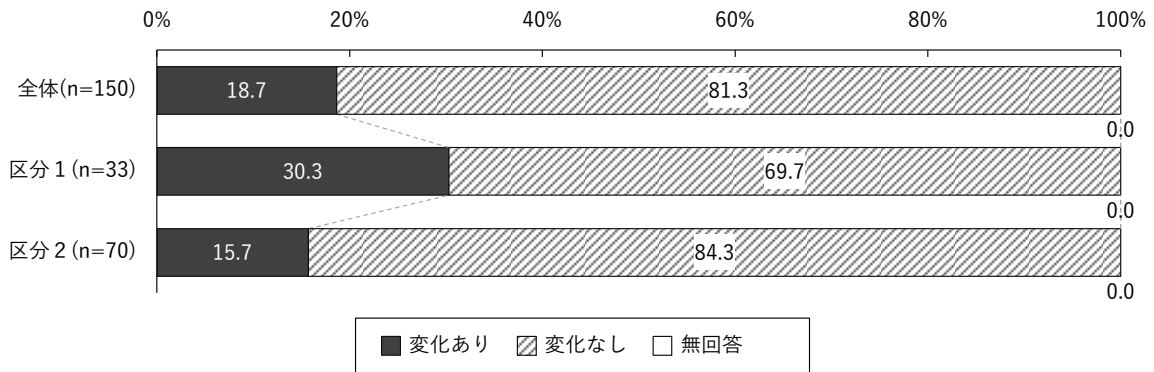
**小学校5年生** 問10-4 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



**中学校2年生** 問10-4 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



**16-17歳** 問11-4 問11で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、就労状況に変化はありましたか。



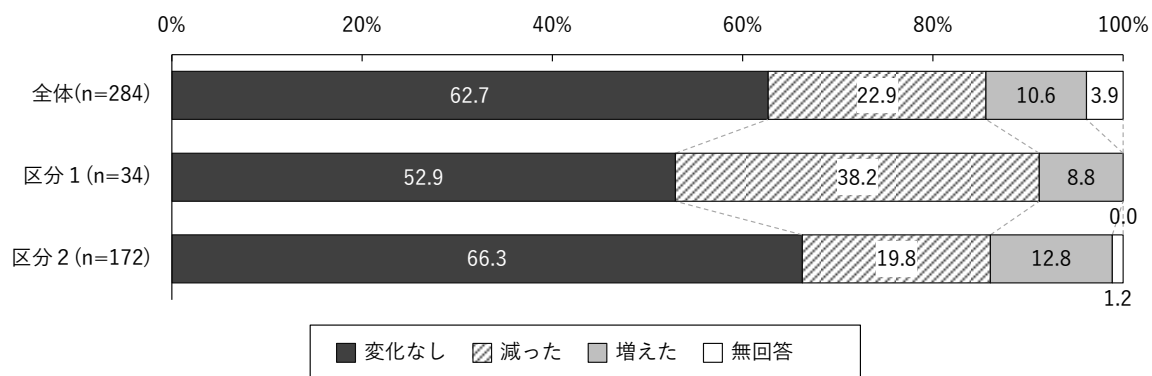
#### ④収入の変化

【保護者設問】

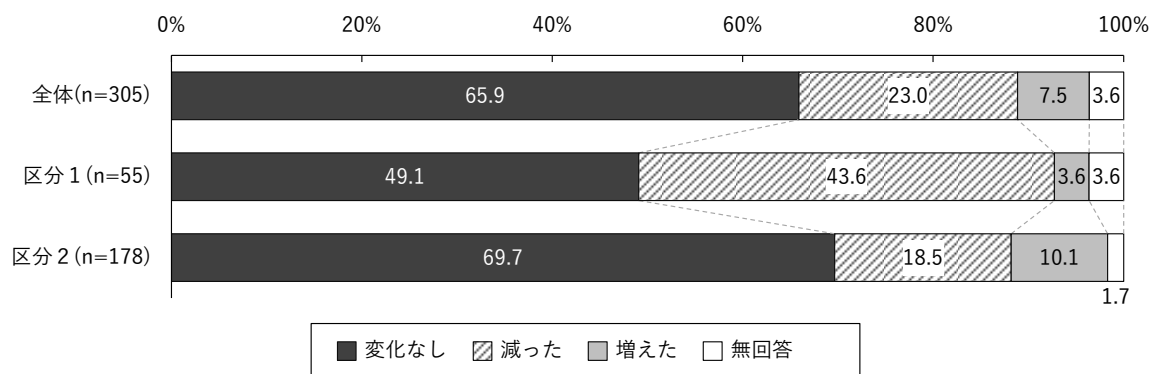
父親の収入の変化について、「減った」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で22.9%、小学校5年生で23.0%、中学校2年生で20.1%、16-17歳で20.7%となっています。

区別にみると「減った」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

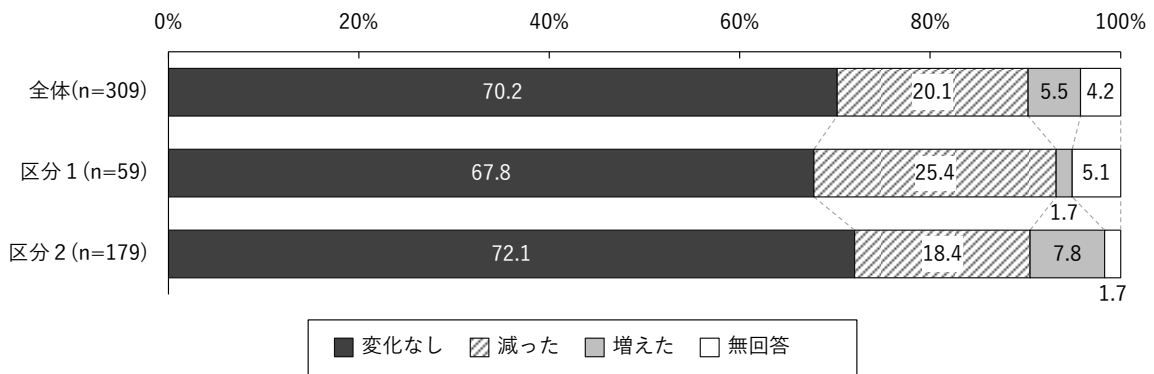
**小学校1年生** 問10-5 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



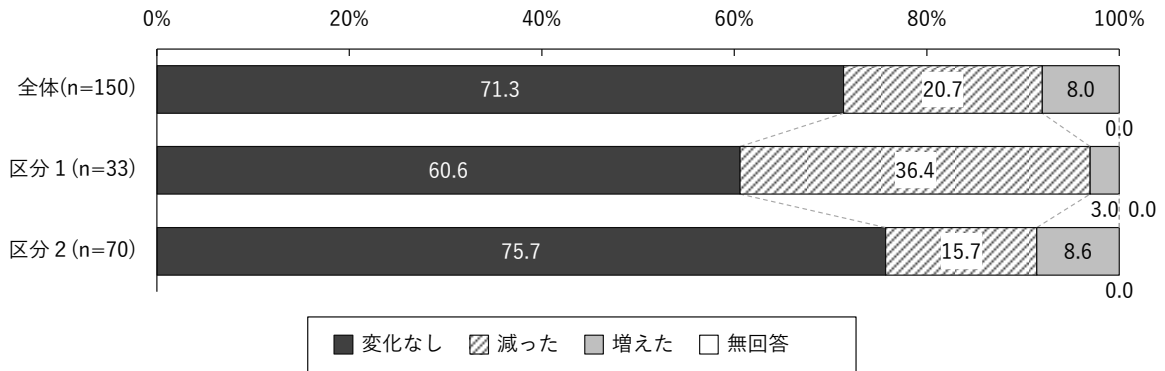
**小学校5年生** 問10-5 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



**中学校2年生** 問10-5 問10で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



**16-17歳** 問11-5 問11で「1」～「7」を選んだ方におうかがいします。2020年11月と比べて、収入に変化はありましたか。



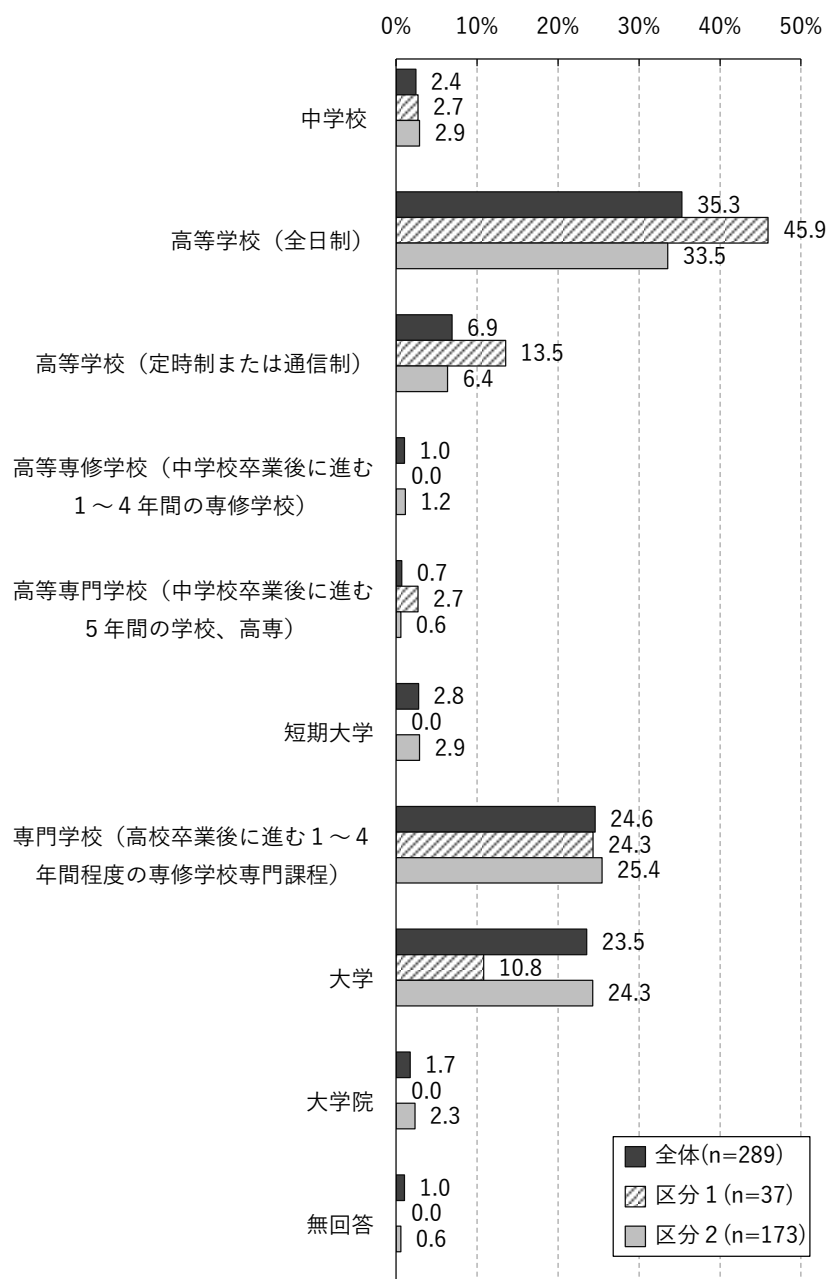
## ⑤最後に通った学校

【保護者設問】

父親の最後に通った学校について、「高等学校（全日制）」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で35.3%、小学校5年生で40.3%、中学校2年生で43.0%、16-17歳で46.8%とそれぞれ最も高くなっています。

区分別にみると「高等学校（全日制）」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高く、「大学」と回答した割合はいずれも区分1の方が低くなっています。

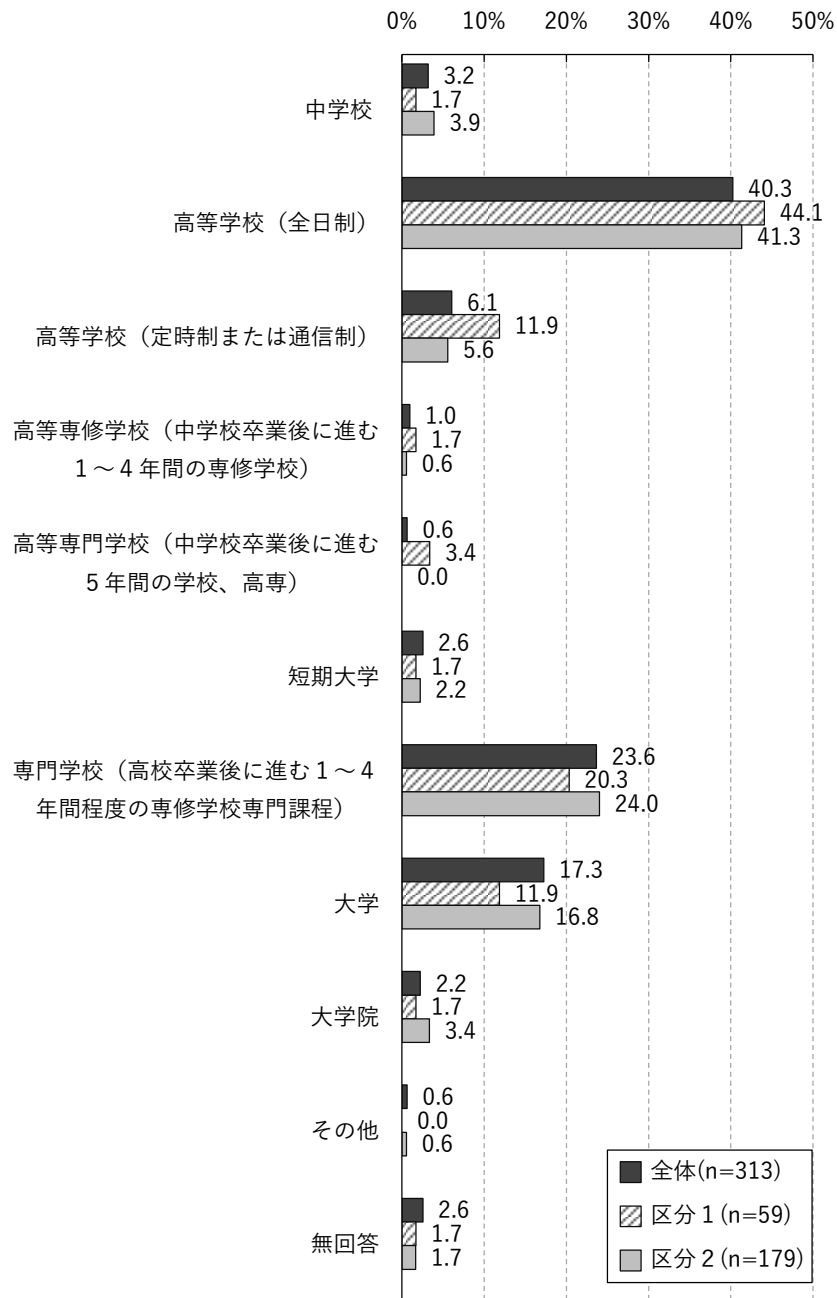
小学校1年生 問42 お子さんのお父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



※回答のあった項目のみ

小学校5年生

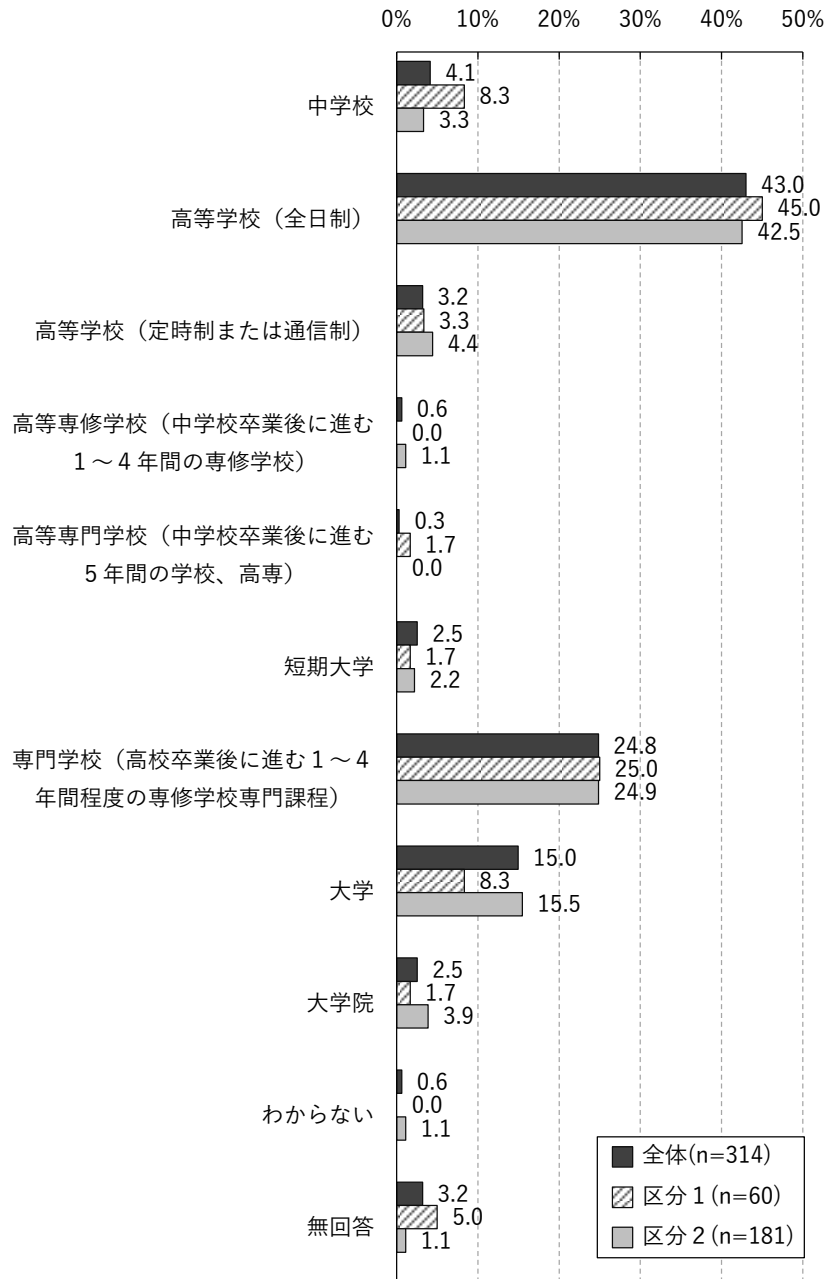
問30 お子さんのお父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



※回答のあった項目のみ

中学校2年生

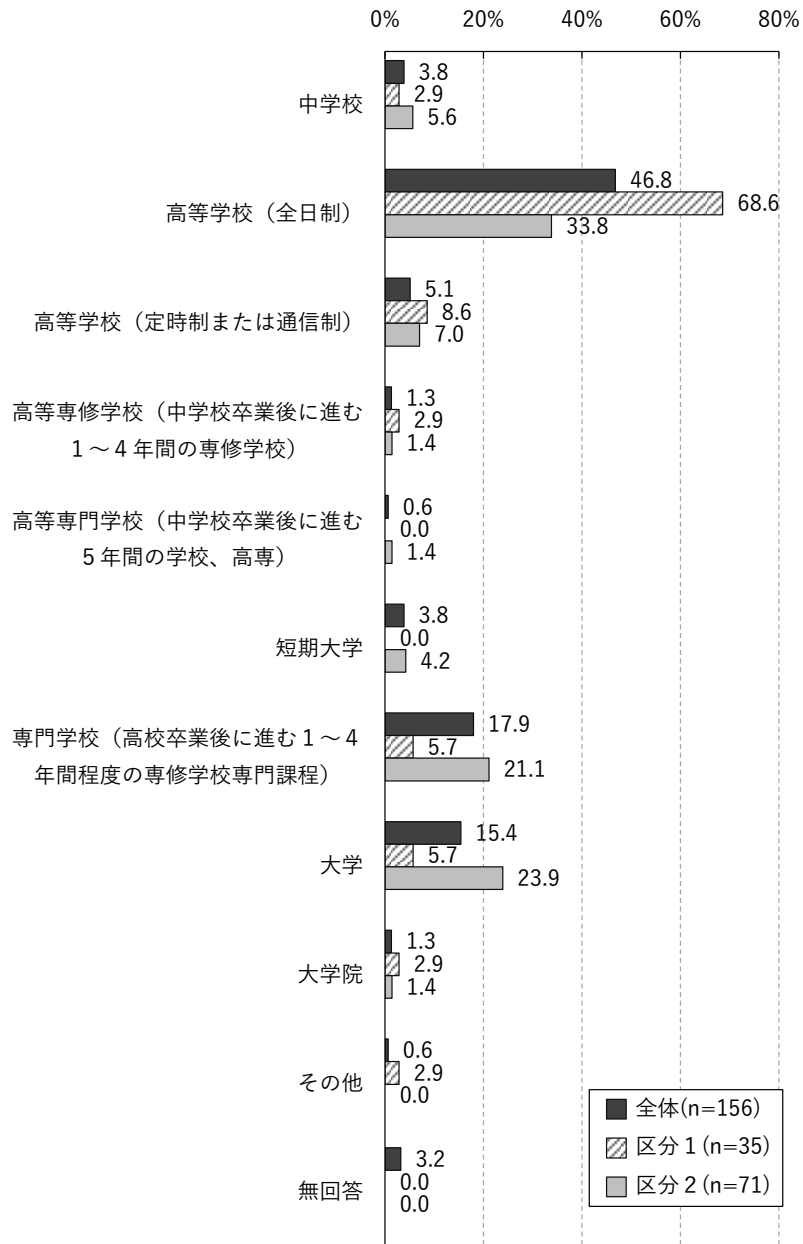
問30 お子さんのお父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



※回答のあった項目のみ

16-17歳

問32 お子さんのお父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。



※回答のあった項目のみ



## 9. 制度・サービスの利用

### (1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向

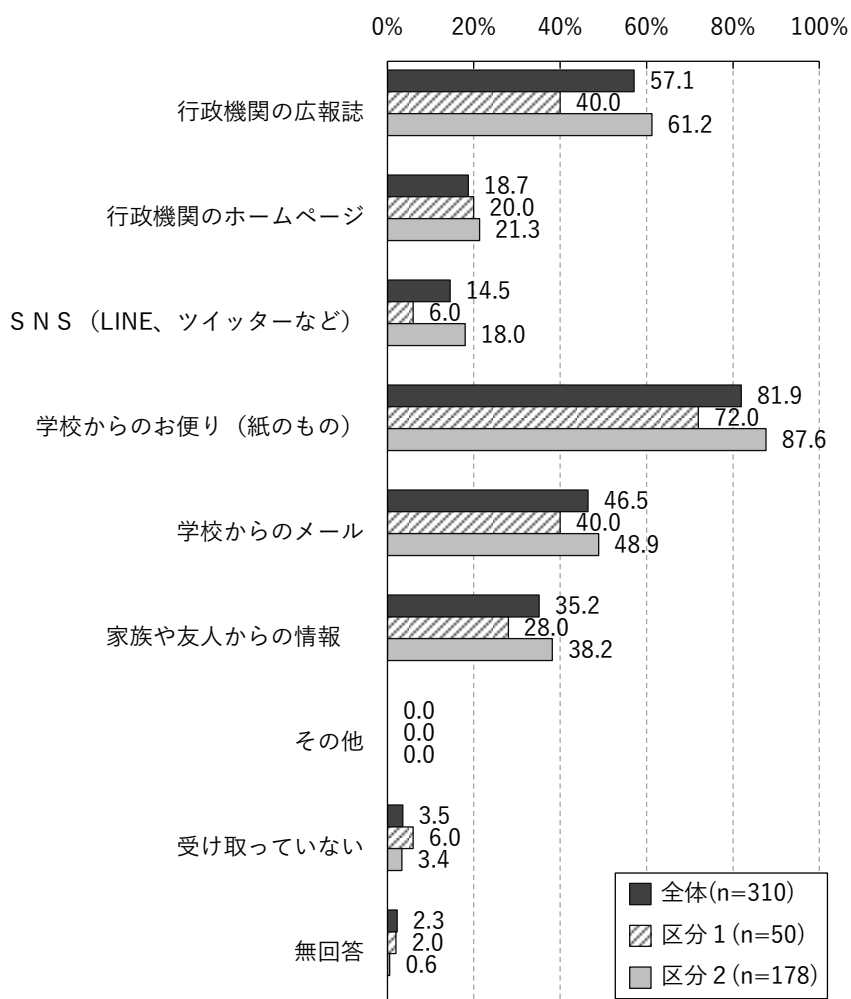
#### A 現在の受け取り方法（複数回答）

【保護者設問】

子ども関連情報の現在の入手方法について全体をみると、いずれの学年も「学校からのお便り（紙のもの）」、「行政機関の広報誌」の順で高く、小学校1年生ではそれぞれ81.9%、57.1%、小学校5年生では79.0%、60.2%、中学校2年生では72.6%、62.5%、16-17歳では62.6%、58.8%となっています。

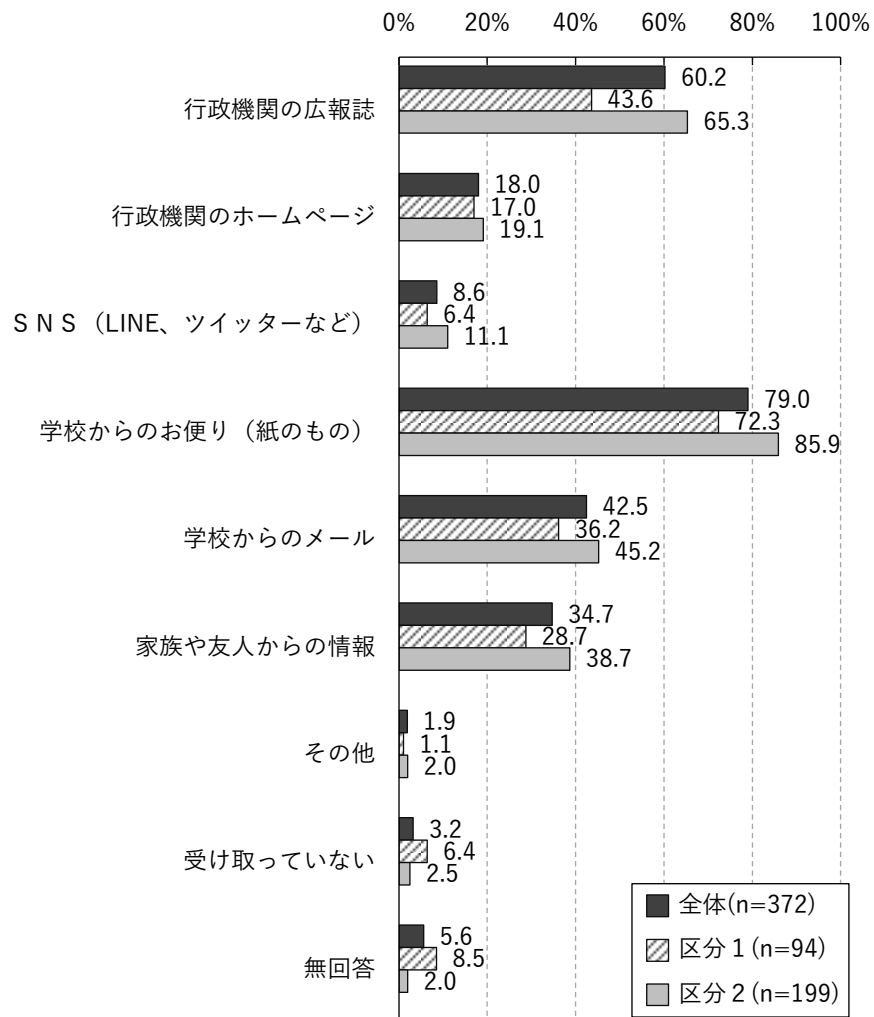
区分別にみると「行政機関の広報誌」はいずれの学年も区分1の方が低くなっています。また、「行政機関のホームページ」、「SNS（LINE、ツイッターなど）」、「学校からのメール」等についても、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問44 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。



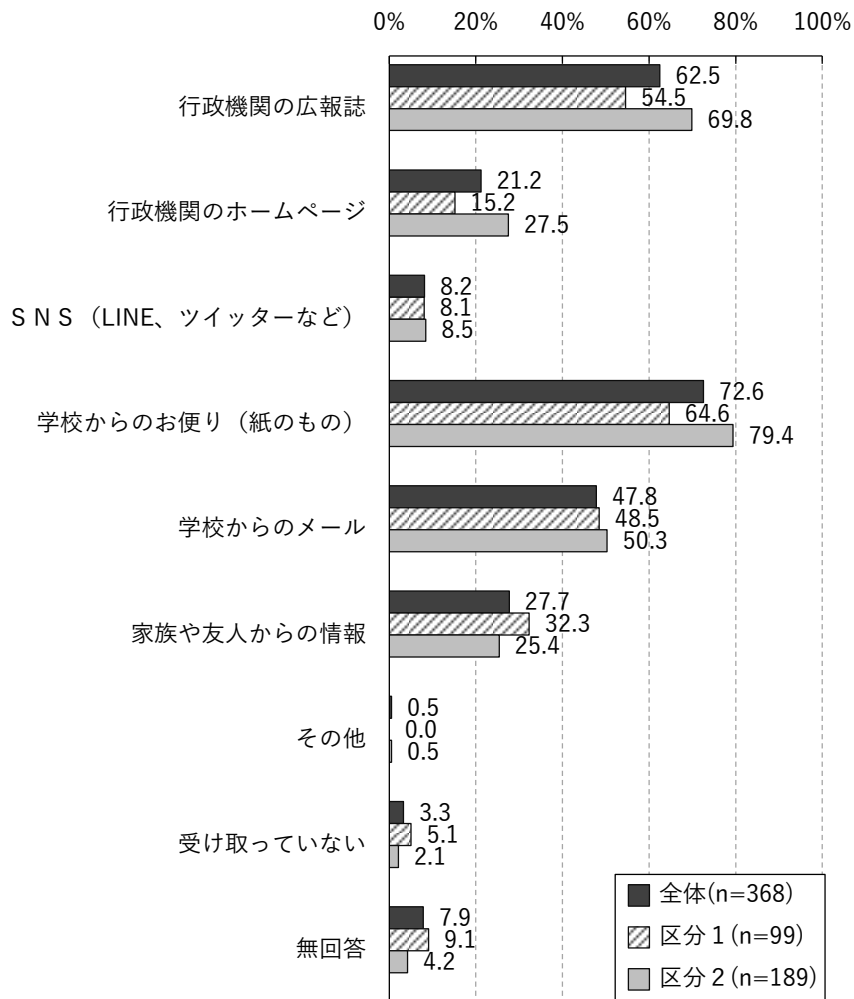
小学校5年生

問32 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。



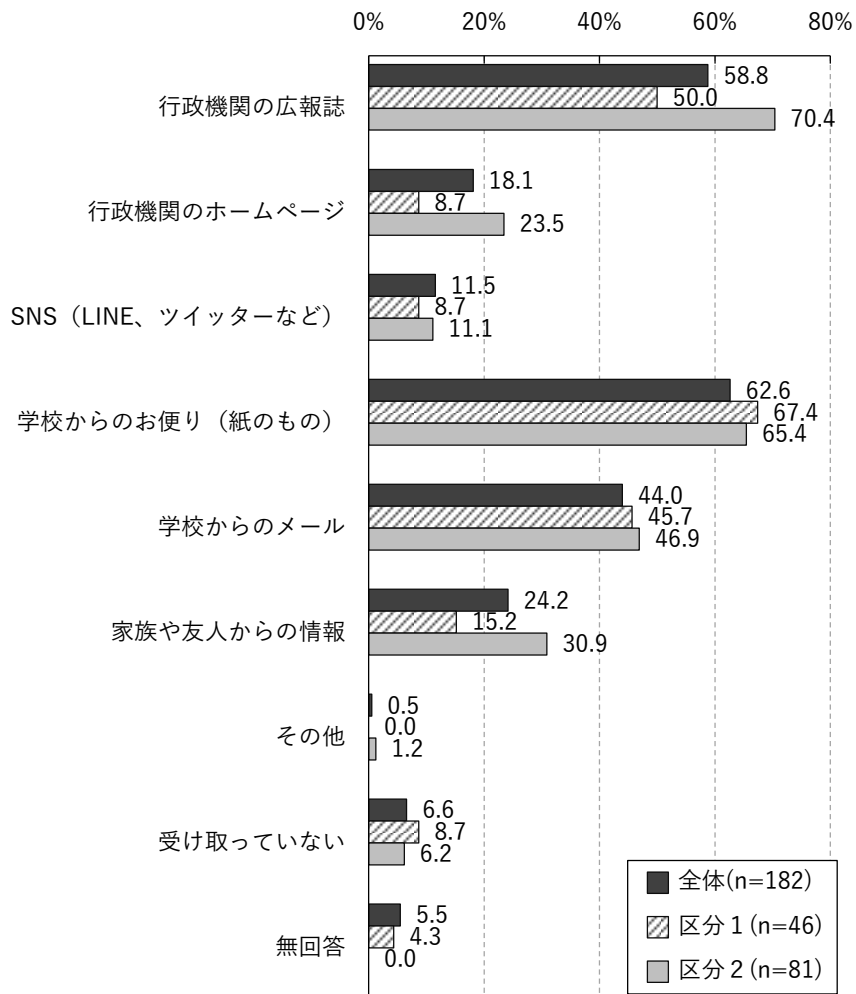
中学校2年生

問32 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。



16-17歳

問34 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。



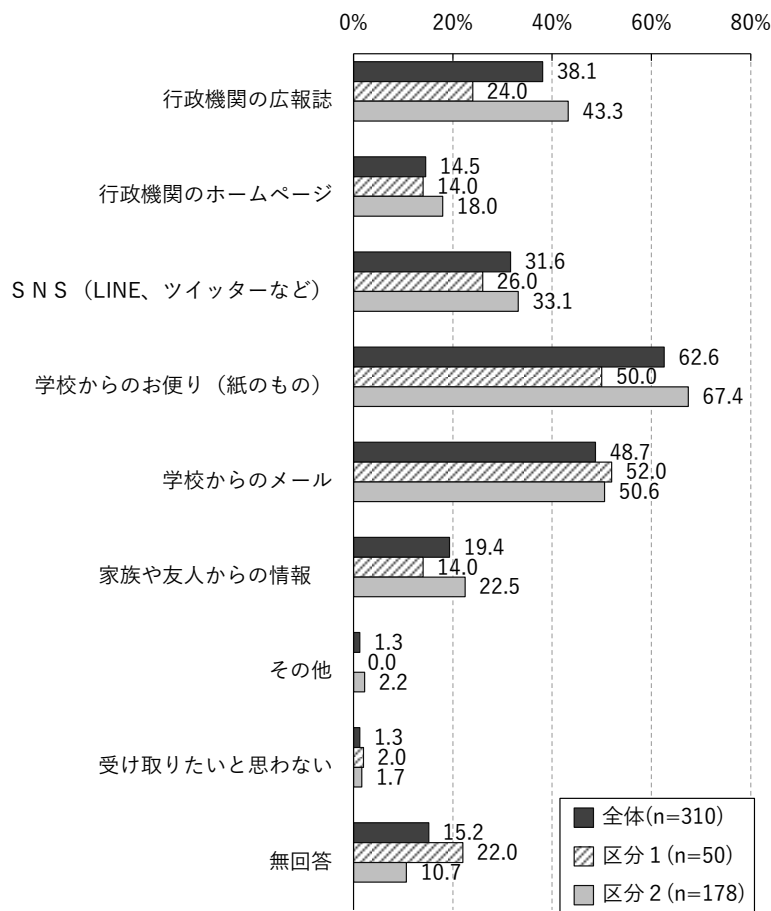
## B 今後、受け取りたい方法

【保護者設問】

子ども関連情報の今後、受け取りたい方法について全体をみると、いずれの学年も「学校からのお便り（紙のもの）」が最も高く、小学校1年生で62.6%、小学校5年生で55.6%、中学校2年生で53.5%、16-17歳で45.6%となっています。

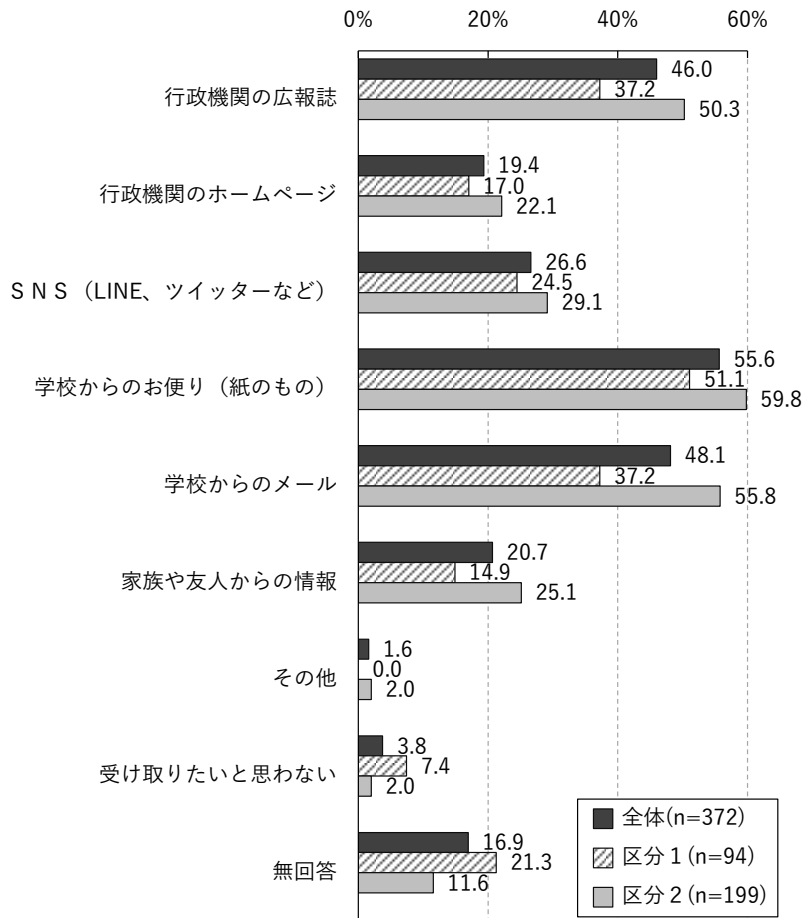
区分別にみると「行政機関の広報誌」、「行政機関のホームページ」はいずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問44 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。



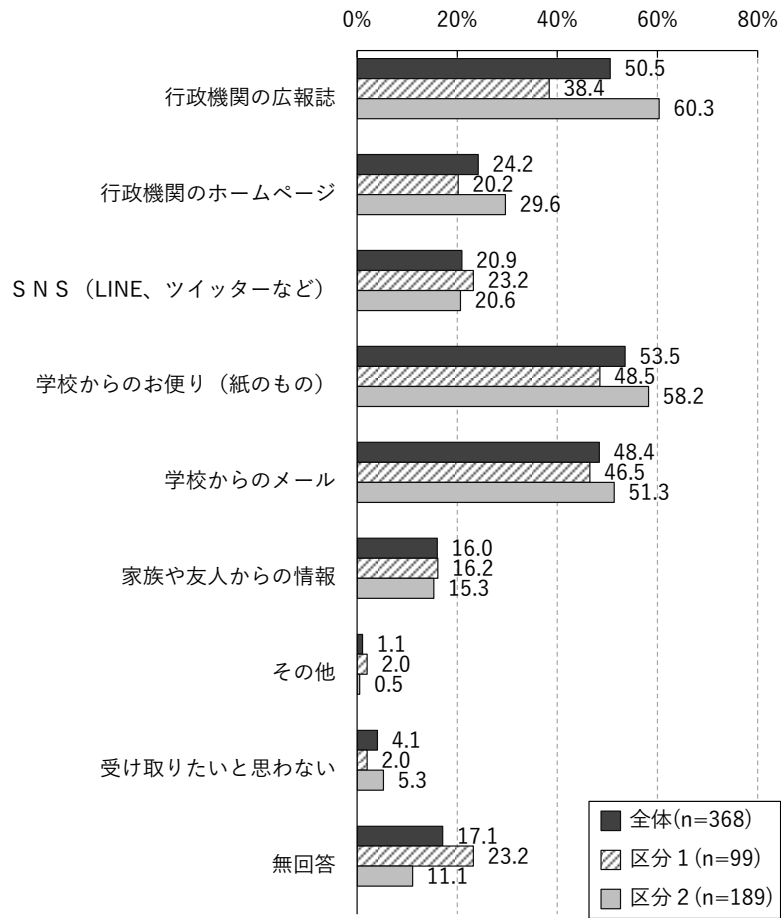
小学校5年生

問32 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。



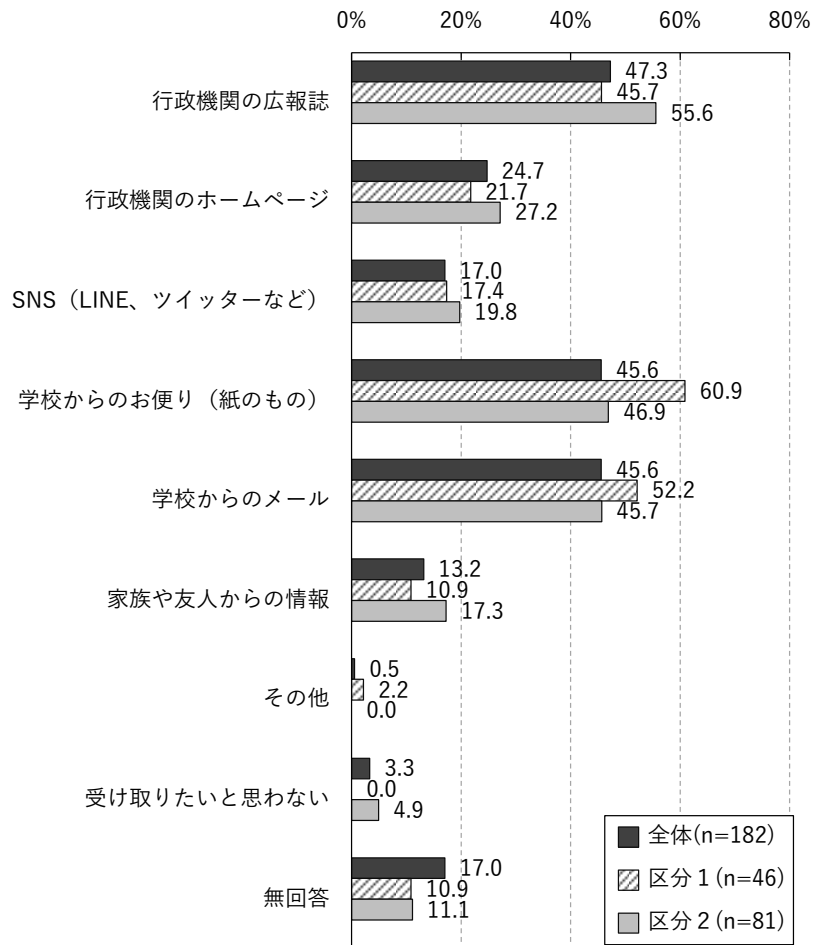
中学校2年生

問32 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。



16-17歳

問34 あなたは、子どもに関する市の取組や子育て支援の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。





## (2) 子育て支援制度の利用経験

### A 地域子育て支援センター

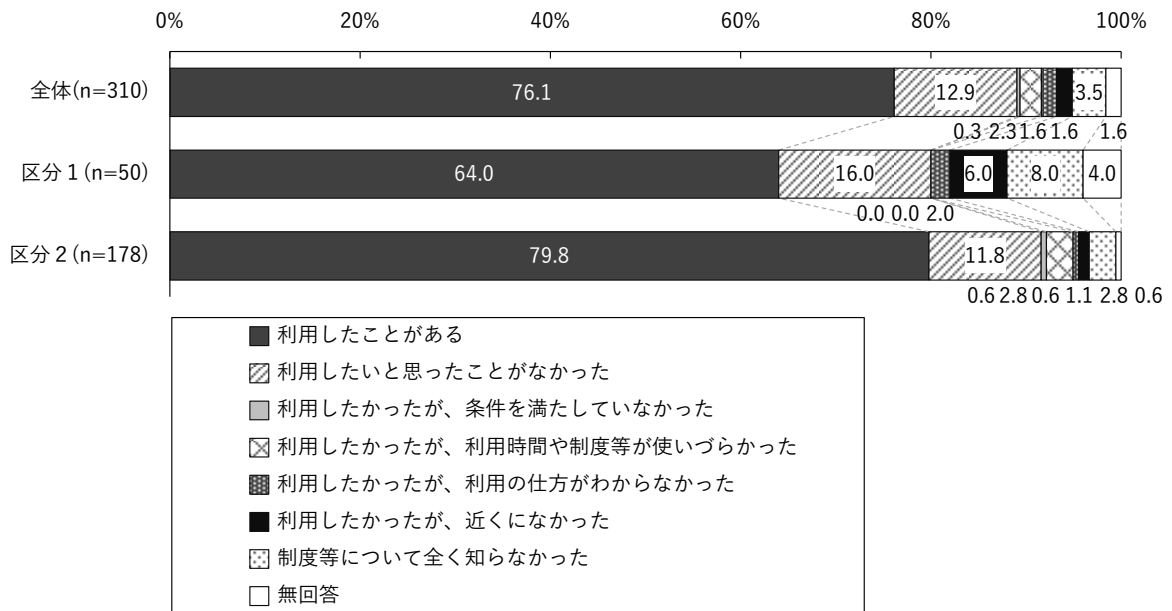
【保護者設問】

地域子育て支援センターの利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は、全体をみると小学校1年生で76.1%、小学校5年生で60.5%、中学校2年生で47.8%となっています。

区分別にみると「利用したことがある」はいずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」はいずれの学年も区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

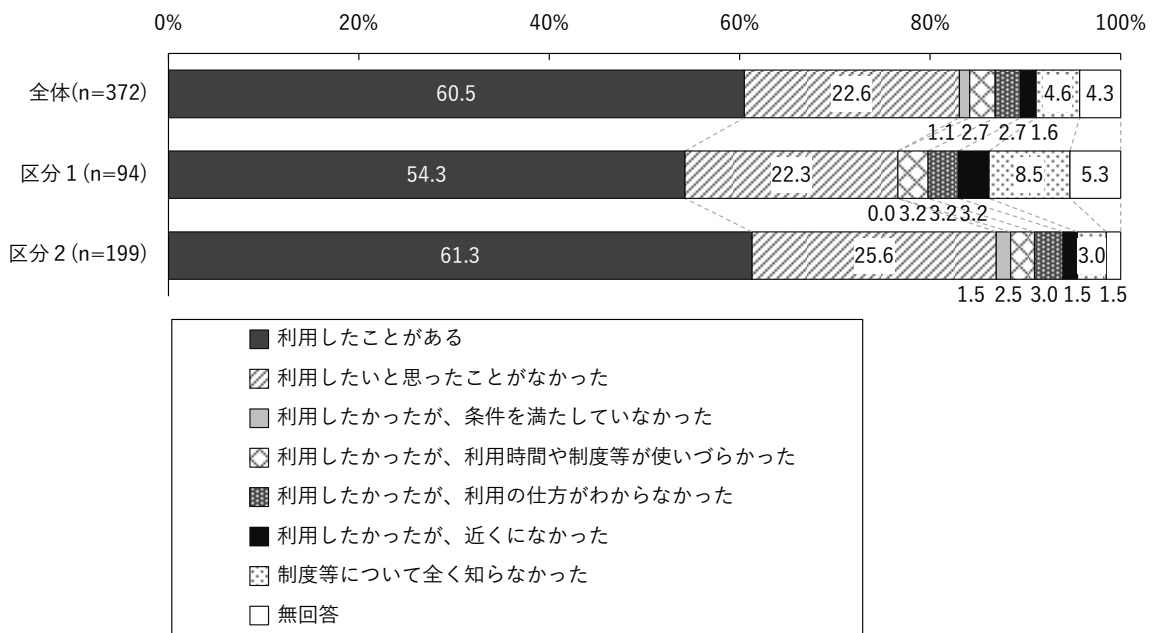
／A 地域子育て支援センター



小学校5年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

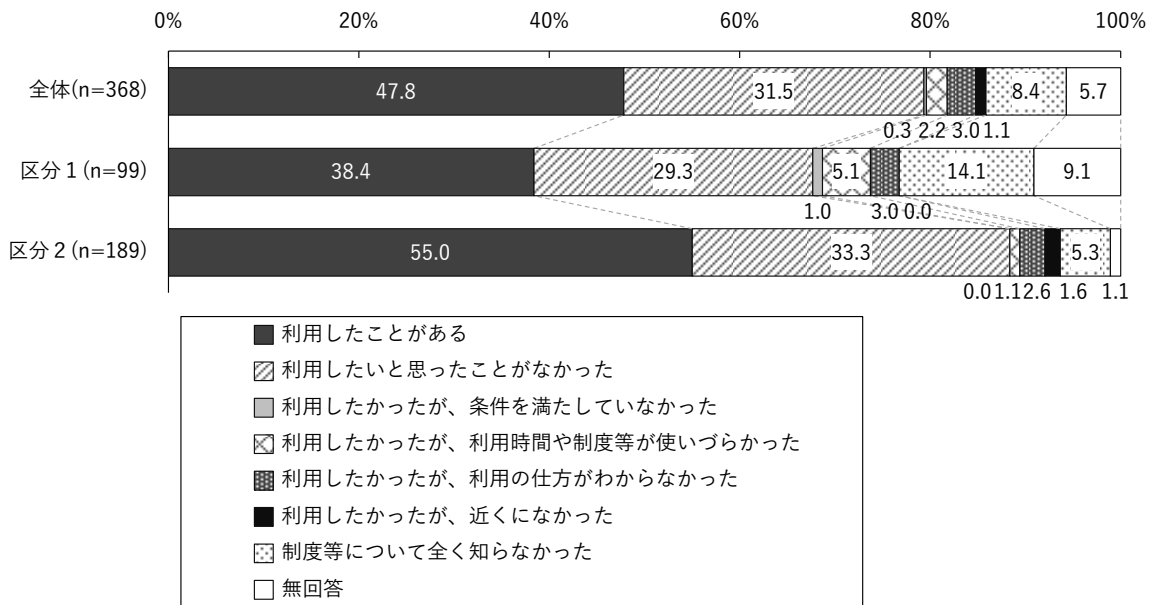
／ A 地域子育て支援センター



中学校2年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／ A 地域子育て支援センター



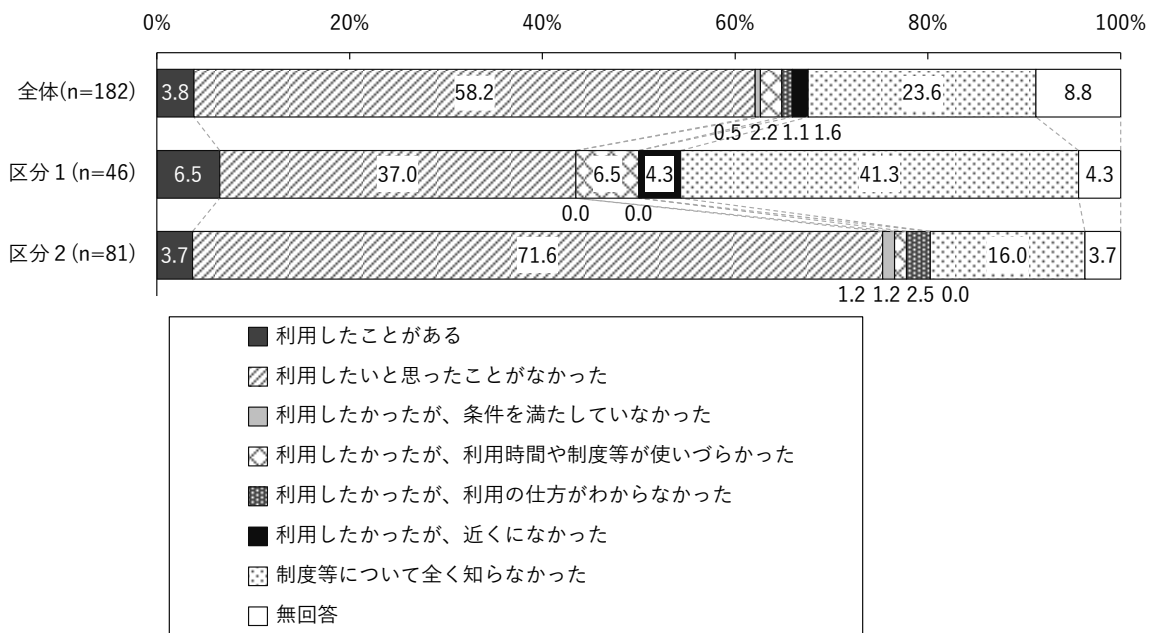
## A (学校以外で)16~17歳のお子さんについて、何でも相談できる場所

【保護者設問】

(学校以外で)16~17歳のお子さんについて、何でも相談できる場所の利用経験は、全体をみると「利用したことがある」は3.8%、「利用したいと思ったことがなかった」が58.2%、「制度等について全く知らなかった」が23.6%となっています。

区分別にみると「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問35 お子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／A (学校以外で)16~17歳のお子さんについて、何でも相談できる場所



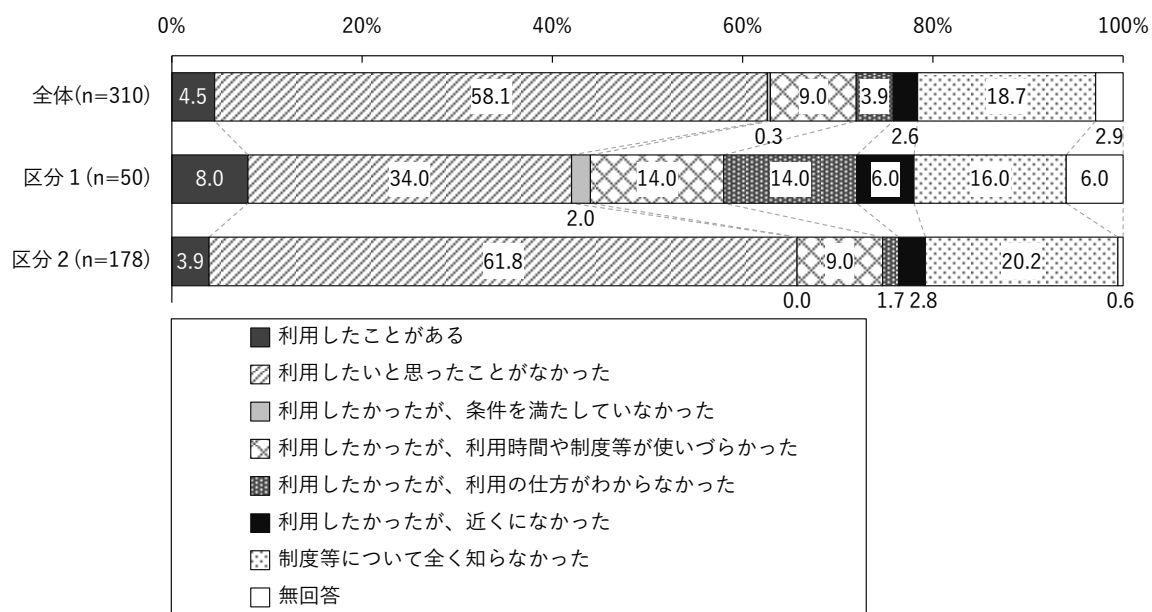
## B ファミリー・サポート・センター

【保護者設問】

ファミリー・サポート・センターの利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で4.5%、小学校5年生で1.9%、中学校2年生で1.4%となっています。

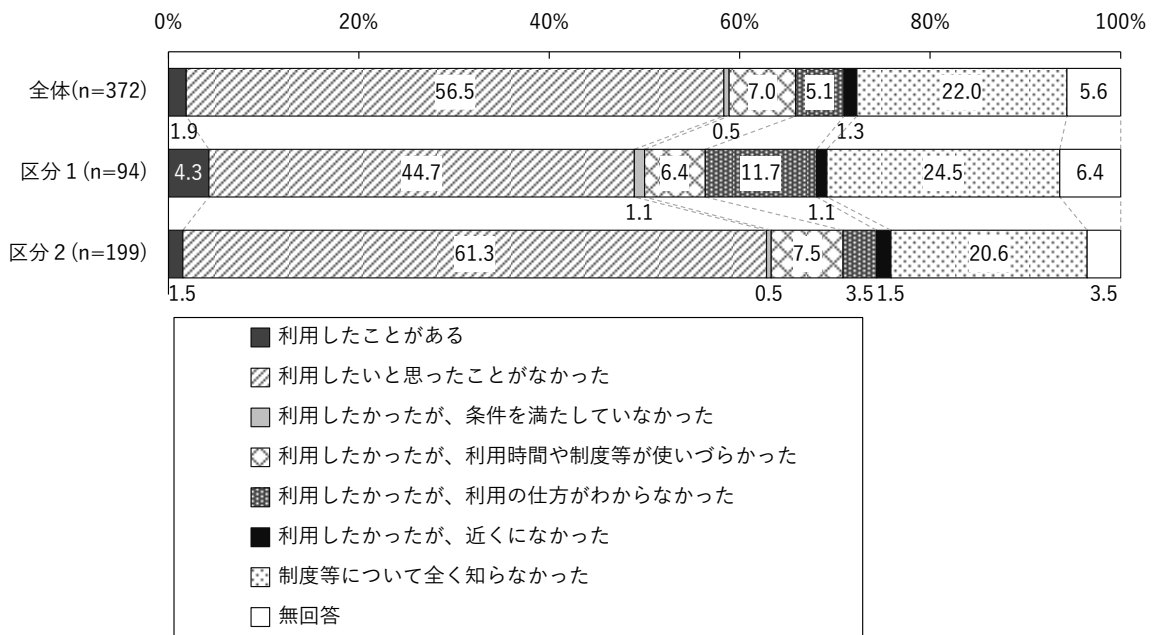
区分別にみると「利用したことがある」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／B ファミリー・サポート・センター



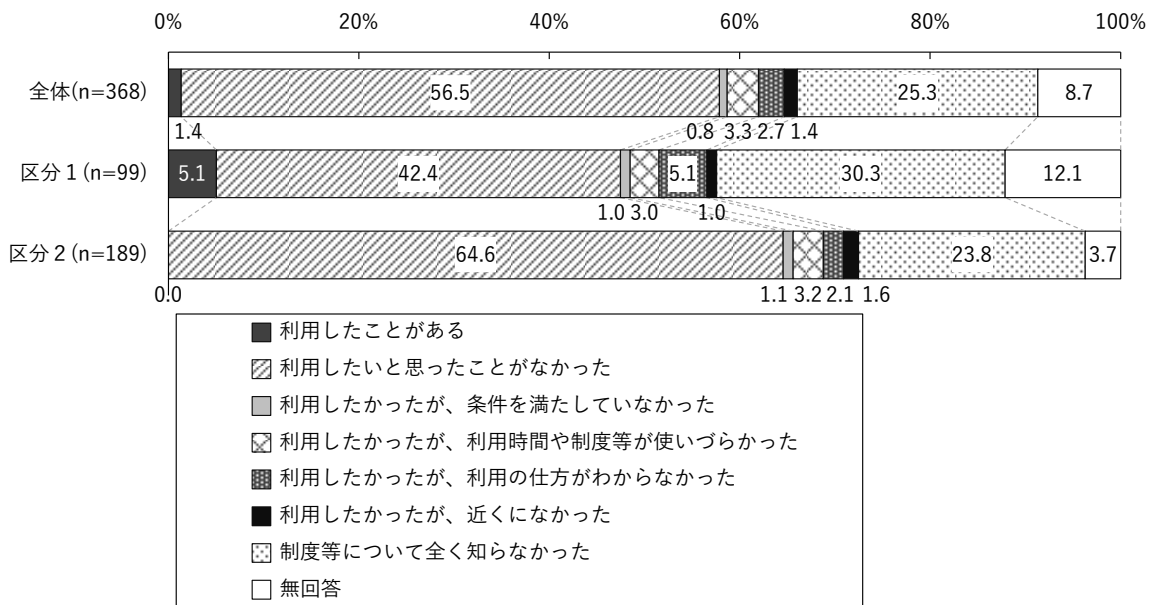
小学校5年生 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／B ファミリー・サポート・センター



中学校2年生 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／B ファミリー・サポート・センター



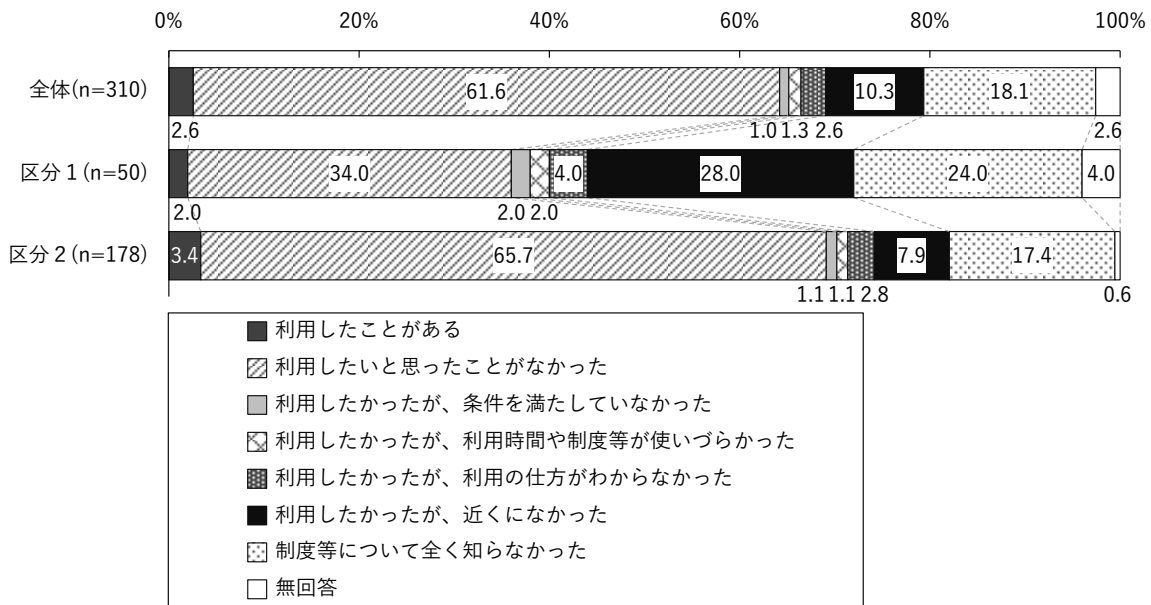
C/B 子ども食堂

【保護者設問】

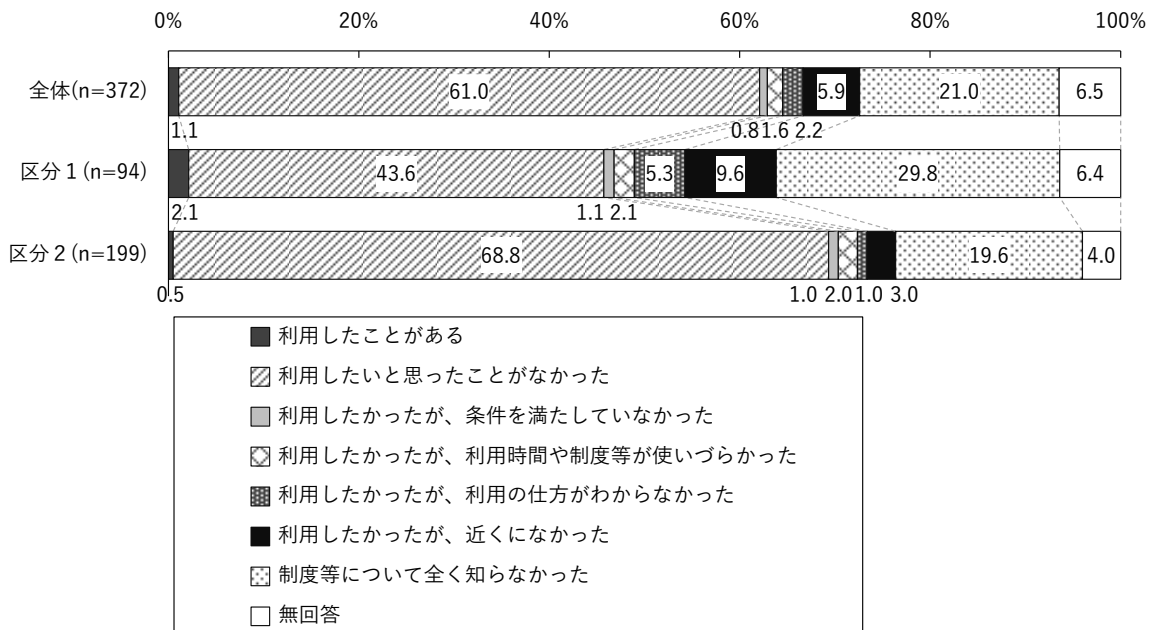
子ども食堂の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で2.6%、小学校5年生で1.1%、中学校2年生で1.6%となっています。

区別にみると「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／C 子ども食堂

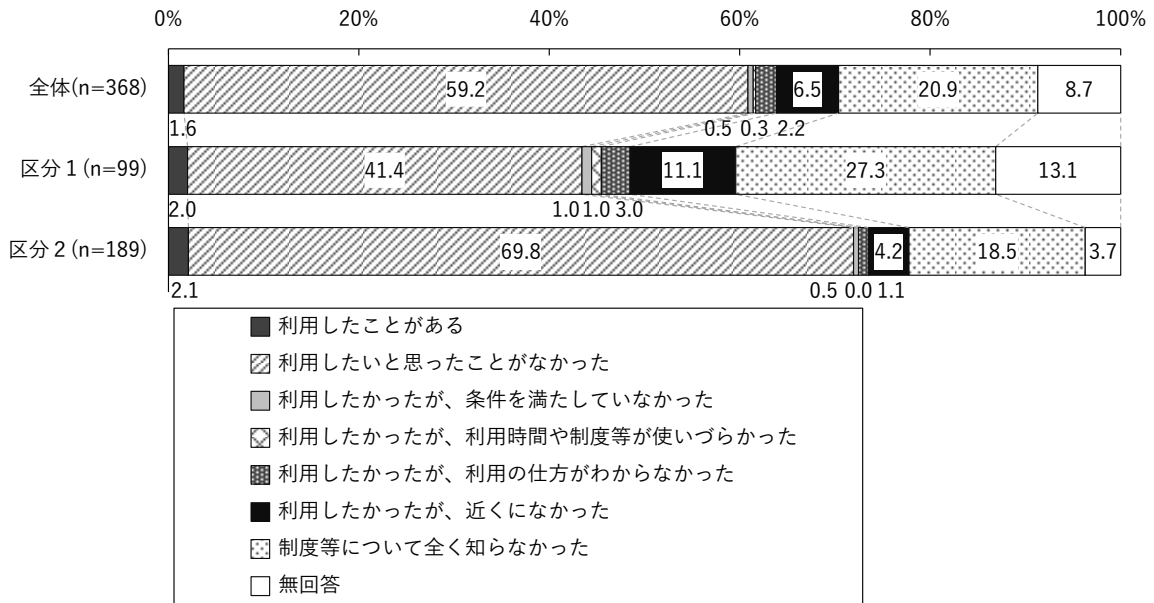


小学校5年生 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／C 子ども食堂



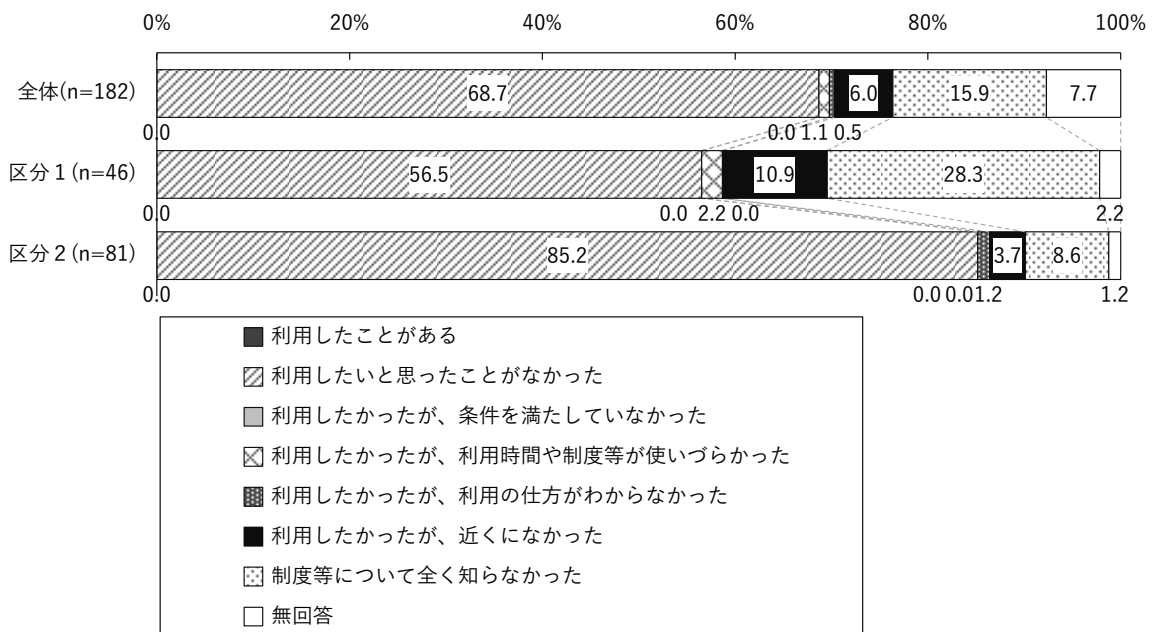
中学校2年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／C 子ども食堂



16-17歳

問35 お子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／B 子ども食堂



## D/C フードバンクによる食料支援

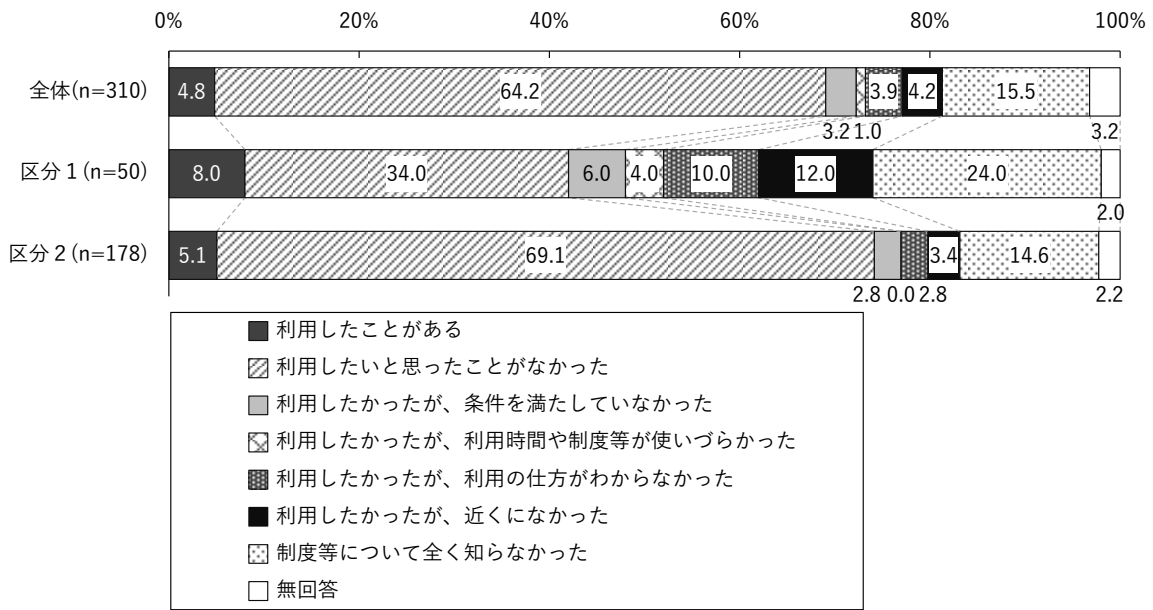
【保護者設問】

フードバンクによる食料支援の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると小学校1年生で4.8%、小学校5年生で4.6%、中学校2年生で2.7%、16-17歳で3.8%となっています。

区分別にみると「利用したことがある」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が高くなっています。

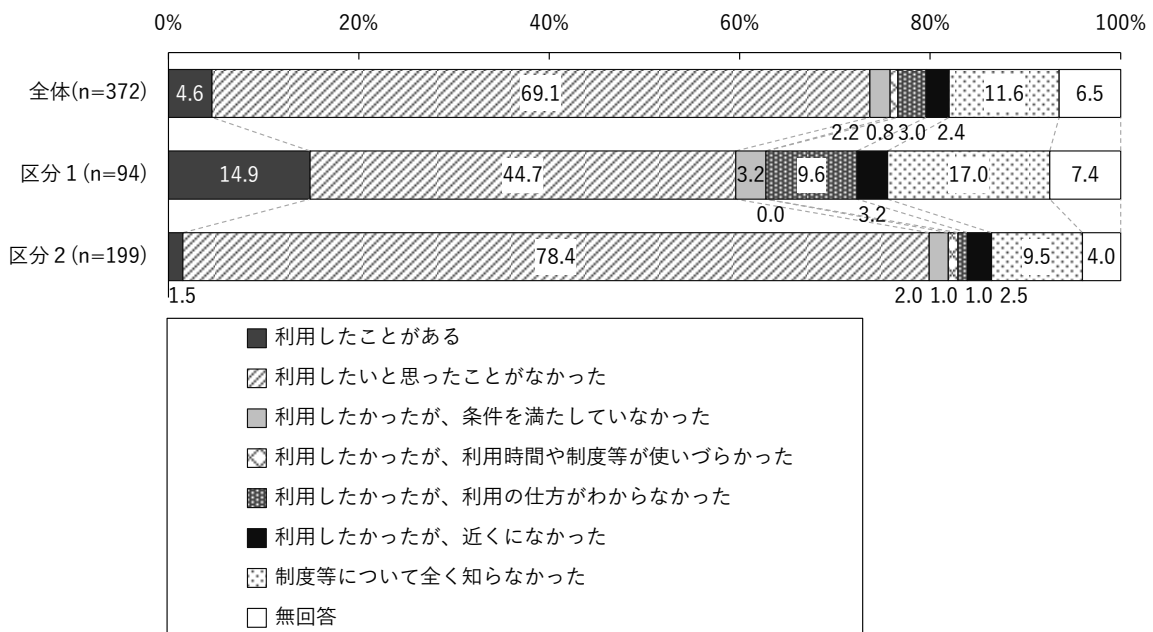
**小学校1年生** 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／D フードバンクによる食料支援



**小学校5年生** 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／D フードバンクによる食料支援

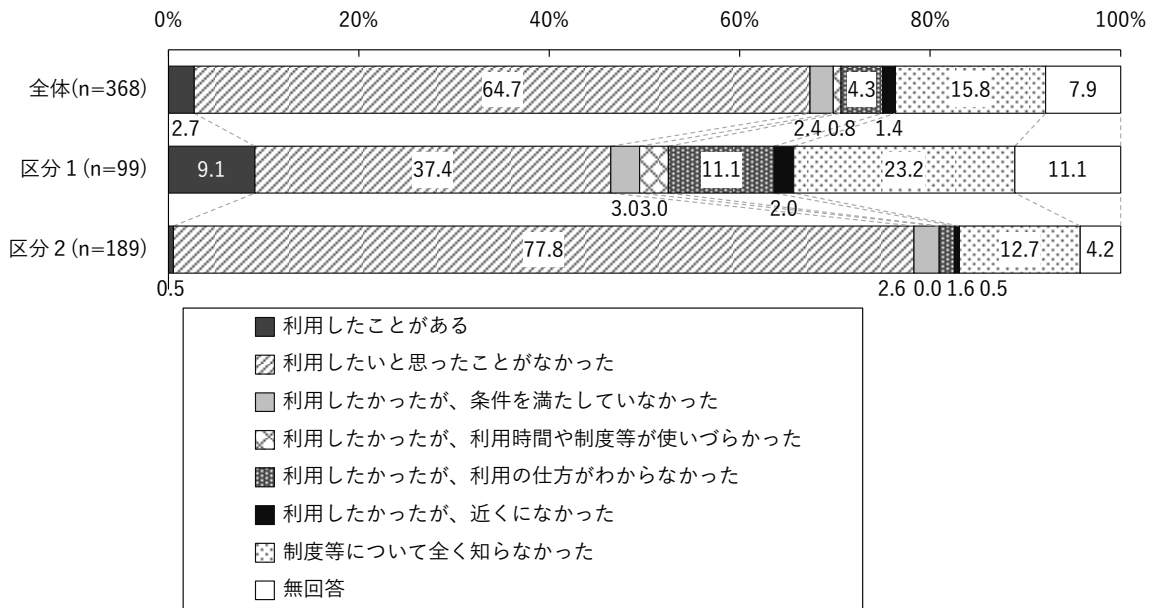




中学校2年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

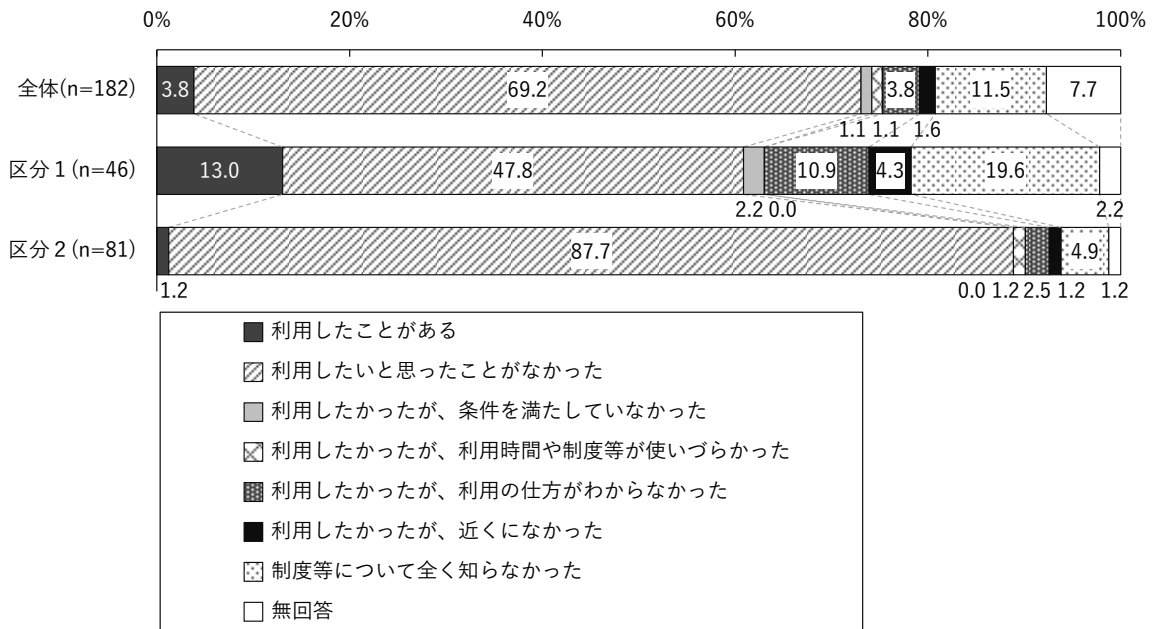
／D フードバンクによる食料支援



16-17歳

問35 お子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／C フードバンクによる食料支援



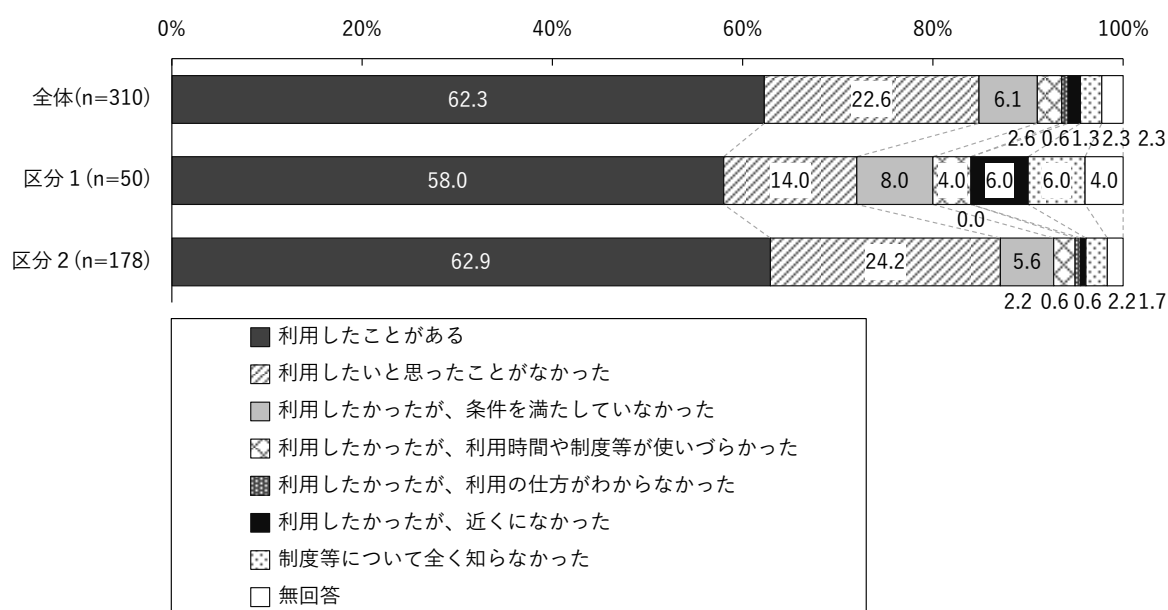
## E 児童館や学童保育所・放課後等デイサービス

【保護者設問】

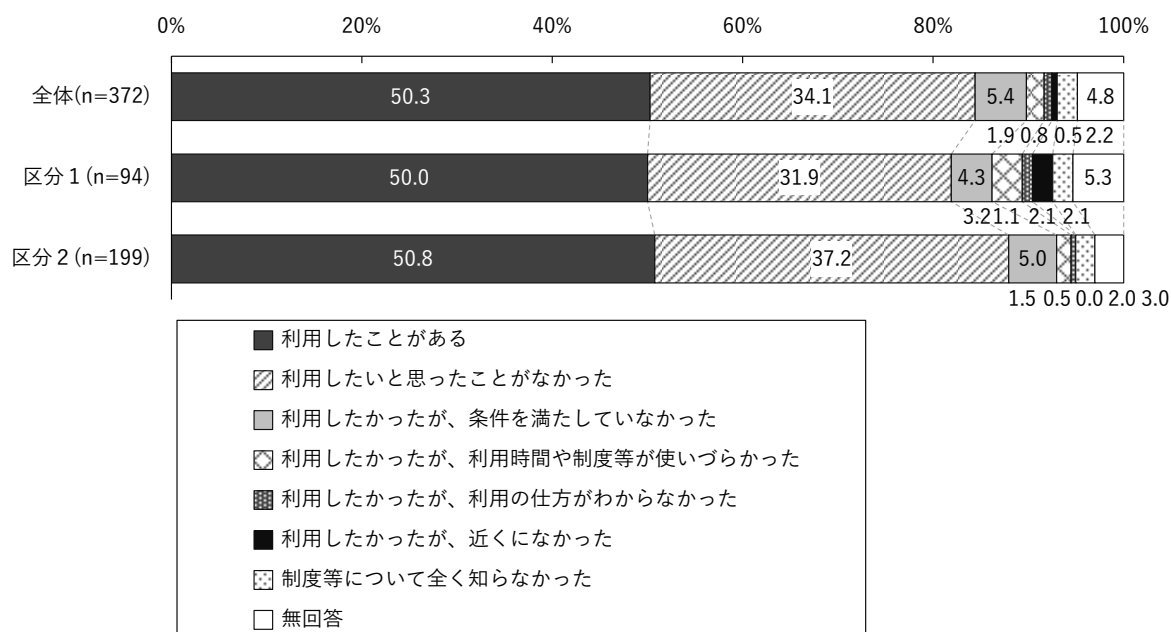
児童館や学童保育所・放課後等デイサービスの利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で62.3%、小学校5年生で50.3%、中学校2年生で42.4%となっています。

区分別にみると「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
 ／E 児童館や学童保育所・放課後等デイサービス



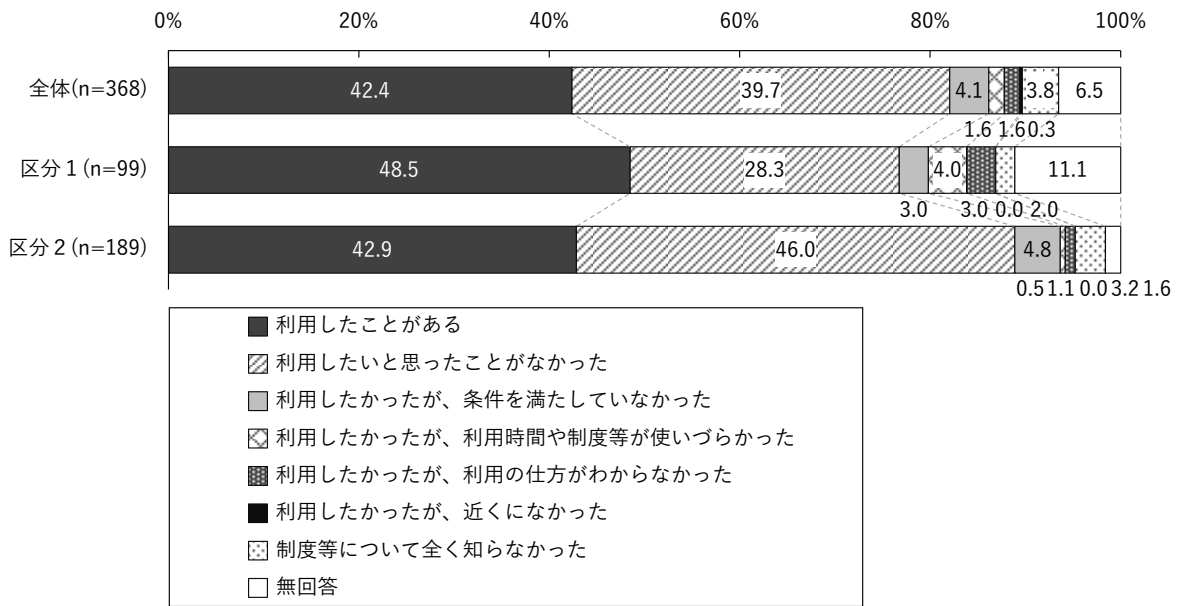
**小学校5年生** 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
 ／E 児童館や学童保育所・放課後等デイサービス



中学校2年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／E 児童館や学童保育所・放課後等デイサービス

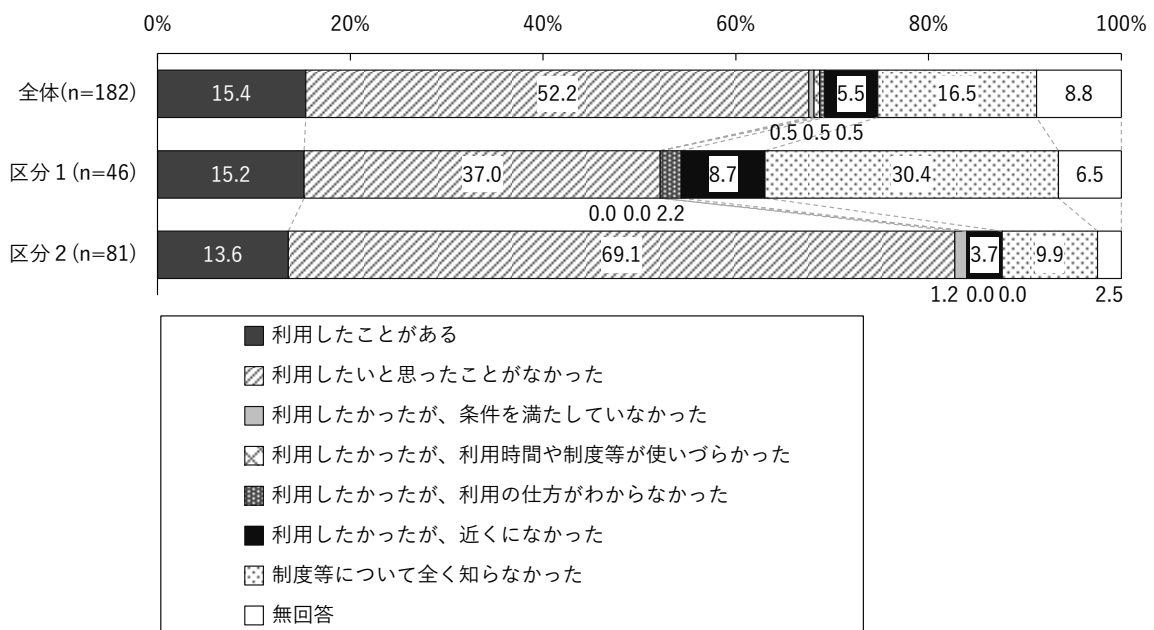


## D 中学卒業後のお子さんが自由に時間を過ごせる場所(公共施設など)

【保護者設問】

中学卒業後のお子さんが自由に時間を過ごせる場所(公共施設など)の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は16-17歳の全体をみると15.4%となっています。区分別にみると「制度等について全く知らなかった」と回答した割合は、区分1の方が高くなっています。

**16-17歳** 問35 お子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
 /D 中学卒業後のお子さんが自由に時間を過ごせる場所(公共施設など)



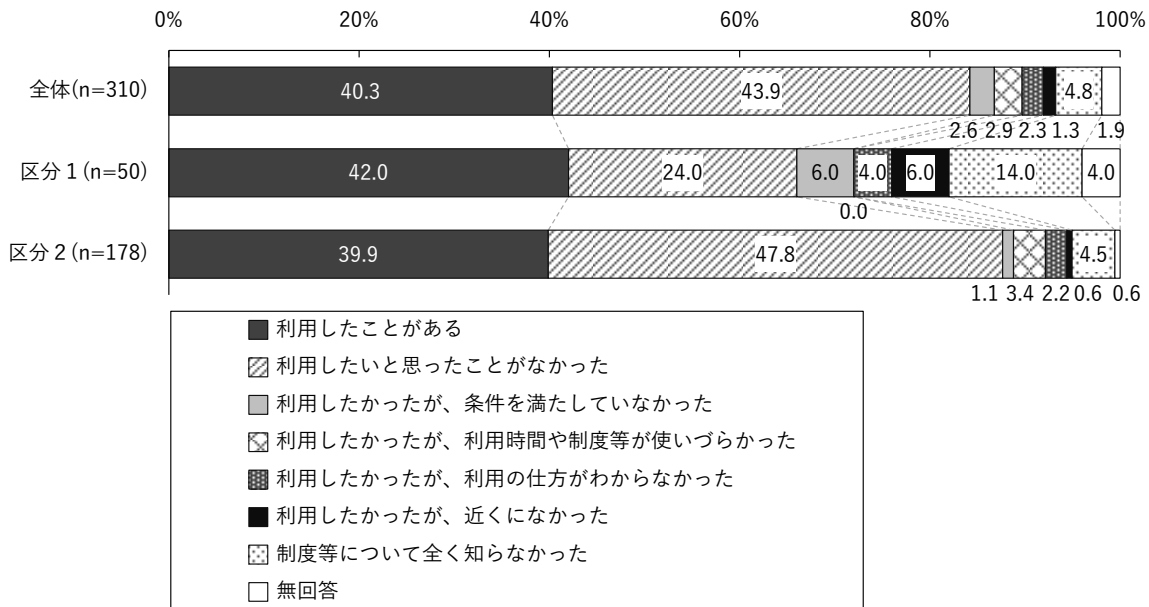
## F 保育園での一時預かり事業

【保護者設問】

保育園での一時預かり事業の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で40.3%、小学校5年生で32.3%、中学校2年生で31.5%となっています。

区分別にみると「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

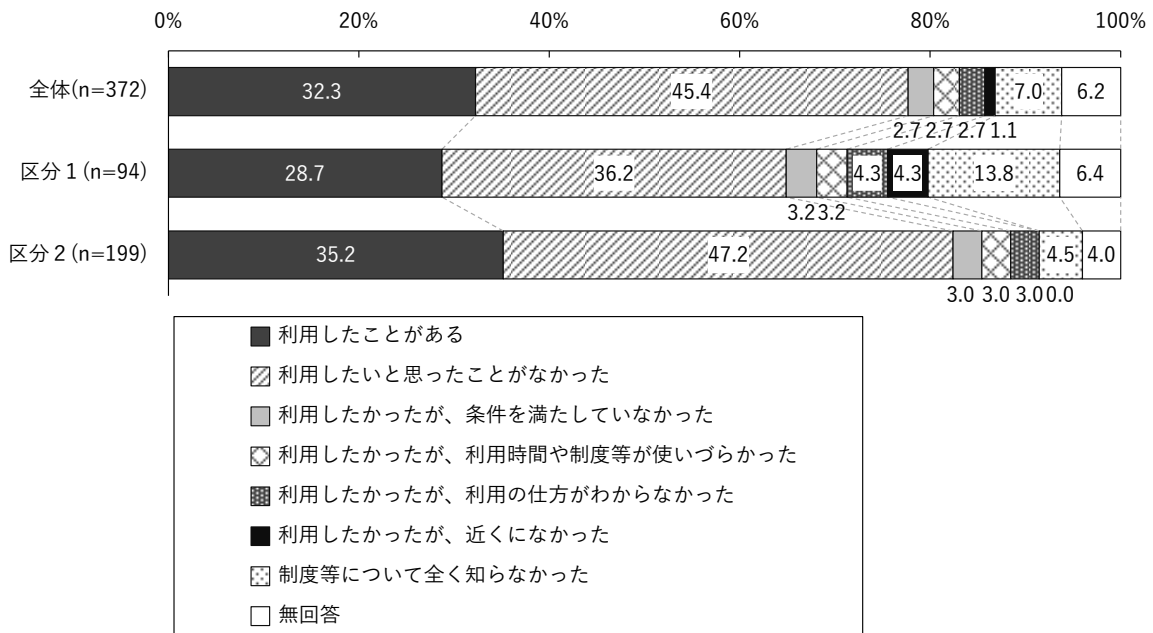
**小学校1年生** 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／F 保育園での一時預かり事業



小学校5年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

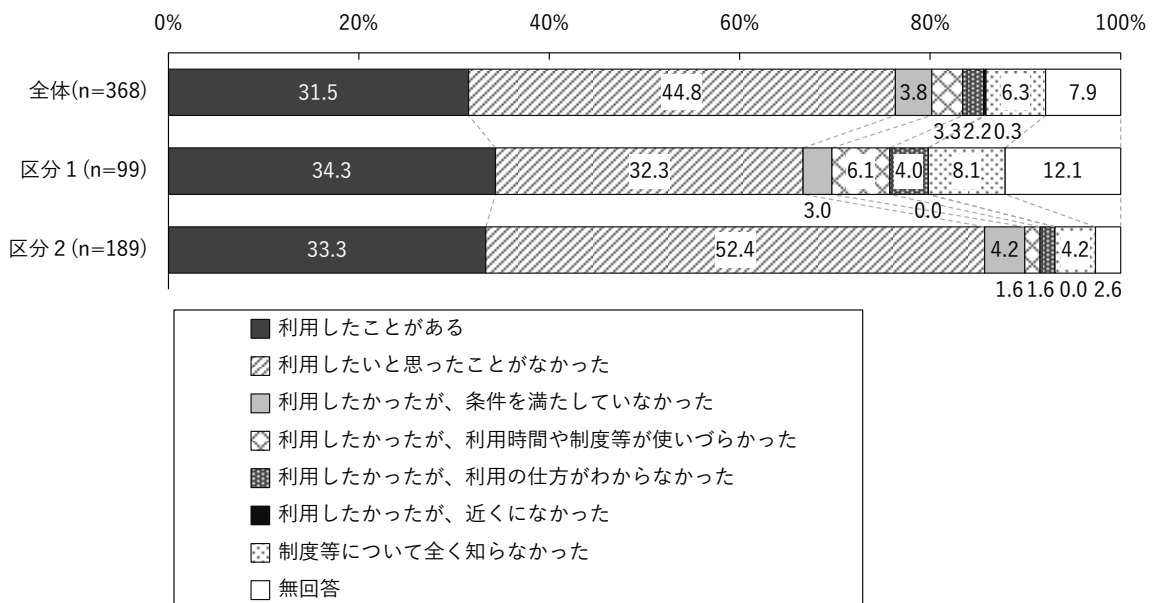
／F 保育園での一時預かり事業



中学校2年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／F 保育園での一時預かり事業



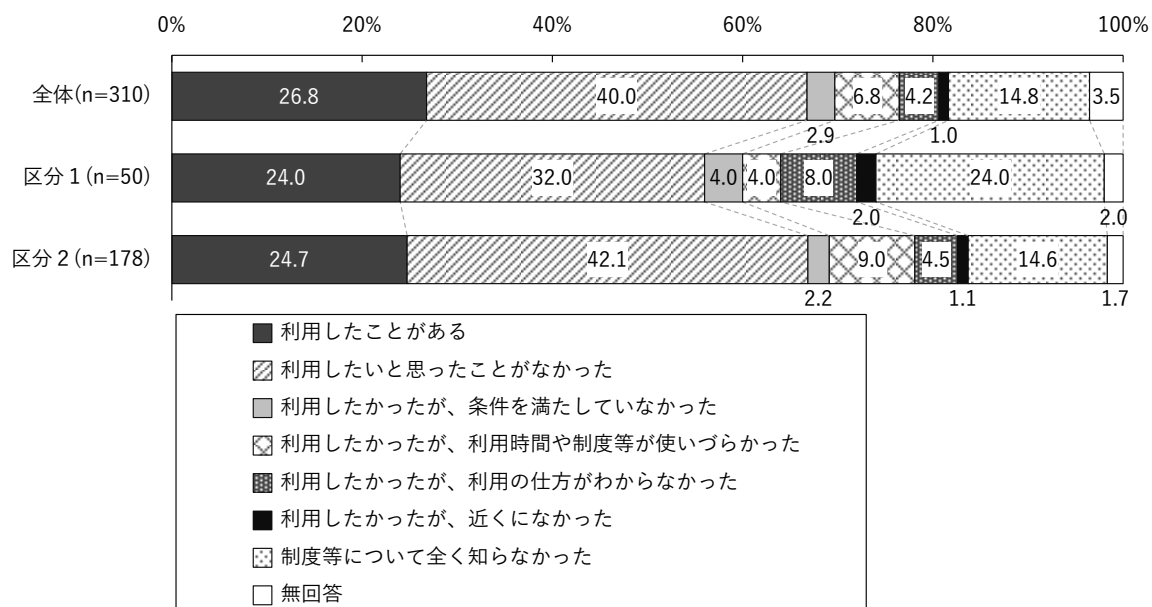
## G 放課後子ども教室

【保護者設問】

放課後子ども教室の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で26.8%、小学校5年生で22.6%、中学校2年生で15.8%となっています。

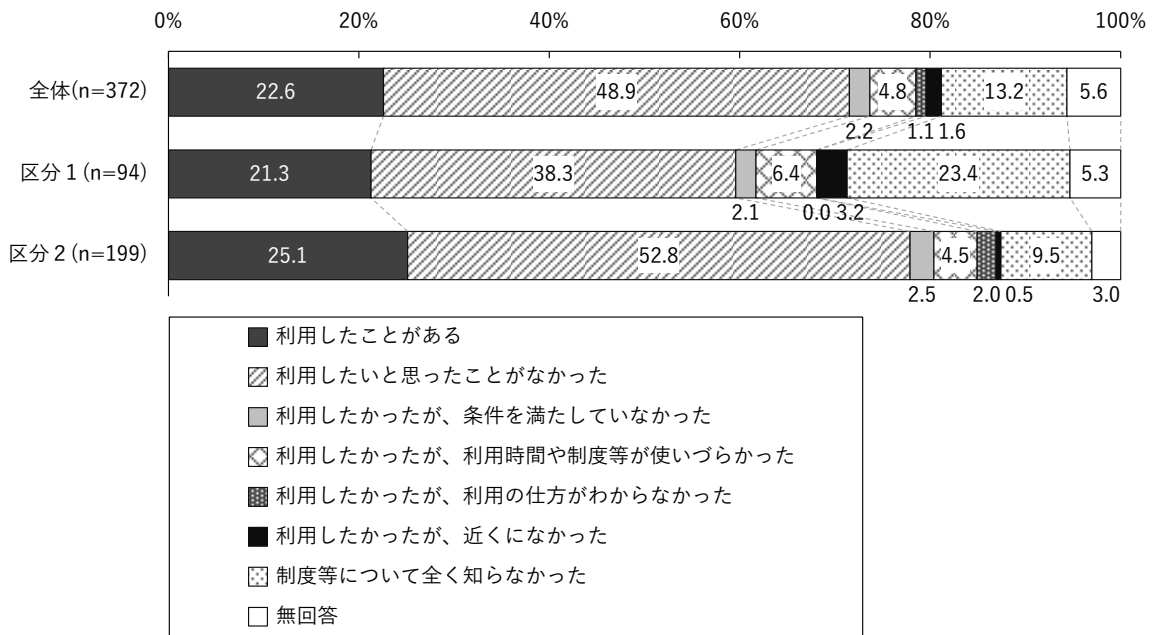
区分別にみると「利用したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
／G 放課後子ども教室



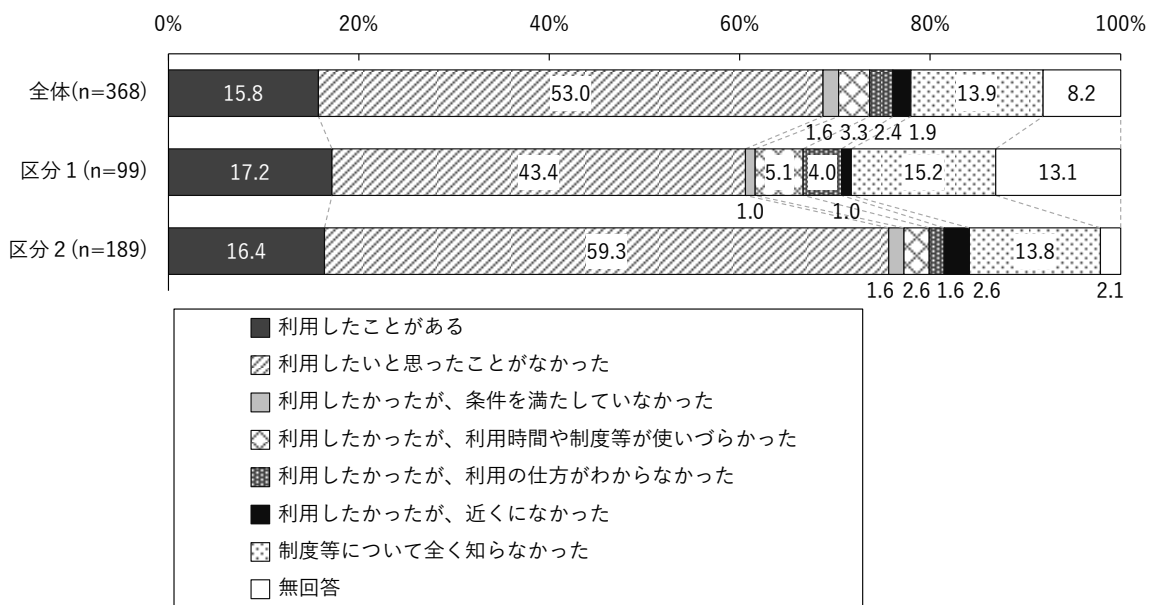
小学校5年生 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／G 放課後子ども教室



中学校2年生 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／G 放課後子ども教室





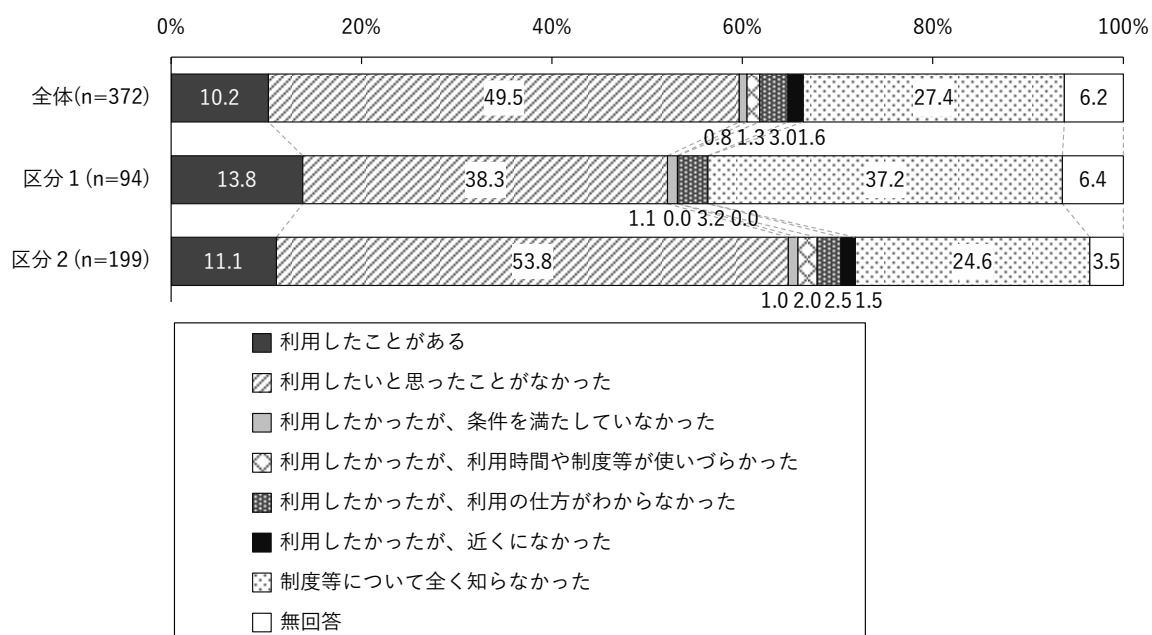
## H/E 学校が実施する補講（学習支援）

【保護者設問】

学校が実施する補講（学習支援）の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で10.2%、小学校5年生で16.0%、中学校2年生で20.3%となっています。

区分別にみると「利用したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

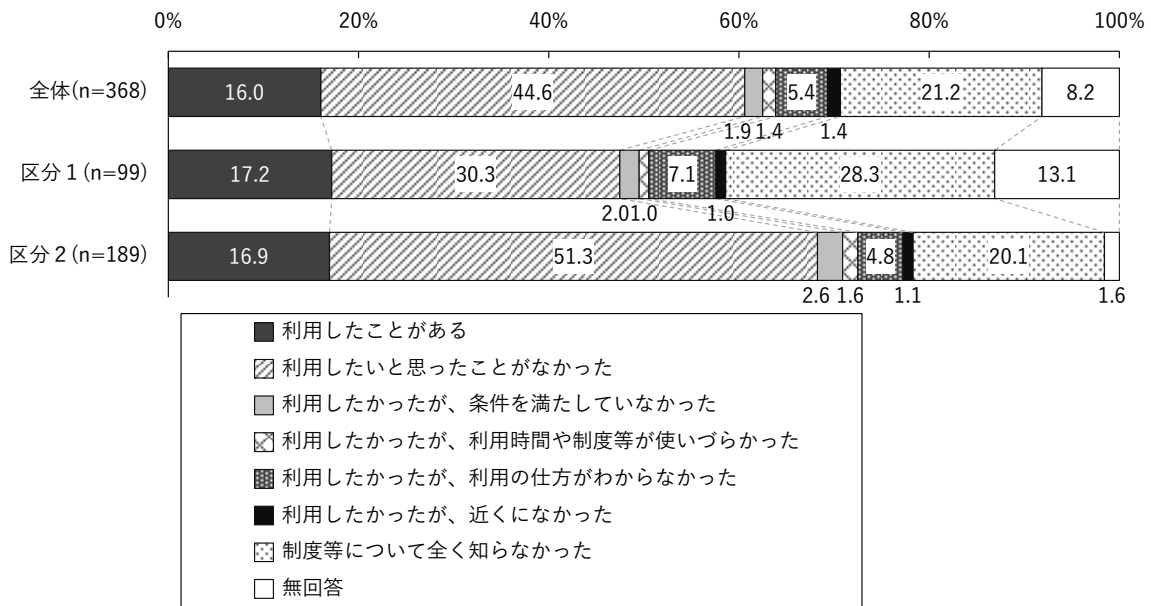
**小学校5年生** 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
 /H 学校が実施する補講(学習支援)



中学校2年生

問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

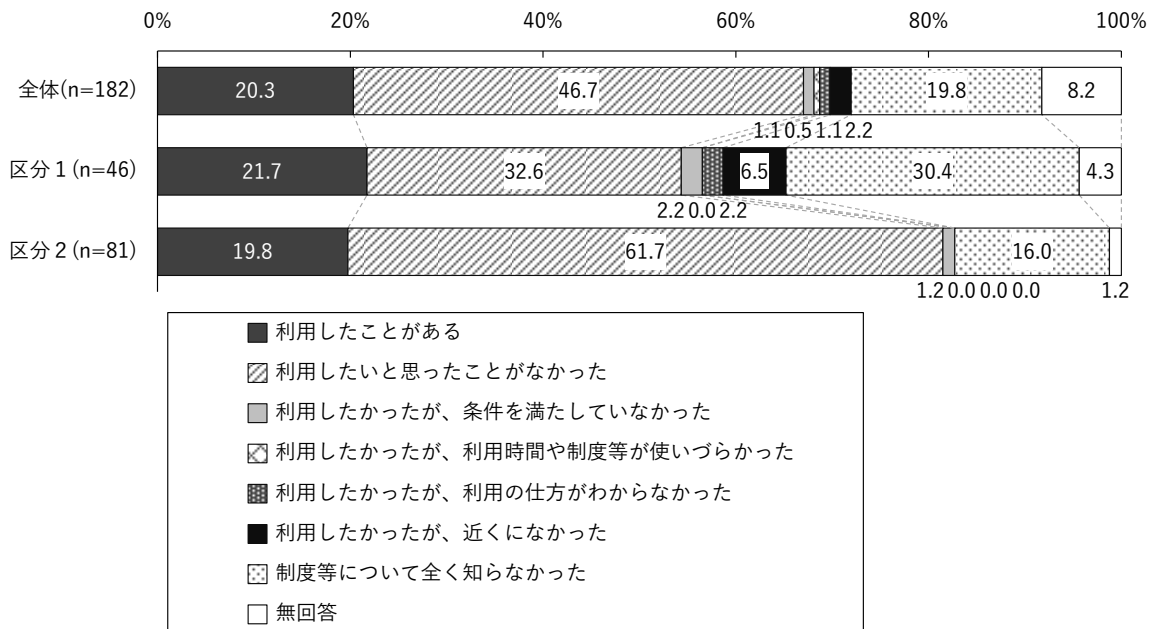
／H 学校が実施する補講(学習支援)



16-17歳

問35 お子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／E 学校が実施する補講(学習支援)



## H / I / F 学校以外が実施する学習支援

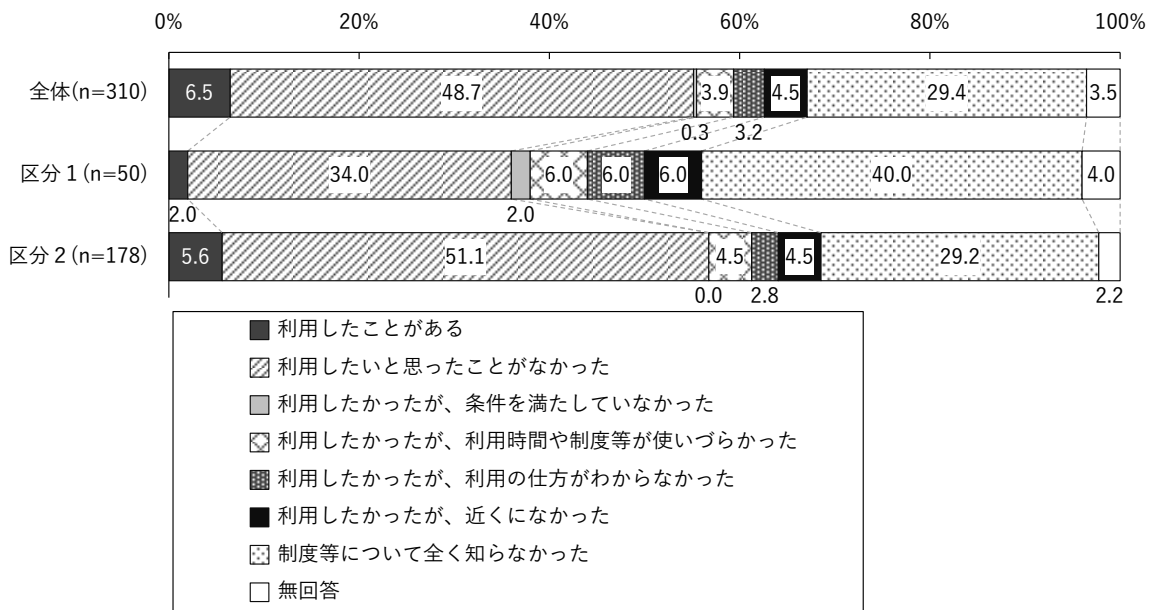
【保護者設問】

学校以外が実施する学習支援の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で6.5%、小学校5年生で7.3%、中学校2年生で8.4%、16-17歳で4.9%となっています。

区別にみると「利用したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

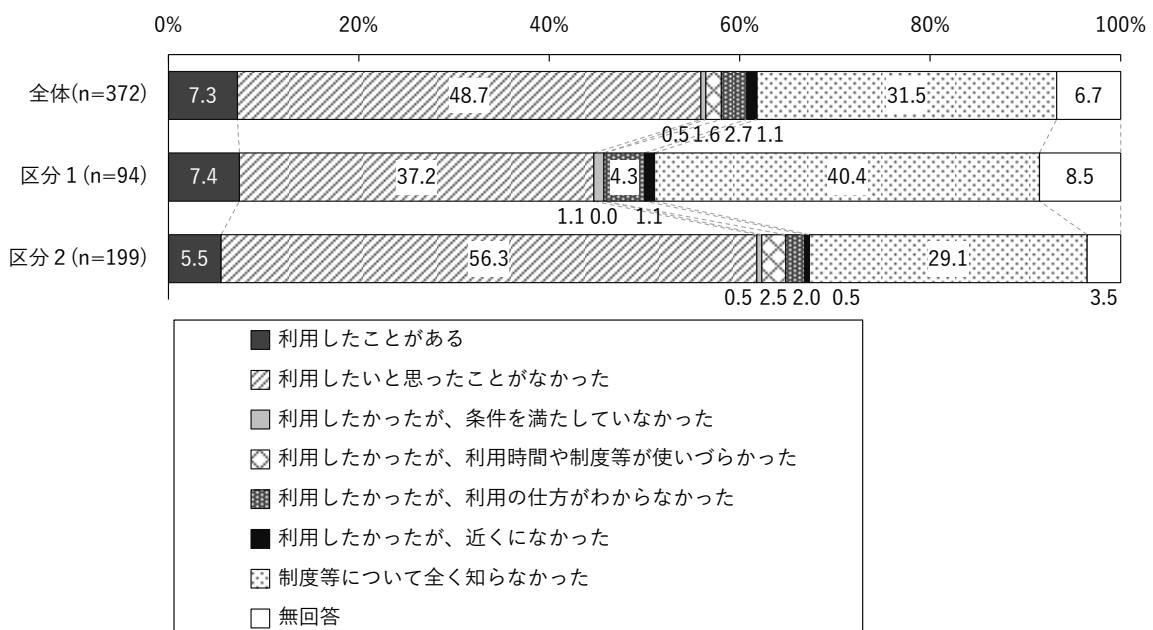
**小学校1年生** 問45 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／H 学校以外が実施する学習支援



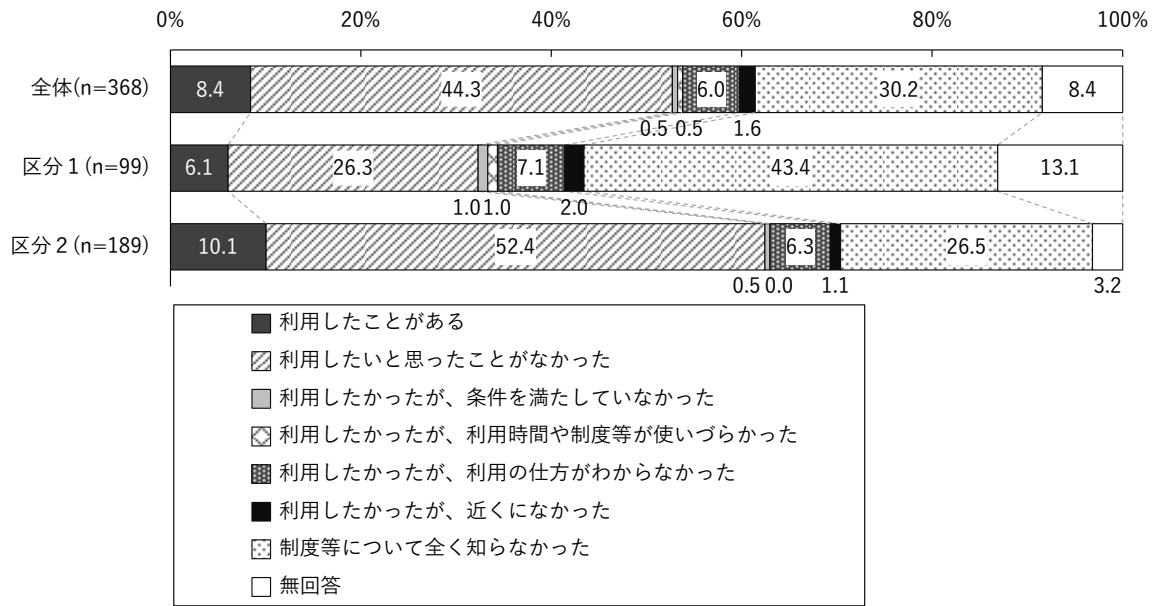
**小学校5年生** 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／I 学校以外が実施する学習支



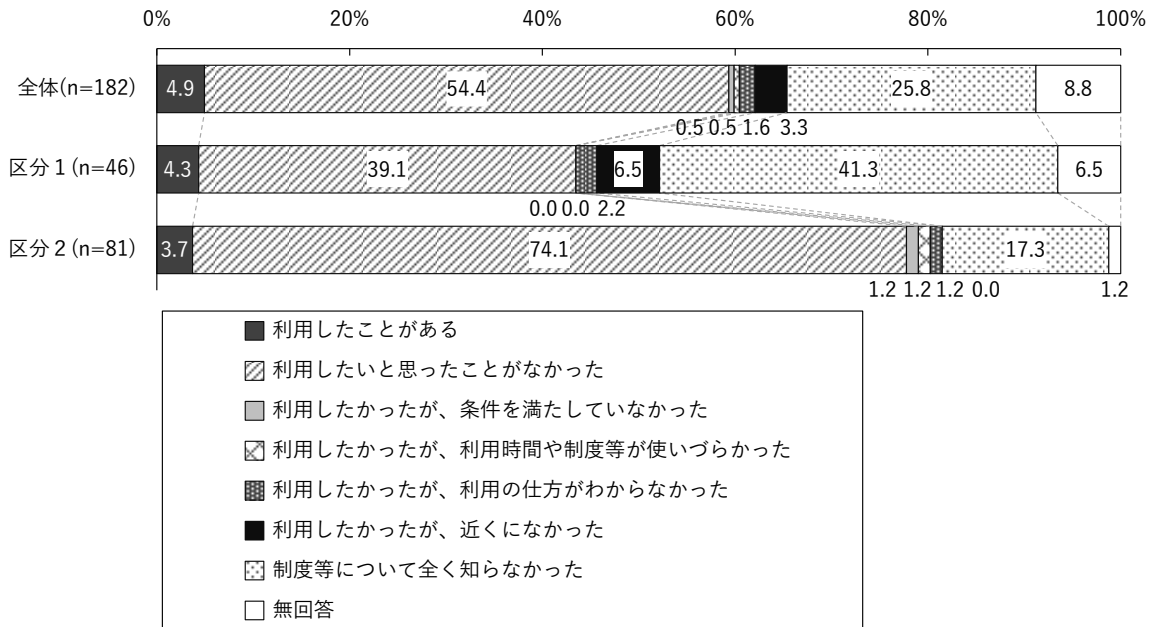
中学校2年生 問33 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／I 学校以外が実施する学習支



16-17歳 問35 お子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

／F 学校以外が実施する学習支援



### (3) 経済的支援制度の利用経験

#### I / J / G 生活福祉資金

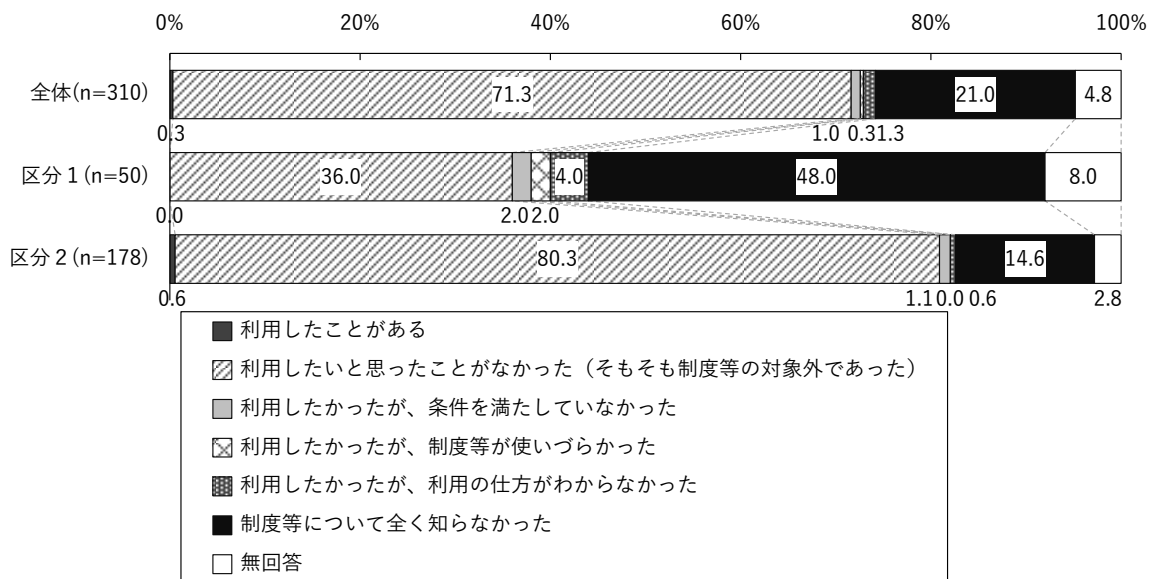
【保護者設問】

生活福祉資金の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で0.3%、小学校5年生で1.3%、中学校2年生で1.4%、16-17歳で0.0%となっています。

区別にみると「利用したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

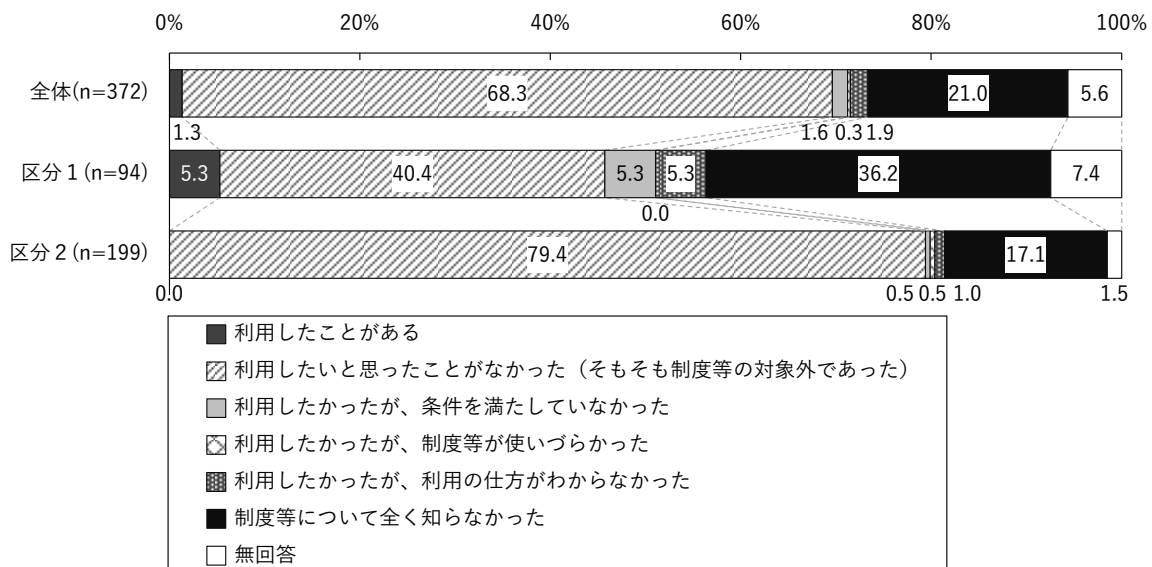
小学校1年生 問46 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。

／I 生活福祉資金

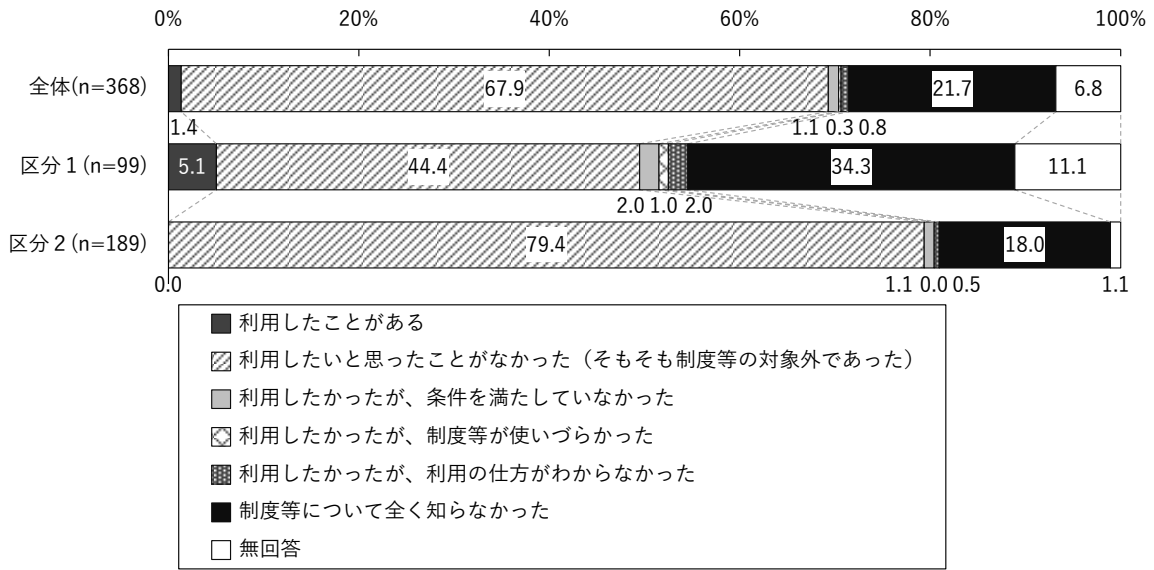


小学校5年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。

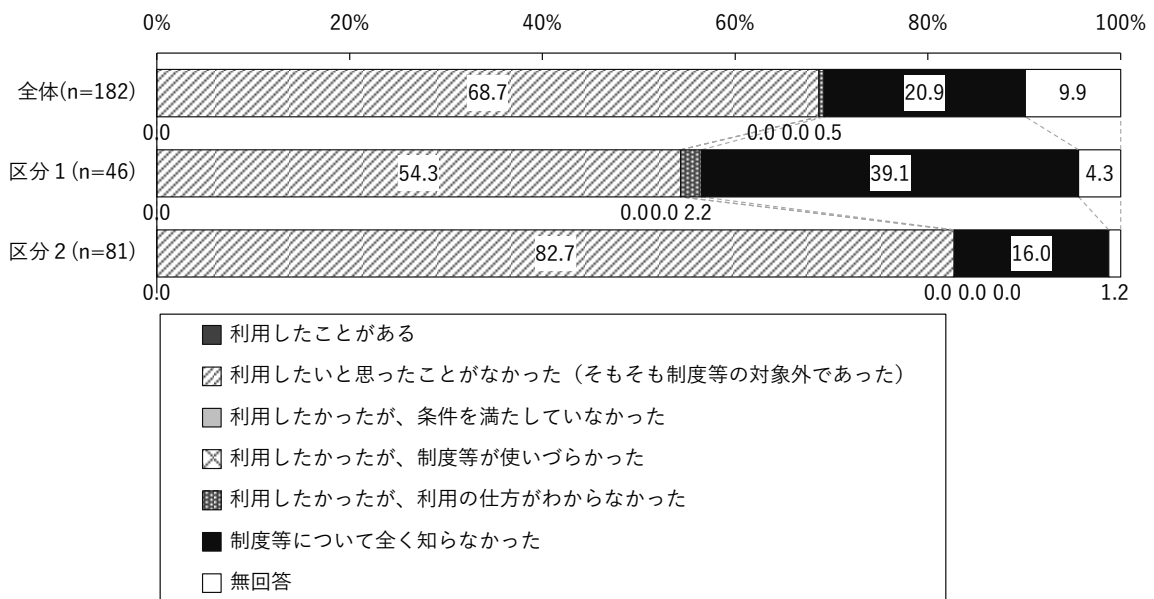
／J 生活福祉資金



中学校2年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
 /J 生活福祉資金



16-17歳 問36 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
 /G 生活福祉資金



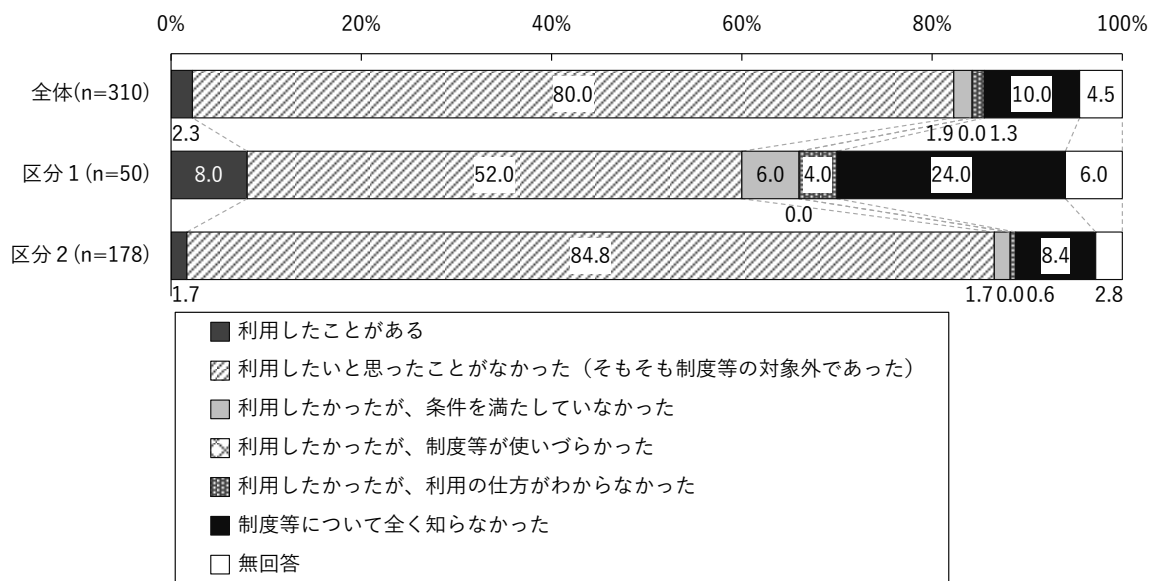
J/K/H 生活保護

【保護者設問】

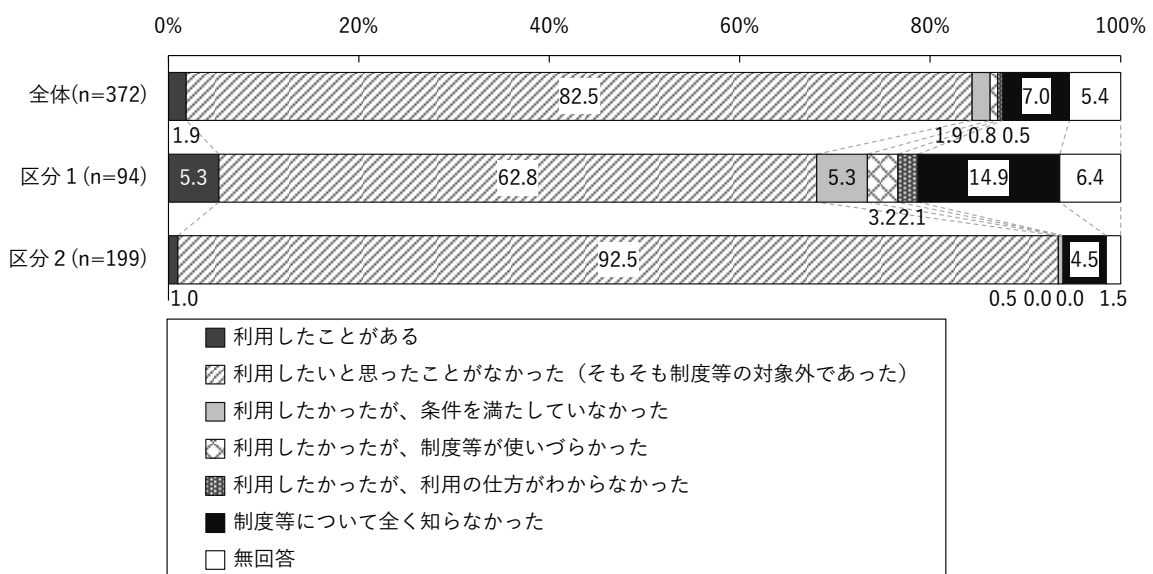
生活保護の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で2.3%、小学校5年生で1.9%、中学校2年生で2.4%、16-17歳で1.1%となっています。

区分別にみると「利用したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

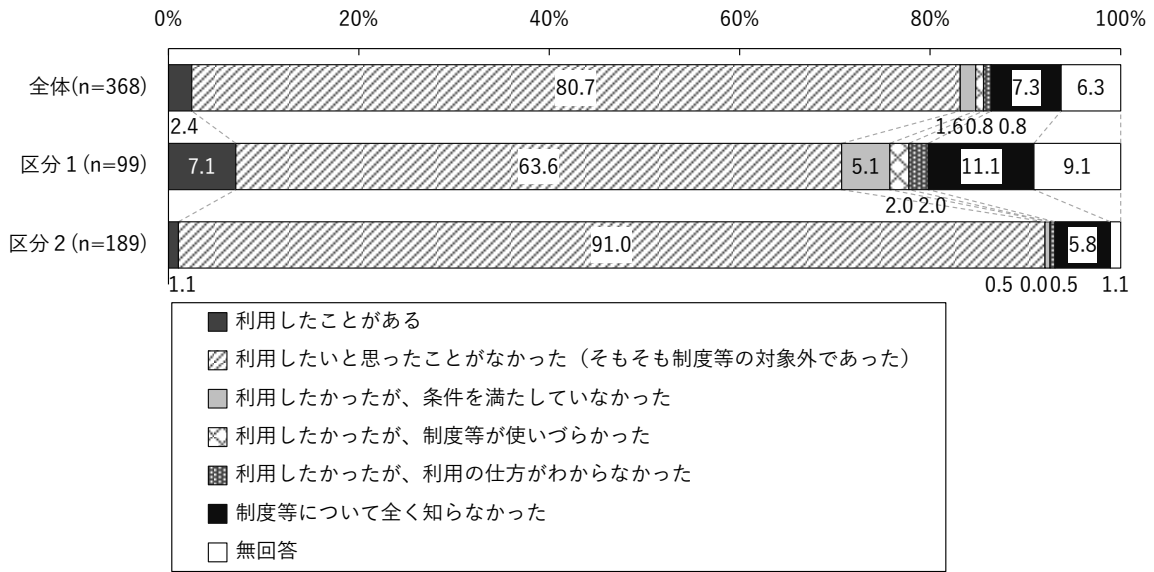
小学校1年生 問46 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
/J 生活保護



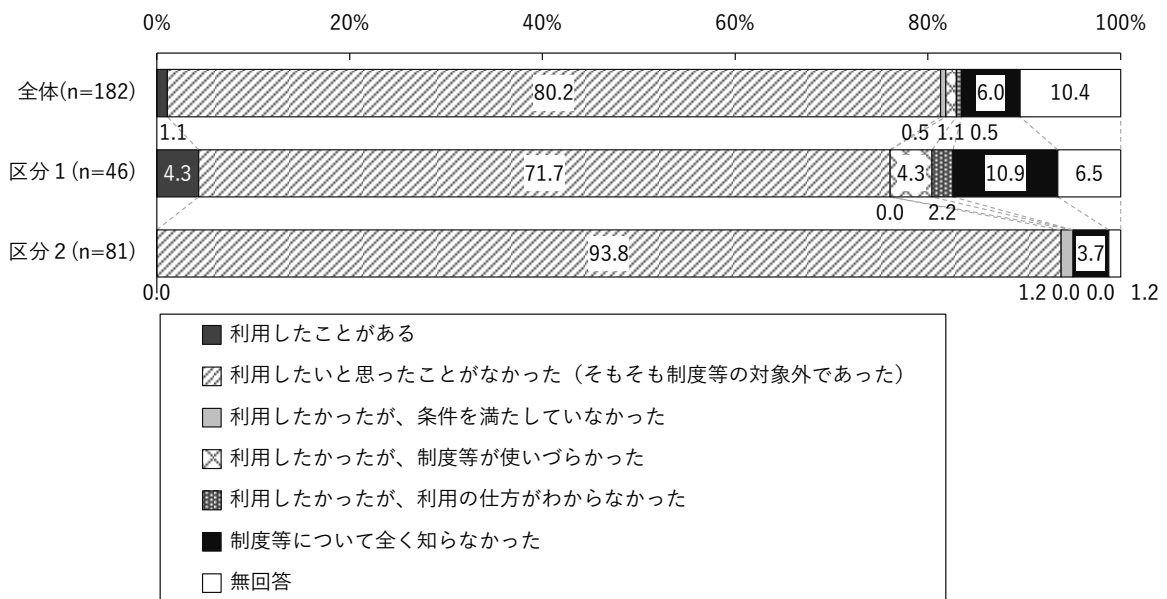
小学校5年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
/K 生活保護



中学校2年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
 /K 生活保護



16-17歳 問36 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
 /H 生活保護





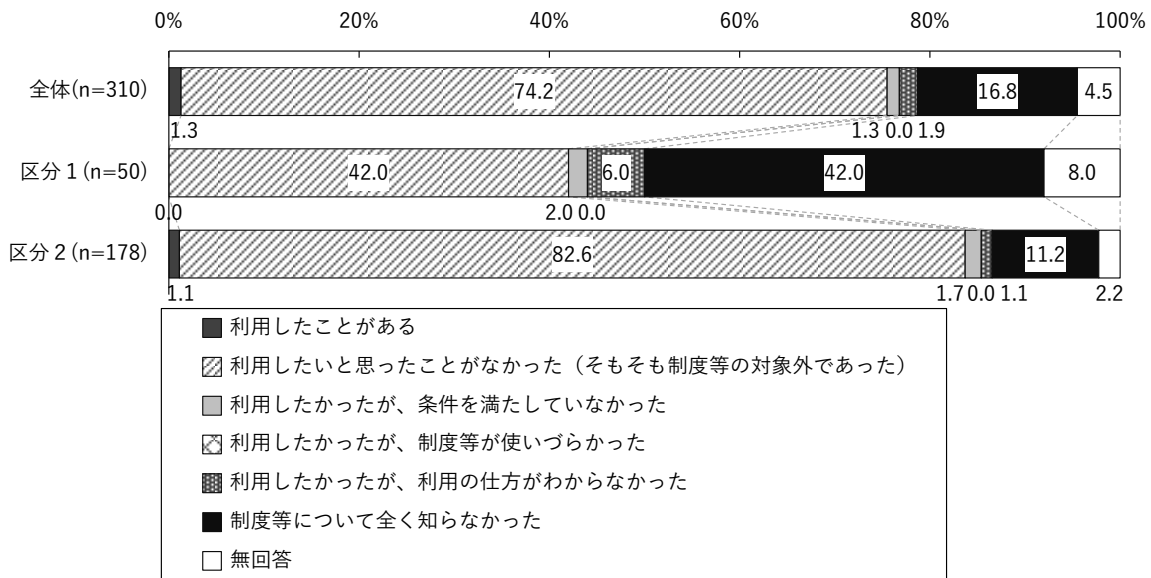
## K/L/I 母子父子寡婦福祉資金

【保護者設問】

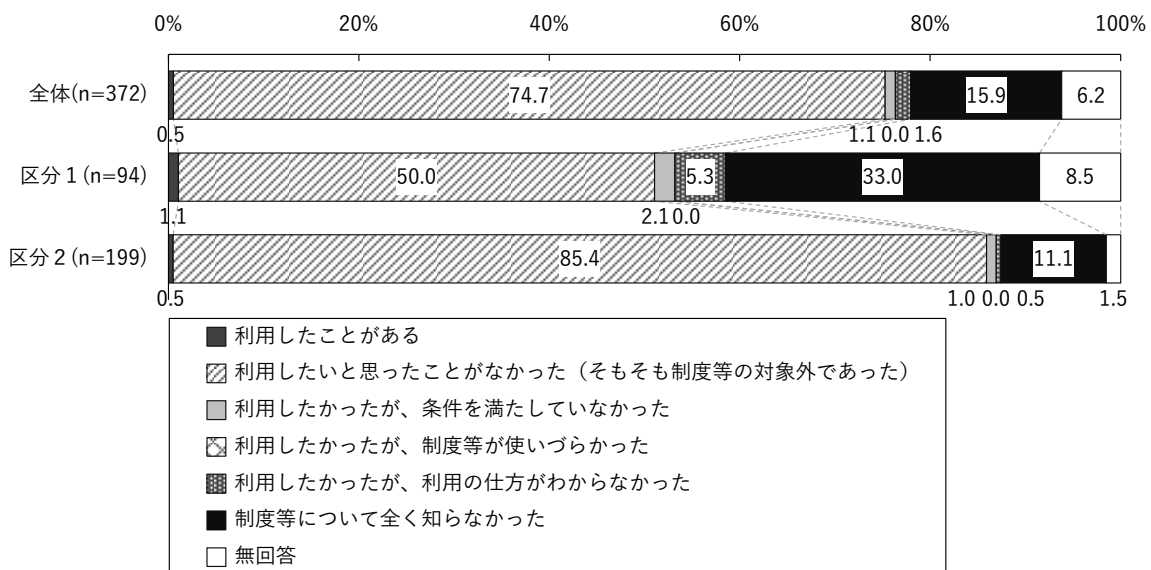
母子父子寡婦福祉資金の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で1.3%、小学校5年生で0.5%、中学校2年生で2.2%、16-17歳で0.5%となっています。

区別にみると「利用したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

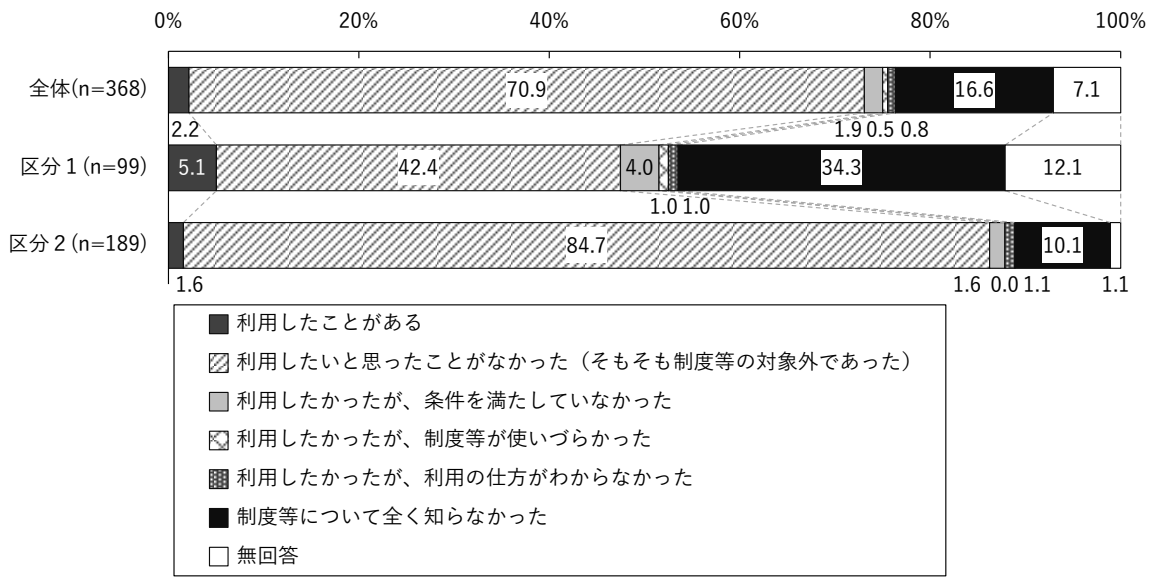
小学校1年生 問46 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
/K 母子父子寡婦福祉資金



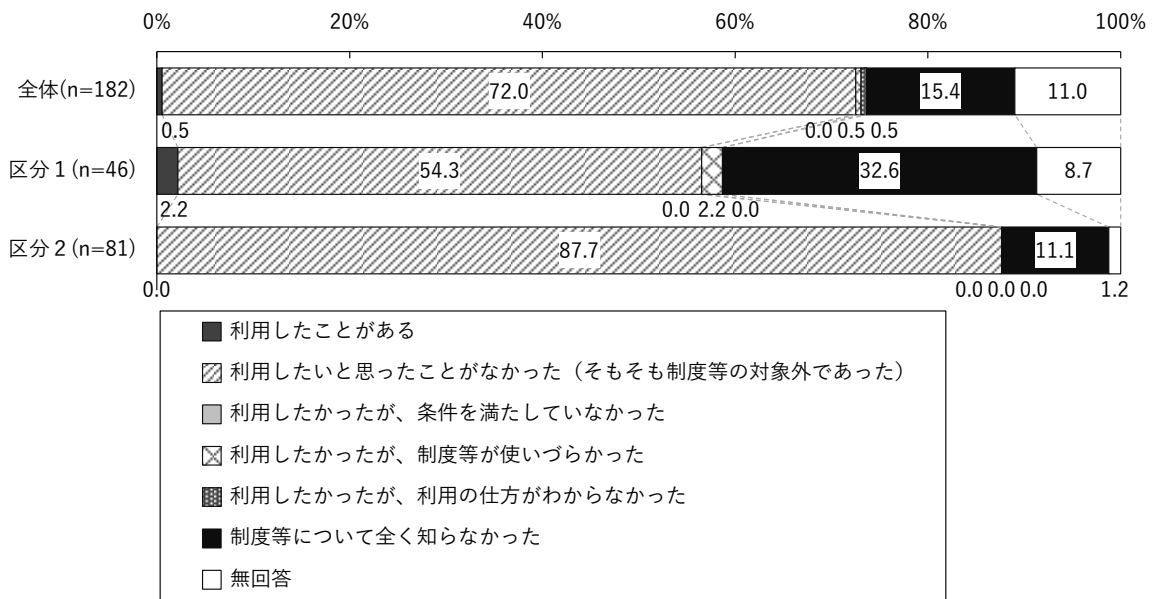
小学校5年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
/L 母子父子寡婦福祉資金



中学校2年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
 /L 母子父子寡婦福祉資金



16-17歳 問36 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
 /I 母子父子寡婦福祉資金



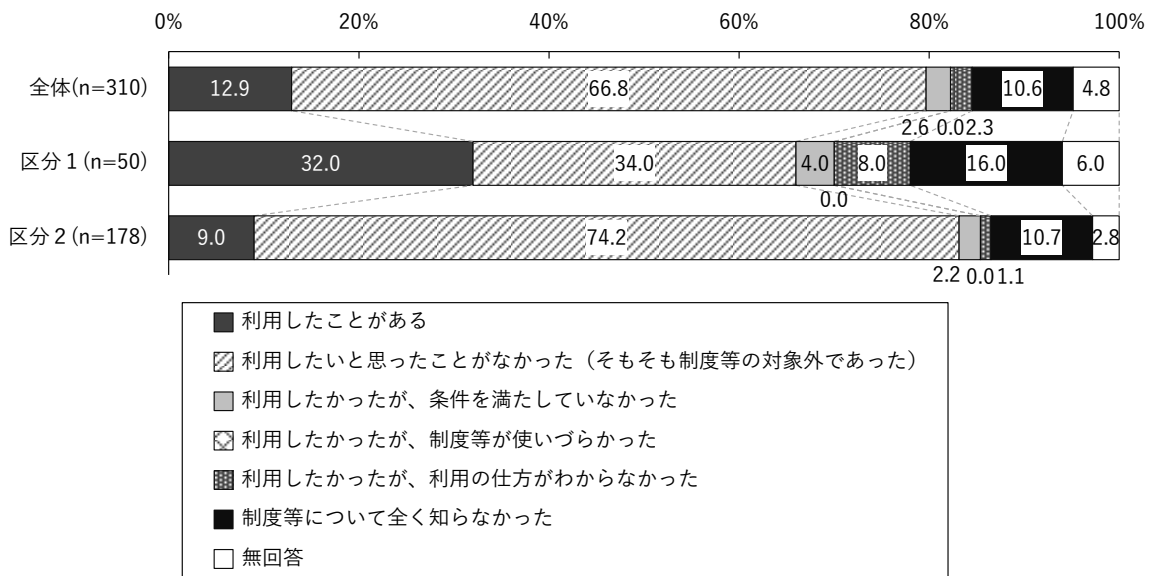
## L/M/J 児童扶養手当

【保護者設問】

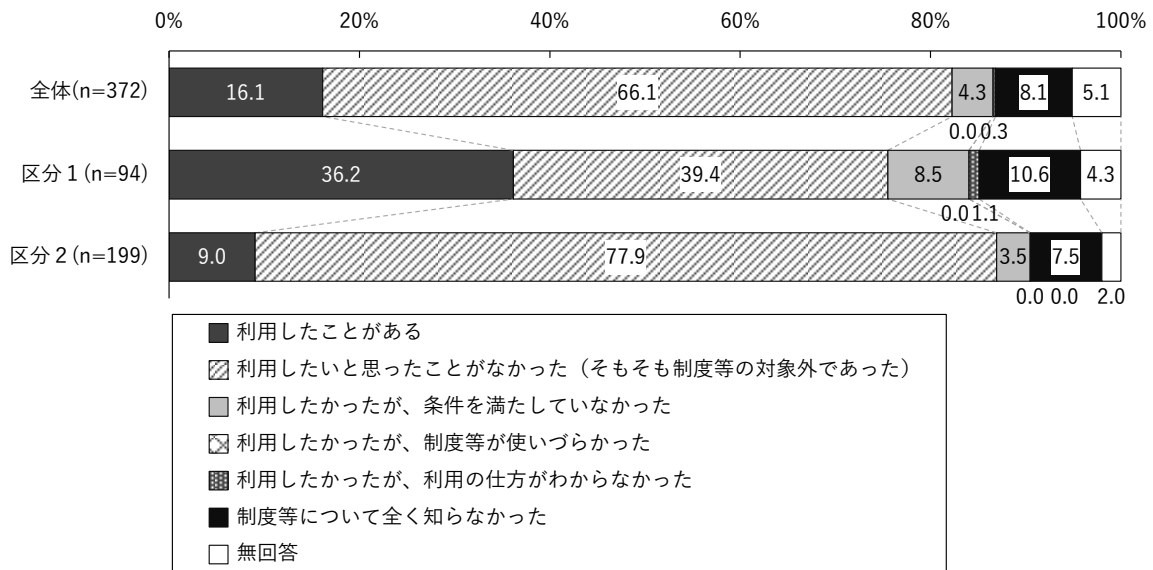
児童扶養手当の利用経験について「利用したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で12.9%、小学校5年生で16.1%、中学校2年生で18.2%、16-17歳で18.7%となっています。

区分別にみると「利用したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「制度等について全く知らなかった」は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問46 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
／L 児童扶養手当

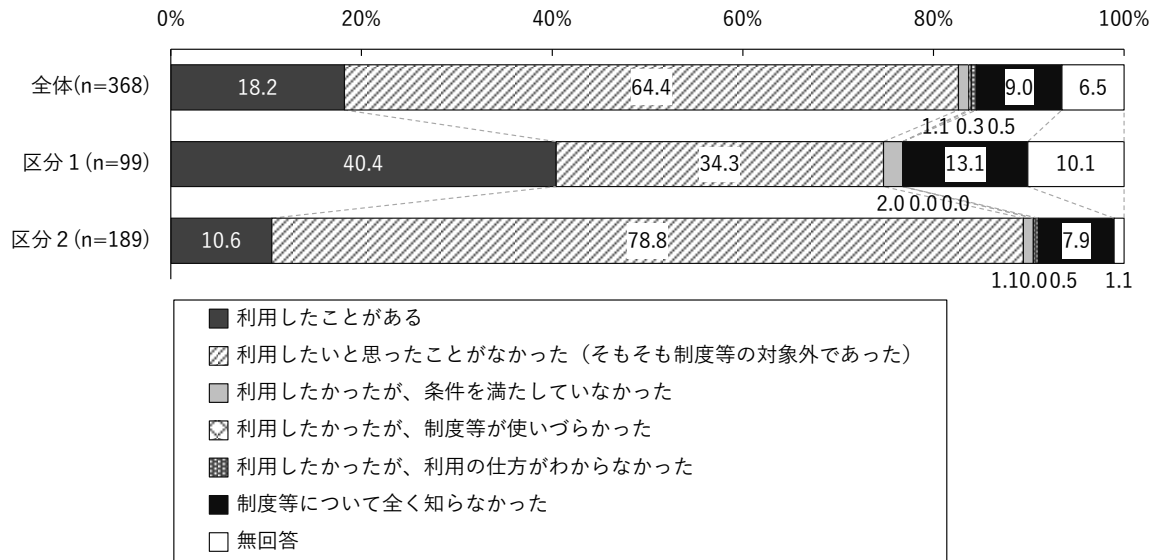


小学校5年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。  
／M 児童扶養手当



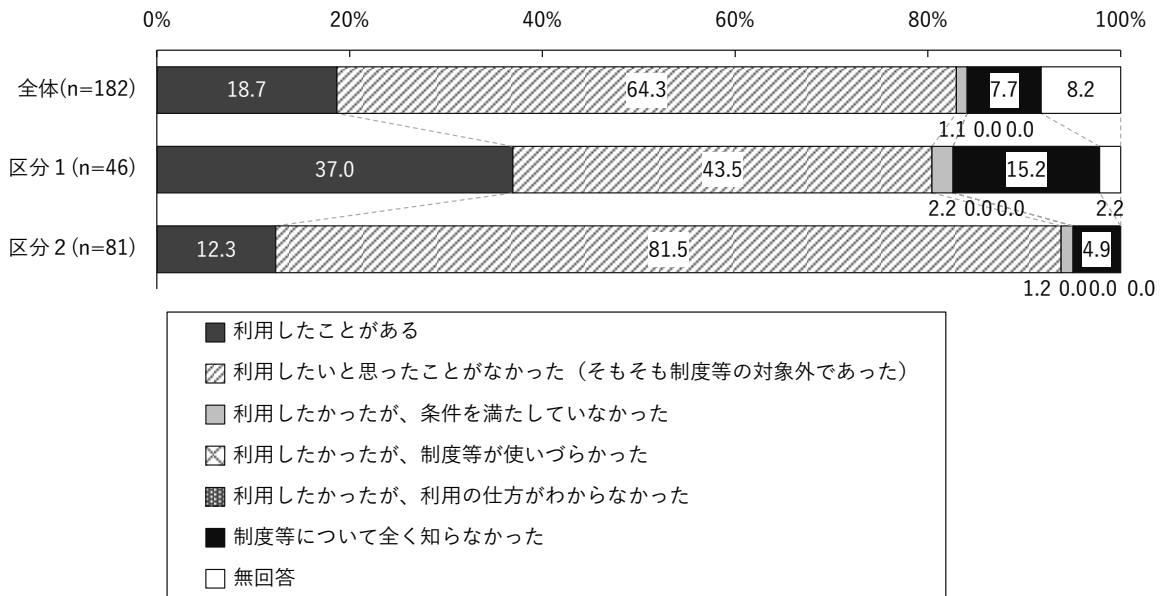
中学校2年生 問34 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。

／M 児童扶養手当



16-17歳 問36 次の支援制度等を、これまでに利用・受給したことがありますか。

／J 児童扶養手当



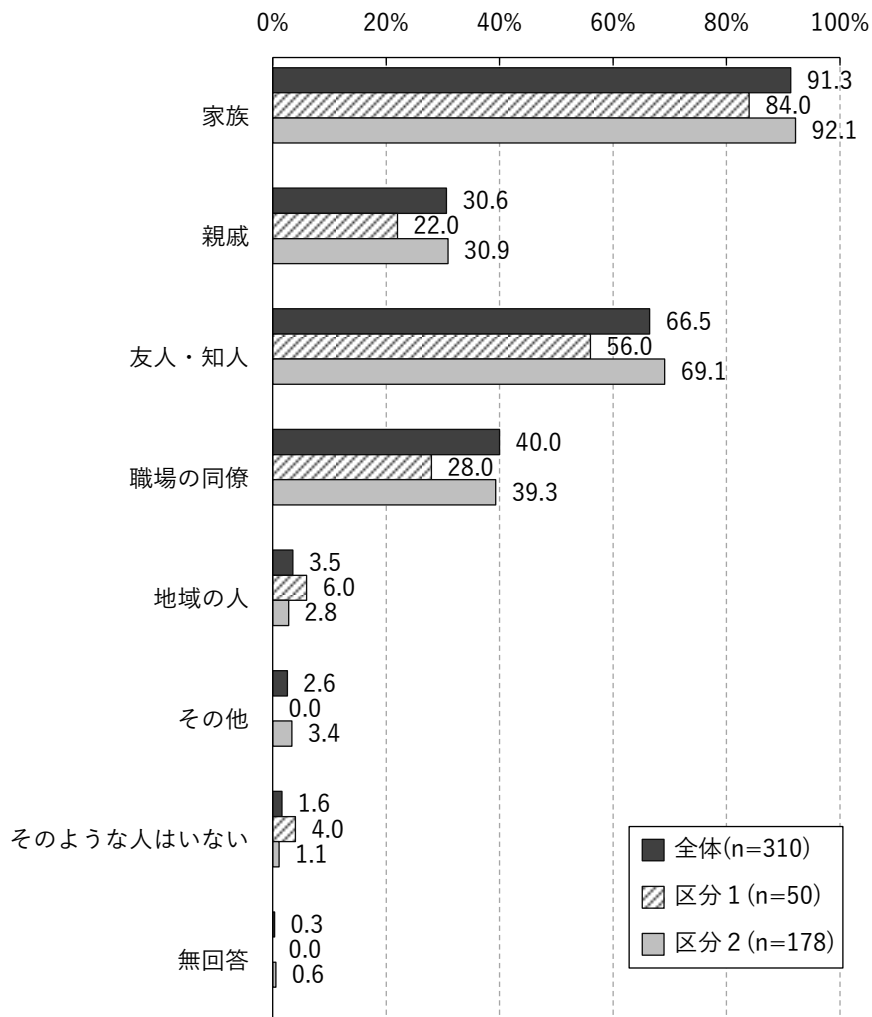
#### (4) 困ったときの相談相手

【保護者設問】

困ったときの相談相手について全体をみると、いずれの学年も「家族」「友人・知人」の順で高く、小学校1年生ではそれぞれ91.3%、66.5%、小学校5年生では84.7%、64.2%、中学校2年生では84.5%、62.2%、16-17歳では74.7%、50.5%となっています。

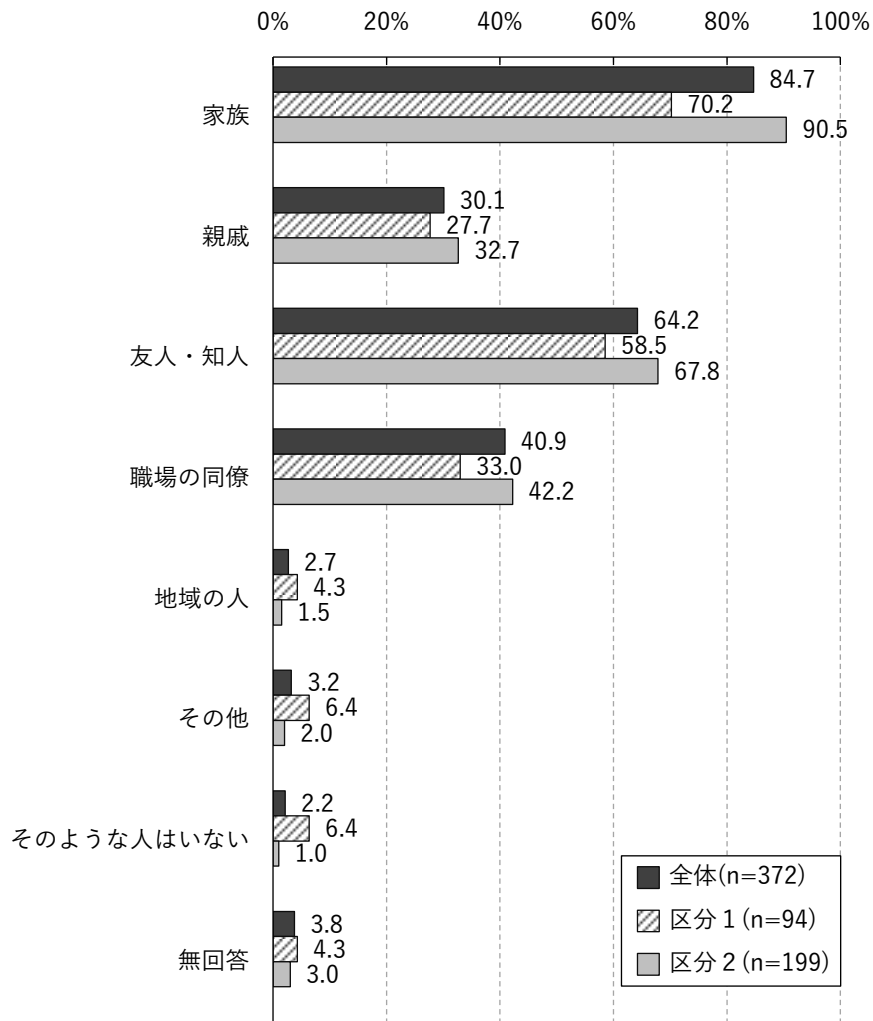
区分別にみると「家族」「親戚」「友人・知人」「職場の同僚」ともに、いずれの学年も区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問47 あなたが、子育てや生活上の問題で困ったときに、相談にのってくれる人はだれですか。



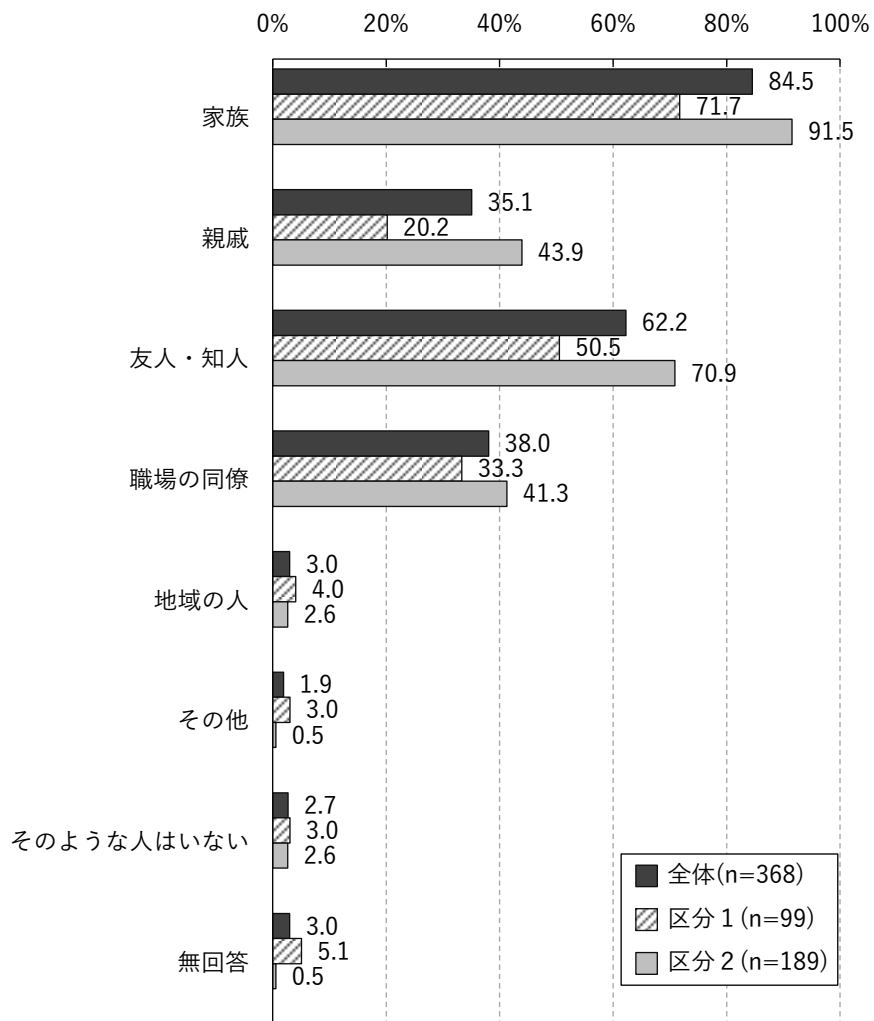
小学校5年生

問35 あなたが、子育てや生活上の問題で困ったときに、相談にのってくれる人はだれですか。

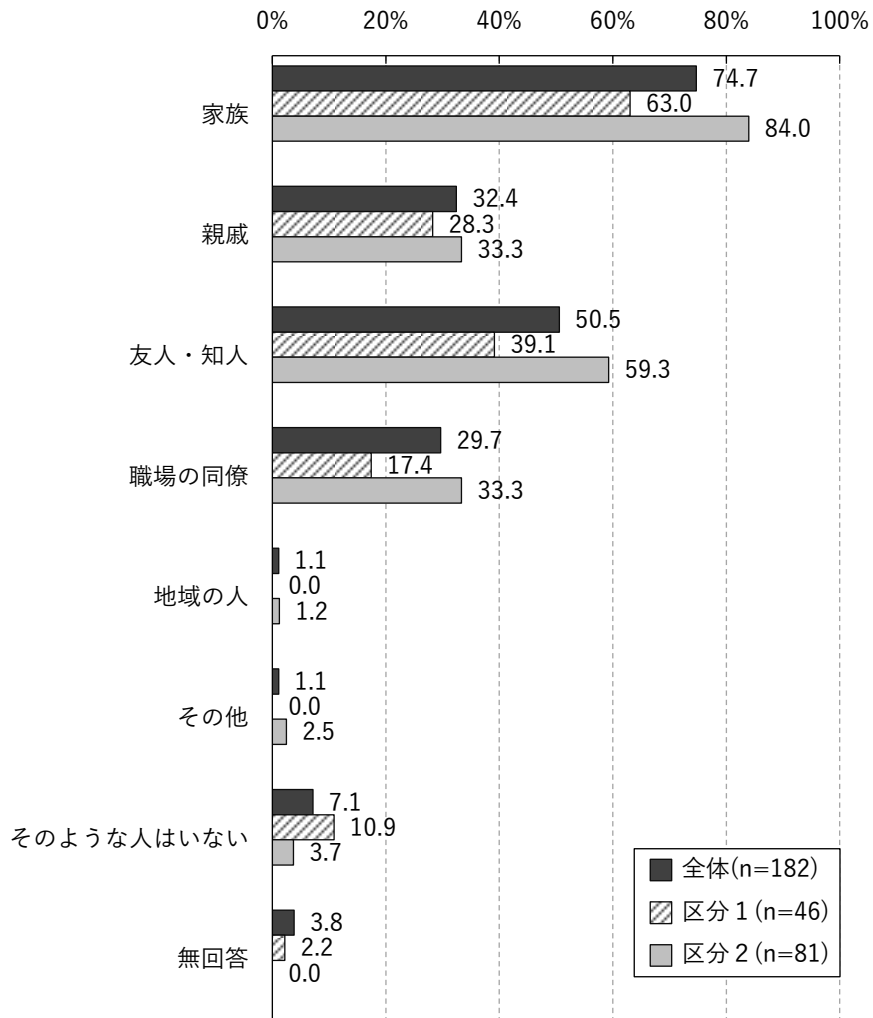


中学校2年生

問35 あなたが、子育てや生活上の問題で困ったときに、相談にのってくれる人はだれですか。



16-17歳 問37 あなたが、子育てや生活上の問題で困ったときに、相談にのってくれる人はだれですか。





## (5) 公的相談機関等の利用経験

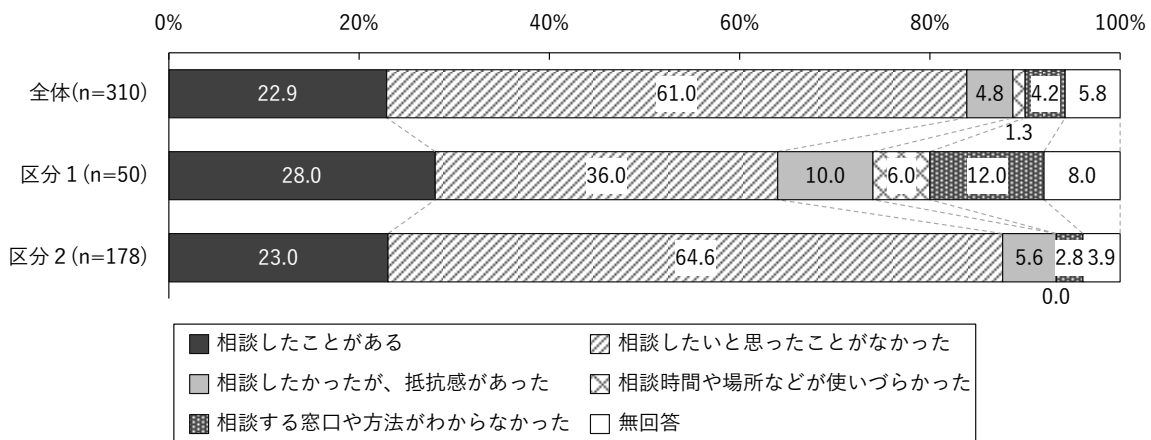
### A 市役所の各種相談窓口

【保護者設問】

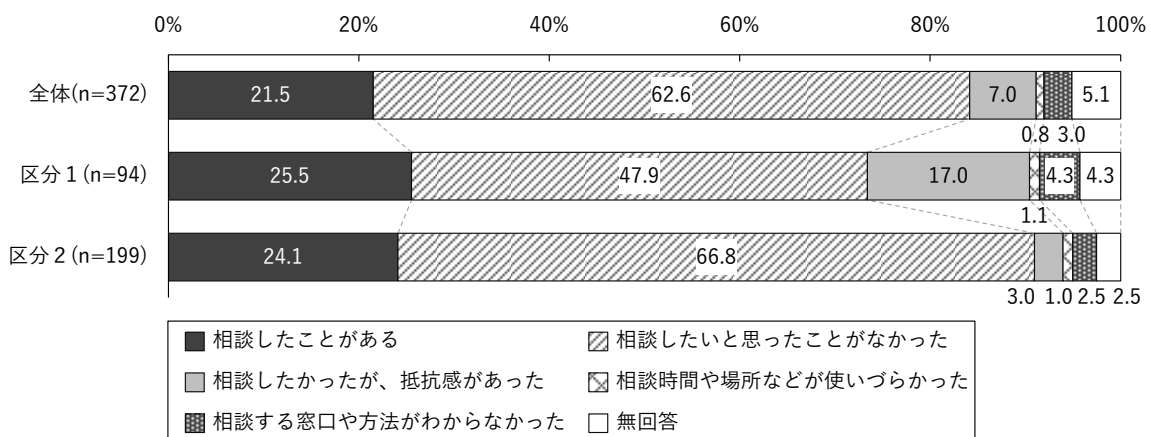
市役所の各種相談窓口の利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で22.9%、小学校5年生で21.5%、中学校2年生で20.1%、16-17歳で15.9%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談したかったが、抵抗感があった」は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／A 市役所の各種相談窓口

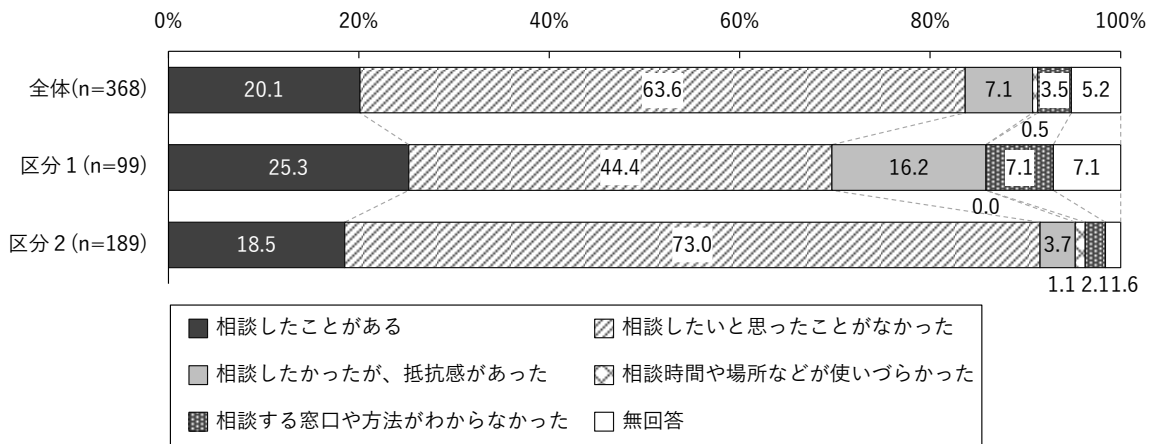


小学校5年生 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／A 市役所の各種相談窓口



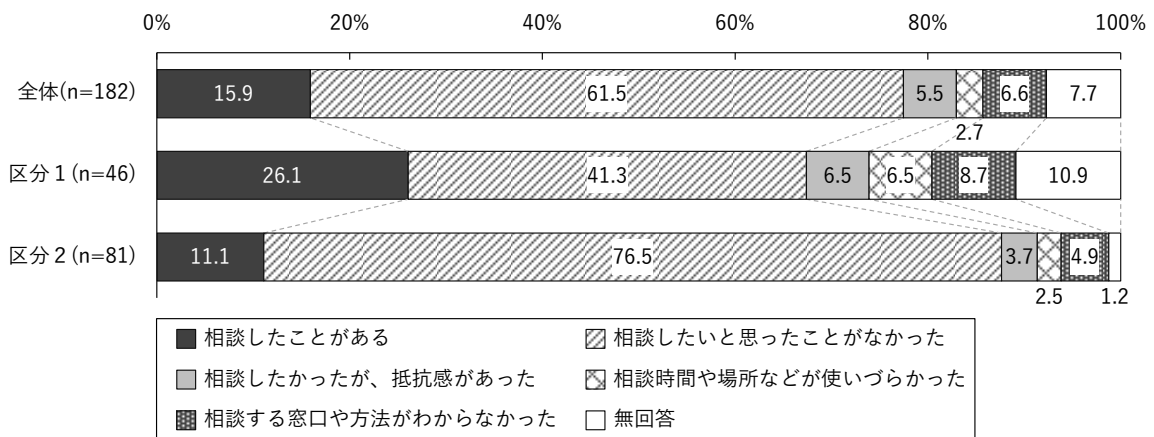
中学校2年生

問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／A 市役所の各種相談窓口



16-17歳

問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／A 市役所の各種相談窓口



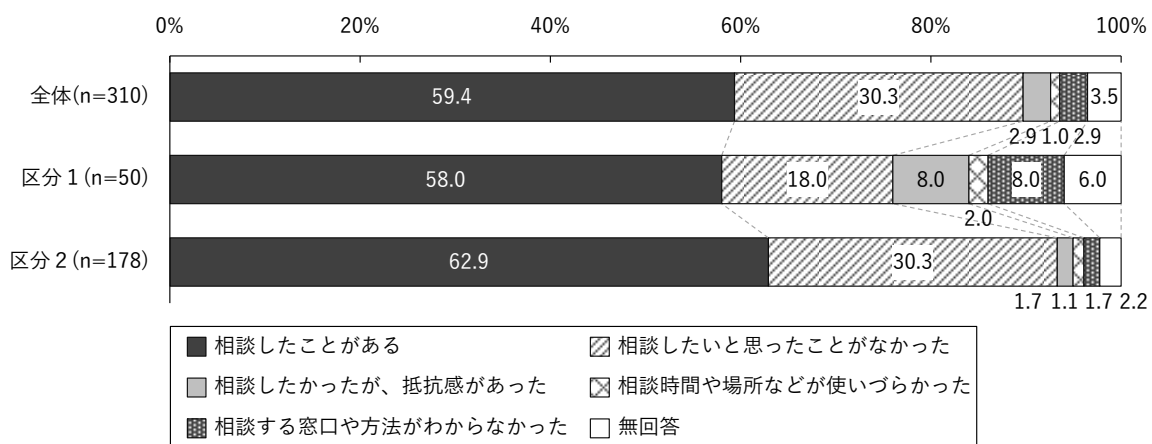
## B 学校・保育園・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

【保護者設問】

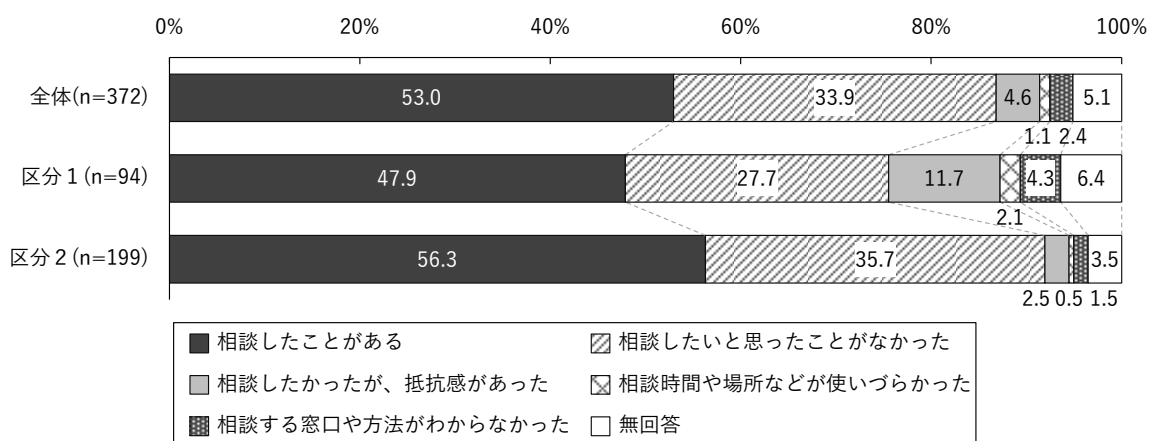
学校・保育園・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなどの利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で59.4%、小学校5年生で53.0%、中学校2年生で46.2%、16-17歳で29.1%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談したかったが、抵抗感があった」は16-17歳を除いて、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／B 学校・保育園・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

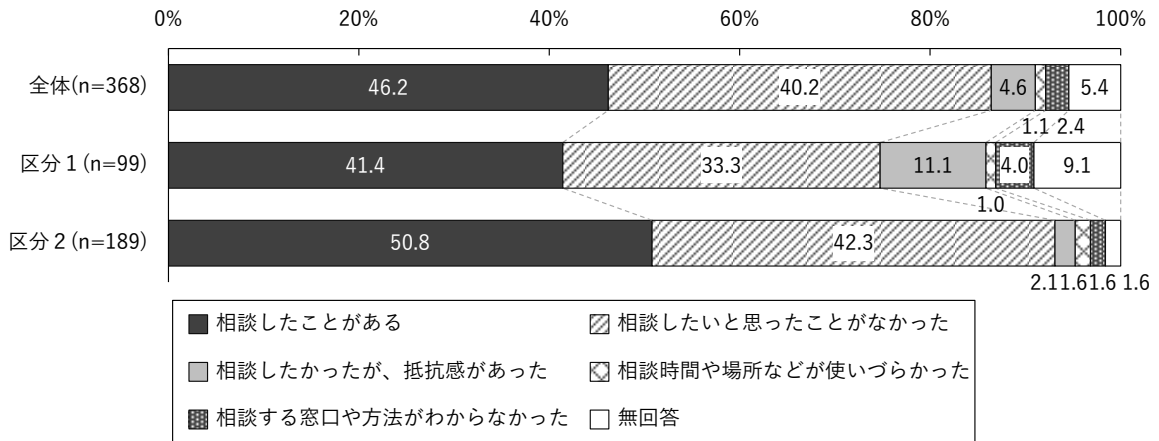


**小学校5年生** 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／B 学校・保育園・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど



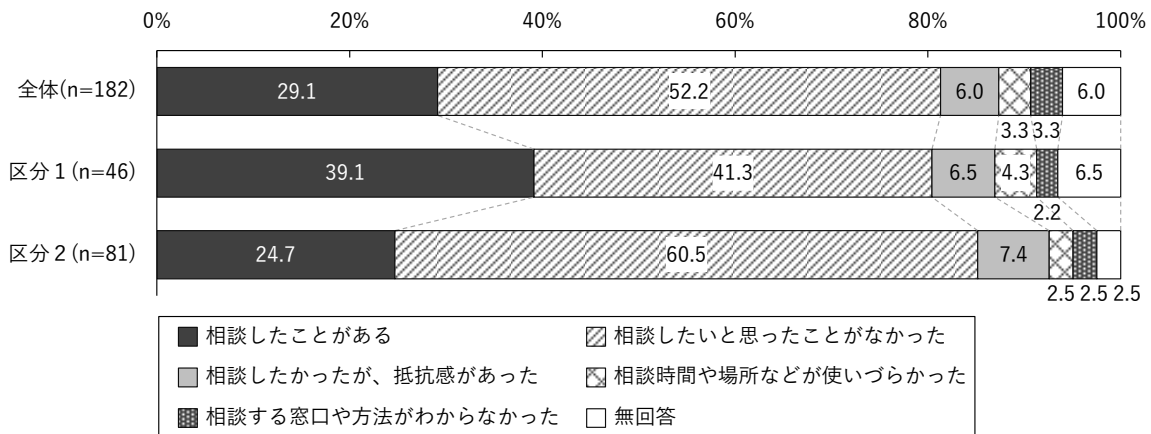
中学校2年生

問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／B 学校・保育園・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど



16-17歳

問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／B 学校・保育園・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど



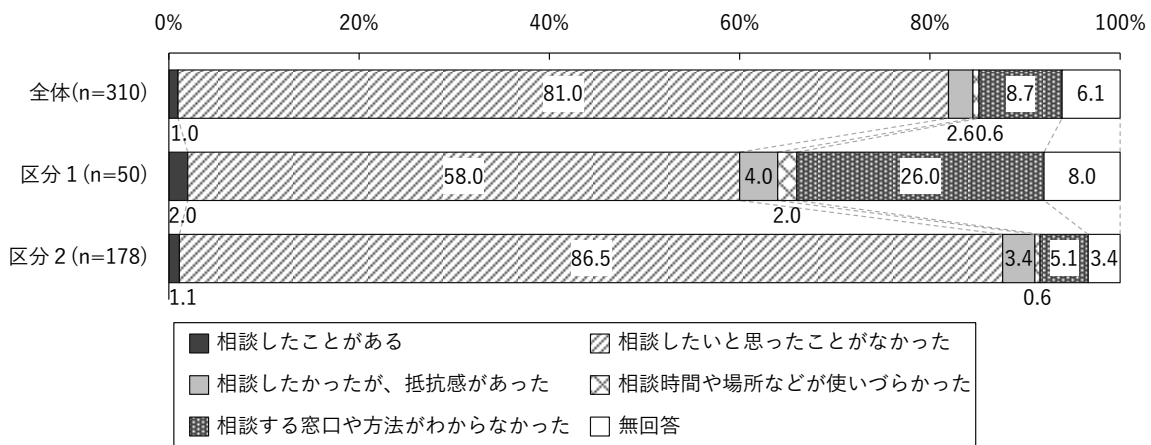
### C 民生委員・(主任)児童委員

【保護者設問】

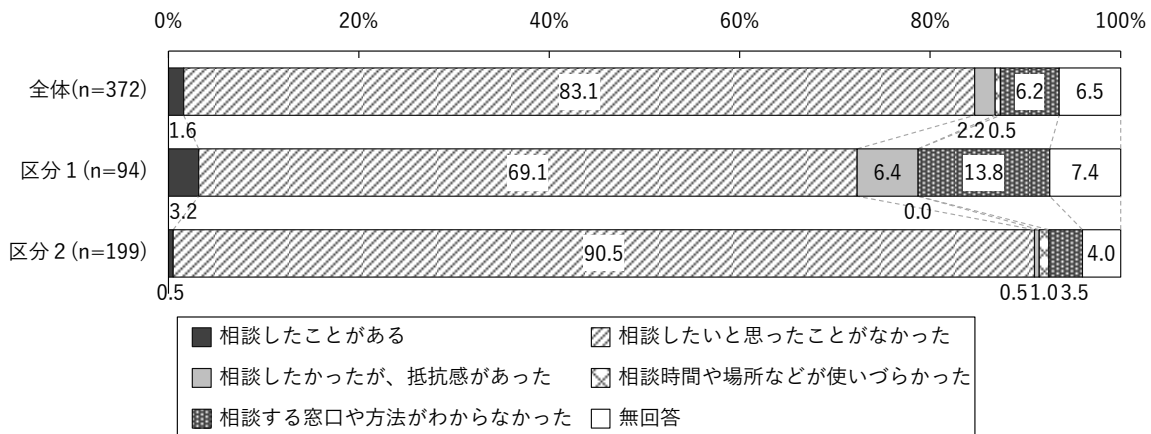
民生委員・(主任)児童委員の利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で1.0%、小学校5年生で1.6%、中学校2年生で3.3%、16-17歳で0.5%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談する窓口や方法がわからなかった」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／C 民生委員・(主任)児童委

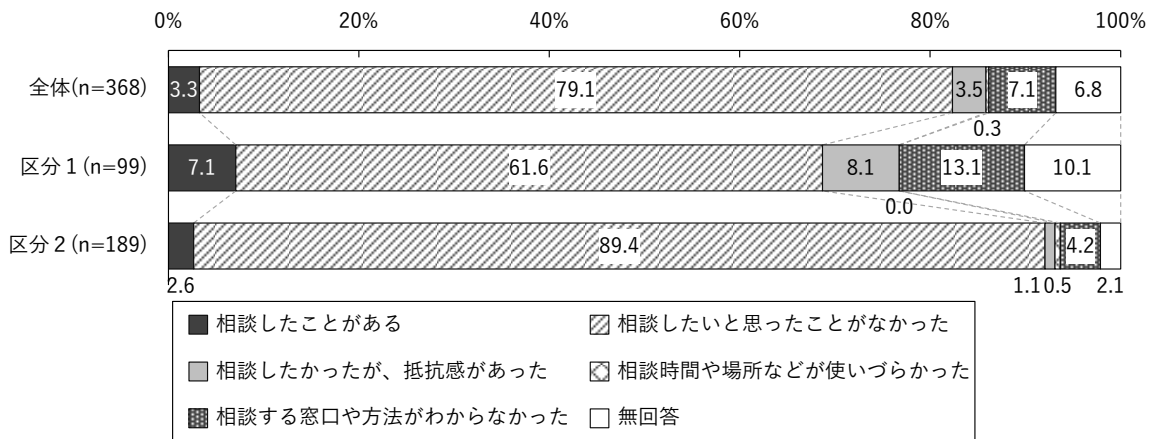


**小学校5年生** 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／C 民生委員・(主任)児童委



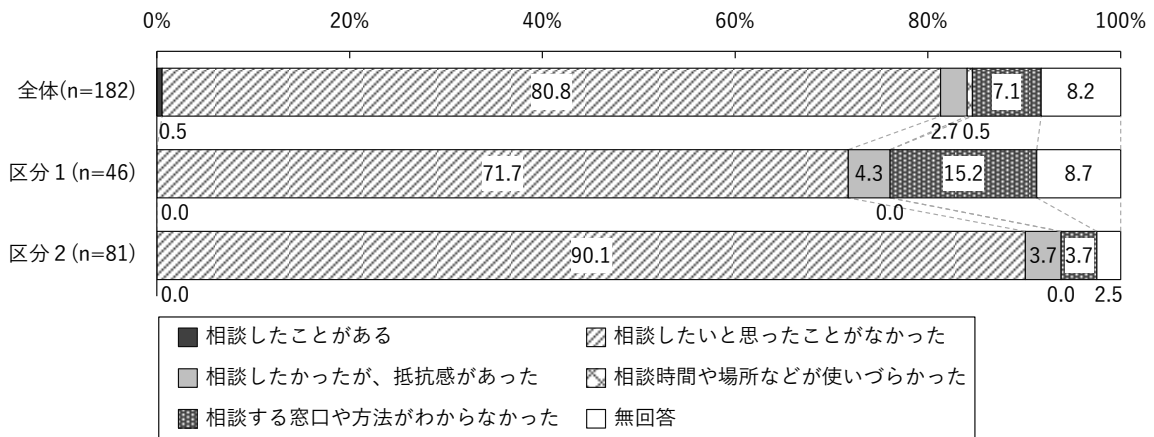
中学校2年生

問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／C 民生委員・(主任)児童委



16-17歳

問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／C 民生委員・(主任)児童委



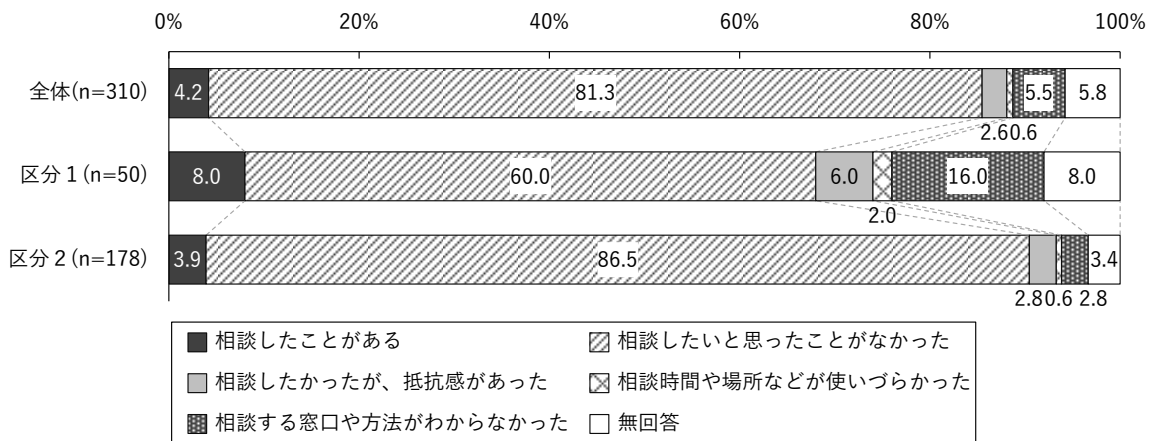
## D 保健所

【保護者設問】

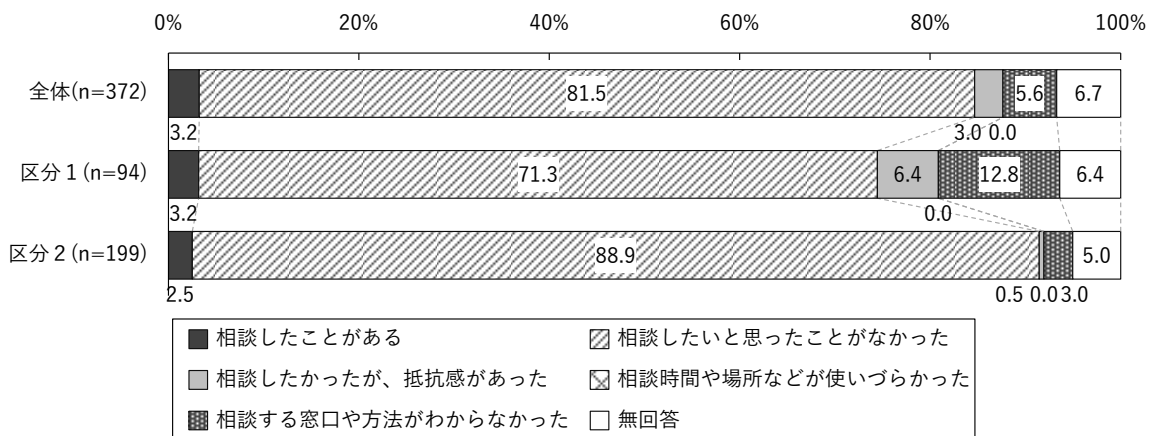
保健所の利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で4.2%、小学校5年生で3.2%、中学校2年生で6.5%、16-17歳で6.0%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談する窓口や方法がわからなかった」は区分1の方が高くなっています。

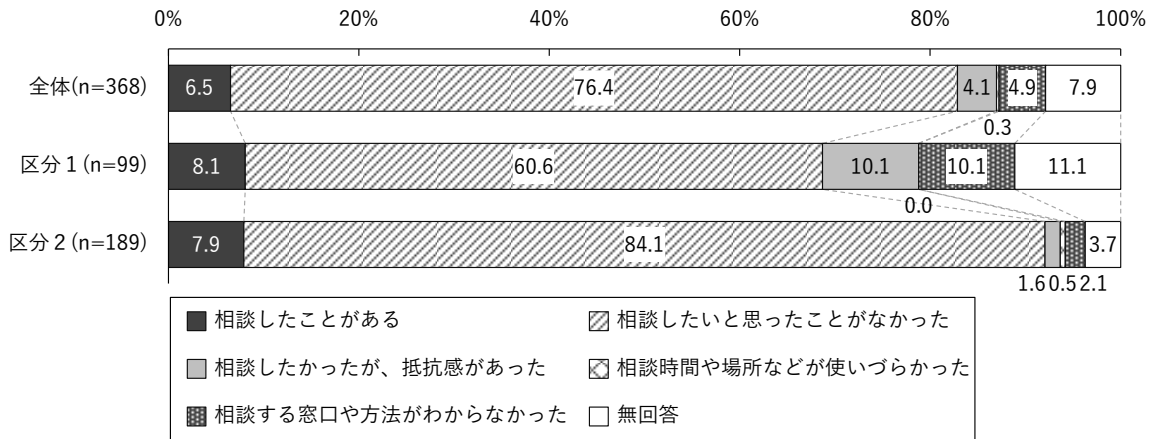
小学校1年生 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／D 保健所



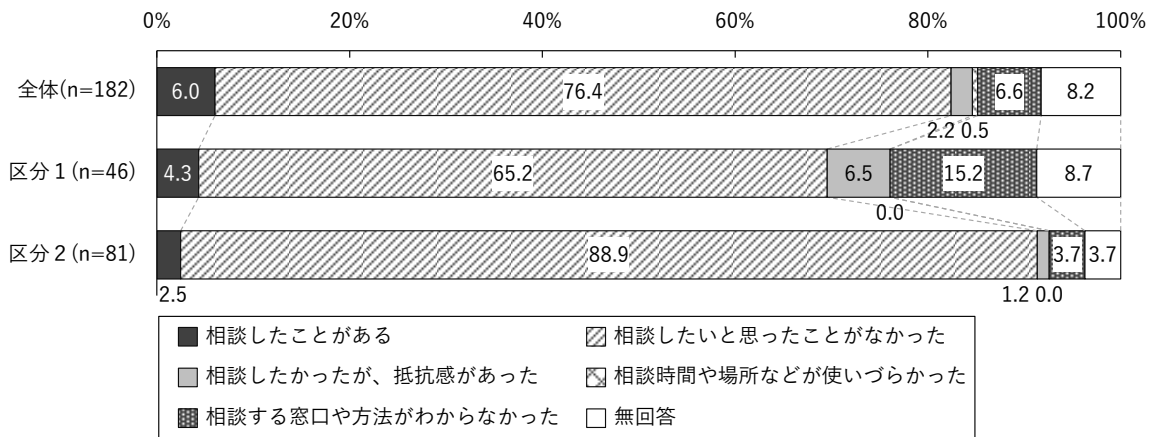
小学校5年生 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／D 保健所



**中学校2年生** 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／D 保健所



**16-17歳** 問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／D 保健所





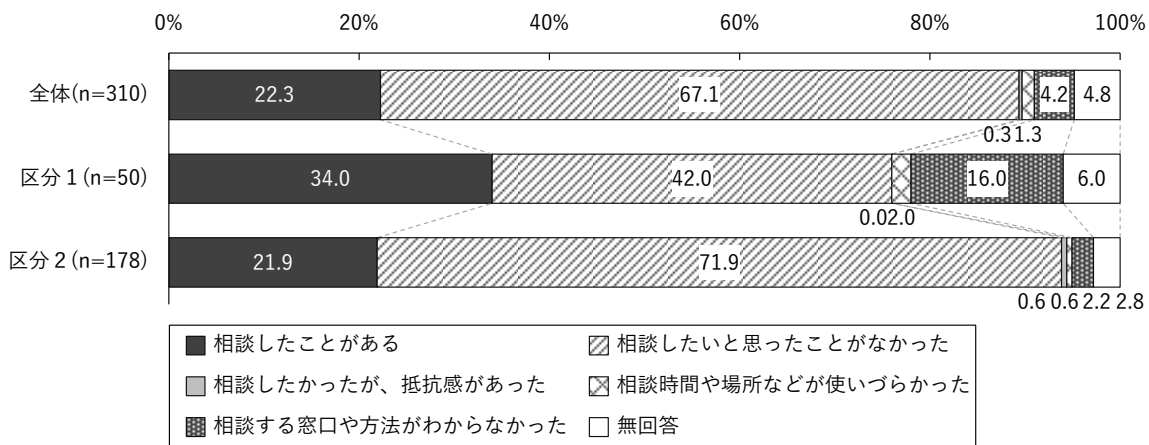
## E ハローワーク

【保護者設問】

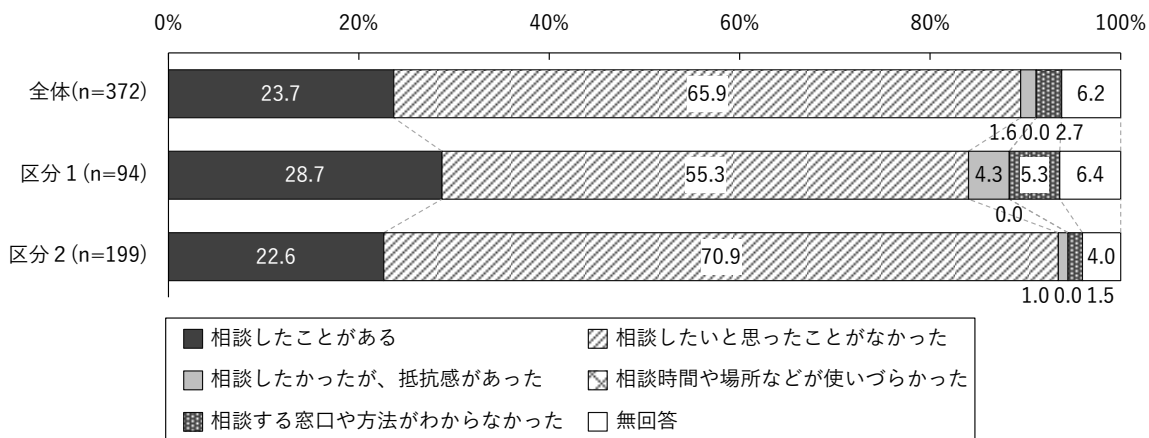
ハローワークの利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で22.3%、小学校5年生で23.7%、中学校2年生で24.2%、16-17歳で22.0%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談する窓口や方法がわからなかった」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／E ハローワーク

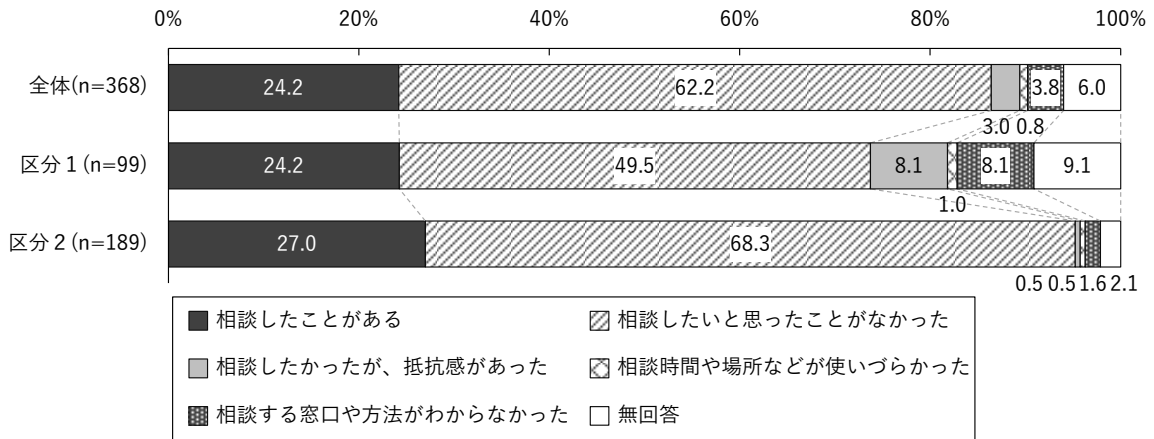


**小学校5年生** 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／E ハローワーク



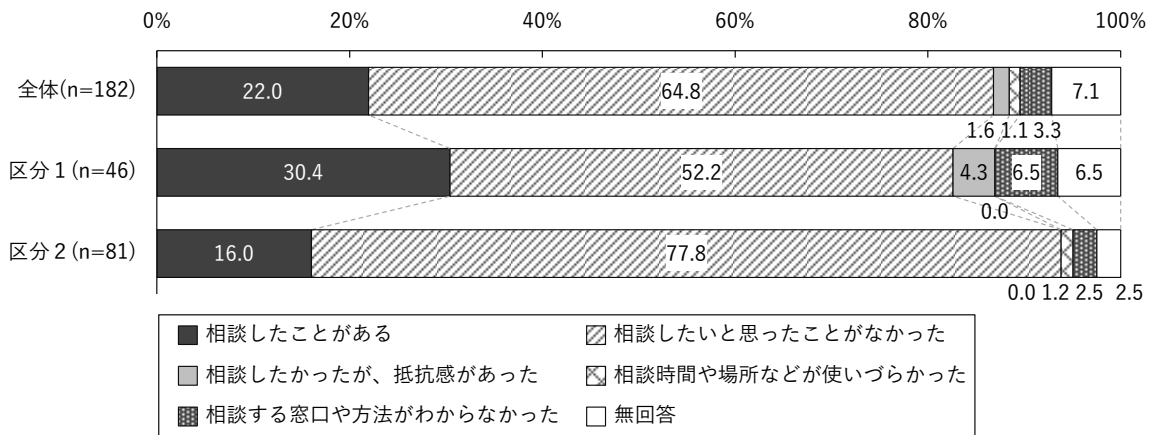
中学校2年生

問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／E ハローワーク



16-17歳

問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／E ハローワーク



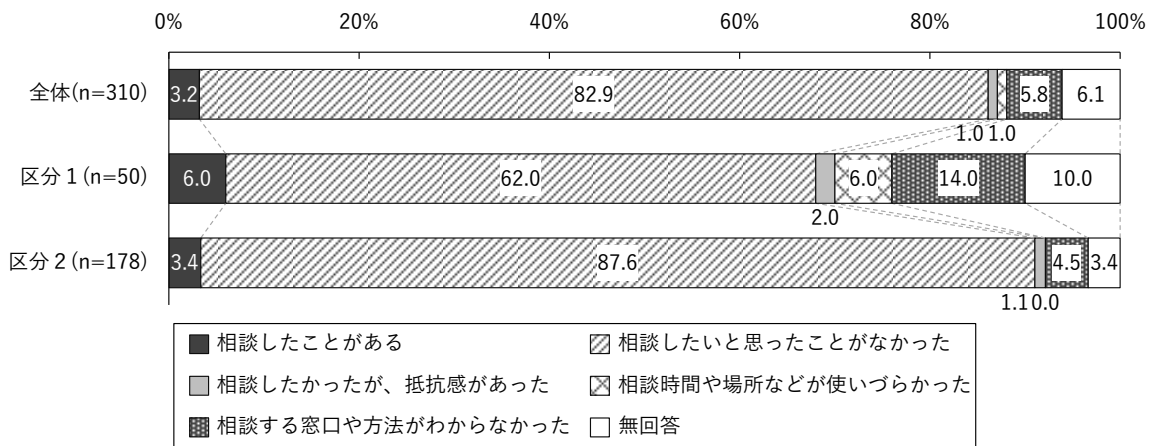
## F 上記以外の公的機関

【保護者設問】

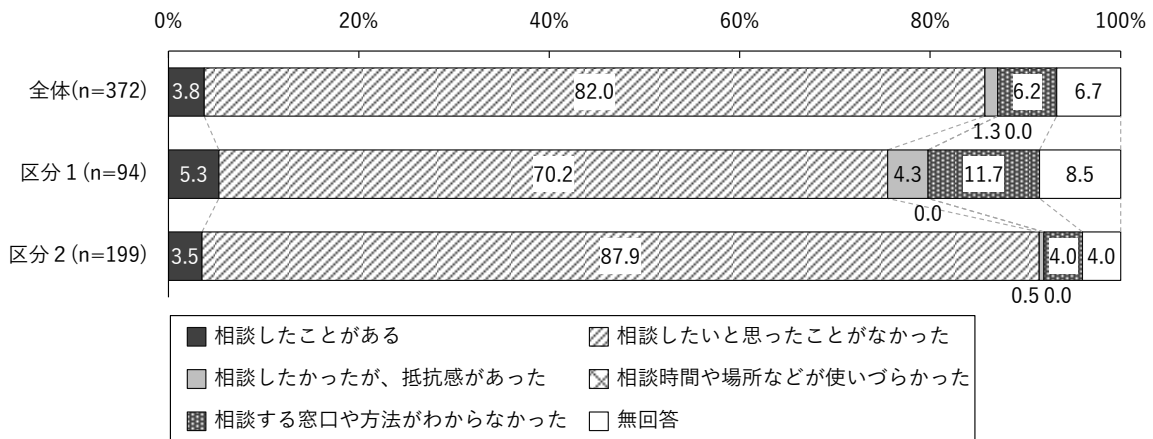
その他の公的機関の利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で3.2%、小学校5年生で3.8%、中学校2年生で4.1%、16-17歳で6.0%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談する窓口や方法がわからなかった」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／F 上記以外の公的機関

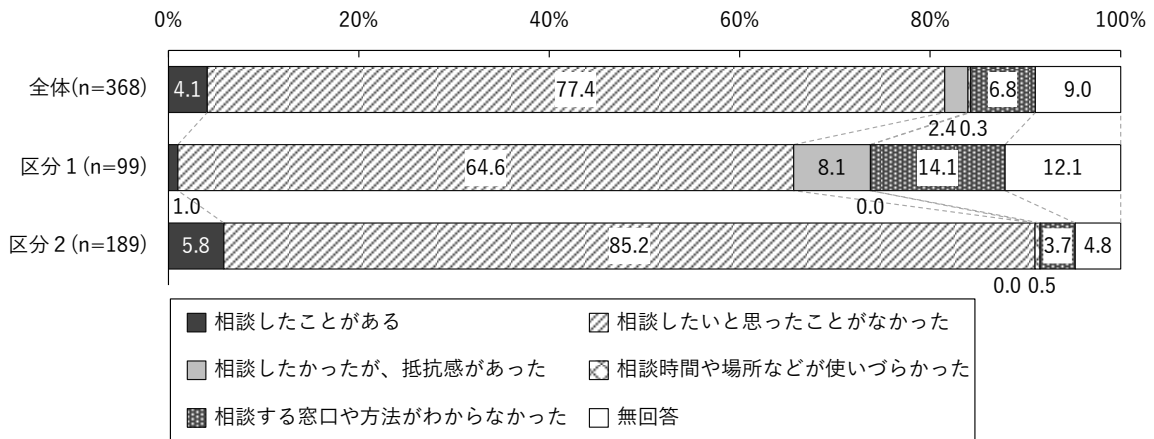


**小学校5年生** 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／F 上記以外の公的機関



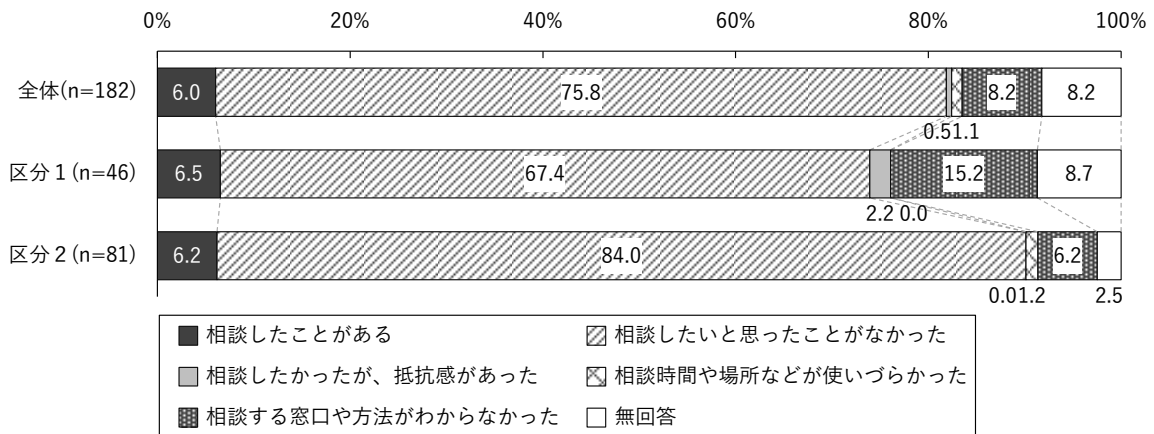
中学校2年生

問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／F 上記以外の公的機関



16-17歳

問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／F 上記以外の公的機関



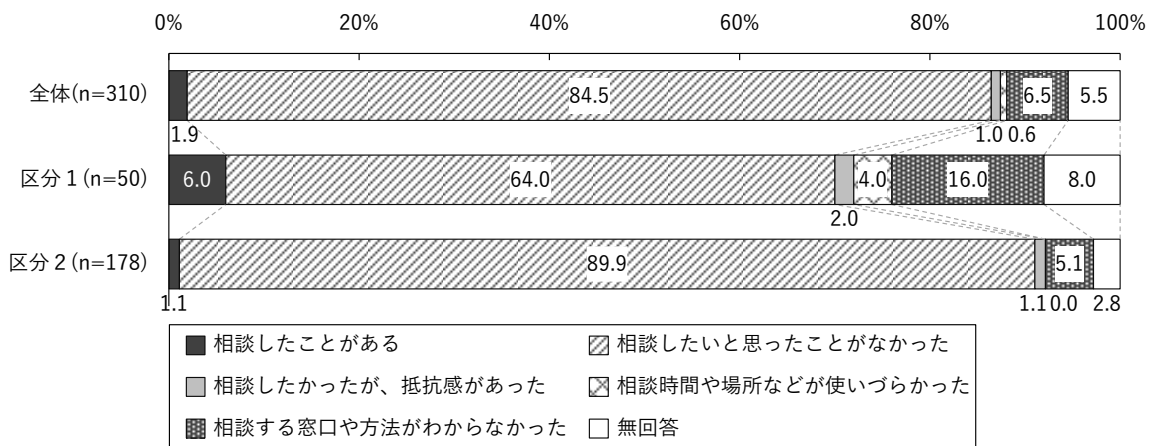
## G 社会福祉協議会

【保護者設問】

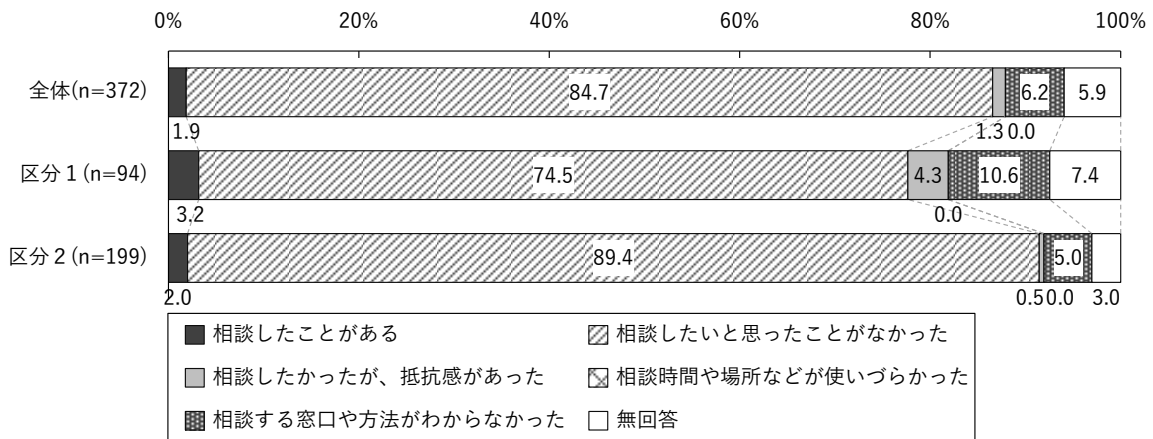
社会福祉協議会の利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で1.9%、小学校5年生で1.9%、中学校2年生で4.9%、16-17歳で2.7%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談する窓口や方法がわからなかった」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／G 社会福祉協議会

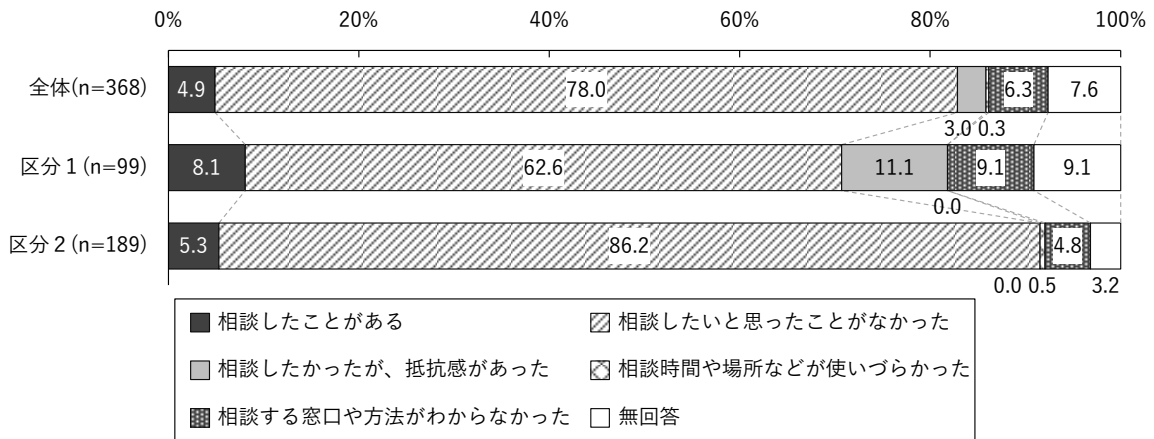


**小学校5年生** 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／G 社会福祉協議会



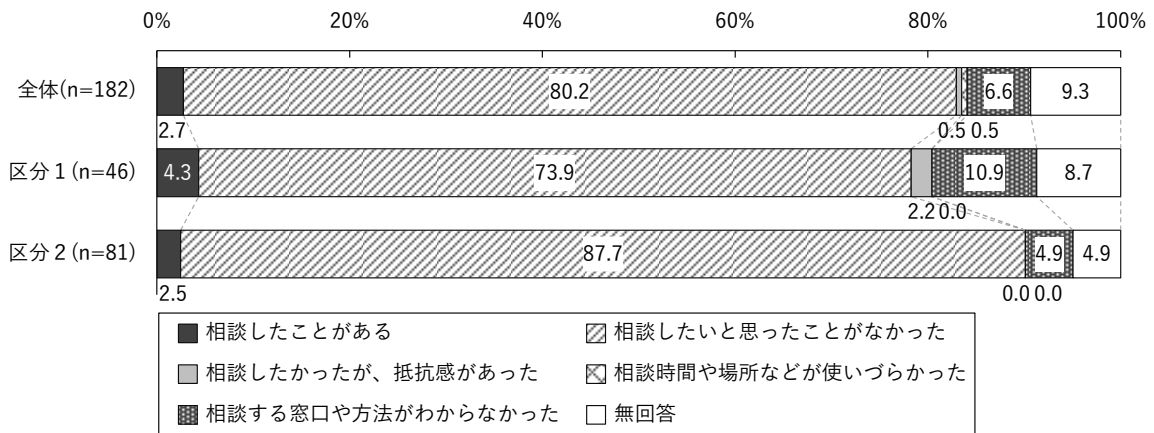
中学校2年生

問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／G 社会福祉協議会



16-17歳

問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／G 社会福祉協議会



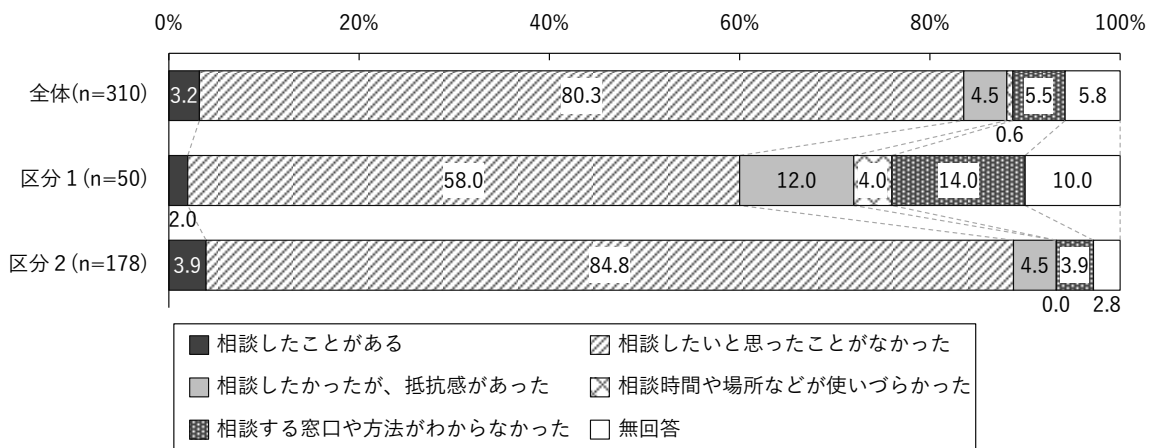
## H インターネットの相談サイト

【保護者設問】

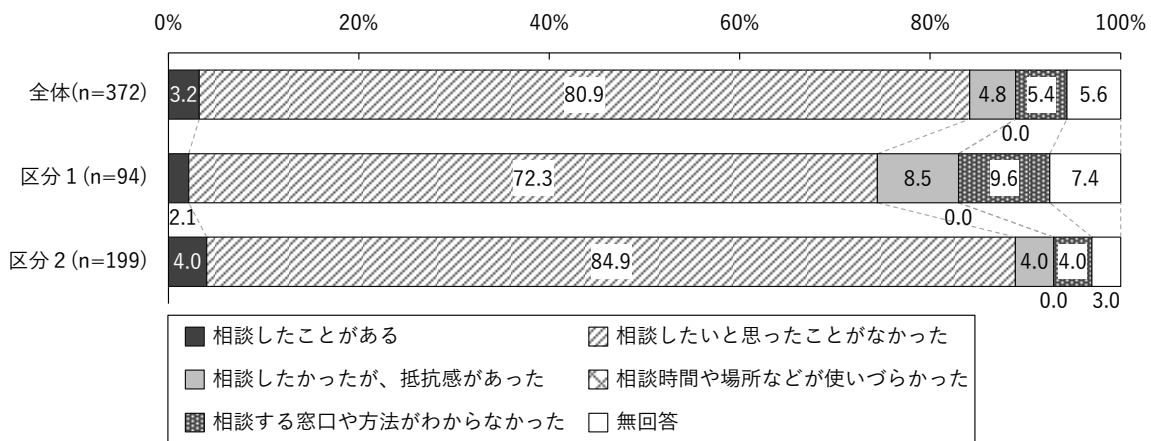
インターネットの相談サイトの利用経験について「相談したことがある」と回答した割合は全体をみると、小学校1年生で3.2%、小学校5年生で3.2%、中学校2年生で2.2%、16-17歳で1.6%となっています。

区分別にみると「相談したいと思ったことがなかった」は、いずれの学年も区分1の方が低く、「相談する窓口や方法がわからなかった」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問48 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／H インターネットの相談サイト

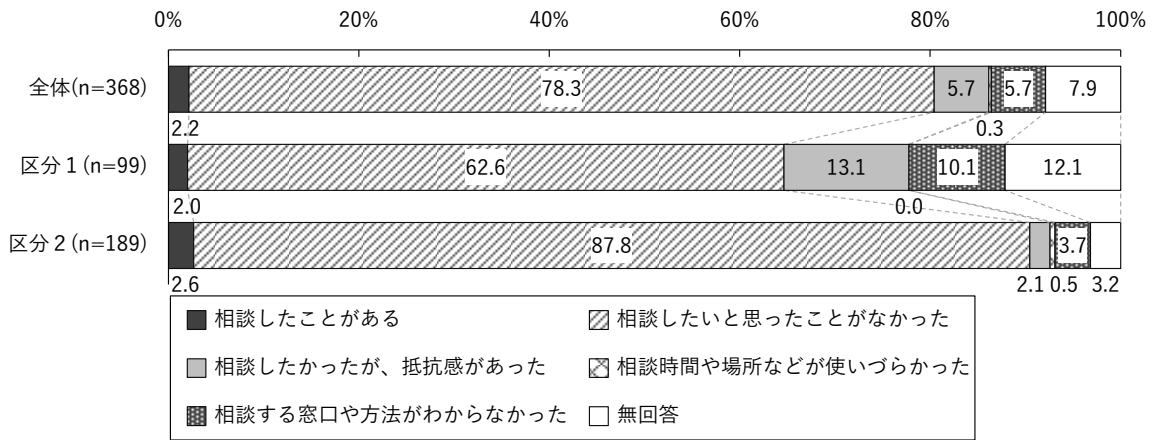


**小学校5年生** 問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／H インターネットの相談サイト



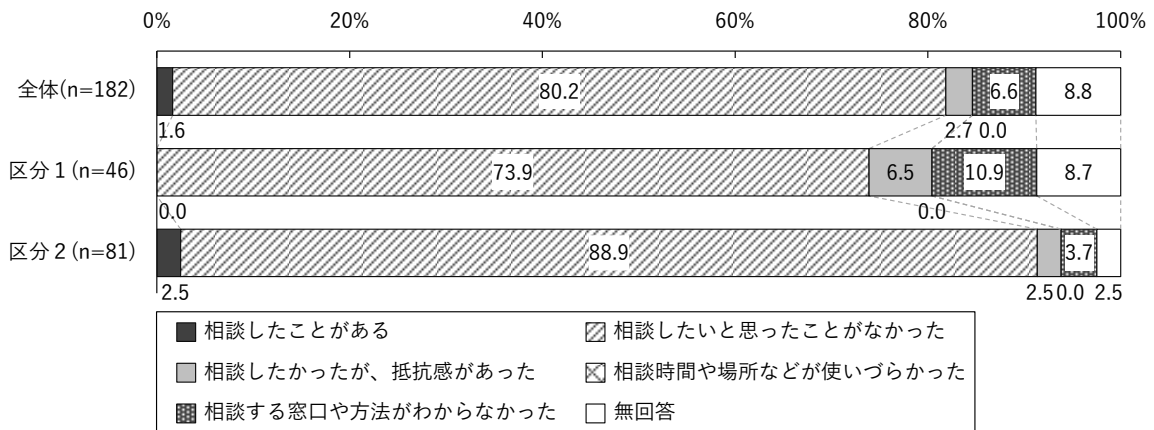
中学校2年生

問36 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／H インターネットの相談サイト



16-17歳

問38 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関等に相談したことがありますか。／H インターネットの相談サイト





## 10. 小学校1年生への調査

### (1) 保護者に聞いた子どもの状況

#### ①所有物の状況

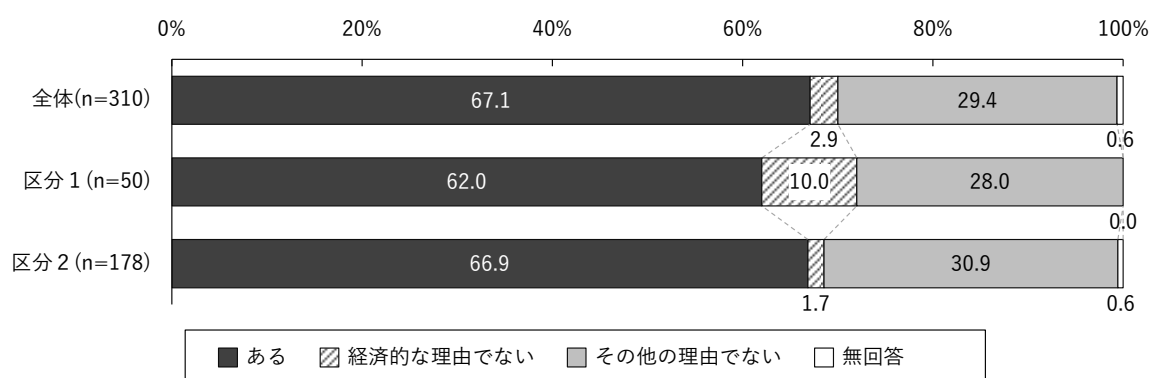
##### A 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合も含む）

【保護者設問】

保護者に子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合も含む）の所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は67.1%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／A子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合も含む）



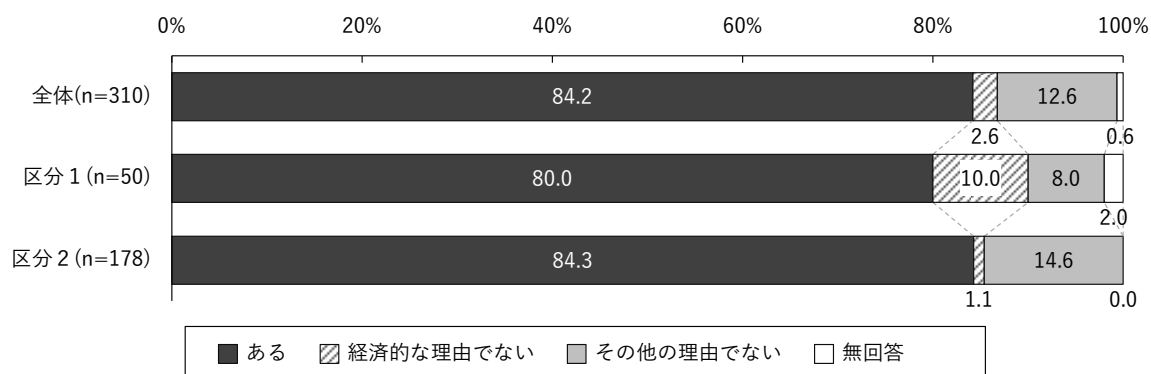
##### B（自宅で）インターネットにつながるパソコン・タブレット端末（家族で共有している場合も含む）

【保護者設問】

保護者に（自宅で）インターネットにつながるパソコン・タブレット端末（家族で共有している場合も含む）の所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は84.2%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／B（自宅で）インターネットにつながるパソコン・タブレット端末（家族で共有している場合も含む）



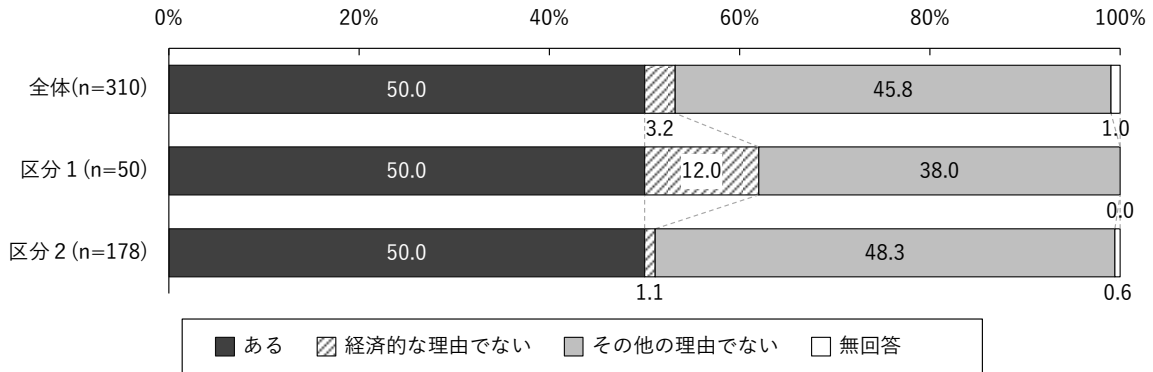
### C 自分専用の勉強机

【保護者設問】

保護者に子どもの自分専用の勉強机の所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は50.0%となっています。

区別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／C自分専用の勉強机



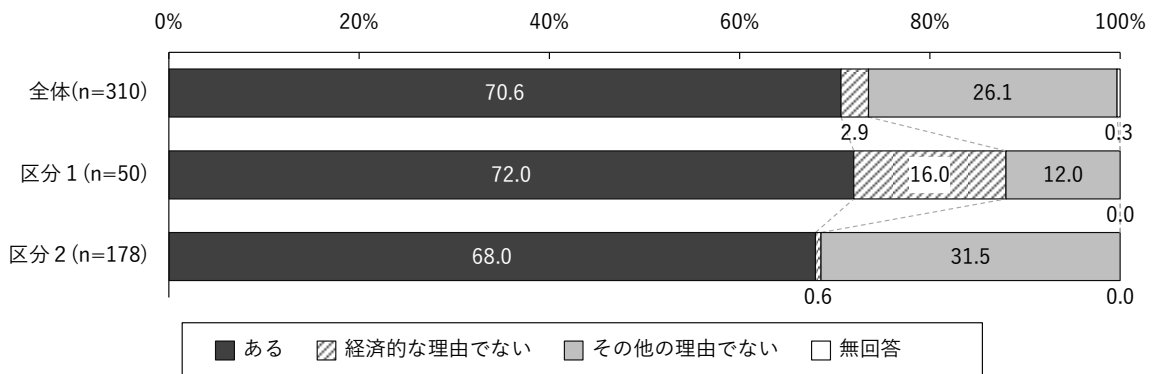
### D ゲーム機

【保護者設問】

保護者に子どものゲーム機の所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は70.6%となっています。

区別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／Dゲーム機



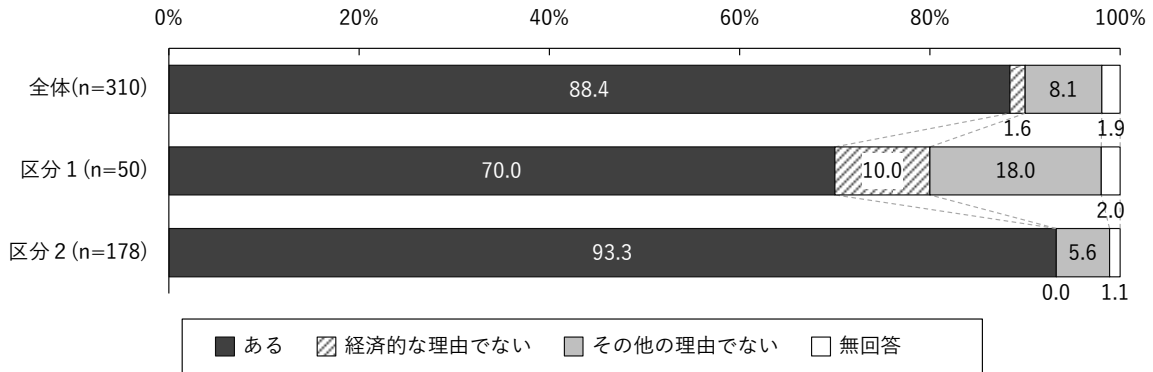
## E たいていの友だちが持っているおもちゃ

【保護者設問】

保護者にたいていの友だちが持っているおもちゃの所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は88.4%となっています。

区別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／E たいていの友だちが持っているおもちゃ



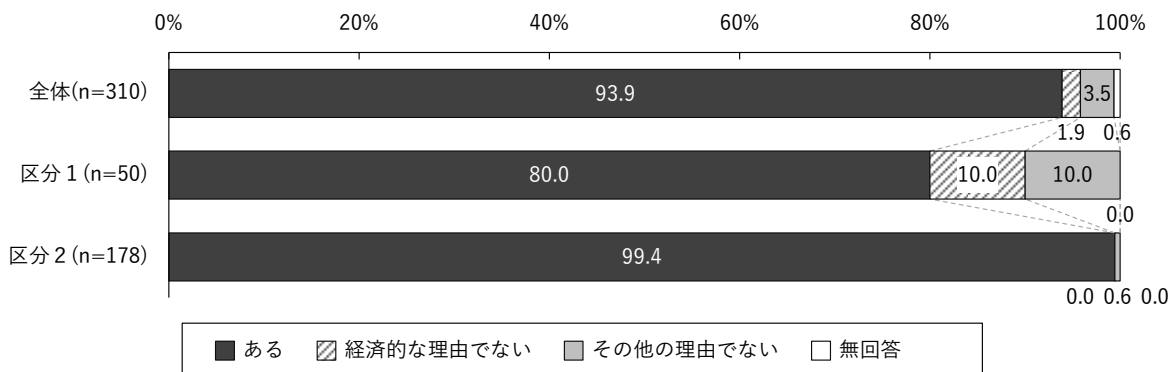
## F 自転車

【保護者設問】

保護者に子どもの自転車の所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は93.9%となっています。

区別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／F 自転車



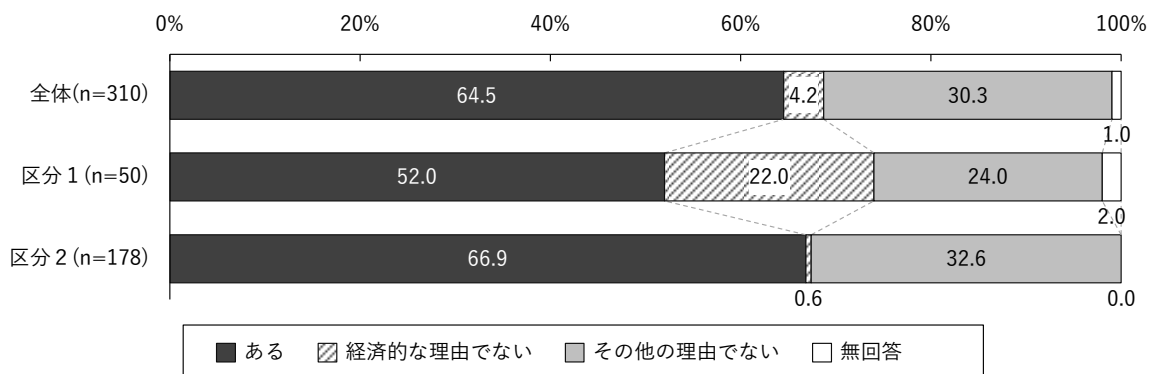
## G おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うお小遣い

【保護者設問】

保護者におやつや、ちょっとしたおもちゃを買うお小遣いの所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は64.5%となっています。

区別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／Gおやつや、ちょっとしたおもちゃを買うお小遣い



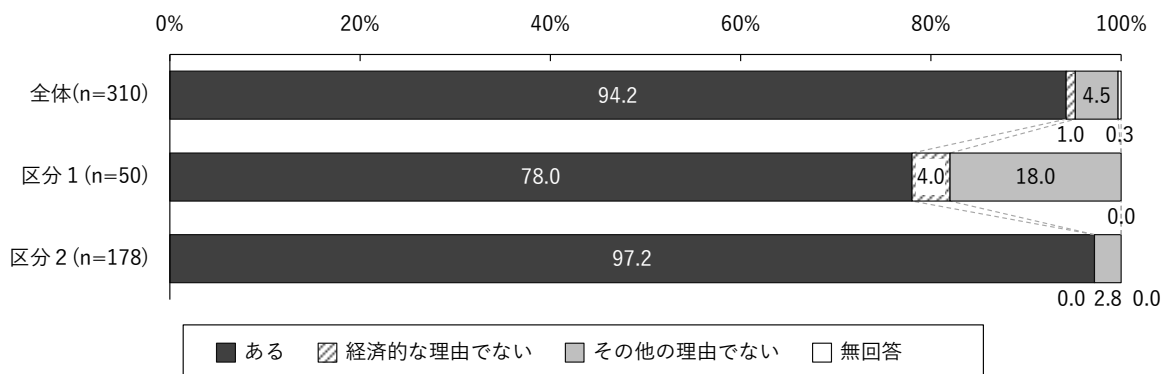
## H 友だちが着ているのと同じような服

【保護者設問】

保護者に友だちが着ているのと同じような服の所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は94.2%となっています。

区別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／H友だちが着ているのと同じような服



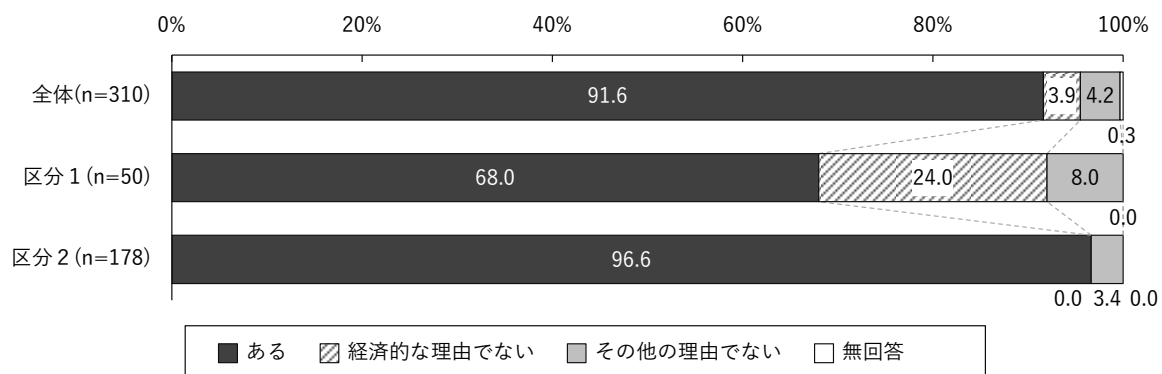
## I 2足以上のサイズのあった靴

【保護者設問】

保護者に子どもの2足以上のサイズのあった靴の所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は91.6%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／I 2足以上のサイズの合った靴



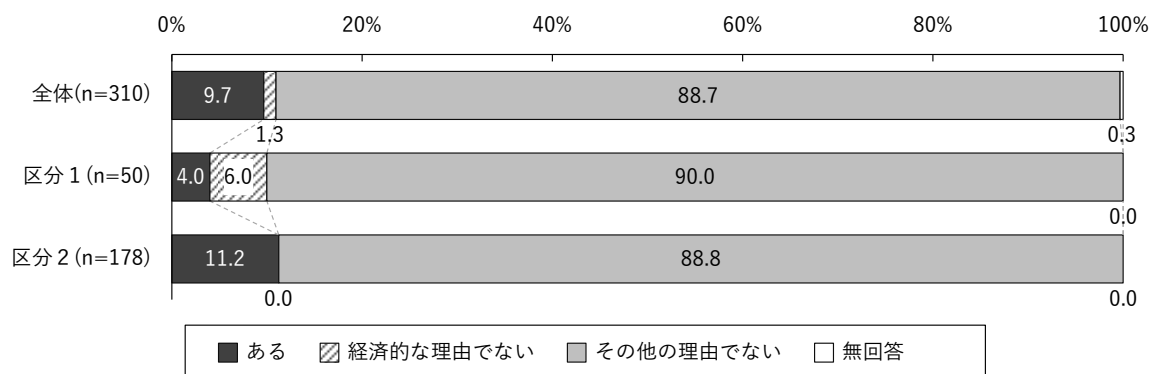
## J 携帯電話、スマートフォン

【保護者設問】

保護者に子どもの携帯電話、スマートフォンの所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は9.7%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／J 携帯電話、スマートフォン



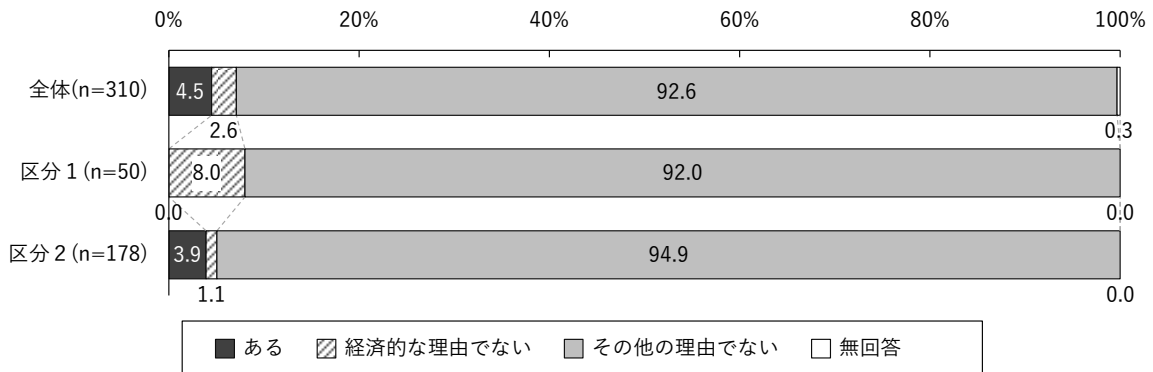
## K 携帯音楽プレーヤーなど

【保護者設問】

保護者に子どもの携帯音楽プレーヤーなどの所有についてたずねたところ、全体をみると「ある」と回答した割合は4.5%となっています。

区分別にみると「経済的な理由でない」は、区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問11 お子さんには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。  
／K携帯音楽プレーヤーなど



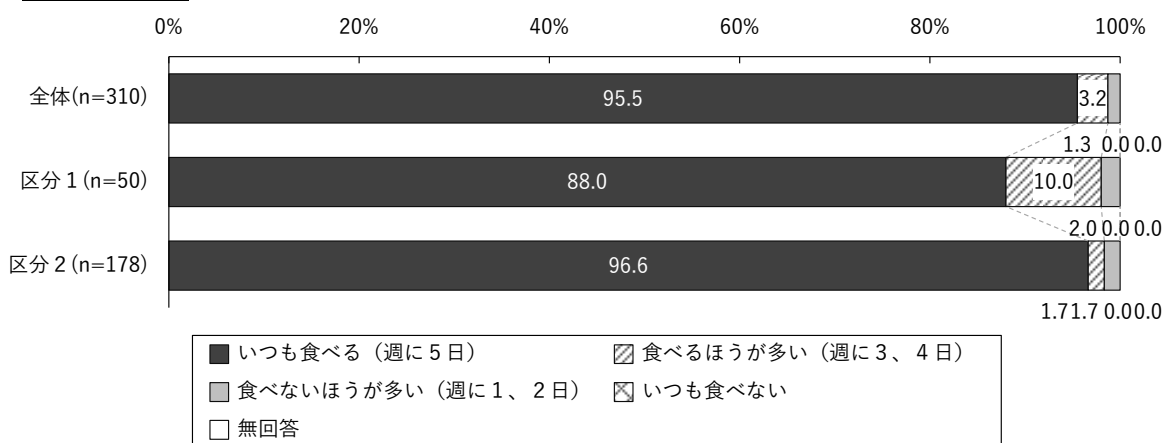
## ②朝食の摂取状況

【保護者設問】

保護者に子どもの朝食の摂取状況についてたずねたところ、全体をみると「いつも食べる（週に5日）」と回答した割合は95.5%となっています。

区分別にみると「いつも食べる（週に5日）」は、区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 問29 お子さんは、平日（学校に行く日）に朝ごはんを食べますか。



### ③栄養群摂取状況

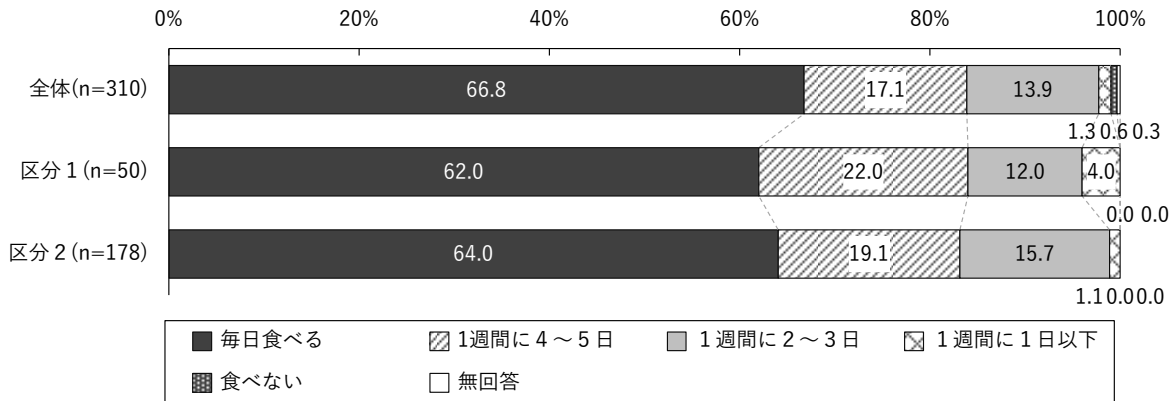
#### A 野菜

【保護者設問】

保護者に子どもの野菜の摂取状況についてたずねたところ、全体をみると「毎日食べる」と回答した割合は66.8%となっています。

区分別にみると「1週間に1日以下」は、区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問32 お子さんは、給食を除いて、以下の食物を普段どれくらい食べますか。  
／A 野菜



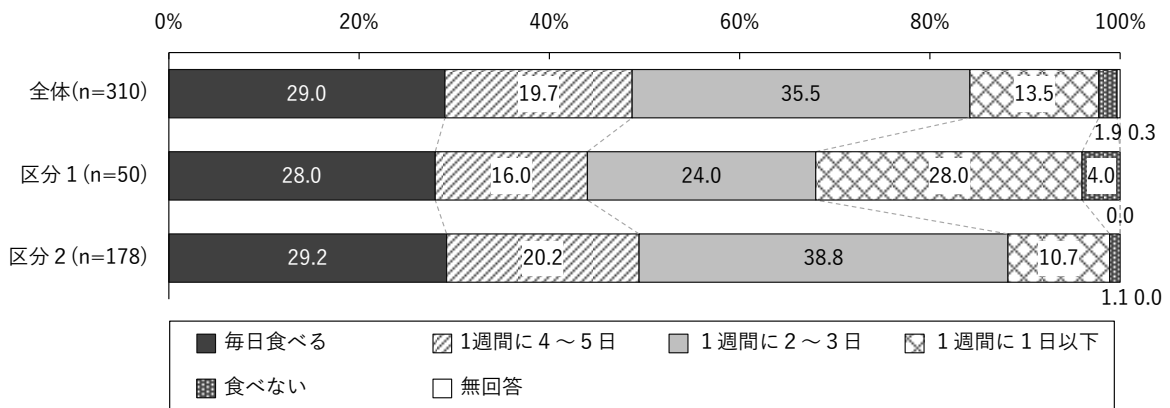
#### B くだもの

【保護者設問】

保護者に子どものくだもの摂取状況についてたずねたところ、全体をみると「毎日食べる」と回答した割合は29.0%となっています。

区分別にみると「1週間に1日以下」は、区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問32 お子さんは、給食を除いて、以下の食物を普段どれくらい食べますか。  
／B くだもの



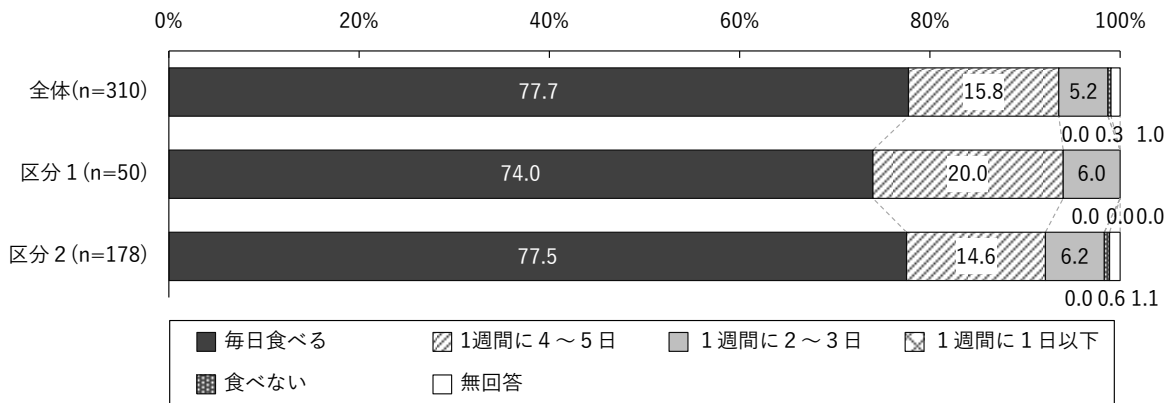
## C 肉や魚

【保護者設問】

保護者に子どもの肉や魚の摂取状況についてたずねたところ、全体をみると「毎日食べる」と回答した割合は77.7%となっています。

区分別にみると「毎日食べる」は、区分1の方が低くなっています。

小学校1年生 問32 お子さんは、給食を除いて、以下の食物を普段どれくらい食べますか。  
／C 肉や魚



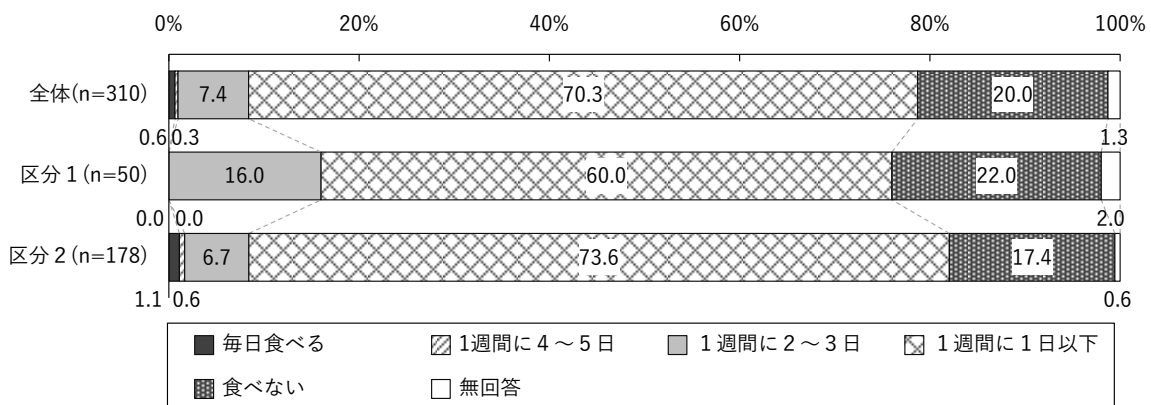
## D カップめん・インスタントめん

【保護者設問】

保護者に子どものカップめん・インスタントめんの摂取状況についてたずねたところ、全体をみると「1週間に1日以下」と回答した割合は70.3%となっています。

区分別にみると「1週間に1日以下」は、区分1の方が低く「1週間に2～3日」は、区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問32 お子さんは、給食を除いて、以下の食物を普段どれくらい食べますか。  
／D カップめん・インスタントめん





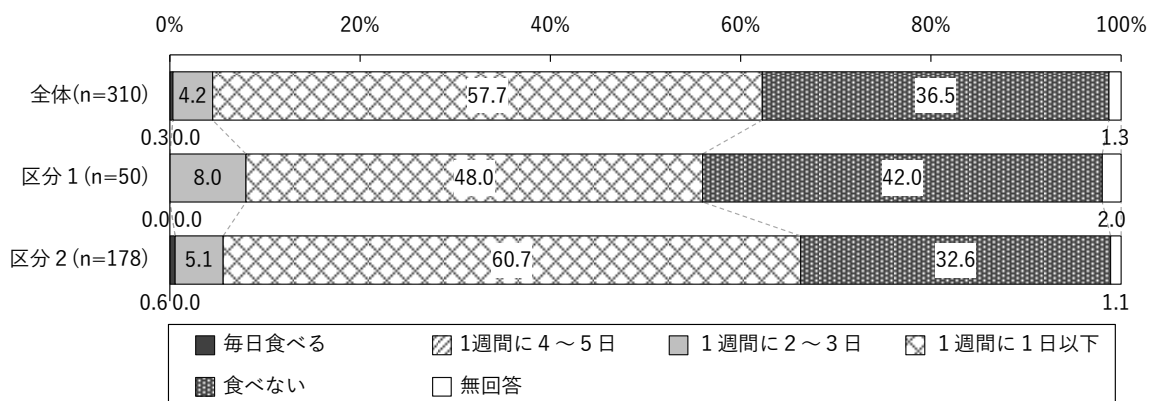
## E コンビニのおにぎり・お弁当

【保護者設問】

保護者に子どものコンビニのおにぎり・お弁当の摂取状況についてたずねたところ、全体をみると「1週間に1日以下」と回答した割合は57.7%となっています。

区分別にみると「1週間に1日以下」は、区分1の方が低く「食べない」は、区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問32 お子さんは、給食を除いて、以下の食物を普段どれくらい食べますか。  
／E コンビニのおにぎり・お弁当



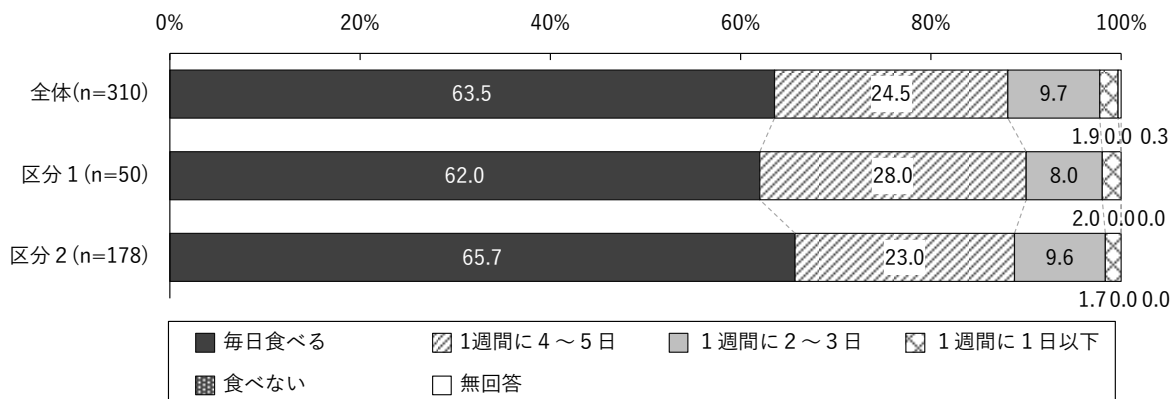
## F お菓子

【保護者設問】

保護者に子どものお菓子の摂取状況についてたずねたところ、全体をみると「毎日食べる」と回答した割合は63.5%となっています。

区分別にみると「1週間に4～5日」は、区分1の方が高く、「毎日食べる」は、区分1の方が低くなっています。

小学校1年生 問32 お子さんは、給食を除いて、以下の食物を普段どれくらい食べますか。  
／F お菓子



#### ④友だちとの関係

##### A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う

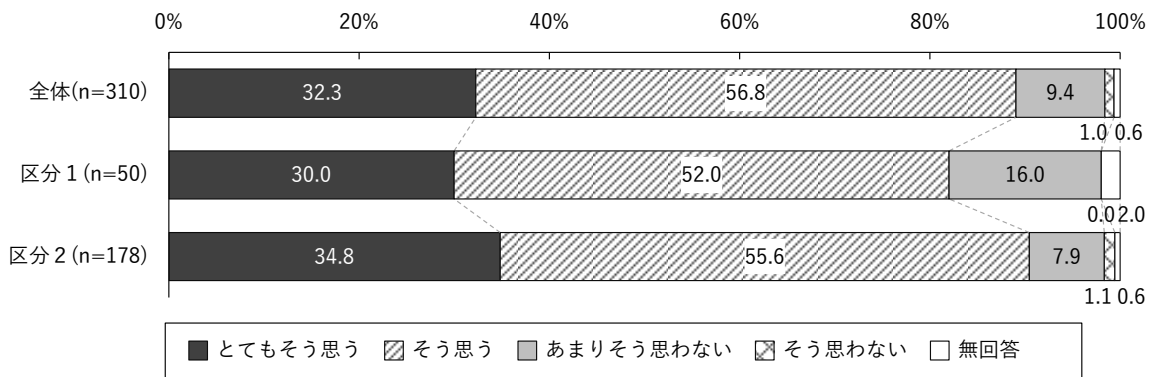
【保護者設問】

保護者に子どもが友だちと一緒にたくさん遊んでいると思うかをたずねたところ、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した割合は、全体をみると89.1%となっています。

区分別にみると『そう思う』と回答した割合は、区分1の方が低くなっています。

小学校1年生 問17 お子さんと友だちの関係について、どのように思いますか。

／A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う



##### B 友だちと仲良くしていると思う

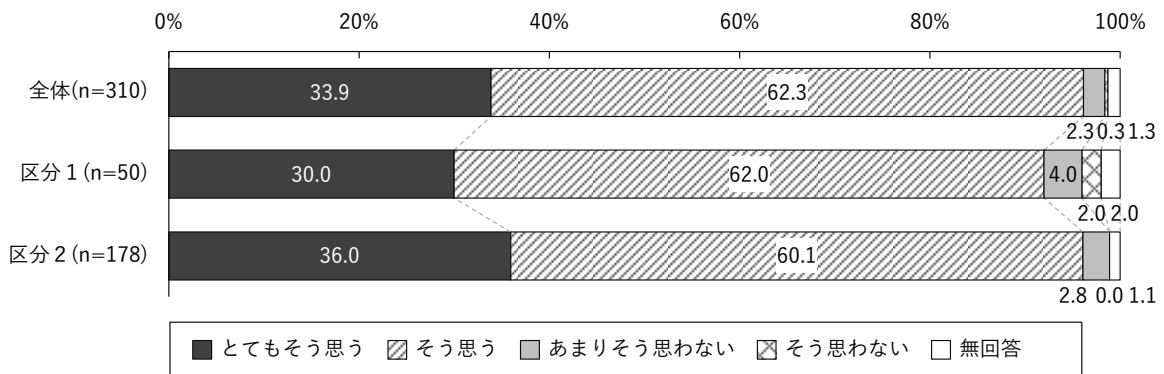
【保護者設問】

保護者に子どもが友だちと仲良くしていると思うかをたずねたところ、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した割合は、全体をみると96.2%となっています。

区分別にみると『そう思う』と回答した割合は、区分1の方が低くなっています。

小学校1年生 問17 お子さんと友だちの関係について、どのように思いますか。

／B 友だちと仲良くしていると思う

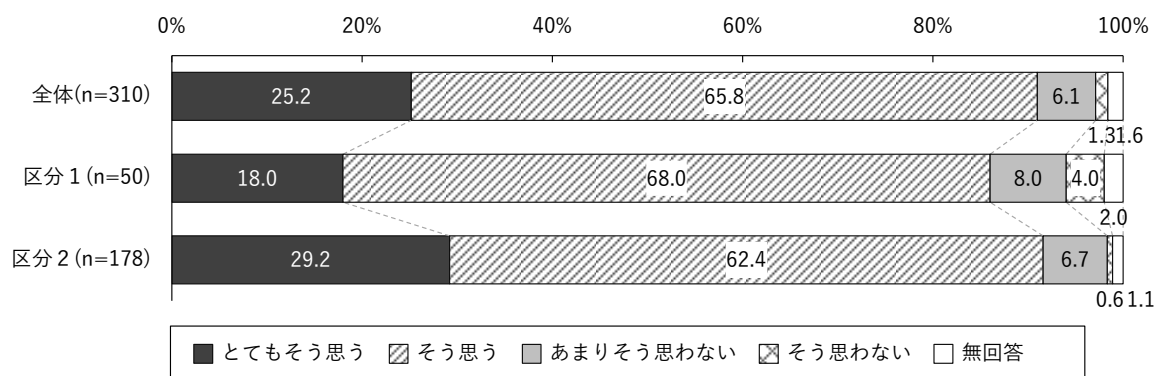


## C 友だちに好かれていると思う

【保護者設問】

保護者に子どもが友だちに好かれていると思うかたずねたところ、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた『そう思う』と回答した割合は、全体をみると91.0%となっています。区分別にみると『そう思う』と回答した割合は、区分1の方が低くなっています。

小学校1年生 問17 お子さんと友だちの関係について、どのように思いますか。  
／C 友だちに好かれていると思う



## ⑤平日の食事

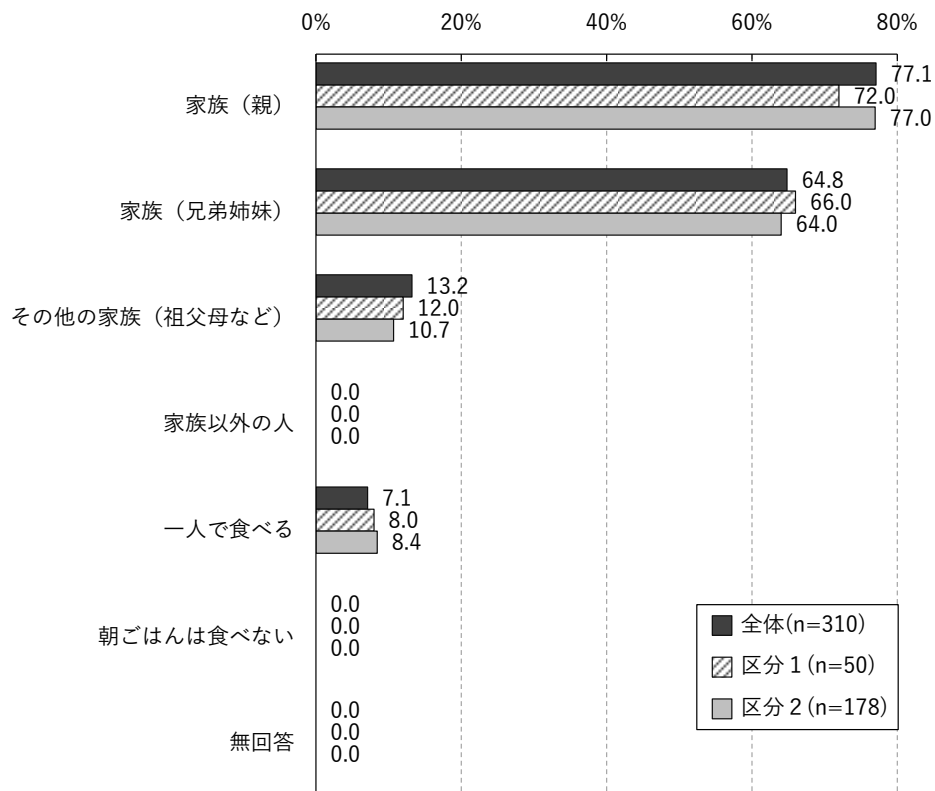
### 朝食を一緒に食べる人

【保護者設問】

保護者に子どもが朝食を一緒に食べる人をたずねたところ、全体をみると「家族（親）」が77.1%、「家族（兄弟姉妹）」が64.8%となっています。

区分別にみると「家族（親）」は区分1の方が低く、「家族（兄弟姉妹）」は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問30 お子さんは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。



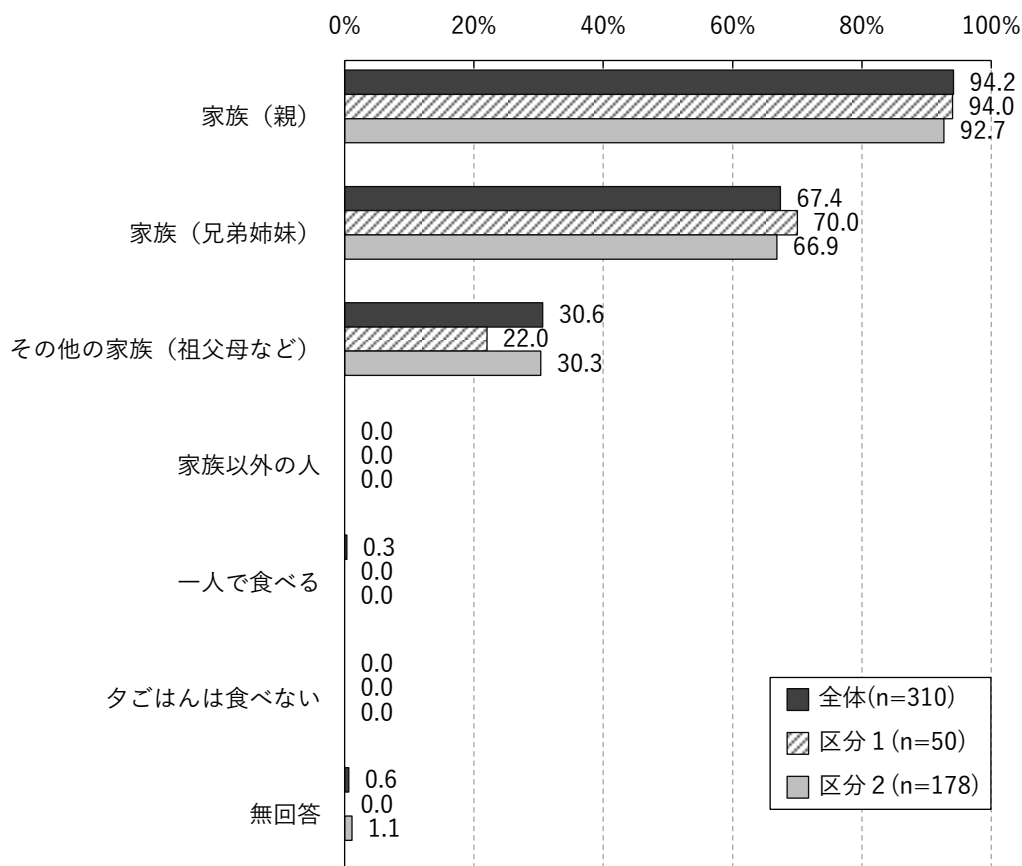
## 夕食を一緒に食べる人

【保護者設問】

保護者に子どもが夕食を一緒に食べる人をたずねたところ、全体をみると「家族（親）」が94.2%、「家族（兄弟姉妹）」が67.4%となっています。

区分別にみると「家族（親）」、「家族（兄弟姉妹）」ともに区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問31 お子さんは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。



※回答のあった項目のみ

## ⑥平日の放課後・自由時間の過ごし方

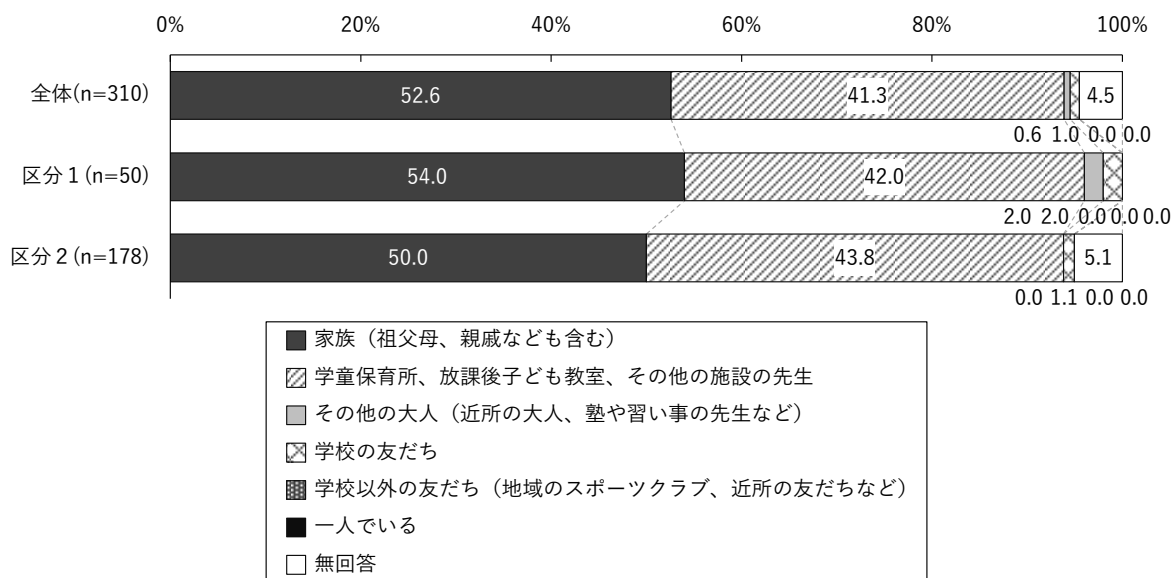
### 放課後を一緒に過ごす人

【保護者設問】

保護者に子どもが放課後を一緒に過ごす人をたずねたところ、全体をみると「家族（祖父母、親戚なども含む）」が52.6%、「学童保育所、放課後子ども教室、その他の施設の先生」が41.3%となっています。

区分別にみると「家族（祖父母、親戚なども含む）」は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問12 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）はだれと過ごしますか。



## ⑦平日の放課後・自由時間を過ごす場所

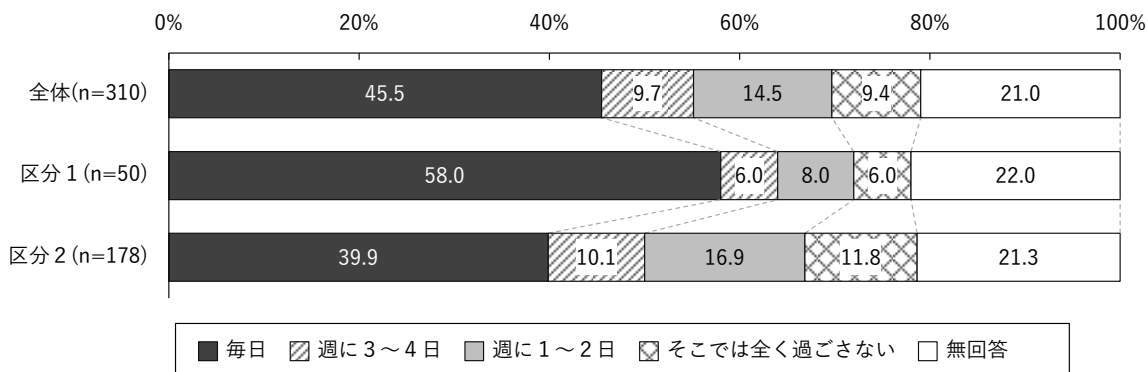
### A 自分の家

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を自分の家で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「毎日」が45.5%、「週に1～2日」が14.5%となっています。

区分別にみると「毎日」は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／A 自分の家



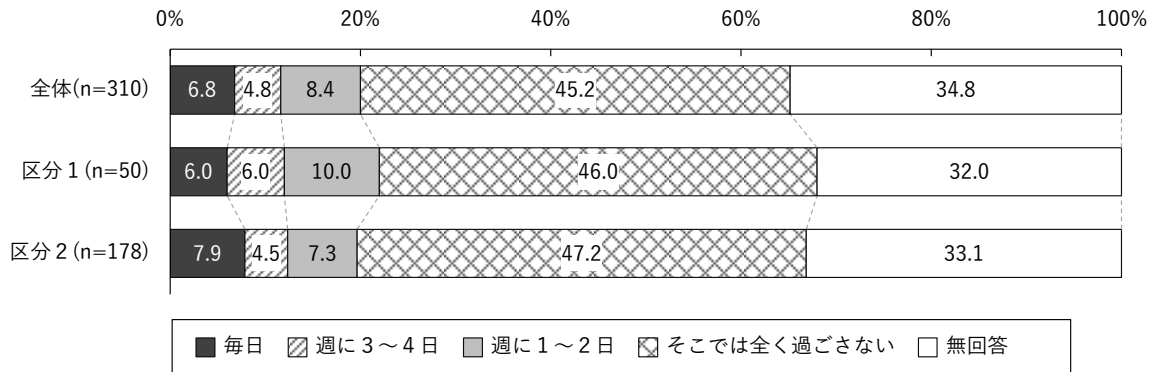
## B 祖父母の家

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を祖父母の家で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が45.2%となっています。

区分別にみると「週に3～4日」、「週に1～2日」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／B 祖父母の家



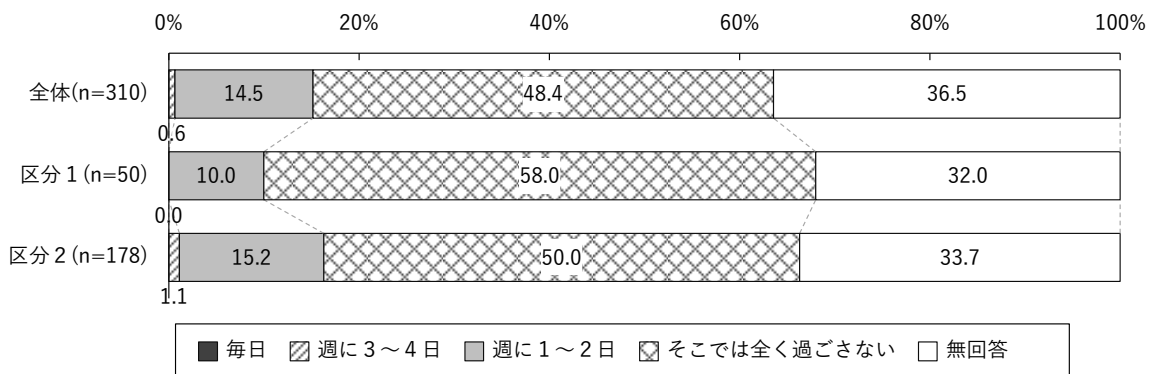
## C 友だちの家

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を友だちの家で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が48.4%となっています。

区分別にみると「そこでは全く過ごさない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／C 友だちの家



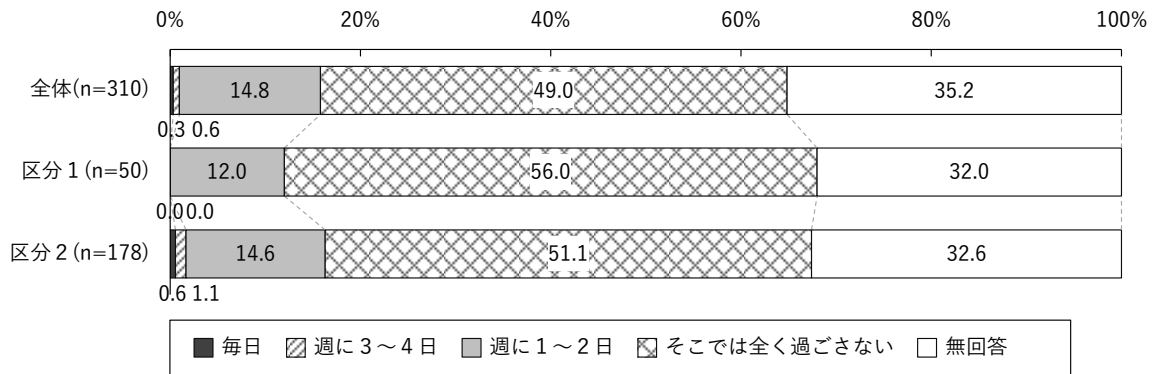
## D 塾や習い事をする場所

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を塾や習い事をする場所で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が49.0%となっています。

区分別にみると「そこでは全く過ごさない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／D 塾や習い事をする場所



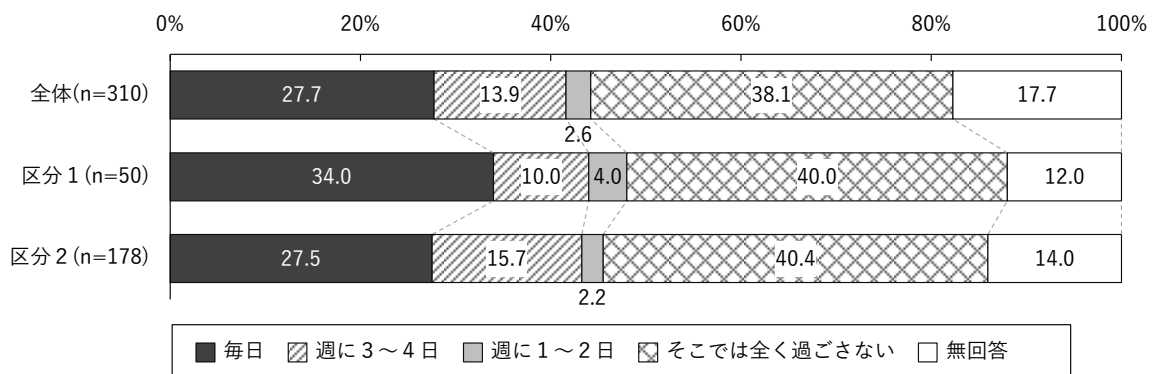
## E 学童保育所・児童館（公民館・放課後等デイサービスを含む）

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を学童保育所・児童館（公民館・放課後等デイサービスを含む）で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「毎日」が27.7%、「そこでは全く過ごさない」が38.1%となっています。

区分別にみると「毎日」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／E 学童保育所・児童館（公民館・放課後等デイサービスを含む）





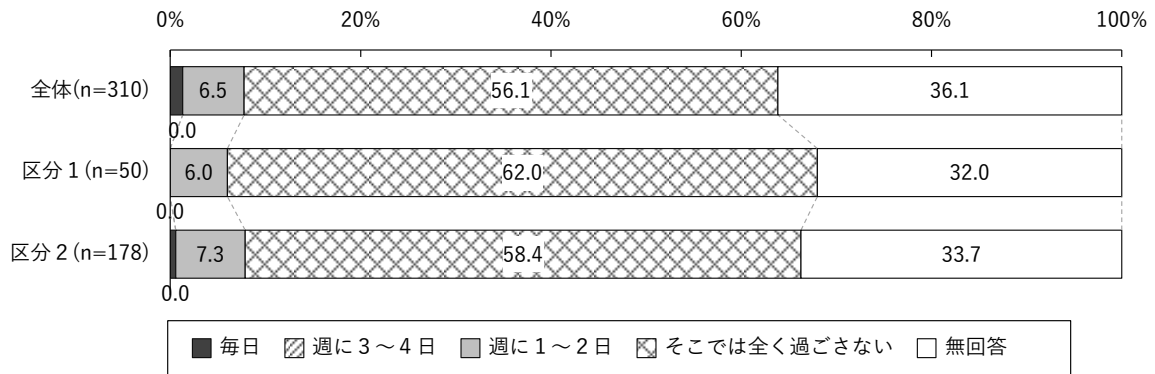
## F 学校（放課後子ども教室含む）

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を学校（放課後子ども教室含む）で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が56.1%となっています。

区分別にみると「そこでは全く過ごさない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／F 学校（放課後子ども教室含む）



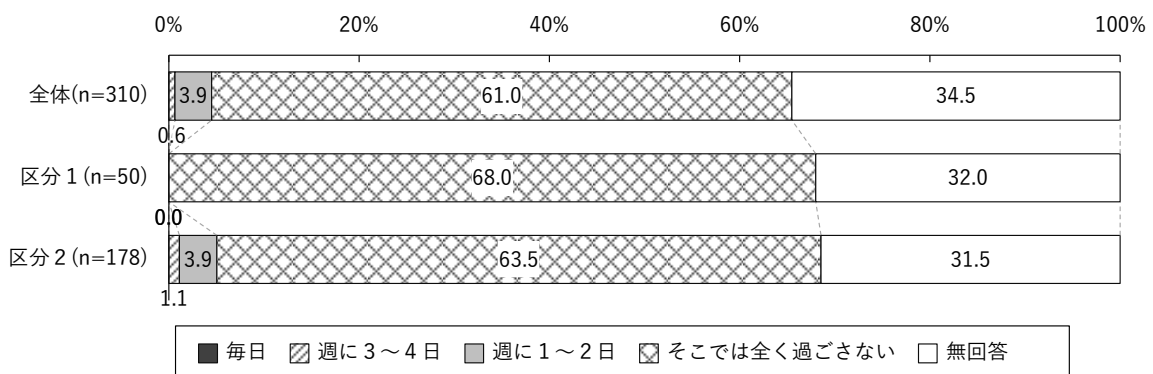
## G スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後をスポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が61.0%となっています。

区分別にみると「そこでは全く過ごさない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／G スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）



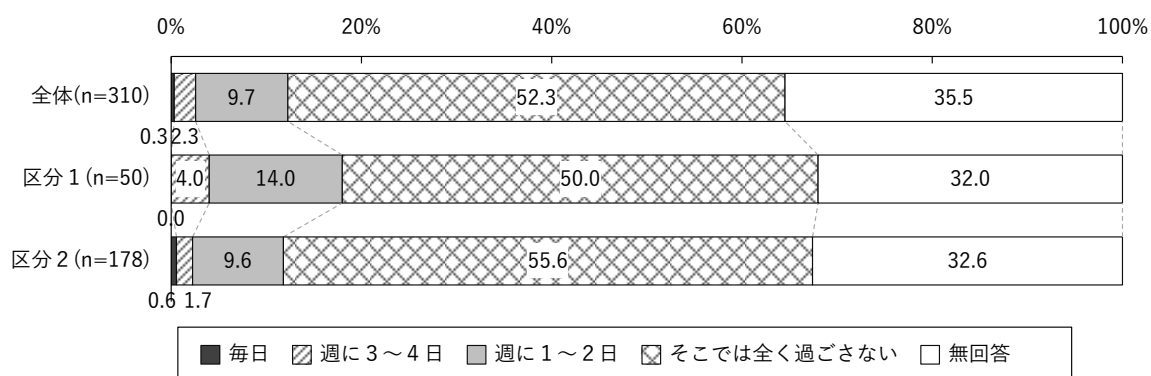
## H 公園や広場

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を公園や広場で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が52.3%となっています。

区別にみると「週に3～4日」、「週に1～2日」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／H 公園や広場



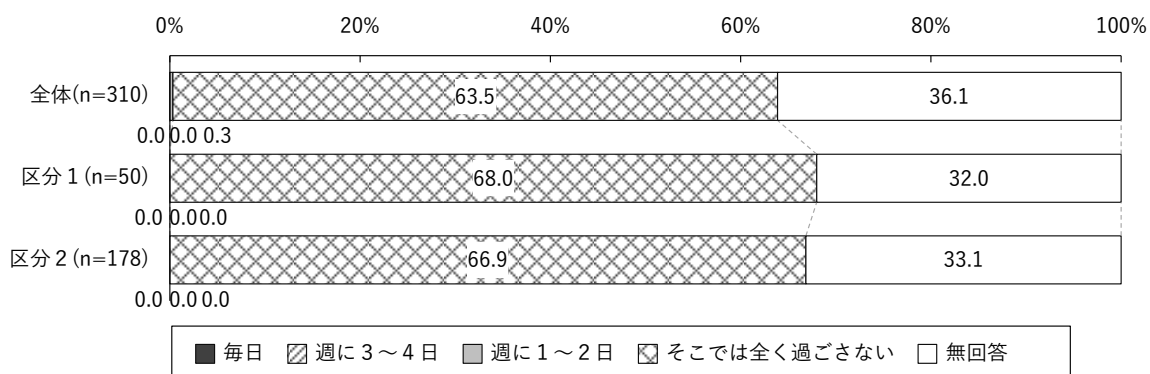
## I 図書館

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後を図書館で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が63.5%となっています。

区別にみると「そこでは全く過ごさない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／I 図書館



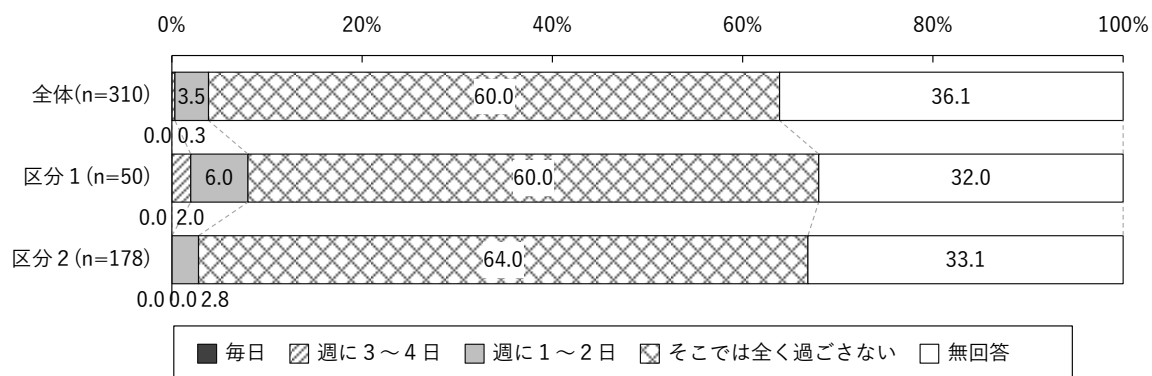
## J ショッピングセンター

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後をショッピングセンターで過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が60.0%となっています。

区分別にみると「週に1～2日」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／J ショッピングセンター



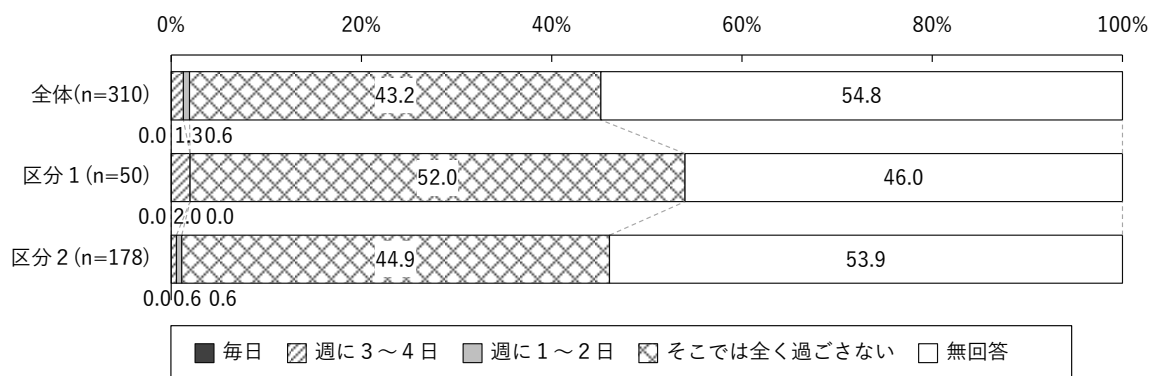
## K その他

【保護者設問】

保護者に子どもが平日の放課後をその他の場所で過ごす頻度をたずねたところ、全体をみると「そこでは全く過ごさない」が43.2%となっています。

区分別にみると「そこでは全く過ごさない」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問13 お子さんは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。／K その他



## ⑧休日の過ごし方

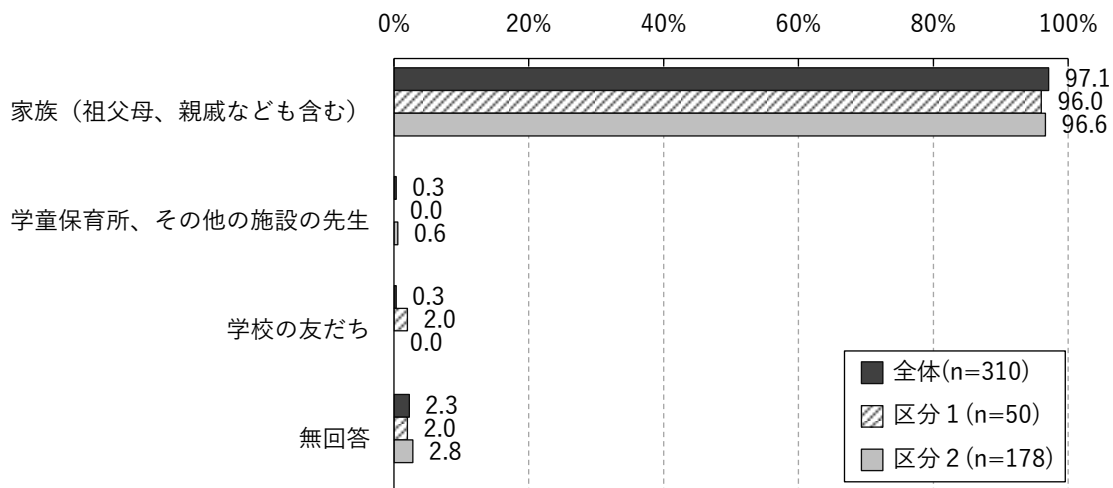
### 休日と一緒に過ごす人

【保護者設問】

保護者に子どもが休日と一緒に過ごす人をたずねたところ、全体をみると「家族（祖父母、親戚なども含む）」が97.1%となっています。

区別にみると「学校の友だち」は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 問14 お子さんは、休日（学校がお休みの日）は、だれと過ごしますか。



※回答のあった項目のみ

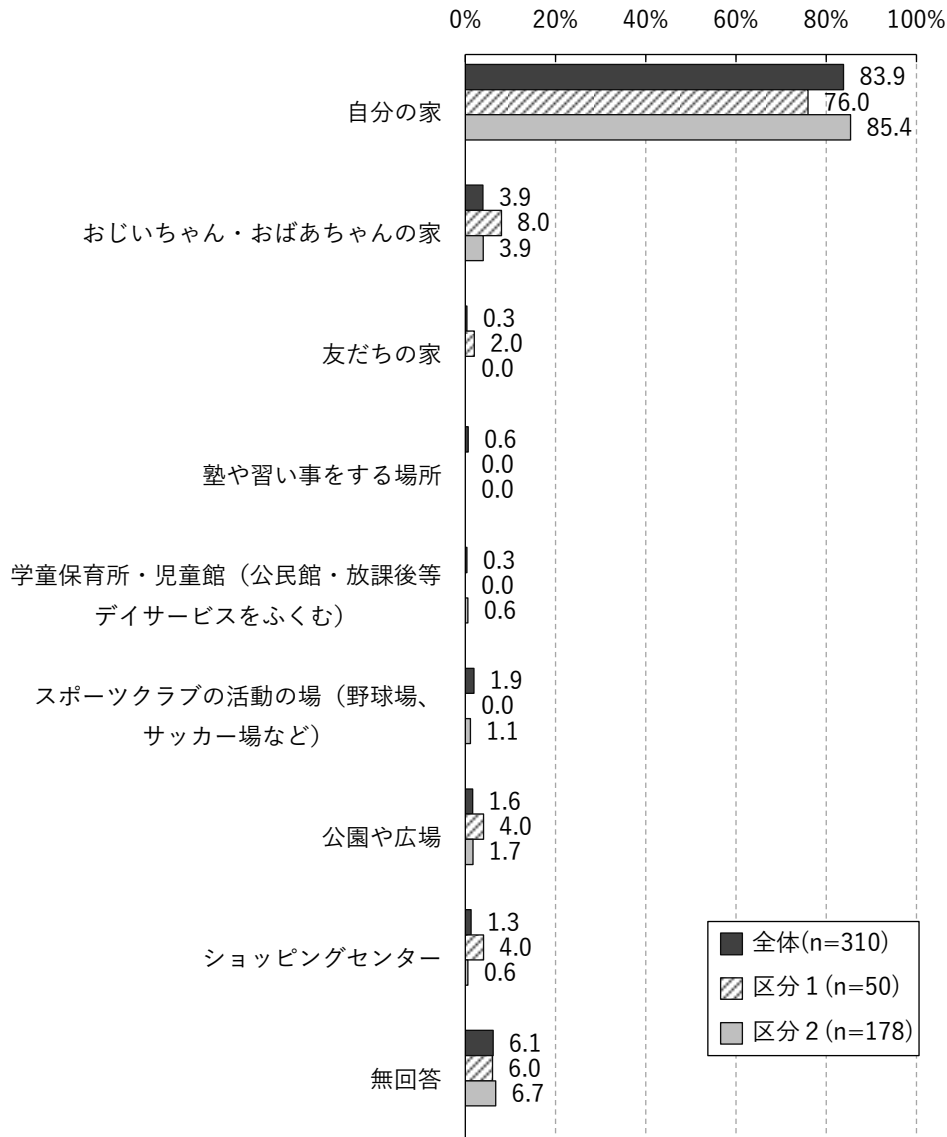
## 休日を過ごす場所

【保護者設問】

保護者に子どもが休日を過ごす場所をたずねたところ、全体をみると「自分の家」が83.9%、「おじいちゃん・おばあちゃんの家」が3.9%となっています。

区分別にみると「自分の家」は区分1の方が低く、「おじいちゃん・おばあちゃんの家」は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 問15 お子さんは、休日（学校がお休みの日）は、どこで過ごしますか。



※回答のあった項目のみ

## (2) 子どもの回答

### ① 友だちとの関係

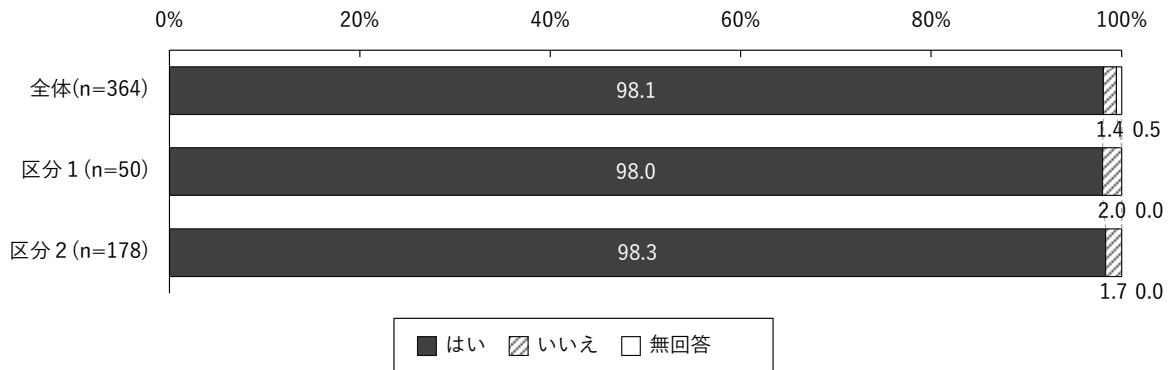
【子ども設問】

学校になかよしの友だちがいるかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると98.1%となっています。

区分別にみても大きな差はみられません。

小学校1年生

【しつもん 2】学校に、なかよしのともだちはいますか。



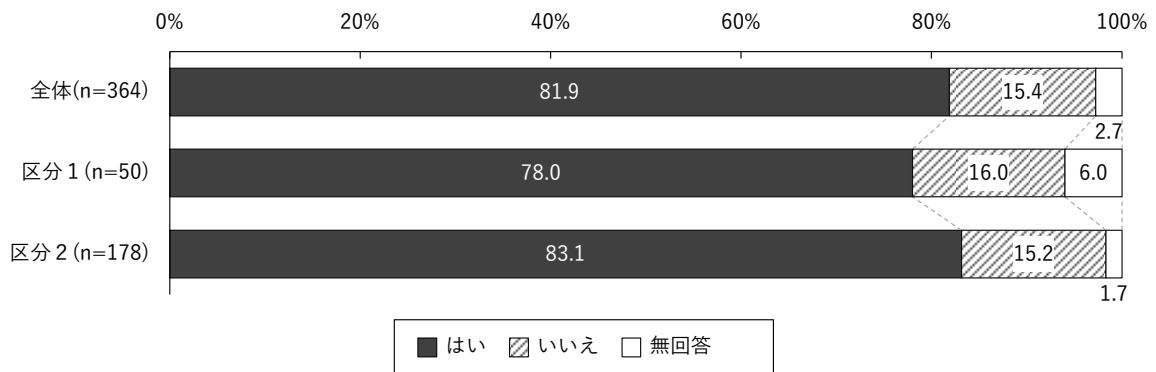
【子ども設問】

学校以外になかよしの友だちがいるかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると81.9%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は、区分1の方が低くなっています。

小学校1年生

【しつもん 3】学校のともだちのほかに、なかよしのともだちはいますか。

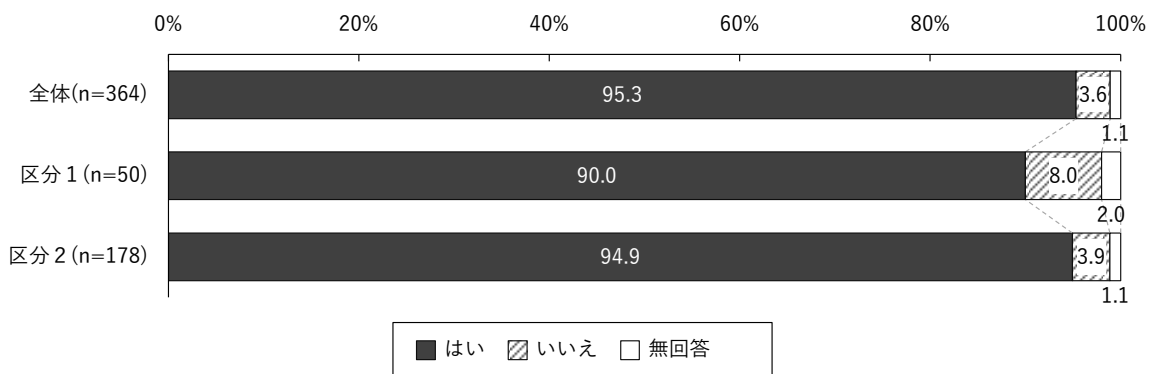


【子ども設問】

友だちと遊んでいるかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると95.3%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は、区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 【しつもん 4】ともだちといっしょに、よくあそんでいますか。

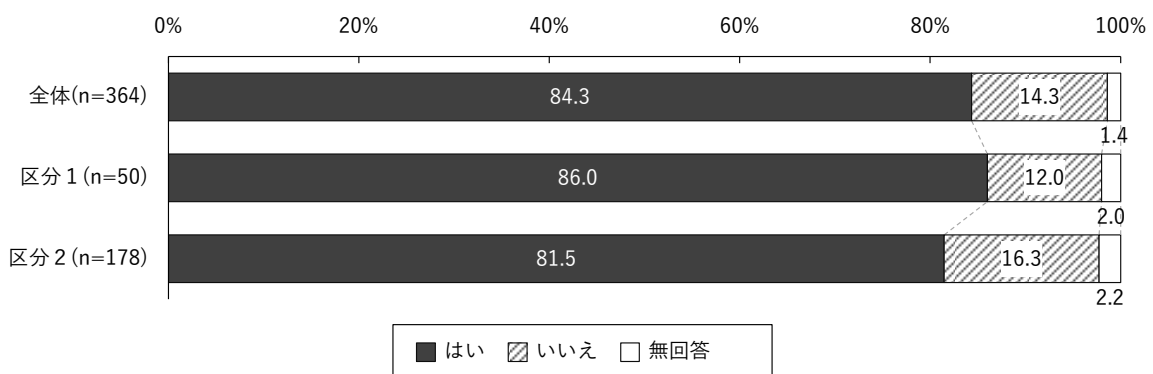


【子ども設問】

友だちが自分をほめてくれることがあるかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると84.3%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は、区分1の方が高くなっています。

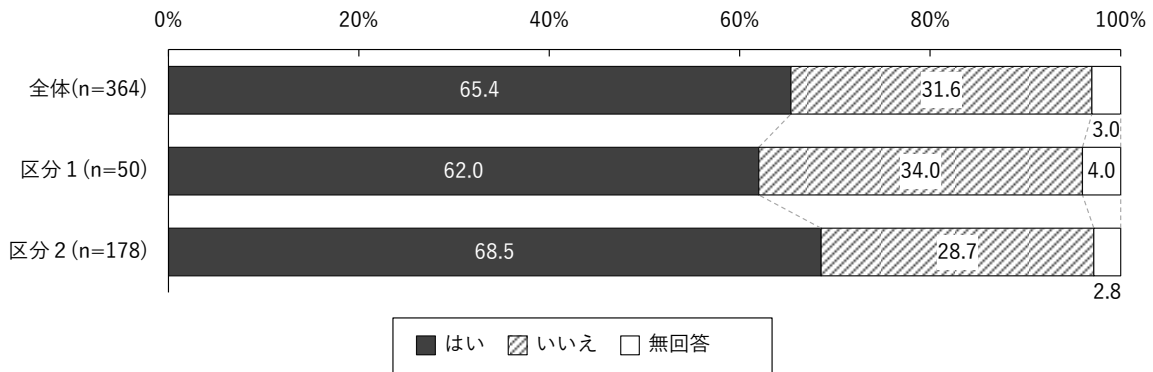
**小学校1年生** 【しつもん 5】ともだちは、あなたのよいところをほめてくれることがありますか。



自分は友だちと違うところがあると思うかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると65.4%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は、区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 【しつもん 6】じぶんは、ともだちとくらべて、ちがうところがあるとおもいますか。

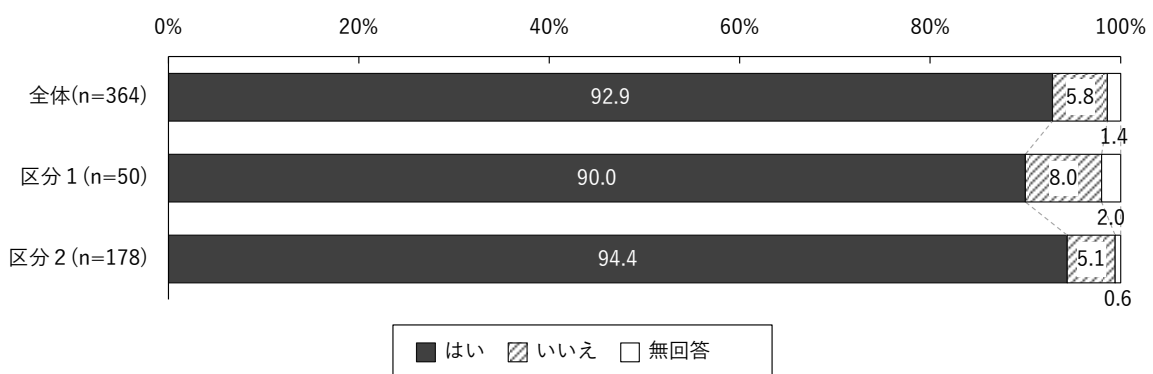


## ②平日の放課後・休日の過ごし方

平日の放課後に家族といるかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると92.9%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は、区分1の方が低くなっています。

**小学校1年生** 【しつもん 7】学校や学童保育所からかえったあと、おうちの人といっしょにいますか。

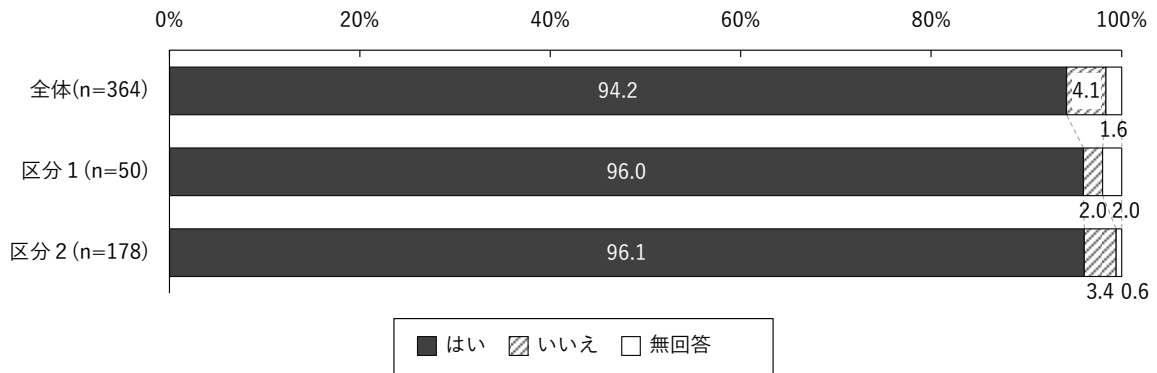




休日に家族といるかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると94.2%となっています。

区分別にみても大きな差はみられません。

**小学校1年生** 【しつもん 8】 学校や学童保育所がお休みの日は、おうちの人といっしょにいますか。



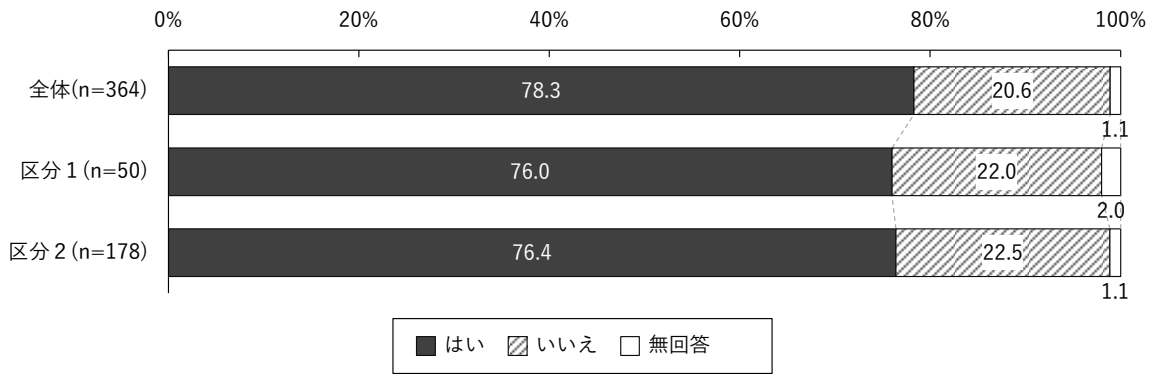
### ③学校生活・学習

【子ども設問】

家族と勉強をするかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると78.3%となっています。

区分別にみても大きな差はみられません。

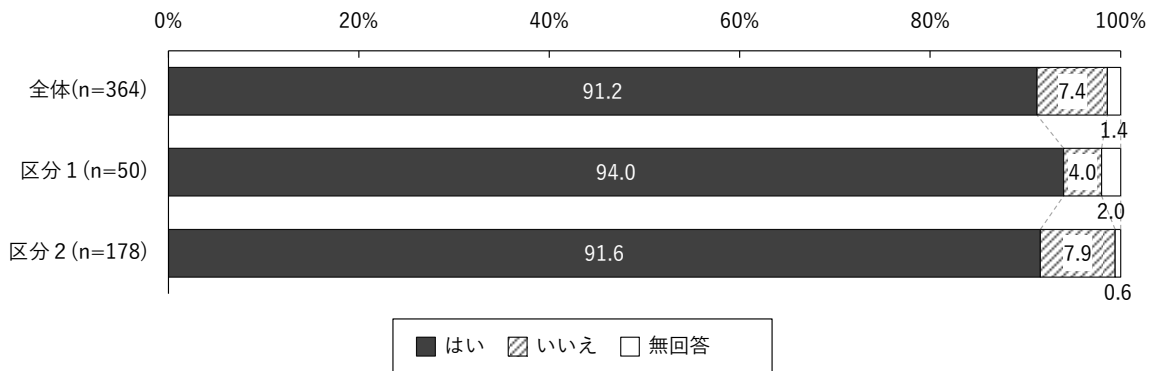
小学校1年生 【しつもん 9】 おうちの人といっしょに、べんきょうをしますか。



【子ども設問】

学校が楽しいかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると91.2%となっています。区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 【しつもん 10】 学校に行くのは、たのしいですか。



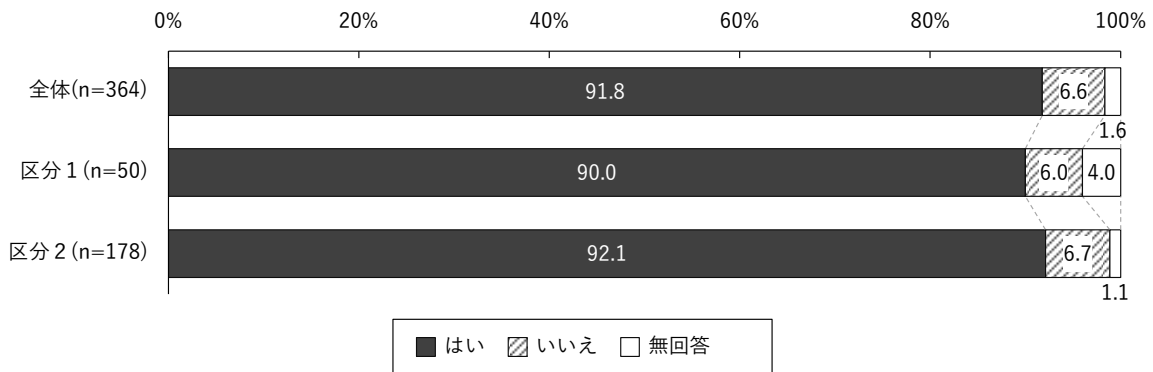
【子ども設問】

学校の勉強が楽しいかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると91.8%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が低くなっています。

小学校1年生

【しつもん 1 1】学校のべんきょうは、たのしいですか。



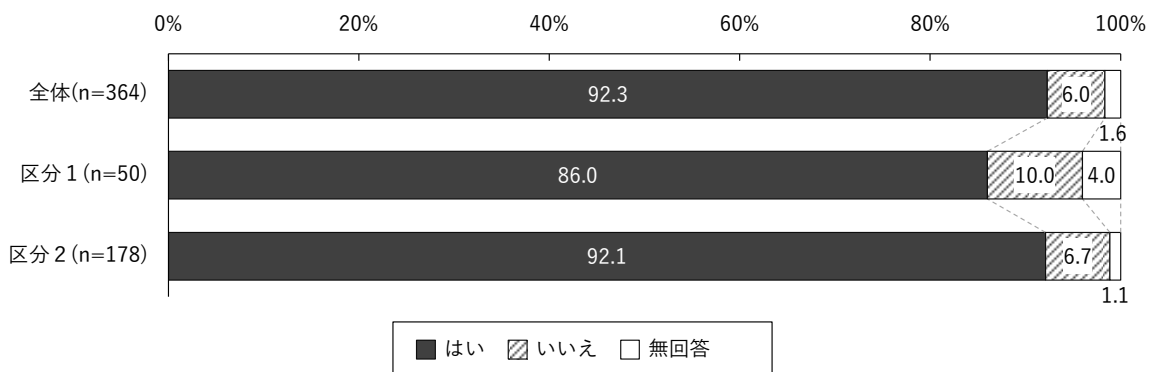
【子ども設問】

先生との会話が楽しいかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると92.3%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が低くなっています。

小学校1年生

【しつもん 1 2】学校で先生とおはなしをするのは、たのしいですか。

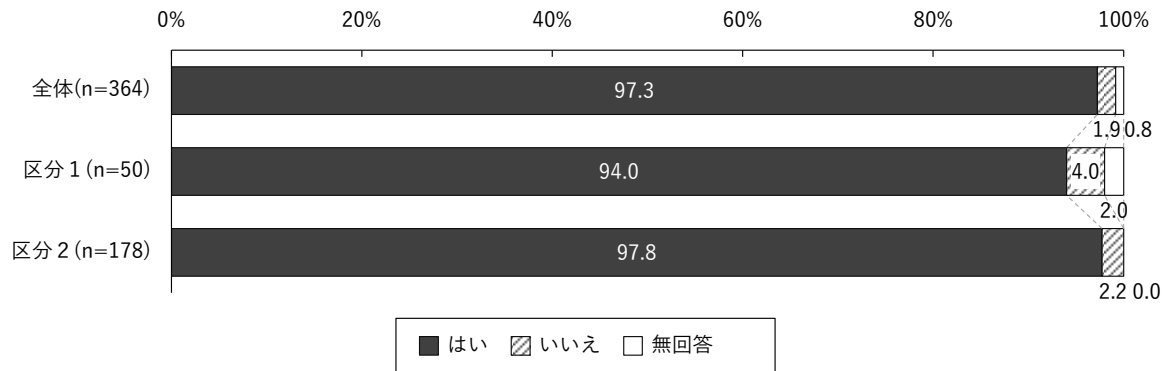


【子ども設問】

学校の休み時間が楽しいかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると97.3%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が低くなっています。

小学校1年生 【しつもん 13】学校の休みじかんは、たのしいですか。

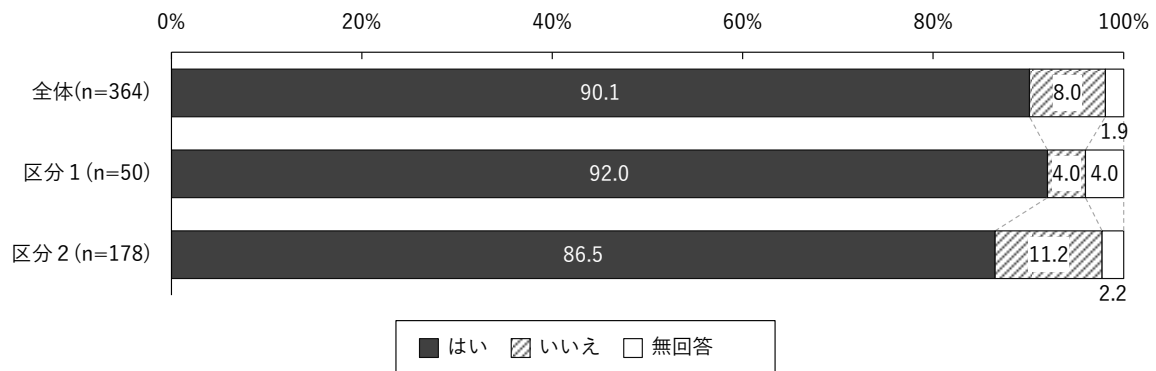


【子ども設問】

学校の給食の時間が楽しいかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると90.1%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

小学校1年生 【しつもん 14】学校のきゅうしょくのじかんは、たのしいですか。

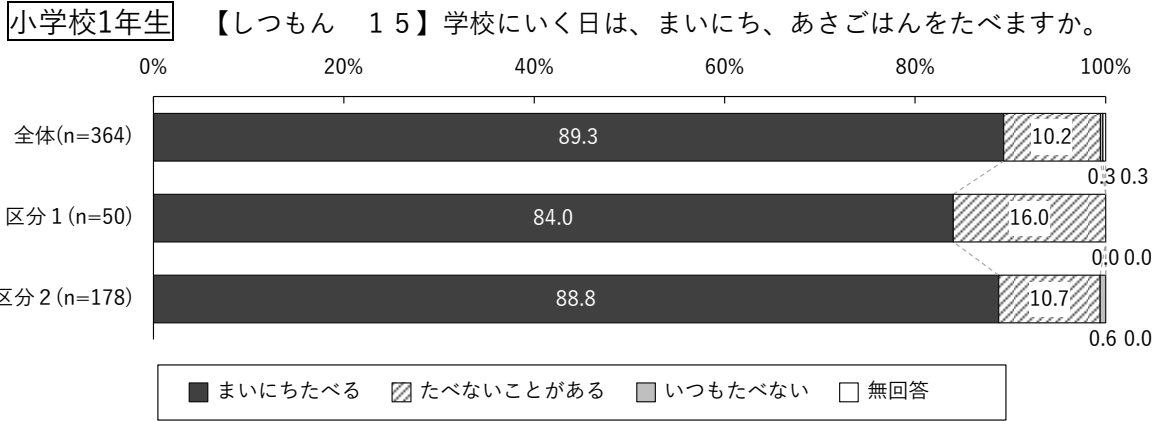


#### ④食事

【子ども設問】

朝食の摂取頻度について、「まいにちたべる」と回答した割合は、全体をみると89.3%となっています。

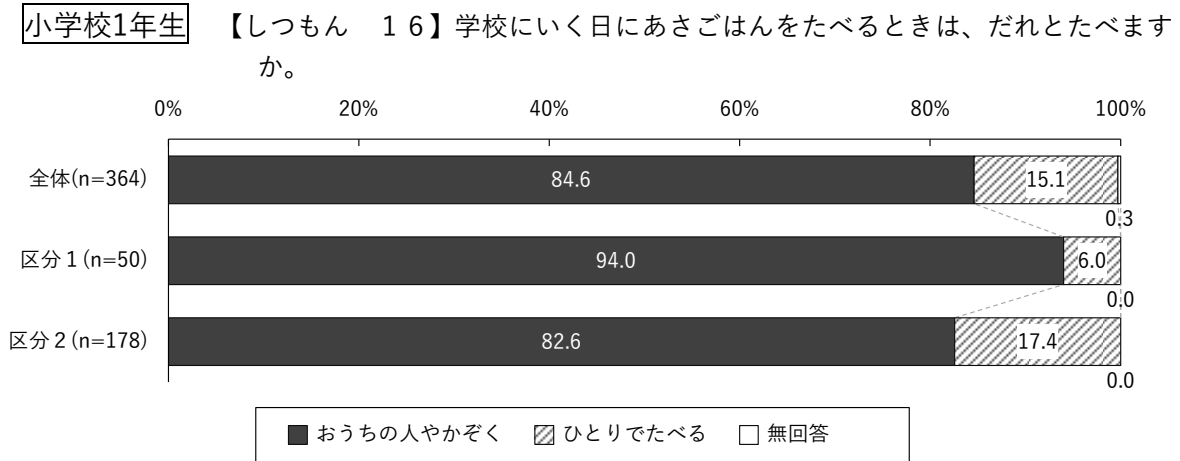
区分別にみると「まいにちたべる」と回答した割合は区分1の方が低くなっています。



【子ども設問】

朝食を誰と食べるかについて、「おうちの人やかぞく」と回答した割合は、全体をみると84.6%となっています。

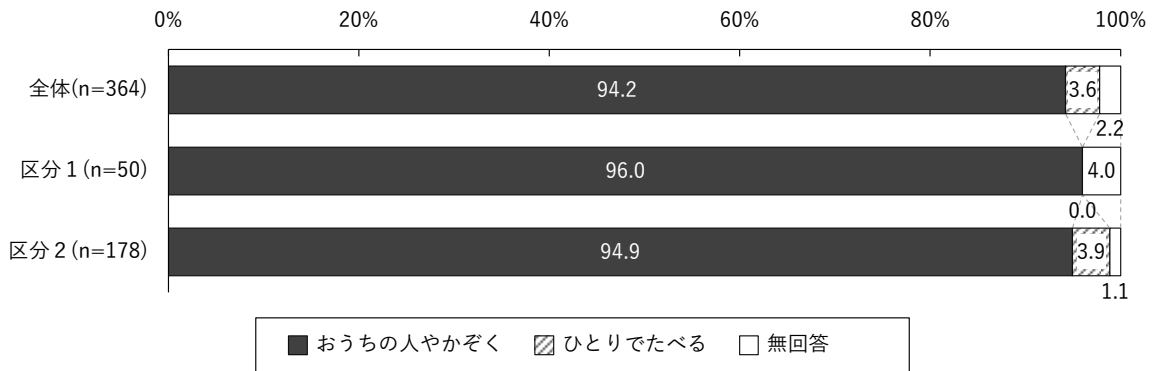
区分別にみると「おうちの人やかぞく」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。



夕食を誰と食べるかについて、「おうちの人やかぞく」と回答した割合は、全体をみると94.2%となっています。

区分別にみると「おうちの人やかぞく」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 【しつもん 17】 学校にいった日の夕ごはんは、だれとたべますか。

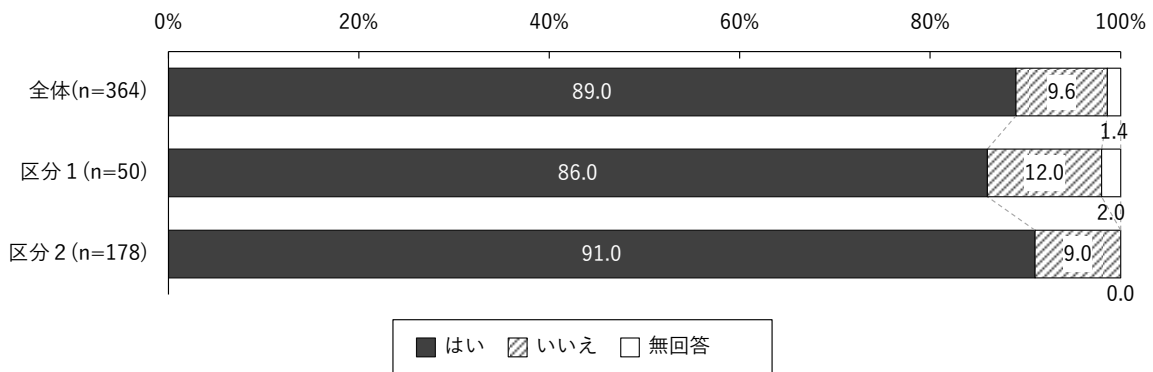


⑤ 将来の夢・自己肯定感

大人になったらなりたいものがあるかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると89.0%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が低くなっています。

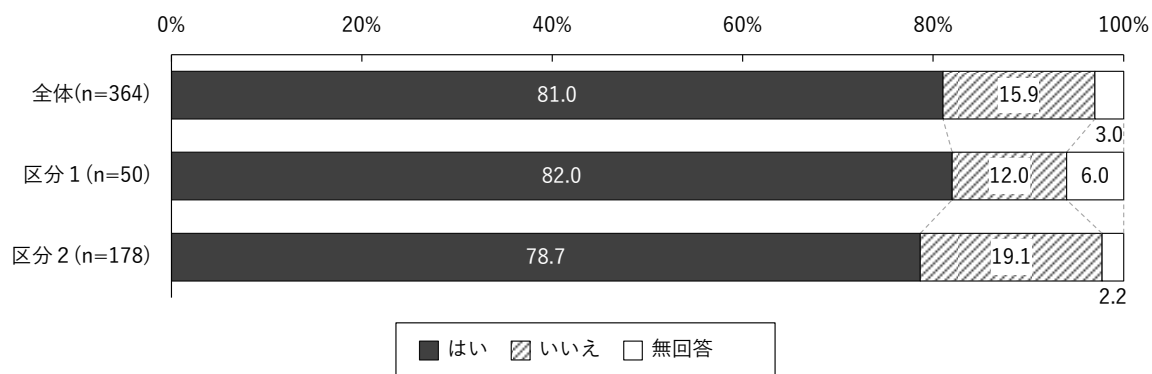
**小学校1年生** 【しつもん 18】 おとなになったら、なりたいものがありますか。



自分のことが好きかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると81.0%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

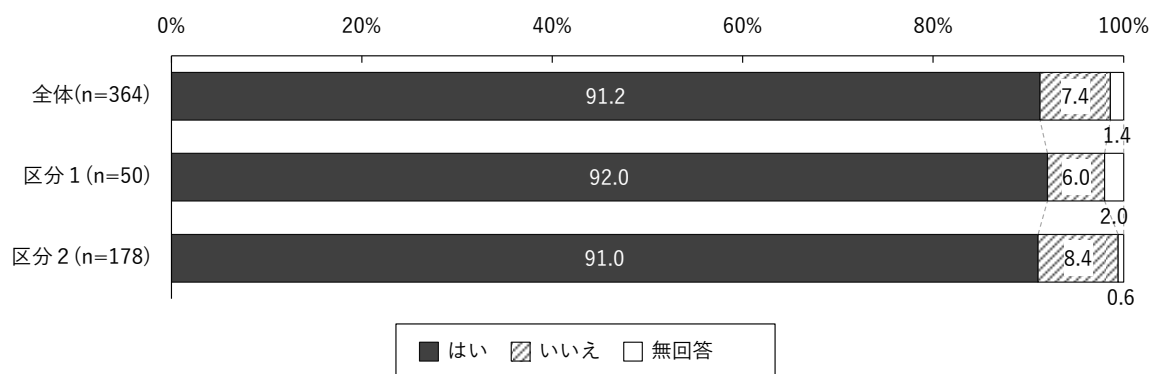
小学校1年生 【しつもん 19】 あなたは、じぶんのことが好きですか。



がんばれば良いことがあると思うかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると91.2%となっています。

区分別にみても大きな差はみられません。

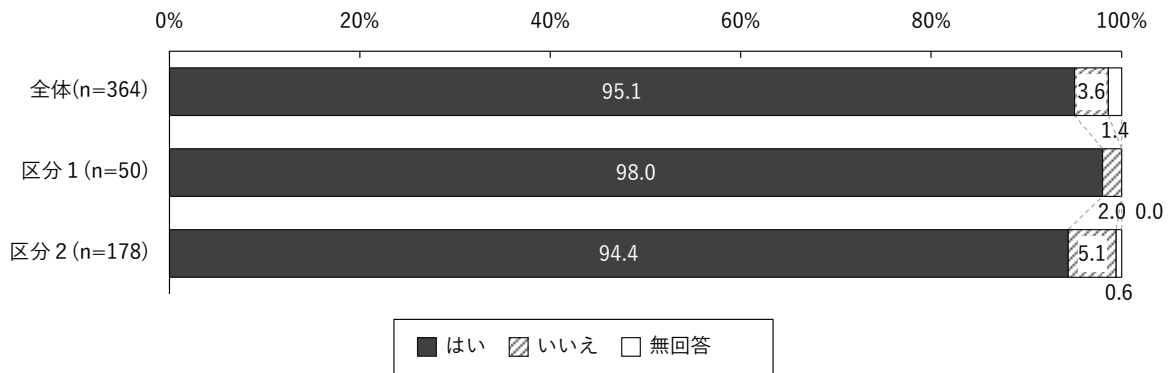
小学校1年生 【しつもん 20】 がんばれば、よいことがあるとおもいますか。



自分の家にいることが好きかについて、「はい」と回答した割合は、全体をみると95.1%となっています。

区分別にみると「はい」と回答した割合は区分1の方が高くなっています。

**小学校1年生** 【しつもん 21】じぶんの おうちにいるのは、すきですか。





## 11. 自由記入意見

アンケートの最後に設けた自由意見の欄には多くの回答が寄せられています。ここでは一部を抜粋し、主たる内容で分類しました。なお、回答者の原文を尊重し、編集は誤記の修正等にとどめています。

### (1) 保護者の困りごと・悩みごと

質問：あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

※文末は【子どもの学年／子どもから見た続柄】。

#### 保護者の仕事・雇用・収入

- 主人の収入が大きく減っていること（新型コロナウイルス感染症の影響も大きい）。【小1／母親】
- 経済的な理由で子どものやりたいこと、行きたいところへ連れていくなどができない。【小1／父親】
- 母子家庭で金銭的に余裕がなく、もう少し働きたいが、子どもを預かってくれる人がいなく、この先不安だ。（もう少し働きたい。夜勤をやってもう少し収入をアップしたい）【中2／母親】
- 現在、非正規雇用で、年度末に更新できるかできないかが決まります。年齢的に、雇用が打ち切られた場合、新しい就職先が見つかるのか不安なまま働いている状態です。中高年の雇用や求人に関する情報発信の場が増える事を要望いたします。【16-17歳／母親】
- 子育てするのに実際は両親のみの収入でやっている家庭が多いのに、世帯の収入での判断は納得できない。【小5／母親】

#### 子どもの学習・進路・将来

- 子どもが学校に行きたがらない。勉強をやる気がない。（子どもの）生活がだらしない。【小5／母親】
- 正直、塾や習い事までをさせる余裕はありません。高校、その後の進学にかかる費用について考えると不安もありますが、経済的な事を理由にその道をあきらめてほしくないとも思います。親からその事を言わなければいけない事も切ないですし、子どもたちにも平等に機会が得られるよう制度や進路について学校等でわかりやすく説明をしていただける機会があると良いと思います。【小5／母親】
- 小学校から不登校です。学校に行かなければ勉強ができないのではなく、どこの場所でも”学ぶチャンス”を与えてほしいです。1人1人の学びについての話し合いができるとうれしいです。具体的には授業配信をしてほしいです。【中2／母親】
- 子どもが進学できるか。進学できた時、学費が足りるか。卒業できるか。子どもが一人で暮らせるか。薬物などに接することなく過ごせるか。このままコロナが収束しないで、子どもの学校生活や、将来の就職に影響が出ないか。子どもが未来に夢を持ってすごせるか。子どものことを思えば悩みはつきません。【16-17歳／母親】

### 子どもの生活・習慣・友人

- 学習よりもメディアに時間を費やす事が多く、注意すると機嫌が悪くなる。【小5／母親】
- 学生生活を楽しめていない様子が見られる。先生や周りの人達に受け入れてもらえていないのではないかと思う。【16-17歳／母親】

### 地域環境・住環境

- 少子化、若者の市外への転居等で本当に衰退しています。村上で子育てしたい、と思えるような環境を作って下さい（子どもの学びの場、身体をつかって、頭をつかって遊べる場所）。田舎の良さも雪国の良さも生かしきれず、子どもたちは冬は家にひきこもるしかない生活。これでは体力も落ちます。将来の村上を作ってくれる子どもたちを市民、市政で育む考えをぜひもって、実現して下さい。【小1／母親】
- 放課後や休日に遊ぶ所が少ない。お天気が悪い日には家の中で過ごすしかなく、新型コロナウイルスでよそのお宅へも行きづらい。公園も遊具が少なく、トイレも和式で古く、小さい子どもは使えない場合もある。結局、休日などは市外の公園などに出かける事が多い。【小1／母親】
- 公園と名前のつく場所はあるが遊具などの設備が少ない。赤ちゃんから小学生まで遊べる遊具があったらいいと何年も思っている。中学生だともっと自由に使える体育館や施設があるといい。学校の体育館を使いたくても社会人が使っていたり…借りるだけ借りてほとんど使っていない団体もある。きちんと精査して貸すようにしてほしい。【小1／母親】
- 冬場や天気が悪い日に子どもを気軽に遊びにつれて行ってやれる施設が近くにない。【小1／母親】
- 子ども連れ（赤ちゃん含め）で食事をゆっくりできる施設が新発田辺りに比べ少ない。雨天でも遊ばせる所も。【小1／母親】
- 働いている家庭が多く、放課後に子どもが遊ぶ時に同じ家に集まったりする。子どもが安心、安全に過ごせる場所がなくなったと感じる。LINEを使用させているが、あくまで親との連絡ツールなのに友だち追加してグループLINEにいつの間にか入れられている。（使い方や方針は各家庭にあると思うが…）我が家は子のLINEを見て（子の居る前で）トラブルにならないようにしている。【小5／母親】
- 図書館、学習室がもっとあれば利用しやすい。平日以外でも市役所の各種相談ができる利用しやすい。【中2／母親】
- 祖父母が運転できないので、駅までの送迎が困る。子どもの送迎に合わせて仕事の時間を変えなくてはならない。【16-17歳／母親】

### 健康・障害

- 新型コロナの影響で子どもたちもマスク生活がずっと続いていて、健康に影響してこないのか心配です。【小1／母親】
- 年々体力が落ちていること。【小5／母親】
- 子どもの発達の事で色々と相談しているが、未だに解決しない。先が見えない不安という気持ちがある。もっと迅速に対応してくれないと困る。【小1／母親】

## 学校・行政

- 共働きのため祖父母に学校の後を見てもらっているが、学童も落ちたため、週に1度で良いのでどこかに良いところがあれば知りたい。【小1／母親】
- 村上市の子育て支援、学校でのサポート等とても満足しています。これからもより良い子育て社会に発展してくれることを願っています。【小1／母親】
- 制度についてわからないことが多くありました。【小1／母親】
- 学校からのプリントが多すぎて困っています。学校、教育委員会、市役所が連携して利用者がわかりやすいツールでお知らせできないのでしょうか。横のつながりを深める体制に作り変え、市民に寄り添ったサービスを提供いただけることを望んでおります。【小1／母親】
- 学童保育所の物品の充実、必要性のあるものをそろえて欲しい。子どもの心（気持ち）に寄り添い、ぬり絵のコピーをしておいて欲しい。子どもが行きたい！利用したいと思うような学童保育所であって欲しい。親が仕事が終わりに迎えに行くまで待つのですから、できる限りのサービスをお願いしたいと思います。【小1／母親】
- 子どもの学習状況や生活態度など学校の担任の先生等に相談したいが、なかなか相談できない状況。スクールカウンセラーの設置や、保護者からの相談等を受けやすい状況づくりを望みます。先生たちの勤務体制等の変化などもあるのですが、少し前より学校と生徒、保護者間の気持ちの距離を感じます。【小5／母親】
- 世帯収入で児童扶養手当の対象外となっているが、実際は生計も全く別なので、個人の収入で見て頂きたい。家族で私だけ収入が減っているが支出は変わらないため、苦しい時がある。【小5／母親】
- 児童手当を高校卒業または大学卒業まで支給していただきたい。【中2／母親】
- 子どもが18歳で児童扶養手当がなくなりますが、それからの年齢がお金がかかります。低所得に限らずひとり親への支援があればよいと思います。親も年をとって、介護が必要となっていけば、いろんなものにお金もかかっていきます。子どもの将来のため、大学へ進むのをあきらめることは悲しいです。【16-17歳／母親】

## 子育て・子どもとの関わり

- 同居している祖母が子育てに介入しすぎていて、きちんとした親子関係が築けているのか不安に思うことがある（祖母には感謝している点多々あるが）。子どもも母親を信頼していると思えない。私自身にも原因があるのかもしれないが…。思春期を迎え悩みや不安をきちんと聞けるような状態でいたいと思う。【小5／母親】
- 思春期の子どもとの接し方。受験生を持つ家族が子どものためにできること。大学受験や、大学のお金、仕送りにいくら必要か。【16-17歳／母親】

## アンケートについて

- アンケートをするにあたり不快に思うような内容があるので、今後はあまり協力したくないと感じた。【小1／母親】
- アンケートが大変。各学校や家庭にこれだけ協力を得て行ったのだから、必ず市政に生かしてください。【中2／母親】

## (2) 子どもの困りごと・言いたいこと

質問：このアンケートの感想や大人の人に言いたいことなどがありましたら、下のらんに書いてください。(小学校5年生・中学校2年生)

あなたが今、一番困っていることは何ですか。ご自由にお書きください。(16-17歳)

※小・中学生の文末は【性別】。16-17歳の文末は【性別・在籍・就労】。  
16-17歳の就労で「いずれでもない」「無回答」は\*。

小学校 5 年生

---

### 学校・勉強・学習環境

- 学校がつらい時には学校を休ませてほしい。習い事も。【女子】
- 校外学習にいきたい！ 友達関係がむずかしい！ 勉強がむずかしい！ ロが悪くてなおせない！ クラスの子みんなと仲良くしたい！ 自分に自信をもてるようになりたい！【答えたくない】
- 学校が統合して、人間関係などがむずかしい。統合前の学校にもどりたい。どうせ中学で会うから統合しなくてもよかったような感じ。統合するなら前の学校がよかった。【女子】

### 環境・まち・施設

- 帰りのバスが早く来るようになってほしい。【男子】
- 子どもたちのために公園を増やしてほしいです。学校か家から自転車でいける公園がないからです。【男子】
- 村上市が、自然であふれ、だれもが生き物を大切に、植物も大切にする所になってほしい。動物とふれあう施設がほしい。【女子】
- 地域の中に公園みたいな場所がほしい。夜、遅くまで遊べる場所がほしい。もっと周りの人にやさしくしてほしい。誰もが幸せに暮らせる所がほしい。他の県から来た人が分かりやすいように案内できるようになってほしい。【女子】

### 社会・世の中・大人

- SDGs とか Co2 に対していろんなことをやってるけれど、この先はどうか不安だ。【女子】
- 世界みんながごはんを食べられる生活にしてほしいと思っている。【男子】

### 保護者・家族・家庭

- 自分が出来ないことを押し付けないで。くらべないで。【男子】
- 親に感謝したいです。いつもいつも働いてくれて嬉しいからです。【男子】
- ママの具合が心配だから、たまにママが平日に休みの時は学校を休んで助けてあげたいと思う。【女子】

### アンケートの感想

- 自分のことで、いっぱい意外なことを発見できたので、楽しかったです。【男子】
- 大人の人には言いづらいこともアンケートだったら誰にも見られないからすごく書きや

すかったです。こういうアンケートの回数はもっと増やした方がいいと思いました。言いつらいこととか書きやすいし、もっと村上の小学校の生活をよくするためには定期的にした方が最新のことがわかると思ったからです。【女子】

- 自分の夢を聞かないでほしい。【女子】
- 家でも、学校でも、毎日とても楽しいです。このようなアンケートは、人の相談にのれるとてもいいアンケートだと思います。友だちや、家族に話せない事も、相談出来るため安心できると思います。これからも続けるといいと思います。【男子】
- 健康についてみたい質問が多かったので、健康になるために気をつけた方がいいということがわかった。【女子】
- ふだん自分の思っていることを人に見られないで答えられて、すっきりしました。【男子】
- このアンケートで自分の生活や友だちとの関係を振り返り、今後の生活にいかしたいと思った。【男子】
- このアンケートをやってみて、自分のことがいろいろとわかりました。そして、自分の悪いところは、なおせるようにしたいと思いました。【女子】

中学校 2 年生

---

#### 学校・勉強・学習環境

- 3 回目の定期テストがヤバかった。どうすれば成績が上がるかが知りたい。【男子】
- 1 日何時間勉強すればいいんですか。【男子】
- 勉強で数学がわからないことがよくある。【男子】
- 生理のとき学校を休んだ人がいたら、無欠席にしてほしいです。生理で苦しんでいるのに欠席としてとらえるのはかわいそうだし、生理痛が重い人は休めなくなると思います。【女子】

#### 環境・まち・施設

- 部活動などでランニングする場所が学校の近くにあってほしいです。土手もありますが、危なくて行けないと言われてるので、せめて後輩達の代でもいいのでつくってもらえるとありがたいです。【女子】
- 学校や家以外で勉強できる場所がほしい。市立図書館の本を増やしてほしい。【女子】
- 学校のグラウンドを芝（人工芝）にしてください。【男子】
- 村上市に子どもが遊ぶ場所や勉強ができるスペースが欲しいなと思った。動きたい時に場所がなく、空いている所でやって怒られるのはどうなのかと思う。若い人や旅行で来る人を呼びたいならなおさら必要だと思った。城下町より広場や公園・運動のできる所を作った方が良く思う。【男子】
- 夜、部活が終わって帰るとき、暗いから電気を道路につけてほしいです。草がたくさん生えているところを抜いてほしいです。【女子】

#### 社会・世の中・大人

- なんで大人は好きなものを買ってるのに、子どもには買わせてくれないのか。【男子】

- 毎日頑張って僕たち子どものためにいつも世話をしてくださりありがとうございます。親や地域の人たちなども毎日声をかけていただきありがとうございます。先生方もいつも勉強や部活の指導もしていただきありがとうございます。【男子】
- なぜいじめはへらないのでしょうか。一人が何か言えばそれに乗っかり一人をばかにする。このループ。人は自分よりも劣っていると思ったらそこにピンポイントでダメージを与える。人にイヤがらせをして、自分が同じことをされると被害者ヅラをする。人間っておもしろいですよね。【男子】
- 大人は大変ですか。【男子】
- 議員の人が1日で100万もらったっていうのをTVでみて、変わってほしいと思います。というか議員たちの給料、減らしてほしいです。【女子】
- 大人の方は子どもの手本なので、もっと潔く、丁寧であってほしいです。【女子】
- 平日の放課後に夜までいることができる場所は、使ってみたいとすごく思った。自分は、クラブチームという、部活を土日ともやるみたいなバスケのチームに入っているけど、自分にとってそれが本当にストレスです。共感してくれるのは、チームの人たちだけで、大人は、だれも共感してくれません。【女子】
- ジェンダーレス等についてと同性愛について私は深く考えているのに大人達は深く考えようとしなないのがなやましい。【女子】

#### 保護者・家族・家庭

- 友だちには2人ほどヤングケアラー（ここでは親の分まで食事の準備をする、洗濯をするなどの家事で時間が必要以上に拘束されている人を指します）がいます。話を聞くと、とても大変な様子でした。その人は、お金をためて高校入学と同時に家を出て1人暮らしをしようとしています。しかし、それは厳しいものになると推察しています。私は、親の都合で子どもの自由が奪われることはあってはならないと考えます。複雑な家庭に生まれた子どもの、自由と尊厳が守られる制度ができることを深く願います。【女子】
- 学校に行きたくないと言っていると親などに相談しても自分の気持ちを分かってくれません。【女子】
- 私の親は今、喧嘩をしていて、母方の祖父母の家で暮らしています。学校が終わるのが17時、習いごとが始まるのが19時なので、それまで私の居場所はありません。祖父母の家が遠いこともあり、17時～19時までは外にいるのでとても寒いんです。少しでも多くの居場所をつくって欲しいです。【女子】

#### 友だち・人間関係

- 自分は友だちとあそぶのが好きなんだとあらためて思いました。【男子】
- なんていじめをしている人にきびしくおこらないのか。いじめられている人に声をかけたほうがよい。【男子】

#### 市・行政

- 国からの10万は、本当にもらえるんですか？【男子】
- 税金はいくらかかってもいいけど、小学校から高校までの学費は無料にしてほしい。【女子】

## アンケートの感想

- 答えていて、あまり気分は良くなかった。【女子】
- 今の自分の気持ちが分かった。【男子】
- 将来のことについての不安が大きいから、教えてほしい。気軽に答えられて楽しかった。もう少し問いが多くても楽しいかも、と思った。【答えたくない】
- このアンケートでなかなか自分から言いだせない、書きだせないようなことを質問してくれたので答えやすかったです。【女子】
- 色々な質問があり大変だったので、この結果を是非子どもたちの生活の補助をする際に役立ててほしいです。【男子】
- 自分は今、こうなんだなあということを見ることができました。今、こういう状態だからなおそうという気持ちにもなりました。こういうアンケートはいいと思います。【女子】
- ふり返って食生活は野菜を食べたりスマホをあまり使わないように工夫をしようと思った。【女子】
- とても分かりやすい質問で、解答をしやすかったです。【男子】
- 友だちとは考えがちがうので、「友だちが持っているようなもの」に悩まされました。（そういうことを言っているわけではないのは知っています。）友だちがいない時はどうしたらいいんだろう…【答えたくない】
- 自分の事を見つめなおせる良いアンケートだと思いましたし、学校・家・友達・家族、将来・未来・過去、夢、時間の事、今の時間を大切につかおう、未来の光をつかみとろうと言うような気が感じられました。【男子】
- 「自分は価値がある人間・・・」じゃなくて、自分「も」のほうがいい。【男子】

## その他

- 私は、今年度から不安に思うことが多くなり、学校を休みがちになってしまうこともありました。人に相談したくても、なかなかできない状況でした。学校のスクールカウンセラーがあってもなかなか利用できません。周りにも困っている人がいるのでそういう人達の心が少しでも軽くなるように何かの取り組みをしてほしいです。周りからの勇気やパワーがもらえる取り組みをしてほしいです。【女子】
- 自分の将来の夢を恥ずかしくて誰にも言えません（否定されそうで怖い）。でも、夢は声に出すほど叶うと言うから話したい気持ちもたくさんあります。【女子】

## 16-17 歳

---

## 学校・勉強・学習環境

- まれに勉強とは何なのかわからなくなり、虚無感に襲われる。【男子・全日制高校・\*】
- 高校が楽しくなさすぎて困ってる。小テストばかりで自由な時間がない。平日を減らし、休日を増やしてほしい。遊べる場所がない。【女子・全日制高校・\*】
- 進学先。【女子・全日制高校・\*】
- 家の近くに行きたい大学がないこと。【女子・全日制高校・\*】

- 勉強、人との関係。【男子・全日制高校・＊】

#### 環境・まち・施設

- 新潟市の学校から帰ってくるとき電車の本数が少なくて、毎日1時間近く駅で待たないといけないこと。【女子・全日制高校・＊】
- 冬の間、雪が降ると歩けない。スクールバスなどを用意してほしい。【女子・中高一貫校・＊】
- バスの本数が少ないこと。【女子・全日制高校・＊】

#### お金・物・暮らし

- お金がない。【男子・全日制高校・就労中】
- マスク生活がただただ辛い…。【女子・全日制高校・＊】
- wi-fi をいつでも使いたい。進学先。【女子・全日制高校・＊】

#### 友だち・人間関係

- 人間関係がおっくうになってきた。いじめられたことはないが、友だちに会うのがつらい。ストレスを発散できるものや場所がない。特にやりたいことが見つからない。質問があるときに人に聞きに行くのが怖くてあまり聞けない。何もしていないのにすぐに疲れる。また、すぐに逃げだしてしまう（学校や課題など）。【女子・全日制高校・＊】
- 真の友だちができないこと。みんな口が軽くて困っている。【女子・全日制高校・＊】
- 彼女ができない。【男子・全日制高校・＊】

#### その他

- 周りがすごい気になる。【女子・定時制高校・＊】
- 何か辛いことがあってもその答えを教えてくれる人が身近にいない。【男子・全日制高校・その他（勉強中）】
- 居場所が欲しい。情緒不安定で将来が不安、手遅れに感じる。【女子・通信制高校・就労中】
- 将来の夢が見つからない。【男子・全日制高校・＊】
- 自分が何に興味があって、将来何をして生きていきたいのか分からないこと。【女子・中高一貫校・＊】
- 将来の進路をどうするかについて、何をしたいのか分からない。【女子・全日制高校・＊】



### (3) 16-17歳の村上市への要望

質問：あなたが、村上市に何でも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。ご自由にお書きください。

※本設問は16-17歳のみ。文末は【性別・在籍・就労】。就労で「いずれでもない」「無回答」は\*。

#### 居場所・交流の場所

- 生き物とふれあえる場所を作ってほしい。【女子・定時制高校・\*】
- 休日に行くことができる場所を作ってほしい。【男子・全日制高校・\*】

#### 娯楽・飲食・商業施設

- いつでも勉強できるおしゃれなカフェを作ってほしい。平日の夜にバイトできるようなところがあってほしい。【女子・全日制高校・\*】
- 学生が楽しめる娯楽施設が欲しい。【男子・全日制高校・\*】
- 落ち着くことができる場所が欲しい（精神的に）。好きな文房具が買えるお店が欲しい。【女子・全日制高校・\*】
- ショッピングセンターなど商業施設の発展。【女子・中高一貫校・\*】
- 駅前がもっと栄えたら良いと思います。【女子・全日制高校・\*】
- 市内で気軽に食べに行けるお店を増やしてほしい。【女子・全日制高校・家事手伝い】

#### 運動・スポーツ施設・公園

- 公園の遊具を備える。小さい子どもが外で体を動かすため。【男子・全日制高校・\*】
- 陸上競技場が欲しい。【男子・全日制高校・\*】
- 体育館を作ってほしい。外で遊べる場所がほしい（バスケットなど）。【男子・全日制高校・\*】

#### 地域環境・生活環境・交通

- 夜になると素行の悪い学生とかがたくさんいるのでパトロールした方がいいと思います。【女子・中途退学・就労中】
- 廃校を有効に活用してほしい。若者が村上市で生活しやすくなるために。【女子・全日制高校・\*】
- お祭りやイベントをこれからも続けてほしいです。小さい頃から参加しているお祭りやイベントの楽しさをこれからもたくさんの人に知ってもらいたいし、私も参加し続けたいです。また、駅から学校近くに停まるバスがあれば電車通学の人にも楽に通うことができます。【女子・中高一貫校・\*】
- 村上城を再建してほしい。粟島と村上の間に、サイクリングロードを作ってほしい。村上駅前を活性化してほしい（観光拠点を建てたい）。【女子・中高一貫校・\*】

### 勉強・学習環境・学習支援

- 生涯学習センターが狭いので広くするか、また別の場所につくってほしい。塾に通っているため塾でもできるが、部活や授業時間の関係で席がうまっており、利用ができない。だから、友だちと勉強を教えあって学習できる生涯学習センターを利用したい。【女子・中高一貫校・＊】
- 自習室（生涯学習センターなど）の数を増やしてほしい。他校とテスト期間が被った時などは、席が空いておらず困っています。在学中、生徒全員に授業の一環として”茶ムリエ”の資格を取らせてほしい。【女子・中高一貫校・＊】
- 進学の学費補助がほしいです。【女子・全日制高校・＊】
- 学費（大学）の奨学金がほしい。映画館がほしい。無料で勉強を教えてくれるところがほしい。【男子・全日制高校・＊】
- 図書館や学習センターの学習スペースの拡大と公衆電話の設置（自分のスマートフォン等、保護者と連絡を取るための機器を持っておらず、連絡手段に困っている人もいるため）。【女子・中高一貫校・＊】
- がくせんの席を増やしてほしいです。がくせんが混む土日（テスト期間）は整理券などを配った方がいいと思います。がくせんの席の空き状況をネットなどでみられたら便利です。【女子・全日制高校・就労中】
- マナボーテ村上の勉強スペースを1階だけでなく2階や3階にも設けてほしい。勉強する施設やスペースを廃校などを使って増やしてほしい。【男子・全日制高校・＊】
- 自宅の近くに静かに勉強できる場所が欲しいです。【女子・全日制高校・＊】
- 大学に進学しても市で援助してもらいたい。【女子・通信制高校・＊】

### 市の事業・取組

- より全国に発信していくべきである。【男子・全日制高校・＊】
- 不要物の処分。村上市の情報入手。【男子・全日制高校・＊】
- 病院の跡地を有効活用してほしい。【男子・全日制高校・＊】

### その他

- 中、高生に現在の政治の現状や投票の重要性を教える。幅広い世代の意見を取り入れた政治をしてほしい。【男子・全日制高校・その他（勉強中）】
- 村上市の高校の中で修学旅行の格差をなくしてほしい。県内か県外か、1泊か2泊か、一生に一度の高校の修学旅行に差があるとやっぱり悲しいです。せめて上記は統一してほしいです。【女子・全日制高校・＊】
- ネットが町中や電車内のどこでもつながってほしい。【男子・全日制高校・＊】

## 第3章 関係団体等への調査

### 1. 調査実施方法等の概要

#### (1) 調査の目的

子どもとその保護者を対象とした統計的なアンケート調査だけでは把握が難しいニーズや、市の子どもをとりまく状況について、「関係団体等」、「学校関係者・福祉関係者等」の意見を聞き、専門家・第三者の立場から見た実態を把握するために行いました。

#### (2) 実施方法・対象者

「関係団体等」「学校関係者・福祉関係者等」別に、各々の内容で調査シートを配付し、記入を依頼しました。

| 対象者          |   |
|--------------|---|
| 関係団体等        | 市内の、子ども食堂、フードバンク、家庭教育支援チーム、社会福祉協議会  |
| 学校関係者・福祉関係者等 | 学校関係者：養護教諭、SSW（スクールソーシャルワーカー）<br>福祉等関係者：保健師、CW（ケースワーカー：生活保護ケースワーカー含む）、保育施設<br>その他の福祉等関係者：主任児童委員、福祉関連部局・子育て世代包括支援センター等の市職員 |

#### (3) 調査時期・回答数

令和3年11月～12月にかけて、調査シートの配付と回収を実施。

「関係団体等」は10件、「学校関係者・福祉関係者等」は74件の回答を得ました。

## 2. 調査結果の概要

### (1) 関係団体等調査

#### ① 子どもや家庭との関わり

- ・多くが「貧困状況にある（かもしれない）」子どもと接する経験をもつ
- ・子どもとの心の交流がうかがえる
- ・支援活動の結果、子どもの「笑顔が増えた」

10 団体中 8 団体が、「貧困状況にある（かもしれない）」子どもと接する経験があると回答しています。それらの子どもからはコミュニケーション能力、自己肯定感や表現力、自尊心といった内面的な課題を感じ取っており、表面的ではない交流がうかがえます。

支援活動により子どもたちに「笑顔が増えた」との回答が最上位で、その他にも子どもの状況が向上した感触を様々な面から得ています。

#### ② 他の団体や機関との情報のやり取り

- ・NPO 団体同士の情報交換がある

全体的に、市の部局、学校、地域子育て支援センター等との情報のやり取りは少なめでしたが、子ども関連の NPO 団体等との間では情報交換の機会が得られています。

#### ③ 子どもや家庭への支援

- ・保護者との関係づくりに苦心
- ・相談にあたる者の質的向上が必要と感じている

支援で困難だと感じることでは、保護者との接触・信頼関係づくりと、支援制度（資源）が少ないことが多くなっています。

自らの団体活動によらず、支援等でより必要と考えるものは、「相談担当者の質的向上」が最上位、続いて「経済的支援」「訪問による早期発見・支援」「保育・預かり」「子どもの居場所」となっています。

#### ④ 活動継続の課題

- ・人材面、資金面での課題が上位
- ・行政にも人的・資金的援助を求める

活動継続のための、人材面、資金面での課題をあげる意見が多く、行政に対してはそれらの他サービスに必要なスペース確保や広報の支援なども求めています。

## (2) 学校・福祉関係者等調査

### ① 子どもや家庭との関わり

- ・多くが「貧困状況にある（かもしれない）」子どもと接する経験をもつ
- ・こころの状態の安定性・心身の健康の不足は回答者の職種によらず指摘されている
- ・保護者との関係づくりに苦心、相手の気持ちへの配慮を心がけている

74件中50件で「貧困状況にある（かもしれない）」子どもと接する経験があるとの回答がありました。それらの子どもにはこころの状態の安定性・心身の健康が不足しているとの感触が多くもたれています。養護教諭は多方面からの「気づき」をもっていました。

支援において、保護者との接触、信頼関係づくりの困難さを感じているとの回答が最も多くなっており、関係団体等調査と同様に支援対象との信頼関係づくりや相手の気持ちに立った関わり方を重視する自由意見が多くみられました。

### ② 必要だと思う支援と他部署・機関との連携

- ・経済的支援、アウトリーチ型の支援、親の就労支援が必要とする意見が多数
- ・各職種で必要に応じた連携はあるものの、他部署・機関でのサービスについてよく知らないという意見もある
- ・支援やサービスをつなぐことの重要性が多く指摘されている

より必要だと思う支援では、経済的支援、アウトリーチ型の支援、親の就労支援が多くなっています。

他の部署や機関と情報をやり取りする機会・頻度は、各職種の業務内で想定される部署や機関とのやりとりが中心で、他の部署・機関で受けられるサービスを紹介すること・頻度では「ほとんどない」「まったくない」とする回答が多数となっています。

他の部署や機関で受けられるサービスを紹介しない理由としては、それらについてよく知らないという回答が多く、「個別に対応する立場にない、情報が入ってこない。」との自由意見もありました。

支援によって改善に向かった事例では、「公的サービスへのつなぎ」「他機関との相談や情報共有」について触れた意見もみられます。また、支援をより充実するための意見では、「定期的な情報や課題の共有」「現在行っている支援についての職員への周知」「高校入学時の情報の引継ぎ」「支援先・窓口について学校に周知」といった、支援者側の連携に触れた意見が少なからずみられました。

### 3. 関係団体等調査結果

#### (1) 回答団体の内訳

本調査では、調査シート記入依頼時の整理のため、便宜的に団体・活動の種別を「子ども食堂」「フードバンク」「家庭教育支援」「社会福祉協議会」に分類しています。

| 種別   | 子ども食堂 | フードバンク | 家庭教育支援 | 社会福祉協議会 | 計  |
|------|-------|--------|--------|---------|----|
| 回答件数 | 1     | 2      | 5      | 2       | 10 |

#### (2) 活動状況と実績、今後の予測

- 実際の活動・支援内容は必ずしも調査時の分類名（「子ども食堂」「フードバンク」「家庭教育支援」「社会福祉協議会」）の領域にはとどまっていません。例えば、「家庭教育支援」としている団体が、子育てに悩む人の相談、ひきこもり支援などを行っています。
- フードバンク及び社会福祉協議会では、支援のニーズが今後増えるだろうとの予測がなされていました。
- 地域との交流など、活動において新型コロナウイルス感染症拡大の影響が出ていることがうかがえました。

#### (3) 「貧困状況にある（かもしれない）」子どもと接する経験

「ある」8件、「なし」2件の回答がありました。設立経緯や活動内容・目的などから考えると予測の範囲内ともいえますが、多くが「ある」と回答しています。

※以下、貧困状況にある（かもしれない）子どもについて「貧困状況にある」と表現。

#### (4) 貧困状況にある子どもに不足していると感じたもの

コミュニケーション能力の不足、自己肯定感の不足、精神の安定、社会性の不足、意欲やチャレンジ精神の不足といった精神的・内面的な課題を感じとられていることが少なくありません。子どもたちとは、表面的ではなく、心とふれあえるような交流ができていると思われまます。

(複数回答)

| 選択肢                | 回答数 |
|--------------------|-----|
| コミュニケーション能力        | 5   |
| 自己肯定感や表現力、自尊心      | 5   |
| こころの状態の安定性・心身の健康   | 4   |
| 他者への共感性や信頼感        | 4   |
| 社会性                | 4   |
| 意欲やチャレンジ精神         | 4   |
| 読み書き・計算などの基礎的な学力   | 3   |
| 健全な生活習慣・食習慣        | 3   |
| 特に不足しているところは感じられない | 2   |

### (5) 支援活動の結果、子どもたちに変化があったと考えられること

「笑顔が増えた」「保護者以外に頼れる大人を増やすことができた」との回答が上位でした。その他、子どもの状況が向上した感触を様々な面から得ている様子がかがえました。  
(複数回答)

| 選択肢                            | 回答数 |
|--------------------------------|-----|
| 笑顔が増えた                         | 6   |
| 保護者以外に頼れる大人を増やすことができた          | 5   |
| 進学することができた                     | 4   |
| 市の機関等との連携により、公的な支援を受けられるようになった | 4   |
| 他者とのコミュニケーション力が向上した            | 4   |
| 就職することができた                     | 2   |
| 学力が向上した                        | 2   |
| 学びや就労等、社会生活への意欲が向上した           | 2   |
| 自尊心・自信が醸成された                   | 2   |
| 健康・栄養状態の改善ができた                 | 2   |
| 将来に希望が持てるようになった                | 2   |
| 様々な体験の機会を得ることを通じて生活の質が向上した     | 1   |
| 特に変化は感じられない                    | 1   |

### (6) 他の団体や機関と情報をやり取りする機会

市のこども課、福祉課、社会福祉協議会とのやり取りが比較的多くありました。支所の地域振興課、小学校・中学校、地域子育て支援センターとの日常的なやり取りがあるとの回答もありましたが、総じて情報のやり取りは少なめでした。

子ども関連のNPO団体等との間では、定例的な会議・会合の他に情報交換の機会が得られていることがわかりました。

### (7) 支援で困難だと感じる事

子どもよりも、保護者との関係づくりが難しいとする回答が多くありました。支援のための資源不足を感じている回答も少なくありませんでした。

(複数回答)

| 選択肢                    | 回答数 |
|------------------------|-----|
| 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい    | 6   |
| 支援に用いることができる制度（資源）が少ない | 5   |
| 子どもとの関わり方が難しい          | 2   |
| その他                    | 4   |

- ・ 支援内容のすり合わせ、継続
- ・ 単なるお金が少ないという困難だけでなく、夫婦間や家族間の人間関係のこじれ、価値観や感情の歪みなど困難が複雑に絡み合い問題を解決していく環境づくりが難しい。
- ・ 弊塾に来られるご家庭は利用料を払う前提で来られるので、保護者はお仕事をされ何とかやりくりされている。困難を抱えている方から利用料をいただくのは心苦しいが、無料から始めたフリースクール業において利用者も努力することが良好な人間関係を構築すると経験してきたので、これ以上利用料を下げることはできないが心苦しい。

**(8) (現在の活動内容に関わらず) 支援等でより必要だと思うもの**

多く回答のあった「相談担当者の質的向上」は、自身の団体のスタッフに限らず、支援対象との良好な関係づくりの難しさを感じてのものとも推察できます。

(複数回答)

| 選択肢                                     | 回答数 |
|---|-----|
| 相談担当者の質的向上                              | 7   |
| 経済的支援                                   | 6   |
| 訪問による早期発見や生活支援                          | 6   |
| 保育・預かり支援の提供 (病児保育、送迎支援、就学児預かり、夜間預かり等含む) | 6   |
| 子どもの居場所 (遊び・読書等の場) の提供                  | 6   |
| 子どもへの学校以外での学習機会の提供                      | 6   |
| 親の就労の支援                                 | 5   |
| 子どもの進学・就労の支援                            | 5   |
| 総合的な相談窓口の拡充                             | 4   |
| 子どもへの文化的活動 (自然体験学習、スポーツ等) の機会の提供        | 4   |
| 親の受診勧奨                                  | 4   |
| 相談担当者の増員                                | 3   |
| 学校での専門家 (スクール・ソーシャル・ワーカー等) による支援        | 3   |
| 子どもへの食事の提供                              | 3   |
| 子どもの受診勧奨                                | 3   |

**(9) 支援・活動の中で工夫していること、心がけていること**

- 月1回の宅配のときに声かけをし、信頼関係を築く努力をするとともに、子どもの様子などをさりげなく見ている。話をしてくれる保護者には、よく耳を傾ける (無理に聞くことはしていない)。宅配者 (スタッフ) の学習にも取り組んでいる。【フードバンク】
- とにかく話をよく聴くことで信頼関係を築くことから。アドバイスよりも共感。自分の価値観を脇に置き、短所を長所に置き換えて伝える等否定的な言葉や態度で対応しないよう心がけている。安心して話してもらえる関係づくり。【フードバンク】
- 子どもの変化について、日々よく観察し、声かけをする。【家庭教育支援】
- 相談や支援を中断してしまう人がいるので、いかに継続してつながっていることができるか、苦心している。【家庭教育支援】
- サービス内容を多くしている。家族関係や生活についても良好な方向へ行くよう配慮し、相談をより親身に行い、ご本人のやる気が出るようにしている。料金を免除するときもある。【家庭教育支援】
- 保護者自身が大変さを話せるように時間をかけて対応する。つなげる機関やサポートを紹介できるように資料を準備している。相談者については、スタッフ間で情報共有し、全員が状況を把握しておけるようにしている。【家庭教育支援】
- 学習支援を除いて、直接子どもへの支援を行う機会は少ないが、親への支援を通じて子どもへの貧困の連鎖が防げるように、経済面の改善ができるよう支援している。【社会福祉協議会】



## (10) 活動を継続していくうえでの課題

活動継続のための課題では、人材面、資金面での課題が上位にあがっています。

(複数回答)

| 選択肢                               | 回答数 |
|-----------------------------------|-----|
| 活動の中心的役割を担うスタッフが不足している            | 7   |
| 活動を継続するための資金が不足している               | 5   |
| 団体の運営に関する経験や情報が不足している             | 3   |
| 活動をサポートするボランティアが不足している            | 3   |
| 支援を必要とする対象者（子ども・家庭）の把握が難しい        | 3   |
| 活動規模を拡充したいが、実現できない                | 1   |
| 支援を必要とする対象者（子ども・家庭）に参加してもらうことが難しい | 1   |
| 他の団体や機関との連携が不足している                | 1   |
| その他                               | 2   |

- ・ 資金及び食品調達をどう持続していくか
- ・ 人材不足、高齢化

## (11) 活動をより充実させるために（行政に）求めたい支援など

- 貧困という言葉が一人歩きして、支援を受けづらい状況となっている。「子ども食堂」という言葉に対する偏見がある。【子ども食堂】
- 食料を保存しておく場所は、かなりの面積が必要。資金は会費と寄附金だけなので、市の空き施設の無料貸しをお願いしたい（現在、福祉課より借りている）。【フードバンク】
- 部署や職種を越えた連携。職員の方たちのボランティア参加をぜひお願いしたい。【フードバンク】
- 人口減少、高齢化が著しい地域のため、人材の確保が難しい。加えて、支援を必要とする子どもの利用も多い。人材確保に対しての支援がほしい。【家庭教育支援】
- 行政と連携しているケースが多い。学校や行政からの紹介、依頼もある。資金面での支援がほしい。【家庭教育支援】
- 貧困は、社会問題のしわ寄せだと感じている。教育に力を注ぎ、学びとはどうあるべきか共有し、学びの楽しさを味わえる土壌づくりが大切だと感じる。それは子どもだけでなく、大人にも共通して言えることだと思う。そういった土壌であれば「みんなちがってみんないい」の精神で違いを認めあう平等で対等な人間関係が構築できると思う。物事の捉え方を柔軟にすること、違うことを受け入れることといった価値観の向上については、大人の価値観の変換が必要だと思う。そのために、子どもをどう捉えればいいのかの支援者技術向上を図るといいと考えている。学童保育、介助員、適応指導教室などの支援者研修においてこれまでの経験や技術をお伝えすることができると思う。【家庭教育支援】
- 活動継続のための資金援助等。【家庭教育支援】
- 財政支援、活動周知に関する広報の支援、事業委託。行政の事業委託によって、団体の支援活動を受益者負担や寄付に頼ることなく継続することができる。【家庭教育支援】
- 学校教育課、こども課、福祉課などの枠組みを超えた連携が必要。【社会福祉協議会】

## 4. 学校・福祉関係者等調査結果

### (1) 回答者職種の内訳

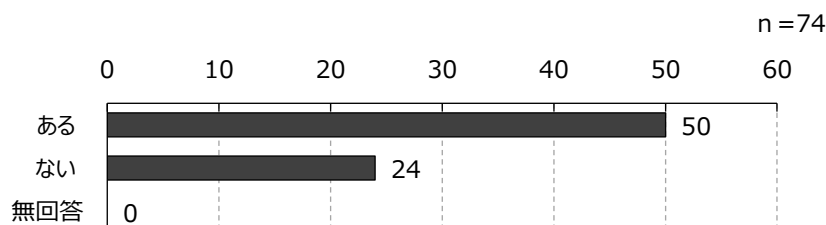
CW（ケースワーカー：生活保護ケースワーカー含む）とSSW（スクールソーシャルワーカー）は職能・役割等が異なりますが、母数が小さいことと、学校職員等とは異なる立場で相談支援に携わる者として合わせて整理しています。

| 職種   | 養護教諭 | 保育施設 | 保健師 | 主任児童委員 | 市職員 | CW・SSW | その他 | 計  |
|------|------|------|-----|--------|-----|--------|-----|----|
| 回答件数 | 20   | 16   | 11  | 10     | 10  | 4      | 3   | 74 |

※その他＝職種未記入による不明

### (2) 「貧困状況にある（かもしれない）」子どもを発見した（接した）経験

※以下、特記している場合を除いてグラフ・表内の数値は割合ではなく回答数。  
 ※以下、貧困状況にある（かもしれない）子どもについて「貧困状況にある」と表現。



### (3) 貧困状況にある子どもに不足していると感じるもの

こころの状態の安定性・心身の健康が不足しているとの感触は、回答者の職種によらず多くあげられています。養護教諭が、専門領域に限らず、生活や食の習慣、学力、共感性・信頼感、社会性など多方面からの「気づき」を持っていることがわかります。

(複数回答)

| 全体は<br>上段：回答数<br>下段：% | 合計     | 基礎的な学力<br>読み書き・計算などの | 心身の健康 | こころの状態の安定・<br>食習慣 | 健全な生活習慣・<br>能力 | コミュニケーション | 信頼感  | 他者への共感性や<br>社会性 | 自己肯定感や表現力、<br>自尊心 | 意欲やチャレンジ精神 | その他 | わからない | 特に不足しているところ<br>は感じられない |
|-----------------------|--------|----------------------|-------|-------------------|----------------|-----------|------|-----------------|-------------------|------------|-----|-------|------------------------|
|                       |        |                      |       |                   |                |           |      |                 |                   |            |     |       |                        |
| 全体                    | 50     | 16                   | 36    | 33                | 15             | 12        | 20   | 19              | 12                | 2          | 3   | 2     |                        |
|                       | 100.0  | 32.0                 | 72.0  | 66.0              | 30.0           | 24.0      | 40.0 | 38.0            | 24.0              | 4.0        | 6.0 | 4.0   |                        |
| 職種                    | 保育施設   | 2                    | 7     | 7                 | 4              | 2         | 2    | 2               | 1                 | 1          | 0   | 1     |                        |
|                       | 養護教諭   | 4                    | 9     | 7                 | 2              | 3         | 4    | 6               | 2                 | 0          | 3   | 1     |                        |
|                       | CW・SSW | 1                    | 3     | 3                 | 0              | 2         | 2    | 3               | 1                 | 0          | 0   | 0     |                        |
|                       | 主任児童委員 | 3                    | 3     | 2                 | 2              | 0         | 2    | 2               | 2                 | 0          | 0   | 0     |                        |
|                       | 保健師    | 0                    | 2     | 3                 | 1              | 1         | 2    | 1               | 0                 | 0          | 0   | 0     |                        |
|                       | 市職員    | 6                    | 10    | 9                 | 5              | 4         | 7    | 5               | 6                 | 1          | 0   | 0     |                        |
|                       | その他    | 0                    | 2     | 2                 | 1              | 0         | 1    | 0               | 0                 | 0          | 0   | 0     |                        |

※網掛は横軸で最も多かった回答（同数含む）（職種「その他」は除く）（以下同）

#### (4) 行っている支援と頻度

支援内容 10 項目で、実施しているものと頻度を聞いたところ、各職種とも支援ごとに「該当せず」との回答が一定数みられました。しかし職種の業務範囲を超えらると思われる対応の例も少数ながらみられました。例えば、「居場所の提供」における養護教諭、「学習支援」における養護教諭及び主任児童委員、「進学指導」における養護教諭などです。

「該当せず」という回答や無回答の多さから、職種の業務範囲を超えた支援はあまり行われない、あるいは踏み込みにくいという現実がうかがえました。

支援内容 10 項目：① 家庭訪問 ② 居場所（遊びや勉強・読書等の場）の提供 ③ 食事の提供（軽食も含む） ④ 相談（育児、発達、教育、生活相談など） ⑤ 乳幼児健康診断、予防注射等の勧め ⑥ 経済支援（就学援助費、児童扶養手当など）の紹介 ⑦ 学習支援 ⑧ 進学指導 ⑨ 就労支援 ⑩ その他

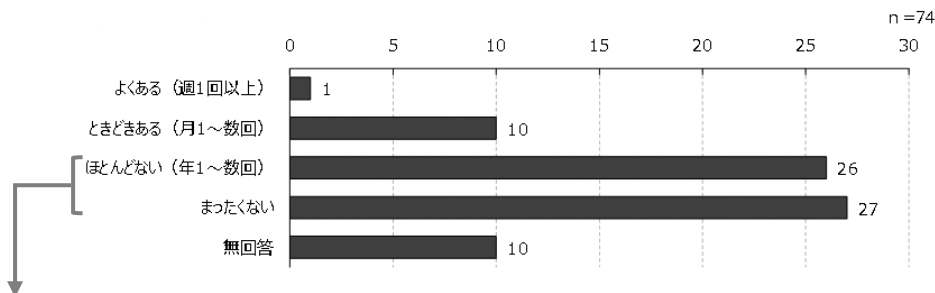
#### (5) 他の部署や機関と情報をやり取りする機会・頻度

部署や機関 19 項目で、情報のやり取りをする機会と頻度を聞いたところ、各職種の業務の中で想定される部署や機関とは、定例的な会議・会合、必要に応じたやり取りが行われていることがわかりました。総じて市職員（福祉関連部局・子育て世代包括支援センター等の職員）は、他部署や機関とのやり取りが広範に行われていることがわかりました。

部署や機関 19 項目：① こども課 ② 福祉課 ③ 保健医療課 ④ 市民課 ⑤ 支所の地域振興課 ⑥ ①～⑤以外の市の部署 ⑦ 保育園・幼稚園・認定こども園 ⑧ 小学校・中学校 ⑨ 高等学校・その他の学校 ⑩ 教育委員会 ⑪ 社会福祉協議会 ⑫ 学童保育所 ⑬ 民生委員・児童委員 ⑭ 村上市子育て世代包括支援センター ⑮ 地域子育て支援センター ⑯ ファミリー・サポート・センター ⑰ 医療機関 ⑱ 子ども関連の NPO 団体等 ⑲ その他

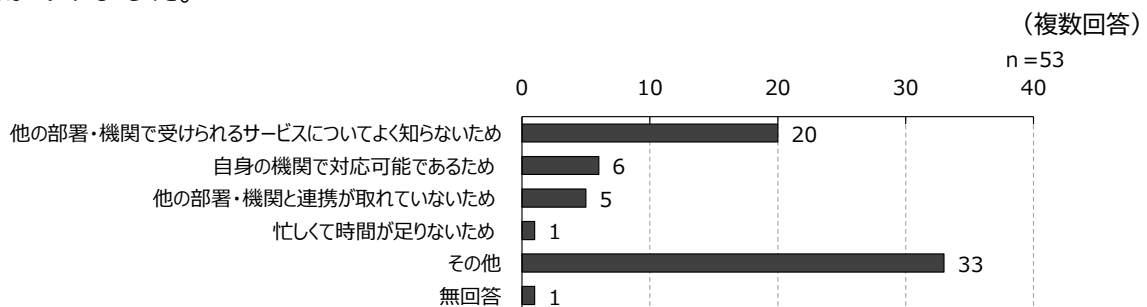
#### (6) 他の部署・機関で受けられるサービスを紹介すること・頻度

「ほとんどない」「まったくない」とする回答が多数でした。



#### (7) 他の部署・機関で受けられるサービスを紹介しない理由

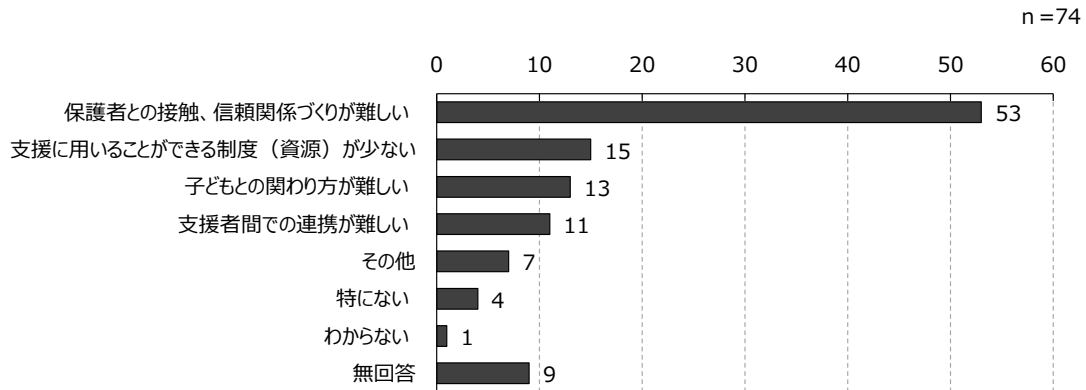
「他の部署・機関で受けられるサービスについてよく知らないため」が多くなっています。「その他」記入内容にも、「個別に対応する立場にない、情報が入ってこない。」との意見がありました。



### (8) 支援において困難だと感じること

保護者との接触、信頼関係づくりの困難さを感じているとの回答が最も多くなっています。「その他」の内容には、自身の職域の中では支援の方法がない、支援の仕方がわからない、といった意見がありました。

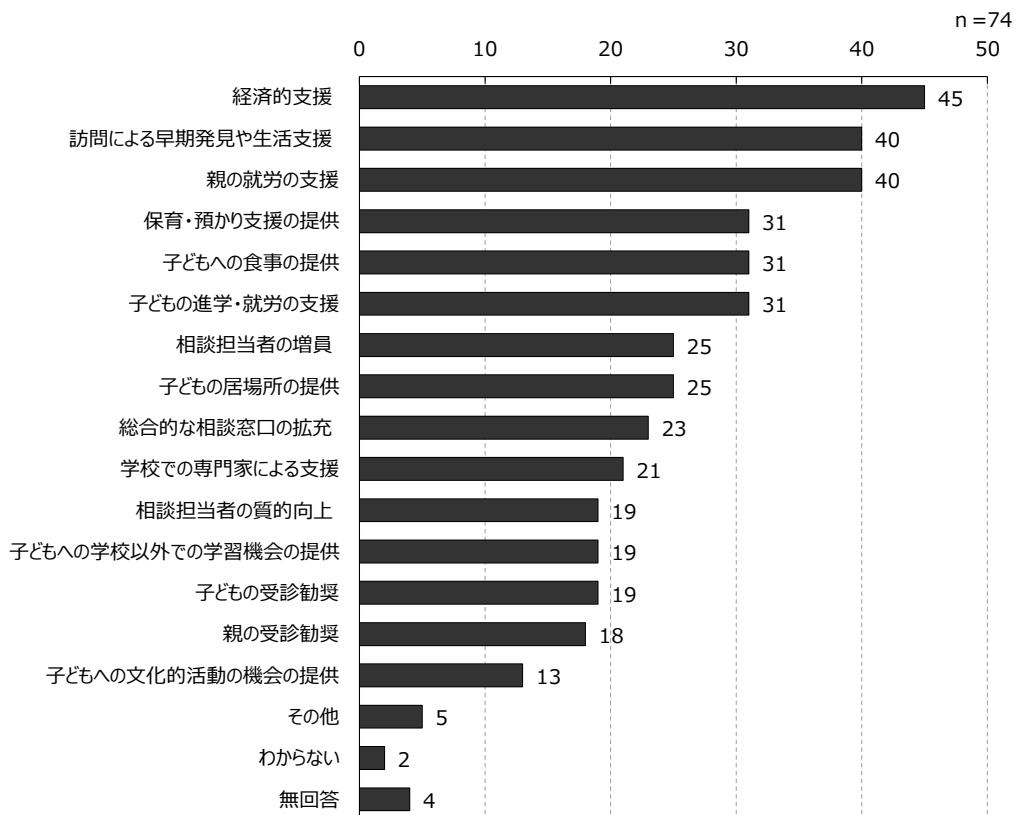
(複数回答)



### (9) より必要だと思う支援

経済的支援、アウトリーチ型の支援、親の就労支援が多くなっています。「その他」の内容には、「高校進学しなかった子、中退した子の支援を行う機関」という意見がありました。

(複数回答)



## (10) 支援を行う場合に、配慮すべき、心がけるべきと思うこと

「相手のプライド等を傷つけない」「気持ちの面で配慮」「信頼関係づくり」「保護者の苦勞に共感しながら・・・」など、関係団体等調査と同様に支援対象との信頼関係づくりや相手の気持ちに立った関わり方を重視する意見が多くみられました。

また、「気軽に相談したり、支援が受けやすいような環境づくり」「気になっていることや困っていることなどを語りやすいつながりや雰囲気づくり」といった意見、また、秘密を守ることの重要性、それが守られるという信頼感の構築に触れた意見もありました。

- 人権的にも相手側のプライド等を傷つけることなく支援できることが大切。【養護教諭】
- 行政からのコンタクトや接触を拒むことがないように押しつけすぎず、相手の能力に合わせた支援、対応。【市職員】
- 一般論だけでなく、その家庭にある生活背景についても配慮する必要がある。【保健師】
- 経済的な要素は、非常にナーバスなため、触れることを拒む家庭は少なくない。まずは家庭と信頼関係を築くことが大事であり、中心となる支援者を設定し、そこから必要な機関につないでいくことが大切と考える。【CW・SSW】
- 親の拒否が強く介入が難しい場合でも、子どもに行う支援の手はゆるめないこと、子どもの声にも耳を傾けること。親が「大丈夫」といっても支援を安易に中断しないこと。自分から支援を求められない、家庭に目を配ること、また、近所や周囲の人々の意見だけでなく、本人たちの意見を聞き、強みを見つけていくこと。【保健師】
- 信頼関係づくり、根気よさが大切だと思う。【保育施設】
- 相談を受けた場合は時間をかけて聞き、自分の職務でできることで対応する。一か所で抱えず複数の機関で共有する。【保育施設】
- 保護者に養育能力の低い方が多いように感じる。様々なサービスを理解し、利用できるよう、丁寧な説明とサポートが必要だと思う。コミュニケーション能力も低いように感じる。子育て支援センター等を利用できる保護者はまだよいほう・・・。外部との接触を断っている場合の声の掛け方、訪問の仕方は配慮が必要。【市職員】
- 個人情報の守秘。【主任児童委員】
- 秘密が守られること。困り感に応じたサポートが得られるようにし、スピーディーな支援に努める。学校などで周囲に気づかれぬよう配慮する。【養護教諭】
- プライバシーに関わるため、本音を話せない、話にくいものである。日頃から（来校など）何気ない話題で話しかけ、保護者と学校との壁をなくせるような関係づくりに努めたい。また相手が答えにくいことは問いつめないように心がけている。【養護教諭】

## (11) 支援によって改善に向かったケースの理由や状況

最前線で子どもや家庭と接している実務者ならではの貴重な事例紹介が多数ありました。改善に向かった要因として「公的サービスへのつなぎ」「他機関との相談や情報共有」について触れた意見もみられました。

- 定期的に行行政と学校が連絡を取り合い、また家庭訪問をくりかえしていた。【養護教諭】
- 経済的困窮状態の改善（生活保護による）。孤立状態から支援者につながったことによる安心感。各種サービスの利用。医療機関への適切な受診。【CW・SSW】

- 家庭児童相談員の方々の関わりが一番だったと思う。【保育施設】
- 保護者の受け入れがよく、他の機関とスムーズにつながるケース。困り感を感じて発信してくれるケース。【市職員】
- 放課後等デイサービスに通うことによって、家庭で手をかけられない部分をケアすることができた。【主任児童委員】
- 関係機関、職員が集まりケース会議を実施、その場で支援策を立て、実行したケースがある。【養護教諭】
- 中学生が部活で高額のユニフォームを買わざるを得ないとき、学校と相談し、善処した。【主任児童委員】
- 学校での健康診断後の事後措置や学校でのケガなどでの受診の際に受けられる支援等について、学校から医療機関、行政に問い合わせることにより、生徒の受診につながるケースがあった。受けたい支援の内容が具体的であれば改善しやすいが、困っている内容が明確でなかったり、複数あったり、複雑な要因があったりすると対応は難しいと思う。【養護教諭】

## (12) 市（行政）の支援をより充実するためにできそうなこと、アイデアなど

具体的な提言が多く書かれていました。「定期的な情報や課題の共有」「現在行っている支援についての職員への周知」「高校入学時の情報の引継ぎ」「支援先・窓口について学校に周知」といった、支援者側の連携に触れた意見も少なくありません。

- こども課、生涯学習（学校教育）、生活困窮のそれぞれで実施している学習支援事業について、統合は無理でも定期的な情報や課題の共有を行う。合理的・きめ細かい支援が可能となる。講座などの参加型事業では真に受講していただきたい方の参加率が低いと予想される。例えば保健師訪問などと併せて個別・アウトリーチ型の学習機会の提供を行う。児童扶養手当・生活保護通知書の送付の際に関係チラシを同封する。【CW・SSW】
- 地域にもよるが、役所に相談というと、知りあいが多くいるなどの理由で相談をためらう人もいる。専門の相談機関としてはパーソナルサポートセンターもあるが、一般的には認知が低い印象もある。もう少し身近にあり、それでいて機密性が強い機関があると相談しやすいのではと思う。【CW・SSW】
- 子ども食堂など、事情を抱えた家庭の子どもや保護者が交流できる場があるといいと思う（自分の事情を言う、言わないに関わらず来られる場）。【保健師】
- フードバンクに支援を求めたことがある。生鮮食品の取り扱いが難しいなどのこともあり、レトルトなどの提供だった。子どもたちを対象とするなら野菜など生鮮食品が大切になるので生鮮食品など取り扱う企業との協力も大切になるかと思う。【保健師】
- ヘルパーなどを無料で使える助成があるとよい（気軽に）。ファミリー・サポート・センターや支え愛など、一般の方にはハードルが高すぎる家庭への支援が難しいので。【市職員】
- フードバンクの紹介。相談（機関）支援者の紹介。学校の集会等に出向き、一般的な話として支援の紹介。地域の区長との連携、地域の役員会へ出席し、話をさせてもらうことで支援の周知を図る。【主任児童委員】
- 小1ギャップ、中1ギャップ防止のため、幼、小、中の移行期には情報交換、引き継ぎなどがきちんと実施されているように思う。しかし、高校入学時には成育歴や家庭の状

況、それまでどことどのようなつながりの中で支援されてこられたのかなど、きちんとした情報の引継ぎがない。また、小中で支援を受けているきょうだいが入学し、家庭の状況として関わりがあっても、ケース会議等のメンバーに加えられないように思う。教育委員会としては管轄が異なるが、福祉の視点でその垣根を越え、子どもたちを支援していければありがたいと思う。【養護教諭】

- 幼保小中+行政+関係機関が集まり、ケース会議をすぐに実行できる場・時間、システム化するというのはいかがでしょう（連絡体制、リーダーは誰で誰が招集をかけるか、ケースバイケースではなく、決まっていると動きやすい）。【養護教諭】
- どのような支援先があるのか、窓口はどこなのかなどが学校にも周知されていると、率先して支援先を紹介したりなどできると感じる。私自身の理解や知識が足りていないので、そういった情報提供があるとうれしい。【養護教諭】
- 親は働いていて申請に行く時間もとれない家庭もあるので、申請方法や時間帯なども考えた方がいいかもしれません。用紙の記入も難しい親もいるので、説明会を開いたりするのもよいかもしれません。【養護教諭】

### (13) その他、設問以外の意見

- 貧困問題を早期に発見するためには、本人からの訴えだけでなく、請求書がやたらと多く届いているなどで周囲が気づくこともある。当事者からの訴えだけでなく、早期に発見する見守り支援も必要ではないか。【保健師】
- ヤングケアラーのような中三の生徒が進学をせず、しっかり地域の会社で働いている例がある。貧困と見られる家庭でも母が子どもたちをしっかりと愛している家庭の子は健全であるが、母親としても問題を持つ家庭では、子どもの健全な成長を害している。【主任児童委員】
- 貧困だけではなく、中卒後の子どもの状況、実態がつかみにくい。新型コロナウイルス感染症対策もあり、戸外に出ないためひきこもり等がわからない。ひきこもりになる前に就学、就職支援ができるとうれしいと思われるが、気軽に相談（子どもも、親も）できる機関や居場所、支援員を配置してほしい。【主任児童委員】
- 高校では行政の支援として、どのような場合にどのような内容の支援を活用できるのか、そのためにはどのような手順で相談すればよいのか具体的に教えていただけるとありがたい。【養護教諭】
- 家庭が貧困状況にあるわけではないが、生徒自身が貧困状況にある（親が仕事の都合で家をあける際、食料や金銭面での配慮がない）。学校では複数の職員が話を聞くことで困っていることを聞くことはできるが、卒業後、行政ではどのような支援ができるのか知りたい。【養護教諭】

## 村上市子どもの生活に関する実態調査報告書

---

発行：令和4年3月  
編集：村上市こども課  
〒958-8501  
新潟県村上市三之町 1 番 1 号  
電話：0254-53-2111（代）